

那須烏山市埋蔵文化財調査報告 第10集

曲 烟 遺 跡

2 0 2 5 . 3

栃木県那須烏山市教育委員会

そり はた
曲 番 遺 跡

2025. 3

栃木県那須烏山市教育委員会

序

栃木県の中東部に位置する那須烏山市は、平成17年に那須郡烏山町と同南那須町が合併し誕生しました。八溝山地の西麓、喜連川丘陵の南端に位置し、南北に那珂川、北西から荒川・江川が丘陵を縫うように流れ、市南端の向田地区で合流します。これらの河川の段丘や丘陵上には、長者ヶ平官衙関連遺跡、烏山城跡などの国指定史跡をはじめ、旧石器時代から中世まで300以上の埋蔵文化財包蔵地が確認されており、古より緑豊かな住みよい場所であったであろうことは想像に難くありません。

さて、平成2~4年に行われた曲畠遺跡の発掘調査では、旧石器・縄文・古墳時代の遺構・遺物が数多く発見されました。特に、縄文時代中期の竪穴住居跡や土坑、そしてそこから出土した遺物は質・量とも充実しており、県東部のこの時期の地域性を考えるうえで貴重な資料であります。当時は写真図版編（1999年）の刊行を行いましたが、ここに実測図版を含む本文編を加え報告書が完了いたしました。

本報告書は、発掘調査の成果をまとめたものであります、本書が郷土の歴史を理解する一助になるとともに、広く活用していただければ幸いです。

結びに、発掘調査から報告書刊行にいたるまで多大なる御理解・御協力をいただきました栃木県生活文化スポーツ部文化振興課をはじめ関係機関、関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

令和7年3月

那須烏山市教育委員会
教育長 内藤 雅伸

例　　言

1. 本書は栃木県那須烏山市大字曲畠 147 番地他に所在する曲畠遺跡の発掘調査報告書（実測図・本文編）である。写真図版編については平成 11 年に、南那須町文化財報告書第 14 集として刊行している。
2. 発掘調査は、株式会社本田ロック研究所造成事業に伴うもので、南那須町教育委員会が平成 2 年 10 月 1 日から平成 4 年 3 月 23 日まで実施した。
3. 遺構・遺物等の報告（本文編）については平成 12 年度に刊行を予定していたが、諸事情で中断してしまった。再整理・報告書（本文編）の刊行は令和 4 年度から 6 年度に国庫補助事業として行った。
4. 再整理・報告書作成までの担当者は、以下のとおりである。

生涯学習課課長　水上和明（令和 4 年度）　黒尾明美（令和 5・6 年度）

文化財グループ総括　小峯洋一　学芸員係長　鈴木芳英　学芸員主査　石下翔子
総括技術専門員　後藤信祐　学芸員主任　川又隆一郎（令和 6 年度）
業務補助員　桑原恵美子　墨野倉弘美　豊田裕美子

5. 本書の執筆は、第 1 章第 1 節を鈴木が行い、その他の執筆及び編集は後藤が行った。なお、第 3 章第 1 節については、川田均の原稿を後藤が加筆修正した。
6. 本報告書作成にあたっては、栃木県生活文化スポーツ部文化振興課の指導を受けるとともに、公益財団法人栃木県未来づくり財団埋蔵文化財センターのほか、下記の方々にご指導・ご協力を賜った。
上野修一　内山敏行　海老原郁雄　木下実　鈴木勝　芹澤清八　塚本師也　中村享史　中村信博
橋本澄朗　森嶋秀一
7. 本報告書に係る出土遺物・実測図・写真等は、那須烏山市教育委員会で保管している。

凡　　例

1. 本遺跡の略号は、MSS (Minaminasumachi Sorihata Sorihata) である。
2. 遺構は、発掘調査時に竪穴建物跡: SI、土坑: SK、集石遺構・不明遺構: SX の略号を用い、確認順に番号を付けていった。本報告でも原則これを用いる。
3. 遺構実測図は、竪穴住居跡・土坑は原則 1/60 とし、炉跡断面・カマドについては 1/30 で掲載したものもある。古墳は平面図 1/300、周溝断面図 1/60、石室 1/40 で示し、各遺構とも図中にスケールを掲載した。
4. 土層注記の混入物のうち、鹿沼軽石: KP、今市軽石: IP、七本桜軽石: SP とし、断面図中の攪乱は K で示した。また、混入物の量は、多量・少量・微量・極微とした。
5. 炉跡・カマドの焼土部分については、網掛けで示した。
6. 遺構実測図の方位は、日本測地系による座標北、同断面図の水準線は海拔標高である。
7. 発掘調査時グリッドは一辺 20m グリッドで東西をアラビア数字、南北をアルファベットで示した。整理作業段階では、1 辺 10m の小グリッドに 4 分割し、北西から時計回りに a・b・c・d とした。
8. 遺物実測図の縮尺は、縄文土器・土師器 1/4、石器・石製品・土製品は石鏃等小形石器 2/3、土製円盤・装身具等 1/2、石皿・石棒などの大形石器は 1/5、その他の石器は 1/4 に統一し、挿図中にスケールを掲載した。なお、同一挿図中で縮尺の異なるものについて個々に縮尺を示した。
9. 赤色塗彩については、網掛けで示した。
10. 東日本大震災により多くの縄文土器が被災したため、写真図版編（1998 年撮影）と本報告の土器実測図は残存部分の異なるものもある。

目 次

序

例言

凡例

第1章 発掘調査及び再整理の経緯 1

第2章 遺跡の環境

　第1節 遺跡の位置と地理的環境 2

　第2節 歴史的環境 3

第3章 検出された遺構と遺物

　第1節 旧石器時代

　　(1) 基本土層 6
　　(2) 遺物発見の経緯 6
　　(3) 遺物の概要と位置付け 7
　　(4) 遺構確認調査中に採取された石器 8

　第2節 繩文時代

　　(1) 検出遺構の概要と時期区分 12
　　(2) 竪穴住居跡 14
　　(3) 土坑 30
　　(4) 集石遺構・小穴群 216
　　(5) 捨て場 216
　　(6) 遺構外出土及び出土遺構不明土器 216
　　(7) 石器 224
　　(8) 土製品 249
　　(9) 石製品 249

　第3節 古墳時代

　　(1) 竪穴住居跡 254
　　(2) 古墳 261

第4章 まとめ 268

報告書抄録

挿図目次

| | | | |
|------|---|------|---|
| 第1図 | 曲畠遺跡の位置と周辺の地形図 | 第45図 | SK-252～259・276・299実測図 |
| 第2図 | 曲畠遺跡周辺の遺跡 | 第46図 | SK-268・273～275・300・309・333・335・337実測図 |
| 第3図 | 基本土層図 | 第47図 | SK-272・278・284・285・287・294・301～306実測図 |
| 第4図 | VII層出土石器分布図 | 第48図 | SK-277・291・293・307・308・310～312・336・373実測図 |
| 第5図 | VII層出土石器実測図 | 第49図 | SK-279～282・288・295～298実測図 |
| 第6図 | 遺構確認時出土石器実測図 | 第50図 | SK-313～320実測図 |
| 第7図 | SI-8～12実測図 | 第51図 | SK-321～324・328・348～350・352実測図 |
| 第8図 | SI-13～15・22実測図 | 第52図 | SK-325～327・329～332・339・355実測図 |
| 第9図 | SI-16・21実測図 | 第53図 | SK-334・340～343・354・357実測図 |
| 第10図 | SI-24・26・27実測図 | 第54図 | SK-344～347・351・353・356・359～361・371実測図 |
| 第11図 | SI-28～30・32実測図 | 第55図 | SK-362・363・365～370・372実測図 |
| 第12図 | SI-34～38実測図 | 第56図 | SK-374～378・388・389・401実測図 |
| 第13図 | SI-8～13(1)出土土器実測図 | 第57図 | SK-379～382・387・395・396・399・402・417・433・435実測図 |
| 第14図 | SI-13(2)～16・22・24・26(1)出土土器実測図 | 第58図 | SK-383～386・390～394・421・422実測図 |
| 第15図 | SI-26(2)出土土器実測図 | 第59図 | SK-397・398・400・406～408・423・436・472実測図 |
| 第16図 | SI-27～30(1)出土土器実測図 | 第60図 | SK-403～405・410・418～420・424・427～429実測図 |
| 第17図 | SI-30(2)・32・34・36～38出土土器実測図 | 第61図 | SK-411～415・425・426・430～432・434・485・486実測図 |
| 第18図 | SK-1～8・10～12実測図 | 第62図 | SK-364・437～441・464～468・470・473実測図 |
| 第19図 | SK-13・14・16・17・19～21・41・44・55・56実測図 | 第63図 | SK-442～446・448～451・454・471実測図 |
| 第20図 | SK-22～30・42・50実測図 | 第64図 | SK-452・453・455～457・459・460・469実測図 |
| 第21図 | SK-31・33・35～38・99実測図 | 第65図 | SK-458・461～463・474・475・477・478実測図 |
| 第22図 | SK-40・45～47・51～53・71・72・77実測図 | 第66図 | SK-476・479～482・484・488・500実測図 |
| 第23図 | SK-48・49・58～63・82実測図 | 第67図 | SK-483・487・498・643・649～651・660・661・667・668・675実測図 |
| 第24図 | SK-64～67・69・70・78・120実測図 | 第68図 | SK-489～497・501・507・508実測図 |
| 第25図 | SK-74～76・79～81・106・107実測図 | 第69図 | SK-502～506・510・519・520・526実測図 |
| 第26図 | SK-83～85・96・100・101・104・109・130・202実測図 | 第70図 | SK-509・511～517・521・523実測図 |
| 第27図 | SK-87～91・97・98・105・108・116・121・212実測図 | 第71図 | SK-522・524・525・528～532・542実測図 |
| 第28図 | SK-92～95・110・122・123・134～136・191・210実測図 | 第72図 | SK-533・534・544・545・554～557・559～561実測図 |
| 第29図 | SK-102・103・113・128・133・137・203・211・213実測図 | 第73図 | SK-527・535～538・548・549・562・565・566・571実測図 |
| 第30図 | SK-111・112・115・117・118・124～127実測図 | 第74図 | SK-539～541・543・546・547・563実測図 |
| 第31図 | SK-129・131・132・138・204・231実測図 | 第75図 | SK-550～553・558・564・567～570実測図 |
| 第32図 | SK-139～148実測図 | 第76図 | SK-572～581・586・603実測図 |
| 第33図 | SK-149～154・156・158・164・167・172実測図 | 第77図 | SK-582～585・590・591・595・598・599・614・629・630実測図 |
| 第34図 | SK-155・159～163・166・168・217・218実測図 | 第78図 | SK-587～589・596・597・615・646・648実測図 |
| 第35図 | SK-169・171・173～177・214・216実測図 | 第79図 | SK-592～594・600～602・604～610・621・622・628・631・632・637・680実測図 |
| 第36図 | SK-178～183・187・189・190・208実測図 | 第80図 | SK-600・601・610・620～622・624～626・628・632・636・637・670・680実測図 |
| 第37図 | SK-184～186・188・193・194・199・209実測図 | 第81図 | SK-613・616～619・627・635・642・652・653・664・672実測図 |
| 第38図 | SK-192・195・197・198・269～271・289・290・292実測図 | 第82図 | SK-611・612・633・634・639～641・673実測図 |
| 第39図 | SK-200・201・205～207・219・220・222実測図 | 第83図 | SK-645・647・667・669・671・676・677・681・682実測図 |
| 第40図 | SK-221・224～227・234～236実測図 | | |
| 第41図 | SK-228～230・232・233・237実測図 | | |
| 第42図 | SK-238～244実測図 | | |
| 第43図 | SK-245～247・260～262実測図 | | |
| 第44図 | SK-248～251・263・264・266・267実測図 | | |

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| 第84図 | SK-654～659・662・663・674・678・700出土土器実測図 | 第131図 | SK-297出土土器実測図 |
| 第85図 | SK-665・666・679・683～690・698・699出土土器実測図 | 第132図 | SK-288・298～302出土土器実測図 |
| 第86図 | SK-691～697出土土器実測図 | 第133図 | SK-303～305・307出土土器実測図 |
| 第87図 | SK-1・3～8・10～14出土土器実測図 | 第134図 | SK-308～318・320出土土器実測図 |
| 第88図 | SK-16・17・19～24・26出土土器実測図 | 第135図 | SK-322～328出土土器実測図 |
| 第89図 | SK-25(1)出土土器実測図 | 第136図 | SK-329～337出土土器実測図 |
| 第90図 | SK-25(2)・27～31出土土器実測図 | 第137図 | SK-339～344出土土器実測図 |
| 第91図 | SK-35～40出土土器実測図 | 第138図 | SK-345～348・350出土土器実測図 |
| 第92図 | SK-41・42・45出土土器実測図 | 第139図 | SK-351～354・357・359～362・364出土土器実測図 |
| 第93図 | SK-44・46～48(1)出土土器実測図 | 第140図 | SK-356・365～370・372～374出土土器実測図 |
| 第94図 | SK-48(2)～50出土土器実測図 | 第141図 | SK-375・376・378・382出土土器実測図 |
| 第95図 | SK-51・52(1)・55出土土器実測図 | 第142図 | SK-377・380・381出土土器実測図 |
| 第96図 | SK-52(2)・56・59・60出土土器実測図 | 第143図 | SK-383～386・388・390・391出土土器実測図 |
| 第97図 | SK-61～63・65・69出土土器実測図 | 第144図 | SK-389・392出土土器実測図 |
| 第98図 | SK-66・67・70(1)出土土器実測図 | 第145図 | SK-393(1)出土土器実測図 |
| 第99図 | SK-70(2)・71(1)出土土器実測図 | 第146図 | SK-393(2)～395出土土器実測図 |
| 第100図 | SK-71(2)・72(1)出土土器実測図 | 第147図 | SK-396・397出土土器実測図 |
| 第101図 | SK-72(2)・74(1)出土土器実測図 | 第148図 | SK-398～401出土土器実測図 |
| 第102図 | SK-74(2)出土土器実測図 | 第149図 | SK-402～408出土土器実測図 |
| 第103図 | SK-74(3)出土土器実測図 | 第150図 | SK-410～414出土土器実測図 |
| 第104図 | SK-75～77出土土器実測図 | 第151図 | SK-415～418・420～424・426・427出土土器実測図 |
| 第105図 | SK-78～81・85・88～90出土土器実測図 | 第152図 | SK-425・429～431・436出土土器実測図 |
| 第106図 | SK-87・91～93出土土器実測図 | 第153図 | SK-433・434・437～439出土土器実測図 |
| 第107図 | SK-94・95・99出土土器実測図 | 第154図 | SK-440出土土器実測図 |
| 第108図 | SK-96～98・100～102・104・106出土土器実測図 | 第155図 | SK-441(1)出土土器実測図 |
| 第109図 | SK-107・109～113・115・118・126・128出土土器実測図 | 第156図 | SK-441(2)出土土器実測図 |
| 第110図 | SK-117・125・127・129出土土器実測図 | 第157図 | SK-442～452・454・455出土土器実測図 |
| 第111図 | SK-130・131・133・134(1)出土土器実測図 | 第158図 | SK-456～462・465・466出土土器実測図 |
| 第112図 | SK-134(2)出土土器実測図 | 第159図 | SK-463・464・467～469出土土器実測図 |
| 第113図 | SK-135～140・143・144出土土器実測図 | 第160図 | SK-470・472～477出土土器実測図 |
| 第114図 | SK-142・145～148出土土器実測図 | 第161図 | SK-478～482出土土器実測図 |
| 第115図 | SK-149・150・152～156・158・159・161出土土器実測図 | 第162図 | SK-483～485・487～489出土土器実測図 |
| 第116図 | SK-160・162～169・171～175・177・179出土土器実測図 | 第163図 | SK-490～498・500・502・503・506出土土器実測図 |
| 第117図 | SK-176出土土器実測図 | 第164図 | SK-501・509～511出土土器実測図 |
| 第118図 | SK-178・180・181・183～185・187出土土器実測図 | 第165図 | SK-504・505・513～521・524・525・527・528出土土器実測図 |
| 第119図 | SK-186・188・190～192・194・197・198出土土器実測図 | 第166図 | SK-522(1)出土土器実測図 |
| 第120図 | SK-193・195・199～202・205～207出土土器実測図 | 第167図 | SK-522(2)出土土器実測図 |
| 第121図 | SK-204出土土器実測図 | 第168図 | SK-522(3)・523出土土器実測図 |
| 第122図 | SK-208～214・216～220・222～224出土土器実測図 | 第169図 | SK-526(1)出土土器実測図 |
| 第123図 | SK-225～231出土土器実測図 | 第170図 | SK-526(2)・530・532・533出土土器実測図 |
| 第124図 | SK-232～238出土土器実測図 | 第171図 | SK-534～543・545・546出土土器実測図 |
| 第125図 | SK-239～243・245～249・251～253出土土器実測図 | 第172図 | SK-547・549・550出土土器実測図 |
| 第126図 | SK-250・254～259・261出土土器実測図 | 第173図 | SK-548・551～556出土土器実測図 |
| 第127図 | SK-262～267出土土器実測図 | 第174図 | SK-559～568・570・573～578出土土器実測図 |
| 第128図 | SK-268～270・272・273・275出土土器実測図 | 第175図 | SK-579出土土器実測図 |
| 第129図 | SK-276～281・285出土土器実測図 | 第176図 | SK-580～583・585～590・592・594出土土器実測図 |
| 第130図 | SK-282・284・287・292・293出土土器実測図 | 第177図 | SK-591・593・596～600出土土器実測図 |
| | | 第178図 | SK-595・602・605～608・610・611出土土器実測図 |
| | | 第179図 | SK-609・612・613・616～619出土土器実測図 |

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|----------------------------------|
| 第180図 | SK-615・621・622・624出土土器実測図 | 第204図 | 石器(磨製石斧)実測図 |
| 第181図 | SK-620・625(1)出土土器実測図 | 第205図 | 石器(磨製石斧)実測図 |
| 第182図 | SK-625(2)～630・632～634・636・637出土土器実測図 | 第206図 | 石器(磨石・凹石)実測図 |
| 第183図 | SK-635・639～643・647～651出土土器実測図 | 第207図 | 石器(磨石・凹石)実測図 |
| 第184図 | SK-646・652～655出土土器実測図 | 第208図 | 石器(磨石・凹石)実測図 |
| 第185図 | SK-656～659・661・664・666・668出土土器実測図 | 第209図 | 石器(磨石・凹石)実測図 |
| 第186図 | SK-663出土土器実測図 | 第210図 | 石器(磨石・凹石等)実測図 |
| 第187図 | SK-665・667・669出土土器実測図 | 第211図 | 石器(石皿・多孔石等)実測図 |
| 第188図 | SK-670～675出土土器実測図 | 第212図 | 石器(石皿・多孔石等)実測図 |
| 第189図 | SK-676・678・679・681～685・688～690出土土器実測図 | 第213図 | 石器(石皿・多孔石等)実測図 |
| 第190図 | SK-686・687・696・697出土土器実測図 | 第214図 | 石器(石皿・多孔石等)実測図 |
| 第191図 | SK-692～694出土土器実測図 | 第215図 | 石器(石皿・多孔石等)実測図 |
| 第192図 | SK-700出土土器実測図 | 第216図 | 土製品(円盤・ミニチュア土器・耳飾り・玉等)実測図 |
| 第193図 | SX-1～3実測図 | 第217図 | 土製品(土器装飾・粘土塊)実測図、石製品(玉類・大形石棒)実測図 |
| 第194図 | B区出土土器実測図(1) | 第218図 | 石製品(小形石棒・線刻石)実測図 |
| 第195図 | B区出土土器実測図(2) | 第219図 | SI-17・33実測図 |
| 第196図 | B区出土土器実測図(3) | 第220図 | SI-25実測図 |
| 第197図 | B区出土土器実測図(4) | 第221図 | SI-17・25(1)出土遺物実測図 |
| 第198図 | 遺構外出土土器実測図 | 第222図 | SI-25(2)・33出土遺物実測図 |
| 第199図 | 出土遺構不明土器実測図 | 第223図 | 1・2号墳全体図及び周溝断面図 |
| 第200図 | 石器(尖頭器・石槍・搔削器・三角錐形石器・敲打器・礫器等)実測図 | 第224図 | 1号墳石室及び墓道実測図 |
| 第201図 | 石器(石鏃)実測図 | 第225図 | 1号墳石室展開図及び根石実測図 |
| 第202図 | 石器(石錐・打製石斧)実測図 | 第226図 | 2号墳主体部及び墓道実測図 |
| 第203図 | 石器(打製石斧・磨製石斧)実測図 | 第227図 | 1・2号墳出土遺物実測図 |
| | | 第228図 | 曲畠遺跡出土縄文時代中期土器変遷図 |

表 目 次

| | | | |
|------|---------------|------|---------------|
| 第1表 | 再整理事業の実施内容 | 第14表 | ミニチュア土器観察表 |
| 第2表 | 周辺の遺跡一覧 | 第15表 | 耳飾り・垂飾等観察表 |
| 第3表 | VII層出土旧石器観察表 | 第16表 | 土器装飾・粘土塊等観察表 |
| 第4表 | 遺構確認時出土旧石器観察表 | 第17表 | 玉類観察表 |
| 第5表 | 土坑一覧表 | 第18表 | 大形石棒観察表 |
| 第6表 | 尖頭器・石槍等観察表 | 第19表 | 小形石棒観察表 |
| 第7表 | 石鏃観察表 | 第20表 | 線刻石観察表 |
| 第8表 | 石錐観察表 | 第21表 | SI-17出土土器観察表 |
| 第9表 | 打製石斧観察表 | 第22表 | SI-25出土土器観察表 |
| 第10表 | 磨製石斧観察表 | 第23表 | SI-33出土土器観察表 |
| 第11表 | 磨石・凹石観察表 | 第24表 | 豎穴住居跡出土玉類観察表 |
| 第12表 | 石皿・多孔石観察表 | 第25表 | 古墳出土土器観察表 |
| 第13表 | 土製円盤観察表 | 第26表 | 古墳出土鉄製品・玉類観察表 |

第1章 発掘調査及び再整理の経緯

曲畠遺跡の埋蔵文化財発掘調査は、民間企業による開発に伴い平成2年から平成4年にかけて実施された。当遺跡は周知の遺跡であったため、遺跡の所在する当時の南那須町（現在は烏山町と合併し那須烏山市）は、事業主と土地利用による遺跡の対応などについて事前協議を行い、埋蔵文化財発掘調査を実施することで委託契約を取り交わした。

第1次調査は平成2（1990）年10月4日から平成3（1991）年9月12日まで行った。その後、事業地拡大に伴い、平成3年12月9日から平成4（1992）年3月26日までの期間、南及び西側約2,500m²の第2次調査を実施した。総調査面積10000m²、検出遺構は竪穴住居跡約30軒、土坑約700基、古墳2基などである。特に縄文時代の遺構や遺物が数多く発見されたことから、平成3年3月30日には発掘調査現地説明会も開催した。当時はまだ大規模な発掘調査が少なかったこともあり、「県内屈指の縄文時代の大集落」などと報道され注目を浴びた。

発掘調査終了後、図面や写真などの記録や出土遺物の整理が平成4（1992）年5月25日から平成5年3月24日まで実施された。当初の計画では、平成4～6年度の3カ年で整理作業から報告書の作成までを予定し、委託契約が締結された。しかし、事業主の事情から事業実施が困難な状況となつたため、約1年間の整理作業のみで事業終了となつた。

その後、南那須町教育委員会によって『曲畠遺跡（写真図版編）』を平成11（1999）年3月30日付けて刊行した。続いて遺構・遺物の実測図と本文編の刊行を予定していたが、諸事情により頓挫してしまつた。整理作業が中断してしまつた曲畠遺跡に関する膨大な資料は、南那須町歴史民俗資料館に保管されていたが、平成23（2011）年3月11日に発生した東日本大震災によって、建物が被災し、収蔵していた多くの土器が破碎してしまつた。資料館は閉館となり、収蔵されていた遺物は市内の廃校（旧向田小学校・旧七合中学校）に避難するなど不遇な状況となつてゐた。

そこで那須烏山市では、貴重な埋蔵文化財であり地域の遺産でもある曲畠遺跡を多くの方々に周知していただき、地域を活かす資産とするため、令和4（2022）年からの3カ年計画で国庫補助事業を活用し、総括技術専門員（期限付任用職員）として実績のある埋蔵文化財担当者と、3名の業務補助員（会計年度任用職員）に協力いただき、本報告を作成する運びとなつた。

発掘調査から長い時間が経過しており、発掘当時を知る方々も少なくなつてゐたが、残された多量の図面や写真などの調査記録や、縄文時代の住居跡や貯蔵穴、古墳などから出土した様々な遺物を復元、図化など再整理を実施し、本報告書の刊行に至つた。本事業は、単に報告書を作成し記録保存するだけではなく、再整理された資料を公開し活用することを見据えて行った。すでに資料の一部は、山あげ会館に短期間ではあるが一般公開（平成6年7月18日～11月18日）するなど、地域資源を掘り起こし、保護していくための事業として実施した。

令和4（2022）年からの再整理3カ年計画の内容は、以下表のとおりである。

第1表 再整理事業の実施内容

| 実施年度 | 再整理事業の実施内容 |
|-------------|--|
| 令和4（2022）年度 | 資料状態の確認、写真・図面等の記録類と出土遺物の整理 全体図の作成、竪穴住居跡・土坑などの遺構の第二原図作成、出土遺物の選別、 土器の復元、縄文土器・土師器の実測および拓本 |
| 令和5（2023）年度 | 調査記録と出土遺物の整理 遺構トレース、出土土器の復元、縄文土器・石器の実測およびトレース、遺構・ 遺物実測図版作成 |
| 令和6（2024）年度 | 報告書作成および収納 遺構・遺物図版作成・原稿執筆、編集、出土遺物・記録類の収納 |

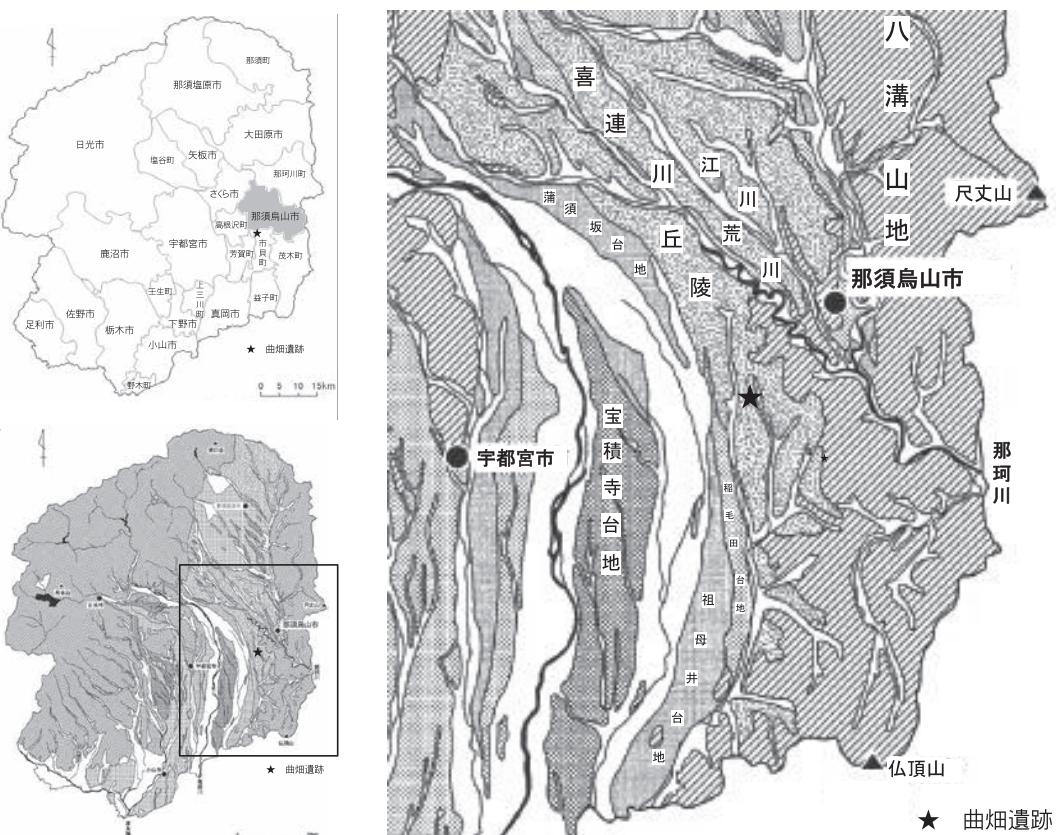
第2章 遺跡の環境

第1節 遺跡の位置と地理的環境

那須烏山市は栃木県の中央東部に位置し、北は那珂川町、西はさくら市・高根沢町、南は茂木町・市貝町と接し、南西は芳賀町と接する。東は茨城県境となり、常陸大宮市と接する。栃木県のほぼ中央の県都宇都宮市からは、ほぼ30km東に位置する。

那須烏山市の地形を概観すると、東側は県境に沿って八溝・鷺子・鶴足山塊からなる八溝山地が南北に連なる。その西側には那須岳に源を発す那珂川が蛇行をしながら南流し、市の西側は高原山南麓から益子町まで連なる喜連川丘陵が位置する。喜連川丘陵は谷底平野や多くの谷筋が形成された丘陵列となっており、北西から南東方向に延びる。高原山駿河ヶ岳に源を発す荒川や江川などの河川はこの丘陵列に沿って流れ、これらの河川沿いには河岸段丘が発達している。荒川は那須烏山市で蛇行しながら南東に流れ、江川と合流し、市南端の向田で那珂川に流入する。

曲畠遺跡は那須烏山市大字曲畠字兄弟久保に所在する。遺跡のある曲畠地区は那須烏山市の南西端に位置し、高根沢町中柏崎・市貝町大谷津と隣接し、芳賀町給部とも接する。遺跡は多くの谷筋が発達した喜連川丘陵の西側の丘陵列にあり、小貝川の右岸段丘上に立地する。標高151m、小貝川との比高は25mである。なお、小貝川は遺跡の北6kmにある小貝ヶ池に源を発し、茨城県取手市で利根川に合流する。本市の多くの遺跡が那珂川水系であり、曲畠遺跡は水系が異なることになる。



第1図 曲畠遺跡の位置と周辺の地形

第2節 歴史的環境

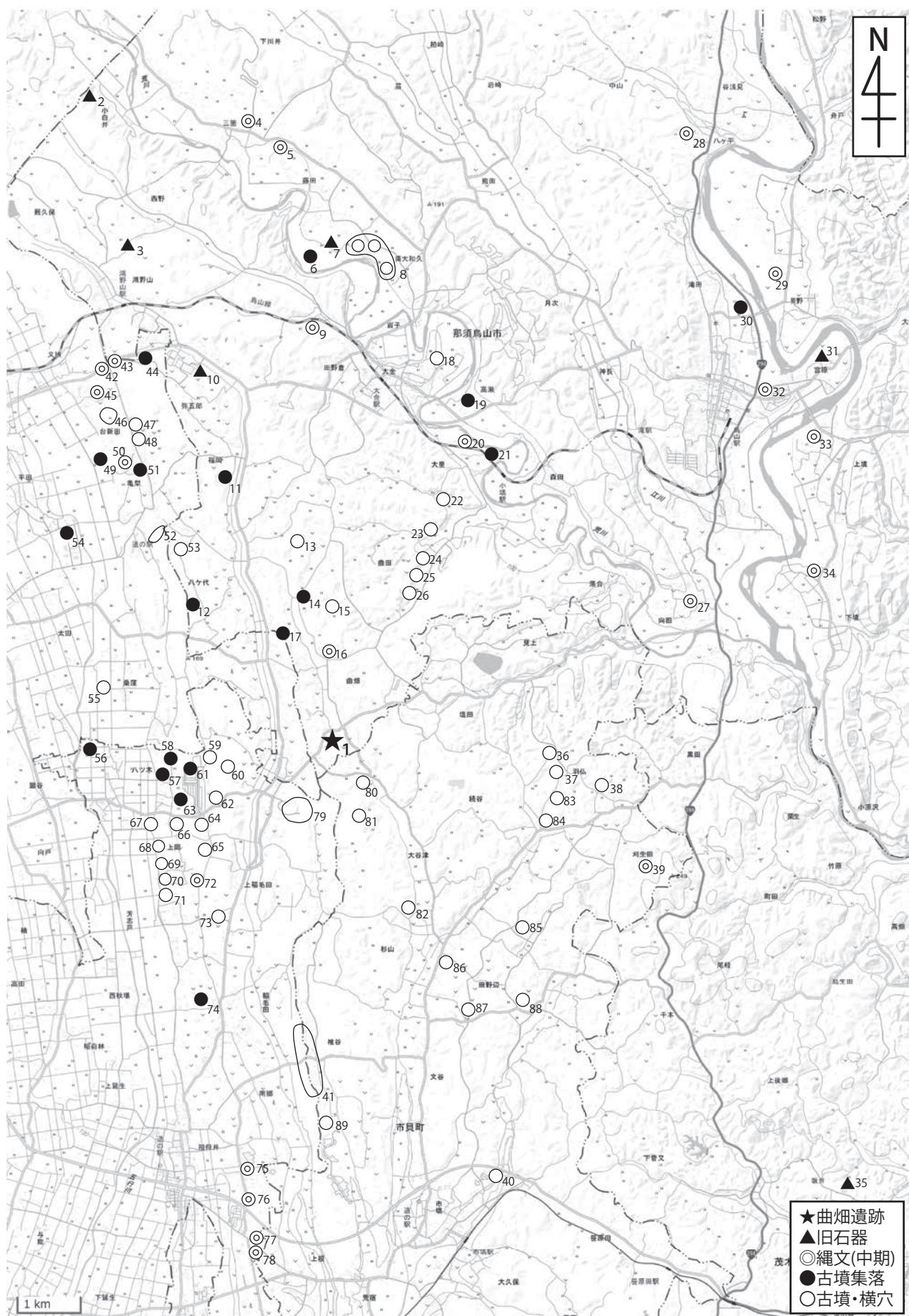
那須烏山市では350ほどの遺跡が確認されている。その多くは那珂川及びその支流の段丘上に立地している。しかし前節で記したように、曲畠遺跡(1)は市の南西端に位置し、水系も異なるため、隣接する高根沢町・芳賀町・市貝町を含め、本遺跡と関連のある時期の周辺の遺跡を概観する。

旧石器時代 市内では宮原遺跡(31)から3点の大形尖頭器、弥五郎遺跡(10)でナイフ形石器、馬屋久保遺跡(2)で彫刻刀形石器、後久保遺跡(3)で尖頭器、大和久学園遺跡(7)で剥片が出土して程度である。暗色帶からATにかけての時期の石器は、茂木町並松遺跡(35)や中根遺跡で出土している。

縄文時代 曲畠遺跡の時期である中期の遺跡に限って記す。曲畠遺跡の周辺では北2kmに台畠遺跡(16)、谷を挟んで西側には散布地が数カ所確認されている。喜連川丘陵上の北方5~6kmには大野遺跡(42)、荻ノ平遺跡(43)、日向A遺跡(45)、坂向場B遺跡(50)、南方5~6kmは弁天池遺跡(75)、弁天池南遺跡(76)、赤坂道上北遺跡(77)、赤坂道上遺跡(78)などの遺跡が密集する。那須烏山市この時期の遺跡は、那珂川及び支流の荒川の段丘上に多く確認されている。那珂川流域には白山平遺跡(28)、羽場遺跡(29)、泉遺跡(32)、三ツ木西和久遺跡(33)、鳴井上遺跡(34)、荒川流域には、室ノ木A遺跡(4)、戸田遺跡(5)、小川原沢遺跡(9)、小鍋前遺跡(20)、滝川前遺跡(27)などの遺跡が3~4kmの間隔で確認されている。遺跡の南東は中期の遺跡は少なく、和平遺跡(39)、添野遺跡(市貝町市塙)が確認されている程度である。

古墳時代 弥生時代から古墳時代中期までの遺跡は喜連川丘陵には少なく、丘陵西側の稻毛田台地や五行川低地で遺跡が確認されている。坂向場A遺跡(49)、川端遺跡(51)、斧窪遺跡(17)などで前期の土器が、八ツ木新田遺跡(56)、八斗内遺跡(57)、芳賀町銭蔵遺跡(58)などで中期の土器が採集されている。砂部遺跡(54)では古墳時代前期5軒、中期45軒を含む130軒の古墳~平安時代の竪穴住居跡が検出されている。市内では北原遺跡(19)で前期の竪穴住居跡5軒、黒尾原A遺跡(上川井)で前期末~中期の溝跡が発掘調査で出土しているのみである。古墳時代後期になり遺跡は急増し、平安時代まで継続する大規模集落も少なくない。発掘調査された滝田本郷遺跡(30)、三百目遺跡(6)、大用地A遺跡(44)、北原遺跡(19)、砂部遺跡(54)のほか、遺跡地図や町史ではこの時期の土器片が採集されている遺跡が少なくない。曲畠遺跡の北には西山遺跡(12)、大赤根遺跡(14)、西道地遺跡(福岡)などで古墳時代後期~古代の土器が採集されている。また荒川・江川流域にも三百目遺跡(6)、北原遺跡(19)、久保遺跡(21)、黒尾原遺跡(上川井)など多くの遺跡が確認されている。

古墳も高根沢町亀梨上の台古墳(47)で前期の方形周溝墓が1基確認されているが、5世紀以前のものはほとんどない。5世紀から6世紀前半の古墳は、散布地が確認されている芳賀町芳志戸・給部地区で集落と付随した芳志戸十三塚古墳(73)や千が窪古墳(62)などがある。6世紀後半以降は古墳群が急増する。曲畠遺跡と同じ小貝川流域で2km北には4基の円墳からなる四ツ塚古墳(15)、さらに1km北には前方後円墳1基と円墳4基からなる金堀塚古墳(13)がある。さらに北西5~6kmの喜連川丘陵には台古墳群(46)、上の台古墳(47)、甲塚古墳群(52)などがある。上の台古墳やカリマタ窪古墳(53)の石室には曲畠古墳同様、凝灰岩の切石が使用されている。一方、丘陵南側にも七つ塚古墳群(79)、舛塚古墳群(81)、駒塚古墳群(82)、関根古墳群(86)、頬朝塚古墳群(40)、椎谷古墳群(41)をはじめ多くの古墳群が確認されている。また、市内の荒川流域には6世紀前半には珠文鏡と子持勾玉が出土したとされる東原古墳群(18)が、6世紀後半になると胴張り型川原石積みの横穴式石室が調査された大和久古墳群(8)がある。原の前・寺田・林先の支群からなり、7世紀前後まで築造されたと考えられている。7世紀には、那須烏山市を含む県東部では横穴墓群が発達する。曲畠遺跡の北東3kmには鴨毛・岩穴・芝下・成合・吉原の4つの横穴墓群(22~26)が、南東3kmには長峰・八重沢・羽仏の3つの横穴墓群(36~38)が小範囲に集中している。



第2図 周辺の遺跡

第2表 周辺の遺跡

| No. | 遺跡名 | 所在地 | 種別 | 時期 | 参考文献 | 備考・参考文献 |
|-----|----------|-----------|--------|-----------|--|---------------------------------------|
| 1 | 曲輪遺跡 | 那須烏山市曲畑 | 集落跡・古墳 | 旧石器・縄文・古墳 | 本報告、南那須町教育委員会1999『曲輪遺跡(写真図版編)』 | 中～晚期、2000～2001年発掘、栃木県教育委員会2003『牧ノ平遺跡』 |
| 2 | 属久保遺跡 | 那須烏山市鶴野山 | 集落跡 | 旧石器・縄文 | 本報告、南那須町教育委員会1993『南那須町史』史料編 | 後期、高根沢町1995『高根沢町史』資料編 |
| 3 | 後久保遺跡 | 那須烏山市鶴野山 | 集落跡 | 旧石器・縄文 | 本報告、南那須町教育委員会1993『南那須町史』史料編 | 中期、高根沢町1995『高根沢町史』資料編 |
| 4 | 室・木戸遺跡 | 那須烏山市鶴野三箇 | 集落跡 | 縄文・古墳 | 1982年発掘、中期、戸田古墳群開闢造成時多數の縄文中期土器出土 | 中期、高根沢町1995『高根沢町史』資料編 |
| 5 | 戸田遺跡 | 那須烏山市鶴野三箇 | 集落跡 | 縄文・古墳 | 2015年発掘、中期、戸田古墳群開闢造成時多數の縄文中期土器出土 | 後期、高根沢町1993『南那須町史』史料編 |
| 6 | 三百目遺跡 | 那須烏山市藤田 | 集落跡 | 古墳 | 2015年発掘、中期、戸田古墳群開闢造成時多數の縄文中期土器出土 | 後期、那須町2000『南那須町史』通史編 |
| 7 | 大和久字遺跡 | 那須烏山市大和久 | 散布地 | 旧石器 | 寺田支群(円墳7基)、原の前支群(消滅)、林生支群前方後円墳2基、円 | 前史・南那須教育委員会1987『大和久古墳群発掘調査報告書』 |
| 8 | 大和久古墳群 | 那須烏山市大和久 | 古墳 | 古墳 | 寺田支群(円墳7基)、原の前支群(消滅)、林生支群前方後円墳2基、円 | 前史・南那須教育委員会1983『南那須町史』史料編 |
| 9 | 小川原汎跡 | 那須烏山市小川原 | 古墳 | 縄文 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 10 | 弥五郎遺跡 | 那須烏山市福岡 | 集落跡 | 旧石器・縄文 | ナイフ形石器、縄文、南那須町1993『南那須町史』史料編 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 11 | 西道地遺跡 | 那須烏山市福岡 | 散布地 | 古墳 | 後期、那須町1993『南那須町史』史料編 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 12 | 西山遺跡 | 那須烏山市八ヶ代 | 散布地 | 古墳 | 後期、那須町1993『南那須町史』史料編 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 13 | 金堤家古墳 | 那須烏山市曲畑 | 古墳 | 古墳 | 前方後円墳1基、円墳4基、南那須町1993『南那須町史』史料編 | 後期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 14 | 大赤丸遺跡 | 那須烏山市曲畑 | 散布地 | 古墳 | 後期、那須町1993『南那須町史』史料編 | 後期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 15 | 四ツ塚古墳群 | 那須烏山市曲畑 | 古墳 | 古墳 | 円墳4基、南那須町1993『南那須町史』史料編 | 中期、那須町1993『南那須町史』史料編 |
| 16 | 台溜遺跡 | 那須烏山市曲畑 | 散布地 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 17 | 余溜遺跡 | 那須烏山市曲畑 | 散布地 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 18 | 東原古墳群 | 那須烏山市東原 | 古墳 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 19 | 北原遺跡 | 那須烏山市高瀬 | 古墳 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 20 | 小鍋前遺跡 | 那須烏山市大里 | 集落跡 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 21 | 久保遺跡 | 那須烏山市大里 | 散布地 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 22 | 鴨毛塚古墳群 | 那須烏山市曲田 | 墓跡 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 23 | 岩穴塚古墓群 | 那須烏山市曲田 | 墓跡 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 24 | 芝下横穴群 | 那須烏山市曲田 | 墓跡 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 25 | 成合横穴群 | 那須烏山市曲田 | 墓跡 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 26 | 吉原横穴墓群 | 那須烏山市曲田 | 墓跡 | 古墳～古代 | 古墳 | 古墳 |
| 27 | 滝前遺跡 | 那須烏山市向田 | 散布地 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 28 | 白羽場遺跡 | 那須烏山市中山 | 散布地 | 古墳 | 古墳 | 古墳 |
| 29 | 白羽場遺跡 | 那須烏山市奥野 | 集落跡 | 縄文 | 1983～1995年発掘、栃木県教育委員会1997『荒川井本郷遺跡』 | 中期、烏山町1978『烏山町史』 |
| 30 | 流田本郷遺跡 | 那須烏山市流田 | 散布地 | 古墳 | 縄文 | 中期、烏山町1978『烏山町史』 |
| 31 | 宮原遺跡 | 那須烏山市宮原 | 古墳 | 古墳 | 大形尖頭器3点、森鶴秀一2002年須烏山市宮原遺跡出土石器の再検討 | 中期、烏山町1978『烏山町史』 |
| 32 | 泉遺跡 | 那須烏山市旭2丁目 | 集落跡 | 縄文 | 古墳 | 中期、烏山町1978『烏山町史』 |
| 33 | 三ツヶ西和久遺跡 | 那須烏山市上境 | 集落跡 | 縄文 | 2010年発掘、中後期、那須烏山市教育委員会2011『三ヶ西和久遺跡』 | 中期、那須烏山市教育委員会2012『赤坂道上遺跡』 |
| 34 | 鳴井上遺跡 | 那須烏山市下境 | 集落跡 | 縄文・古墳・古代 | 1958～2001年発掘、中～晚期、宇都宮大学歴史研究会1960『栃木県那須郡鳴井上遺跡調査報告書』、栃木県教育委員会2023『鳴井上遺跡』 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 35 | 並松遺跡 | 茂木町坂井 | 集落跡 | 旧石器・縄文 | 茂木町1997『茂木町史』第2巻資料編 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 36 | 長峰横穴墓群 | 市貝町綾谷 | 墓跡 | 古墳～古代 | 26穴、市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 37 | 八重波穴墓群 | 市貝町綾谷 | 墓跡 | 古墳～古代 | 市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 38 | 羽佐横穴墓群 | 市貝町綾谷 | 墓跡 | 古墳～古代 | 市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 39 | 和平遺跡 | 市貝町刈生田 | 散布地 | 縄文 | 中後期、市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 40 | 賴朝古墳群 | 市貝町市端 | 古墳 | 古墳 | 市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 41 | 椎合古墳群 | 市貝町椎谷 | 古墳 | 古墳 | 市貝町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |
| 42 | 大野遺跡 | 高根・沢町飯室 | 集落跡 | 縄文 | 大野町1990『市貝町史』第1卷 | 中期、那須町1990『市貝町史』第1卷 |

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 旧石器時代

(1) 基本土層

本遺跡は喜連川丘陵の一角に位置し、南北に走る丘陵主幹から南東に樹枝状に張り出した尾根の鞍部平坦面に立地している。基盤は凝灰岩で境林礫層以上を載せる。丘陵の場所によって異なるが、本遺跡の所在する尾根は真岡パミス以上を安定して堆積していると考えられる。遺物の発見された地点は耕作や流失により暗色帯の上部ロームから上位を欠失し、表土は黒土とロームが混じった耕作土であった。以下に近傍の基本的な堆積層序を示す(第3図)。

| | |
|-------------|---|
| I層：黒色土 | 現表土層で、腐植土を多量に含む。 |
| II層：赤褐色土 | 赤褐色のパミスで一部成層をなし、七本桜パミス(Nt-SP)層に対比される。 |
| III層：橙色土 | 橙色のパミスで今市パミス(Nt-IP)層に対比される。 |
| IV層：黄褐色土 | 黄褐色のローム層で、上位に乳白色の火山性微粒子(板鼻黄色パミスAs-YPに比定される)を含み、上位ほど軟質(所謂ソフトローム)である。 |
| V層：暗黄褐色土 | IV層よりやや暗い黄褐色のローム層で、赤褐色パミス(片岡パミスNt-KtP)を含む。 |
| VI層：明黄褐色土 | 硬質の明黄褐色土のローム層で、中位に未発泡の火山性堆積物(小川スコリアNt-OS)を含む。本層の下位に始良・丹沢火山灰(AT)に由来する火山ガラスの分布が予測される。 |
| VII層：暗褐色土 | 軟質の暗褐色のローム層で、暗色帯に比定される。(石器出土層位) |
| VIII層：黄褐色土 | やや硬質の黄褐色のローム層である。 |
| IX a層：明黄褐色土 | 未発泡の火山性堆積物で鹿沼軽石層(Ag-KP)の一部で砂質である。 |
| IX b層：黄色土 | 黄色のパミス層で、鹿沼軽石層(Ag-KP)に比定される。 |

(2) 遺物発見の経緯

曲畠遺跡は那須烏山市を代表する縄文時代中期の遺跡である。特に土坑の数の多さは特筆され、調査区の地表面のほとんどは土坑に覆われているといつても過言ではない。旧石器時代の遺物は土坑の調査の際に壁面より発見され、その安山岩剥片の特徴から旧石器時代の遺跡の存在が予測された。しかし調査可能な範囲が土坑の掘られていない所に限定されるため、結果的に制約を受けてしまった。遺物はF-5 bグリッドの北西部の径10mほどの範囲で、前述した基本層序VII層(暗色帯)の中位からの出土である(第4図)。

(3) 遺物の概要と位置付け

以下の1～9は発掘資料である(第5図、図版112)。

1は台形様石器である。素材には一方向より加撃された貝殻状の剥片が使用されている。打撃点を基部として、基部と右側縁にやや鈍角な剥離、右側縁には左側縁よりやや鋭角な剥離が加えられている。しかし、この左右における二次加工の違いは、加工法の違いよりも、素材形状によるものと捉えるべきであろう。打瘤は除去されている。加撃方向は背部から腹部に向かって行われている。大きさは29.3mm(長さ)×16.5mm(幅)×6.5mm(厚さ)、重さ2.85gである。石材は茶色の碧玉である。

2は台形様石器である。素材には背部と腹部が同じ方向から剥離し、打点方向を裁断技法により除去した剥片が使用され、先端の鋭利な部分を利用している。二次加工は右側縁と基部に集中する。腹部から背部に連続的に鋭角な剥離が加えられ、その後背部から腹部に調整加工が施されている。大きさは33.0mm(長さ)×20.5mm(幅)×6.6mm(厚さ)、重さ3.79gである。石材は安山岩である。

3は加工痕のある剥片である。背部に自然礫面を残し、腹部右側面(斜線部)は節理面である。剥離面は判然としないが基部の二次加工は背部から腹部に向かって、右側面は節理面から背部に向かって施されている。大きさは29.6mm(長さ)×25.0mm(幅)×9.1mm(厚さ)、重さ6.61gである。石材は硬質の砂岩である。

4は一方向から加撃された縦長剥片である。背部には逆方向からの剥離も看取される。打面は事前に用意されているが打面調整は行われていない。大きさは51.5mm(長さ)×36.0mm(幅)×14.2mm(厚さ)、重さ15.80gである。石材は白色の凝灰質頁岩である。

5は一方向から加撃された縦長剥片である。背部は3面の作業面で構成され、打面は事前に用意されているものの、打面調整は看取されない。大きさは53.6mm(長さ)×48.2mm(幅)×10.5mm(厚さ)、重さ17.65gである。石材は安山岩である。

6は不定形の剥片であるが、背部・腹部ともに一方向からの剥離であることが看取され、上半部を裁断により欠損している。大きさは34.8mm(長さ)×13.4mm(幅)×7.0mm(厚さ)、重さ2.41gである。石材は安山岩である。

7は剥片である。背部・腹部とともに同じ方向から剥離され、打面は造出されている。大きさは33.0mm(長さ)×32.0mm(幅)×9.5mm(厚さ)、重さ5.40gである。石材は安山岩である。

8は石核の素材である。円礫の特定部に5面の試し割り様の剥離面が看取される。大きさは82.3mm(長さ)×73.3mm(幅)×70.5mm(厚さ)、重さ635gである。石材は安山岩である。

9は石核の素材である。円礫の特定部に1面の試し割り様の剥離面が看取される。大きさは101mm(長さ)×80.5mm(幅)×83.5mm(厚さ)、重さ794gである。石材は擦痕状の脱去痕の多い安山岩である。

以上、遺物はF-5 b グリッドの北西部を中心に緩慢に分布する。総数は9点であるが、1カ所のブロックの調査を完了したものと考えられる。このブロックの特徴を列挙すると、定型石器の比率が高い。石核・

剥片・台形様石器といった石器組成が存在する。剥片剥離技法として石刃技法を駆使している。その石刃技法は打面を事前に用意するものの、打面の調整は行わない。このことから当然縦長の剥片を用意し、縦型のナイフ形石器も所有していたものと考えられるが、今回の調査では出土していない。

石材も安山岩を中心として碧玉・凝灰質頁岩・硬質砂岩といった在地系のものと考えられる。安山岩は田川水系のものと大洗海岸系のものが識別できた。碧玉・凝灰質頁岩・硬質砂岩は荒川・那珂川水系のものであろう。剥片や石核の接合関係はなかった。

こうした石器群の内容と出土層位から勘案して、遺跡の所属する時期的段階を後期旧石器時代の前半、そのうちでも初期の段階に比定することが可能である。

(4) 遺構確認作業中に採取された石器

以下の1～4は遺構確認中に採取された石器(第6図)であり、出土位置や層位は確認できなかった。1は有舌尖頭器である。細身で基部に軽い抉りを有し、槍身部と茎部を分ける肩部は明瞭ではない。およその加工順は、表面では右側縁の先端から基部に向かって、次の裏面の左側面の基部から先端に向かい加工が進む。裏面は右側面の基部から先端に、次に表面の左側縁の基部から先端に向かって加工がおこなわれ、最後に微調整が全体に施されている。茎部は微小な磨滅が看取される。大きさは55.5mm(長さ)×15.0mm(幅)×6.5(厚さ)、重さ5.86gである。石材は灰色のチャートである。

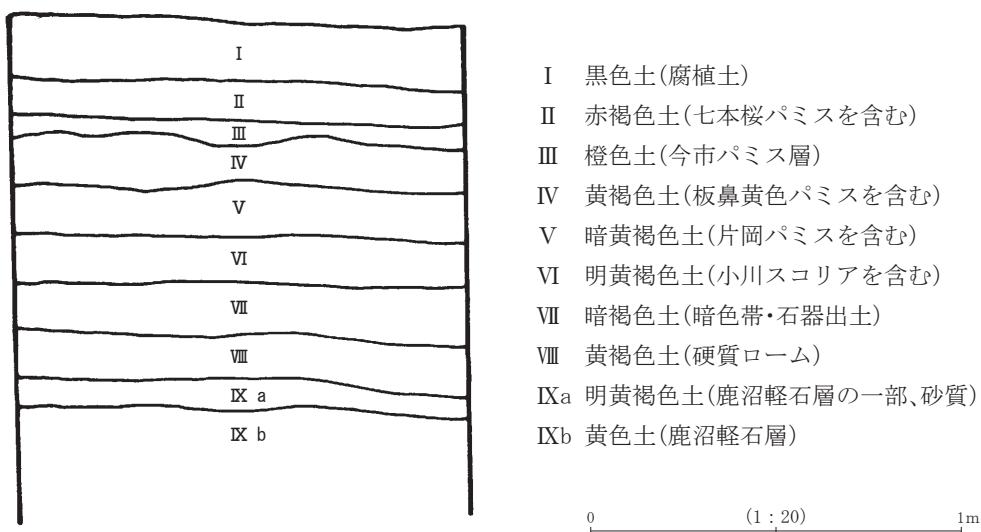
2はエンドスクレーパーである。素材には縦長の石刃状剥片が使用され、基部が刃部として使用されている。二次加工は背面と腹面に面的加工が施されているが、先端は背面のみ加工が限定されている。上端部は二次加工が施された後に裁断されており、この折れが意識的なものであるかどうかは重要な点である。大きさは36.9mm(長さ)×23.5mm(幅)×9.7(厚さ)、重さ9.50gである。石材は白色の玉髓で所謂蛋白石と呼ばれる部位を含む。

3はエンドスクレーパーである。素材は縦長の石刃状剥片が使用され、基部が刃部として使用されている。二次加工は刃部に集中し、背面と腹面に面的加工が施され、腹面には特に打瘤を除去する目的があるものと思われる。側縁はあまり二次加工が施されず上端は裁断加工である。大きさは35.0mm(長さ)×22.5mm(幅)×9.7(厚さ)、重さ6.84gである。石材は茶色の碧玉である。

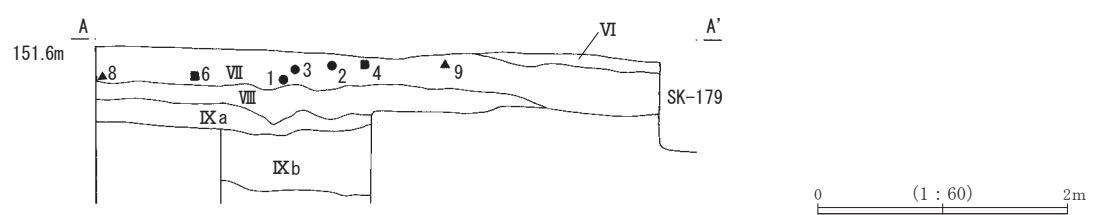
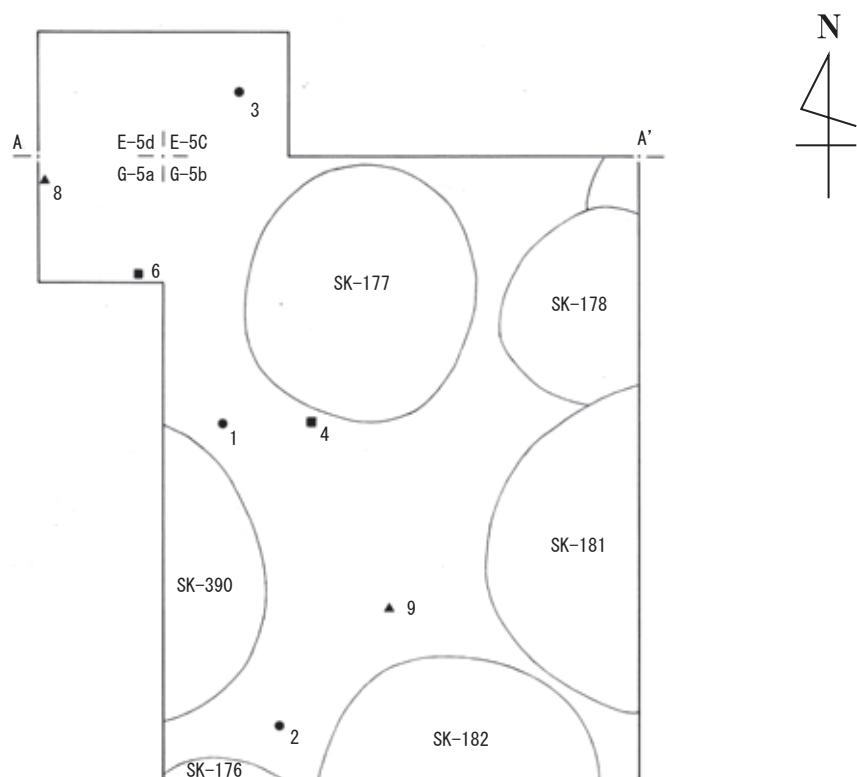
4は大形のエンドスクレーパーである。素材は縦長の石刃状剥片である。右側面には自然礫面が残る。二次加工は刃部にのみ施され、加撃方向は腹部から背部の方向に限定される。上端は切断加工である。大きさは55.3mm(長さ)×36.2mm(幅)×21.0(厚さ)、重さ38.42gである。石材は安山岩である。

この表採に等しい石器群を一つのブロックに由来するという証拠はないが、その内容からみて時期的に一つの段階に包括されるものと考えることは可能である。今仮に一つのブロック内出土と仮定したとして、石器組成の全体像をとらえることはできないが、有舌尖頭器とエンドスクレイパーを組成に持つ旧石器時代終末～縄文時代草創期の石器群に比定できるものと考えられる。

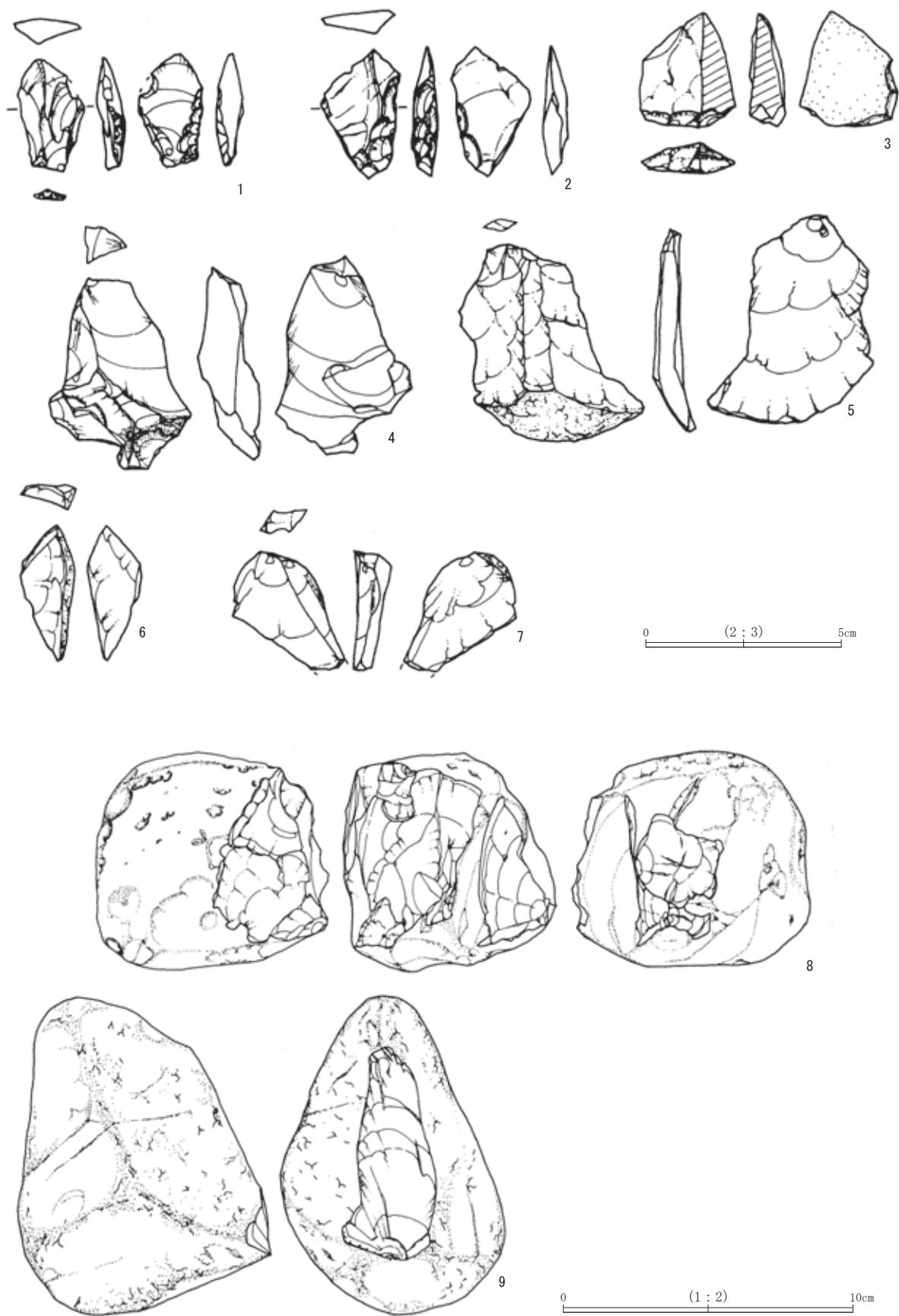
— • 152.0m • —



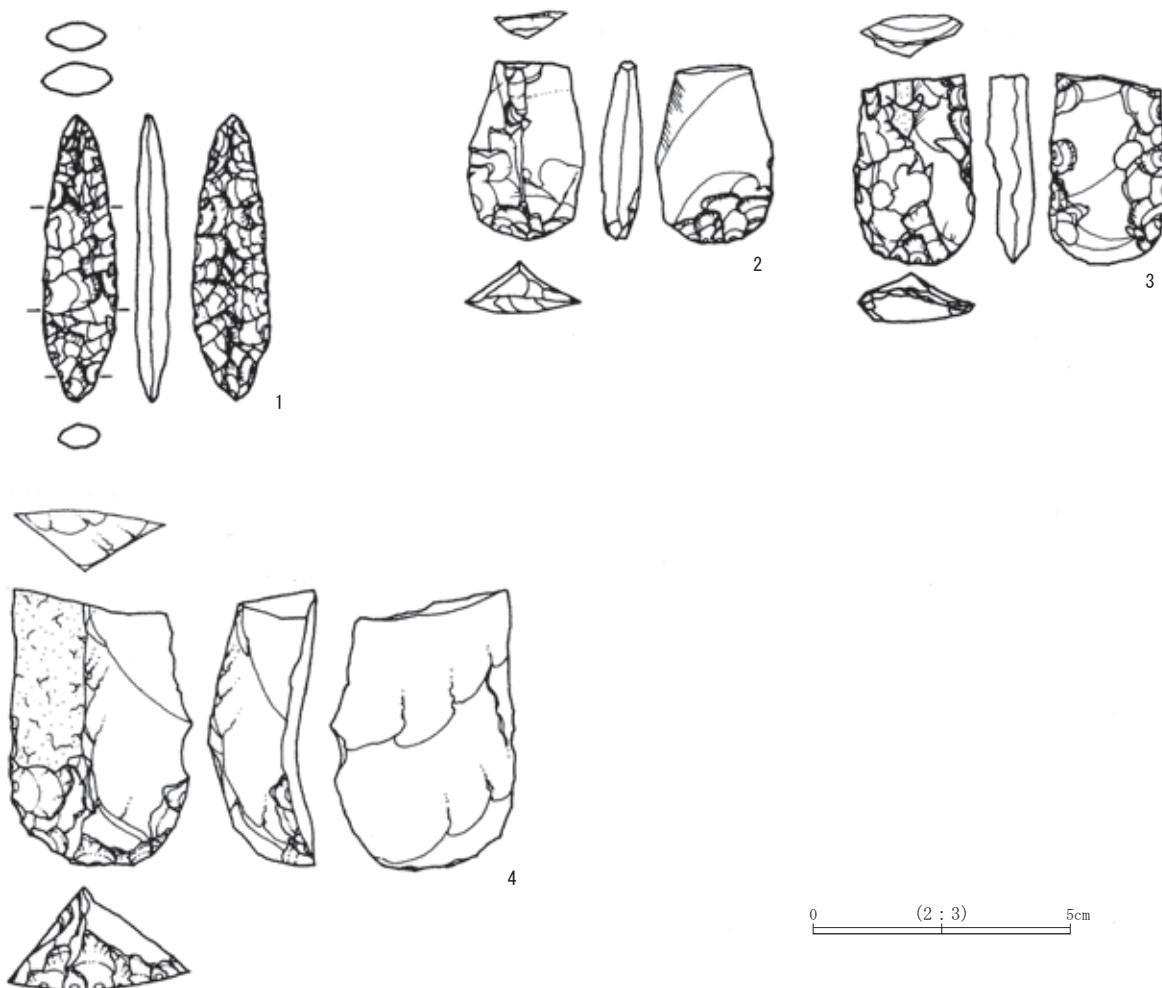
第3図 基本土層図



第4図 VII層出土石器分布図



第5図 VII層出土石器実測図



第6図 遺構確認時出土石器実測図

第3表 VII層出土旧石器観察表

| No. | 器種 | 最大長 (mm) | 最大幅 (mm) | 最大厚 (mm) | 重さ (g) | 石材 | 写真図版 | 備考 |
|-----|----------|----------|----------|----------|--------|-------|------|------------------|
| 1 | 台形様石器 | 29.3 | 16.5 | 6.5 | 2.85 | 碧玉 | 112上 | F-5bグリッド、VII層中 |
| 2 | 台形様石器 | 33 | 20.5 | 6.6 | 3.79 | 安山岩 | 112上 | F-5bグリッド、VII層中 |
| 3 | 加工痕のある剥片 | 29.6 | 25 | 9.1 | 6.61 | 硬質砂岩 | — | E-5cグリッド、VII層中 |
| 4 | 剥片 | 51.5 | 36 | 14.2 | 15.8 | 凝灰質頁岩 | 112中 | F-5bグリッド、VII層中 |
| 5 | 剥片 | 53.6 | 48.2 | 10.5 | 17.65 | 安山岩 | 112中 | F-5bグリッド、SK-182壁 |
| 6 | 剥片 | 34.8 | 13.4 | 7 | 2.41 | 安山岩 | 112中 | F-5aグリッド、VII層中 |
| 7 | 剥片 | 33 | 32 | 9.5 | 5.4 | 安山岩 | 112中 | F-5bグリッド、SK-182壁 |
| 8 | 石核素材 | 82.3 | 73.3 | 70.5 | 635 | 安山岩 | 112中 | F-5aグリッド、VII層中 |
| 9 | 石核素材 | 101 | 80.5 | 83.5 | 794 | 安山岩 | 112中 | F-5bグリッド、VII層中 |

第4表 遺構確認時出土旧石器観察表

| No. | 器種 | 最大長 (mm) | 最大幅 (mm) | 最大厚 (mm) | 重さ (g) | 石材 | 写真図版 | 備考 |
|-----|-----------|----------|----------|----------|--------|------|------|------------------|
| 1 | 有舌尖頭器 | 55.5 | 15 | 6.5 | 5.86 | チャート | 112下 | 表採 |
| 2 | エンドスクレイパー | 36.9 | 23.5 | 9.7 | 9.5 | 玉髓 | 112下 | G-2cグリッド、SK-587 |
| 3 | エンドスクレイパー | 35 | 22.5 | 9.7 | 6.84 | 碧玉 | 112下 | F-6dグリッド、SK-308 |
| 4 | エンドスクレイパー | 55.3 | 36.2 | 21 | 38.42 | 安山岩 | 112下 | G-6a・dグリッド、SI-25 |

第2節 繩文時代

(1) 検出遺構の概要と時期区分

繩文時代の遺構は、中期前葉～後葉の竪穴住居跡24軒、土坑669基、集石遺構2基、ピット群1基、捨て場2か所である。畑造成による削平やトレンチャーなどで上方が失われ、遺存状態の悪い遺構も少なくない。調査区北及び西側は斜面となり遺構は少なくなるが、東及び南側は土坑が密で重複も著しく、調査区外にさらに遺構が広がることが予想される。

調査区の中央は、F-4cグリッドを中心に径15～20mほどの範囲に遺構がなく、その周囲に竪穴住居跡・土坑が重複しながら分布している。土坑に比べ竪穴住居跡の数は少ないが、中央の広場を囲んで土坑と竪穴住居跡が分布している。また、調査区の北側と南側には捨て場が確認されている。北側の捨て場からは各時期のたくさんの土器と石器が出土している。

本遺跡の時期については、SK-233で後期初頭の土器が1点出土している以外は、中期前葉～後葉（阿玉台Ia式～加曾利EIII式）で、遺構・遺物とも加曾利E I式期のものが最も多い。時期区分については、本遺跡と同じ県東部の那須烏山市小鍋前遺跡と茂木町桧の木遺跡の発掘調査報告書、塚本師也氏の論文（「栃木県北部の繩文時代中期前～中葉の土器編年」）を参考に、前半は関東の阿玉台式、後半は加曾利E式を基軸に並行する東北の大木式を考慮しながら、概ね以下の10期に区分した。以下、各期の土器型式と特徴、主な遺構を示す。なお、明確な阿玉台Ia式はSK-322で破片が出土している程度なので、ここでは時期設定は行わなかった。

I期 阿玉台Ib式/大木7b式

阿玉台Ib式もほとんどが破片資料である。断面三角形の隆帯、口縁区画内に波状や斜行の単列角押文を施文。併行する大木7b式土器については明確ではない。

遺構：SK-102（～II）・135（～II）・188（～II）・305（～II）・308・312（～II）・328・407

II期 阿玉台II式/大木7b式

断面三角形の隆帯に沿って複列の角押文、胴部キザミ目列が施される。鰓状突起。地紋が繩文で有節沈線により文様が展開する七郎内II群土器が伴う。

遺構：SK-8・193・246（～III）・282・526

III期 阿玉台III式/大木8a式古段階

大波状口縁が優勢、太い断面蒲鉾状隆帯に幅広の角押文が沿う。大木系土器は把手が環状中空化、七郎内II群土器、口縁部に背に刻みを施したS字状隆帯が付く。勝坂式土器や火炎系土器。

遺構：SK-85・87（～IV）・375・399・412・481・483・542・625・669・700

IV期 阿玉台IV式/大木8a式中段階

深鉢は波状口縁が大多数。隆帯に沿って沈線を沿わせる。地紋は繩文が多く、隆帯上にも繩文施文。大木系突起は複雑で中空立体化。胴部文様は半截竹管による平行沈線で大柄な渦文や幾何学的文様などが展開する。火炎系土器も沈線は半截竹管で半隆起沈線。

遺構：SK-36・99・134（～V）・297・354・380・394・441・522・665

V期 加曾利E I式古段階/大木8a式新段階

口頸部に文様帯を配すキャリパー形土器が出現する。口縁部文様帯は近接した2条の隆帯で文様が展開するもの、下方の区画隆帯がないもの、口頸部区画隆帯があっても文様が接しないものが多い。地紋の繩文施文後に隆帯文貼り付け、隆帯には沈線が添わない。大柄な曲線隆帯とそれに沿わせて沈線を充填した口頸部文様帯に繩文地紋の胴部の淨法寺類型、口辺や口頸部に交互刺突を施した中峠式、口縁部

文様帶内を縦方向の沈線を充填する東関東系の土器、口縁部・頸部・胴部の文様帶構成の大木式的土器（背割れ隆帶等で幅の狭い口縁部、半截竹管文の平行沈線で頸部・胴部の文様が展開）。

遺構：SI-30（～VI）、SK-24・44・70（～VI）・74（～VI）・76・392・396（～VI）・454・466・477・505・523・579・591・609・615・646

VI期 加曾利E I式中段階/大木8b式古段階

キャリパー形深鉢は口縁部文様帶の隆帶区画が確立する。隆帶でクランク文や下区画に接する横位のS字文、S字文に剣先文を付けたものなどが展開する。隆帶は2条で展開するものが多い。クランク文の区画内の地文は縄文のものが多いが、縦位の沈線を充填する東関東系のものもある。上下区画隆帶に接しない波状隆帶文は本遺跡で顕著である。隆帶文にはナデや沈線が沿うものが出現する。浄法寺類型もみられる。胴部は縄文のみのものが多いが、3条の沈線で懸垂文や、大木系渦巻文や剣先文が展開するものもある。台形土器はタンバリン形のものがみられる。

遺構：SI-15・26・30、SK-25・35・41・52・106・204・277・356（～VII）・389・393・421・440・456・501・580・609・663

VII期 加曾利E I式新段階/大木8b新段階

キャリパー形深鉢が斉一化する。口縁部文様帶には沈線の添う隆帶で渦巻文と長方形の区画文が交互に展開する。他に上下区画隆帶に接するジグザグ文や、渦巻文と区画文を交互に配する。隆帶は幅広で扁平化の傾向がみられる。胴部は縄文地紋で2～3条の沈線と蛇行沈線を交互に施す。沈線間の磨り消しは行わないか、磨り消しが不十分なものが多い。

遺構：SK-142・219・236・400・401・656

VIII期 加曾利E II式古段階/大木9式古段階

口縁部文様帶は、沈線の添う幅広扁平化した隆帶で曲線的に流れる渦巻文と区画文様が展開する。胴部は縄文地紋で2条の懸垂文間が磨り消される。胴部は3条の沈線で渦巻文、棘状文などが展開する大木系土器がある。連弧文土器。

遺構：SK-140・225・227・254・266・267・612

IX期 加曾利E II新段階～E III式古段階/大木9中段階

キャリパー形深鉢は口縁部の内湾は緩やかになる。口縁部文様帶の隆帶はほとんど扁平化し、沈線による渦巻文と楕円区画文で文様が展開する。胴部懸垂文の磨り消し幅は前時期に比べ広くなり、縄文帶が口縁部文様帶に接するものと、上方が閉じて短冊状になるものがある。凹線で区画された縄文帶で口縁部円文・胴部U字(短冊)文が展開する大木系土器。瓜実形注口土器。

遺構：SK-176・192・232・594

X期 加曾利E V式（後期初頭）

中期末葉加曾利E III新～E IV式は確認されていない。この時期の土器は1点のみである。波状口縁の大木深鉢で、胴部上方のくびれ部から直線的に開き、口縁部で軽く折れる。微隆起線を巡らし口縁部無文帶をつくり、以下縄文を施す。微隆起線の縄文をなで消さないことや器形から、後期初頭称名寺式段階の加曾利E IV式系の土器である。

遺構：SK-233

（注）

中村信博2006『桧の木遺跡』II 本田技研工業株式会社・桧の木遺跡調査団

塚原孝一2008『小鍋前遺跡』（『栃木県埋蔵文化財調査報告』第313集）栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団

塚本師也2019「栃木県北部における縄文時代前～中葉の土器編年」『研究紀要』第27号公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター

(2) 壇穴住居跡

壇穴住居跡は調査区から23軒検出された。土坑や古墳などと重複が著しいもの、掘り込みの浅いものが多い。そのため、遺物もSI-26・30以外は破片が数点しかなく、時期比定の困難なものも少なくない。

SI-8 (第7・13図、図版5・6)

位置：調査区の北側、D-6d、E-6aグリッドに位置する。南西がSK-100と重複しており、北西にSI-9、西側にSK-99が近接する。規模と形状：東西3.4m、南北5.3mの楕円形。確認面から床面までの深さは30cmである。覆土：2層に分層され、自然堆積である。柱穴：ピットは12本確認された。大きさは直径20～35cmの円ないしは楕円形で、床面からの深さは42～78cmである。位置関係から、柱間が1.0～1.3mのP1～P6、P8～P10の9本が主柱穴と想定される。炉跡：ほぼ中央に構築されている。57×46cmの楕円形の地床炉で、炉床は火熱により硬化赤変している。

出土遺物：復元可能な個体はなく、土器片10点、磨石1点を図示した。時期：阿玉台II式から加曾利E I式まで時間幅があるが、加曾利E I式期と考えられる。

SI-9 (第7・13図、図版7)

位置：D-5c～D-6dグリッドに位置し、最も北にある縄文時代の壇穴住居跡である。南東にはSI-8、南にはSK-37・99が近接する。規模と形状：北側に傾斜する緩斜面に位置するため、北西は不明瞭であるが、東西4.75m、南北3.9mの楕円形。確認面から床面までの深さは最も残りのよい南東側で10cmほどである。柱穴：ピットは9本確認された。P4が深さ24cmで若干浅いが、1.2～1.5m間隔で位置するP1～P7が柱穴と考えられる。P8・9についても炉を挟んでP3・P7とほぼ直線上に並ぶ。炉跡：ほぼ中央に55×45cmの楕円形の地床炉が検出された。

出土遺物：土器片3点と磨製石斧1点を図示した。他に剥片5点（黒曜石3）、玉の未製品と思われるもの1点が出土している。時期：小破片ではあるが出土土器から、加曾利E I式期と考えられる。

SI-10 (第7・13図)

位置：調査区の北東、F-5bグリッドに位置する。SK-76・106と重複する。規模と形状：東西2.95m、南北3.5mの楕円形。確認面から床面までの深さは38cmで、壁はなだらかに立ち上がる。覆土：2層に分層され、自然堆積である。柱穴：ピットは4本確認された。柱穴かどうかの判断は難しい。炉跡：なし。

出土遺物：遺物は少なく、破片2点を図示した。時期：小破片ではあるが出土土器から、阿玉台IV式期と考えられる。

SI-11 (第7・13図)

位置：調査区の北東、F-5bグリッドに位置し、遺構の密集する地域である。SK-84・85と重複し、東側にはSI-10・12が近接する。規模と形状：東西2.9m、南北3.35mのやや小型の楕円形。確認面から床面までの深さは15cmで、壁の立ち上がりはなだらかである。覆土：2層に分層された。下層はIP粒を多量含む。柱穴：ピットは東西壁際から5本検出されている。P1・2・4・5を主柱穴とすると南北の柱間1～1.2m、東西の柱間1.9～2.1mとなる。炉跡：なし。

出土遺物：遺物は少なく、土器片5点と石鏃及び磨石各1点を図示した。時期：小破片ではあるが、出土土器から加曾利E I式期と考えられる。

SI-12 (第7・13図)

位置：調査区の北東、F-5 b グリッドに位置する。SK-101・130・134と重複し、北側でSI-10と接する。規模と形状：東西3.0m、南北3.6mの隅丸長方形。確認面から床面までの深さは15cmである。覆土：1層で、自然堆積である。柱穴：ピットは3本検出されている。深さは12～24cmと浅く、本住居の柱穴かどうかは不明。炉跡：なし。

出土遺物：遺物は少なく、土器片2点を図示した。時期：小破片ではあるが、出土土器から加曾利E I式古段階と考えられる。

SI-13 (第8・13・14図、図版8)

位置：調査区の中央北寄り、F-4 b グリッドに位置する。規模と形状：東西3.25m、南北2.75mでの楕円形。確認面から床面までの深さは14cmである。覆土：褐色土1層で、IP粒を多量含む。柱穴：ピットは4本検出された。柱間はP2-P3が1.2m以外は1.5mで、4本主柱と考えられる。炉跡：なし。

出土遺物：遺物は少なく、破片9点を図示した。時期：出土土器から、概ね阿玉台IV式～加曾利E I式段階と考えられる。

SI-14 (第8・14図)

位置：調査区のほぼ中央北寄り、G-4 a グリッドに位置する。SK-221・224・230・236が近接するが、重複はない。規模と形状：東西3.75m、南北2.95mで楕円形。確認面から床面までの深さは40cmである。覆土：攪乱が著しいが、自然堆積で2層に分層された。柱穴：ピットは13本確認された。東西の壁際に直径20cm前後のピットが位置する。深さは東側が35cm前後、西側が15cm前後で浅い。炉跡：なし。

出土遺物：深鉢のほか、壺や器台の破片5点を図示した。他に磨石が1点出土している。時期：出土土器から、概ね加曾利E I式中段階と考えられる。

SI-15 (第8・14図)

位置：調査区のほぼ中央、G-4 a・G-4 d グリッド、中央広場の北西に位置する。床面にSK-263・264が重複し、南から西壁にかけてSK-238・532・534が接する。規模と形状：東西4.0m、南北5.45mの楕円形。確認面から床面までの深さは30～40cmである。覆土：攪乱が著しいが、褐色土1層である。柱穴：ピットは重複するSK-263・264の底面で確認されたものなど5本あるが、位置関係や深さなどから本住居跡に伴うかどうかの判断は難しい。炉跡：なし。

出土遺物：復元可能な個体が北側床面から横位で潰れた状態で出土している。時期：1の土器から加曾利E I式中段階と考えられる。

SI-16 (第9・14図、図版8)

位置：調査区の中央北寄り、F-4 c グリッドに位置し、SK-169と重複する。規模と形状：東西4.6m、南北3.9mの楕円形。確認面から床面までの深さは15cmである。覆土：IP粒を少量含む暗褐色土1層である。柱穴：ピットは4本確認された。4本主柱で、柱間は2.2～2.3mでやや西に寄る。炉跡：トレンチャーによる攪乱が著しいが、なかつたものと思われる。

出土遺物：遺物は少なく、土器片2点、石鏸・磨製石斧・磨石各1点が出土している。時期：小破片ではあるが、出土した土器から加曾利E II式期と考えられる。

SI-21 (第9図)

位置：調査区南東、G- 6 d グリッドに位置する。SK-278・284・285・287・305～308など多くの土坑が集中する。SK-307確認面で炉跡を検出し、周辺のピットから住居跡の存在を確認した。規模と形状：壁は確認されなかったが、柱穴の配置から東西6.5m、南北4.0mの楕円形と推定と推定される。柱穴：P1～6の6本主柱を想定した。P1～P5は深さ30cm前後であるが、P6は88cmで他の柱穴に比べ深い。柱間はP1～4が2.5～3.0mで、P4が若干外側に寄る。炉跡：50×40cmの楕円形の地床炉で、住居のほぼ中央に位置する。

出土遺物：なし。時期：遺物はないが、加曽利E I式期古段階のSK-307上に炉が存在することから、それ以降と考えられる。

SI-22 (第8・14図)

位置：調査区の中央からやや北東、G- 5 a グリッドに位置し、SK-129・231・235や古墳時代のSI-17が近接する。覆土：トレンチャーによる攪乱が著しいが、IP粒多量、炭化物を少量含む暗褐色土1層である。規模と形状：東西2.4m、南北3.6mの楕円形。確認面から床面までの深さは40cmである。柱穴：ピットは東及び南側の壁際から4本確認されたが、本住居に伴うものかは不明である。炉跡：なし。

出土遺物：覆土中から出土した土器片2点を図示した。時期：小破片ではあるが、出土した土器から加曽利E II式期と考えられる。

SI-24 (第10・14図)

位置：調査区の南東、H- 5 b グリッドに位置し、北西コーナーでSK-372と重複する。本住居跡が古い。規模と形状：東西3.24m、南北2.68mの隅丸長方形。確認面から床面までの深さは45cmである。覆土：トレンチャーによる攪乱を受けているが、3層に分層された。IP粒の混入が目立つ。柱穴：ピットは3本確認された。大きさと床面からの深さはP1：32×25cm、深さ37cm、P2：24×18cm、深さ20cm、P3：24×21cm、深さ32cmである。北西SK-372内にも存在したと思われ、4本主柱であろう。炉跡：なし。

出土遺物：覆土中から出土した土器片3点を図示した。時期：加曽利E I式新段階のSK-372に切られていることと、小破片ではあるが出土土器からの阿玉台IV式期と考えられる。

SI-26 (第10・14・15図、図版9～11・13・68)

位置：調査区の南端、I- 5 a グリッドに位置し、北西にSI-28、南西にSI-29が近接する。またSK-462・463と重複する。規模と形状：東西6.2m、南北5.9mのほぼ円形。確認面から床面までの深さは、南向きの緩斜面に位置するため、北壁で34cm、南壁で12cmである。覆土：IP粒を少量含む黒褐色土1層である。柱穴：ピットは19本確認された。やや北西に寄るが、深さ50～60cmのP1・2・5・8ないしは9の4本主柱、P-1・2・4・6・7・12の6本主柱などが考えられる。炉跡：確認されなかった。

出土遺物：住居中央から南側で床面から10～20cm浮いて、復元3個体（深鉢2・鉢1）を含む多くの土器片と石器（石鏃1、磨石1）が出土している。時期：復元された4・5・10から加曽利E I式中段階と考えられる。

SI-27 (第10・16図、図版11～13)

位置：調査区の南端、I-4b・I-5 a グリッドに位置し、北側でSK-451～453と重複する。南側は調査区外となる。規模と形状：東西5.65m、南北5.2mの略円形。中央は東西4.1m、南北4.4mの隅丸方形に

掘り込んでおり、南側が1.5mほどの幅で張り出す。確認面から床面までの深さは北側で30~40cm、東側で15cmほどである。下段の壁は15~20cmである。壁溝は北東と西側で確認された。覆土：ピットを含め3層に分層した。各層ともIP粒の混入が目立つ。柱穴：ピットは住居内から7本確認された。P1~4の4本が主柱穴と考えられる。また壁溝と重複するP8~16は壁柱穴の可能性が高い。また中央に小ピットがたくさん検出されている。炉跡：中央東より地床炉が検出された。45×35cmの楕円形で、硬化赤変が著しい。

出土遺物：覆土中から土器片10点、磨製石斧、磨石、石皿各1点が出土している。時期：土器片は阿玉台II~III式であるが、住居構造や炉を有することから検討を要する。

SI-28（第11・16図）

位置：調査区南側のほぼ中央、H-4c・H-5d・I-4b・I-5bグリッドに位置し、SK-440・442~445・448・449と重複する。規模と形状：南北4.4m、西壁が明瞭でないが東西4.2m以上の隅丸方形。確認面から床面までの深さは、最も深い東側で20cmである。柱穴：ピットは4本確認されている。P1~3とSK-449内に1本あったと想定し、4本主柱と考えられる。炉跡：確認されなかった。

出土遺物：覆土中から。土器片5点と磨製石斧の破片1点が出土している。時期：土器片は阿玉台II~加曾利E I式であるが、時期を限定するのは難しい。

SI-29（第11・16図、図版14）

位置：調査区の南端、I-4cグリッドに位置する。1号墳の羨道、SK-476と重複する。本住居跡が古い。規模と形状：東西4.9m、南北は1.7mを調査したのみで、大半の南側は調査区外となる。隅丸方形のプランで有段住居である。下段は東西3.9m、上段は幅50~70cmで、東側はもう一つ段を有する。コーナー部分は上段の幅が狭い。確認面から床面までの深さは80cm、残りの良い西側で下段から上段まで28cm、上段から確認面までは34cmである。床は中央に向かってやや凹面となる。覆土：自然堆積で、東側からIP粒・SP粒を多量含む褐色土が堆積した後、IP粒・白色粒を含む暗褐色土・黒褐色土が堆積する。上方に行くに従いIP粒の混入はなくなる。柱穴：ピットは住居内から5本確認された。位置と深さから下段コーナーに位置するP1・2が北側の主柱穴と考えられる。柱間は2.6mである。炉跡：確認されなかった。

出土遺物：破片7点、石鏸1点を図示した。時期：覆土中の破片ではあるが、阿玉台II式、大木7b式のものが多く、またSK-476より古いことからこの時期の可能性がある。

SI-30（第11・16・17図、図版14・15・68）

位置：調査区の南東端、I-6aグリッドに位置する。SK-414・415・434・485・486と重複する。南側は調査区外。規模と形状：東西4.3m、南北4.2m以上の楕円形と想定される。確認面から床面までの深さは最も深い所で38cmである。覆土：柱穴を除き2層に分層した。黒色土が主体で、異物の混入は少ない。柱穴：ピットは5本確認された。P-1~4が主柱穴と考えられる。炉跡：住居中央から北寄りに35×50cmの楕円形の地床炉が確認された。火床は硬化赤変している。出土遺物：5点の復元可能な個体を含め、多くの土器が住居中央から出土している。床面の若干上から出土しているものが多い。出土遺物：出土した土器から、加曾利E I式中段階と考えられる。

SI-31（第11図、図版14）

位置：調査区の南東端、I-6aグリッドに位置する。SI-30の南西で重複し、大半が調査区外となる。

図面がないため、写真から判断するとSI-30よりは掘り込みは深い。出土遺物もなく詳細は不明である。

SI-32 (第11・17図)

位置：調査区の西端の緩斜面、F-3d、G-3aグリッドに位置する。規模と形状：掘り込みは確認されていないが、深さ20～30cmのピット15本が集中する直径4mほどの範囲と想定する。柱穴：深さ30cm前後のP1・2・5・7・9・11・15が柱穴の可能性がある。炉跡：確認されなかった。出土遺物：なし。時期：出土遺物がなく不明である。

SI-34 (第12・17図)

位置：調査区の南東、I-3b・I-3cグリッドに位置する。SK-673・674と重複し、西側は2号墳周溝に切られている。規模と形状：推定で東西4.3m、南北3.2mの楕円形。確認面から床面までの深さは26cmである。覆土：ローム粒・IP粒を少量含む暗褐色土1層である。柱穴：ピットは5本確認された。深さ等の記録がなく、重複も著しいことから本住居に伴うものかは不明である。炉跡：確認されなかった。

出土遺物：遺物は少なく、破片4点のみを図示した。時期：覆土中の破片ではあるが、加曽利E II式段階と考える。

SI-35 (第12図)

位置：調査区の南端、I-3c・I-4dグリッドに位置し、SK-665・679・698・699と重複する。また、東壁は1号墳周溝に切られている。規模と形状：東西は推定で3.7m、南半は調査区外となるため、南北は2mほど調査を行った。プランは北辺が直線的であることから隅丸方形と推定される。確認面から床面までの深さは40cmである。覆土：自然堆積で、2層に分層された。柱穴：ピットは8本確認した。壁際のP1～P4が本住居跡の柱穴の可能性はあるが、特定は難しい。炉跡：調査範囲内では確認されていない。

出土遺物：実測できるような遺物はない。時期：縄文時代中期と考えられるが、遺物の出土がなく、さらに時期を絞ることは難しい。

SI-36 (第12・17図、図版16・17)

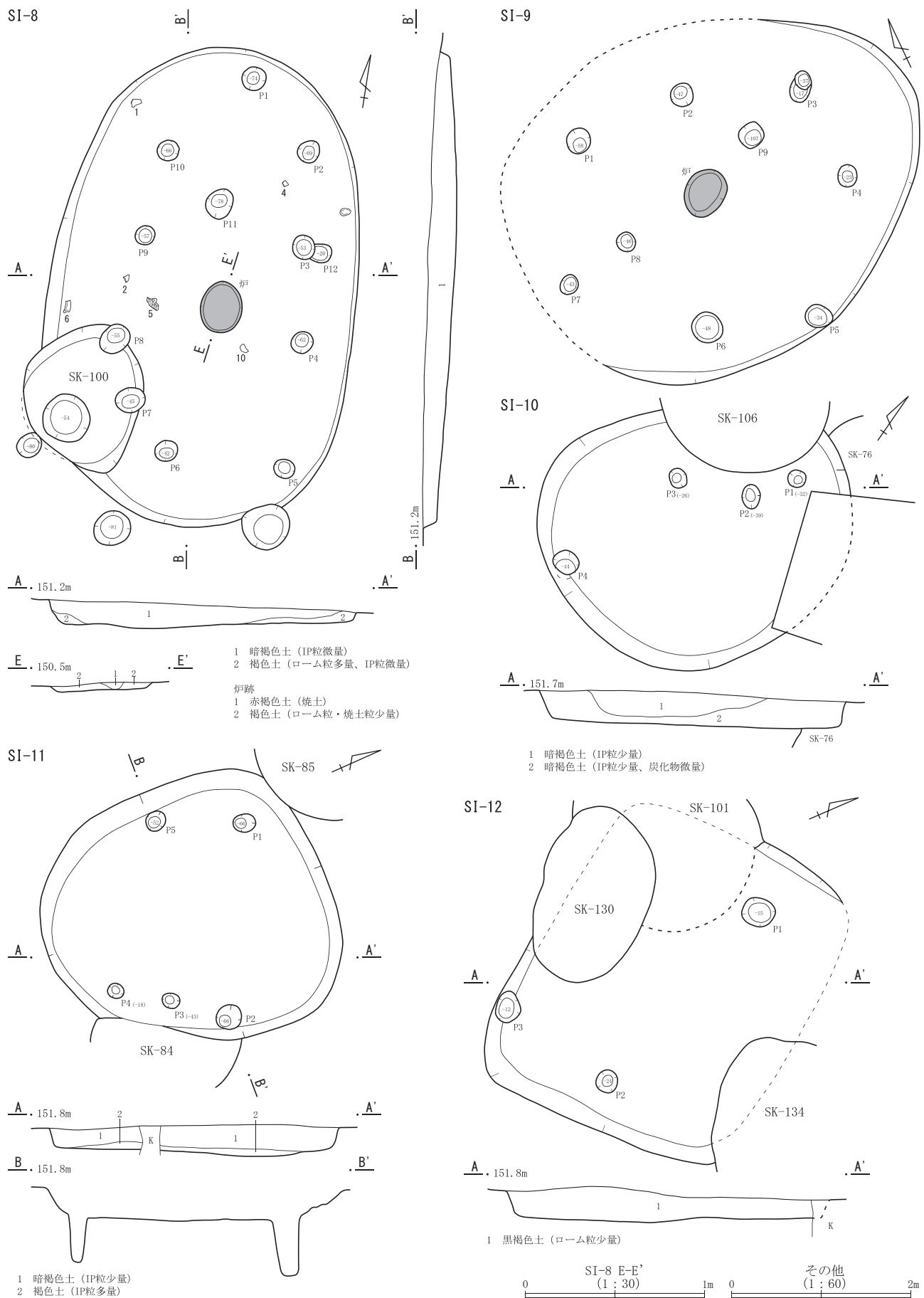
位置：調査区の南西端、I-2c・I-3dグリッドに位置する。2号墳墳丘下で、中央は主体部により大きく切られている。南東でSK-691と重複する。規模と形状：東西6.5m、南北4.3mの楕円形。確認面から床面までの深さは10cmである。覆土：ローム粒・IP粒を少量含む暗褐色土1層である。柱穴：ピットは13本確認された。全体的に50cm以上の深いものが多い。炉跡：確認されなかった。

出土遺物：破片1点を図示した。時期：出土土器は大木7b式で、阿玉台II式期ごろと考えられる。

SI-37・38 (第12・17図、図版17)

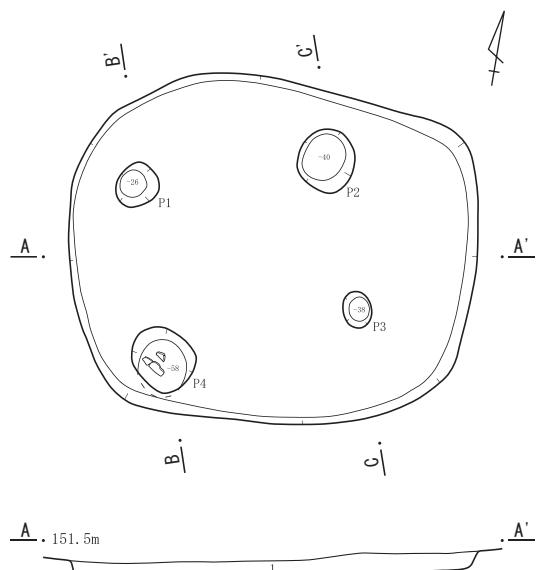
位置：調査区の南東端、I-3dグリッドに位置し、2号墳の墳丘内に位置する。SI-37・38は重複し、SI-38が新しい。規模と形状：SI-37は東西3.5m、SI-38は2.15m、南北は最長でSI-37が0.9m、SI-37が1.0m調査したにすぎない。確認面から床面までの深さはSI-37が19cm、SI-38が40cmである。覆土：自然堆積で、SI-37が1層、SI-38が2層に分層した。柱穴：ピットは5本確認された。調査面積が少なく明確にはできないが、P1がSI-37、P3がSI-38の主柱穴の可能性がある。炉跡：確認されていない。

出土遺物：遺物は少なく、覆土中から出土した破片2点を図示した。時期：出土土器は大木8a式で、阿玉台III～IV式期と考えられる。



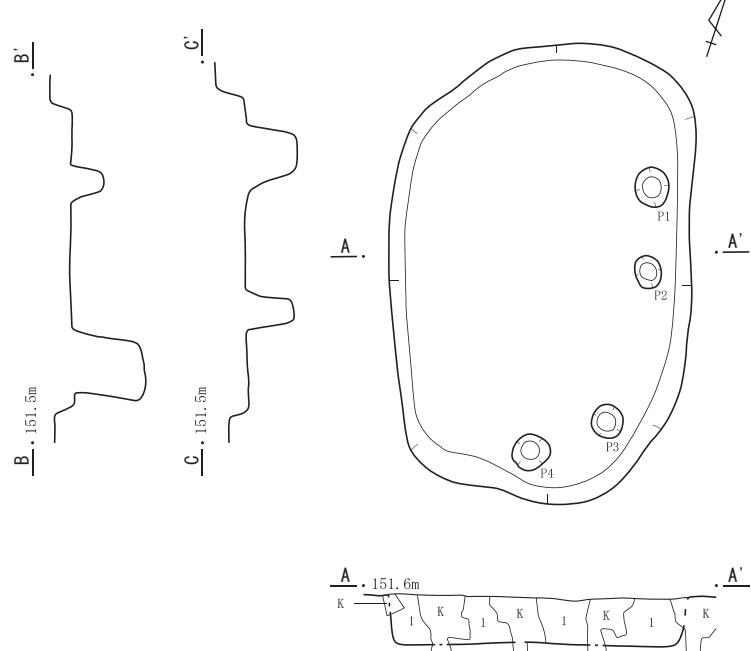
第7図 SI-8~12実測図

SI-13



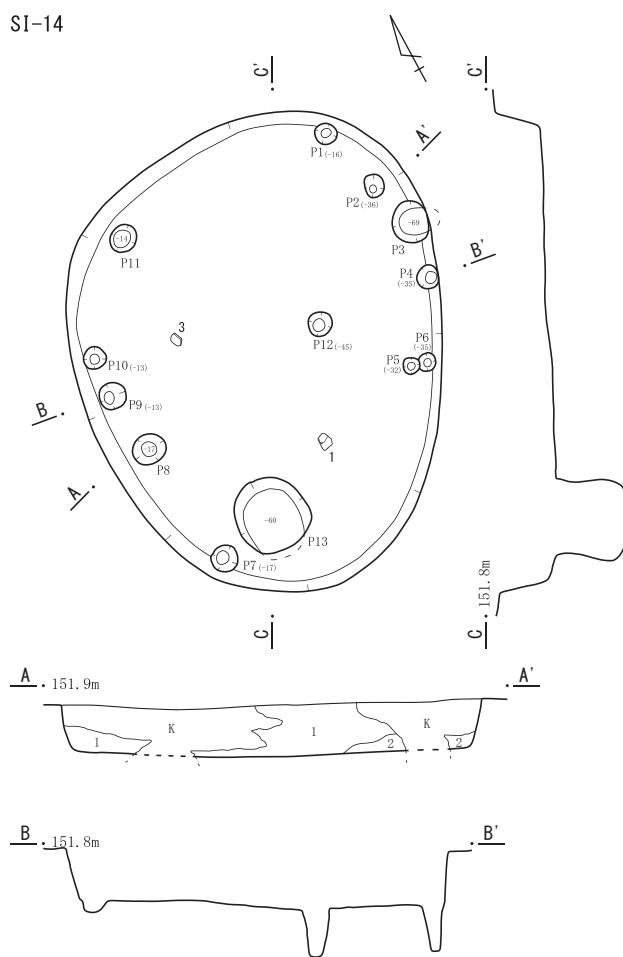
1 褐色土 (IP粒多量)

SI-22

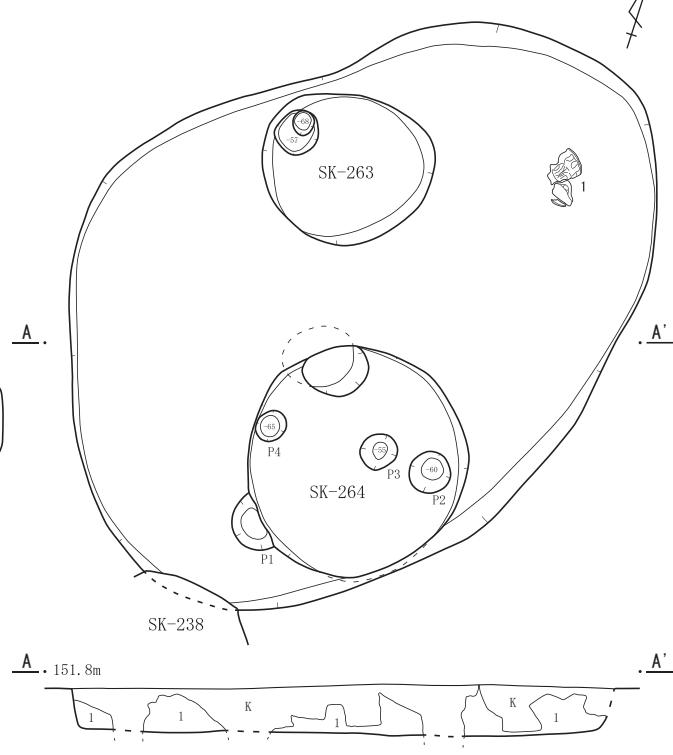


1 暗褐色土 (IP粒多量、炭化物少量)

SI-14

1 暗褐色土 (IP粒少量)
2 褐色土 (ローム粒少量)

SI-15

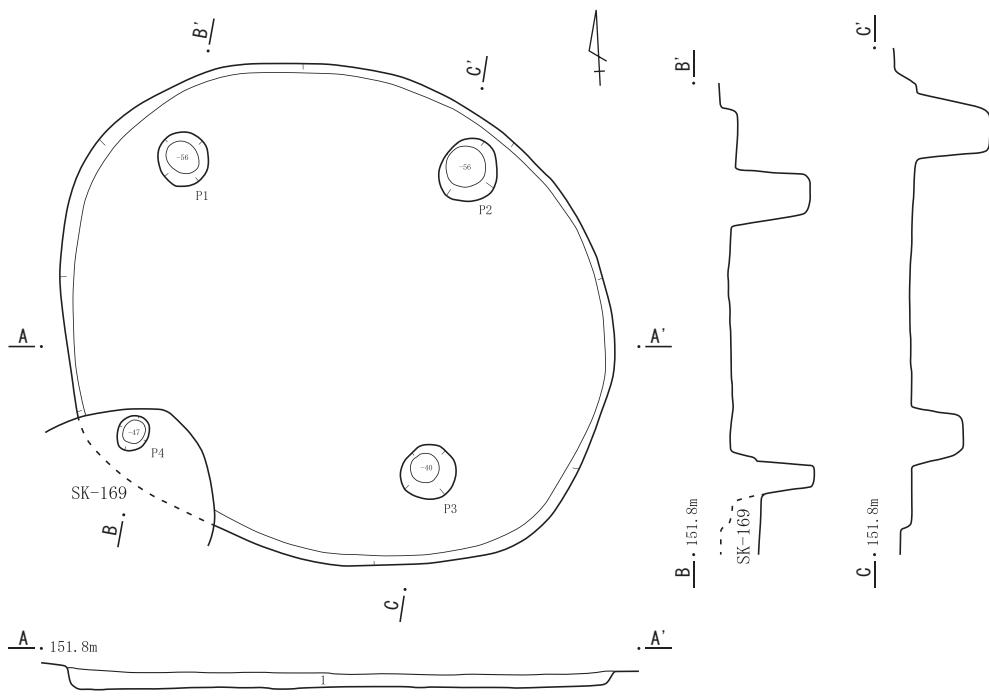


1 褐色土 (IP粒微量)

0 (1 : 60) 2m

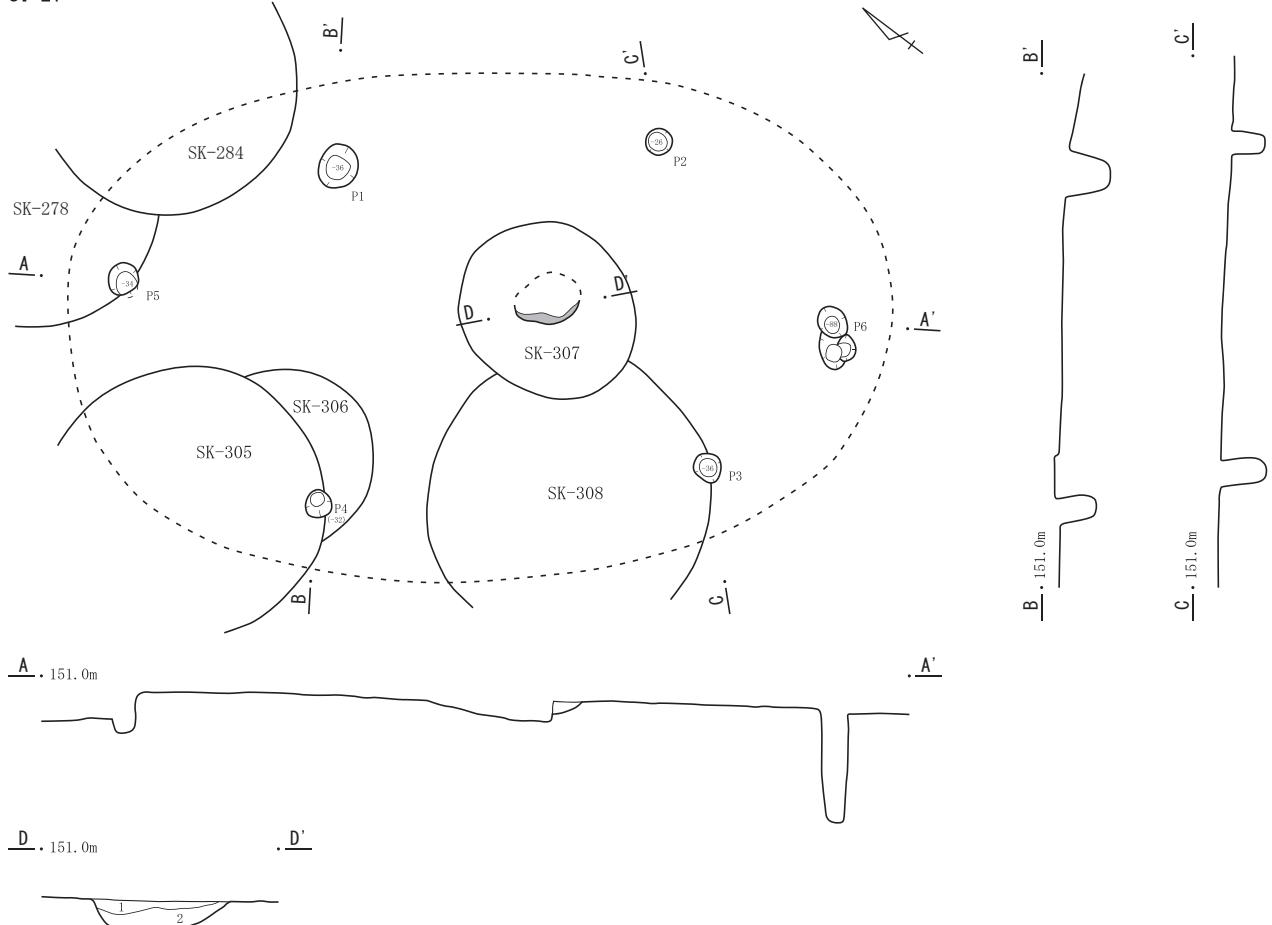
第8図 SI-13~15・22実測図

SI-16



1 暗褐色土 (IP粒少量)

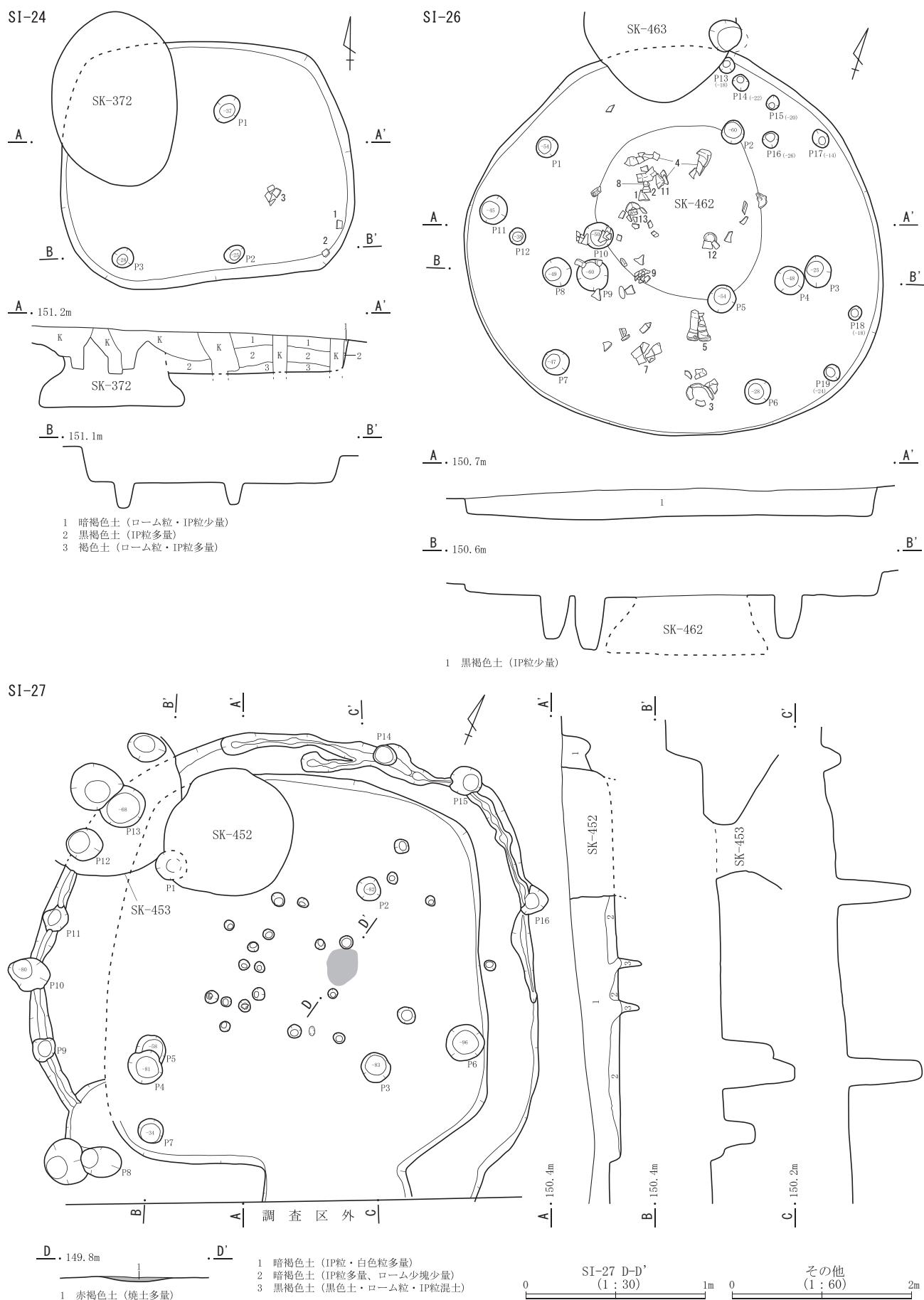
SI-21



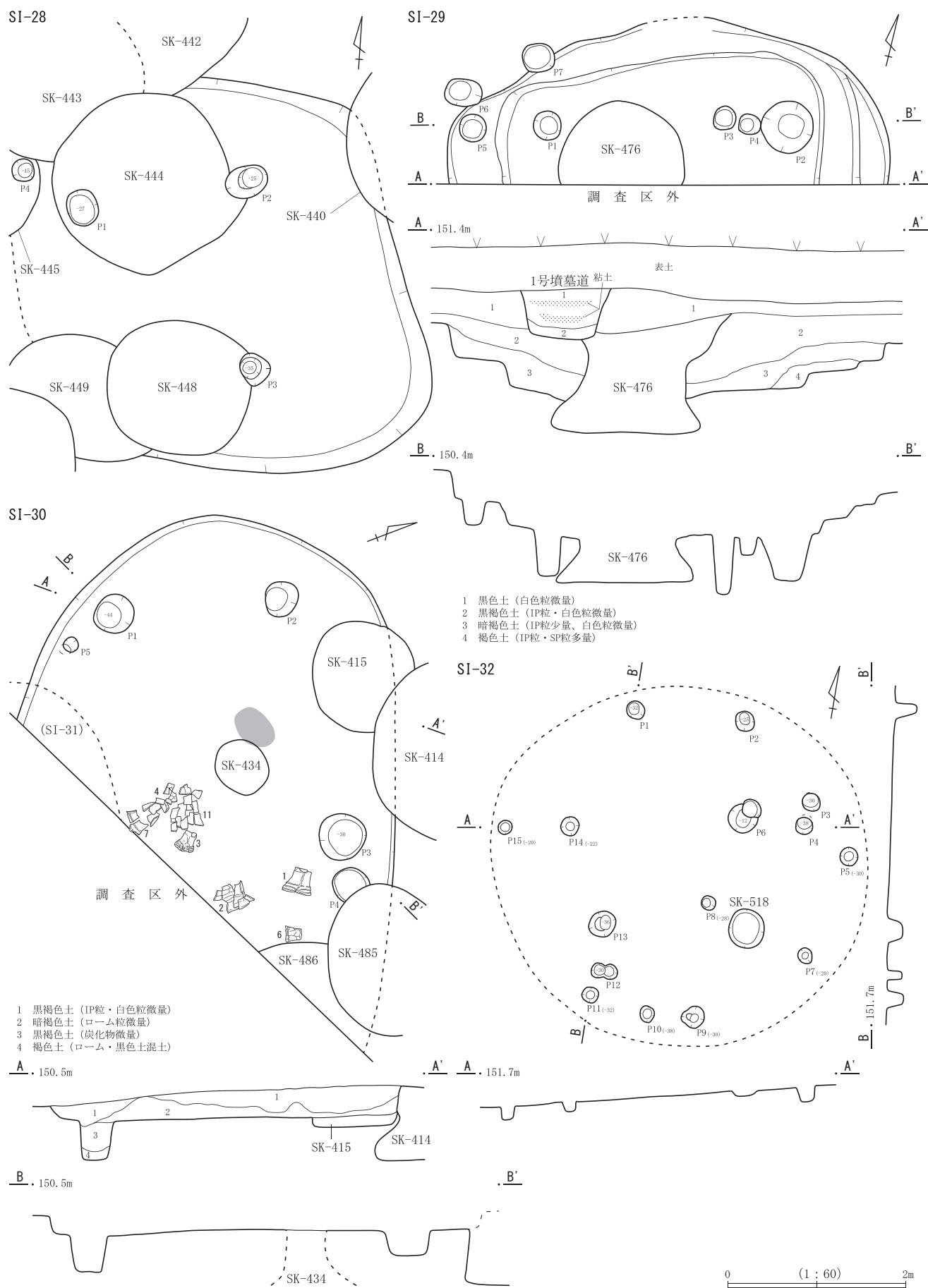
1 赤褐色土 (焼土多量)
2 黒褐色土 (焼土微量)

SI-21 D-D' (1 : 30) 1m 0 2m
その他 (1 : 60)

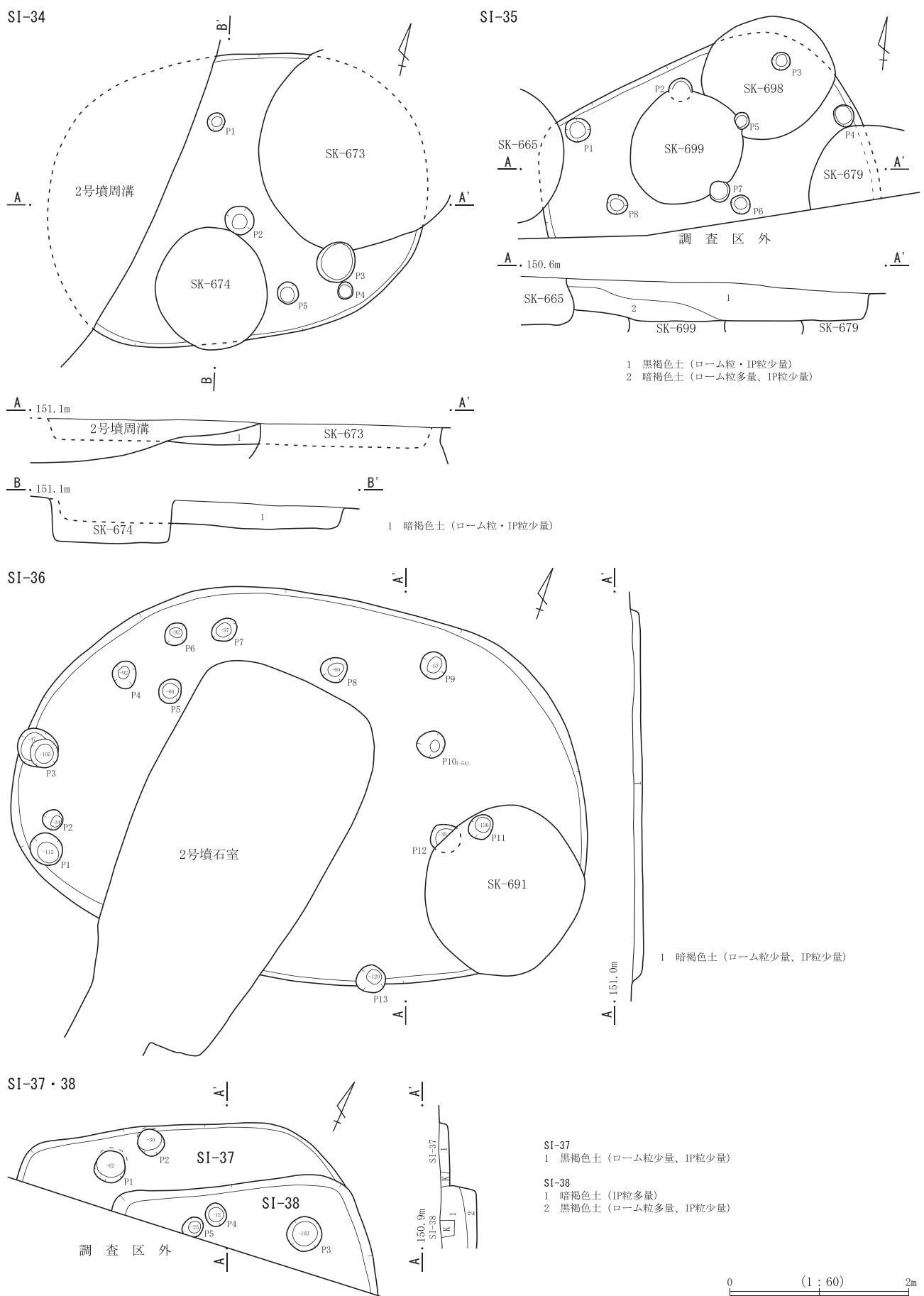
第9図 SI-16・21実測図



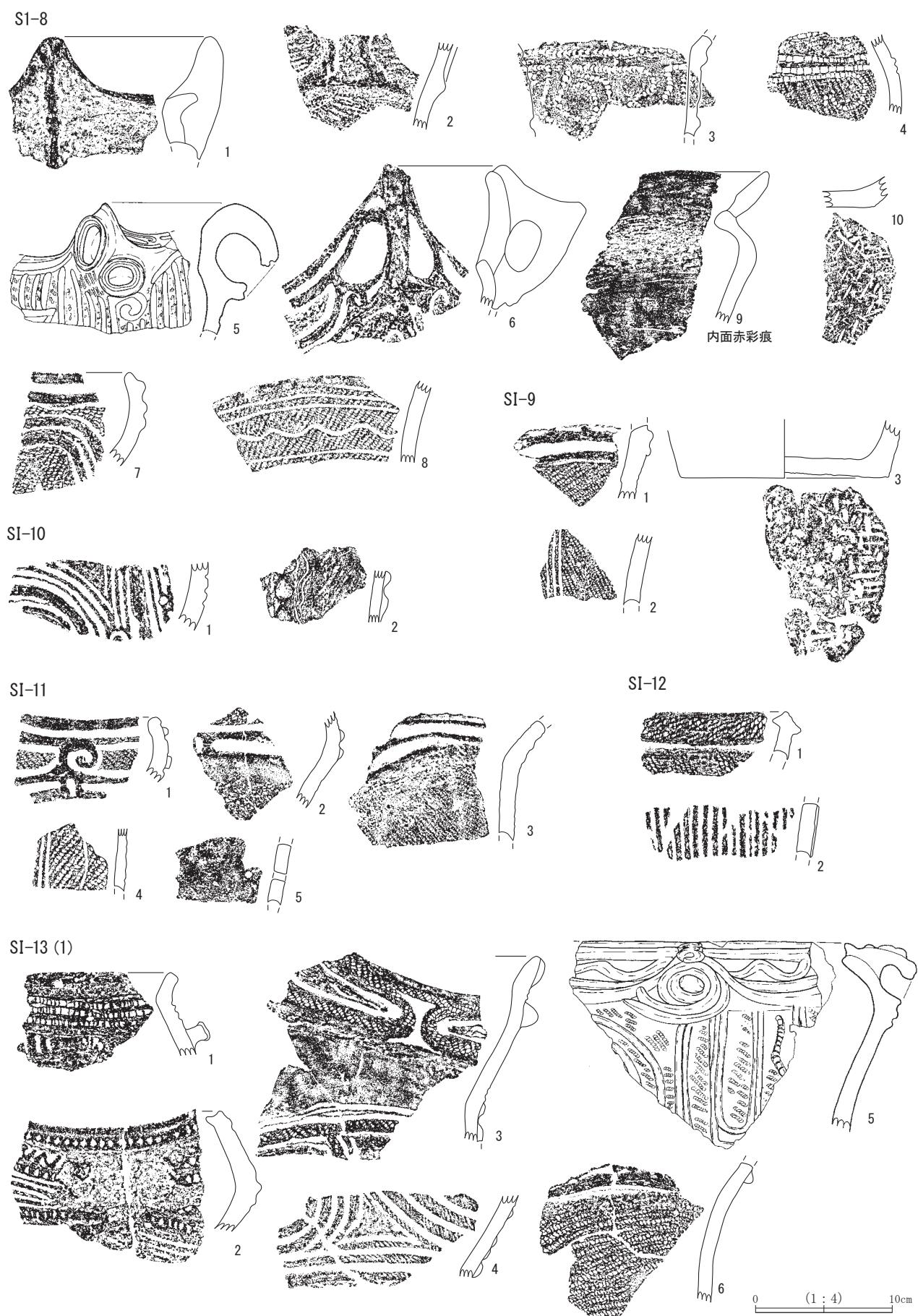
第10図 SI-24・26・27実測図



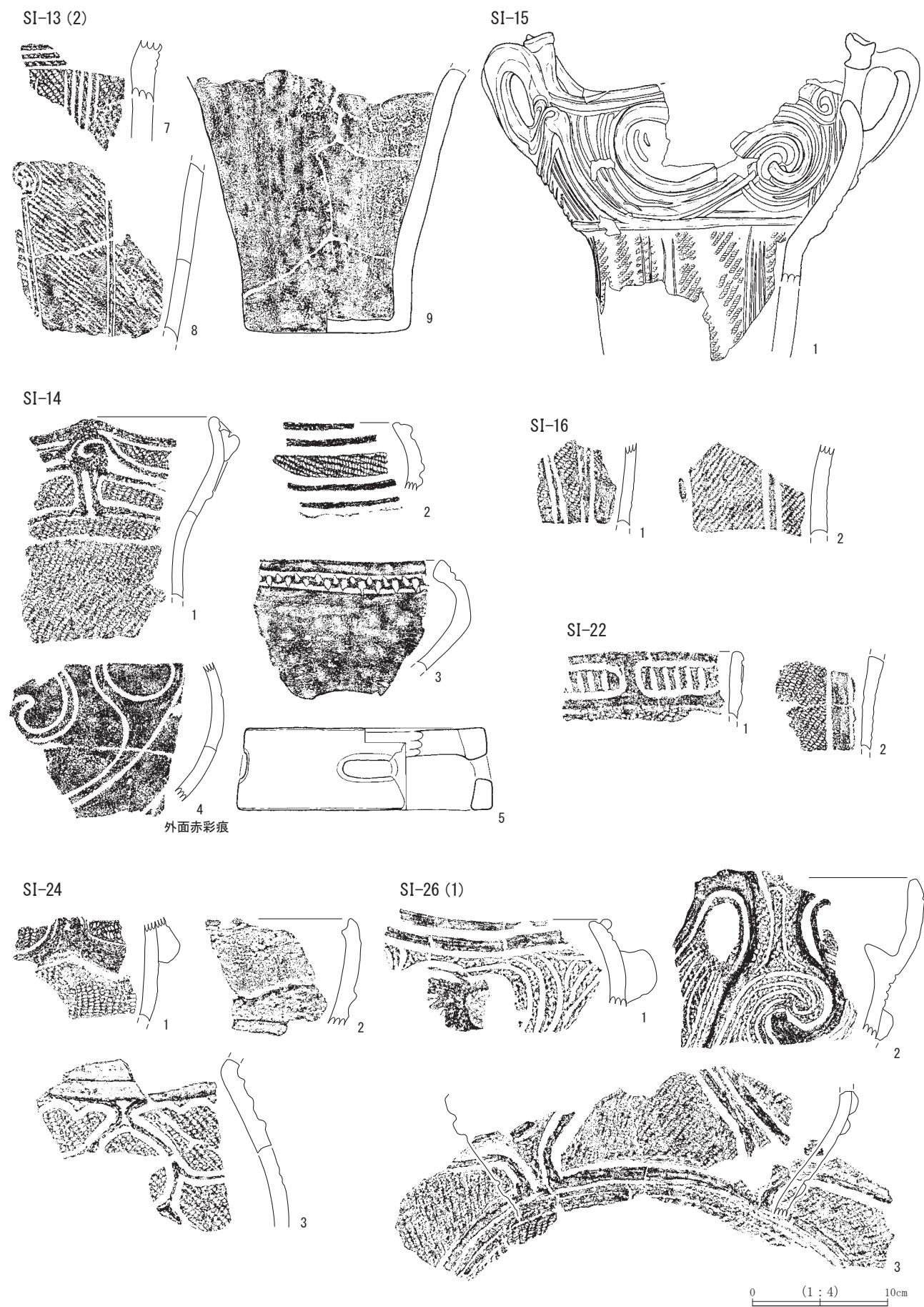
第11図 SI-28~30・32実測図



第12図 SI-34～38実測図

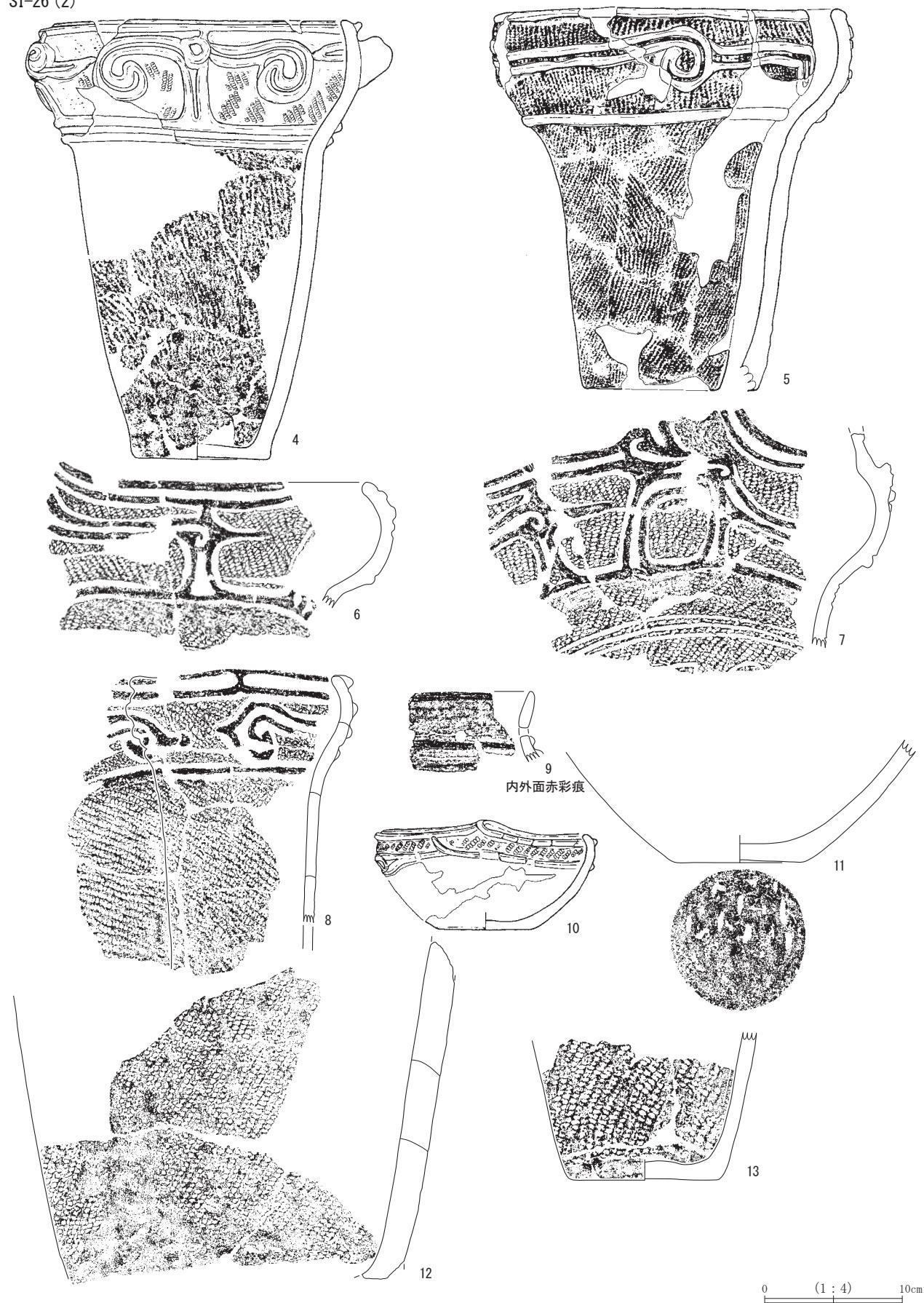


第13図 SI-8~13(1) 出土土器実測図



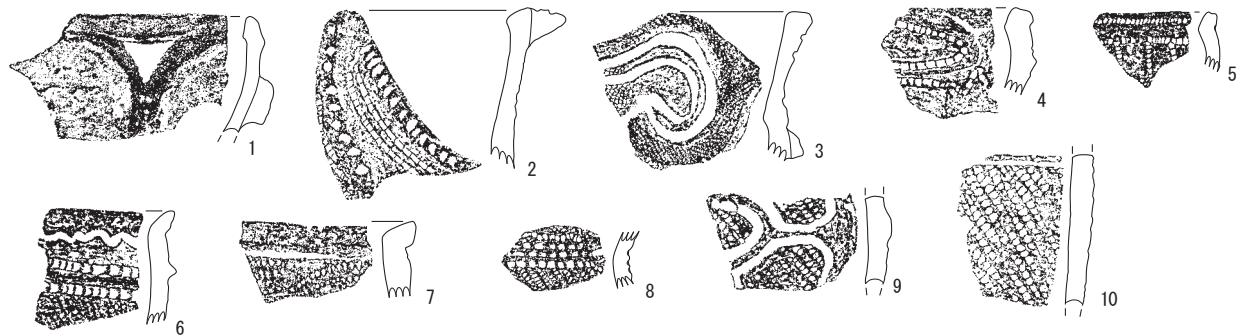
第14図 SI-13(2)~16・22・24・26(1) 出土土器実測図

SI-26 (2)

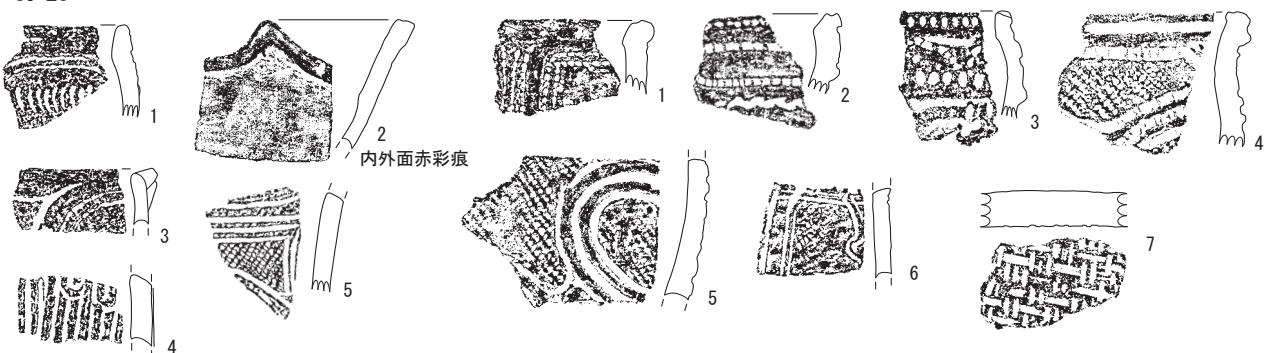


第15図 SI-26(2) 出土土器実測図

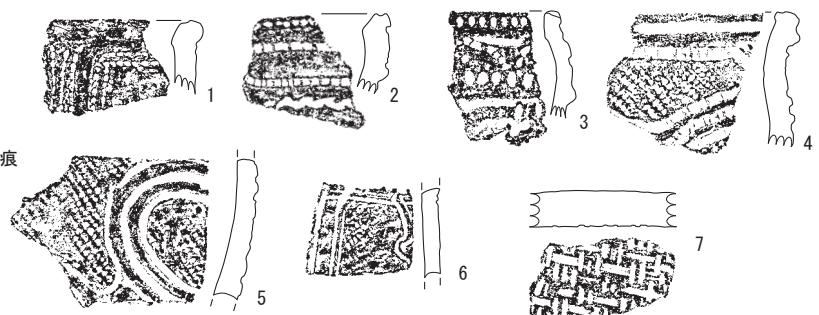
SI-27



SI-28



SI-29



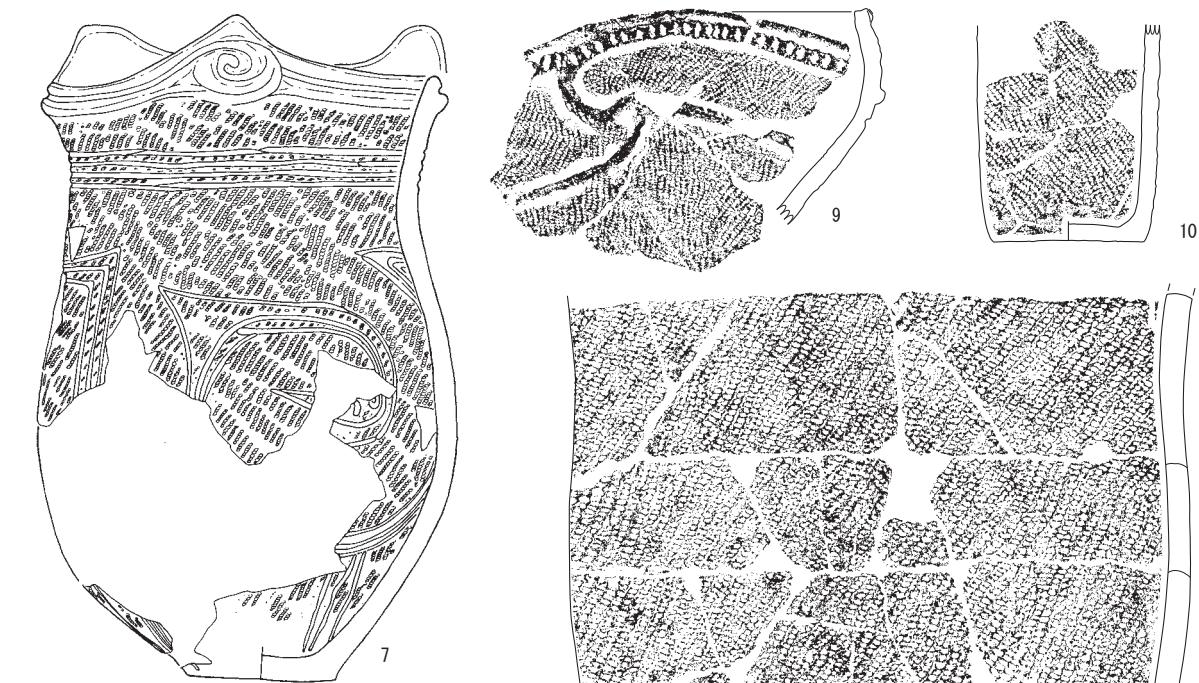
SI-30 (1)



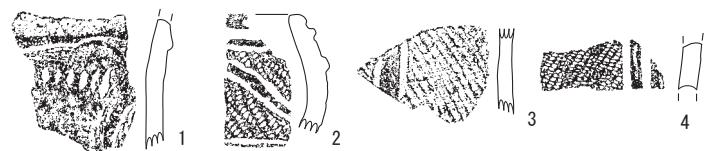
0 (1 : 4) 10cm

第16図 SI-27~30(1) 出土土器実測図

SI-30 (2)



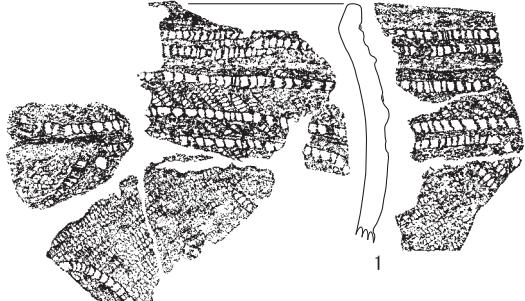
SI-34



SI-32



SI-36



0 (1 : 4) 10cm

第17図 SI-30(2)・32・34・36～38 出土土器実測図

(3) 土坑

土坑は669基検出されており、調査区中央を除き満遍なく分布している。調査区北西が斜面になりやや疎らに見えるが、全体的に密で重複も著しい。SK-1～8、10～12の11基については、昭和60年頃の畠の掘削工事で崖面に露呈していた土坑で、本調査区の南西に位置する。本調査以前に上野修一・木下実両氏によって断面と残った部分の調査が行われており、SK-1から出土した土器7点については、『南那須町史』史料編（1993）に掲載されている。

土坑の多くは縄文時代中期の貯蔵穴で、壁がオーバーハングする所謂フラスコ状土坑・袋状土坑である。しかし、開畠により削平を受けており、袋状土坑であっても調査段階では上方が損壊し皿状の形状となってしまったもの、重複や崩落により壁が直立気味やオーバーハングが小さくなってしまったものも少なくない。

ここでは、土坑の個々の説明は避け、検出された土坑の特徴や傾向などの概要のみを記し、位置（グリッド）・計測値・形状・重複構造・遺物等を一覧表で示す。

断面形状は以下のように分類するが、壁がオーバーハングする土坑のうち、発掘調査時に断面図作成後、平面図作成前に壁が崩落してしまったものについては上端が一致しないものもある。また底面小ピットについてはその数を分類のあとに（ ）で示した。

A類：壁の立ち上がりがほぼ垂直な円筒形ないしは皿状のもの

B類：壁の立ち上がりほぼ垂直で部分的にオーバーハングするもの

C類：壁が全体的にオーバーハングするもの

D類：壁が丸みをもってオーバーハングし、頸部を有するもの、所謂「袋状土坑」

E類：壁が直線的にオーバーハングし、頸部を有するもの、所謂「フラスコ状土坑」

F類：その他

出土遺物については、土器はA類：ほぼ完存のもの、B類：ほぼ全形が推定可能なもの、C類：上半（口頸部）がほぼわかるもの、D類：下半（胴～底部）がほぼわかるもの、E類：把手・突起、F類：大形破片、G類：小破片、に分類し、その数を記した。深鉢以外のものについては、アルファベットの前に浅鉢・鉢・台形土器などの器種を示した。石器は器種と数を記した。

まず、土坑の形態については、円筒状の頸部を有するD・E類はII～V期に確認されており、E類についてはII～III期の古い時期のものに多い。C類はD・E類の上方が削平されたものも含まれるが、V～VIII期に顕著である。小ピットについては293個の土坑で確認されている。SK-87などIII期には出現し、IV・V期と徐々に多くなっていく。VI期からはかなりの割合で小ピットをもつようになり、VII～VIII期に顕著となる。1～2個のものが多いが、それ以上あるものも少なくない。SK-138の10個が最も多く、SK-567が9個、SK-343が8個、SK-126・547が7個、SK-390・563が6個。SK-173・231・266・532で5個確認されている。小ピットを多数有するものはVI期を中心とした時期に多い。

土層の堆積で注目されるものに炭化物を多量に含む層がある。31基の土坑（SK-35・74・99・133・161・184・193・246・254・272・282・314・327・352・353・407・412・440・441・459・463・466・478・483・496・500・502・593・652・665・694）で確認されている。底面直上に堆積しているものと、ロームを多量に含む一次堆積土の上に堆積しているものがあるが、いずれも土坑廃絶後早い段階のものである。ほとんどがフラスコ状・袋状の土坑で、円筒状の頸部や括れをもつものが少くない。時期はI～VI期で、II～V期の時期に多い。

小礫が多数まとまって出土しているものとして、SK-26・30・158・169・182・230・242・258・

279・598・612がある。SK-230では小ピットの上面から出土している。土器の出土は少なく、SK-612で深鉢が出ており、SK-230では小破片が数点出土している程度である。

器形のわかる土器を多く出土している土坑は、SK-74が11個で最も多く、SK-70が9個、SK-25・52・441・522・526が6個、SK-99・204・501が4個、SK-48・142・297・393が3個などである。SK-526がII期、SK-99・522がIV期のほかは、VI期を中心とした時期のものが多い。出土状態については、SK-25・70・74・441・501・502・526など底面から浮いて出土しているものが多く、ある程度埋まってから一括投棄されたものと考えられる。また、SK-161では壁際底面の床面から倒置の深鉢と正位の鉢が、SK-246でも倒置の鉢が出土している。SK-277ではほぼ完存の深鉢が小ピット内から出土している。

このほか、SK-382では北東壁際の底面直上からベンガラの入った口縁部を欠く小型土器が楕円形の礫と出土している。X期の土器が出土したSK-233については、トレンチャーにより壊されているが、覆土中位から倒立状態で出土していることから、土坑埋没後の埋甕の可能性が発掘時の記録に残されている。

第5表 土坑一覧表

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|------------|-------------|-------------|-----|--------|-------------|-------------|-----------|-------------|----------|----------|-------------------------|
| 1 | | (160) | (185) | 75 | C | SK-2 | G1 | | III~IV | 18・87 | 18・115 | 断面のみ、『南那須町史』史料編土器7点図化掲載 |
| 2 | | (40) | (115) | 75 | — | SK-1 | — | | — | 18 | 18 | 断面のみ |
| 3 | | (45) | (260) | 138 | E | | G2 | | (VI~VII) | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 4 | | (150) | (240) | 105 | E | | G1 | | — | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 5 | | — | — | — | (DorE) | | G2 | | — | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 6 | | (200) | (250) | 105 | C | SI-1 | G1 | 磨斧1、磨石1 | — | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 7 | | (150) | (290) | 128 | D | SI-1 | F1 | 石鎌1、磨石2 | (VII) | 18・87 | 113 | 断面のみ |
| 8 | | — | — | — | E | | 浅B1・B1 | 石鎌1、磨石2 | I~II | 18・87 | 69・113 | 断面のみ |
| 9 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | — | — | — | D | | G2 | | (I~II) | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 11 | | (120) | (230) | 122 | D | | G2 | | (II~III) | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 12 | | (140) | (160) | 92 | — | | 鉢B1・G1 | 粘土塊2 | (III~IV) | 18・87 | 18 | 断面のみ |
| 13 | E-6d | 170×167 | 170×165 | 32 | B(1) | SK-14 | 鉢B1・G1 | 石鎌1 | (IV~V) | 19・87 | 113 | |
| 14 | E-6d | 225×185 | 220×175 | 11 | A | SK-13・44・50 | G1 | 石鎌1、土製円盤1 | — | 19・87 | 113 | |
| 15 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 16 | E-6a | 245×245 | 265×248 | 105 | E | SK-17・56 | G1 | 小磨斧1 | (III ~ IV) | 19・88 | 18 | |
| 17 | E-6a | (186)×(155) | (205)×(160) | 85 | B(1) | SK-16 | G3 | | (VII) | 19・88 | 18 | |
| 18 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 19 | E-6a,b | 155×100 | — | — | F | SK-41 | G1 | | (VIII) | 19・88 | 18 | 確認面楕円形で下方長方形、落し穴か |
| 20 | E-6a,b | 172×115 | 220×180 | 82 | C | SK-21 | G1 | | (II~III) | 19・88 | 18 | |
| 21 | E-6b | 145×(100) | 130×(90) | 35 | A | SK-20 | G2 | | (V~VI) | 19・88 | 18 | |
| 22 | E-6b | 140×132 | 142×141 | — | B | | G1 | | (VI~VII) | 20・88 | 18 | |
| 23 | E-6b | 136×113 | 127×114 | 20 | B | | G1 | | (III) | 20・88 | 18 | |
| 24 | E-6d | (185)×145 | (185)×140 | 16 | B | SK-25 | A1・B1・C2 | 磨斧1 | (II)・V | 20・88 | 19・69 | |
| 25 | E-6d | 242×187 | 260×187 | 45 | B | SK-24・50・52 | A1・B6・D1 | 磨石1 | VI | 20・89・90 | 19・69・70 | |
| 26 | E-5b・6a | (190)×170 | (170)×170 | 20 | A | SK-42 | F1 | 石棒1 | (II) | 20・88 | 20 | |
| 27 | E-6a | (180)×150 | (170)×140 | 19 | A(1) | SK-42 | G1 | | — | 20・90 | 20 | 礫多数出土 |
| 28 | E-6a | 205×178 | 198×180 | 50 | B(2) | | G3 | | (VII) | 20・90 | 20 | |
| 29 | E-5b | 170×135 | (170)×140 | 33 | B(1) | | F1 | 礫器1 | (IV~V) | 20・90 | 20 | |
| 30 | E-5b・6a | 200×180 | 180×170 | 30 | A | | G1 | | (V) | 20・90 | 20 | 礫多数出土 |
| 31 | E-5b | 195×175 | 232×224 | 85 | C | | G1 | | (VI~VII) | 21・90 | 20 | |
| 32 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 33 | E-6a | 160×160 | 155×145 | 34 | B(1) | | — | 磨石1 | — | 21 | 21 | |
| 34 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 35 | E-6a | 162×135 | 280×261 | 146 | D(1) | | C1・台F1 | 磨石1 | VI~VII | 21・91 | 21 | |
| 36 | E-6a | 95×83 | 120×118 | 40 | C | | B1・D1・G1 | 磨石1 | IV | 21・91 | 21・70 | |
| 37 | D-5c | 195×177 | 192×160 | 34 | B | | G5 | | (II・VII) | 21・91 | 113 | |
| 38 | D-6d | 243×230 | 250×234 | — | B | | G1 | | (VI) | 21・91 | 21 | |
| 39 | 不明 | | | | | | C1・E1・G1 | | VI~VII | 21 | 21 | |
| 40 | E-6d | 128×105 | (110)×90 | 27 | A | SK-52・53 | G1 | 小磨斧1 | — | 22・91 | 22 | |
| 41 | E-6a,b | 234×180 | 210×(170) | 91 | A | SK-19・55 | B2・C1・D1・E1 | | VII | 19・92 | 22 | |
| 42 | E-6a | 150×135 | 150×130 | 32 | B | SK-26・27 | 鉢B2・G1 | | (V) | 20・92 | 20・70 | |
| 43 | 欠番 | | | | | | — | | | | | |
| 44 | E-6d | 120×65 | 90×45 | 10 | F(3) | SK-14 | C1・注口G1 | | (IV~V) | 19・93 | 71 | SK-14の一部が攢乱 |
| 45 | E-6d, F-6a | 170×(120) | 190×(160) | 97 | B | SK-77 | G2 | 磨斧1 | — | 22・92 | 22 | |

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|------------|-------------------|-------------|-----|--------|-------------------|--------------------|------------------------|-----------|------------|-----------------|--------|
| 46 | E-6d | 90×(90) | 115×(107) | 96 | C | SK-77 | G1 | | (V) | 22・93 | | |
| 47 | E-6d | 172×152 | 195×187 | 45 | B(1) | | G2 | | (IV～V) | 22・93 | | |
| 48 | E-6d | 135×105 | 105×240 | 104 | E | | A2・B1・E1・G4 | 打斧1、磨石1 | V・VI | 23・93・94 | 71 | |
| 49 | E-6c | (105)×(95) | 257×180 | 86 | C(1) | | B1・C1・D1 | | V～VI | 23・94 | 71 | |
| 50 | E-6d | 212×185 | 180×170 | 20 | A | SK-14・25 | C1・F1・G2 | 打斧1 | VI～VII | 20・94 | 71 | |
| 51 | E-6d | 140×110 | 145×135 | 79 | B(2) | | G3 | | VI～VII | 22・95 | 21 | |
| 52 | E-6a,d | 140×130 | 255×240 | 108 | E(2) | SK-25・40・53 | B3・C1・F2・鉢B2・浅鉢C1 | | VI～VII | 22・95・96 | 22・72 | |
| 53 | E-6a,d | (180)×(130) | (160)×(120) | 32 | A | SK-40・52 | — | | — | 22 | 22 | |
| 54 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 55 | E-6a | (260)×240 | (260)×233 | 78 | B | SK-16・41・56 | G2 | 磨石1 | (II) | 19・95 | | |
| 56 | E-6a | (180)×(142) | (240)×(150) | 65 | C(2) | SK-16・55 | B1・F2 | 石鎌1 | VI～VII | 19・96 | 115 | |
| 57 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 58 | D-6c, E-6b | 170×167 | 198×150 | — | B(1) | | — | | — | 23 | | |
| 59 | E-6c | 175×130 | 205×190 | 58 | C(3) | | G2 | 石鎌1、磨石1 | (VI～VII) | 23・96 | 113 | |
| 60 | E-6c | 200×170 | 173×155 | 28 | A(1) | | B1・C1・G1 | 小磨斧1、磨石1 | (II)・V | 23・96 | 72 | |
| 61 | E-5c | 255×240 | 275×255 | 61 | C | | B1・C1・G6・浅C1 | 石鎌1、磨斧1、磨石1 | (IV)・VI | 23・97 | 73・115 | ～VII |
| 62 | E-5a～d | 196×187 | 178×166 | 29 | A | | B1・C1・G6・浅C1 | | VI～VII | 23・97 | 73 | |
| 63 | E-5b | 98×84 | 82×58 | 20 | A | | G1 | | (VIII) | 23・97 | | |
| 64 | E-5b | 106×88 | 92×75 | 17 | A(1) | | — | | — | 24 | | |
| 65 | E-5b | 262×254 | 273×264 | 37 | B(1) | | G4 | | (II・VI) | 24・97 | | |
| 66 | E-5a | 235×205 | 221×195 | 47 | B(1) | | F1・G1 | | (VI～VII) | 24・98 | | |
| 67 | E-5b | 190×190 | 215×192 | 55 | B | | G1 | 石鎌1、打斧1 | (VI～VII) | 24・98 | 113 | 黒曜石剥片1 |
| 68 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 69 | E-5c, F-5b | 200×195 | 185×178 | 25 | A | SK-70 | G1 | | (VI～VII) | 24・97 | | |
| 70 | E-5c | 225×195 | 241×220 | 63 | C(1) | SK-69 | A1・B2・C4・D2・F1・鉢B2 | 磨石2 | VI～VII | 24・98・99 | 23・24・73・74 | |
| 71 | F-6a | 240×[110] | 230×[140] | — | B | | B1・D1・E1・G1 | 小磨斧1、磨石1 | (VI) | 22・99・100 | 74 | |
| 72 | F-6a | 90×(80) | 200×175 | 137 | D | | B2・C2・E1・G1・浅C1 | 磨石1、石皿1 | IV～VII | 22・100・101 | 74・75・103 | |
| 73 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 74 | E-5c | 135×125 | 255×210 | 77 | E(2) | | A2・B4・C4・D3・F4・壺C1 | 尖頭器1、三角錐状G5・鉢A2・浅B1・有孔 | V～VI | 25・101～103 | 25・26・75～77・111 | |
| 75 | E-5c,d | 240×230 | 220×215 | 26 | A | | D2・E1 | 磨石1 | IV～V | 25・104 | 24・77 | |
| 76 | F-5b | [100]×172 | [85]×185 | 77 | B(3) | SK-10 | C1・鉢B1 | | V | 25・104 | 77 | |
| 77 | E-6d | 174×90 | 150×150 | 118 | D | SK-45・46 | | 磨石1 | (IV・VI) | 22・104 | | |
| 78 | E-5c | 183×165 | 215×200 | 46 | C | | E1・F1 | | (IV～V) | 24・105 | | |
| 79 | E-5c | 200×160 | 280×220 | 55 | C(3) | | G1 | 磨石1 | (V) | 25・105 | | |
| 80 | E-5d, F-5a | 140×115 | 170×145 | 22 | C | | G2 | | (V) | 25・105 | | |
| 81 | F-5a | 185×165 | 150×142 | 18 | A(2) | | G2 | | (V) | 25・105 | | |
| 82 | E-6d | 55×50 | 45×40 | — | A | | — | | — | 23 | | |
| 83 | F-5b | 205×195 | 175×168 | 12 | A(1) | | — | | — | 26 | | |
| 84 | F-5b | [160]×[140] | | 24 | A | SI-11, SK-109 | — | | — | 26 | | |
| 85 | F-5b | 210×180 | 270×230 | 43 | C(1) | SI-11, SK-104 | B1・G5 | 磨斧1、磨石1、石皿1 | III | 26・105 | 27・77・103・110 | 黒曜石剥片3 |
| 86 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 87 | F-5a,d | 250×230 | 245×220 | 19 | A(2) | | B2・D1・G1 | 石錐1 | III | 27・106 | 78 | |
| 88 | F-5a | 255×225 | 205×135 | 12 | A | SK-89・90・108 | D1・G1 | | (II～III) | 27・105 | 65 | |
| 89 | F-5a | 175×155 | 180×153 | 40 | B(1) | SK-88 | D1・G1 | | (V) | 27・105 | | |
| 90 | F-5a | 180×150 | 155×130 | 17 | A(1) | SK-88・91 | G3 | | (VIII) | 27・105 | | |
| 91 | F-5a | 270×250 | 240×230 | 24 | A(1) | SK-90 | D1・G1・浅G1 | 磨石1 | (VIII) | 27・106 | | |
| 92 | F-6a | (190)×[175]×[155] | | 74 | C | SK-93・134 | F1 | | (VI) | 28・106 | | |
| 93 | F-6a,d | [180]×[90] | [168]×[80] | — | A(1) | SK-92・210 | G2 | 磨石2 | (VI～VII) | 28・107 | 30 | |
| 94 | F-5d | 235×220 | 210×200 | 22 | A | SK-95 | F1・G1 | 石錐1 | (VIII) | 28・107 | 113 | 黒曜石剥片1 |
| 95 | F-5d | 245×202 | 255×206 | 46 | B | SK-94 | G2 | 石錐1 | (V) | 28・107 | 113 | 黒曜石剥片1 |
| 96 | F-5a | 155×140 | 120×115 | 33 | A | | G1 | | (II～III) | 26・108 | | |
| 97 | F-5c | 225×212 | 215×195 | 23 | A(3) | SK-98 | G2 | 打斧1、小磨斧1 | (VII) | 27・107 | | |
| 98 | F-5b,c | 190×(160) | 165×150 | 24 | A(1) | SK-97 | G2 | | (VIII) | 27・107 | 30 | |
| 99 | D-5c | 130×135 | 210×197 | 141 | D | SI-8 | B4 | 磨石1 | IV | 21・107 | 28・78・104 | |
| 100 | D-6d, E-6a | 160×133 | 140×124 | 50 | B(3) | SI-8 | F2 | | (III・VII) | 26・108 | | |
| 101 | F-5b | 210×(190) | 173×(170) | 39 | A(1) | SI-12, SK-109・130 | G2 | | — | 26・108 | | |
| 102 | F-5c | 250×220 | 255×220 | 34 | B | SK-103・113 | B1・G3 | 石錐1、磨石1 | II～III | 29・108 | 30・79 | 黒曜石剥片1 |
| 103 | F-5c | 180×(175) | 150×(175) | 25 | A | SK-102・103・128 | — | 石錐1 | — | 29 | 30・113 | |
| 104 | F-5a | 180×155 | 170×140 | 16 | A | SK-85 | G1 | | (VII) | 26・108 | | |
| 105 | F-5c | 202×190 | 180×170 | 14 | A | SK-212 | — | | — | 27 | | |
| 106 | F-5b | 215×165 | 200×175 | 55 | B | SI-10 | C1・F3・G1 | 三脚石器1 | VI～VII | 25・108 | | |
| 107 | E-5d | 165×155 | 185×180 | 47 | C | | G2 | 磨斧1 | — | 25・109 | 65 | |
| 108 | F-5a | 75×52 | 82×48 | 70 | B | SK-88 | — | | — | 27 | | |
| 109 | F-5b | 152×(130) | 140×130 | — | A(1) | SK-84・101・130 | G2 | | (VI～VII) | 26・109 | | |
| 110 | F-5d | 185×180 | 180×175 | 34 | B(1) | | G3 | 磨石2 | (VI～VII) | 28・109 | | |
| 111 | E-5d | 295×(182) | 322×320 | 81 | E | SK-112 | B1・F2・G2・浅F1 | 磨石1 | (VI) | 30・109 | | |
| 112 | E-5d | 200×142 | 195×129 | 78 | B(2) | SK-111 | B1・F1・G1 | 石錐2 | (VI～VII) | 30・109 | 113・115 | |
| 113 | F-5c | (220)×190 | (210)×185 | — | A | | G2 | | (VIII) | 29・109 | 30 | |
| 114 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 115 | F-5d | 195×155 | 165×138 | 49 | A | | G2 | | (VIII) | 30・109 | | |
| 116 | F-5b | 130×120 | 110×100 | 10 | A | | — | | — | 27 | | |
| 117 | E-6c | 78×52 | 100×80 | 61 | C | | B1・F1 | 磨石1 | VI～VII | 30・110 | | |

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----|--------|------------------|-------------------------|------------------|------------|------------|------------|----------------------------|
| 118 | E-6 b,c | 170×155 | 145×140 | — | A(1) | | G2 | | — | 30・109 | 30 | 北西から小蝶多数出土 |
| 119 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 120 | E-5 a,b | 130×117 | 160×155 | 59 | C | — | | | — | 24 | | |
| 121 | F-5 a | 85×80 | 75×65 | 29 | A | — | | | — | 27 | | |
| 122 | F-5 d | 155×140 | 140×130 | 36 | A | — | | | — | 28 | | |
| 123 | F-5 d | 182×182 | 155×155 | 14 | A | — | | 石鎚1 | — | 28 | 113 | クルミ出土 |
| 124 | F-5 c,d | 165×150 | 150×150 | 20 | A | SK-125 | — | | — | 30 | 30 | |
| 125 | F-5 c,d | (195)×190 | 190×180 | 20 | A(1) | SK-124・126 | D3・G1・器台C1 | 土製円盤1 | VII | 30・110 | 30 | |
| 126 | F-5 c | 260×256 | 245×245 | 29 | A(7) | SK-125・127・139 | G1 | | (VII) | 30・109 | 30 | |
| 127 | F-5 c | 157×157 | 135×135 | 43 | A(3) | SK-126 | F1・鉢B1 | | VIII | 30・110 | 30・79 | |
| 128 | F-5 c | 210×200 | 180×170 | 34 | A | SK-103 | G1 | | VII | 29・109 | 30 | |
| 129 | G-5 a | 230×196 | 220×185 | 65 | A(4) | | C1・G1・有孔C1 | | VIII | 31・110 | 29・79 | |
| 130 | F-5 b | 195×125 | 224×180 | 84 | D | SI-12、SK-101・109 | G1 | 石鎚1、打斧1 | (II) | 26・111 | 114 | |
| 131 | F-6 d | 190×185 | 210×205 | 61 | C(3) | | B1 | 磨石2 | (V～VI) | 31・111 | 79 | |
| 132 | F-6 d | 185×170 | 165×150 | 35 | A(2) | SK-204 | — | 磨石2 | — | 31 | | 黒曜石剥片1 |
| 133 | F-5 c,6 d | 198×170 | 215×200 | 71 | B(2) | SK-211 | G2 | 磨石2 | (VII～VIII) | 29・111 | | |
| 134 | F-5 b,6 a | (98)×(95) | 260×225 | 50 | E | SI-12、SK-92 | B1・C2・E4・F2・G5 | | IV～V | 28・111・112 | 79・80 | |
| 135 | F-5 c,d | 205×200 | 175×175 | 61 | A | SK-136・191 | B1 | 磨石1、石棒1 | I～II | 28・113 | 33・80 | |
| 136 | F-5 c,d | 205×175 | 190×190 | 60 | B(3) | SK-135・210 | G5 | | VIII | 28・113 | 33 | 蝶多数出土 |
| 137 | F-5 c | (190)×175 | (180)×160 | 26 | A | SK-203・213 | F1・G2 | | (III) | 29・113 | | |
| 138 | F-5 c | 267×246 | 240×230 | 65 | B(10) | | G2 | | (VII～VIII) | 31・113 | | |
| 139 | F-5 c | 224×210 | 200×195 | 42 | A(1) | SK-126・140 | G1 | 石鎚1 | (VIII) | 32・113 | 114 | |
| 140 | F-5 c | 190×(150) | 170×(130) | 31 | A(1) | SK-109・141・142 | F1 | 打斧1 | VIII | 32・113 | | |
| 141 | F-5 c | (175)×135 | (170)×120 | 20 | A(1) | SK-140 | — | | — | 32 | | |
| 142 | F-5 c,d | 190×170 | 180×160 | 40 | B(1) | SK-140 | B3・G1 | | VII | 32・114 | 80 | |
| 143 | F-5 d | 215×190 | 195×160 | 30 | A | SK-140 | G1 | 石皿1 | (VII) | 32・113 | | |
| 144 | F-5 d | 155×140 | 138×127 | 35 | A(1) | | G1 | | (VII) | 32・113 | | |
| 145 | F-5 d | (200)×190 | (185)×173 | 45 | A | | G1 | | (VII) | 32・114 | | |
| 146 | F-5 d | 180×175 | 155×155 | 45 | A(4) | SK-147 | G1 | | (VIII) | 32・114 | | |
| 147 | F-5 d | 190×150 | 189×160 | 110 | B | | B2・浅C1 | 磨石1 | (VII～VIII) | 32・114 | | |
| 148 | F-5 d | 235×193 | 270×210 | 50 | A(3) | SK-145 | G1 | | — | 32・114 | | |
| 149 | F-4 b | 152×130 | 165×120 | 53 | B | | G1 | | (IV) | 33・115 | | |
| 150 | F-4 c | (200)×180 | (185)×175 | 36 | A(1) | SK-151・152・158 | G1 | | (VI) | 33・115 | 30 | |
| 151 | F-4 c | 204×180 | 190×179 | 44 | B(2) | SK-150 | — | | — | 33 | 30 | |
| 152 | F-4 c | 135×130 | 120×110 | 28 | A | SK-150 | G2 | | (VI) | 33・115 | 30 | |
| 153 | F-4 c | 223×200 | 205×192 | 14 | A | | G1 | | (V) | 33・115 | | |
| 154 | F-4 b,c | 150×138 | 136×130 | 28 | A(1) | | G2 | | — | 33・115 | | チャート剥片13、黒曜石剥片1括 |
| 155 | F-4 d | 150×120 | 120×100 | 33 | A | SK-163 | G2 | | (V) | 34・115 | | |
| 156 | F-4 a | 180×170 | 180×145 | 31 | B | | G3 | | (II～III) | 33・115 | | |
| 157 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 158 | F-4 c,5 d | 207×185 | 192×189 | 61 | B(3) | SK-150 | G2 | 石鎚2 | — | 33・115 | 30・114・115 | 蝶多数出土 |
| 159 | F-4 a | 207×200 | 215×210 | 67 | B | | G2 | | (II) | 34・115 | | |
| 160 | F-4 d | 308×250 | 287×232 | — | A | B1・G1 | | 磨石3 | (VI) | 34・116 | | チャート剥片7、凝灰岩剥片6、メノウ剥片1括、砥石2 |
| 161 | F-4 a,d | 115×110 | 300×300 | 106 | E | | B1・F2・G3・鉢A1 | 磨石1 | IV・(VII) | 34・115 | 31・81・109 | |
| 162 | F-4 a,d | 174×150 | 170×147 | 42 | B | SK-163 | E1 | | (V) | 34・116 | | |
| 163 | F-4 d | 163×140 | 134×130 | 26 | A | SK-155・162 | G3 | | — | 34・116 | | |
| 164 | F-4 a | 140×120 | 130×104 | 35 | A | | G4・浅C1・台C1 | | (III) | 33・116 | | |
| 165 | 欠番 | | | | | | G1 | | — | | | |
| 166 | F-4 d | 200×163 | 205×156 | 19 | B(2) | | G1 | 磨石1 | — | 34・116 | | |
| 167 | F-4 c | 197×170 | 164×151 | — | A(1) | | G1 | 石鎚1 | — | 33・116 | 115 | |
| 168 | F-4 d | 225×202 | 203×180 | 40 | A | | G1 | | (VII～VIII) | 34・116 | | |
| 169 | F-4 c | 208×165 | 195×165 | 41 | B(2) | SI-16 | G1 | | (VII) | 35・116 | | 蝶多数出土 |
| 170 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 171 | F-4 c,5 d | 200×177 | 190×180 | 42 | B(1) | SK-216 | G2 | | (VII～VIII) | 35・116 | | |
| 172 | F-4 a,b | 161×147 | 147×133 | 29 | A(1) | | G1 | | — | 33・116 | | |
| 173 | F-4 c | 160×150 | 190×160 | 55 | B(5) | | G4 | | (VII) | 35・116 | | |
| 174 | F-5 d,G-5 a | 175×165 | 175×155 | 36 | B | SK-175 | G1 | 打斧1、石棒1 | (VII) | 35・116 | | |
| 175 | G-5 a | 190×172 | 165×162 | 51 | A | SK-174・214 | G1 | | — | 35・116 | | |
| 176 | G-5 a,b | 176×160 | 165×143 | 25 | A | | B2・C3・D1・F1・G3・注 □G1 | | (VIII～IX) | 35・117 | 81・105 | |
| 177 | G-5 b | 135×(120) | 195×172 | 46 | C | | G1 | | (VII) | 35・116 | | |
| 178 | G-5 b | 145×107 | 145×125 | 31 | A | SK-179 | F1・G1 | | (VIII) | 36・118 | 32 | |
| 179 | G-5 b | 197×195 | 245×210 | 74 | C(2) | SK-178・180 | G2 | | (VIII) | 36・116 | 32 | |
| 180 | G-5 b | 215×184 | 232×194 | 44 | C(2) | SK-179 | G1 | | (VI) | 36・118 | 32 | |
| 181 | G-5 b | 275×240 | 255×225 | 40 | A | SK-183 | G1 | | (VIII) | 36・118 | | |
| 182 | G-5 b | 200×200 | 230×210 | 42 | C | | — | | — | 36 | | 蝶多数出土 |
| 183 | G-5 b | 195×180 | 175×165 | 56 | A | SK-181 | D1・G1 | 石棒1 | (VIII) | 36・118 | | |
| 184 | G-5 b | 170×153 | 264×215 | 76 | D(2) | SK-185・209 | B1・D2・E1・G1 | 打斧1、石棒1 | VI～VII | 37・118 | | |
| 185 | G-5 b,6 a | 291×232 | (275)×222 | 38 | A | SK-184・186・209 | C1 | | (VII) | 37・118 | | |
| 186 | G-6 a | 268×240 | 260×240 | 46 | B | SK-185 | G6 | | (I～II) | 37・119 | 32 | |
| 187 | G-5 b | 181×165 | 175×160 | 30 | A | | G1 | | (VIII) | 36・118 | | |
| 188 | G-5 b | 255×245 | 250×240 | 30 | B | SK-199 | C2・F1・G6 | 磨石2、石皿1、多孔 石1 | I～II | 37・119 | 34 | |
| 189 | F-6 d | 136×112 | 135×135 | 31 | B | | — | | — | 36 | | |
| 190 | F-6 d | 145×135 | 128×125 | 24 | A | F1・鉢D1 | | | (VIII) | 36・119 | | |
| 191 | F-5 c | 155×135 | 135×125 | 40 | A | SK-135 | G3 | 石鎚1 | (VII) | 28・119 | 33・114 | |

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------------|-------------|-----------|-----|--------|-----------------|-----------------|-----------|------------|--------|--------|------------------------|
| 192 | G-5 c | 169×175 | 196×165 | 58 | B(1) | | C1·D1·G1 | | VIII~IX | 38·119 | 81 | |
| 193 | G-6 a | 95×90 | 206×201 | 63 | D | SK-194 | C1·G1 | 磨斧1、磨石1 | II~III | 37·120 | 32·82 | |
| 194 | G-6 a | 215×210 | 200×198 | 18 | A | SK-193 | G1 | | (VIII~IX) | 37·119 | | |
| 195 | G-6 a | 250×(180) | 250×(170) | 53 | B | SK-197 | B1·C1·G2 | | (IV~V) | 38·120 | | |
| 196 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 197 | G-6 a | 240×(180) | 233×(160) | 44 | A | SK-195 | G2 | | (VI) | 38·119 | | |
| 198 | G-6 b | 230×195 | 220×195 | 52 | B(1) | | G2 | | — | 38·119 | | |
| 199 | G-5 b, 6 a | 262×245 | 263×250 | 63 | B(1) | SK-188 | D3·E1 | | (V~VI) | 37·120 | 34 | |
| 200 | G-6 a | 228×207 | 237×232 | 74 | B | SK-201 | F1·G4 | 砾器1、磨斧1、 | (I~II) | 39·120 | 34 | |
| 201 | G-6 a·d | (260)×238 | (240)×230 | 50 | A(3) | SK-200 | G1 | | (I) | 39·120 | 34 | |
| 202 | F-5 b | 180×155 | 155×140 | 19 | A | | G2 | | (VII) | 26·120 | | |
| 203 | F-5 c | 175×160 | 155×150 | 15 | A(3) | SK-137·213 | — | | — | 29 | | |
| 204 | F-6 d | 185×150 | 210×185 | 66 | B | SK-132 | B2·C4·D2·F1·浅G1 | 磨石1 | VI | 31·121 | 82 | |
| 205 | F-5 c, 6 d | 215×180 | 230×190 | 40 | B(2) | SK-206 | G2 | | (VII) | 39·120 | | |
| 206 | F-5 c, 6 d | (200)×155 | (190)×145 | 26 | A | SK-205 | G2 | | (II~III) | 39·120 | | |
| 207 | F-5 c | 155×150 | 140×135 | 24 | A(2) | | G1 | | (VII) | 39·120 | | |
| 208 | G-6 a | 196×187 | 173×155 | 27 | A(1) | F1 | 石皿1 | | (II) | 36·122 | | |
| 209 | G-5 b, 6 a | 290×245 | 290×245 | 41 | B | SK-184·185 | G2 | 土製円盤1、石棒1 | (VIII) | 37·122 | | |
| 210 | F-6 d | 185×[170] | 175×[163] | 27 | A(2) | SK-93·136 | G1 | | (IX) | 28·122 | | |
| 211 | F-5 c | 177×145 | 160×125 | 19 | A(1) | SK-113·133 | G1 | | (VII) | 29·122 | | |
| 212 | F-5 c | 140×140 | 180×180 | 50 | C(1) | SK-98·105 | G1 | | — | 27·122 | | |
| 213 | F-5 c | 195×192 | 180×170 | 17 | A(2) | SK-137·203 | G2 | | (VII~VIII) | 29·122 | | |
| 214 | G-5 a | (130)×105 | (110)×95 | 16 | B | SK-132 | F1 | | (VIII) | 35·122 | | |
| 215 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 216 | F-4 c | 150×130 | 134×118 | 27 | A | SK-171 | G1 | | — | 35·122 | | |
| 217 | F-4 d | 148×130 | 127×108 | 36 | A | | G2 | | (VIII) | 34·122 | | |
| 218 | F-3 c | 175×158 | 160×142 | 26 | A(2) | | G1 | | — | 34·122 | | |
| 219 | F-3 c | 175×152 | 160×140 | 25 | A(1) | B1·G1 | 打斧1 | | VI | 39·122 | 83 | |
| 220 | F-4 d | 230×230 | 225×205 | 28 | B | F1 | | | (VII) | 39·122 | | |
| 221 | F-4 d, G-4 a | 155×145 | 155×150 | 47 | C | — | | | — | 40 | | |
| 222 | F-4 d | 160×150 | 140×125 | 28 | A | | G1 | | (VII) | 39·122 | | |
| 223 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 224 | G-4 b | 180×165 | 205×150 | 57 | B(2) | | C1 | | VIII | 40·122 | | |
| 225 | G-4 b | 255×190 | 240×187 | 62 | A(2) | C1·D1·F1·G2·鉢B1 | 小磨斧1、 | VIII | 40·123 | 34·83 | | |
| 226 | G-3 b | 217×(200) | 193×(190) | 39 | A | SK-227 | 浅G1 | | (VI) | 40·123 | | |
| 227 | G-3 b, 4 a | 215×173 | 185×150 | 43 | A | SK-226 | G1 | | (VIII) | 40·123 | | |
| 228 | G-4 a | 297×270 | 265×245 | 71 | B(4) | SK-229·230 | G2 | | (V·VII) | 41·123 | 35 | |
| 229 | G-4 a | (170)×147 | (160)×132 | 55 | A | SK-228 | G2 | 打斧1 | (VII) | 41·123 | | |
| 230 | G-4 a | (170)×160 | (200)×178 | 49 | C(1) | SK-228 | G1 | 玉1 | (VIII) | 41·123 | 35·111 | 小ピット付近から砾多数出土、チャート剥片10 |
| 231 | G-5 a | 185×176 | 165×165 | 68 | A(5) | | G2 | 磨石2 | (VIII) | 31·123 | | |
| 232 | G-4 a, b | 200×193 | 202×184 | 60 | B(1) | C1·G2 | 石皿1 | | VIII | 41·124 | 35 | |
| 233 | G-4 b, c | 180×160 | 163×150 | 48 | B(1) | B1 | | x | 41·124 | 36·83 | | |
| 234 | G-4 b | 237×215 | 205×192 | 64 | A(2) | G3 | | | (VIII) | 40·124 | | |
| 235 | G-5 a | 205×185 | 190×175 | 63 | A(1) | G2 | 打斧1 | (VIII~IX) | 40·124 | | | |
| 236 | G-4 a | 180×160 | 205×187 | 104 | C(1) | B1·G3 | 打斧1 | | (VII) | 40·124 | 83 | |
| 237 | G-3 c, 4 d | 244×210 | 215×215 | 70 | B(4) | G2 | 磨石1 | | (VIII) | 41·124 | | |
| 238 | G-4 d | 210×181 | 233×190 | 50 | C(1) | G1 | 磨石1 | | (VII~VIII) | 42·124 | | |
| 239 | G-4 d | 238×215 | 267×250 | 50 | C | G2 | | | (III) | 42·125 | | |
| 240 | H-4 a | 220×193 | 215×195 | 42 | B(1) | G1 | | | (VII) | 42·125 | | |
| 241 | H-4 a | 179×165 | 185×170 | 33 | B(1) | G1 | | | (IX) | 42·125 | | |
| 242 | H-4 a, b | 234×200 | 193×185 | 54 | A(1) | G1 | | | (VIII) | 42·125 | | 砾多数出土 |
| 243 | H-4 b | (234)×230 | (220)×205 | 52 | A(2) | SK-244 | B1·G2 | 破片3 | (VII~VIII) | 42·125 | | |
| 244 | H-4 b | 175×(155) | 168×(135) | 36 | B(1) | SK-243 | — | 線刻石1 | — | 42 | | |
| 245 | H-4 b | 205×170 | 207×165 | 60 | B(1) | | G2 | 尖頭器1 | (IX) | 43·125 | | |
| 246 | H-4 b | (160)×(145) | 210×180 | 67 | D | D3·G1·鉢A1 | 磨石2 | | II~III | 43·125 | 36·84 | |
| 247 | H-4 b | 200×[90] | 180×[100] | 55 | B(1) | SK-262 | C1·G1 | | (II)·VIII | 43·125 | | |
| 248 | G-5 d | 180×165 | 185×173 | 60 | B(1) | G1 | 石皿1 | | (VIII) | 44·125 | 36 | チャート剥片1 |
| 249 | G-5 d | 160×142 | 148×132 | 52 | A(1) | G2 | | | (IX) | 44·125 | | 砾多数出土 |
| 250 | G-5 d | 215×195 | 215×205 | 65 | B(3) | F2·有孔G1 | | | (IX) | 44·126 | | |
| 251 | G-5 d | 215×210 | 225×208 | 60 | C(3) | G1 | 石錐1 | | (VIII) | 44·125 | 37 | |
| 252 | G-5 d | 185×170 | 185×174 | 53 | B(1) | SK-253·254 | G1 | | (VIII) | 45·125 | 37 | |
| 253 | G-5 d | 180×170 | 170×165 | 39 | B(1) | SK-252 | G1 | | (VII) | 45·125 | 37 | |
| 254 | G-5 d | 195×182 | 195×175 | 69 | B(3) | SK-252 | C1 | | (VII) | 45·126 | 37 | |
| 255 | G-5 d, H-5 a | 180×167 | 197×187 | 51 | B(1) | G1 | | | (VIII) | 45·126 | 37 | |
| 256 | H-5 a | 135×130 | 125×125 | 64 | A | SK-299 | G1 | 石錐1 | (VII) | 45·126 | 37·114 | |
| 257 | H-5 a | 250×245 | 255×245 | 49 | B | SK-276 | F1·浅F1 | 打斧1 | (II) | 44·126 | 37 | |
| 258 | H-5 a | 185×177 | 195×175 | 58 | B(1) | SK-259 | G1 | | (VII) | 45·126 | 38 | 砾多数出土 |
| 259 | H-5 a | (185)×160 | 170×160 | 34 | B(1) | SK-258 | G1 | | (VI~VIII) | 45·126 | 38 | |
| 260 | H-4 b | 190×165 | 192×170 | 56 | B(2) | — | | | — | 43 | | |
| 261 | H-4 b | 147×122 | 136×120 | 50 | B | F1·G3 | 磨石3 | | II~III | 43·126 | | |
| 262 | H-4 b, 5 a | 240×230 | 250×230 | 62 | B | SK-247 | G5 | 砾器1、磨石1 | (I·III) | 43·127 | | |
| 263 | G-4 a | 125×115 | 118×105 | 48 | A(1) | G1 | | | — | 44·127 | | |
| 264 | G-4 d | 184×160 | 185×160 | 75 | B(4) | G1 | | | (IV) | 44·127 | | |
| 265 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 266 | G-5 c, d | 159×150 | 177×165 | 90 | C(5) | | 壺B1 | | VII~VIII | 44·127 | 84 | |
| 267 | G-5 c, H-5 b | 255×245 | 234×230 | 45 | A(1) | | C3·F·G1·脚D1 | | VII~VIII | 44·127 | 110 | |
| 268 | G-5 c | 243×205 | 230×195 | 47 | A(1) | SK-273·300·337 | G1 | 石錐1 | VIII | 46·128 | 114 | |
| 269 | G-5 c | 205×205 | 195×190 | 40 | B(1) | D1·F1 | | | — | 38·128 | 38 | |

| No | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|------------|-------------|-------------|-----|--------|--------------------|-------------|------------------|------------|--------|----------|------------|
| 270 | G-5c | 193×193 | 180×180 | 49 | A(1) | | C1 | | (VIII~IX) | 38・128 | 39 | |
| 271 | G-5b | 165×145 | 153×150 | 42 | B | | — | 磨石2 | — | 38 | 39 | |
| 272 | G-6d | 220×210 | 270×240 | 77 | D(1) | SK-302・304 | F3・浅G1 | | VII | 47・128 | | |
| 273 | G-5c | 95×85 | 213×203 | 147 | D | SK-268・300・309・333 | 壺F1 | | (VII) | 46・128 | | |
| 274 | G-6d | 210×180 | 206×180 | 67 | B | | — | | — | 46 | | |
| 275 | G-5b | 140×130 | 128×123 | 40 | A(1) | | G1 | 石錐1 | (VII) | 47・128 | 39 | |
| 276 | H-5a | 150×138 | 183×150 | 60 | C(2) | SK-257 | G3・浅F1 | 土製円盤1 | VI~VII | 45・129 | | |
| 277 | G-6d, H-6a | 228×(197) | 190×(180) | 50 | B(2) | SK-312・336 | C1・F1・G1 | | VI | 48・129 | 39・84 | |
| 278 | G-6d | (195)×175 | (190)×170 | 30 | A(2) | SK-284 | G1 | | (VI) | 47・129 | | |
| 279 | G-6d | 205×165 | 255×240 | 80 | B | SK-280 | E1・G2 | 小磨斧1、土製円盤1 | (IV) | 49・129 | | |
| 280 | G-6a,d | (150)×133 | (140)×120 | 22 | A | SK-279 | G1 | | (VI) | 49・129 | | |
| 281 | G-6d | 167×(130) | 160×(125) | 42 | A | SK-282・288 | G2 | | (IV・V) | 49・129 | 40 | |
| 282 | G-6a,d | 175×170 | 190×175 | 55 | C | SK-281・288 | B1・D2 | 磨石4 | III~IV | 49・130 | 40・84 | |
| 283 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 284 | G-6d | 216×213 | 210×205 | 48 | A | SK-278・285 | G4 | 磨石1 | I~II | 47・130 | | 黒曜石二次加工剥片1 |
| 285 | G-6d | (185)×145 | (180)×140 | 20 | A(1) | SK-284・287 | G2 | | — | 47・129 | | |
| 286 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 287 | G-6d | (200)×180 | (170)×170 | 25 | A(2) | SK-285・297 | C1・G1 | | (II) | 47・130 | 84・111 | |
| 288 | G-6d | (160)×(160) | 260×240 | 97 | C(1) | SK-281・282 | C1・E1・F2・G3 | 多孔石1 | V・IV | 49・132 | | |
| 289 | G-6a,d | 45×40 | 41×38 | 32 | B | | — | | — | 38 | | 小穴 |
| 290 | G-6d | 40×39 | 44×41 | 35 | B | | — | | — | 38 | | 小穴 |
| 291 | G-6c | 75×70 | 60×55 | 30 | A | | — | | — | 48 | | |
| 292 | G-6b,c | [235]×[78] | [235]×[95] | — | C | | G2 | | (VI~VII) | 38・130 | | |
| 293 | G-6c | 156×141 | 210×176 | 75 | C(2) | | G1 | | (IV~V) | 48・130 | | |
| 294 | G-6d | 40×35 | 36×36 | 24 | A | | — | | — | 47 | | 小穴 |
| 295 | G-6c | 50×45 | 23×18 | 96 | A | | — | | — | 49 | | 小穴 |
| 296 | G-6c | 37×35 | 26×26 | 20 | A | SK-297 | | | — | 49 | | |
| 297 | G-6c,d | 255×200 | 270×250 | 45 | B | SK-287・296・298 | B3・F1・浅B3 | 磨石1 | V | 49・131 | 40・84・85 | 黒曜石剥片1 |
| 298 | G-6c,d | 170×160 | 220×200 | 60 | D | SK-297 | E1・G5 | 石錐1、打斧1、磨斧 | (IV~V) | 49・132 | 40 | |
| 299 | G-5d | 160×(120) | 170×(130) | 70 | B | SK-256 | B1 | | VII | 45・132 | | |
| 300 | G-5c | 190×190 | 175×170 | 45 | B(1) | SK-268・273・301 | G1 | | (VIII) | 46・132 | | |
| 301 | G-5c | 240×192 | 230×182 | 32 | A(2) | SK-300・302 | B1 | 石錐1、耳飾り1 | V~VI | 47・132 | 110 | |
| 302 | G-5c,6d | (210)×195 | 205×185 | 28 | A(1) | SK-272・301・303・304 | | | (VII) | 47・132 | | |
| 303 | G-6d | 237×(220) | 225×(205) | 26 | A | SK-302・304 | F1・有孔C1 | 線刻石1 | (VII) | 47・133 | | |
| 304 | G-6d | 200×(115) | 185×(100) | 34 | A(1) | SK-272・301・303・305 | B1・F1 | | (VII) | 47・133 | | 黒曜石二次加工剥片1 |
| 305 | G-6d | (105)×(105) | 225×225 | 48 | B(2) | SK-304・306 | C1・G1 | 石錐5、礫器1、磨斧 | I~II | 47・133 | 114 | |
| 306 | G-6d | 170×(141) | 130×(120) | 50 | A(1) | SK-305 | | | — | 47 | | |
| 307 | G-6d | 155×130 | 200×180 | 58 | D(3) | SK-308 | C1・G2 | 耳飾り1 | (V) | 48・133 | 111 | チャート石核1 |
| 308 | G-6d | 245×205 | 215×215 | 30 | A(1) | SK-307・336 | F1 | 土製円盤1 | (I) | 48・134 | | |
| 309 | G-5c | 180×150 | 173×153 | 55 | B(2) | SK-273・333 | G2 | 磨石1 | (VII) | 46・134 | | |
| 310 | G-6d, H-6a | (170)×115 | (150)×105 | — | A | SK-312 | G1 | | (VI) | 48・134 | | |
| 311 | G-6d, H-6a | (210)×(150) | (190)×(150) | 25 | A(1) | SK-408・423 | G1 | 石錐1、石錐1 | (II) | 48・134 | | |
| 312 | H-6a | 180×165 | 180×180 | 55 | B | SK-277・310 | E1・F1・G4 | 搔削器1、礫器1、磨斧2、磨石5 | I~II | 48・134 | | 黒曜石剥片1 |
| 313 | H-4d | 185×160 | 173×144 | 26 | A | | G2 | | (IX) | 50・134 | | |
| 314 | H-4d | 216×192 | 209×206 | 57 | B | | G3 | 磨斧2、磨石1、土製円盤1 | I~II | 50・134 | 40・110 | |
| 315 | H-4d | (180)×152 | (208)×149 | 61 | B(2) | SK-316 | G1 | | (VII~VIII) | 50・134 | 41 | |
| 316 | H-4d | 226×184 | 200×180 | 56 | B | SK-315・317 | F1 | 打斧1、磨石1 | II | 50・134 | 41 | |
| 317 | H-4c,d | (175)×153 | (155)×155 | 42 | A | SK-316 | G1 | | (VII~VIII) | 50・134 | 41 | |
| 318 | H-4b,c | 196×178 | 178×150 | 47 | A | SK-319 | G1 | | (VII) | 50・134 | | |
| 319 | H-4c | (170)×141 | (160)×140 | 39 | A | SK-318 | — | | — | 50 | | |
| 320 | H-4c | 240×198 | 230×178 | 42 | A | | G2 | | (VII~VIII) | 50・134 | 41 | |
| 321 | H-4c | 112×107 | 97×91 | — | A(1) | | — | | — | 51 | | |
| 322 | H-4c,d | 130×120 | 200×195 | 104 | D | SK-349・350 | G3 | | (I) | 51・135 | | |
| 323 | H-4c | 190×(150) | 170×(130) | 56 | A | SK-348 | G1 | | (V) | 51・135 | | |
| 324 | H-4c | 240×185 | 266×220 | 95 | E(2) | SK-352 | F2 | 打斧1 | (V~VI) | 51・135 | | |
| 325 | H-4b,c | 252×220 | 273×246 | 65 | C(2) | | G1 | 磨斧1 | (VI~VII) | 52・135 | | |
| 326 | H-5a | (190)×185 | (205)×195 | 46 | B | SK-329 | G5 | | II | 52・135 | | |
| 327 | H-5a,d | 205×200 | 205×205 | 50 | C | | G3・浅G1 | 石錐1 | I~II | 52・135 | 115 | |
| 328 | H-5a | 200×164 | 225×217 | 70 | C | | B1・G1 | | II~III | 51・135 | 41・85 | |
| 329 | H-5a | (250)×210 | (240)×237 | 59 | B | SK-326・355 | C2・G2 | 磨石2、石棒1 | I~II | 52・136 | 42 | 4はSK-355か |
| 330 | H-5a | 205×203 | 190×190 | 39 | A(1) | SK-355 | G1 | | (VII~VIII) | 52・136 | 42 | |
| 331 | H-5a,d | 245×204 | 230×190 | 42 | A(1) | SK-371 | D1・G1 | 磨石1、石皿1 | (VI) | 52・136 | 42 | |
| 332 | H-5a,d | (165)×165 | 200×190 | 61 | B | SK-339・355 | G2 | | (IV~V) | 52・136 | | |
| 333 | G-5c | 175×(170) | 178×(170) | 47 | C(1) | SK-273・309 | G2 | | (VIII) | 46・136 | | |
| 334 | G-5a | 200×190 | 235×205 | 122 | C(3) | SI-17 | F1 | | (VI~VII) | 53・136 | | |
| 335 | G-6d, H-6a | 180×158 | 185×165 | 66 | B | | G1 | | (VI) | 46・136 | | |
| 336 | G-6d | 210×175 | 190×165 | 27 | A(1) | SK-277・308 | G1 | | (VII~VIII) | 48・136 | 39 | |
| 337 | G-5c | 120×110 | 110×93 | 49 | A | SK-268 | G1 | | (VII) | 46・136 | | |
| 338 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 339 | H-5a,b | 205×190 | 200×200 | 60 | B(4) | SK-322・355 | F1 | | (VI) | 52・137 | | |
| 340 | H-5b,c | 185×170 | 185×170 | 40 | B(2) | SK-341・342 | G1 | | (II) | 53・137 | 42 | |
| 341 | H-5c,d | (200)×150 | (130)×145 | 39 | A(1) | SK-340・342 | G2 | 磨斧1 | (II) | 53・137 | 42 | チャート剥片8 |
| 342 | H-5c | 130×120 | 242×226 | 114 | D | SK-340・341・357 | C1・浅B2 | 磨石1 | V | 53・137 | 42・43 | |

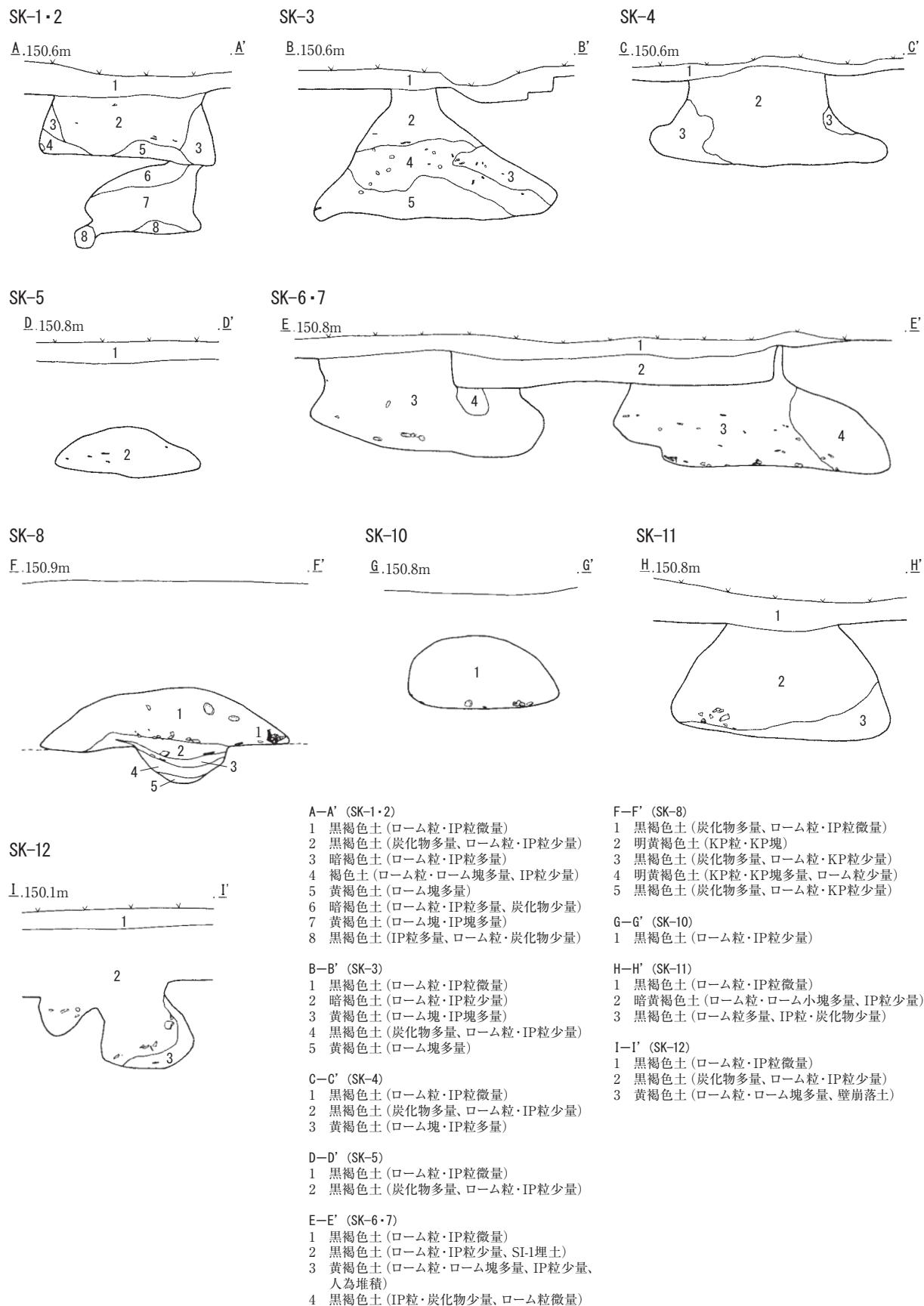
| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|-----------|-------------|-------------|-----|--------|----------------------|-------------------|----------------|------------|--------------|-----------|----------------|
| 343 | H-5 c | 193×174 | 195×174 | 84 | B(8) | SK-354 | C1 | 線刻石1 | VI | 53・137 | | |
| 344 | H-5 d | (210)×190 | (220)×200 | — | B | SK-345・347・364 | F2 | | VI～VII | 54・137 | | |
| 345 | H-5 d | 165×137 | 245×240 | 94 | E(1) | SK-331・344・371 | D1・E1 | 磨石2 | III～IV | 54・138 | | |
| 346 | H-5 d | (160)×140 | (140)×120 | 31 | A | SK-347・356 | G1 | | (III～IV) | 54・138 | | |
| 347 | H-5 d | 240×230 | 250×233 | 69 | B | SK-344・346・356 | F1・鉢B1 | 磨斧1 | V | 54・138 | 85 | |
| 348 | H-4 c | 205×204 | 265×240 | 80 | E | SK-323 | G2 | 磨石1 | (V) | 51・138 | | |
| 349 | H-4 c,d | (160)×115 | (160)×145 | 50 | B | SK-322 | — | | — | 51 | | |
| 350 | H-4 c,d | (200)×160 | (215)×(220) | 70 | C | SK-322・496 | G2 | | (VIII) | 51・138 | | |
| 351 | H-5 d | [155]×[56] | [110]×[50] | — | A | SK-353・371 | G1 | 磨石2、石皿1 | (VI～VII) | 54・139 | | |
| 352 | H-4 c | 110×106 | 180×170 | 70 | E | SK-324 | E1 | | (III) | 51・139 | | |
| 353 | H-5 d | 143×136 | 224×182 | 76 | D | SK-351・371 | B1・G1 | | IV | 54・139 | | |
| 354 | H-5 c | 195×154 | 213×210 | 80 | D | SK-343・357 | C1・浅A1 | 石皿1 | IV～V | 53・139 | 85・105 | |
| 355 | H-5 a | (120)×(120) | 200×(130) | 57 | A(1) | SK-329・330・332・339 | — | | — | 52 | 42 | SK-329-4は本土坑か |
| 356 | H-5 d | 205×185 | 195×178 | — | B | SK-346・347 | F1・浅B1 | | VI | 54・140 | 85 | |
| 357 | H-5 c | (210)×175 | (190)×165 | 45 | A | SK-342・354 | 鉢B1 | | VI～VII | 53・139 | | |
| 358 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 359 | H-5 b,c | 160×146 | 200×192 | 104 | D | SK-360 | G1 | 石皿1 | (VI～VII) | 54・139 | | |
| 360 | H-5 b | 275×(250) | 271×(250) | 74 | B(3) | SK-359・361 | G1 | | (V) | 54・139 | | |
| 361 | H-5 b | (190)×177 | (201)×187 | 59 | B | SK-360・362 | G1 | | (VII～VIII) | 54・139 | | |
| 362 | H-5 b | [140]×[35] | [135]×[24] | — | A | SK-361・363・368 | G1 | | (VII) | 55・139 | | |
| 363 | H-5 b | [113]×[36] | [108]×[26] | — | A | SK-362・365・368 | — | | — | 55 | | |
| 364 | H-5 d | 145×(140) | 142×(140) | 63 | D | SK-344・364 | G2 | 磨石1 | (VI～VII) | 62・139 | | |
| 365 | H-5 b | 150×130 | 155×145 | 61 | B(1) | SK-363・368 | F1 | | (VII) | 55・140 | | |
| 366 | H-5 b | 208×180 | 183×170 | 32 | A(1) | SK-367 | G1 | | (III) | 55・140 | | |
| 367 | H-5 b | 180×150 | 197×170 | 80 | C | SK-366 | G1 | | (VI) | 55・140 | | |
| 368 | H-5 b | 273×260 | 275×268 | 55 | B(2) | SK-362・363・365 | G1 | | (VI～VII) | 55・140 | | |
| 369 | H-5 b | 190×180 | 235×232 | 88 | D | | G1 | | (VII) | 55・140 | | |
| 370 | H-5 b | 152×133 | 152×138 | 30 | B | | G1 | | (VII) | 55・140 | | |
| 371 | H-5 d | 165×120 | 150×118 | 67 | A(1) | SK-331・345・351・353 | — | | — | 54 | | |
| 372 | H-5 b | 195×(130) | 250×200 | 87 | D | SI-24 | F1・G1 | | (VII) | 55・140 | | |
| 373 | H-6 a | (210)×155 | (190)×180 | 54 | B(1) | SK-312 | G1 | | (VI～VII) | 48・140 | | |
| 374 | H-6 a | 290×235 | 290×214 | 72 | D(2) | SK-373・375・377 | C1・浅A1 | 石織1 | (VII) | 56・140 | 114 | |
| 375 | H-6 a | (230)×205 | (204)×200 | 42 | B | SK-374・376 | B1・F1・G3 | | III | 56・141 | 43・86・106 | |
| 376 | H-6 a | (235)×(160) | (235)×(155) | 27 | B | SK-375・378・401 | G2 | | (II～III) | 56・141 | | |
| 377 | H-6 a | (200)×175 | (190)×180 | 48 | B(1) | SK-374・388・389 | F1 | | (VI～VII) | 56・142 | | |
| 378 | H-6 a | 160×(140) | 260×230 | 70 | E(2) | SK-376 | B2・C2・D1・G2 | 磨石3 | III～IV | 56・141 | 44・86 | |
| 379 | H-5 c | (230)×185 | (180)×170 | 18 | A | SK-380・387 | — | | — | 57 | | |
| 380 | H-5 c | 224×(200) | 243×(220) | 53 | B | SK-379・381・382・387 | B2・C1・E1・G1・浅B1 | 石織1、磨斧2、磨石 IV | 57・142 | 44・86・87・113 | | |
| 381 | H-5 c | (190)×150 | 175×138 | 29 | A(1) | SK-380・382 | F1・G1・脚D1 | | (V) | 57・142 | | |
| 382 | H-5 c | (220)×186 | (200)×175 | 36 | A | SK-380・381 | D1・G1 | 線刻石1 | (V) | 57・141 | 45・110 | ベンガラ入り土器 |
| 383 | H-5 c | 115×90 | 175×155 | 66 | D | SK-384・402 | G1 | | (II) | 58・143 | | |
| 384 | H-5 c,6 d | 175×165 | 195×170 | 62 | B | SK-383・385 | E1・G3 | 土器装飾1 | (II～III) | 58・143 | 110 | 顔面装飾 |
| 385 | H-6 d | 90×85 | 217×200 | 115 | D | SK-384・386・393 | E1・F1・浅F1 | | (V～VI) | 58・143 | | |
| 386 | H-6 d | (130)×110 | (125)×110 | 22 | A | SK-385・421・422 | G1 | | (V) | 58・143 | | |
| 387 | H-5 c | (140)×114 | (130)×118 | 60 | B | SK-379・380・382・399 | — | 石皿1 | — | 57 | | |
| 388 | H-6 a | 130×(130) | 113×(113) | 65 | A | SK-377・389・406 | C1 | | V～VI | 56・143 | | |
| 389 | H-6 a | 218×185 | 255×225 | 105 | D(4) | SK-377・388 | B1・C1・浅B2 | 磨斧1、ミニ1 | VI | 56・144 | 110 | |
| 390 | G-5 a,b | 210×185 | 223×200 | 78 | C(6) | | G2 | 打斧1 | (VI～VII) | 58・143 | 45 | 安山岩剥片20、安山岩打斧1 |
| 391 | G-5 a | 187×170 | 170×160 | 39 | B(2) | | F1・G1・有孔鉢付G1 | 尖頭器1、打斧1、磨(G1) | (VII) | 58・143 | 110 | |
| 392 | H-6 d | 115×105 | 245×225 | 96 | E | SK-421 | B1・C1・G1 | 磨斧1、磨石2 | V | 58・144 | 87 | |
| 393 | H-6 d | 203×175 | 195×175 | 99 | B | SK-485・394・417 | B1・C2・D1・E1・F1・G5 | | VI | 58・145・146 | | |
| 394 | H-6 d | (170)×130 | (150)×120 | 56 | A(1) | SK-393 | B1・G1 | | IV | 58・146 | 88 | |
| 395 | H-5 c | 225×150 | 309×289 | 175 | E | SK-396・402・433 | G2 | 石皿1、粘土塊1 | (V) | 57・146 | 87・111 | |
| 396 | H-5 c,6 d | (210)×183 | (230)×225 | 160 | D | SK-393・395・417・433 | A1・B2・D1・G1・浅B1 | IV・VI | 57・147 | 88 | | |
| 397 | H-5 c | 177×143 | 247×234 | 106 | E(1) | SK-472 | D1・G1 | 打斧1 | (IV～V) | 59・147 | | |
| 398 | H-5 c | 129×113 | 277×269 | 175 | D(2) | SK-400 | E1・G2 | | (V) | 59・148 | | |
| 399 | H-5 c,6 d | 186×173 | 220×187 | 68 | B(1) | SK-387・430・431 | B1 | ミニチュア土器1 | III | 57・148 | 44・88・110 | |
| 400 | H-5 c | 230×185 | 195×180 | 55 | A(2) | SK-398 | C1・D1 | | VI | 59・148 | | |
| 401 | H-6 a | 215×153 | 205×145 | 52 | A | | 鉢B1 | | VI～VII | 56・148 | | |
| 402 | H-5 c | (150)×120 | (140)×115 | — | A(3) | SK-383・395 | G3 | | (II) | 57・149 | | |
| 403 | H-6 d | 185×180 | 280×265 | 98 | C | SI-25・SK-404 | B2・C1 | 石棒1 | V | 60・149 | 88 | |
| 404 | H-6 a,b | (300)×[250] | (290)×[195] | 78 | D(1) | SK-403 | G2 | 打斧1 | (V) | 60・149 | | |
| 405 | H-6 a | [140]×[80] | [130]×[80] | 18 | A | SK-388・407 | G2 | | (III～IV) | 60・149 | | |
| 406 | H-6 a | (150)×[135] | 150×[135] | 65 | B | SK-406・408 | G1 | 石棒1 | (VI) | 59・149 | | |
| 407 | H-6 a | 220×200 | 215×200 | 80 | B | SK-311・407 | C1・E1・G2 | 土製円盤1 | (I～II) | 59・149 | | |
| 408 | H-6 a | (220)×[180] | (220)×[180] | 60 | E | | F1 | 磨斧1 | (V) | 59・149 | | |
| 409 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 410 | H-6 d | 165×153 | 146×140 | 18 | A | | G1 | | (VI) | 60・150 | | |
| 411 | H-6 d | 130×121 | 120×113 | 24 | A(2) | SK-414 | G2 | | (II) | 61・150 | 44 | |
| 412 | H-6 a | (300)×210 | (290)×205 | 35 | B | SI-25・SK-376・378・431 | B1・C1・F2・G1 | 磨斧1 | III | 61・150 | 89 | |
| 413 | H-6 d | 180×170 | 180×180 | 45 | C(1) | SK-414 | G1 | | (III) | 61・150 | 44 | |

| No | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 | |
|-----|--------------|-----------|-----------|-----|--------|------------------------|------------------|------------|------------|------------|---------------------|--------------|--|
| 414 | H-6 d | 220×210 | 195×190 | 82 | C | SI-30・SK-411・413・415 | C1 | 磨石1 | (V) | 61・150 | 44 | | |
| 415 | H-6 d | 125×(120) | 110×(110) | 45 | A | SI-30・SK-414 | G1 | | (VIII) | 61・151 | | | |
| 416 | 欠番 | | | | | | | | | | | | |
| 417 | H-5 c, 6 d | (200)×170 | (155)×145 | 40 | B(1) | SK-393・396・433 | G1 | | (VI) | 57・151 | | | |
| 418 | H-6 d | 76×70 | 63×60 | 50 | A | SK-419・420 | G1 | | (VI) | 60・151 | | 小穴 | |
| 419 | H-6 c, d | 70×60 | 62×35 | — | A | SK-418・419 | | | — | 60 | | 小穴 | |
| 420 | H-6 c, d | 125×125 | 300×295 | 118 | E(2) | SK-386・422 | F1 | 磨斧1、磨石2 | — | 60・151 | | | |
| 421 | H-6 d | 100×100 | 280×230 | 118 | D | SK-386・422 | B1・C2・F1・台A1・脚D1 | | VI | 58・151 | 89 | | |
| 422 | H-6 d | 130×115 | 143×132 | 54 | C | SK-386・421 | G1 | | (VI) | 58・151 | | | |
| 423 | H-6 a | 135×[65] | 135×[63] | — | A | SK-311・408 | D1 | | (V) | 59・151 | | | |
| 424 | H-6 d | 195×185 | 183×170 | 56 | A(3) | | F1 | | (VI～VII) | 60・151 | | | |
| 425 | H-6 a, d | 198×170 | 210×190 | 38 | B(3) | SI-25 | B1・C1・D11 | | VI | 61・152 | 46・89 | | |
| 426 | H-6 d | 200×188 | 195×195 | 32 | B(2) | SI-25 | G1 | 粘土塊1 | (III) | 61・151 | 111 | | |
| 427 | H-6 a, d | 259×234 | 260×239 | 53 | B(3) | SI-25 | G① | 磨斧1、磨石2 | (III～IV) | 60・151 | | | |
| 428 | H-6 d | 75×73 | 35×33 | 50 | A | SI-25 | B1 | | — | 60 | | 小穴 | |
| 429 | H-6 d | 170×163 | 154×145 | 25 | A(1) | SI-25 | B1 | | V | 60・152 | 89 | | |
| 430 | H-5 b, 6 a | 204×(170) | 205×(155) | 50 | A(1) | SK-399・431 | G1 | | (III) | 61・152 | | | |
| 431 | H-6 a, d | 201×175 | 190×165 | 40 | A | SK-399・412・430・432 | G1 | | (VI～VII) | 61・152 | | | |
| 432 | H-6 d | (260)×195 | 210×175 | 50 | A(1) | SI-25・SK-431 | — | | — | 61 | | | |
| 433 | H-5 c, I-5 b | 260×(220) | 235×(200) | — | A(4) | SK-395・396・417 | G1 | | (VI) | 57・153 | | | |
| 434 | I-6 a | 60×55 | 166×160 | 96 | D | | G1 | 磨石1 | (III～IV) | 61・153 | | | |
| 435 | H-5 c | 120×110 | 140×120 | 70 | C | | — | | — | 57 | | | |
| 436 | H-5 c, d | 115×100 | 206×203 | 132 | E | | B1・C1・G2・浅A1・浅B1 | | V～VI | 59・152 | 46・89・90 | | |
| 437 | H-5 d | 175×135 | 160×150 | 50 | B(2) | | G1 | | (VI) | 62・153 | 47 | | |
| 438 | H-5 d | 170×140 | 216×170 | 122 | D | SK-437 | A1・D2・G2 | | V～VI | 62・153 | 90 | | |
| 439 | H-5 d | 160×(130) | 183×(170) | — | B(1) | SK-464・466 | G1 | | (VII) | 62・153 | | | |
| 440 | H-5 d | 240×230 | 280×275 | 138 | D(2) | SK-465 | A1・B1・C1・D1・鉢B | 磨斧1、磨石2 | VI | 62・154 | 47・90・110 | | |
| 441 | H-4 c, 5 d | 200×180 | 256×240 | 109 | E | SK-442・466 | B6・C1・鉢B1 | 磨斧1、磨石1 | IV | 62・155・156 | 49・50・91・92・106・107 | | |
| 442 | H-4 c | 300×(200) | 285×(180) | 102 | A(1) | SI-28・SK-348・441・443 | G1 | | (VII) | 63・157 | | | |
| 443 | H-4 c | 190×185 | 185×185 | 92 | A | SI-28・SK-442・444～446 | G1 | 磨斧1 | (VII) | 63・157 | | | |
| 444 | H-4 c | 220×200 | 190×195 | 92 | B(1) | SK-442・443 | G2・有孔G1 | 打斧3、磨斧1 | (VI～VII) | 63・157 | 50 | | |
| 445 | H-4 c | 175×165 | 160×150 | 44 | A | SI-28・SK-443・446・471 | G1 | 石鎚1 | (VI～VII) | 63・157 | 115 | | |
| 446 | H-4 c | 180×(150) | 160×(135) | 36 | A | SI-28・SK-443・445・471 | G1 | 磨石1 | — | 63・157 | 50 | | |
| 447 | 欠番 | | | | | | G1 | | — | | | 石鎚2(113・114) | |
| 448 | I-4 b, 5 a | 165×142 | 140×128 | 57 | A(1) | SI-28・SK-449 | G2 | 石鎚2 | (VI～VII) | 63・157 | | | |
| 449 | I-4 b | (175)×137 | (160)×125 | 37 | A | SK-448・450 | G1 | | (VII) | 63・157 | | | |
| 450 | I-4 b | 220×195 | 240×230 | 80 | C | SK-449・454 | G2 | 磨石1 | (V～VI) | 63・157 | | | |
| 451 | I-4 b, 5 a | 155×145 | 166×152 | 46 | B(1) | SI-27・SK-453 | F1 | | VI～VII | 63・157 | | 黒曜石剥片1 | |
| 452 | I-4 b, 5 a | 165×145 | 285×255 | 120 | E | SI-27・SK-452・469 | G1 | 磨斧1、垂飾1 | (II) | 64・157 | | | |
| 453 | I-4 b | 180×150 | 168×148 | 38 | A(4) | SK-450 | — | | — | 64 | | | |
| 454 | I-4 b | 152×130 | 240×210 | 117 | D | SK-456 | A1・D1・鉢A2 | 磨斧2 | V～VI | 63・157 | 92 | | |
| 455 | H-4 c, I-4 b | 248×(200) | 254×(200) | 51 | B(2) | SK-455・460 | G2 | 打斧1 | (II～III) | 64・157 | | | |
| 456 | H-4 c, I-4 b | 173×169 | 170×165 | 60 | B | | E1・G1・浅B1・台B1 | 打斧1、磨斧1 | VI～VII | 64・158 | | | |
| 457 | I-4 b | 130×101 | 170×150 | 105 | C | | G1 | | (IV～V) | 64・158 | | | |
| 458 | I-4 a, b | 147×145 | 245×220 | 114 | D(3) | | G1 | | (V) | 65・158 | | | |
| 459 | I-4 b | 90×85 | 208×205 | 80 | E | | D1・G1 | 敲石1、石棒1 | (VII) | 64・158 | | | |
| 460 | H-4 c, I-4 b | 120×113 | 232×218 | 148 | E | SK-456・494 | F1・G1 | 石鎚1、磨斧2 | (VII) | 64・158 | 115 | | |
| 461 | H-4 c | 203×169 | 205×175 | 47 | B(2) | | D1 | | (VII～VIII) | 65・158 | | | |
| 462 | I-5 a | 200×185 | 260×230 | 25 | C(1) | SI-26・SK-463 | G1 | | (VIII) | 65・158 | 10・11 | | |
| 463 | H-5 d, I-5 a | 175×173 | 188×180 | 56 | B(3) | SI-26・SK-452 | B1 | | VI | 65・158 | 10・11・92 | | |
| 464 | H-5 d | 210×170 | 240×230 | 107 | E | SK-364・438・439 | B1・G1 | 多孔石1 | IV | 62・159 | | | |
| 465 | H-5 d | (190)×177 | (170)×160 | 55 | A(4) | SK-440・446 | G1 | | (V) | 62・158 | | | |
| 466 | H-5 d | 250×225 | 245×225 | 90 | E | SK-439・441・465・467・478 | C1 | 磨石3 | V | 62・158 | 50・93・111 | | |
| 467 | H-5 d | 170×145 | 210×195 | 115 | D | SK-466・468・470 | G2 | | (IV) | 62・159 | | | |
| 468 | H-5 d | (180)×170 | (190)×175 | 60 | B(1) | sk-466・467・470 | D1・F1 | | VI | 62・159 | | | |
| 469 | I-4 b | (140)×130 | (150)×145 | 33 | C | SK-453 | C1・D1 | 磨斧1 | VI | 64・159 | | | |
| 470 | H-5 d | (240)×220 | (220)×195 | — | A | SK-467・468 | G1 | 磨石1、土製円盤1 | (VII～VIII) | 62・160 | | 黒曜石剥片1 | |
| 471 | H-4 c, I-4 b | 170×(130) | 145×(120) | 40 | A | SK-445・446 | — | | — | 63 | | | |
| 472 | H-5 c | 175×(135) | 163×(120) | — | A | SK-397 | G1 | | (V) | 59・160 | | | |
| 473 | H-5 d | (140)×120 | (140)×130 | — | B | SK-438 | F2 | | (VI～VII) | 62・160 | | | |
| 474 | I-4 b | (200)×184 | (200)×194 | 60 | B(1) | SK-475 | G1 | | (VI～VII) | 65・160 | | | |
| 475 | I-4 b | 164×144 | 168×160 | 120 | C | SK-474 | B1 | 土製円盤1 | (V) | 65・160 | | | |
| 476 | I-4 c | 130×[80] | 170×[110] | 160 | C | SI-29・1号填塞道 | G1、ミニチュア土器B1 | 小磨斧1、磨石4 | (VI～VII) | 66・160 | 110 | | |
| 477 | I-4 b | 175×156 | 181×170 | 89 | B(1) | SK-478、1号填塞石室 | B1 | | IV | 65・160 | 93 | | |
| 478 | I-4 b | 175×171 | 262×230 | 95 | D(2) | SK-477、1号填塞石室 | G1・浅C1 | | (V) | 65・161 | | | |
| 479 | I-4 a, d | 220×215 | 205×205 | 34 | A(8) | | G1 | | (III) | 66・161 | | | |
| 480 | I-4 a | 170×132 | (235)×225 | 90 | D | SK-481・482 | G1 | | | 磨石2 | (VI～VII) | 66・161 | |
| 481 | I-4 a | 143×143 | 205×195 | 104 | D | SK-480 | B1・D1・F1・G2 | 石鎚1、磨斧2、磨石 | IV | 66・161 | 93・107・114・115 | | |
| 482 | I-4 a | 198×190 | 188×178 | 28 | A | SK-480・484 | G1 | 磨石1 | (III) | 66・161 | | | |

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------------|-------------|------------|-----|--------|--------------------|-----------------|---------|------------|------------|-----------|---------------|
| 483 | I-4 a | 85×85 | 250×247 | 102 | D | SK-643・668 | B2 | | III | 67・162 | 93 | |
| 484 | I-4 a | 157×124 | 165×136 | 39 | C(1) | SK-482 | E1 | | (V) | 66・162 | | |
| 485 | I-6 a | 185×155 | 165×145 | 92 | B | SI-30・SK-486 | A1・B2・F1 | | (V~VI) | 61・162 | 93・94 | |
| 486 | I-6 a | [180]×[85] | [175]×[85] | 75 | B | SI-30・SK-485 | — | | — | 61 | | |
| 487 | I-4 a | 215×205 | 223×205 | 41 | B | SK-488・661・667 | G1 | 搔削器1 | (VIII) | 67・162 | | |
| 488 | I-4 a | (115)×(115) | 230×222 | 86 | C(2) | SK-487 | G1 | | (VI) | 66・162 | | |
| 489 | I-4 a | 120×120 | | 52 | A | SK-490 | G1 | | (VI~VII) | 68・162 | | |
| 490 | I-4 a | (150)×140 | | 30 | A | SK-489・491 | F1 | 石鎚1 | (VII) | 68・163 | 114 | |
| 491 | I-4 a | 215×(200) | | 20 | B(1) | SK-490・492・495 | G1 | | (VII) | 68・163 | | |
| 492 | I-4 a | (170)×155 | (180)×160 | 35 | B(1) | SK-491・493 | F1 | | (VI~VII) | 68・163 | | |
| 493 | H-4 d, I-4 a | 170×165 | 190×180 | 72 | C | SK-492・494・495 | G1 | 石錐1、磨斧1 | (VI) | 68・163 | | |
| 494 | H-4 c, I-4 b | 140×135 | | — | A | SK-460・493 | D1 | | — | 68・163 | | |
| 495 | H-4 d, I-4 a | (210)×180 | | 50 | A | SK-491・493 | G1 | | (II) | 68・163 | | |
| 496 | H-4 d | 177×155 | 210×195 | — | C | SK-350 | G1 | | (I~II) | 68・163 | | |
| 497 | H-4 d | 235×220 | 232×221 | 35 | B(1) | B1・G2 | | 石錐1 | I~II | 68・163 | 51 | 黒曜石剥片1 |
| 498 | I-4 a | 120×120 | 205×192 | 107 | D | | 浅G1 | | (V) | 67・163 | | |
| 499 | 欠番 | | | | | | — | | | | | |
| 500 | I-4 d | 140×110 | 230×200 | 145 | E | | G1 | | (IV~V) | 66・163 | | |
| 501 | I-5 b | 200×200 | 215×200 | 90 | C | | A1・B3・D1 | | V~VI | 68・164 | 52・94・108 | |
| 502 | F-3b,c | 240×235 | 261×245 | 55 | C | | A1 | | IV | 69・163 | 95 | |
| 503 | F-3c | 125×120 | 84×67 | 32 | A | SK-506 | G1 | | (VIII) | 69・165 | 95 | |
| 504 | G-3b | 250×240 | 238×229 | 26 | A(1) | SK-505 | B1 | | IV | 69・165 | 95 | |
| 505 | F-3c | 212×(210) | 205×(200) | 32 | A | | B1 | | V | 69・165 | | |
| 506 | F-3c | 250×215 | 240×236 | 60 | B(2) | SK-511 | G1 | | (IV) | 69・163 | | チャート剥片14点一括出土 |
| 507 | F-3c | 115×105 | 92×90 | 57 | A | | — | | — | 68 | | |
| 508 | F-3 d | 140×105 | 109×75 | 199 | A | SK-509 | — | | — | 68 | | 隅丸長方形 |
| 509 | F-3 d | 95×95 | 95×90 | 40 | B(1) | | G1 | | (I~II) | 70・164 | | |
| 510 | F-3 d | 230×165 | 210×150 | 32 | A | | G1 | | (VII~VIII) | 69・164 | | 楕円形 |
| 511 | F-3 d | 205×188 | 250×195 | 58 | C(2) | SK-509 | F1 | | (V) | 70・164 | | |
| 512 | F-3c,d | 102×100 | 77×75 | 80 | A | | — | | — | 70 | | |
| 513 | F-3c, G-3b | 206×185 | 185×170 | 14 | A(2) | | G1 | | (VII~VIII) | 70・165 | | |
| 514 | G-3b | 242×234 | 256×245 | 37 | C | SK-515 | G1 | 磨斧1 | (VIII) | 70・165 | | |
| 515 | G-3b | 170×156 | 188×159 | 52 | C(3) | SK-514・516 | G2 | | (IV~VI) | 70・165 | | |
| 516 | G-3b | (130)×120 | (125)×110 | 15 | A | SK-515 | G2 | | (V~VI) | 70・165 | | |
| 517 | G-3b | 174×150 | 180×160 | 23 | B(1) | | G1 | | (V) | 70・165 | | |
| 518 | G-3a | 45×40 | 35×30 | — | A | SI-32 | G1 | | (VII) | 165 | | |
| 519 | G-3a | 200×156 | 218×200 | 52 | C | SK-520 | G1 | 石鎚1、石皿1 | (V) | 69・165 | 114 | |
| 520 | G-3a | 170×150 | 170×147 | 42 | B | SK-519 | G2 | | (III~V) | 69・165 | | |
| 521 | G-2b | 175×164 | 165×156 | 34 | A | | G1 | 磨石1 | (V) | 70・165 | | |
| 522 | G-2b | 150×145 | 260×253 | 130 | C | | B4・C2・E1・F1 | | III~IV | 71・166~168 | 53・95・96 | |
| 523 | G-2b | 134×110 | 260×235 | 124 | D(2) | | A1・B1・E1・G1 | | V | 70・168 | 96・108 | |
| 524 | G-2b | 187×140 | 205×177 | 58 | C | | G1 | | (VII) | 71・165 | | |
| 525 | G-3 a | 200×182 | 203×195 | 45 | C(2) | | G1 | 耳飾1 | (III) | 71・165 | 54・111 | 黒曜石二次加工剥片1 |
| 526 | G-3a,b | 170×165 | 156×156 | 32 | A | | A1・C3・D3・F2・鉢A1 | | II~III | 69・169~170 | 55・96・97 | |
| 527 | G-3c,d | 250×(240) | 235×(215) | 18 | B | SK-522・571 | G1 | | (VIII) | 73・165 | | |
| 528 | G-3 b | 170×150 | 158×138 | 15 | A | | G1 | | (V) | 71・165 | | |
| 529 | G-3 b | 142×138 | 114×105 | | A | | — | 打斧1 | — | 71 | | |
| 530 | G-3 b | 270×218 | 263×213 | 28 | A(2) | | D1・F1 | | (II~III) | 71・170 | | |
| 531 | G-3b・c | 171×163 | 165×150 | 20 | A | | — | | — | 71 | | |
| 532 | G-3 b | 155×135 | 200×160 | 78 | C(5) | | G1 | | (VI~VII) | 71・165 | | |
| 533 | G-3 c | 275×255 | 275×250 | 38 | B(2) | SK-554 | G1・鉢A1 | 打斧1 | (V) | 72・170 | | |
| 534 | H-3 b | 198×195 | 202×197 | 71 | C(2) | SK-559 | B1 | | VII | 72・171 | 97 | |
| 535 | G-3 c | 195×165 | 215×175 | 42 | B | | G1 | | (VI) | 73・171 | | |
| 536 | G-3 c | 115×100 | 87×87 | 80 | A | | G1 | 小磨斧1 | (V) | 73・171 | | 黒曜石剥片1 |
| 537 | G-3 c | 193×155 | 195×160 | 48 | B(1) | SK-538 | B1 | | (VI) | 73・171 | | |
| 538 | G-3 c | (150)×117 | (160)×110 | 31 | B(1) | SK-537 | G1 | | (VI) | 73・171 | | |
| 539 | G-3 a,d | 165×155 | 155×148 | 30 | A | | F1 | | | 74・171 | | |
| 540 | G-3 d | 170×165 | 165×163 | 34 | B | | G1 | 打斧1 | (II) | 74・171 | 54 | |
| 541 | G-3 d | 123×107 | 110×115 | 28 | A(1) | | G2 | 土製円盤1 | (VI) | 74・171 | | |
| 542 | G-3a,d | 230×230 | 235×235 | 56 | C | | B2 | | III | 71・171 | 97 | |
| 543 | G-2 c | 213×197 | 274×270 | 65 | C(1) | | F1・G1 | | (VI) | 74・171 | | |
| 544 | G-2 c | 200×180 | 200×174 | 27 | B | | — | | — | 72 | | |
| 545 | G-3 d | (190)×165 | (185)×180 | 28 | C | SK-556 | G1 | | (VII) | 72・171 | | |
| 546 | G-3 d | 208×190 | 231×206 | 40 | C(1) | SK-547 | F1・G1 | | (II~III) | 74・171 | | |
| 547 | G-3 d | 242×220 | 290×260 | 87 | E(7) | SK-546 | B2・D2・E2 | | V~VI | 74・172 | | |
| 548 | G-3c,d | 196×177 | 184×167 | 41 | A(2) | | B1・G2 | | IV | 73・173 | 56・97 | |
| 549 | G-3 c | 185×175 | 190×180 | 37 | B | | B1 | | III | 73・172 | | 黒曜石剥片1 |
| 550 | G-3 c | 310×280 | 310×280 | 36 | B | SK-551・558 | G3 | 土製円盤1 | (I~II) | 75・172 | | |
| 551 | G-3 c | 155×133 | 154×125 | 53 | B(1) | SK-550・553・557 | G1 | 磨石1 | (VI) | 75・173 | | |
| 552 | G-3 c | 220×190 | 207×170 | 35 | A(1) | SK0527・553 | G1 | | — | 75・173 | | |
| 553 | G-3 c | 235×222 | 220×205 | 33 | A(1) | SK-551・552・557 | G1 | 磨石1 | (I) | 75・173 | | |
| 554 | G-3 c | (180)×150 | (170)×138 | 17 | A | SK-533 | F1・G1 | | (I~II) | 72・173 | | |
| 555 | G-3 d | 170×153 | 215×185 | 62 | C | SK-556 | B1・G2 | | (V~VI) | 72・173 | | |
| 556 | G-3 d | 198×180 | 193×170 | 20 | A | SK-545・555 | G1 | 敲打器1 | (VI) | 72・173 | | |
| 557 | H-3 b | 240×(200) | 228×(190) | 43 | A | SK-551・553・559・560 | — | | — | 72 | | |

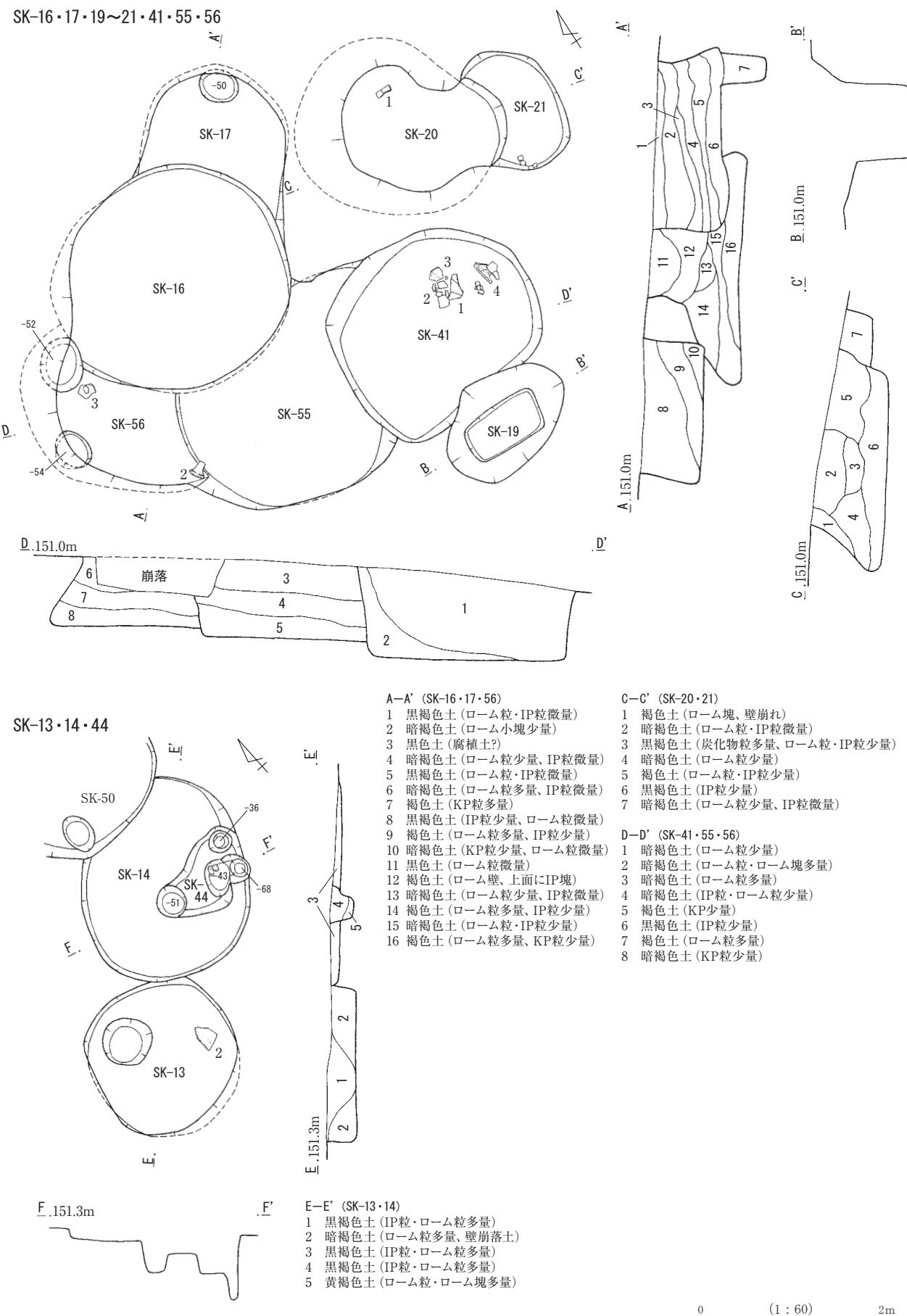
| No | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|-------------|-------------|-----|--------|------------------------|--------------------------|-----------------------|------------|----------------|------------------|-------------------------|
| 558 | G-3c | 130×120 | 137×118 | 47 | B | SK-550 | — | 磨石1 | — | 75 | | |
| 559 | H-3b | 330×280 | 317×225 | 44 | A(1) | SK-534・557 | G2 | | (I・VII) | 72・174 | | |
| 560 | H-3b | 308×245 | 286×269 | 63 | B(1) | SK-557・561 | F1 | | (V) | 72・174 | | |
| 561 | H-3b | 160×(160) | 150×(150) | 38 | A | SK-560 | G1 | | (IV) | 72・174 | | |
| 562 | H-3a | 270×230 | 272×227 | 45 | B(3) | | F1・鉢B1 | ミニ1 | (IV) | 73・174 | 110 | |
| 563 | H-3b | 200×190 | 250×240 | 65 | C(6) | | G2 | | (V～VI) | 74・174 | | |
| 564 | H-3a | 192×170 | 225×180 | 44 | C(2) | | C1 | 打斧3 | (VI) | 75・174 | | |
| 565 | H-3a | 260×240 | 240×220 | 12 | A(1) | | G2 | | (V～VI) | 73・174 | | |
| 566 | H-2b | 155×155 | 155×150 | 24 | B(2) | | G1 | | — | 73・174 | | |
| 567 | H-3a | 239×210 | 265×240 | 79 | C(9) | | G1 | 石皿1 | (V) | 75・174 | | |
| 568 | H-3a | 155×153 | 146×145 | 15 | A | | G1 | | — | 75・174 | | |
| 569 | H-3a | 130×130 | 120×120 | 13 | A | | — | | — | 75 | | |
| 570 | H-3a | 200×200 | 235×210 | 54 | C(1) | | E1・G1 | 磨石2 | (V) | 75・174 | | |
| 571 | G-3c | 185×154 | 156×155 | — | B | SK-527 | — | | — | 73 | | |
| 572 | H-3a | 215×208 | 220×220 | 42 | B | | — | 土製品 | — | 76 | | 黒曜石剥片3 |
| 573 | H-2c | 180×153 | 172×160 | 40 | B | SK-574・586 | G1 | 石鎚1・多孔石1 | (IV～V) | 76・174 | 113 | |
| 574 | H-3d | (120)×(95) | (120)×(100) | 30 | B | SK-573・586 | D1・E1 | | (V～VI) | 76・174 | | |
| 575 | H-3a | 186×142 | 162×155 | 31 | B(2) | | G1 | | (VI) | 76・174 | | |
| 576 | H-3a | 185×155 | 190×165 | 47 | B(1) | | G1 | 磨石1 | (II) | 76・174 | | |
| 577 | H-3a | 123×123 | 145×125 | 30 | B | | D1・G1 | | (VI) | 76・174 | | |
| 578 | H-3b | 131×115 | 140×115 | 28 | C | | G1 | 磨石1 | (V) | 76・174 | | |
| 579 | H-3d | 255×210 | 285×280 | 74 | D(3) | SK-580・603 | B1・C2・D1・浅A2 | 尖頭器1、打斧1、小V 磨斧1、 | V | 76・175 | 57・98 | |
| 580 | H-3a | (180)×150 | (180)×145 | 64 | B(1) | SK-579 | B1 | | VI～VII | 76・176 | 57・98 | |
| 581 | H-3b | 180×160 | 240×216 | 78 | C(2) | | G1 | 磨斧1、磨石2 | (V) | 76・176 | | |
| 582 | H-3b | (180)×125 | 300×280 | 105 | D | SK-583 | B1・C1 | 打斧1、敲石1 | (IV～V) | 77・176 | | |
| 583 | H-3b | (315)×270 | (300)×275 | 45 | B(2) | SK-582・599 | G1 | | (VIII) | 77・176 | | |
| 584 | H-3b,c | 145×[80] | 133×[110] | 70 | B | SK-585・598・599 | — | | — | 77 | | |
| 585 | H-3b,c | (120)×(110) | 110×100 | 75 | B | SK-584・598 | G1 | | (VIII) | 76・176 | | |
| 586 | H-3a | (150)×140 | (150)×150 | 29 | B(1) | SK-573・574 | G1 | | (III～IV) | 76・176 | | |
| 587 | H-2c | 135×135 | 190×185 | 94 | C | | G1 | 尖頭器1 | (III～IV) | 78・176 | | 黒曜石剥片1 |
| 588 | H-2c | 210×205 | 225×220 | 53 | C(1) | SK-589・615・648 | D1・G1 | 石鎚1 | (VI) | 78・176 | 61・114 | |
| 589 | H-3d | 165×120 | 170×150 | 59 | B(1) | SK-588 | G1 | | (VII) | 78・176 | 61 | チャート剥片4、安山岩 剥片1 |
| 590 | H-3d | (167)×155 | (165)×155 | 57 | B | SK-591・595 | G1 | | (VI) | 77・176 | | |
| 591 | H-3d | 195×180 | 250×205 | 80 | D(1) | SK-590・614 | B3 | 磨斧3、磨石1 | V～VI | 77・177 | 58・98 | |
| 592 | H-3d | 162×130 | 152×130 | 26 | B(1) | SK-593 | G2 | | (VI) | 79・176 | | |
| 593 | H-3d | (135)×110 | 230×200 | 111 | E | SK-592・594 | B1・F1・G2 | | III | 79・177 | 99 | |
| 594 | H-3d | 198×(180) | 202×(170) | 43 | B | SK-593・631 | C1 | | (IX) | 79・176 | | |
| 595 | H-2c | 155×145 | 208×192 | 103 | D(2) | SK-590・614 | A1・C1 | 小磨斧1 | VI | 77・178 | 99 | |
| 596 | H-3d | 135×124 | 150×145 | 40 | C | | G1 | 磨石1 | (VII) | 78・177 | | 壁際底面直上チャート 剥片30点集中出土 |
| 597 | H-3c | 410×185 | 85×58 | 78 | A | | G2 | | — | 78・177 | | 長楕円形 |
| 598 | H-3b | 145×125 | (170)×155 | 58 | C(1) | SK-584・585・630 | B1・G1 | | (III) | 77・177 | 58 | 小砾多数出土 |
| 599 | H-3b | 172×152 | 193×155 | 70 | C | SK-583・584 | G1 | | (VI) | 77・177 | | |
| 600 | H-3c | 180×(180) | 170×(170) | 61 | B | SK-601 | G1 | 敲打器1 | (VII～VIII) | 79・177 | | |
| 601 | H-3c | 215×190 | 240×216 | 60 | C(2) | SK-600 | — | | — | 79・80 | | |
| 602 | H-3c | 150×135 | 160×145 | 70 | B | SK-631 | C1・F1 | 石鎚1 | (VI・VII) | 79・178 | 114 | |
| 603 | H-3a | 100×[37] | 98×[23] | 34 | A | SK-579 | — | | — | 76 | 57 | |
| 604 | H-3d | 125×123 | 114×114 | 19 | A | SK-606 | — | | — | 79 | | |
| 605 | H-3c | 210×175 | 230×190 | 63 | B | SK-606・608・616 | G2 | 石鎚1、磨石1 | (V) | 79・178 | 113 | |
| 606 | H-3d | (247)×203 | (240)×206 | 43 | B | SK-604・605・ 607・631 | G1 | 磨斧1 | (II～III) | 79・178 | | |
| 607 | H-3d | 125×(110) | 115×(100) | — | A | SK-606 | G1 | | (V) | 79・178 | | |
| 608 | H-3c | 195×(160) | 175×150 | 46 | A | SK-605・609・616 | G1 | | (II～III) | 79・178 | | |
| 609 | H-3c | 135×120 | 230×215 | 110 | D(1) | SK-608・610 | B1・C1 | | VI | 79・179 | 99 | |
| 610 | H-3c | (200)×170 | (190)×205 | 64 | C | SK-610・628・637 | B1・G1 | 石鎚1、打斧1、磨石 (VI) | 1 | 79・80・178 | 115 | |
| 611 | H-3c | 208×200 | 205×190 | 35 | A | SK-634 | G2 | | (I～II) | 82・178 | | |
| 612 | H-3c | 175×145 | 210×170 | 67 | C(3) | | A1 | | (VIII) | 82・179 | 59・99 | |
| 613 | H-3d | 203×170 | 225×210 | 100 | D | 2号墳周溝、SK- 627・635 | B1 | 石鎚1、耳飾1 | III | 81・179 | 99・110・ 114 | |
| 614 | H-3d | 160×145 | 180×155 | 40 | C(1) | SK-591 | — | | — | 77 | | |
| 615 | H-3d | (260)×225 | (300)×260 | 86 | C(1) | SK-588・646・648 | A1・C1・E1・F1・浅B1・有 孔D1 | 磨石2、石皿1 | V | 78・180 | 59・61・ 99・110 | |
| 616 | H-3c | (170)×140 | (155)×140 | 47 | B | SK-605・608・617 | G1 | | (II～III) | 81・179 | | |
| 617 | H-3d | (180)×150 | (170)×155 | 41 | B | SK-616 | G1 | | (V) | 81・179 | | |
| 618 | H-3c | 137×125 | 150×124 | 43 | B | SK-619 | D1 | | (VIII) | 81・179 | | |
| 619 | I-3b | 130×100 | 210×205 | 108 | D(1) | SK-618 | D1 | | (III) | 81・179 | | |
| 620 | I-3b | 173×149 | 210×180 | 60 | C | SK-625 | B1・C1・F1 | 石鎚1、打斧1 | (IV～V) | 80・181 | 61・114 | |
| 621 | H-3c | 154×150 | 160×152 | 39 | C | SK-622・686 | G1 | 磨石3 | (V) | 79・80・ 180 | | |
| 622 | H-3c | 183×160 | 200×195 | 60 | C(1) | SK-621・686 | F1 | | (VI) | 79・80・ 180 | | |
| 623 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 624 | I-3b | 170×155 | 153×148 | 58 | A(1) | | D1 | | (II) | 80・180 | | |
| 625 | I-3b | 253×240 | 295×250 | 73 | C | SK-620・636・670 | B2・C3・D2・浅D1 | 石鎚1、磨石1、石皿 2、土製円盤1 | III | 80・181・ 182 | 60・100・ 115 | |
| 626 | I-3b | 166×160 | 180×175 | 70 | C | SK-570 | F1 | | (VIII) | 80・182 | | |
| 627 | H-3d | 244×(220) | 260×(220) | 47 | B | SK-613・635・672 | F1 | | (VI) | 81・182 | | |
| 628 | H-3c | 165×150 | 185×185 | 111 | E | SK-610・637 | E1 | | (IV) | 79・80・ 182 | | |

| No. | グリッド | 口径 | 底径 | 深さ | 形態(小穴) | 重複遺構 | 土器 | 石器 | 時期 | 挿図図版 | 写真図版 | 備考 |
|-----|------------|-------------|-------------|------|--------|--------------------|-------------|--------------|----------|-----------|-----------|--------|
| 629 | H-3b | 200×190 | 205×205 | 71 | B(1) | SK-630 | G1 | 玉1 | (II) | 77・182 | | |
| 630 | H-3b | (240)×170 | (230)×160 | 40 | A | SK-598・629・633 | G1 | | (II～III) | 77・182 | | |
| 631 | H-3d | 185×(160) | 185×(130) | 50 | A(1) | SK-594・602・605・606 | — | | — | 79 | | |
| 632 | H-3c | (200)×165 | (220)×180 | 40 | C(2) | SK-686 | G1 | | (VIII) | 79・80・182 | | |
| 633 | H-3b,c | 218×185 | 210×187 | 80 | B | SI-33, SK-630・634 | G1 | 磨石1 | (VI) | 82・182 | | |
| 634 | H-3c | 210×180 | 198×174 | 58 | A(1) | SK-611・633 | G1 | | (VIII) | 82・182 | | |
| 635 | H-3d | 198×(180) | 220×(215) | 85 | C | SK-613・637 | C1・D2 | 磨石2 | (VI～VII) | 81・182 | 100 | |
| 636 | I-3b | 170×160 | 215×195 | 84 | C(2) | SK-625 | G2 | | (VIII) | 80・182 | | |
| 637 | H-3c | 160×[55] | 145×[70] | 55 | B | SK-610・628 | G1 | | (VI～VII) | 79・80・182 | | |
| 638 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 639 | I-3b | 120×115 | 230×220 | 87 | D | SK-640・673 | C1・G3・浅F1 | | II | 82・183 | | |
| 640 | I-3b | 207×200 | 240×240 | 56 | C | SK-639・641 | G1 | 小磨斧1、磨斧1 | (III) | 82・183 | | |
| 641 | I-3b | (190)×164 | (180)×170 | 18 | A | SK-640 | G1 | | (II～III) | 82・183 | | 黒曜石石核1 |
| 642 | I-3c | 152×147 | 170×160 | 42 | C | SK-652 | G1 | | (IV～V) | 81・183 | | |
| 643 | I-4a | 135×135 | 180×170 | — | C | SK-483・668・675 | G1 | 石鎌1 | (III) | 67・183 | 114 | |
| 644 | 欠番 | | | | | | | 石錐1、打斧1 | | | | |
| 645 | I-3b | [185]×[85] | [150]×[58] | — | A | 1号墳周溝 | — | | — | 83 | | |
| 646 | H-3d | 200×163 | 275×235 | 93 | D | SK-615・648 | A1・B1・D1 | 土製円盤1 | V | 78・184 | 61・100 | |
| 647 | I-3b | 210×210 | 245×245 | 67 | B | 1号墳周溝 | D1 | | (V) | 83・183 | | |
| 648 | H-3d | [130]×[55] | [135]×[70] | 52 | C | SK-588・615・646 | G1 | 石鎌1 | (VI～VII) | 78・183 | 61・115 | |
| 649 | H-4d | 236×(210) | 235×(210) | 44 | B | SK-650・660 | G2 | | (II) | 67・183 | | |
| 650 | H-4d | 200×183 | 185×166 | 74 | B | SK-549・660 | G1 | 石皿1 | (I～II) | 67・183 | 62 | |
| 651 | H-3c,4d | 220×205 | 205×205 | 40 | A | SK-660・661 | G2 | 磨石1 | (I～II) | 67・183 | | |
| 652 | I-3c | 190×160 | 210×190 | 61 | C | SK-642・653 | B1 | | IV | 81・184 | 101 | |
| 653 | I-3c | 133×125 | 117×113 | 17 | A(1) | SK-652 | G1 | | (VI) | 81・184 | | |
| 654 | I-3c | 140×130 | 127×118 | 21 | A(1) | SK-662 | G1 | | (VIII) | 84・184 | | |
| 655 | I-3c | 170×165 | 165×153 | 35 | A | SK-662・663・656・657 | G2・浅G1 | 打斧1 | (VI～VII) | 84・184 | | |
| 656 | I-3c | 220×205 | 243×225 | 64 | C | SK-655・657～659 | C1・F1 | 磨斧1 | VI～VII | 84・185 | 63 | |
| 657 | I-3c | (190)×190 | (180)×170 | 18 | A(1) | SK-655・656 | G1 | | (VI) | 84・185 | | |
| 658 | I-3c | 240×240 | 255×250 | 41 | C | SK-656・659 | D1 | | (IV～V) | 84・185 | | |
| 659 | I-3c | 145×123 | 250×230 | 108 | E | SK-656・658 | B1 | | (IV) | 84・185 | 62・63・101 | |
| 660 | H-3c,4d | 185×(150) | 190×(160) | 30 | B | SK-649・650・651 | — | | — | 67 | | |
| 661 | I-4a | (190)×175 | (190)×175 | 25 | B | 1号墳周溝、SK-651・667 | G1 | | — | 67・185 | | |
| 662 | I-3c | [110]×[25] | [110]×[20] | — | A | SK-654・655・663 | — | | — | 84 | | |
| 663 | I-3c | 150×140 | 235×235 | 90 | E(1) | SK-655・662 | B2・C1・D2 | Σ=1 | V～VI | 84・186 | 101 | |
| 664 | I-3c | 146×140 | 180×180 | 62 | C | — | G1 | | (V) | 81・185 | | |
| 665 | I-3c | 155×130 | 180×180 | 114 | D | SI-35, SK-666 | A1・B1・C1・D1 | | IV | 85・187 | 64・101 | |
| 666 | I-3c | [205]× | [210]× | 58 | B | SI-35, SK-665 | F1 | 搔削器1 | (VI) | 85・185 | | |
| 667 | I-3b,4a | 232×220 | 215×215 | 45 | A | 1号墳周溝 | F1・G1 | 磨斧2、磨石1 | (II～III) | 67・83・187 | | |
| 668 | I-4a | 185×180 | 244×220 | 71 | D(3) | SK-483・643 | C1 | 磨斧1 | VIII | 67・185 | | |
| 669 | I-3b | 138×118 | 203×193 | 117 | D | 1号墳周溝 | C1・F1 | | III | 83・187 | | 黒曜石剥片1 |
| 670 | I-3b | 155×135 | 160×137 | — | B | SK-625・626 | G1 | 磨石1 | (IX) | 80・188 | | |
| 671 | I-3d | 190×160 | 250×240 | 112 | D | SK-676・677 | A1・C2 | | V～VI | 83・188 | 101 | |
| 672 | I-3a | 140×140 | 260×240 | 120 | D(1) | 2号墳周溝、SK-627 | C1・E1 | 小磨斧1 | (VI) | 81・188 | 64 | |
| 673 | I-3b | 295×255 | (285)×280 | 65 | C | SI-34, SK-639 | C1 | 敲打器1、磨斧1、磨石1 | (II) | 82・188 | | |
| 674 | I-3c | 180×165 | 165×153 | 26 | A(1) | — | G1 | | (VI) | 84・188 | | |
| 675 | I-3b,4a | 174×159 | 220×192 | 59 | C | SK-643 | C1 | | (IV) | 67・188 | | |
| 676 | I-3d | 155×125 | 220×210 | 94 | D | SK-671・677 | B1 | | IV | 83・189 | | |
| 677 | I-3d | 210×190 | 215×190 | 37 | B(4) | SK-671・676 | — | | — | 83 | | |
| 678 | I-3a,b | 110×110 | 220×220 | 127 | D | 2号墳周溝、SK-700 | C1・G1 | 磨石2 | IV | 84・189 | | |
| 679 | I-4d | [160]×[80] | [190]×[90] | 90 | C(1) | SI-35 | G1・鉢F1 | | (VI～VII) | 85・189 | | |
| 680 | H-3c | (165)×(160) | (150)×(150) | 39 | A(1) | SK-621・622・632 | — | | — | 79・80 | | |
| 681 | I-3a,d | 185×170 | 176×160 | 33 | A(1) | 2号墳周溝 | C1・F1 | | IV | 83・189 | | |
| 682 | I-3a | 110×105 | 103×96 | 14 | A | — | G1 | | (VII) | 83・189 | | |
| 683 | I-3a | 150×145 | 130×127 | 35 | A(3) | — | G1 | | (VI) | 85・189 | | |
| 684 | I-2b,3a | (163)×140 | (176)×162 | 66 | C | SK-685 | G1 | 磨石1 | (III) | 85・189 | | |
| 685 | I-3a | 185×180 | 183×164 | 75 | B(2) | SK-684 | G1 | | (VII) | 85・189 | | |
| 686 | I-3a | 175×155 | 175×156 | 47 | B(2) | — | D2・F1 | 磨石1 | VIII | 85・190 | | |
| 687 | I-3a | 80×(80) | 195×187 | 95 | D | SK-688・690 | C2・F1 | 尖頭器1 | V | 85・190 | | |
| 688 | I-3a | [140]×[50] | [135]×[46] | 67 | A | SK-687・690 | G1 | 磨石1 | (VI～VII) | 85・189 | | |
| 689 | I-3a | 100×93 | 90×86 | 93 | A | — | G1 | | (IV～V) | 85・189 | | |
| 690 | I-3a | 185×165 | 190×189 | 82 | C(1) | SK-687・688 | C1・G2 | 三角錐形石器1 | (V) | 85・189 | | |
| 691 | I-3d | 192×175 | 191×185 | 71 | B | SI-36 | — | | — | 86 | | |
| 692 | I-3d | 115×115 | 220×210 | 115 | D | — | B1・C1・D2 | | VII | 86・191 | | |
| 693 | I-3d | (170)×150 | (155)×130 | [13] | A(1) | 2号墳周溝、SK-694 | F1 | 土製品1 | (VI) | 86・191 | 111 | |
| 694 | I-3d | 95×[80] | 185×[120] | [65] | D | 2号墳周溝、SK-694 | B1・F2 | 小磨斧1 | IV | 86・191 | 102 | |
| 695 | H-2c, I-2b | 230×215 | 217×205 | — | A | 2号墳周溝、SK-693 | — | | — | 86 | | |
| 696 | I-2b | 140×140 | 176×180 | 84 | C | SK-697 | G1 | | (VI) | 86・190 | | |
| 697 | I-2b | (95)×82 | 215×(180) | 112 | D | SK-696 | C1・F1 | | III | 86・190 | | |
| 698 | I-3c,4d | 140×140 | 145×140 | — | B1) | SI-35, SK-699 | — | | — | 85 | | |
| 699 | I-3c | 130×120 | 138×132 | — | B | SI-35, SK-698 | — | | — | 85 | | |
| 700 | I-3a | 205×190 | 230×210 | 53 | C | 2号墳周溝、SK-678 | A1・D2・浅D1 | 石皿1 | III | 84・192 | 102・109 | |



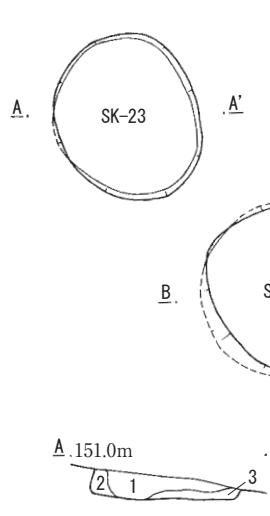
0 (1 : 60) 2m

第18図 SK-1~8・10~12 実測図

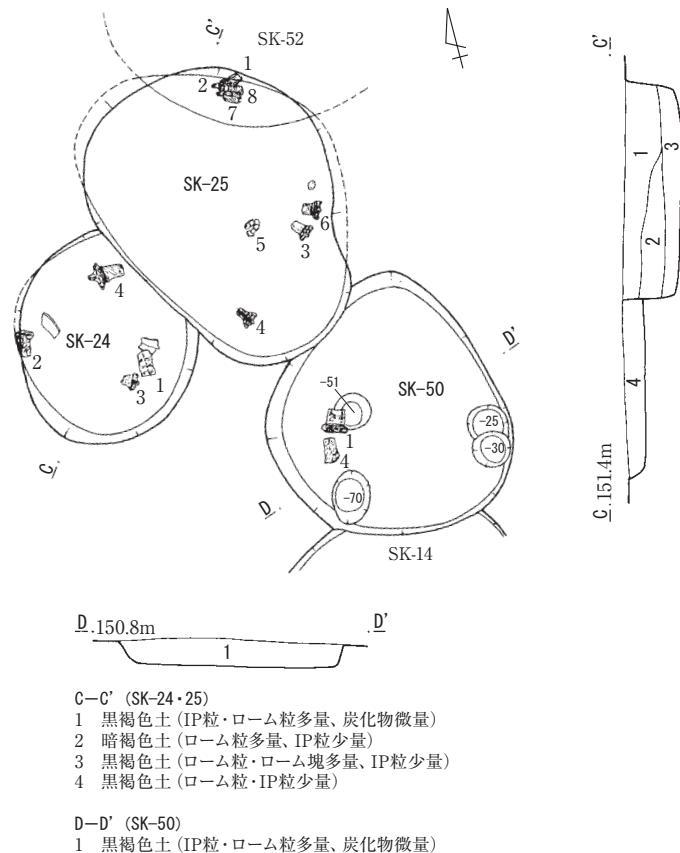


第19図 SK-13・14・16・17・19~21・41・44・55・56 実測図

SK-22・23



SK-24・25・50



A-A' (SK-23)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒・炭化物微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒少量・IP粒微量)
- 3 明褐色土 (IP粒・ローム粒多量)

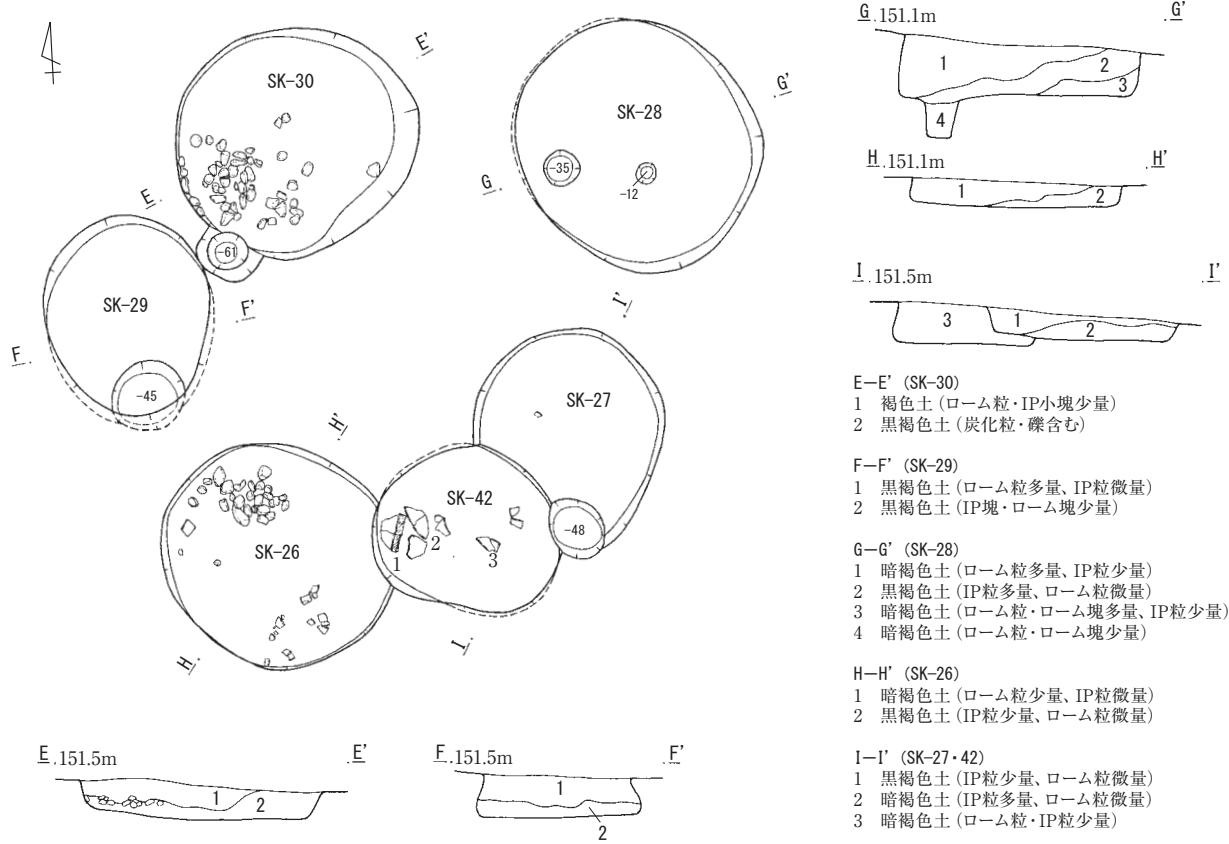
C-C' (SK-24・25)

- 1 黒褐色土 (IP粒・ローム粒多量・炭化物微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒多量・IP粒少量)
- 3 黒褐色土 (ローム粒・ローム塊多量・IP粒少量)
- 4 黑褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

D-D' (SK-50)

- 1 黑褐色土 (IP粒・ローム粒多量・炭化物微量)

SK-26~30・42



E-E' (SK-30)

- 1 褐色土 (ローム粒・IP小塊少量)
- 2 黑褐色土 (炭化物・礫含む)

F-F' (SK-29)

- 1 黑褐色土 (ローム粒多量・IP粒微量)
- 2 黑褐色土 (IP塊・ローム塊少量)

G-G' (SK-28)

- 1 暗褐色土 (ローム粒多量・IP粒少量)
- 2 黑褐色土 (IP粒多量・ローム粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒・ローム塊多量・IP粒少量)
- 4 暗褐色土 (ローム粒・ローム塊少量)

H-H' (SK-26)

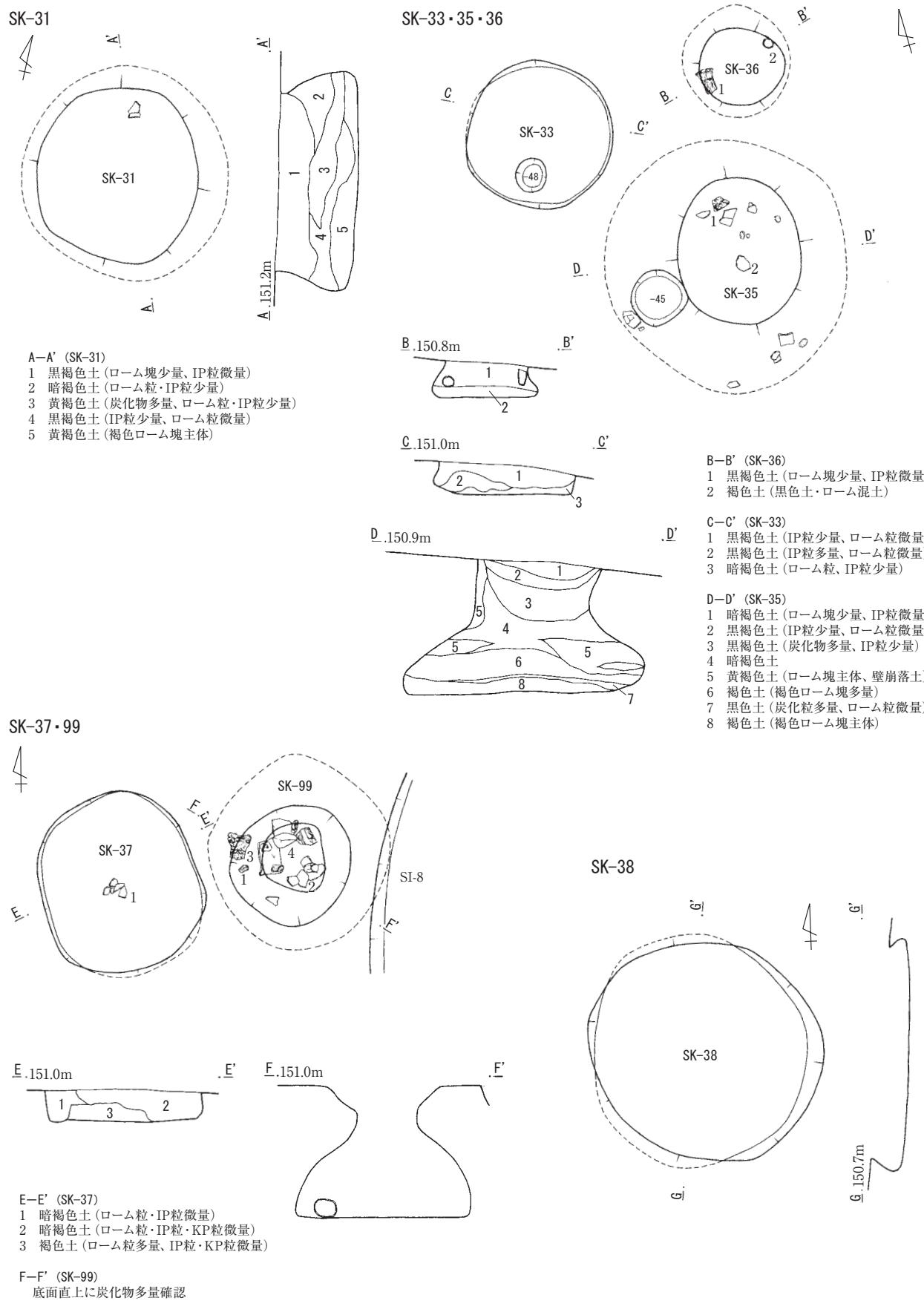
- 1 暗褐色土 (ローム粒少量・IP粒微量)
- 2 黑褐色土 (IP粒少量・ローム粒微量)

I-I' (SK-27・42)

- 1 黑褐色土 (IP粒少量・ローム粒微量)
- 2 暗褐色土 (IP粒多量・ローム粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

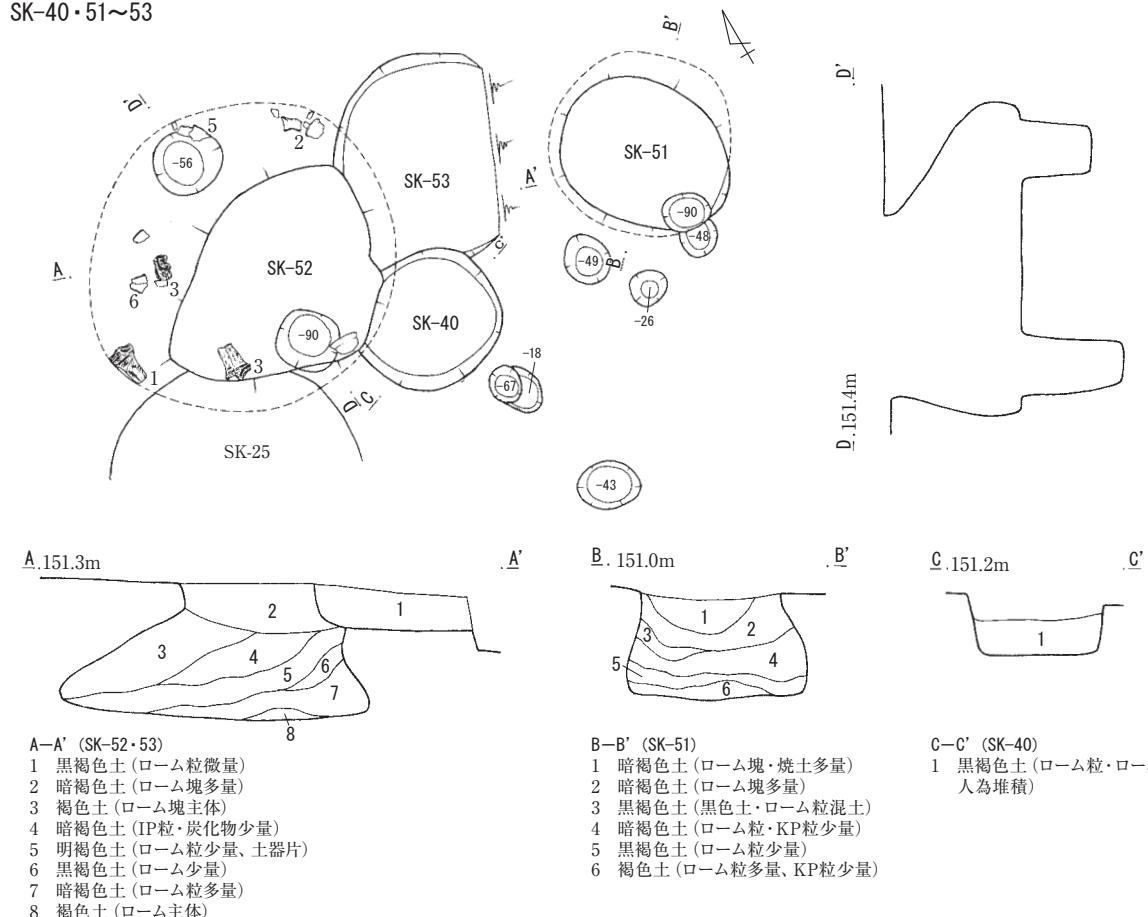
0 (1 : 60) 2m

第20図 SK-22~30・42・50 実測図

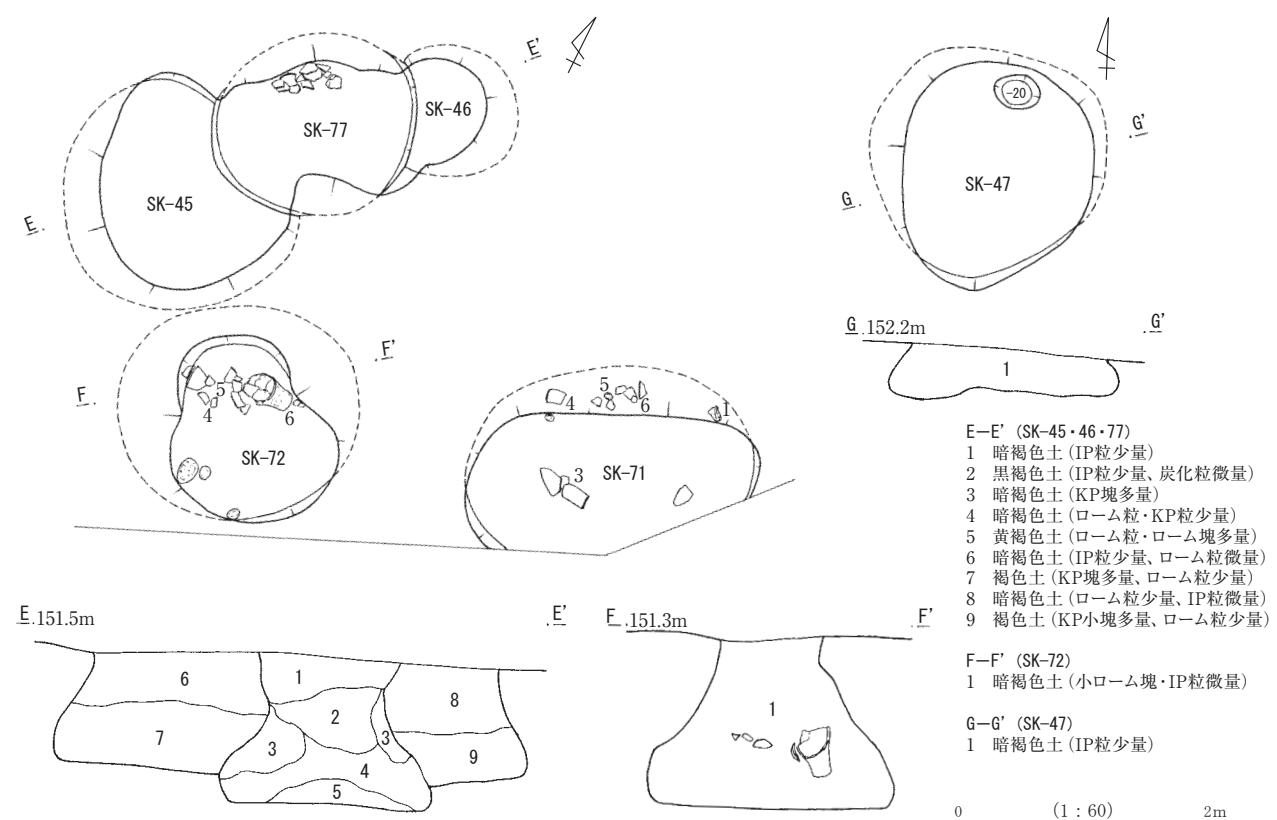


第21図 SK-31・33・35～38・99 実測図

SK-40・51~53

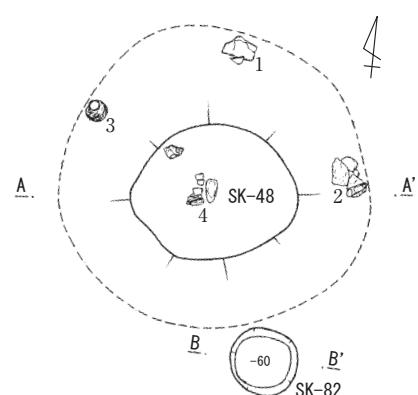


SK-45・46・71・72・77

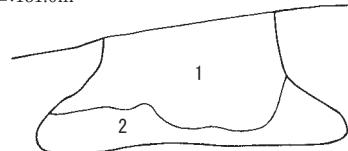


第22図 SK-40・45~47・51~53・71・72・77 実測図

SK-48・82



A.151.0m



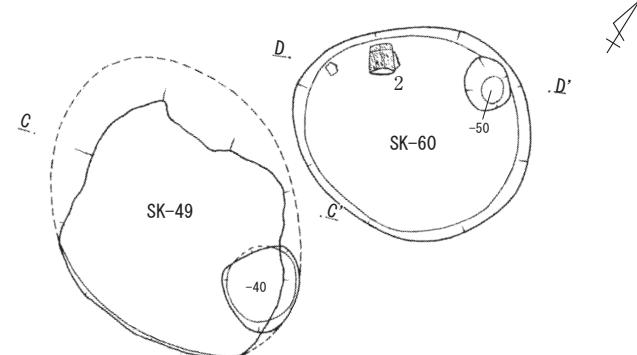
B.150.8m



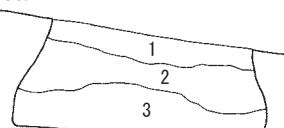
A-A' (SK-48)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

SK-49・60

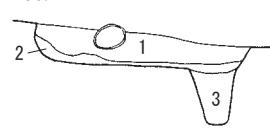


C.150.4m



C'

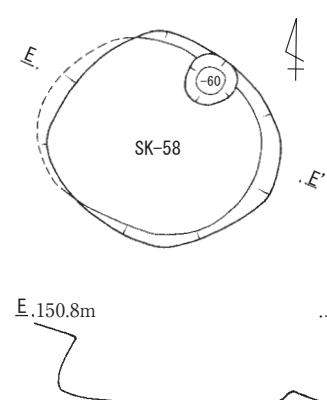
D.150.2m



D-D' (SK-60)

- 1 暗褐色土(IP粒・ローム粒少量)
2 黄褐色土(ローム粒多量)
3 褐色土(IP粒・ローム粒少量)

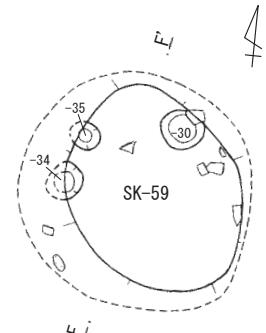
SK-58



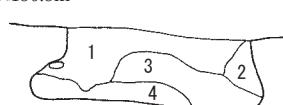
E.150.8m



SK-59



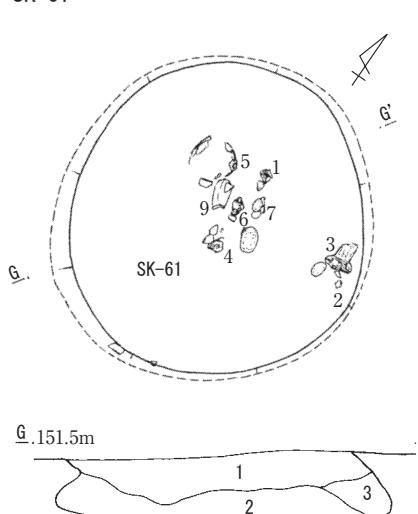
F.150.5m



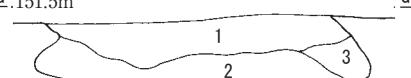
F-F' (SK-59)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 黄褐色土(ローム塊主体)
3 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
4 明褐色土(KP塊多量)

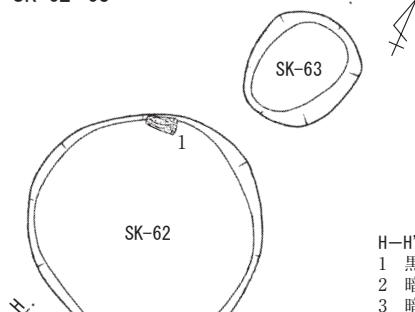
SK-61



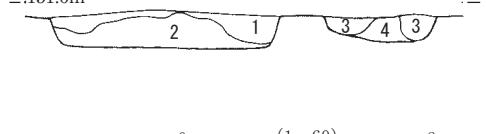
G.151.5m



SK-62・63



H.151.6m



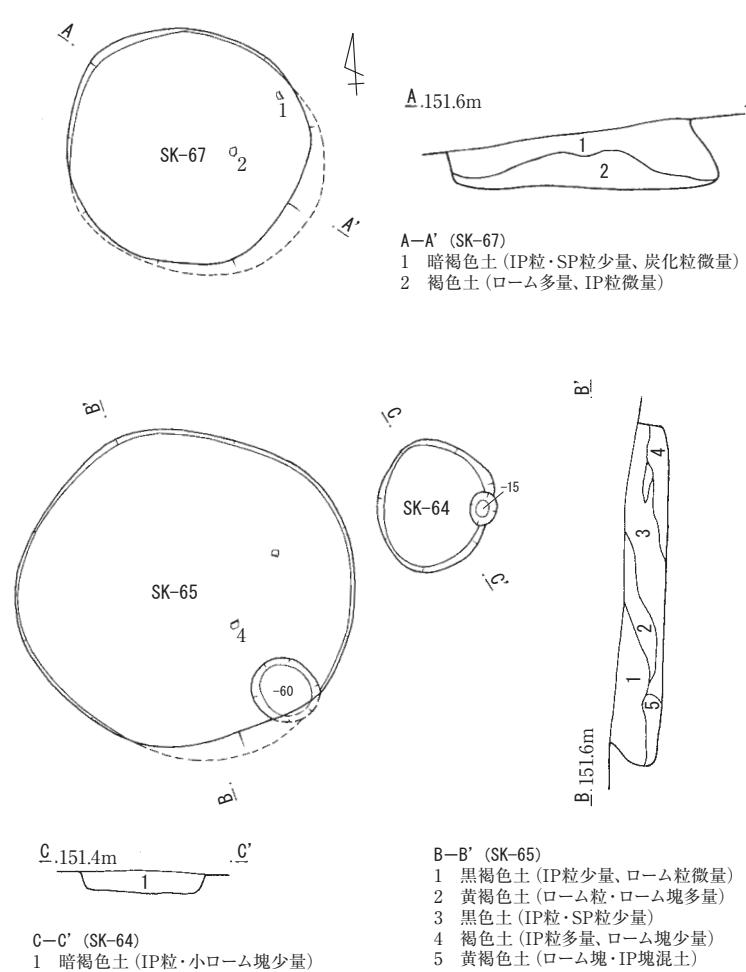
H-H' (SK-62・63)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 暗褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
3 暗褐色土(ローム粒・ローム塊少量)
4 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)

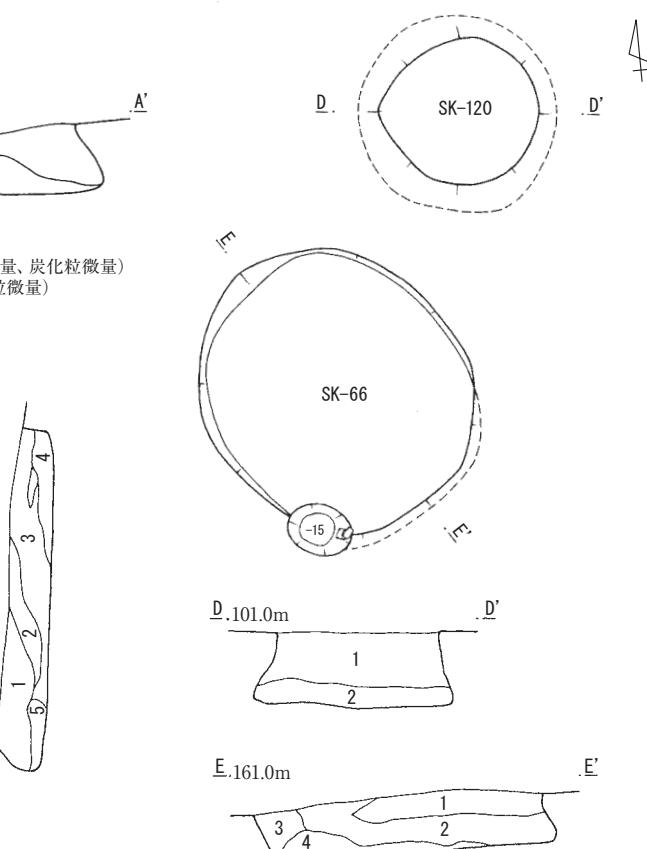
0 (1 : 60) 2m

第23図 SK-48・49・58～63・82 実測図

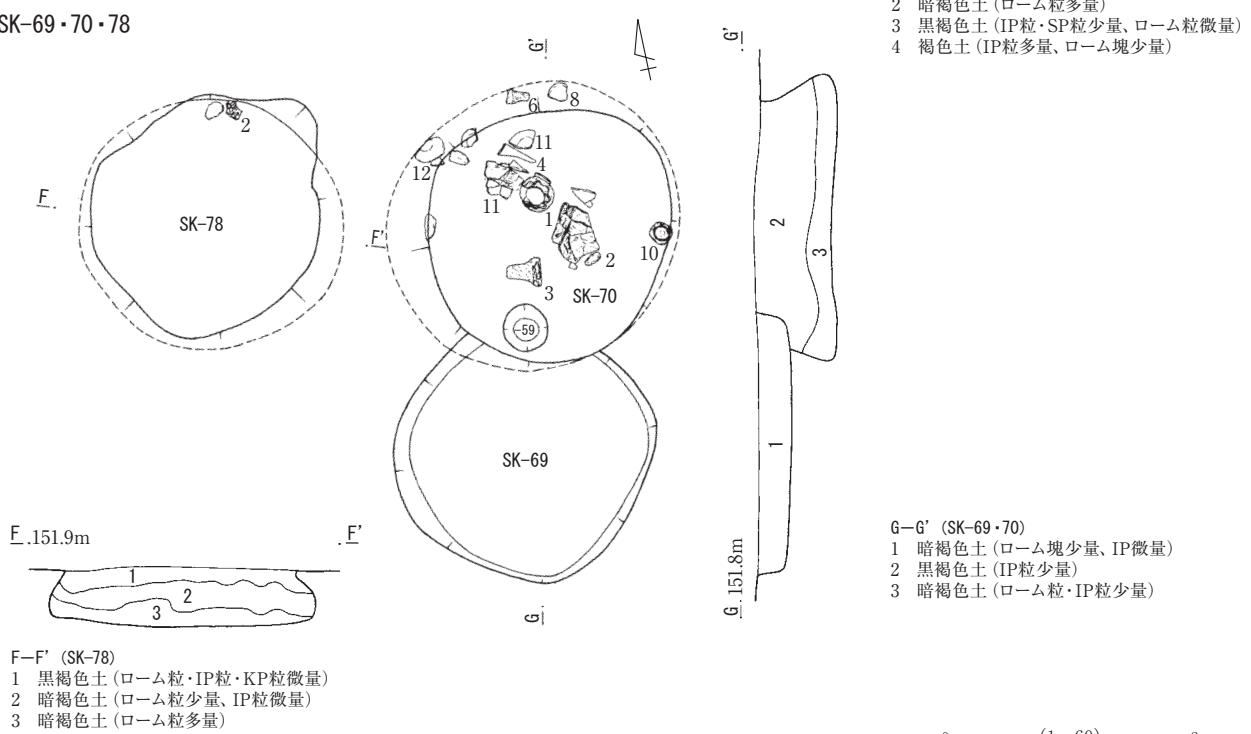
SK-64・65・67



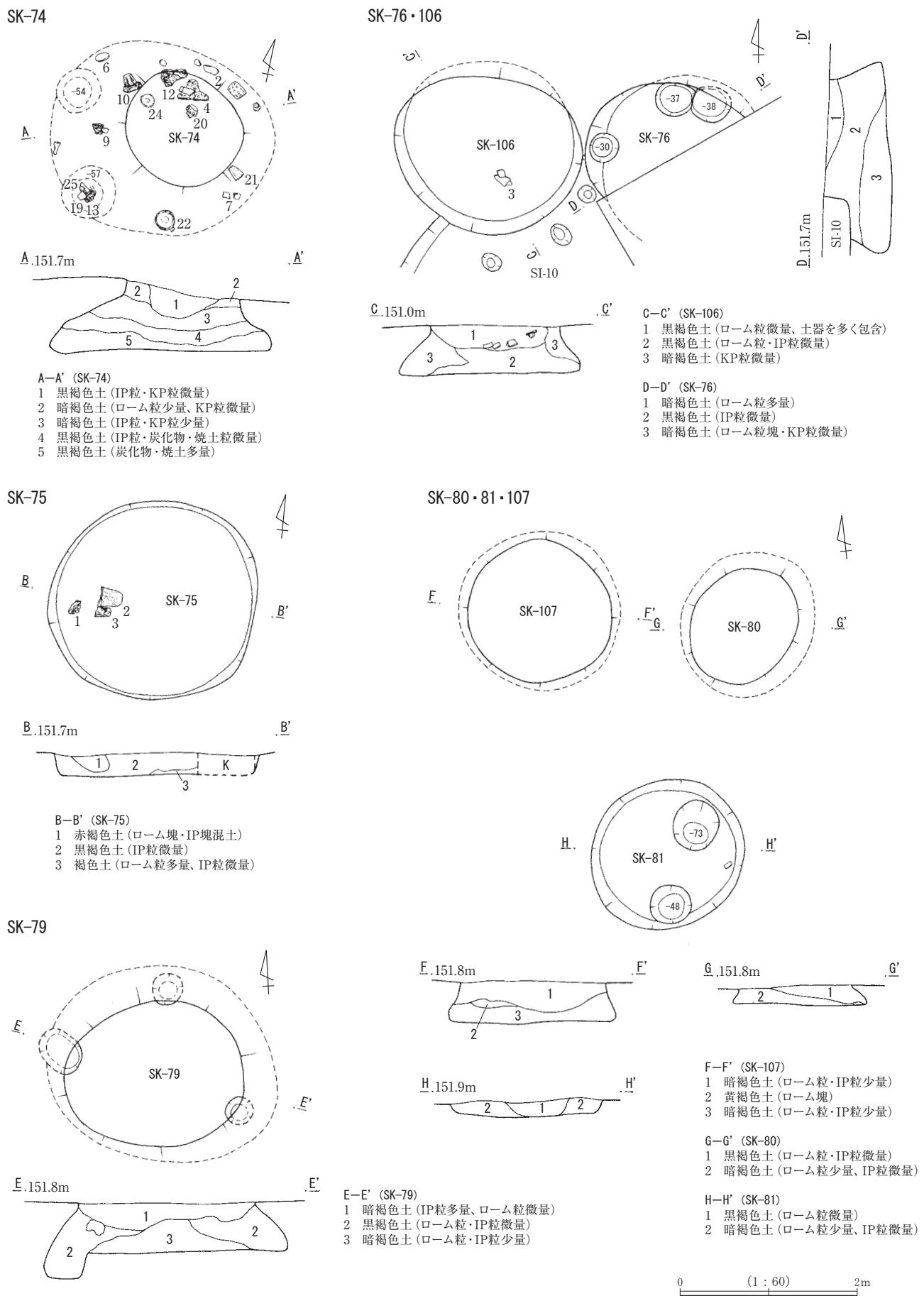
SK-66・120



SK-69・70・78

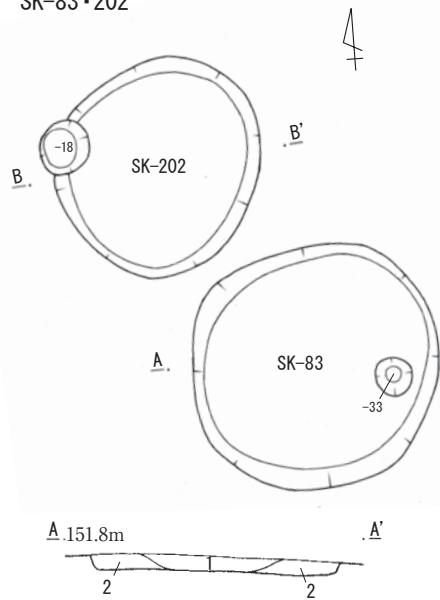


第24図 SK-64~67・69・70・78・120 実測図

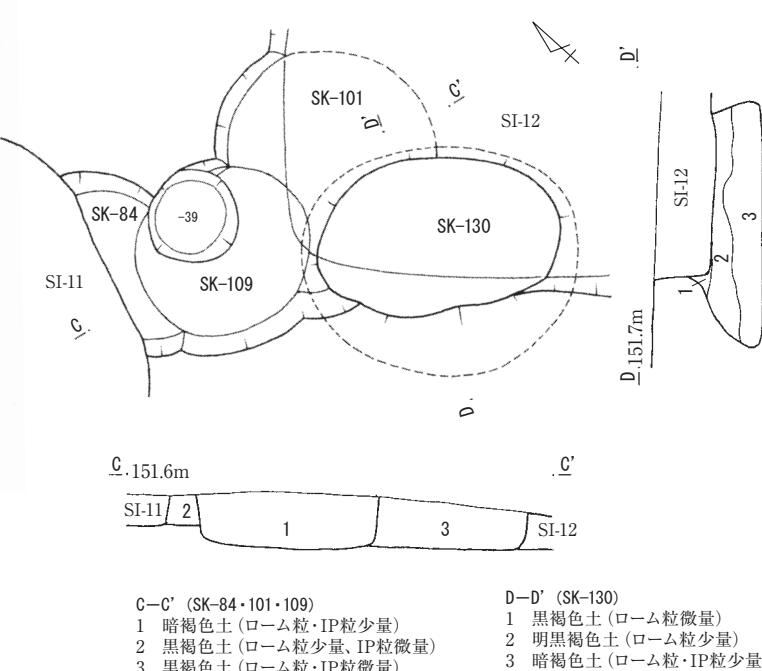


第25図 SK-74~76・79~81・106・107 実測図

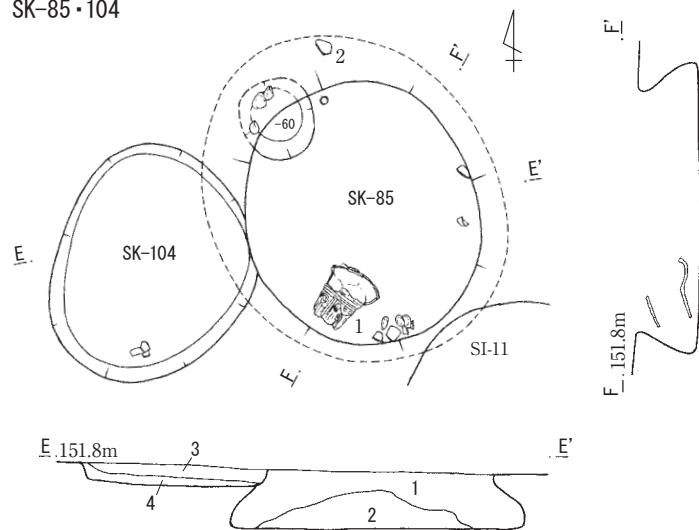
SK-83・202



SK-84・101・109・130



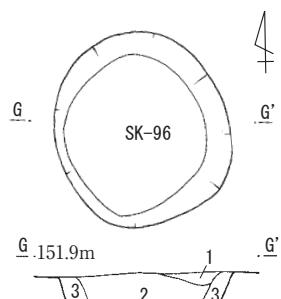
SK-85・104



E-E' (SK-85・104)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒・SP粒・KP粒少量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒微量)
- 3 黒褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 4 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)

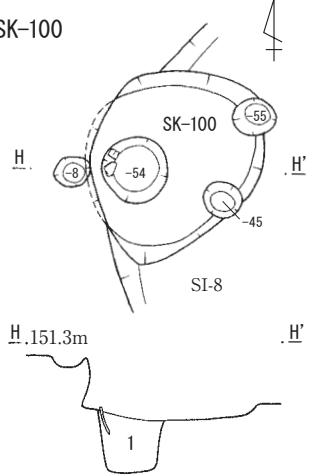
SK-96



G-G' (SK-96)

- 1 褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム塊多量、壁崩落土)

SK-100



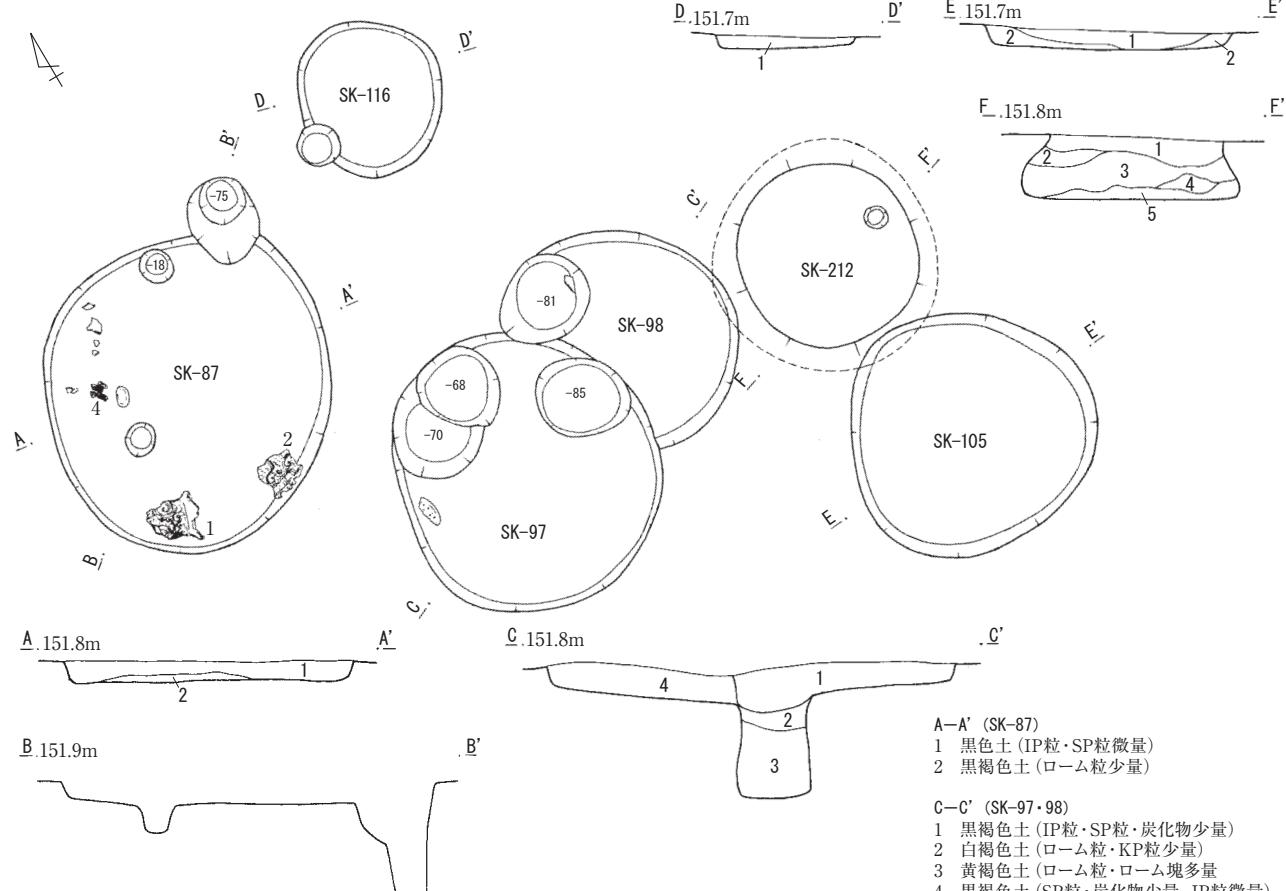
H-H' (SK-100)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒・炭化物少量)

0 (1 : 60) 2m

第26図 SK-83~85・96・100・101・104・109・130・202 実測図

SK-87・97・98・105・116・212



A-A' (SK-87)
1 黒色土 (IP粒・SP粒微量)
2 黒褐色土 (ローム粒少量)

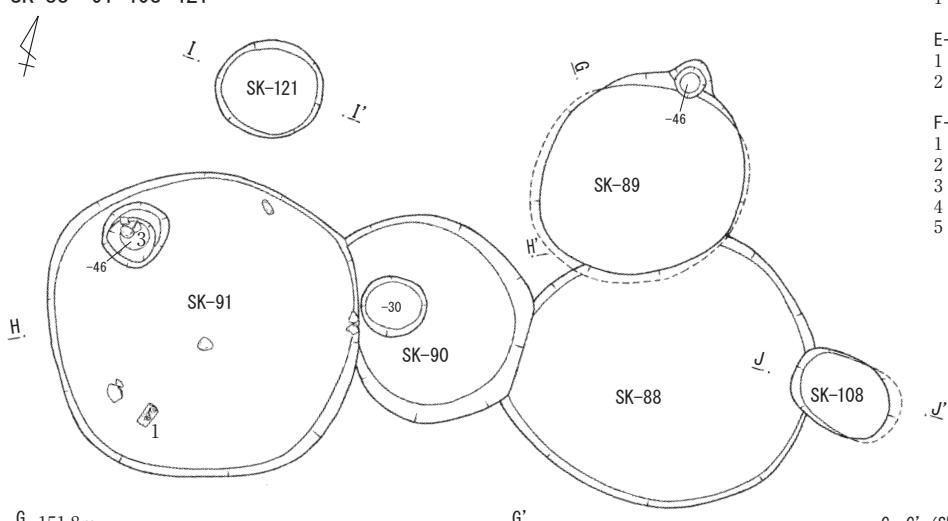
C-C' (SK-97・98)
1 黒褐色土 (IP粒・SP粒・炭化物少量)
2 白褐色土 (ローム粒・KP粒少量)
3 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)
4 黑褐色土 (SP粒・炭化物少量、IP粒微量)

D-D' (SK-116)
1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

E-E' (SK-105)
1 褐色土 (IP粒多量、ローム粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)

F-F' (SK-212)
1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
3 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)
4 黑褐色土 (IP粒・炭化物多量)
5 褐色土 (ローム粒多量、IP粒・KP粒少量)

SK-88~91・108・121



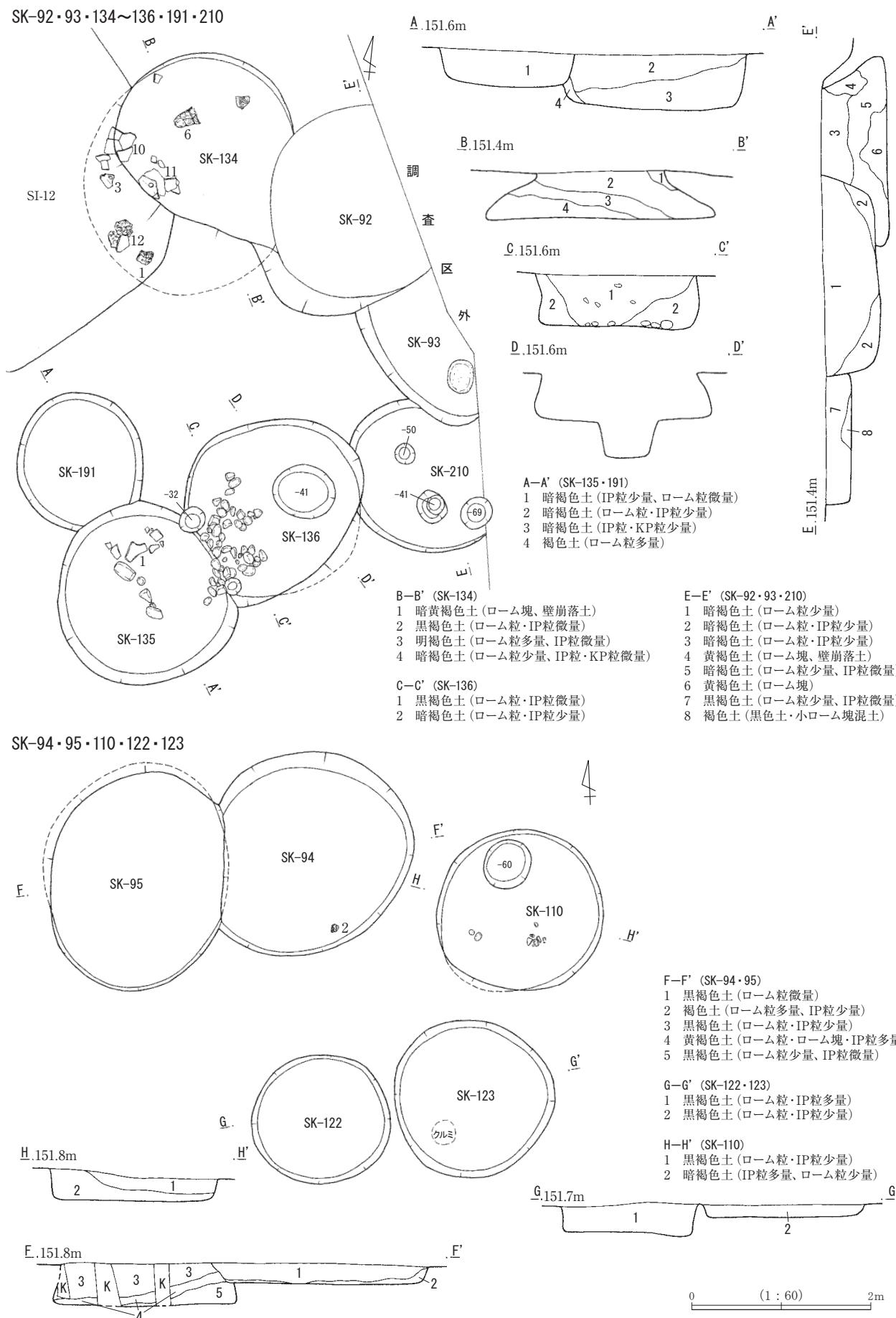
G-G' (SK-88・89)
1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒・炭化物少量)
3 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量、壁崩落土)
4 黑褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

H-H' (SK-90・91)
1 暗褐色土 (IP粒少量)
2 黑褐色土 (IP粒微量)

I-I' (SK-121)
1 黑褐色土 (ローム粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

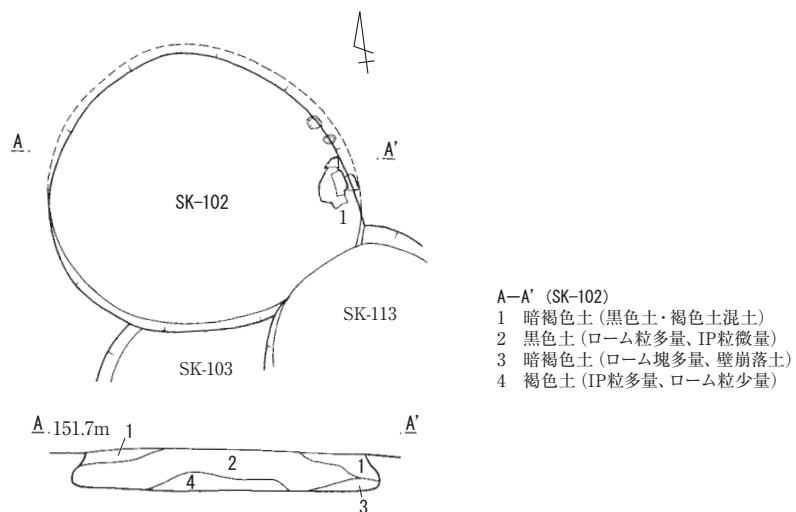
0 (1 : 60) 2m

第27図 SK-87~91・97・98・105・108・116・121・212 実測図

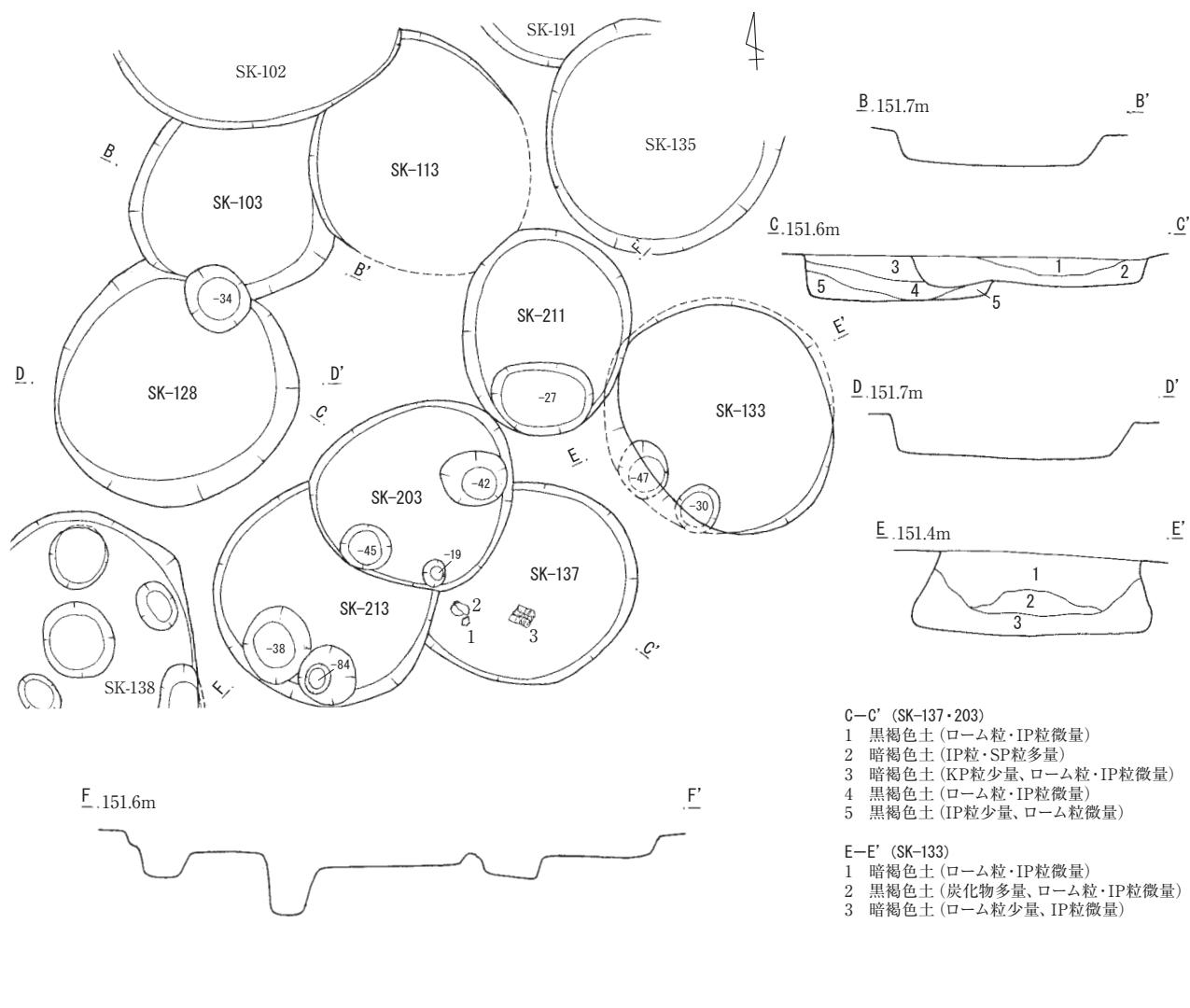


第28図 SK-92～95・110・122・123・134～136・191・210 実測図

SK-102

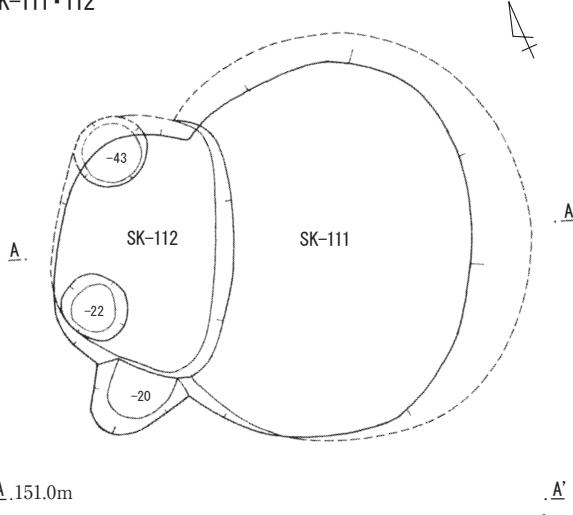


SK-103・113・128・133・137・203・211・213

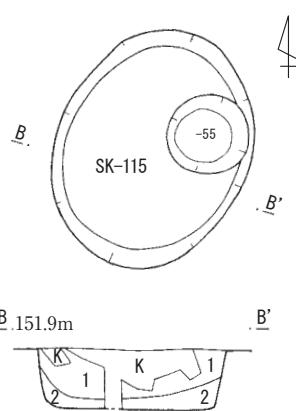


第29図 SK-102・103・113・128・133・137・203・211・213 実測図

SK-111・112

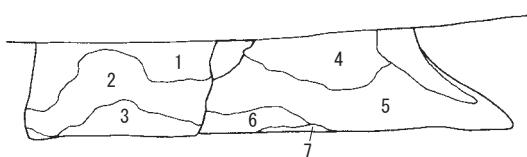


SK-115



B-B' (SK-115)
 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)

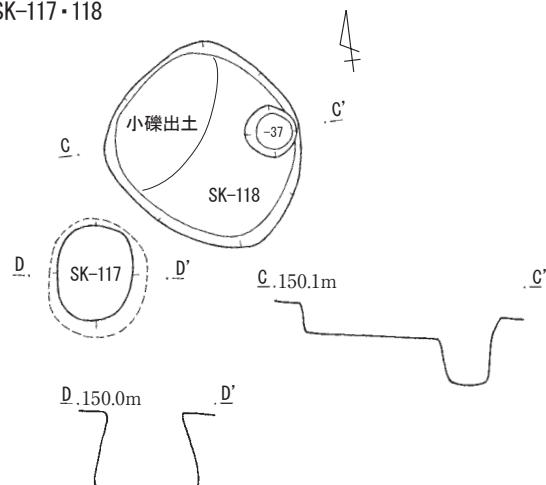
A.151.0m



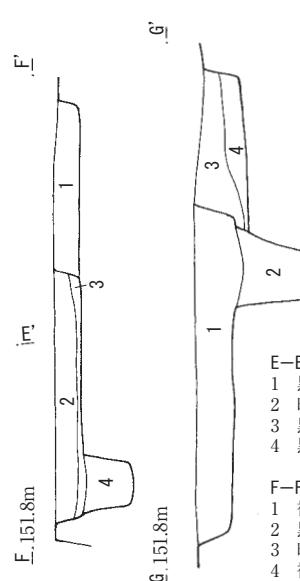
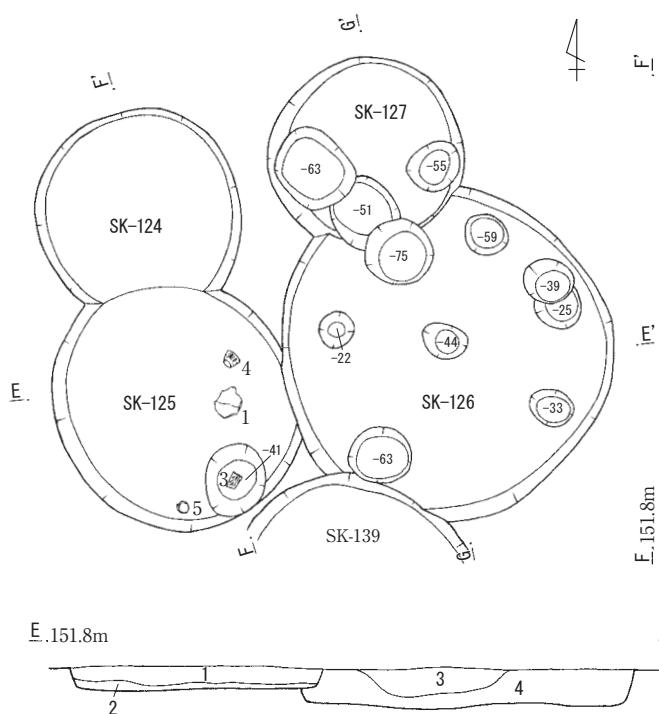
A-A' (SK-111・112)

- 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)
- 2 褐色土(ローム粒・IP粒・KP粒少量)
- 3 明褐色土(KP粒多量・IP粒少量)
- 4 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
- 5 黒褐色土(炭化物少量・IP粒微量)
- 6 明褐色土(KP粒多量)
- 7 褐色土(ローム粒多量)

SK-117・118

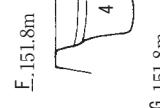


SK-124~127



E-E' (SK-125・126)
 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒少量・IP粒微量)
 3 黒色土(ローム粒・IP粒極微量)
 4 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)

E'



F-F' (SK-124・125)
 1 褐色土(ローム粒多量・IP粒少量)
 2 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 3 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 4 褐色土(ローム粒多量)

F'

F.151.8m

G-G' (SK-126・127)
 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 暗褐色土(IP粒・KP粒少量・ローム粒微量)
 3 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 4 褐色土(ローム塊・IP塊多量)

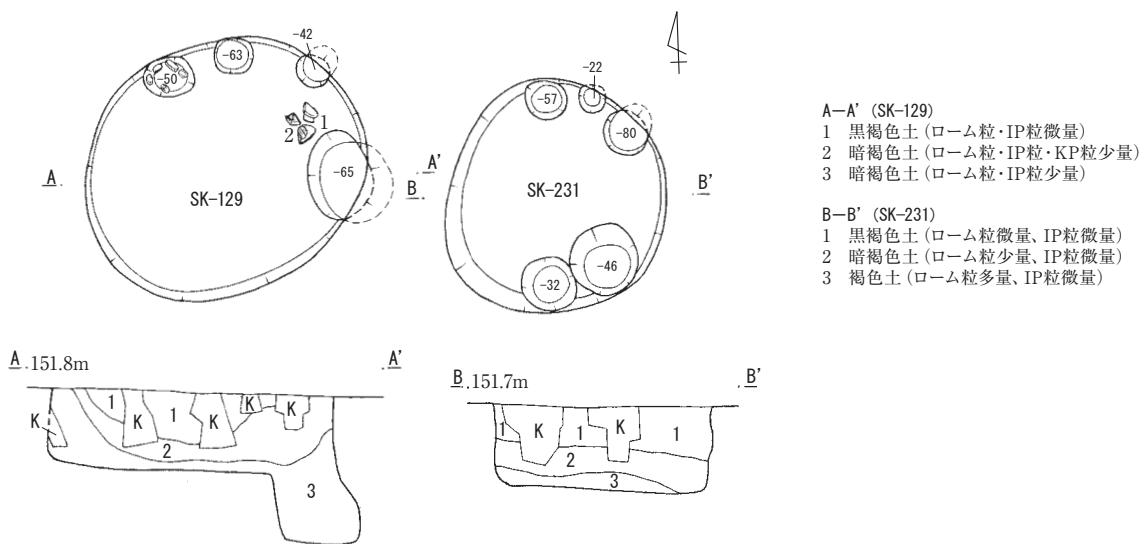
G'

G.151.8m

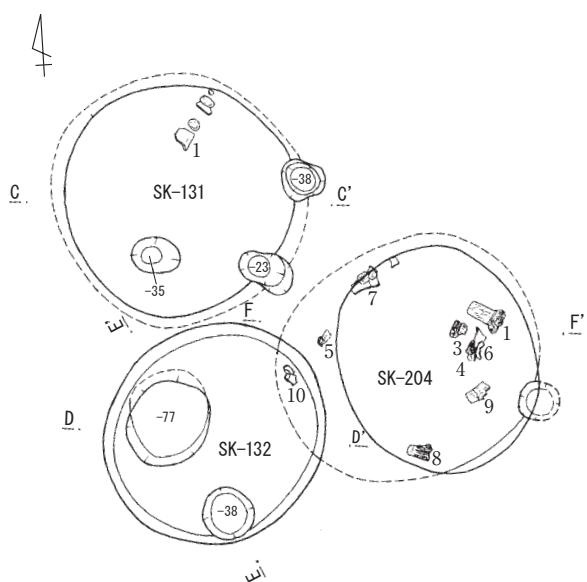
0 (1 : 60) 2m

第30図 SK-111・112・115・117・118・124~127 實測図

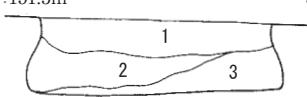
SK-129 • 231



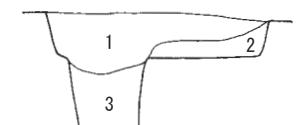
SK-131 · 132 · 204



C 151 3m



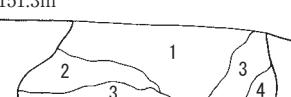
D 151.3m



E 151.3m



E 151.2



$C=C'$ (SK-131)

- 1 暗褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
 2 褐色土 (ローム塊多量、IP粒微量)
 3 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

D-D' (SK-132)

- 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 2 黄褐色土(ローム塊多量)
 3 褐色土(ローム粒多量 KP粒少)

F-F' (SK-204)

- F-F (SK-204)
 1 黑褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
 2 明黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
 3 暗褐色土 (小ローム塊少量)
 4 褐色土 (IP粒多量、IP粒少量)

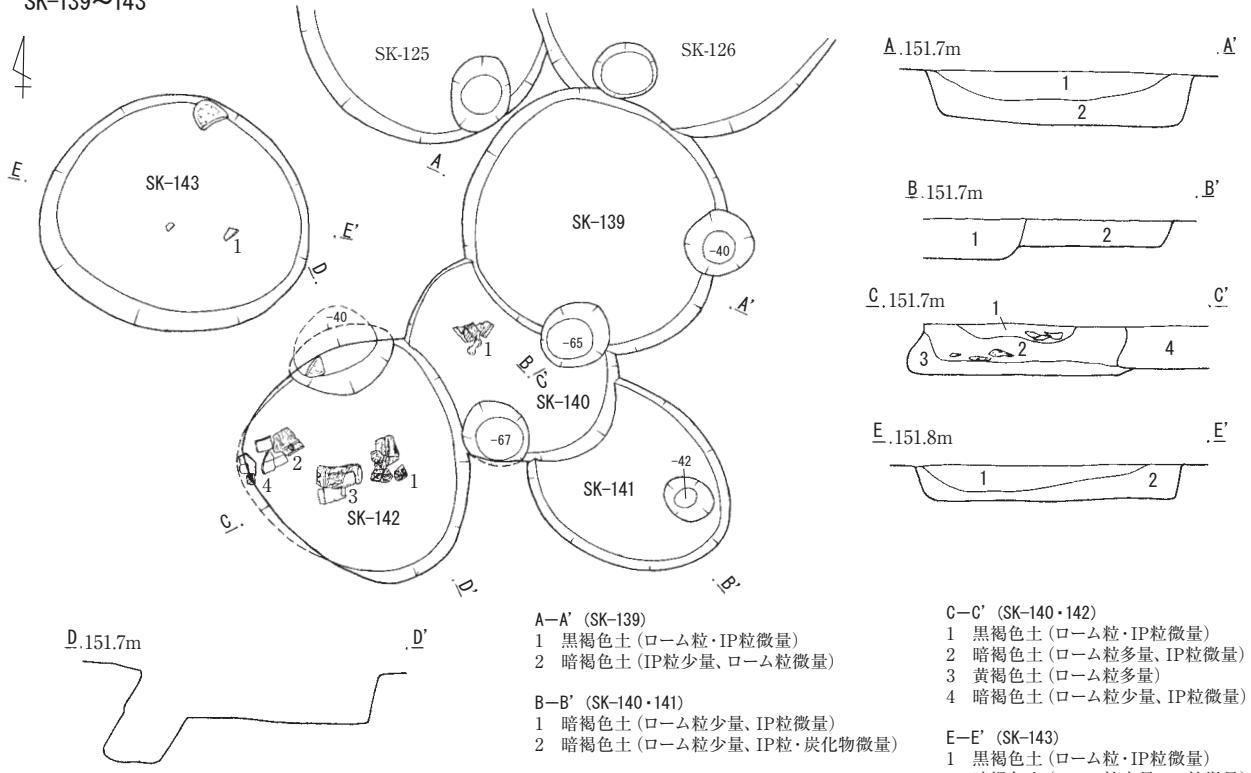
G-G' (SK-138)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 - 2 明黒褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 3 暗褐色土(IP粒多量、ローム粒・KP粒微量)
 - 4 褐色土(KP粒多量、ローム粒・IP粒微量)
 - 5 暗褐色土(KP粒多量)

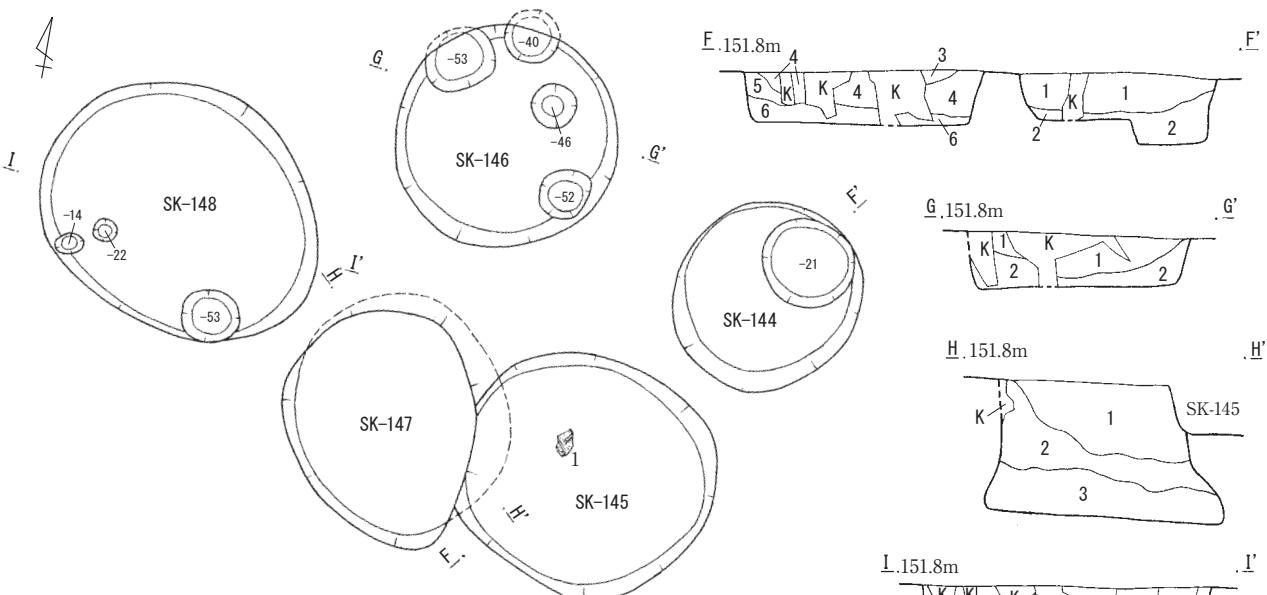
0 (1 : 60) 2m

第31図 SK-129・131・132・138・204・231 実測図

SK-139~143



SK-144~148



F-F' (SK-144·145)

- 1 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒・SP粒微量)
- 2 棕色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 3 黑褐色土 (ローム粒微量)
- 4 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒・SP粒微量)
- 5 棕色土 (ローム粒多量、IP粒・SP粒微量)
- 6 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)

G-G' (SK-146)

- 1 黑褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

H-H' (SK-147)

- 1 黑褐色土 (ローム粒・IP粒・炭化物微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 棕色土 (ローム粒多量、IP粒・炭化物微量)

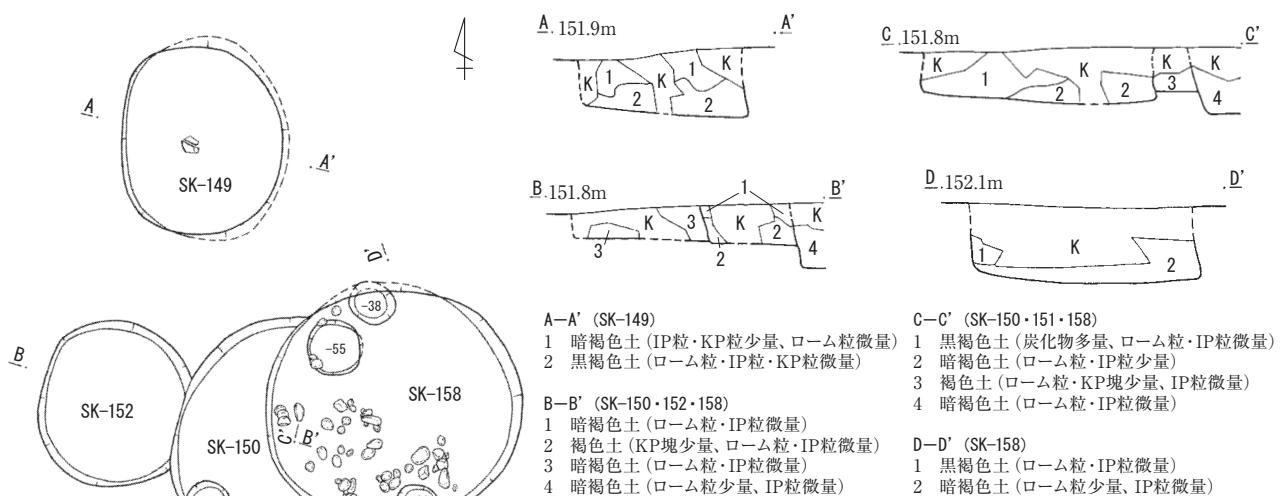
I-I' (SK-148)

- 1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒・SP粒・KP粒微量)
- 3 棕色土 (ローム粒・IP粒少量、SP粒・KP粒微量)
- 4 棕色土 (ローム粒・IP粒少量、SP粒・炭化物微量)

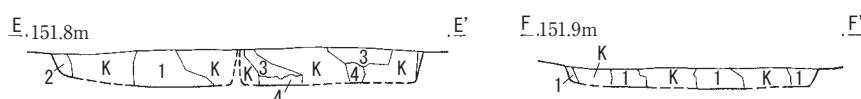
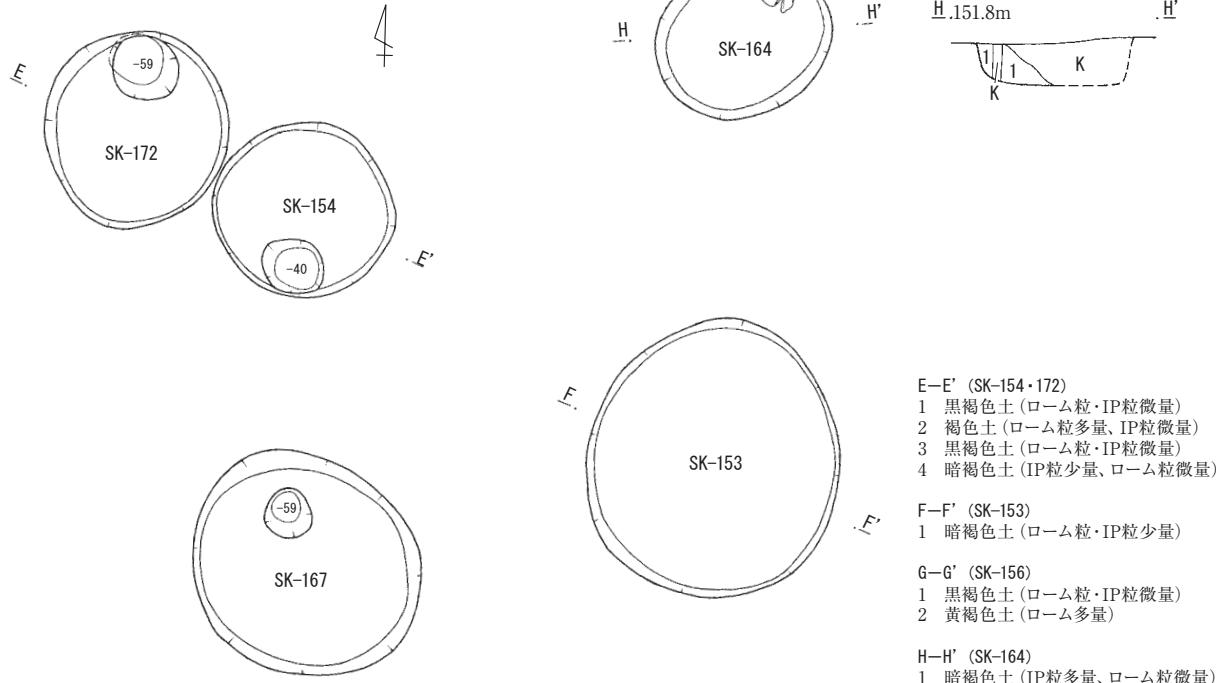
0 (1 : 60) 2m

第32図 SK-139~148 実測図

SK-149~152・158



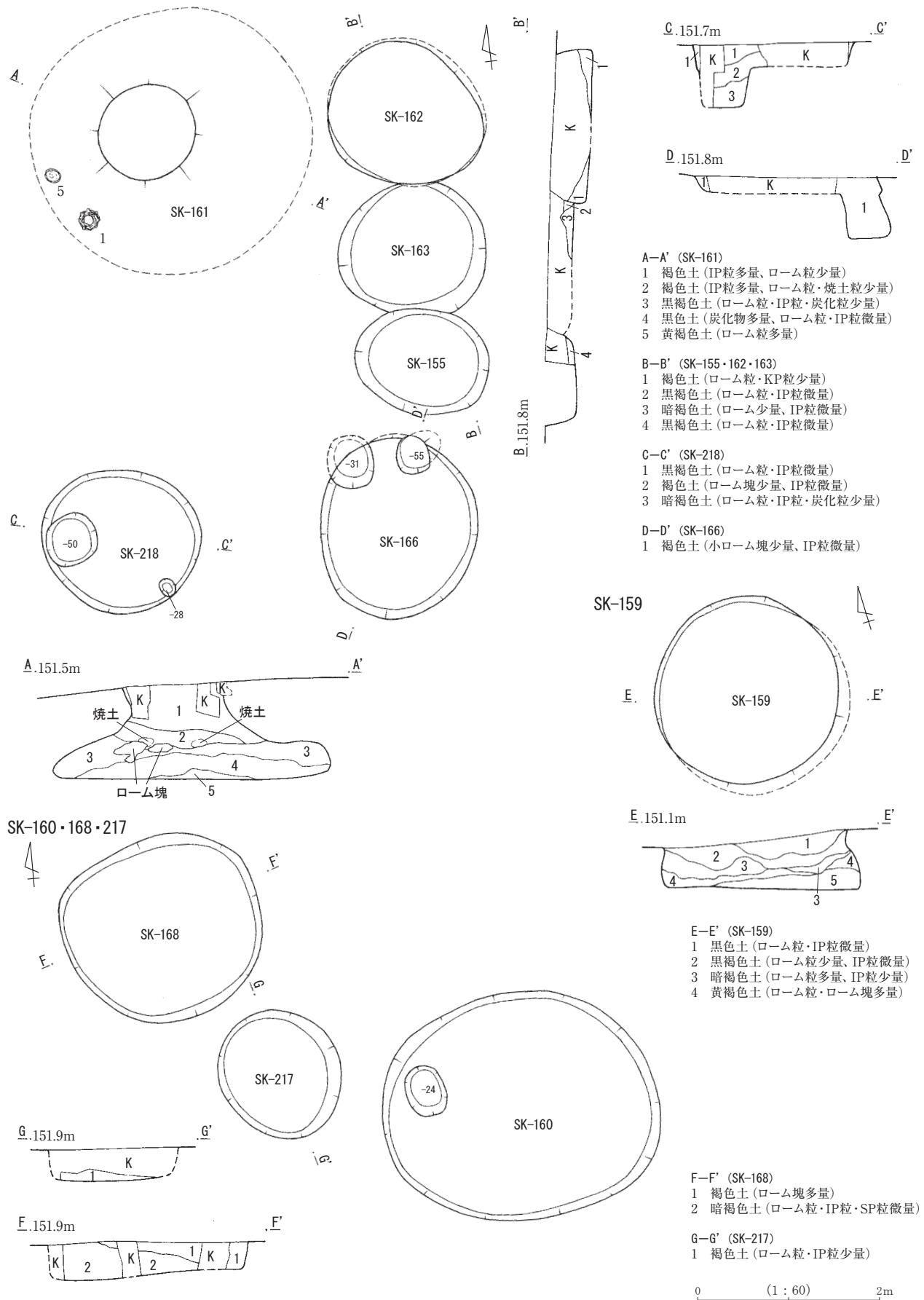
SK-156・164



0 (1 : 60) 2m

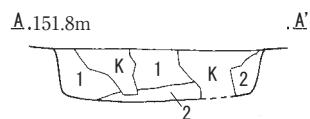
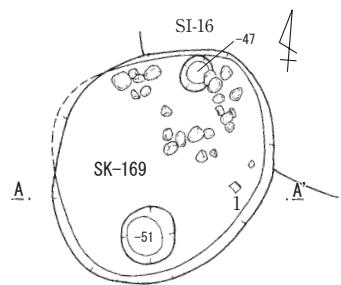
第33図 SK-149~154・156・158・164・167・172 実測図

SK-155・161～163・166・218



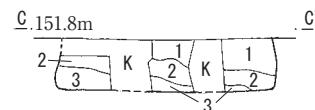
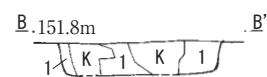
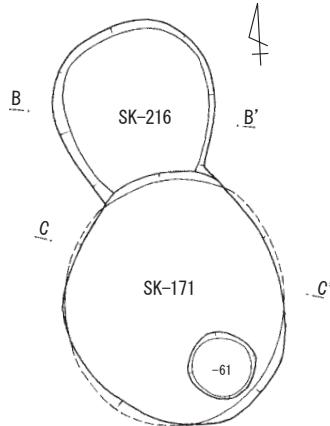
第34図 SK-155・159～163・166・168・217・218 実測図

SK-169



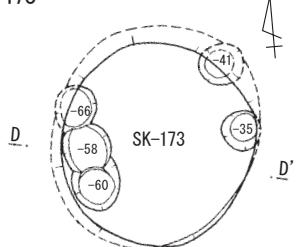
A-A' (SK-169)
 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

SK-171・216



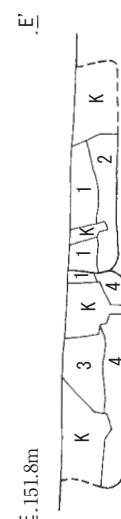
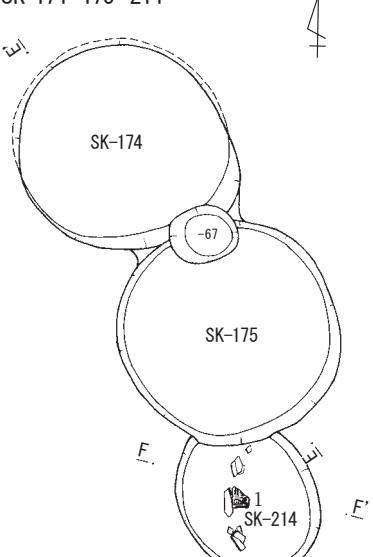
B-B' (SK-216)
 1 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 C-C' (SK-171)
 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 3 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

SK-173



D-D' (SK-173)
 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 3 褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 4 黄褐色土(ローム粒多量)
 5 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

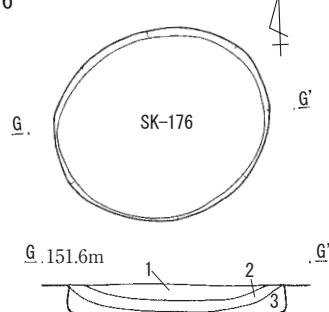
SK-174・175・214



E-E' (SK-174・175)
 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 黑褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 3 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
 4 暗褐色土(ローム粒少量、炭化粒微量)

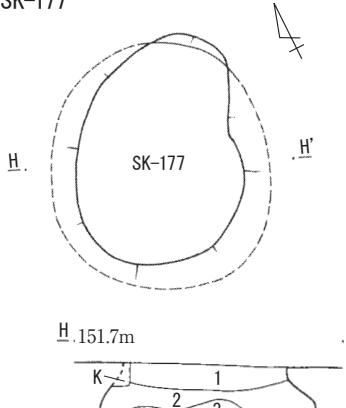
F-F' (SK-214)
 1 黄褐色土(ローム粒多量)

SK-176



G-G' (SK-176)
 1 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 3 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)

SK-177

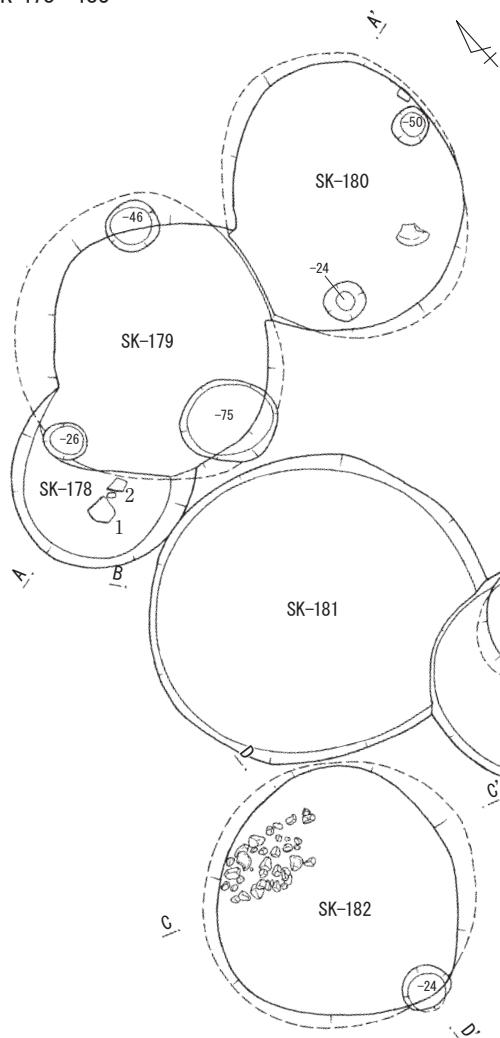


H-H' (SK-177)
 1 黑褐色土(IP粒・SP粒少量、ローム粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 3 褐色土(ローム粒・IP粒少量、SP粒微量)

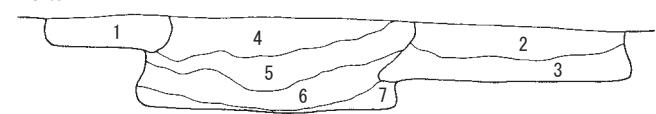
0 (1 : 60) 2m

第35図 SK-169・171・173～177・214・216 実測図

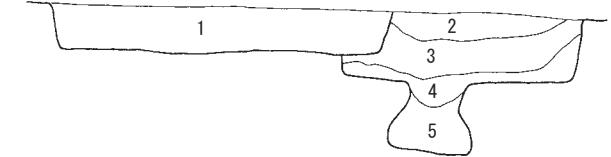
SK-178~183



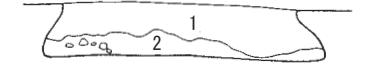
△.151.6m



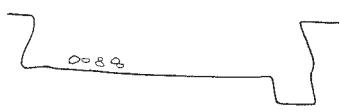
△.151.5m



△.151.5m



△.151.6m



A-A' (SK-178-179-180)

- 1 黒褐色土 (IP粒微量・ローム粒極微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 3 褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
- 4 明黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
- 5 暗褐色土 (IP粒少量・ローム粒微量)
- 6 褐色土 (ローム粒多量、KP粒・SP粒微量)
- 7 暗褐色土 (ローム粒少量、KP粒・SP粒微量)

B-B' (SK-181-183)

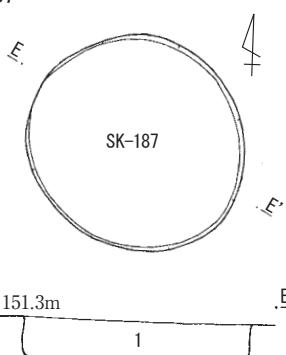
- 1 褐色土 (IP粒多量、ローム粒少量)
- 2 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 4 褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
- 5 暗褐色土 (KP塊少量、ローム粒・IP粒微量)

C-C' (SK-182)

- 1 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒多量)

SK-189-190-208

SK-187



F-F' (SK-189-190)

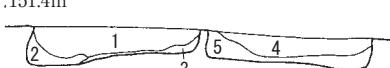
- 1 明黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 褐色土 (ローム塊)
- 4 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)



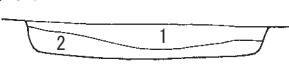
G-G' (SK-208)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

△.151.4m



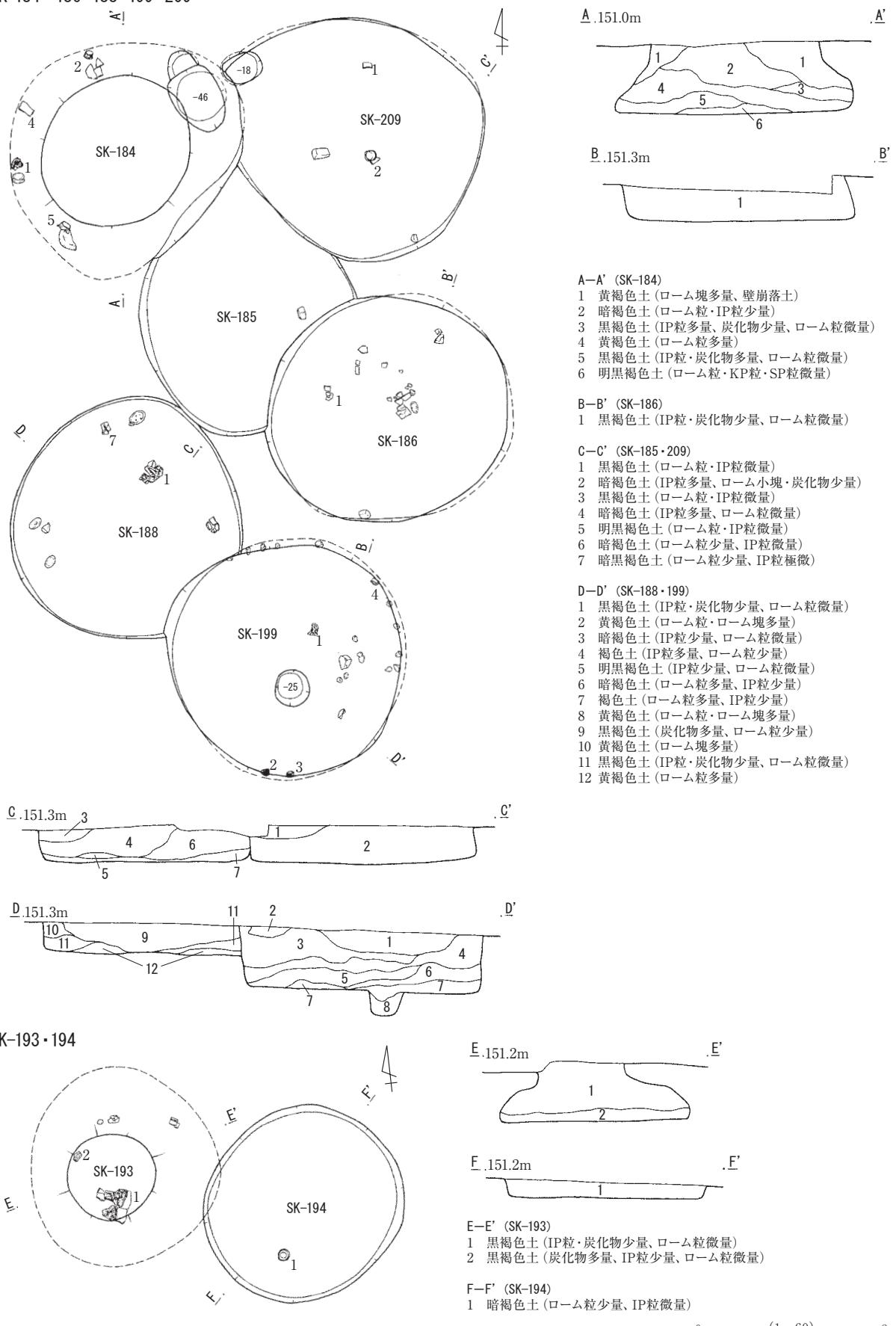
△.151.4m



0 (1 : 60) 2m

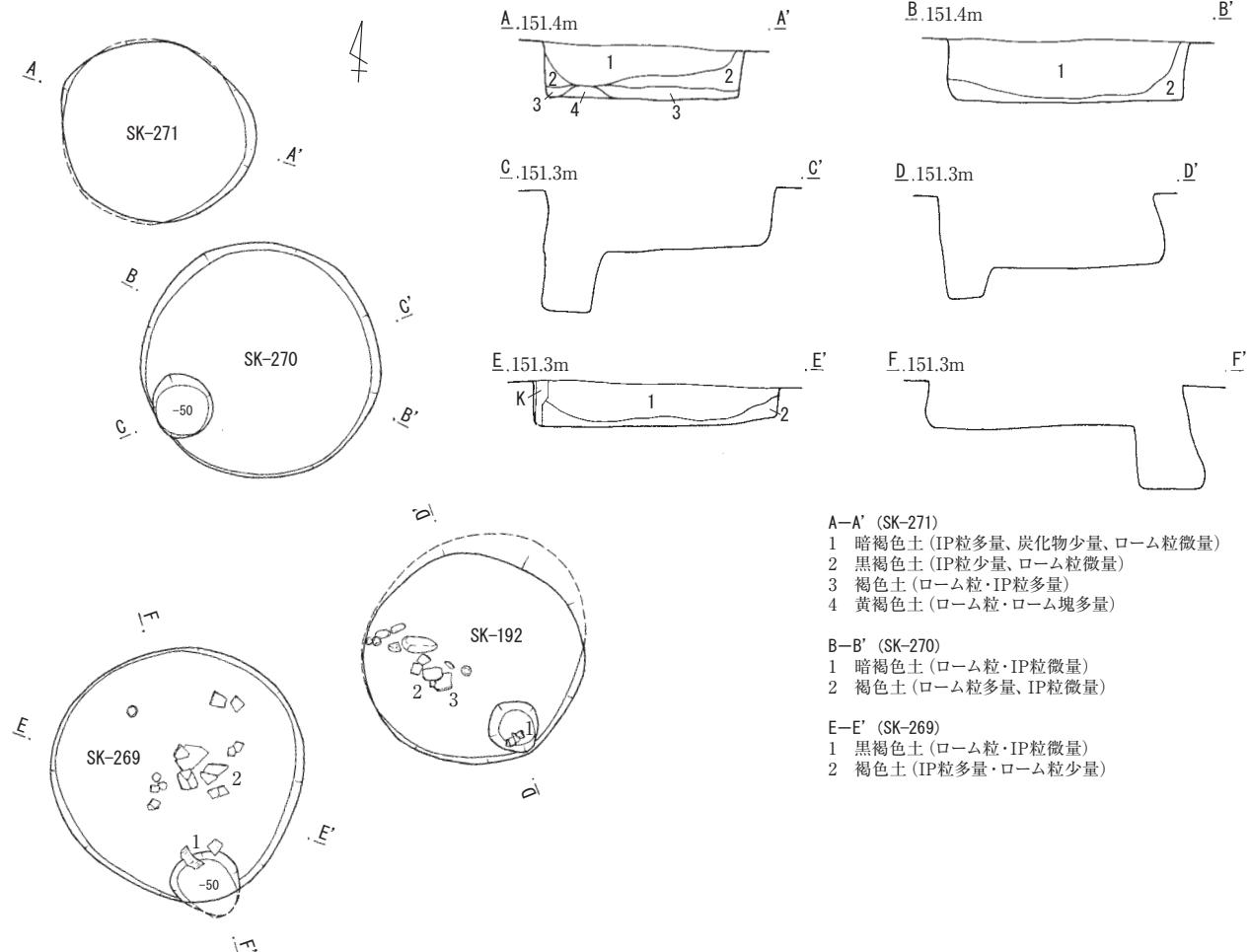
第36図 SK-178~183・187・189・190・208 実測図

SK-184~186·188·199·209

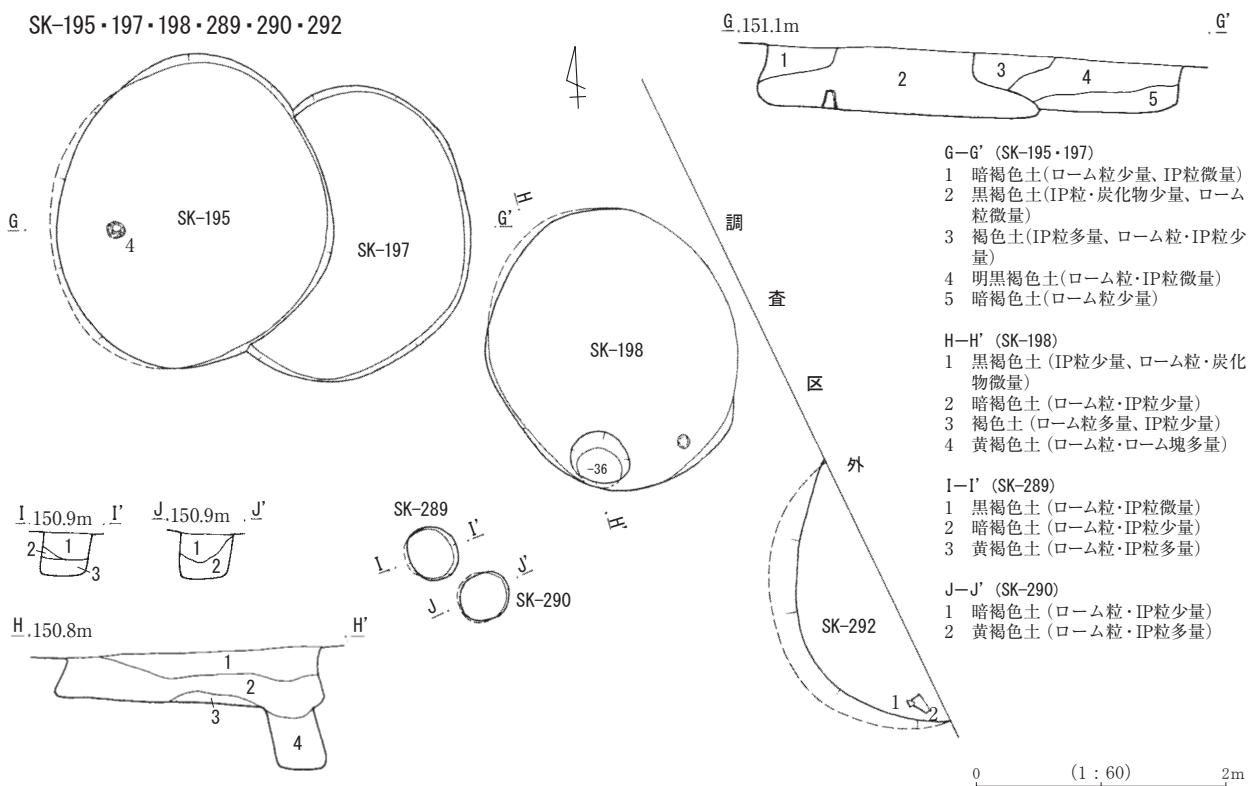


第37図 SK-184~186·188·193·194·199·209 実測図

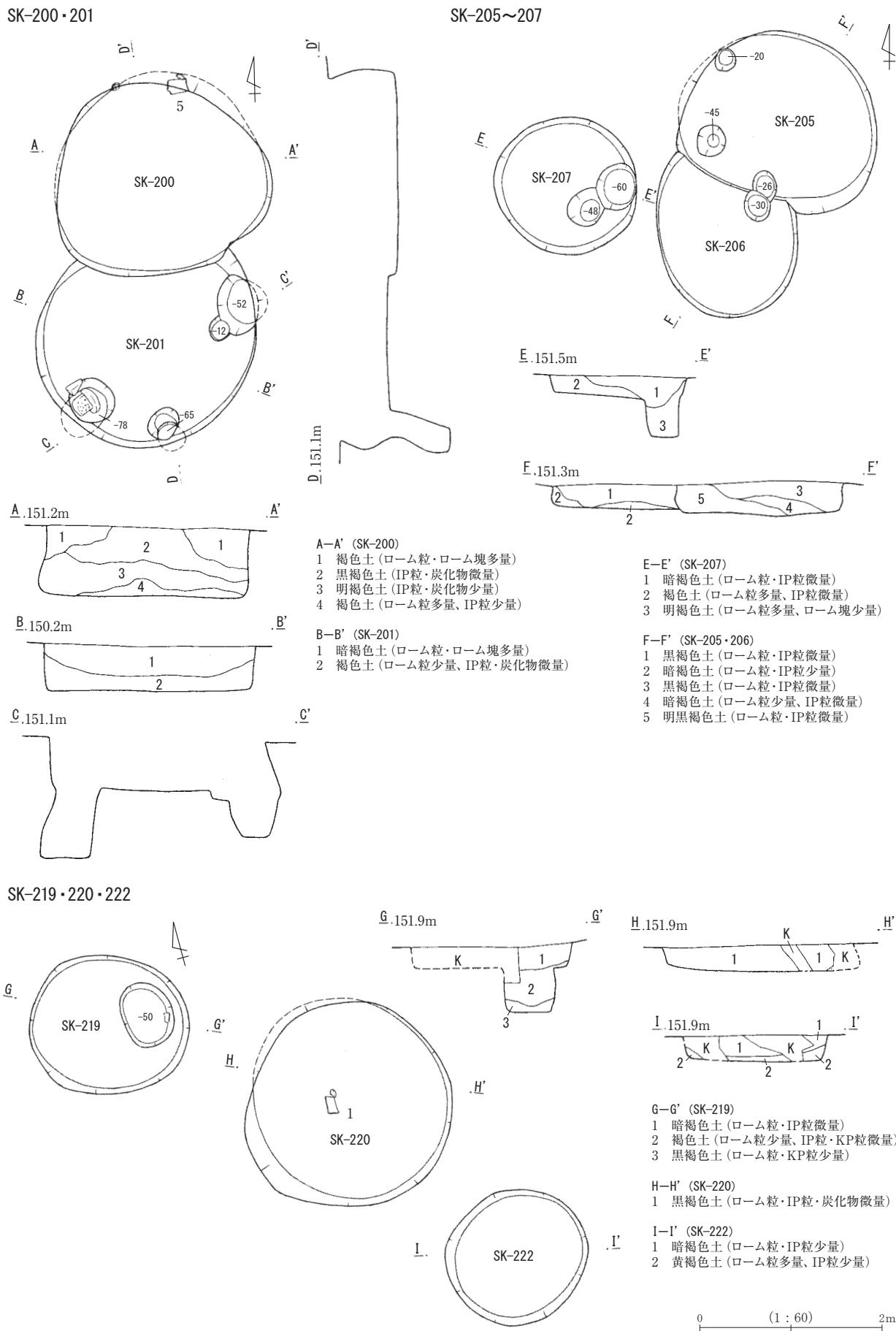
SK-192・269～271



SK-195・197・198・289・290・292

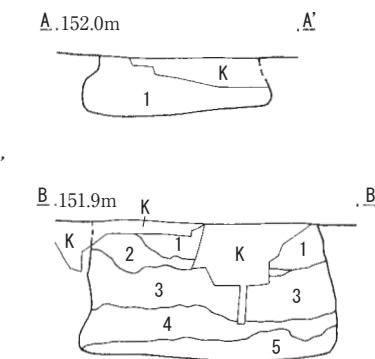
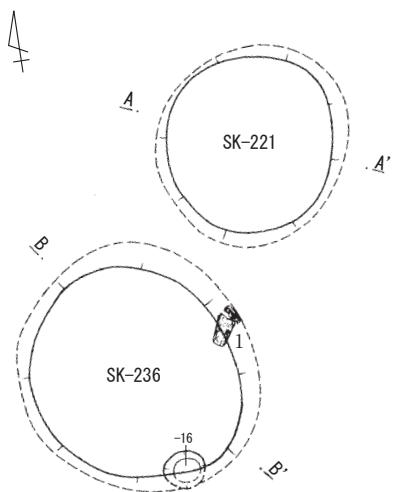


第38図 SK-192・195・197・198・269～271・289・290・292 実測図

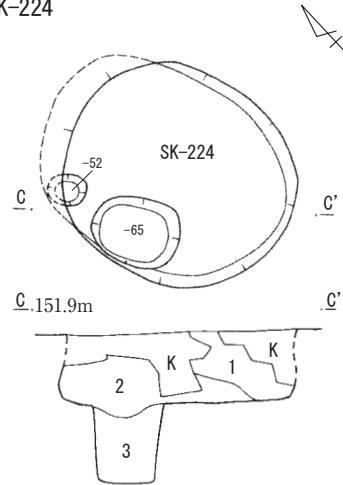


第39図 SK-200・201・205~207・219・220・222 実測図

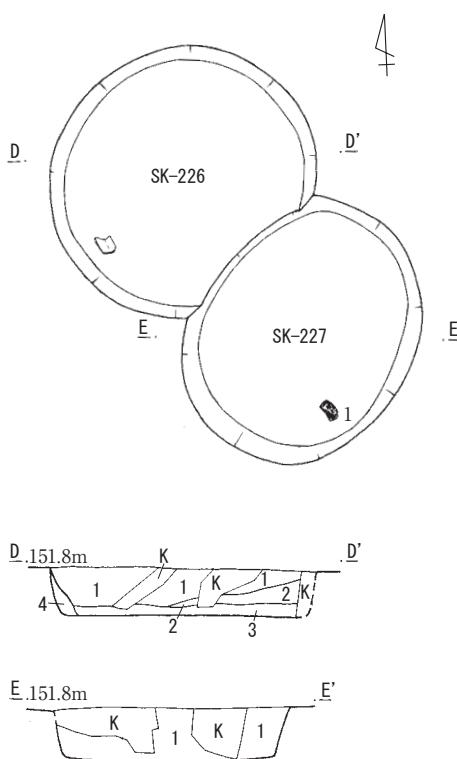
SK-221・236

A-A' (SK-221)
1 褐色土(ローム粒・IP粒微量)B-B' (SK-236)
1 褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 暗褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
3 褐色土(ローム粒・KP粒少量)
4 黑色土(KP粒・炭化物多量)
5 褐色土(IP粒多量、ローム粒少量)

SK-224

C-C' (SK-224)
1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
3 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

SK-226・227



D-D' (SK-226)

1 黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
3 暗黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)
4 黄褐色土(ローム塊、壁崩落土)

E-E' (SK-227)

1 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量、炭化物微量)

F-F' (SK-225)

1 黑褐色土(ローム粒・IP粒・炭化物微量)
2 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)
3 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

G-G' (SK-234)

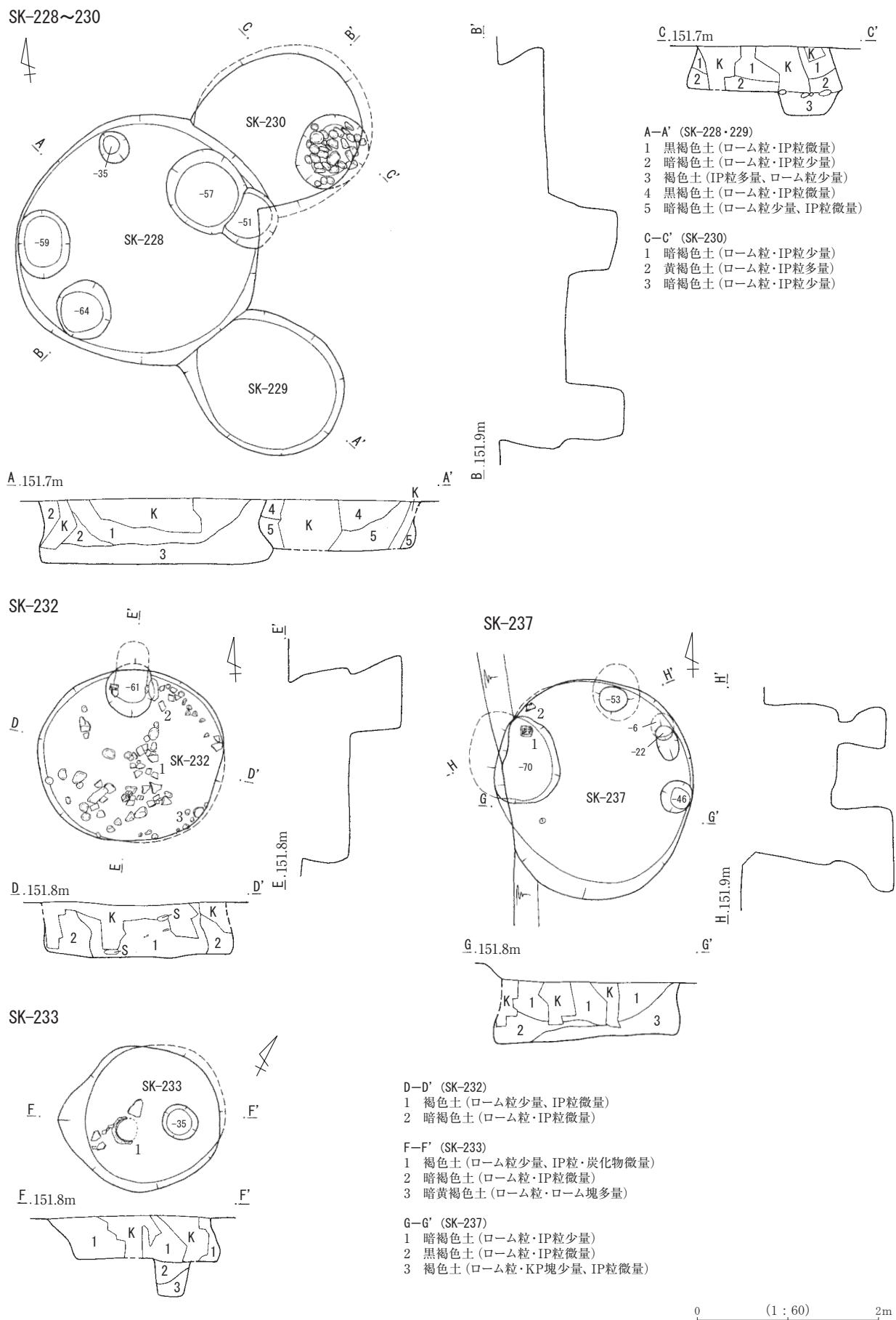
1 黑褐色土(ローム粒・炭化物微量)
2 暗褐色土(ローム粒・IP粒微量)

H-H' (SK-235)

1 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
2 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)
3 暗黄褐色土(ローム粒・IP粒多量)

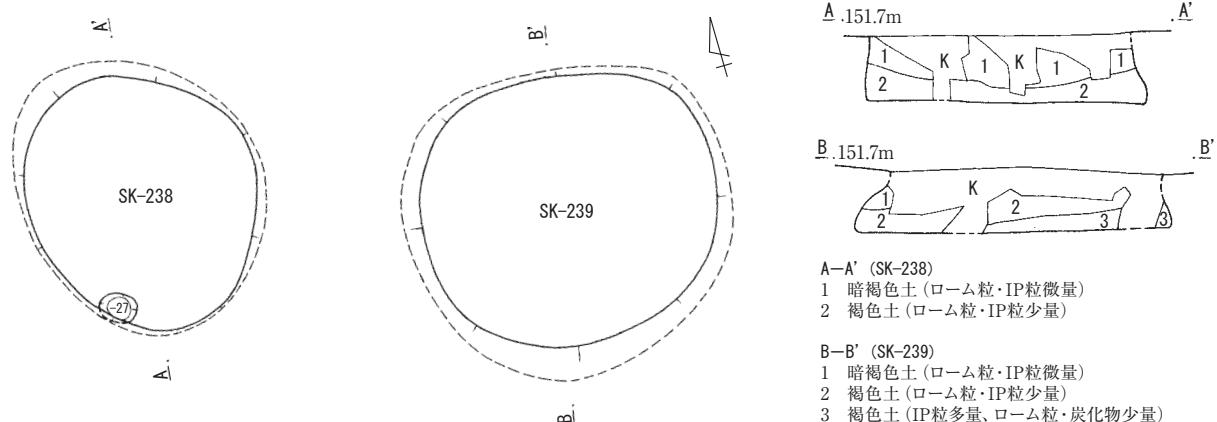
0 (1 : 60) 2m

第40図 SK-221・224~227・234~236 實測図

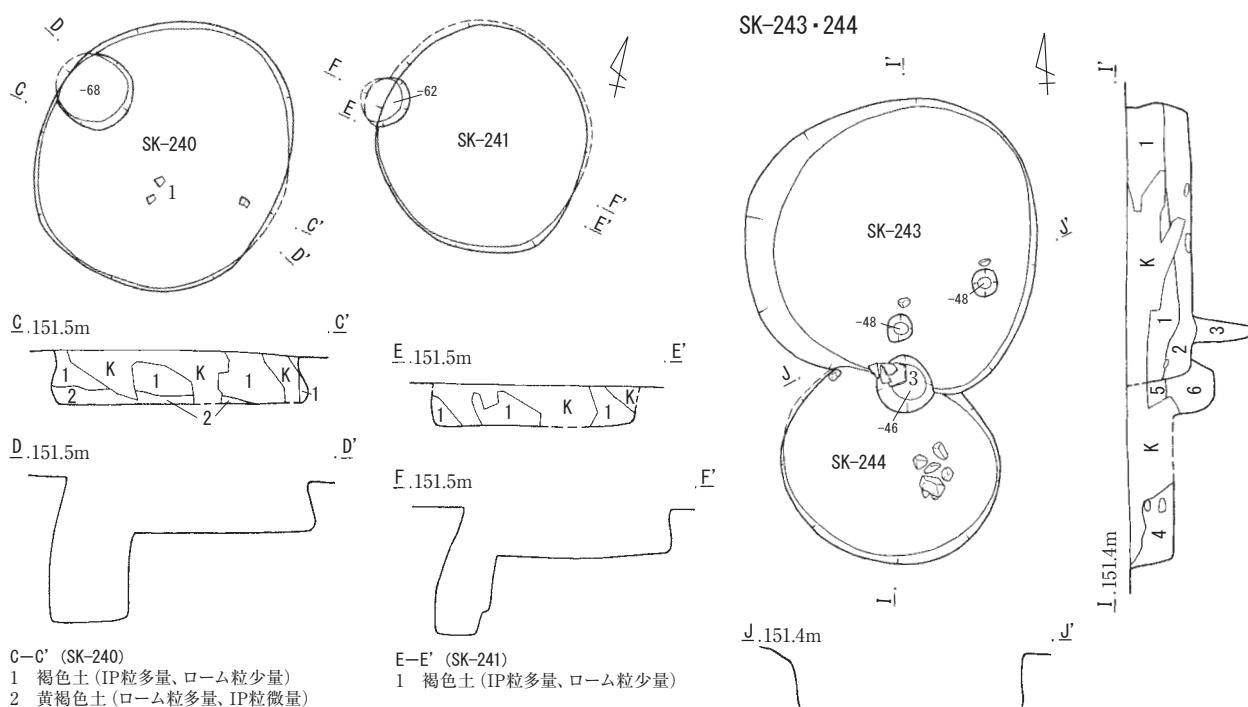


第41図 SK-228~230・232・233・237 実測図

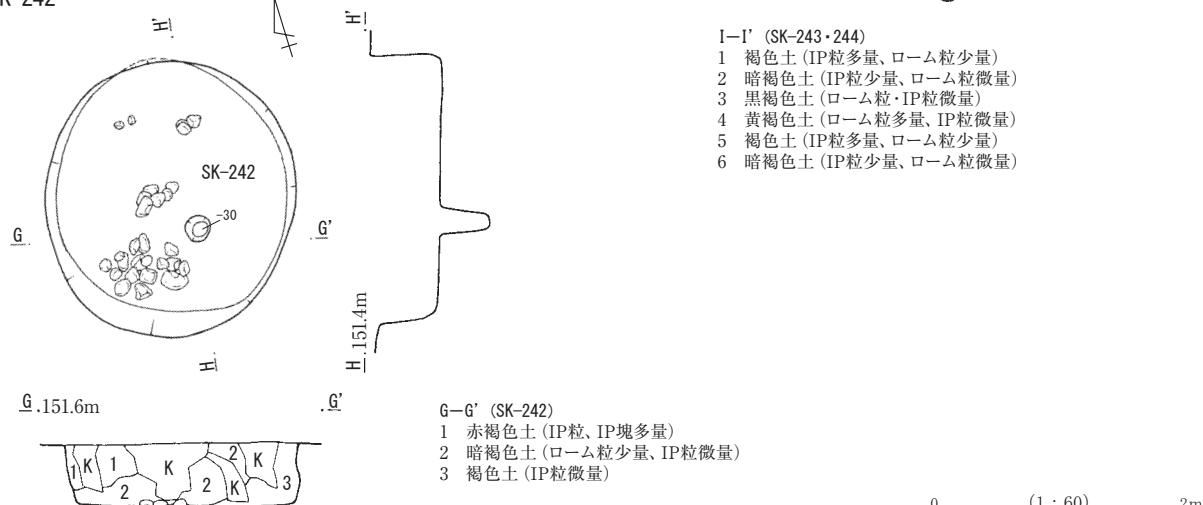
SK-238・239



SK-240・241

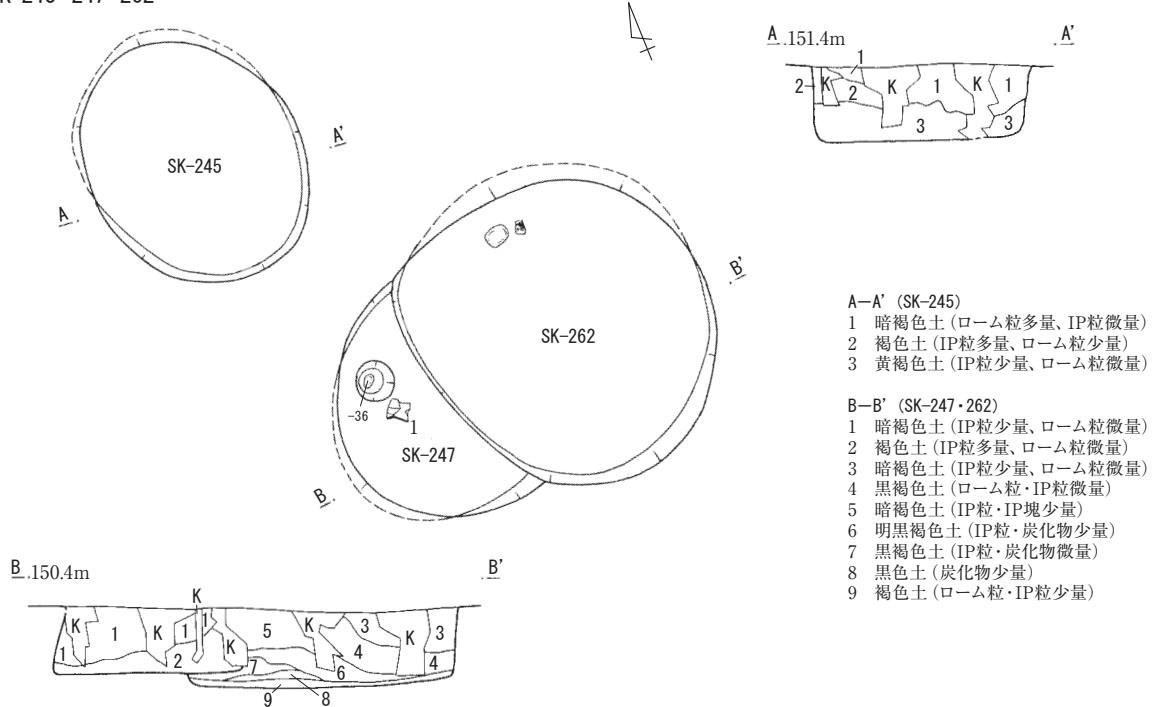


SK-242

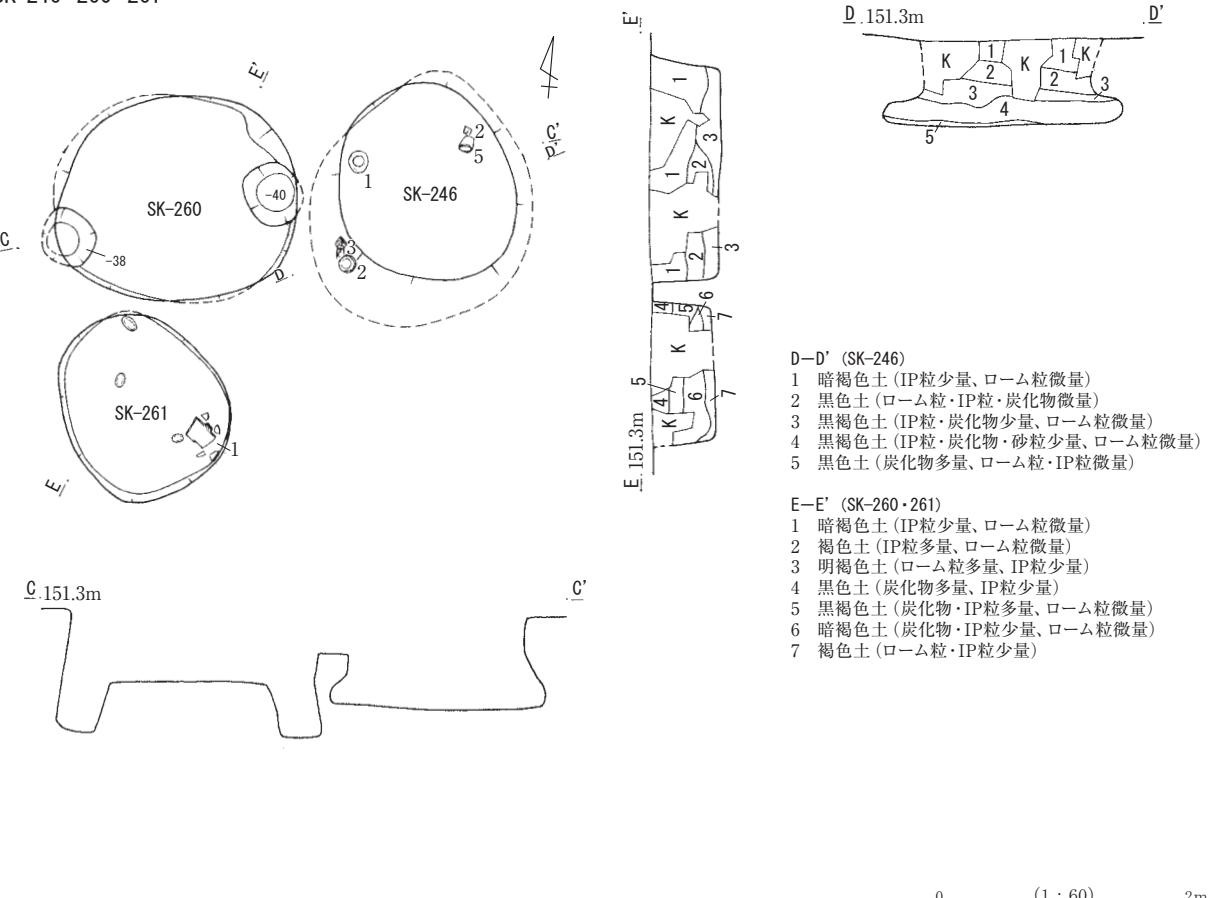


第42図 SK-238～244 実測図

SK-245・247・262

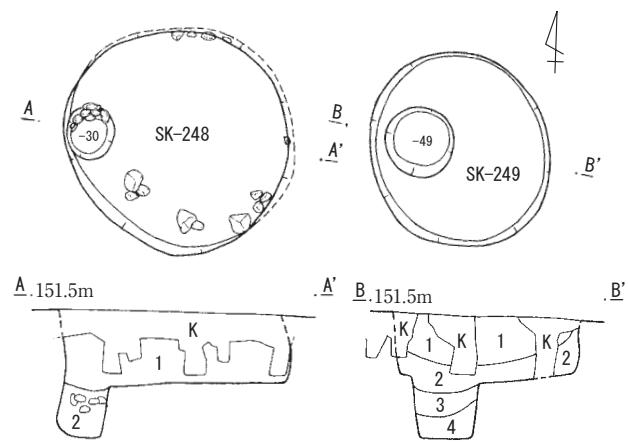


SK-246・260・261

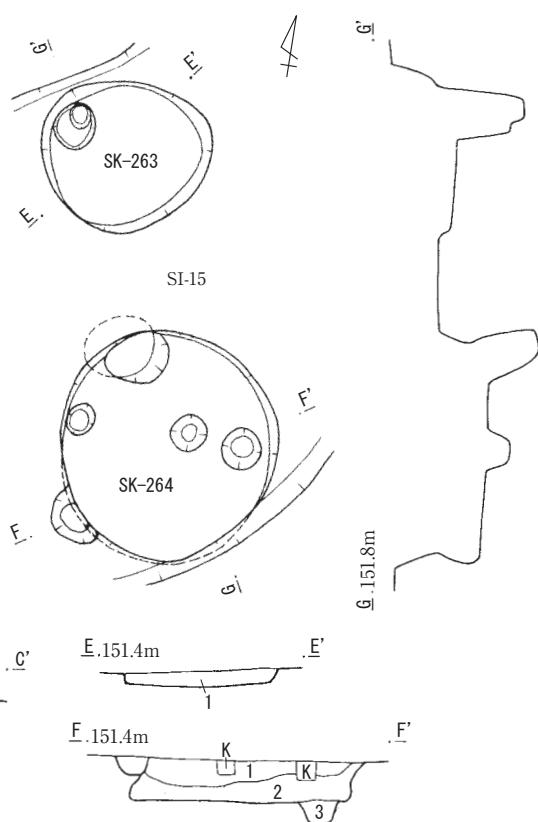


第43図 SK-245~247・260~262 実測図

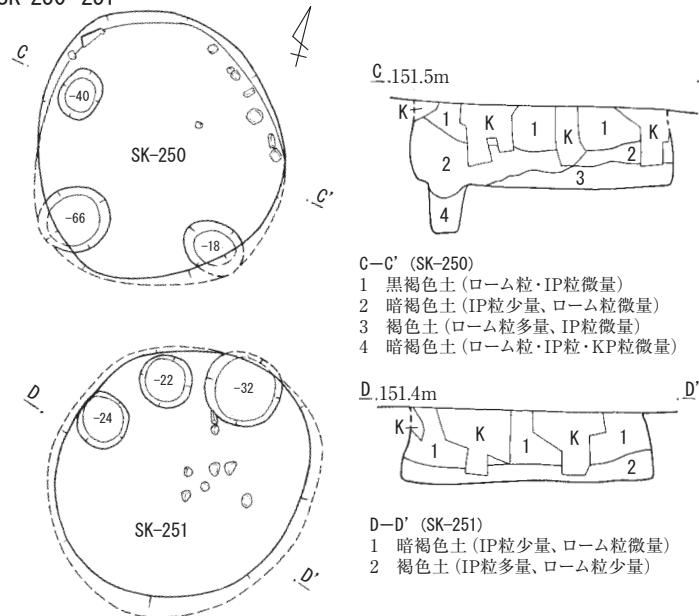
SK-248・249



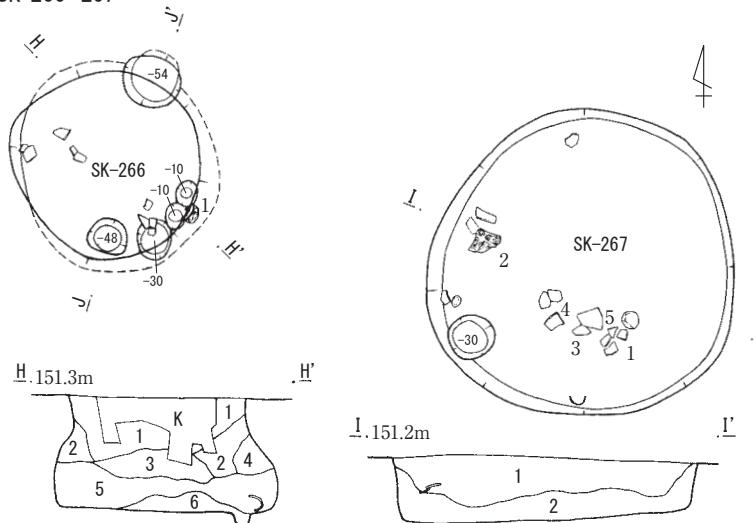
SK-263・264



SK-250・251



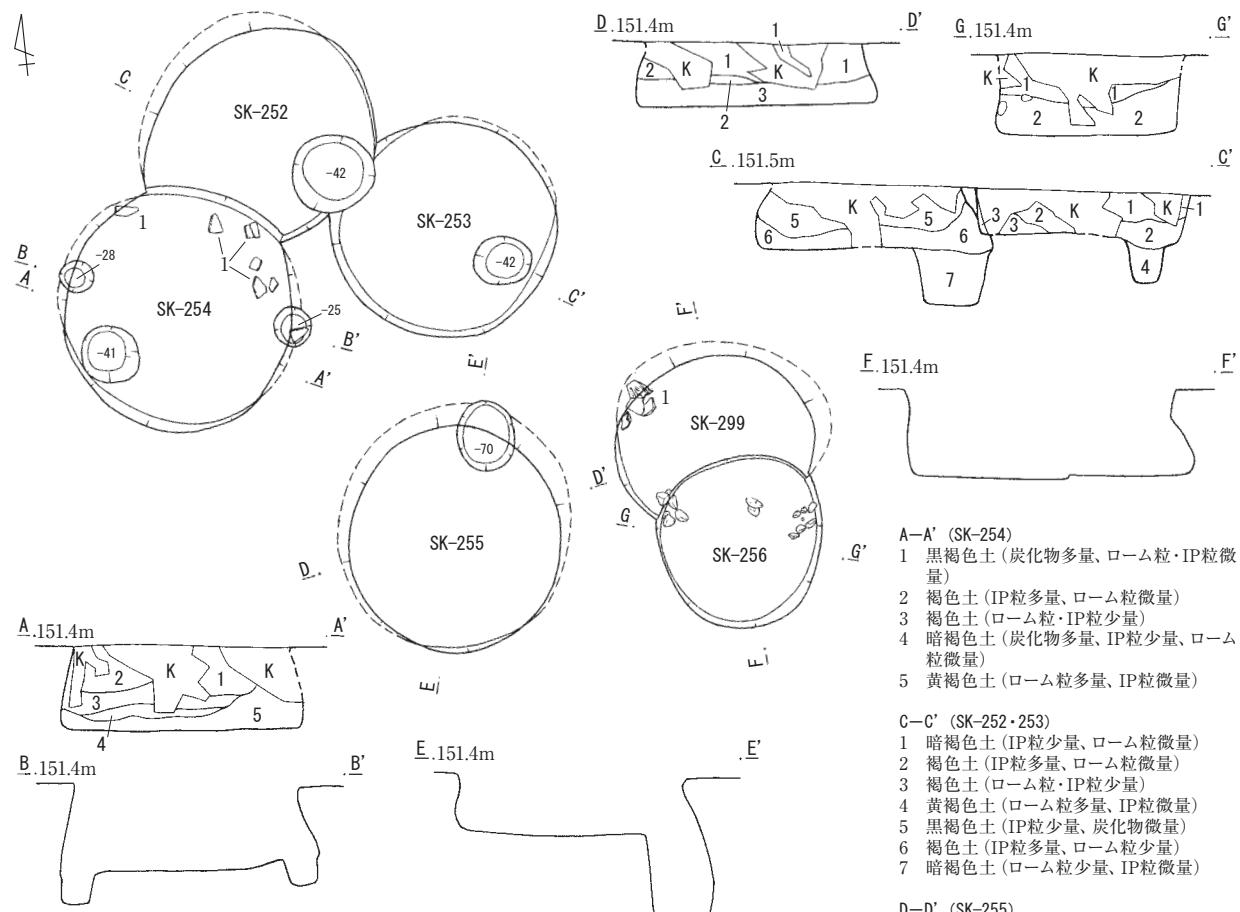
SK-266・267



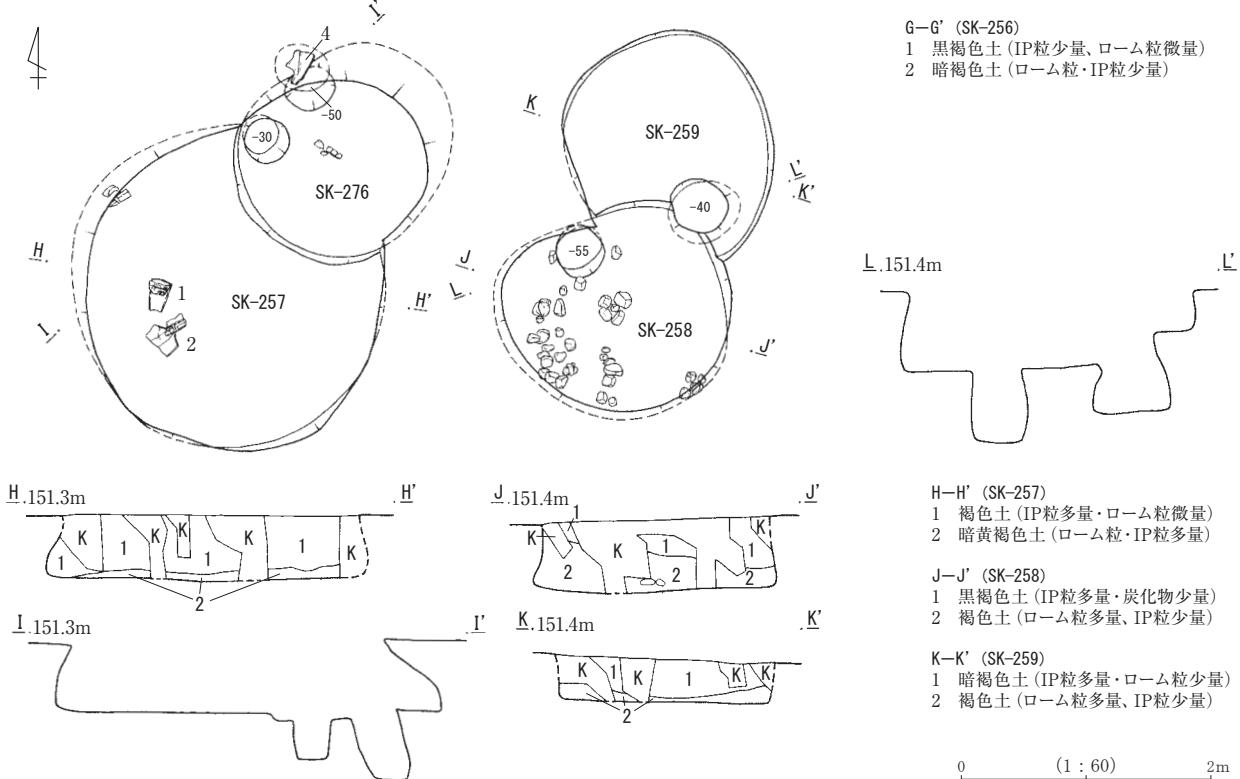
0 (1 : 60) 2m

第44図 SK-248~251・263・264・266・267 實測図

SK-252~256 · 299

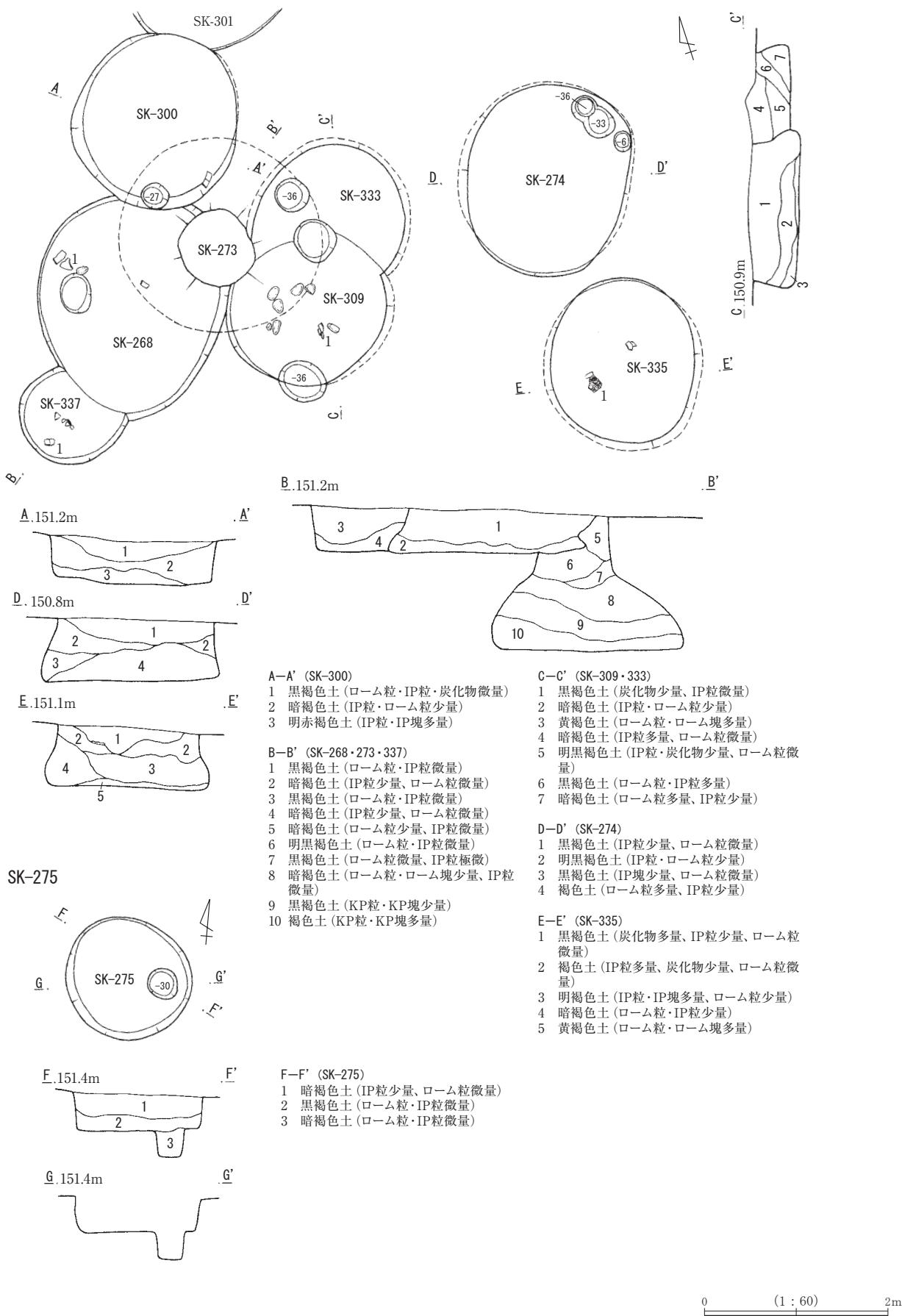


SK-257~259・276



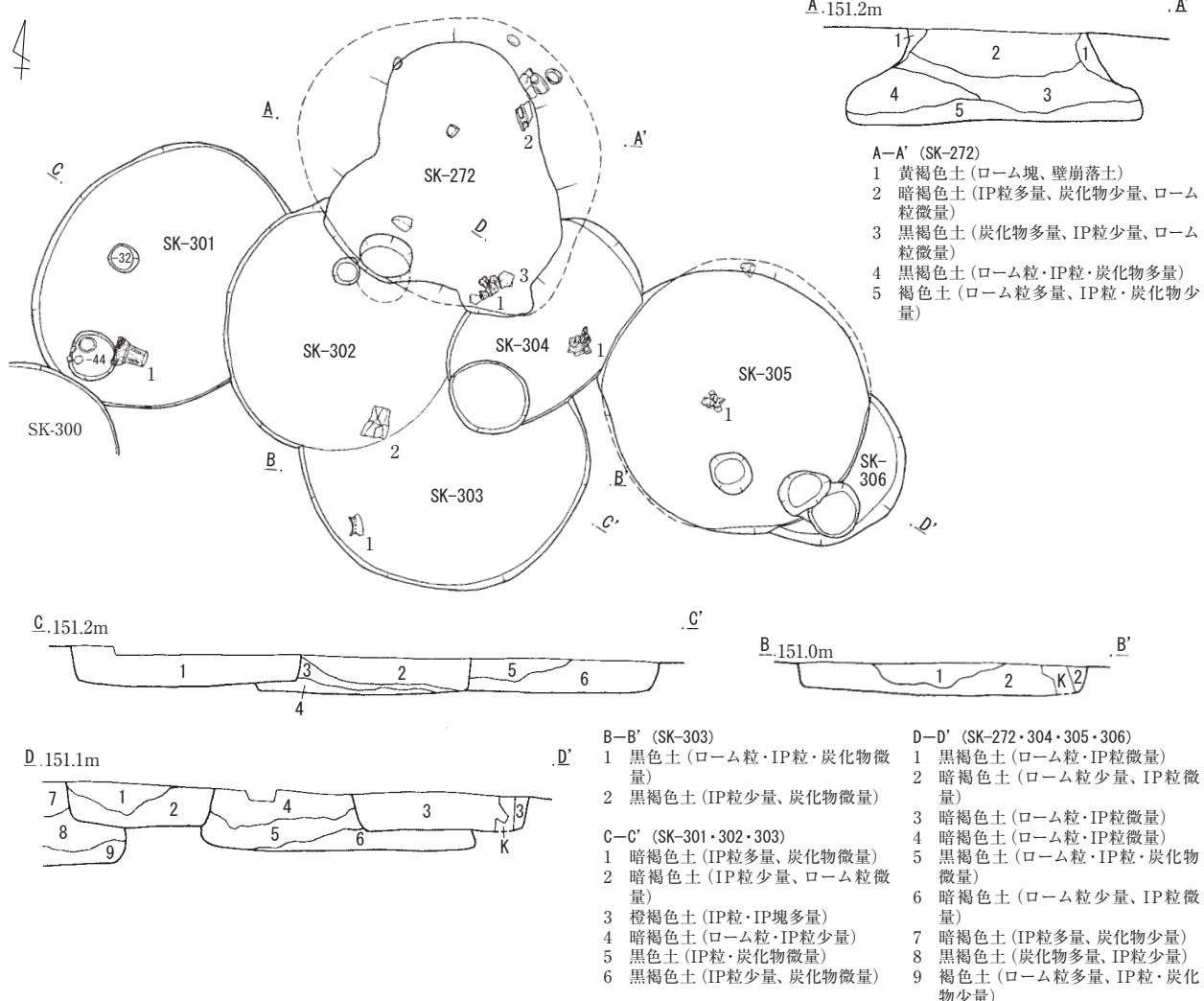
第45図 SK-252~259・276・299 実測図

SK-268・273・274・300・309・333・335・337

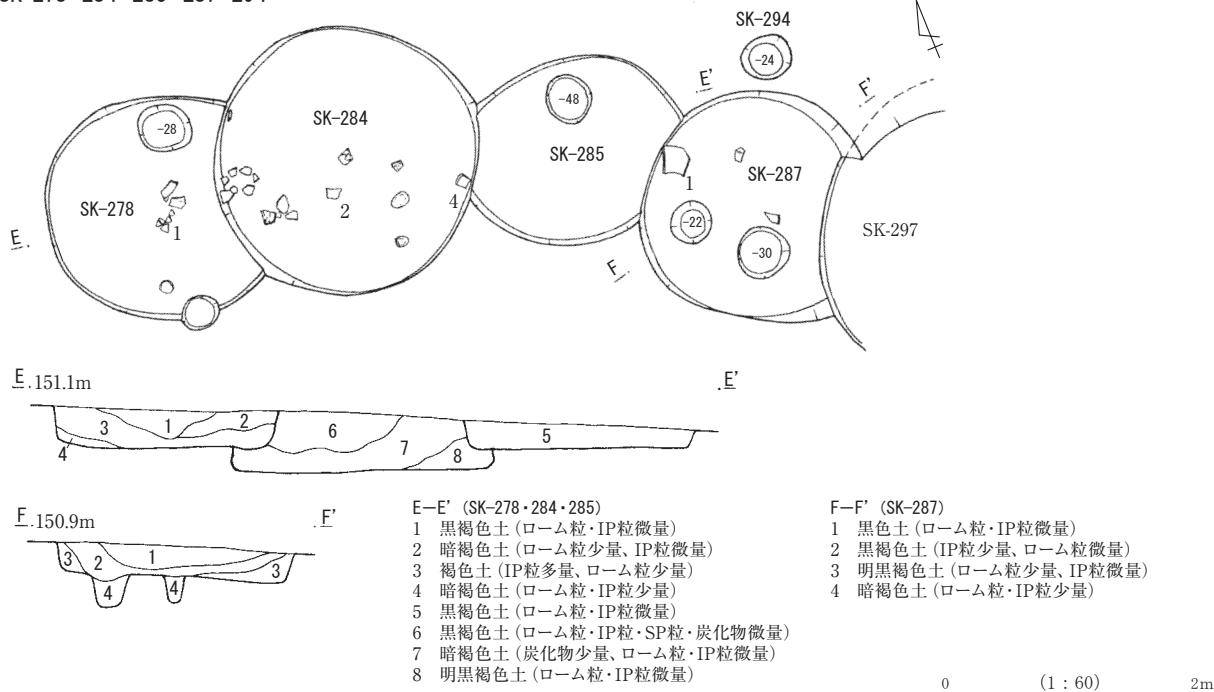


第46図 SK-268・273~275・300・309・333・335・337 実測図

SK-272・301～306

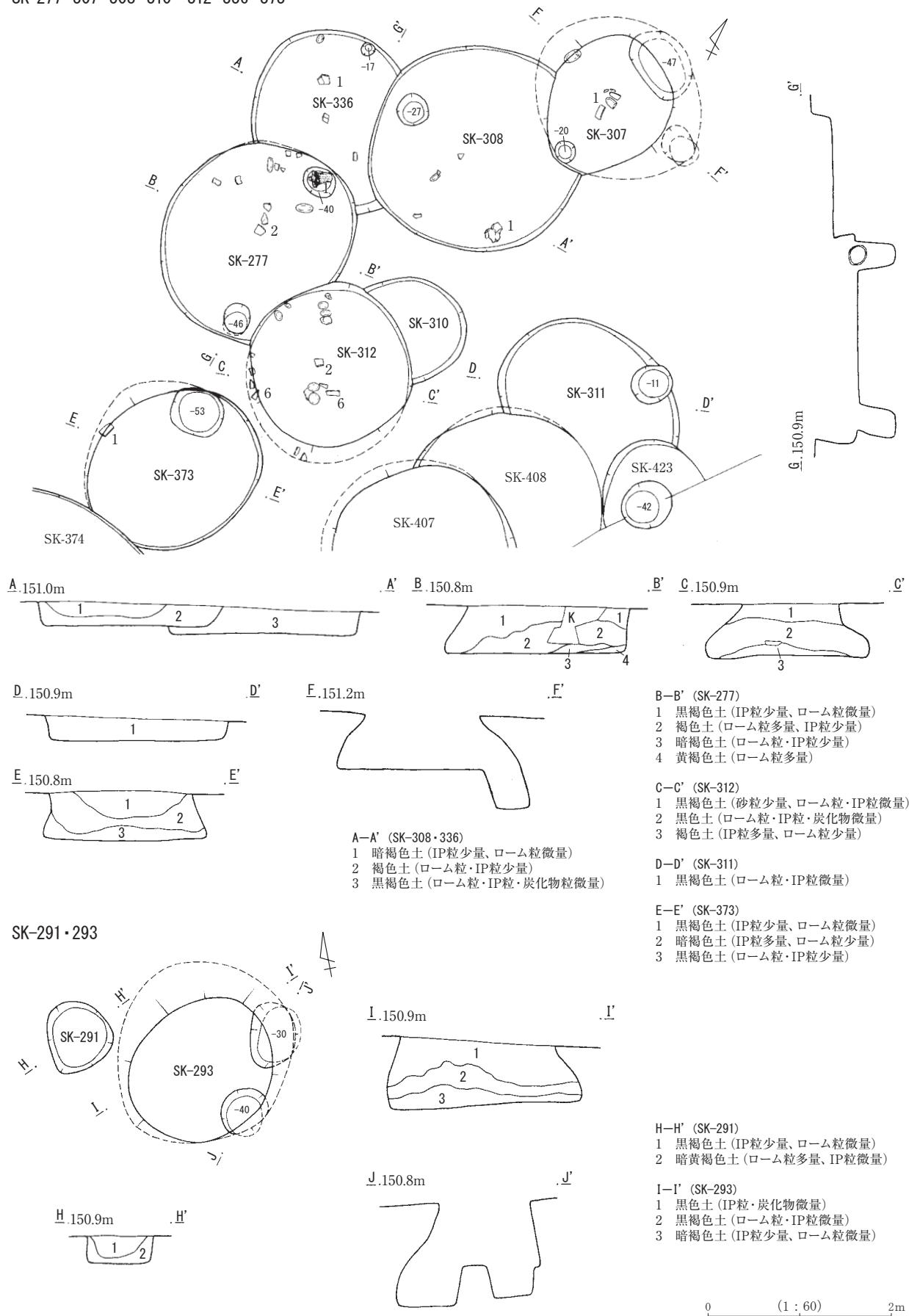


SK-278・284・285・287・294



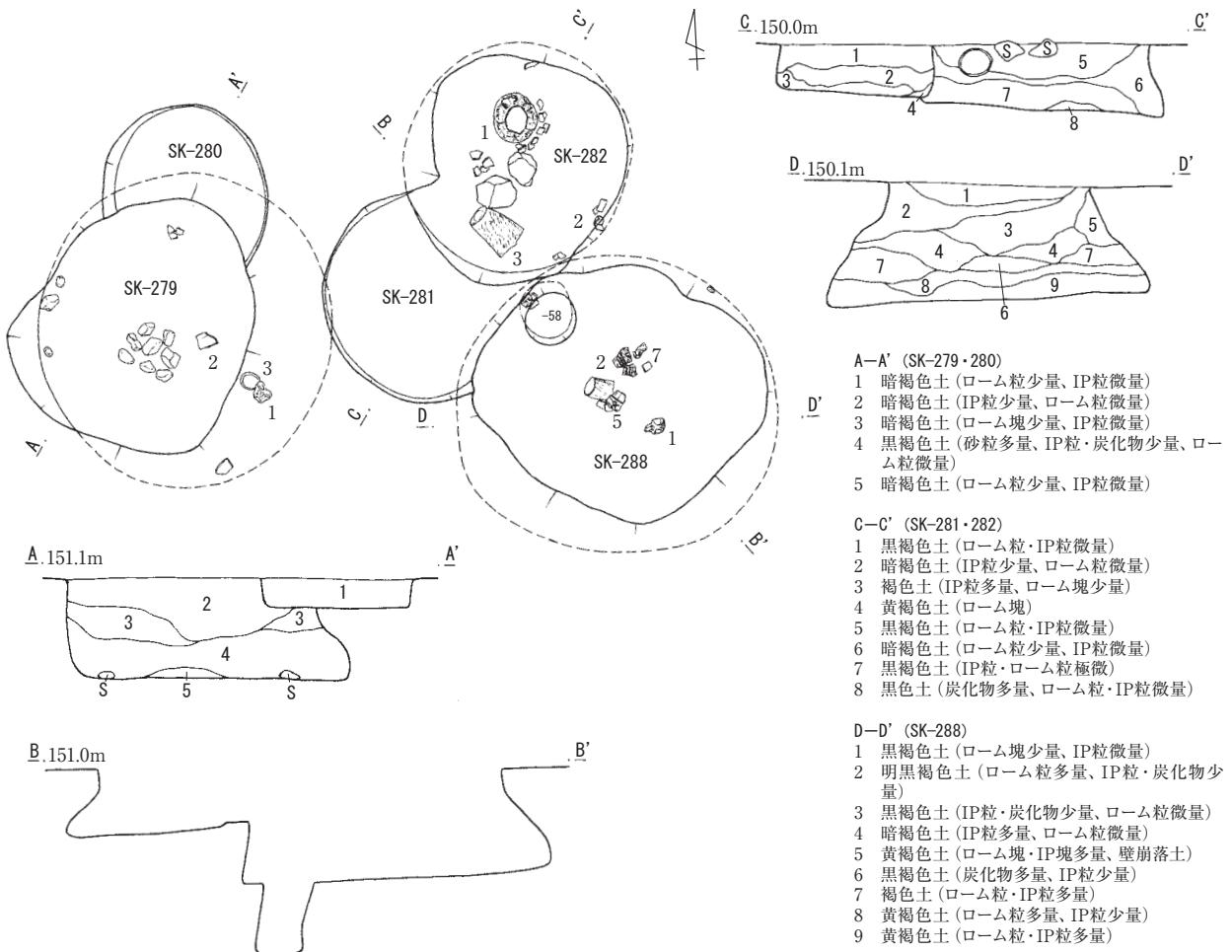
第47図 SK-272・278・284・285・287・294・301～306 実測図

SK-277・307・308・310～312・336・373

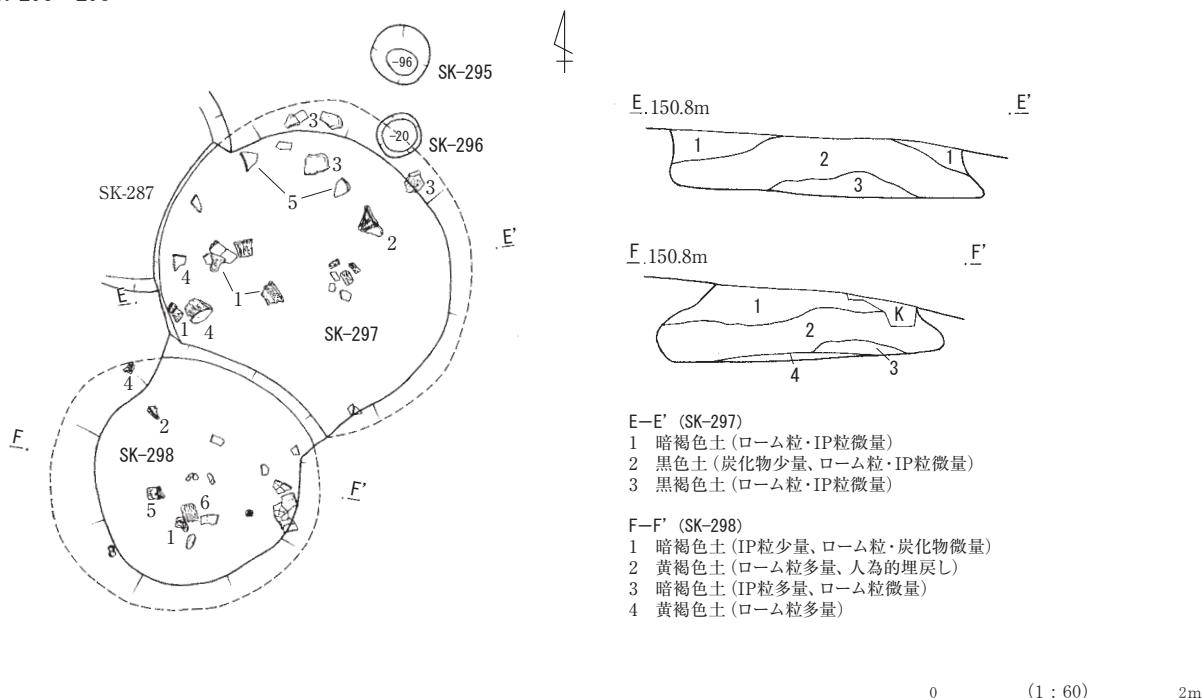


第48図 SK-277・291・293・307・308・310～312・336・373 實測図

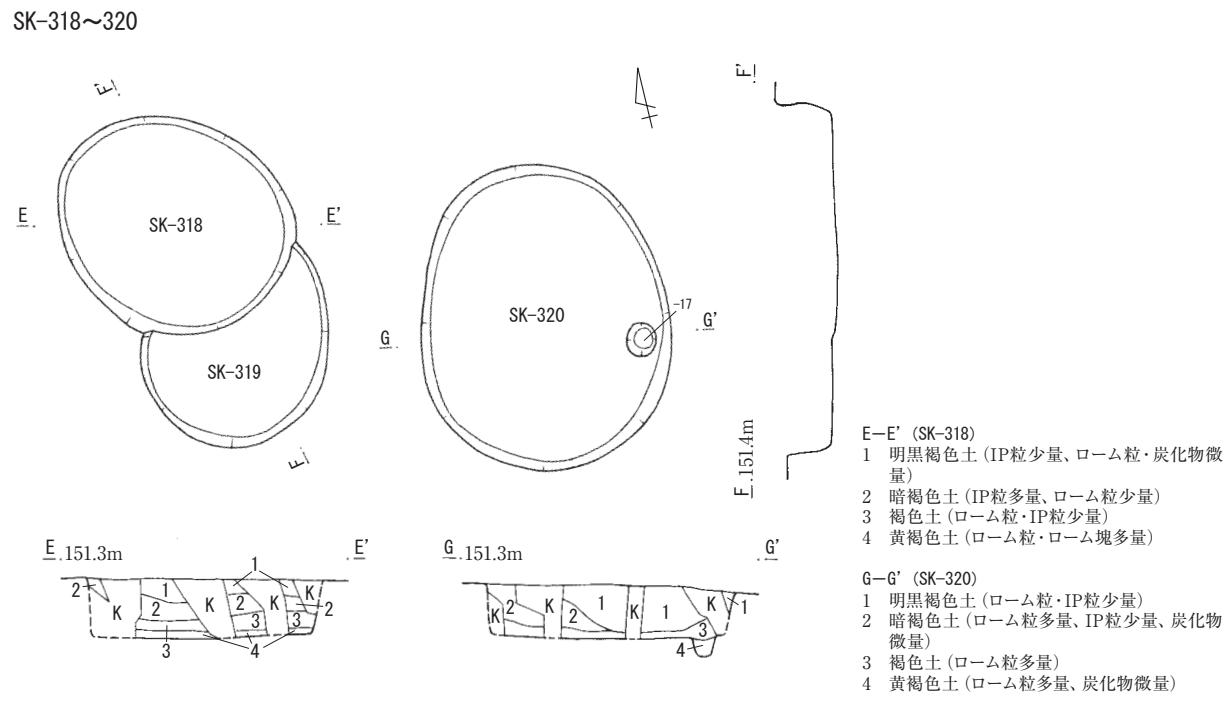
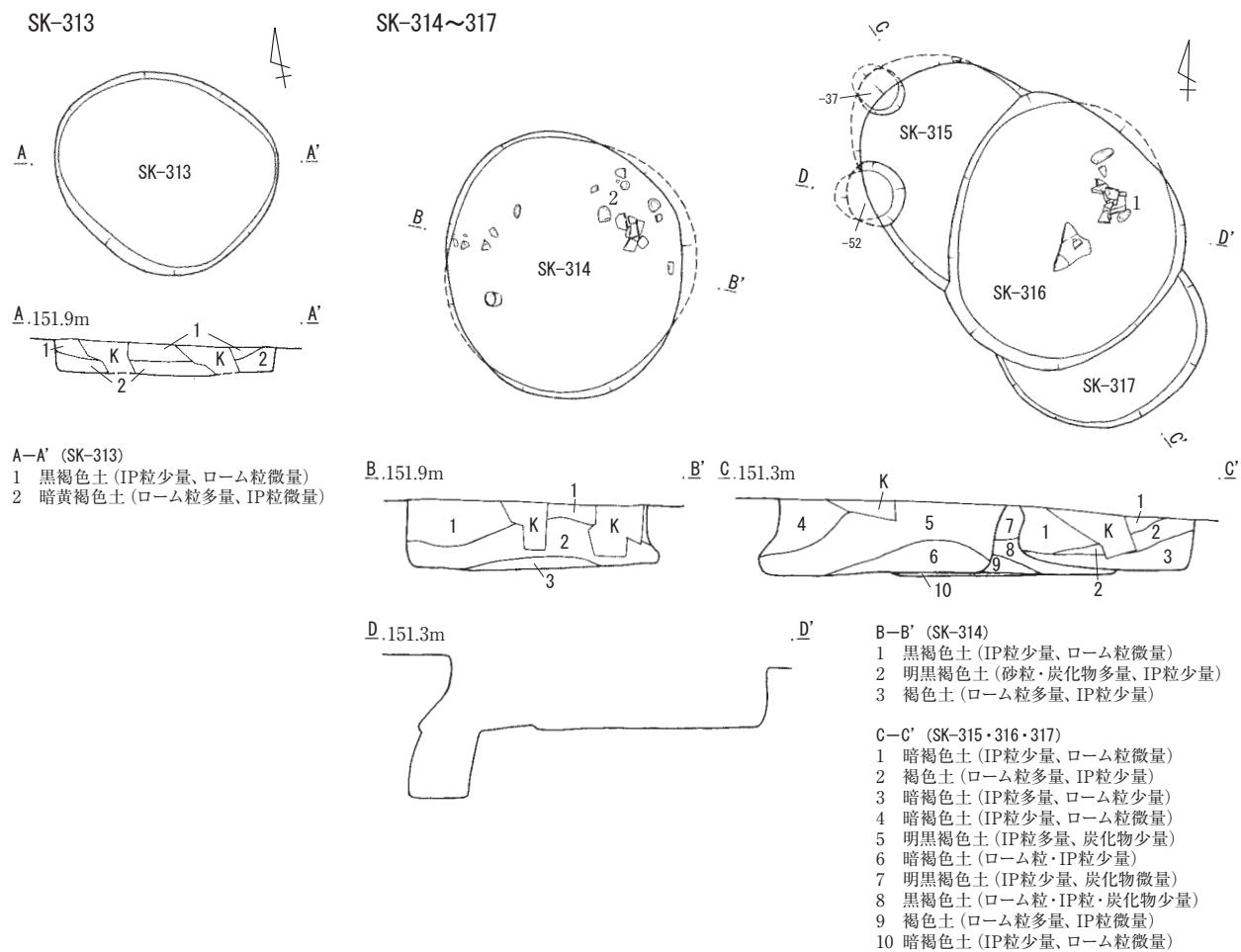
SK-279~282・288



SK-295~298

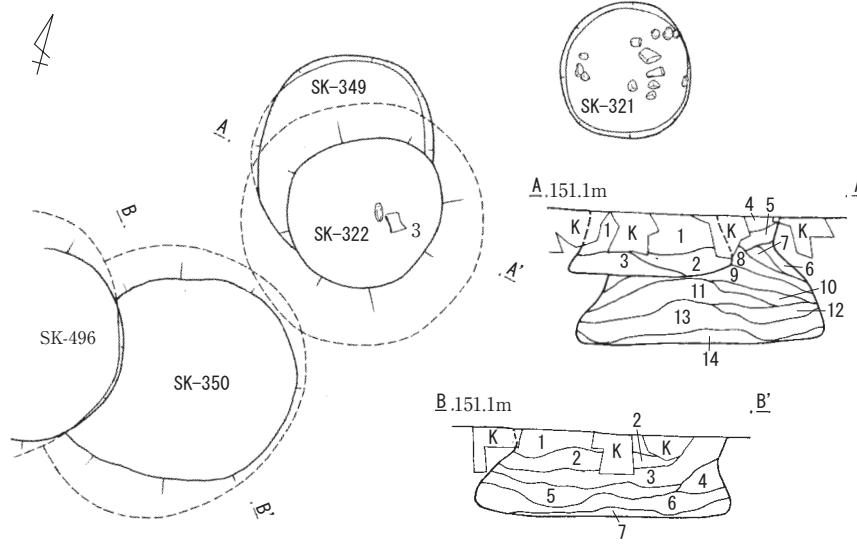


第49図 SK-279~282・288・295~298 実測図



第50図 SK-313~320 実測図

SK-321・322・349・350



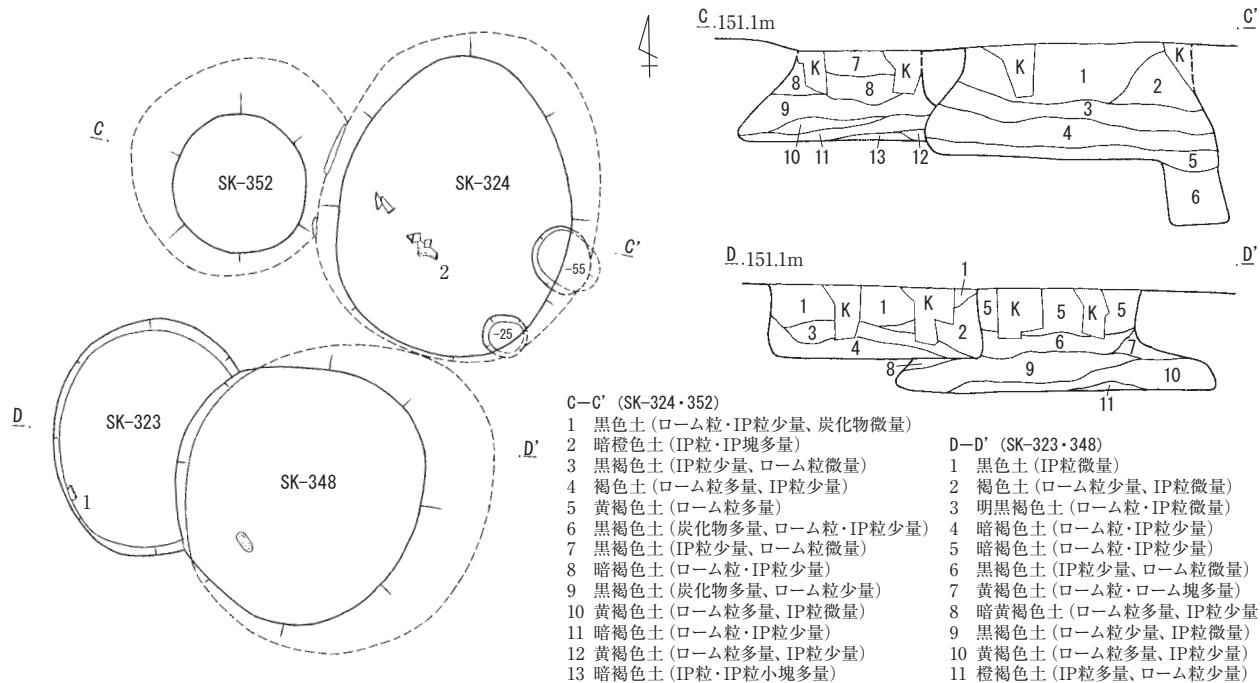
A-A' (SK-322・349)

- 1 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 3 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 4 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 5 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 6 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)
- 7 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 8 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 9 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 10 赤褐色土(IP粒・IP粒小塊多量、ローム粒少量)
- 11 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量、炭化物微量)
- 12 明黒褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 13 黑褐色土(炭化物多量、ローム粒・IP粒少量)
- 14 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)

B-B' (SK-350)

- 1 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 3 赤褐色土(IP粒・IP塊多量)
- 4 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)
- 5 黑褐色土(炭化物・砂粒少量、ローム粒・IP粒微量)
- 6 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 7 褐色土(IP粒多量、ローム粒少量)

SK-323・324・348・352



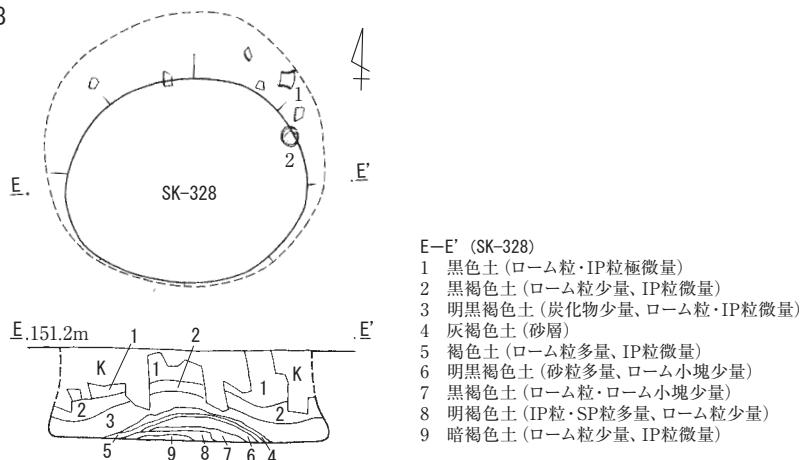
C-C' (SK-324・352)

- 1 黑色土(ローム粒・IP粒少量、炭化物微量)
- 2 暗橙色土(IP粒・IP塊多量)
- 3 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 4 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 5 黄褐色土(ローム粒多量)
- 6 黑褐色土(炭化物多量、ローム粒・IP粒少量)
- 7 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 8 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 9 黑褐色土(炭化物多量、ローム粒少量)
- 10 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 11 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 12 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 13 暗褐色土(IP粒・IP粒小塊多量)

D-D' (SK-323・348)

- 1 黑色土(IP粒微量)
- 2 褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 明黒褐色土(ローム粒・IP粒微量)
- 4 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 5 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 6 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 7 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量)
- 8 暗黄褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 9 黑褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 10 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
- 11 橙褐色土(IP粒多量、ローム粒少量)

SK-328



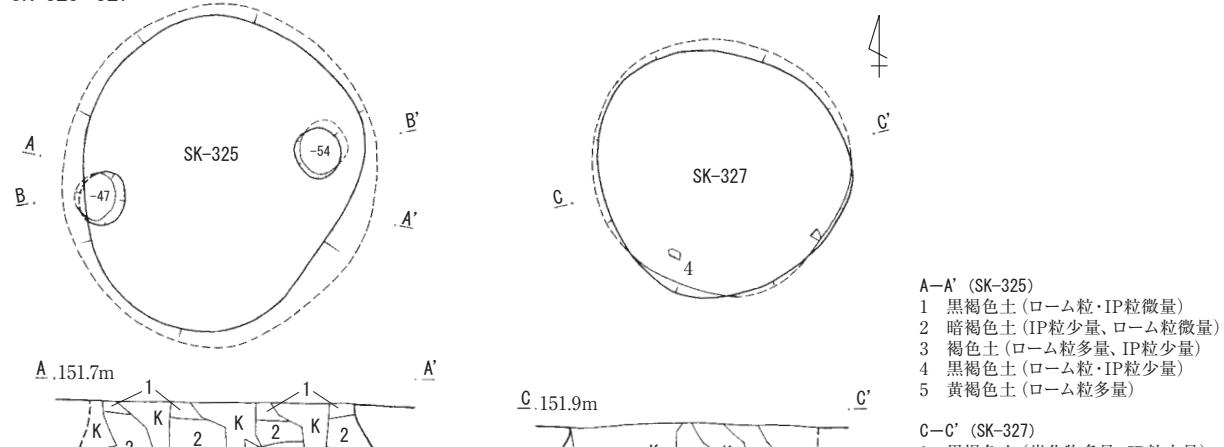
E-E' (SK-328)

- 1 黑色土(ローム粒・IP粒微量)
- 2 黑褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 明黒褐色土(炭化物少量、ローム粒・IP粒微量)
- 4 灰褐色土(砂層)
- 5 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 6 明黑褐色土(砂粒多量、ローム小塊少量)
- 7 黑褐色土(ローム粒・ローム小塊少量)
- 8 明褐色土(IP粒・SP粒多量、ローム粒少量)
- 9 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)

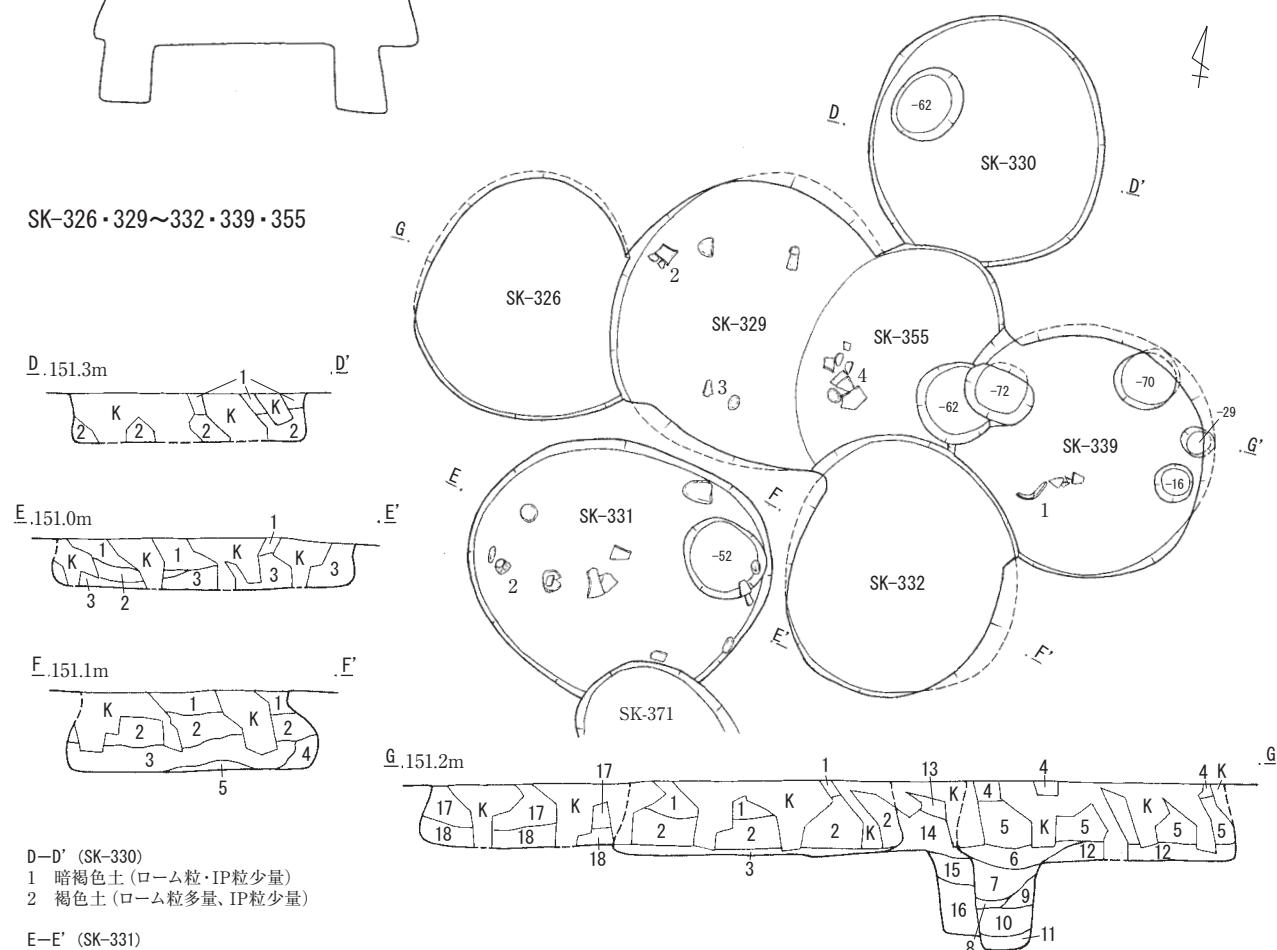
0 (1 : 60) 2m

第51図 SK-321~324・328・348~350・352 実測図

SK-325・327



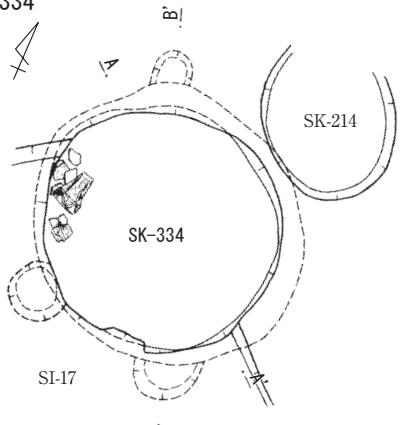
SK-326・329～332・339・355



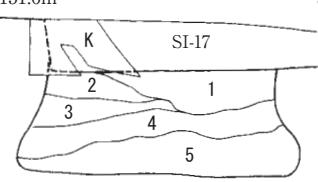
0 (1 : 60) 2m

第52図 SK-325～327・329～332・339・355 実測図

SK-334



A. 151.6m



A'

A-A' (SK-334)

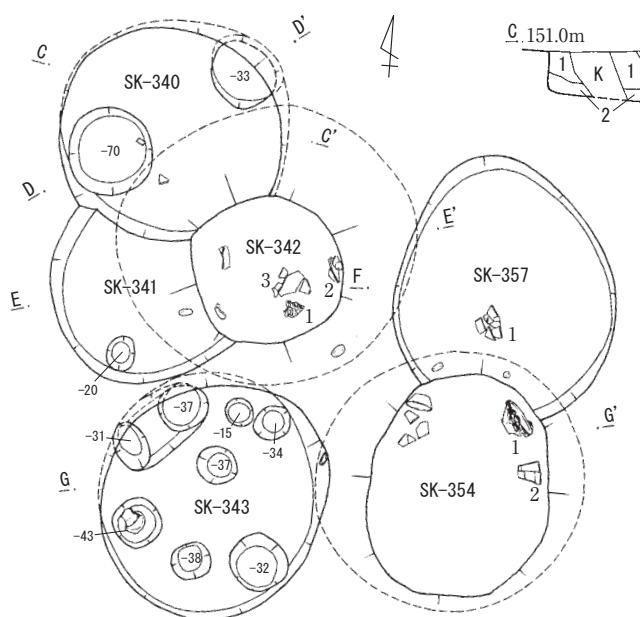
- 1 棕色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 2 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)
- 3 黑褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 4 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 5 棕色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

B. 151.6m



B'

SK-340~343・354・357



C. 151.0m

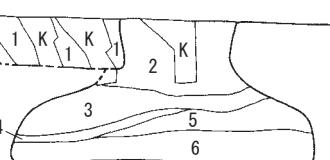


C'

D. 151.1m

D'

E. 151.0m



E'

F. 151.0m



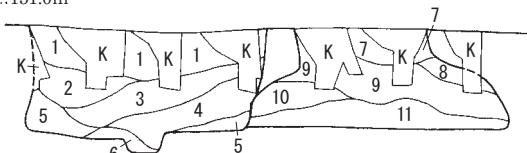
F'

C-C' (SK-340)

- 1 黑褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

G. 151.0m

G'



G-G' (SK-343・354)

- 1 黑褐色土 (IP粒少量、炭化物微量)
- 2 暗褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 3 黑褐色土 (ローム粒多量, IP粒少量)
- 4 橙褐色土 (ローム粒・IP小塊多量)
- 5 暗褐色土 (IP粒少量, ローム粒微量)
- 6 黄褐色土 (ローム粒多量)
- 7 黑褐色土 (IP粒少量, ローム粒微量)
- 8 暗褐色土 (ローム粒少量, IP粒微量)
- 9 黑褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 10 暗褐色土 (IP粒多量, ローム粒少量)
- 11 黄褐色土 (ローム粒多量)

E-E' (SK-341・342)

- 1 黑褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 2 黑褐色土 (IP粒少量, ローム粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- 4 黑褐色土 (炭化物・砂粒多量, IP粒少量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒少量, IP粒微量)
- 6 黄褐色土 (ローム粒多量)

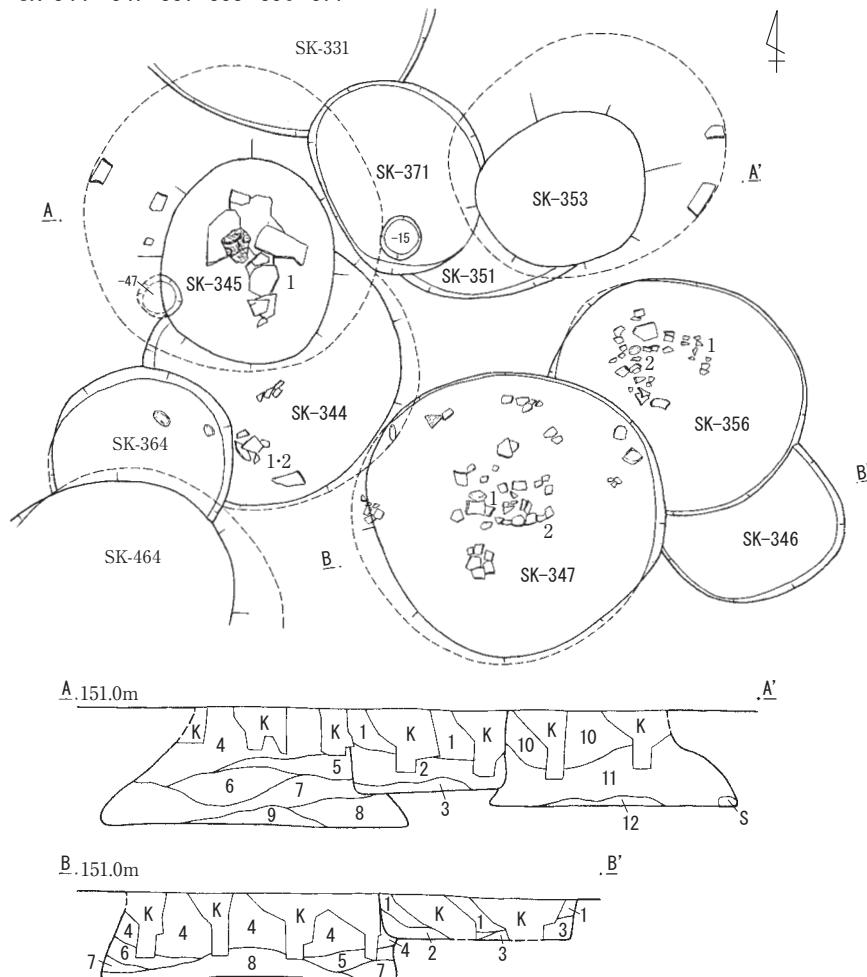
F-F' (SK-357)

- 1 暗褐色土 (IP粒少量, ローム粒微量)
- 2 赤褐色土 (IP粒・IP塊少量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒多量, IP粒少量)

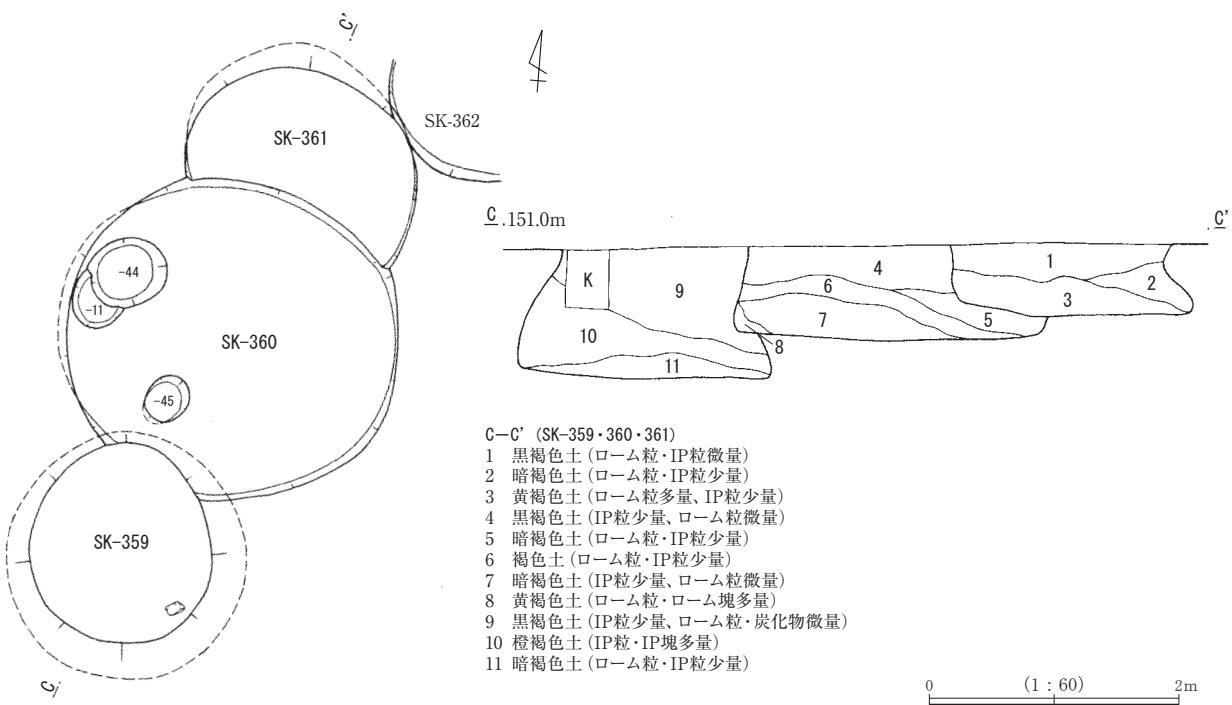
0 (1 : 60) 2m

第53図 SK-334・340~343・354・357 実測図

SK-344~347・351・353・356・371

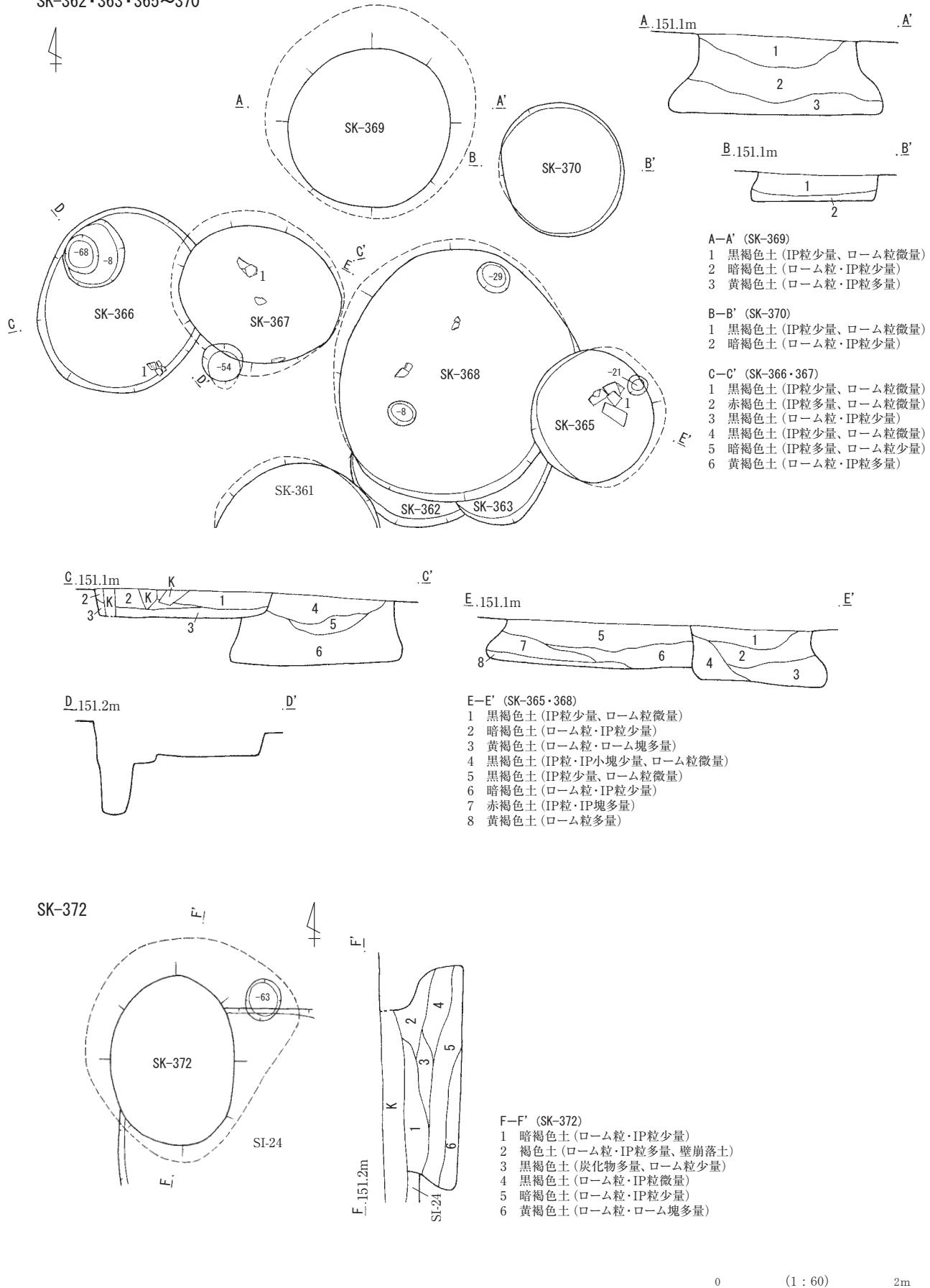


SK-359~361

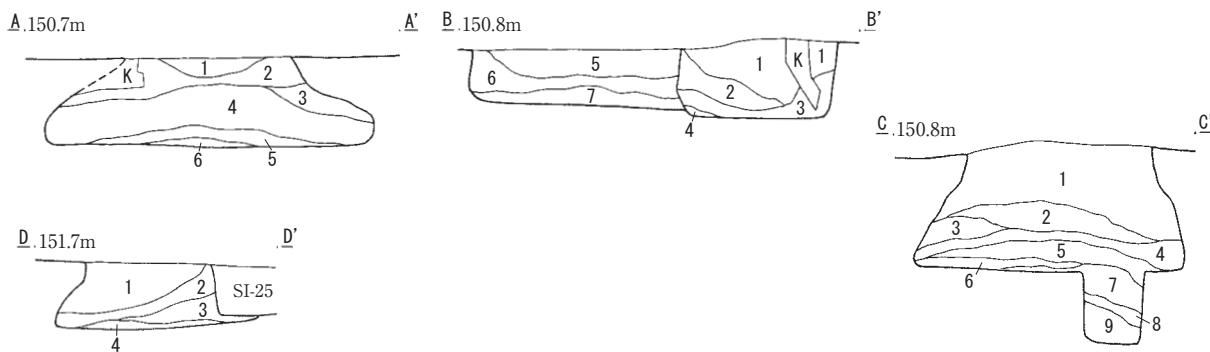
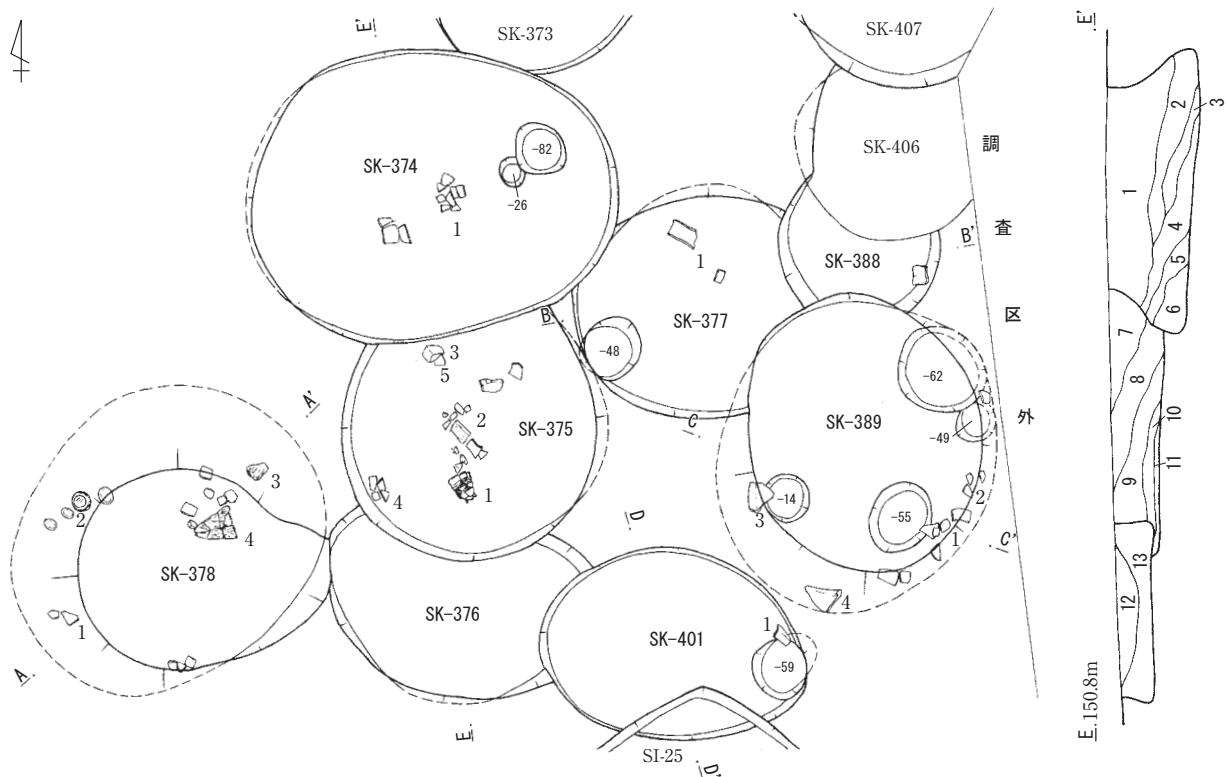


第54図 SK-344~347・351・353・356・359~361・371 実測図

SK-362・363・365～370



第55図 SK-362・363・365～370・372 実測図



A-A' (SK-378)

- 1 黒色土 (IP粒・炭化物少量)
 2 黒褐色土 (ローム塊少量、IP粒微量)
 3 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
 4 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量、ローム粒微量)
 5 黒褐色土 (ローム粒・ローム塊少量、IP粒微量)
 6 暗黄褐色土 (ローム粒多量)

B-B' (SK-377・388)

- 1 明褐色土 (IP粒多量、ローム粒微量)
 2 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
 3 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
 4 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
 5 黑褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
 6 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
 7 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)

C-C' (SK-389)

- 1 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量)
 2 暗褐色土 (炭化物少量、ローム粒・IP粒微量)
 3 橙褐色土 (IP塊多量)
 4 黑褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
 5 赤褐色土 (焼土)
 6 黑褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
 7 褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)
 8 明褐色土 (KP粒・KP塊多量)
 9 褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
- D-D' (SK-401)
- 1 褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)
 2 黑褐色土 (炭化物少量、ローム粒・IP粒微量)
 3 明褐色土 (ローム粒・ローム塊多量、IP塊少量)
 4 明黒褐色土 (ローム塊・IP塊多量)

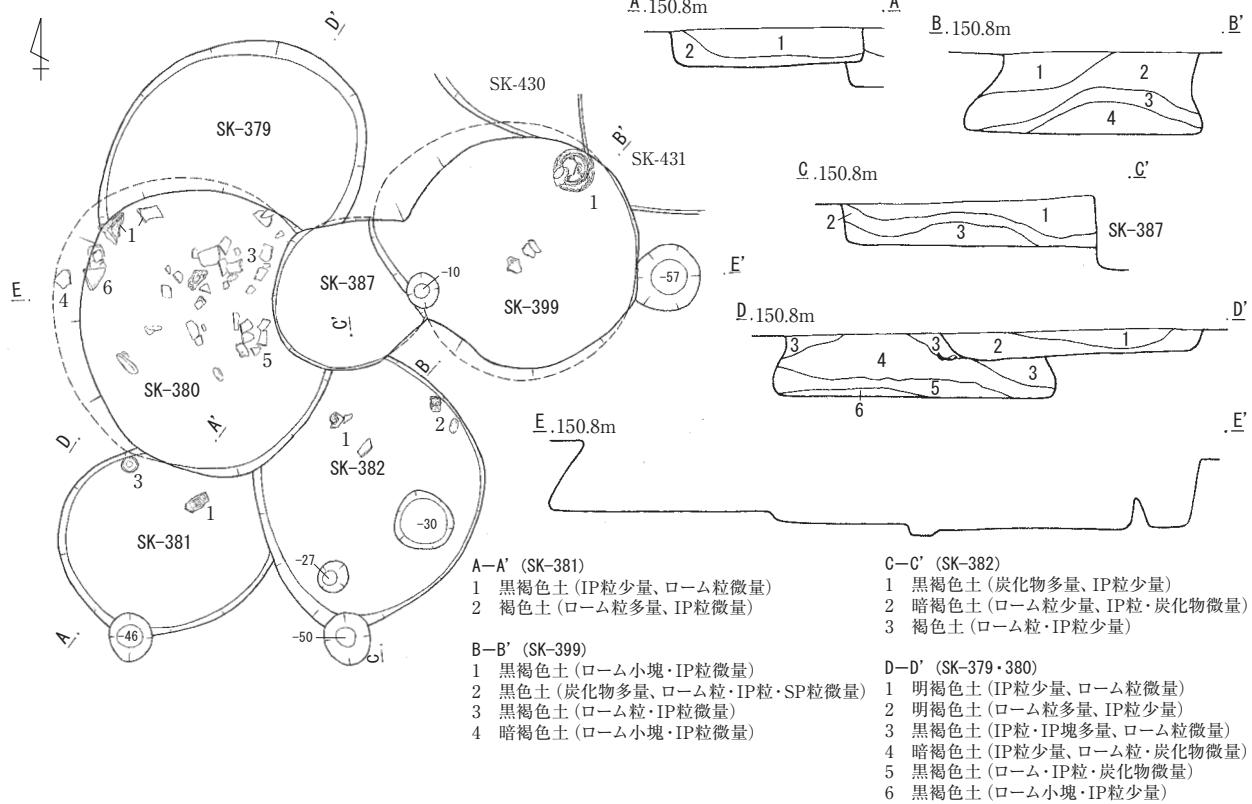
E-E' (SK-374・375・376)

- 1 褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
 2 明褐色土 (IP粒・IP塊多量、炭化物少量)
 3 明褐色土 (炭化物・IP粒・IP塊多量)
 4 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
 5 黑褐色土 (ローム粒・IP粒・炭化物微量)
 6 暗褐色土 (ローム粒少量、IP粒・炭化物微量)
 7 明褐色土 (IP粒多量、ローム粒少量)
 8 黑褐色土 (IP粒・炭化物少量)
 9 明黒褐色土 (炭化物少量、IP粒微量)
 10 明褐色土 (IP粒・IP塊多量)
 11 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
 12 暗褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
 13 黑褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

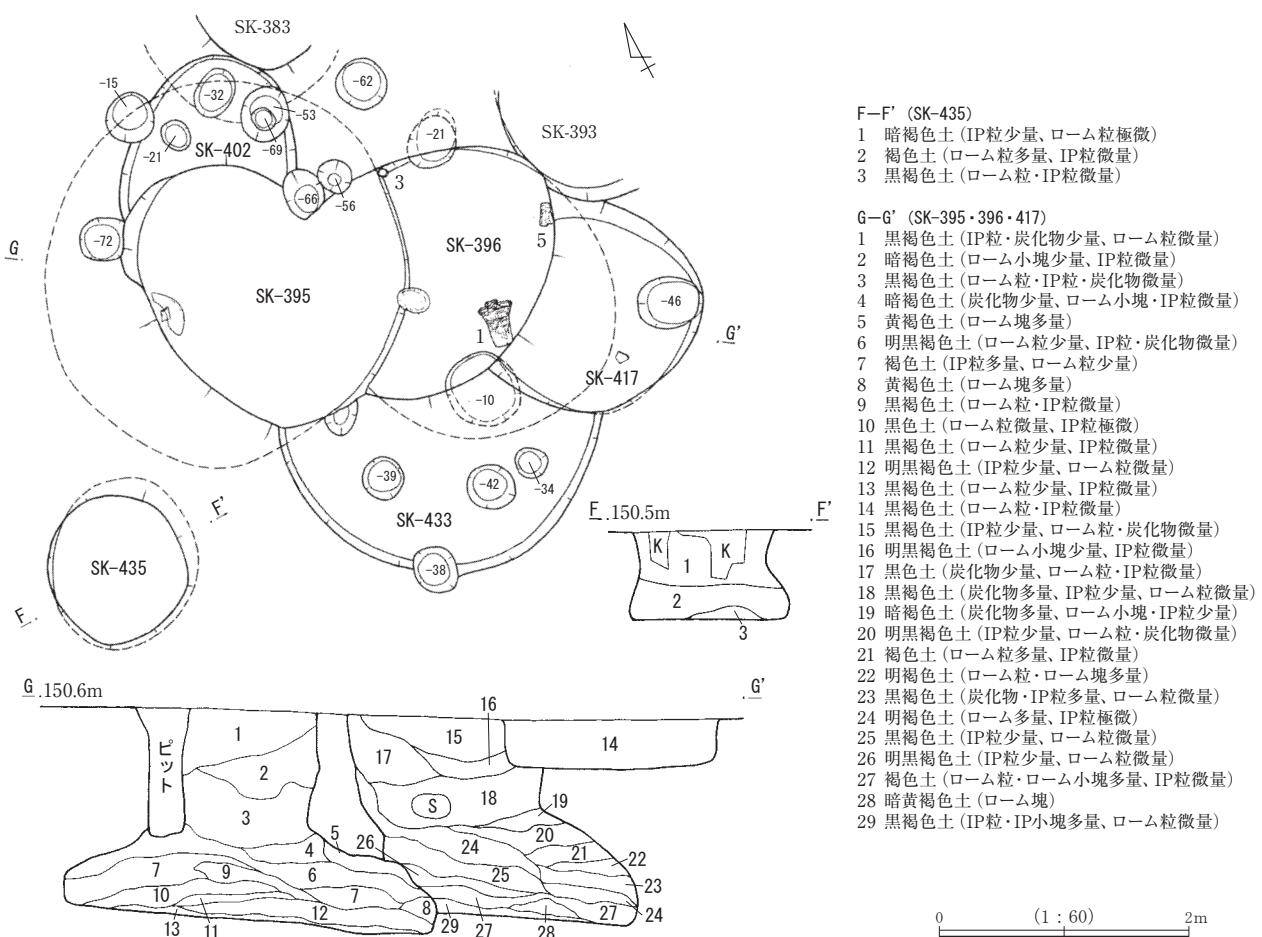
0 (1 : 60) 2m

第56図 SK-374~378・388・389・401 実測図

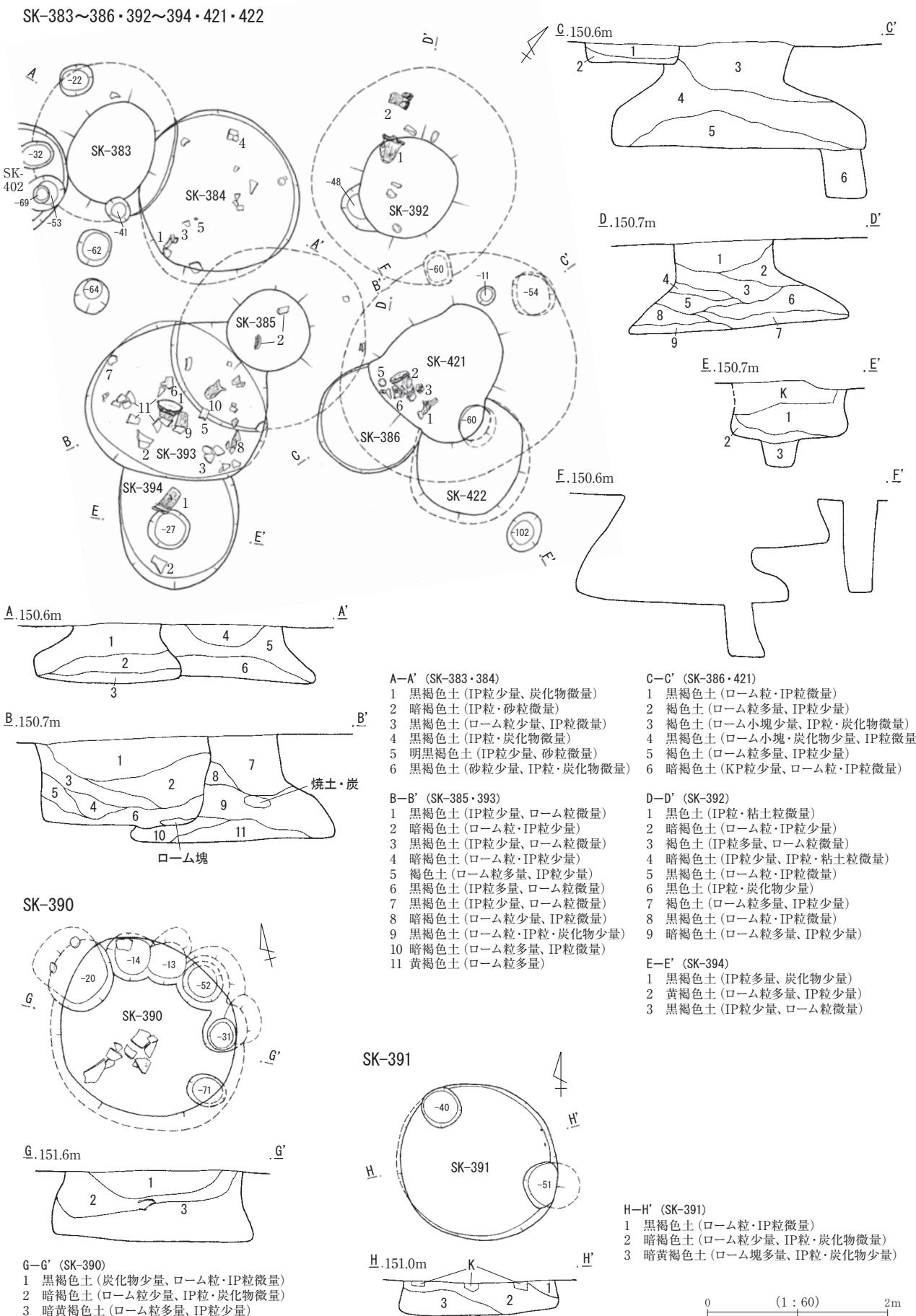
SK-379~382・387・399



SK-395・396・402・417・433・435

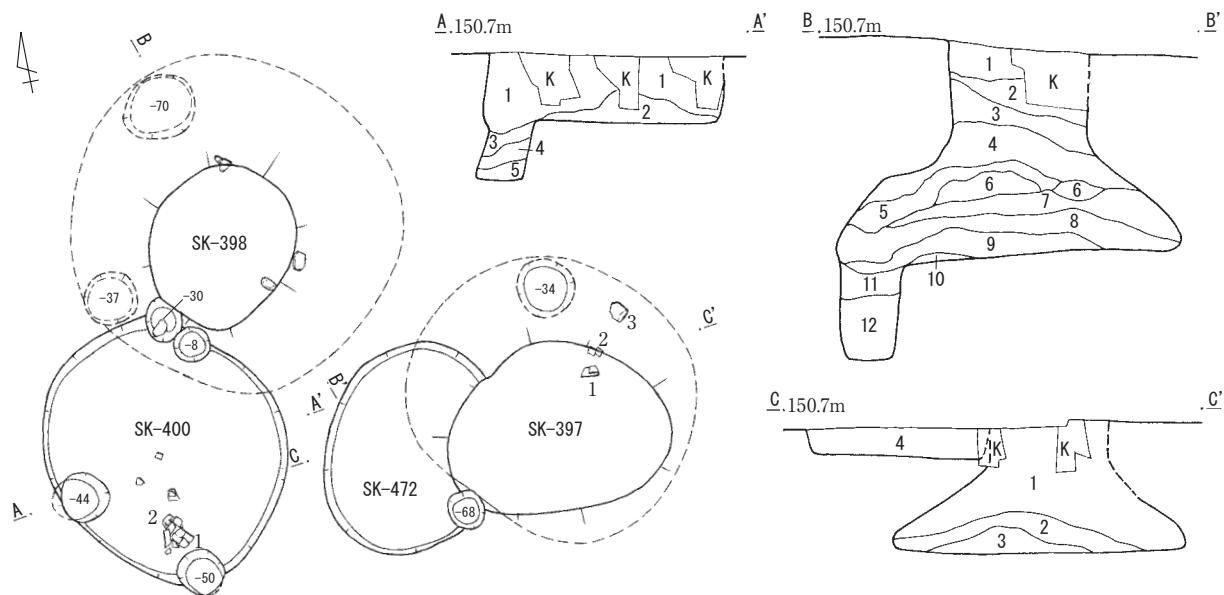


第57図 SK-379~382・387・395・396・402・417・433・435 実測図



第58図 SK-383~386・390~394・421・422 実測図

SK-397・398・400・436・472



A-A' (SK-400)

- 1 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量、ローム粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム粒多量、炭化物少量、IP粒微量)
- 3 明褐色土 (ローム小塊・IP塊多量)
- 4 褐色土 (ローム小塊多量、IP塊少量)
- 5 明褐色土 (ローム粒多量、炭化物少量、IP粒微量)

B-B' (SK-398)

- 1 黒色土 (IP粒微量、ローム粒極微量)
- 2 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量、ローム粒微量)
- 3 明黒色土 (炭化物少量、ローム粒・IP粒微量)
- 4 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量、ローム粒微量)
- 5 暗褐色土 (ローム塊・IP塊多量)
- 6 黄褐色土 (ローム塊)
- 7 黒褐色土 (IP粒多量、ローム粒微量)
- 8 暗褐色土 (IP粒多量、ローム粒少量)
- 9 黒褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 10 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量、KP粒微量)
- 11 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 12 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

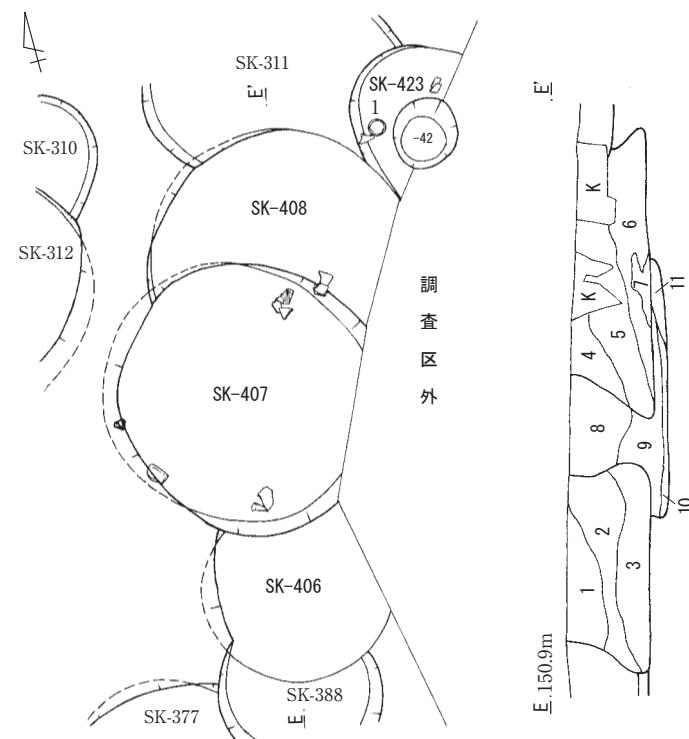
C-C' (SK-397・472)

- 1 暗褐色土 (IP粒・ローム小塊少量、炭化物微量)
- 2 明褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 褐色土 (ローム粒多量、IP粒・炭化物微量)
- 4 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)

D-D' (SK-436)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 2 暗褐色土 (ローム小塊・IP小塊少量、粘土粒微量)
- 3 褐色土 (ローム小塊・IP塊多量)
- 4 黒褐色土 (炭化物多量、ローム小塊・IP塊少量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

SK-406~408・423



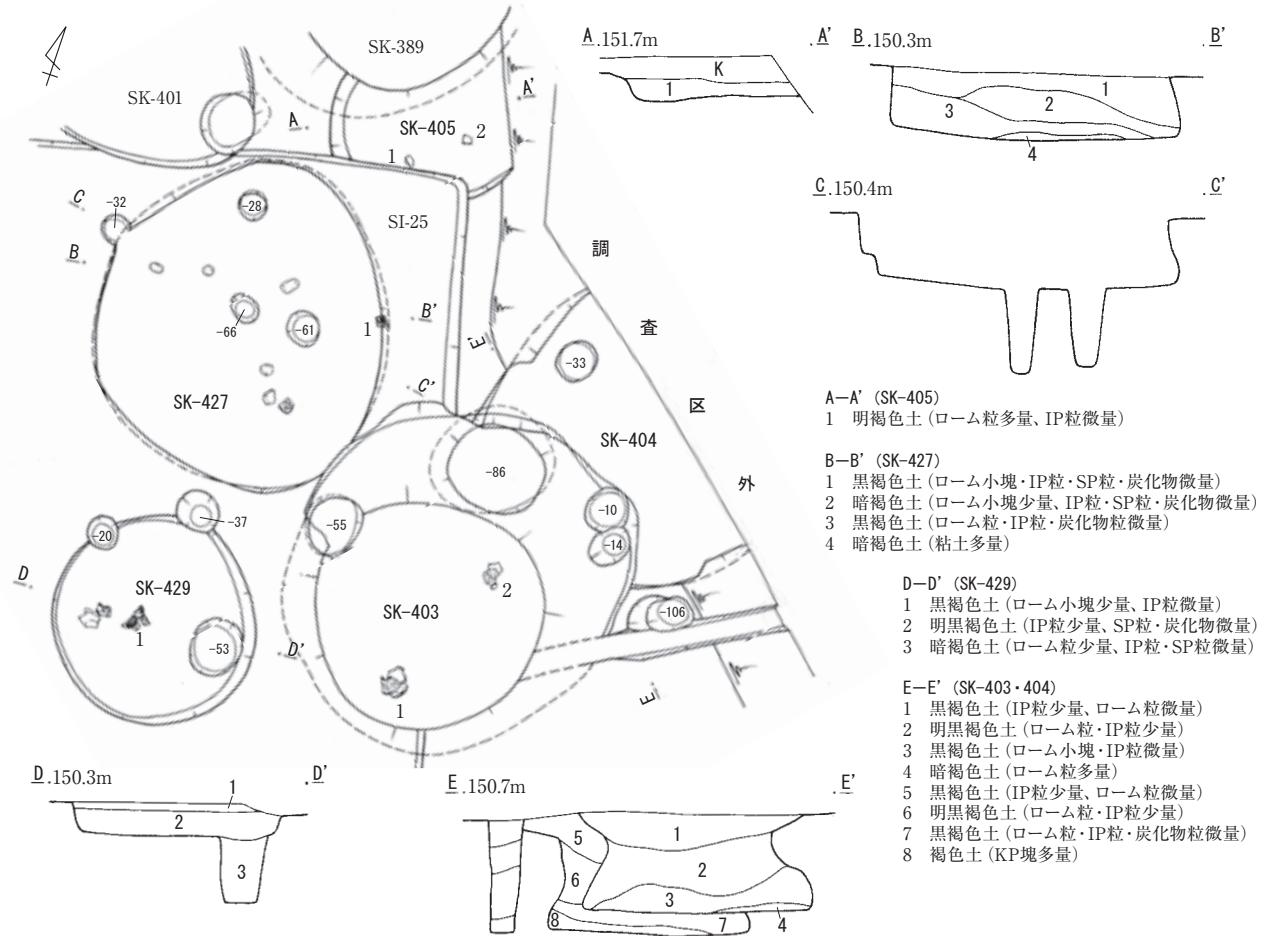
E-E' (SK-406・407・408)

- 1 黒褐色土 (IP粒・SP粒少量、ローム粒微量)
- 2 明黒褐色土 (IP小塊多量、ローム粒・SP粒微量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 4 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒・SP粒・炭化物微量)
- 5 暗褐色土 (ローム粒多量、IP小塊少量)
- 6 明褐色土 (IP粒塊多量)
- 7 褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
- 8 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒・SP粒微量)
- 9 黑色土 (炭化物多量、IP粒少量)
- 10 黒褐色土 (ローム粒少量、IP粒・炭化物少量)
- 11 黄褐色土 (ローム粒多量)

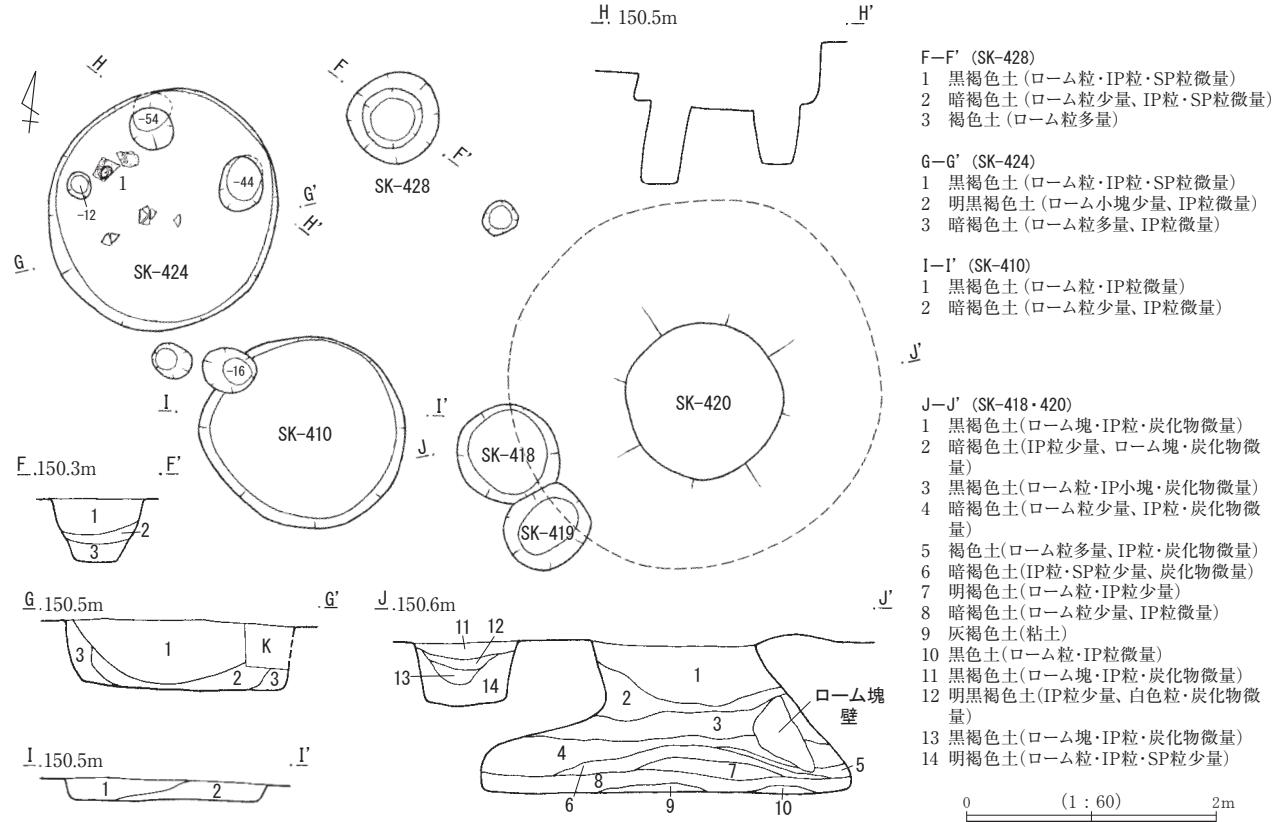
0 (1 : 60) 2m

第59図 SK-397・398・400・406~408・423・436・472 実測図

SK-403~405・427・429

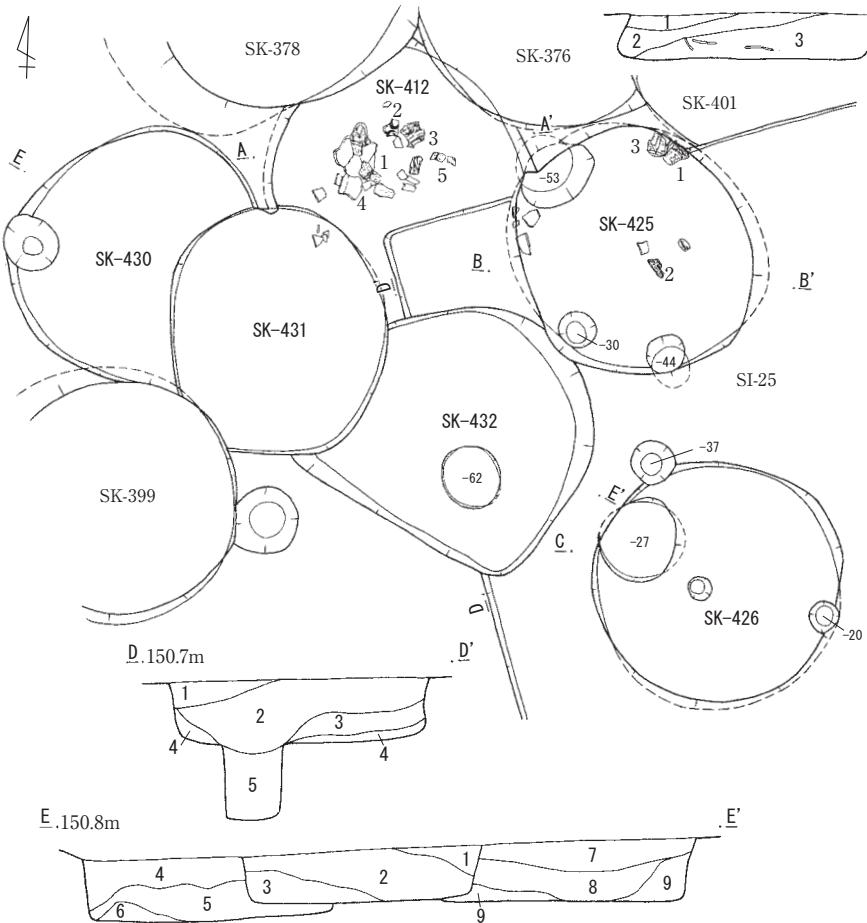


SK-410・418~420・424・428



第60図 SK-403~405・410・418~420・424・427~429 実測図

SK-412・425・426・430～432



A'

150.8m

B'

150.3m

B'

C'

150.3m

A-A' (SK-412)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 明黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒・炭化物微量)
- 3 黒褐色土(炭化物多量、ローム粒・IP粒微量)

B-B' (SK-425)

- 1 黒褐色土(IP粒・SP粒・炭化物微量)
- 2 明褐色土(KP小塊多量)

C-C' (SK-426)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 明黒褐色土(ローム粒・IP粒・炭化物微量)

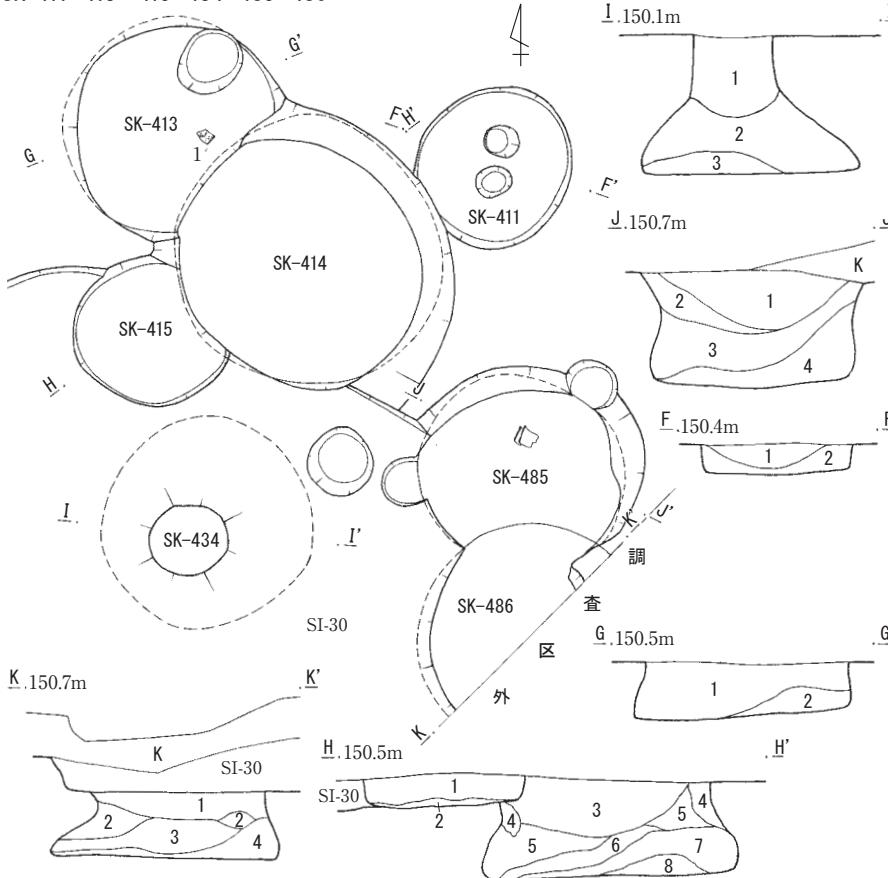
D-D' (SK-432)

- 1 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒・SP粒微量)
- 2 褐色土(IP粒多量、ローム粒・SP粒微量)
- 3 褐色土(IP粒多量、ローム粒・炭化物少量)
- 4 褐色土(ローム粒多量、IP粒・SP粒微量)
- 5 褐色土(ローム小塊・IP小塊少量)

E-E' (SK-430・431・432)

- 1 黒褐色土(IP粒・SP粒少量、ローム粒微量)
- 2 黒色土(ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 3 暗褐色土(IP粒少量、SP粒微量)
- 4 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 5 暗褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 6 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 7 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒・SP粒微量)
- 8 褐色土(IP粒多量、ローム粒・SP粒微量)
- 9 褐色土(ローム粒多量、IP粒・SP粒微量)

SK-411・413～415・434・485・486



I'

150.1m

I'

F-F' (SK-411)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)

G-G' (SK-413)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒微量)
- 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒・炭化物微量)

H-H' (SK-414・415)

- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒・炭化物微量)
- 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
- 3 黒褐色土(ローム粒・IP粒・SP粒少量)
- 4 黄褐色土(ローム塊・壁崩落土)
- 5 暗褐色土(ローム小塊少量、IP粒・SP粒微量)
- 6 褐色土(ローム塊多量)
- 7 暗褐色土(IP粒・SP粒少量、ローム粒微量)
- 8 褐色土(IP小塊多量、ローム粒少量)

I-I' (SK-434)

- 1 黒褐色土(ローム小塊少量)
- 2 暗褐色土(IP粒少量、ローム粒・SP粒微量)
- 3 明褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)

J-J' (SK-485)

- 1 黒色土(ローム粒・IP粒・SP粒・炭化物微量)
- 2 黒褐色土(IP粒少量、ローム粒・SP粒・炭化物微量)
- 3 暗褐色土(IP粒多量、ローム粒・SP粒微量)
- 4 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)

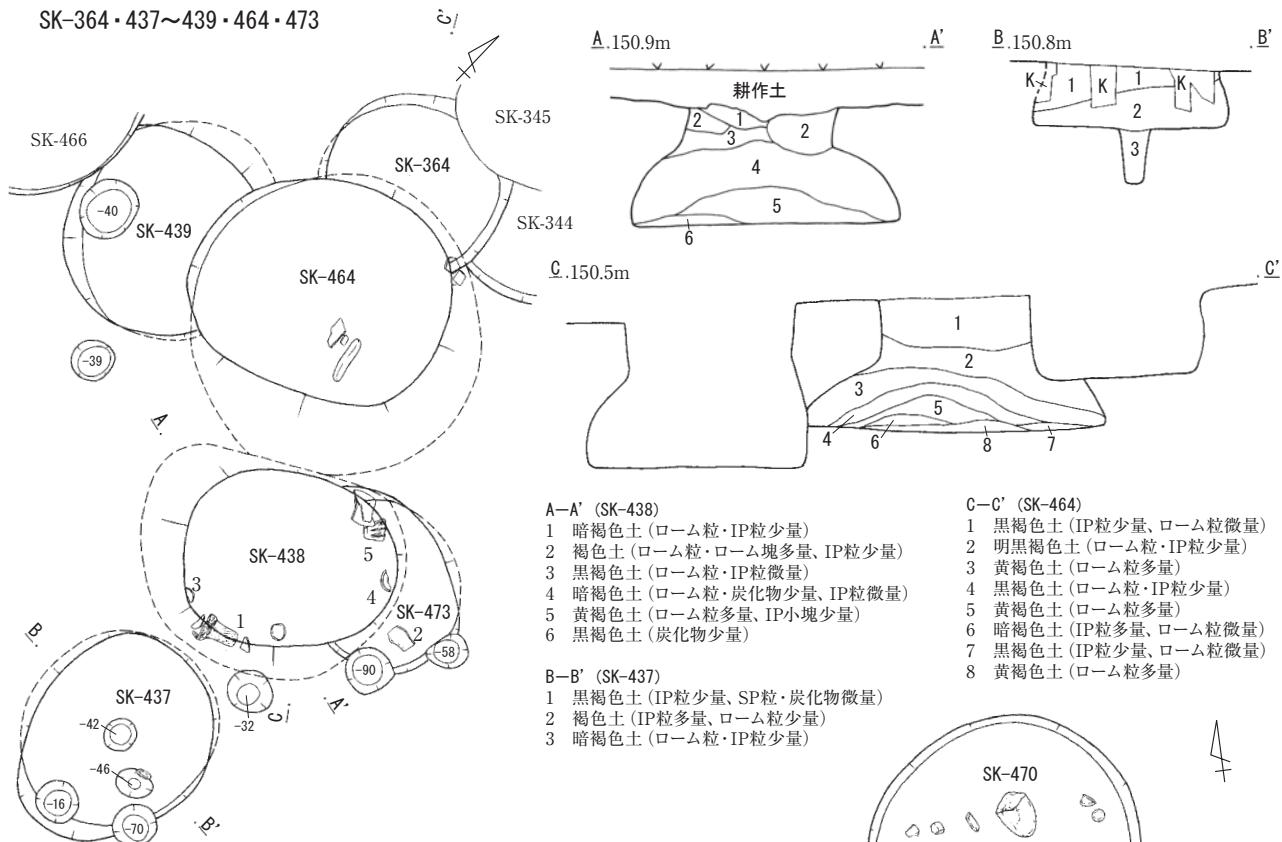
K-K' (SK-486)

- 1 黒褐色土(IP粒少量、ローム粒・SP粒・炭化物微量)
- 2 褐色土(IP粒多量、ローム粒少量)
- 3 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
- 4 明褐色土(IP塊多量、ローム小塊少量)

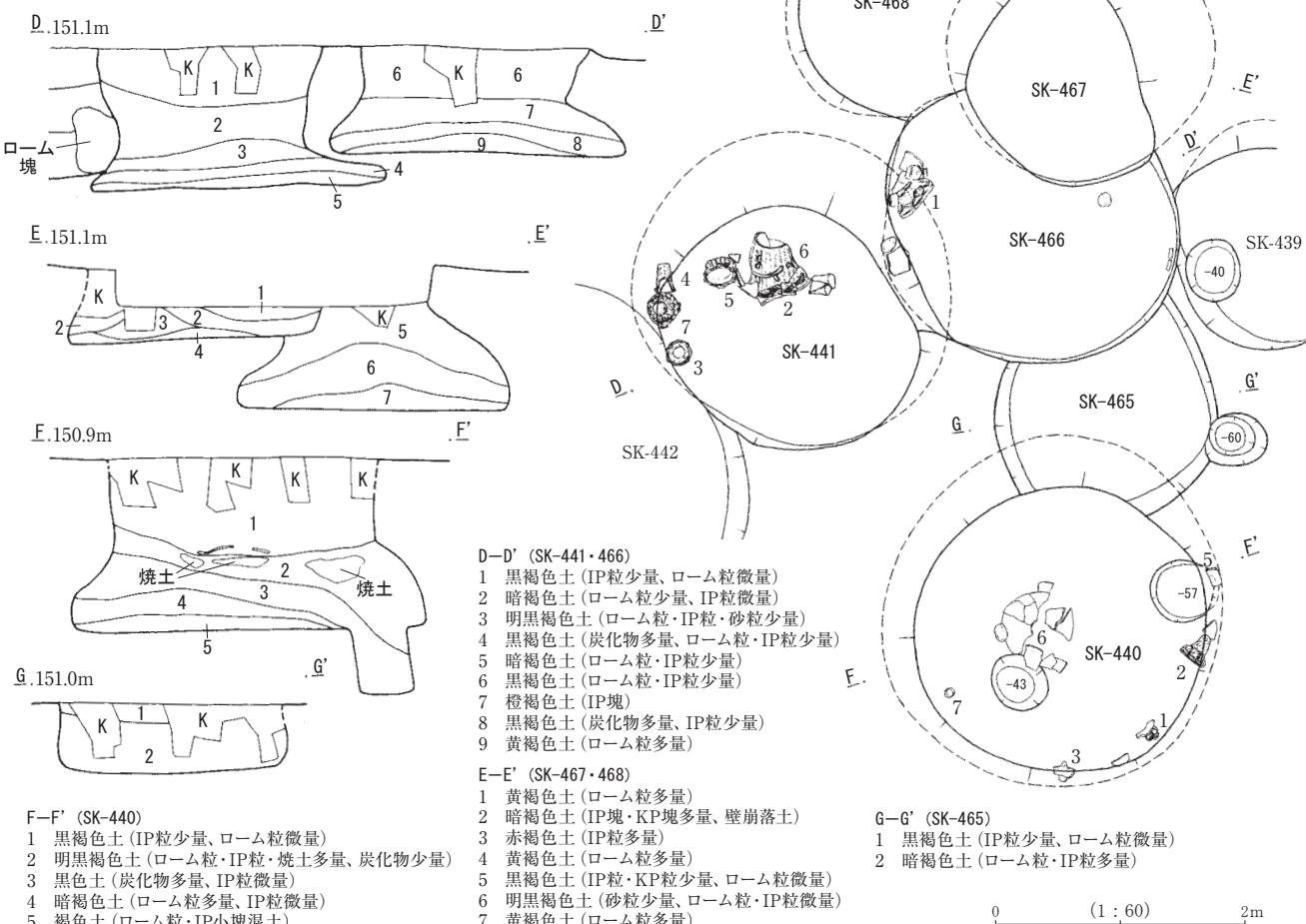
0 (1 : 60) 2m

第61図 SK-411～415・425・426・430～432・434・485・486 実測図

SK-364・437~439・464・473

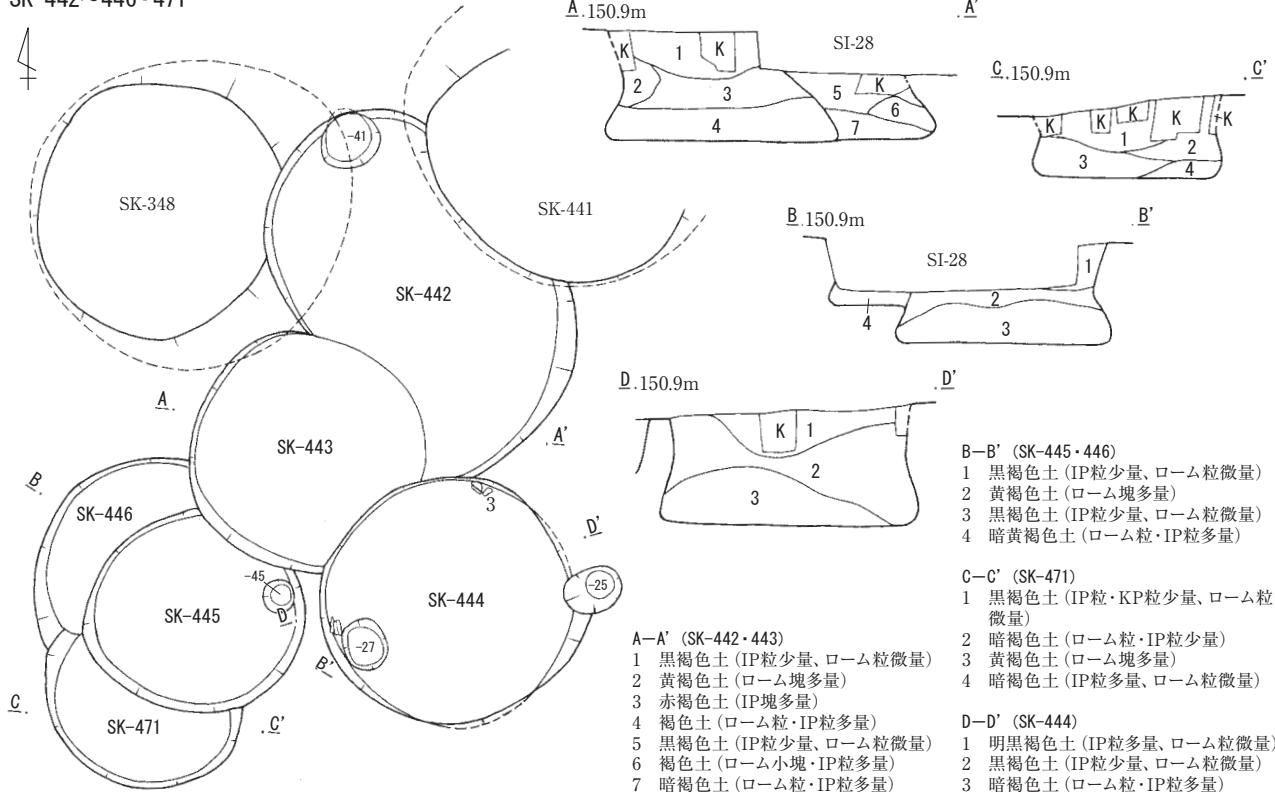


SK-440・441・465~468・470

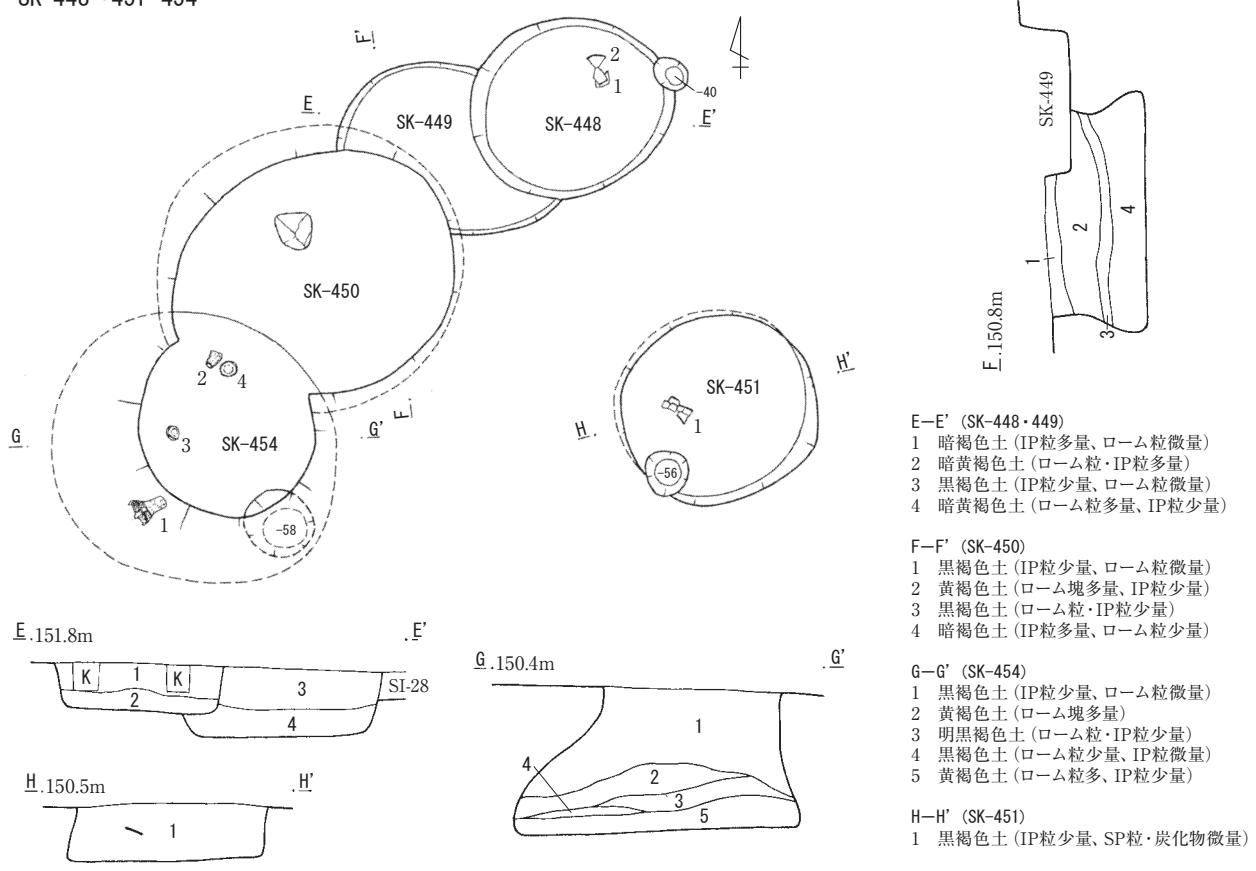


第62図 SK-364・437~441・464~468・470・473 実測図

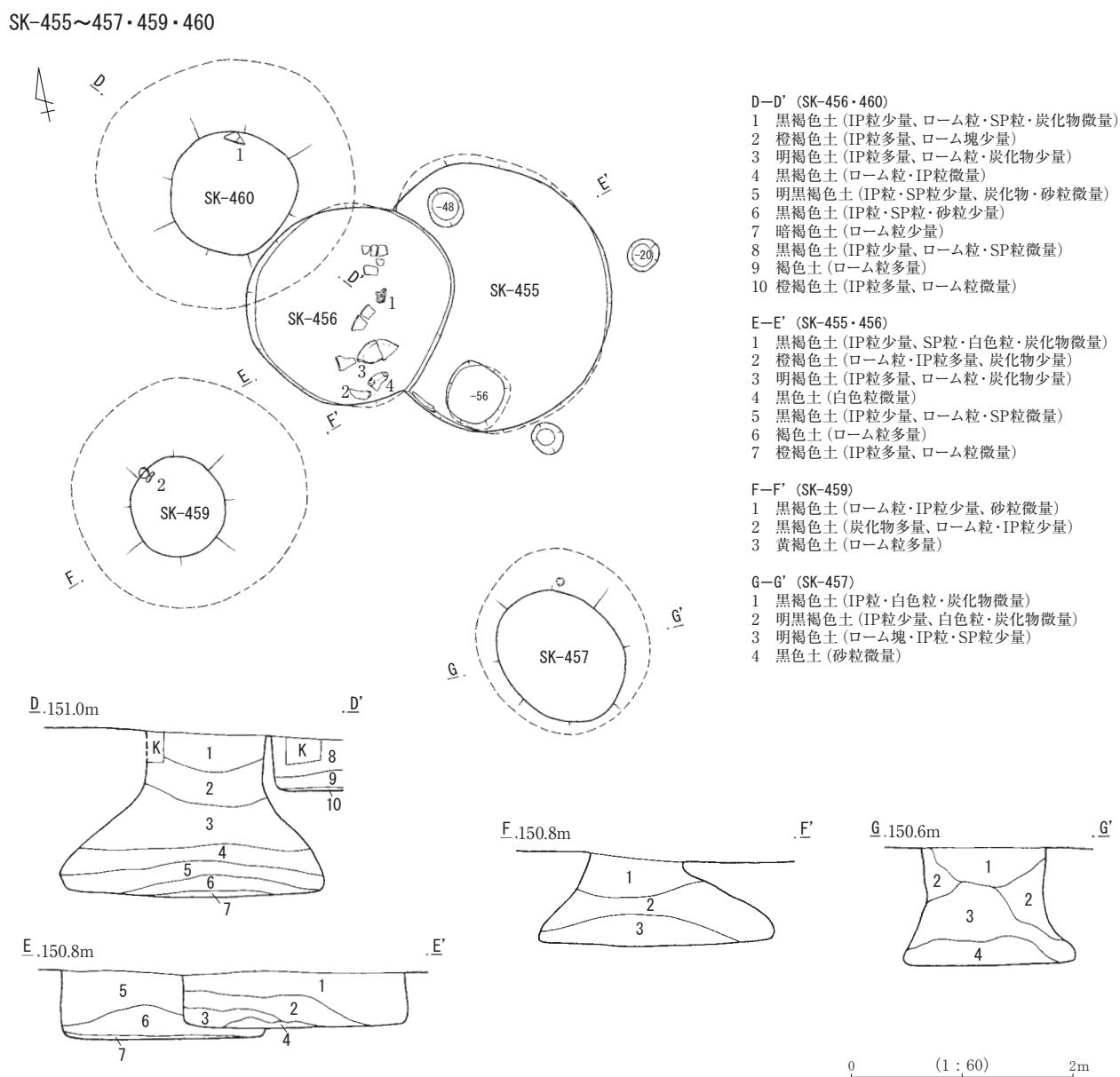
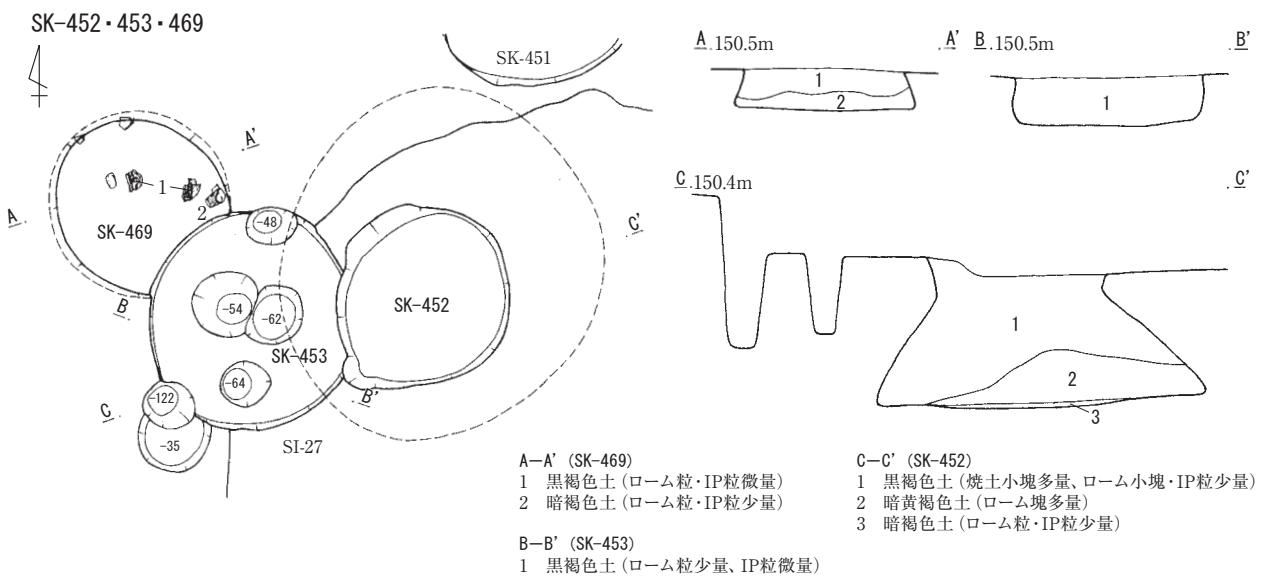
SK-442~446・471



SK-448~451・454

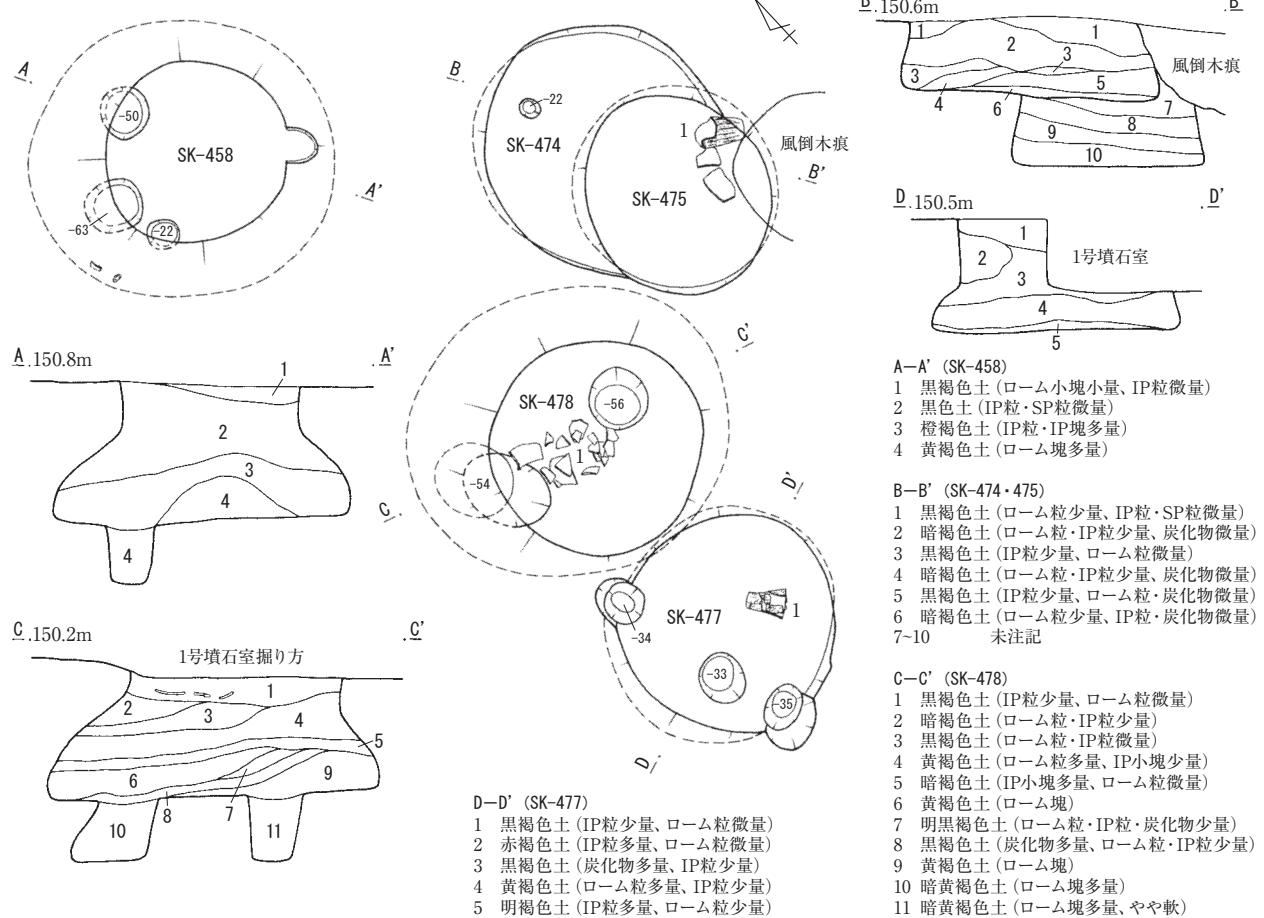


第63図 SK-442~446・448~451・454・471 実測図

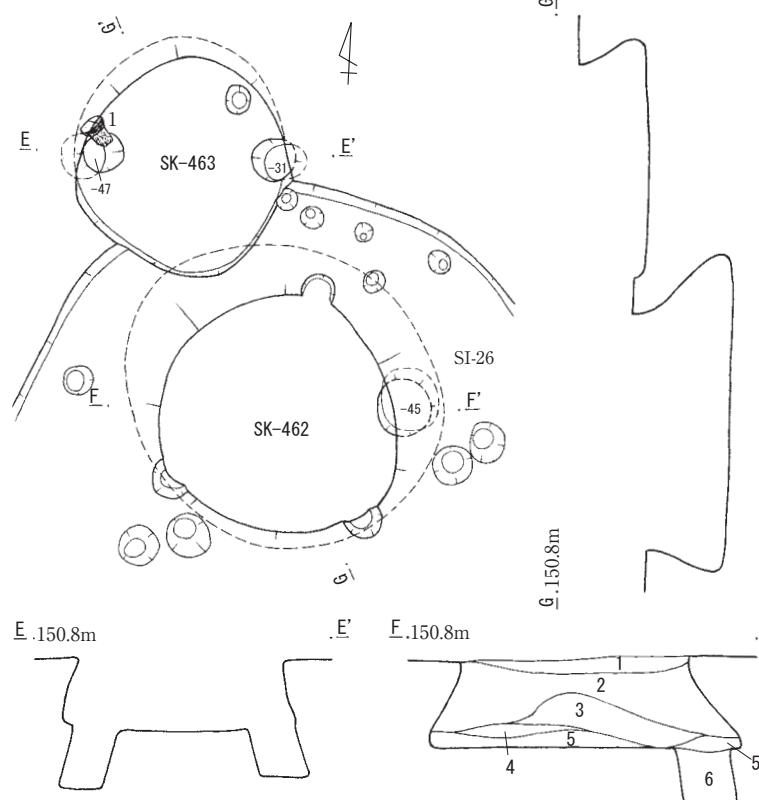


第64図 SK-452・453・455~457・459・460・469 実測図

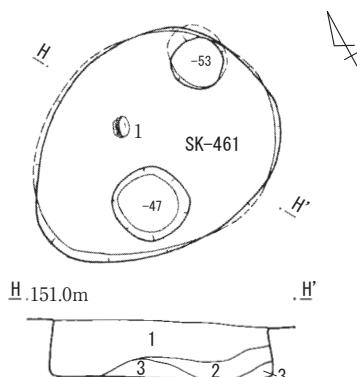
SK-458・474・475・477・478



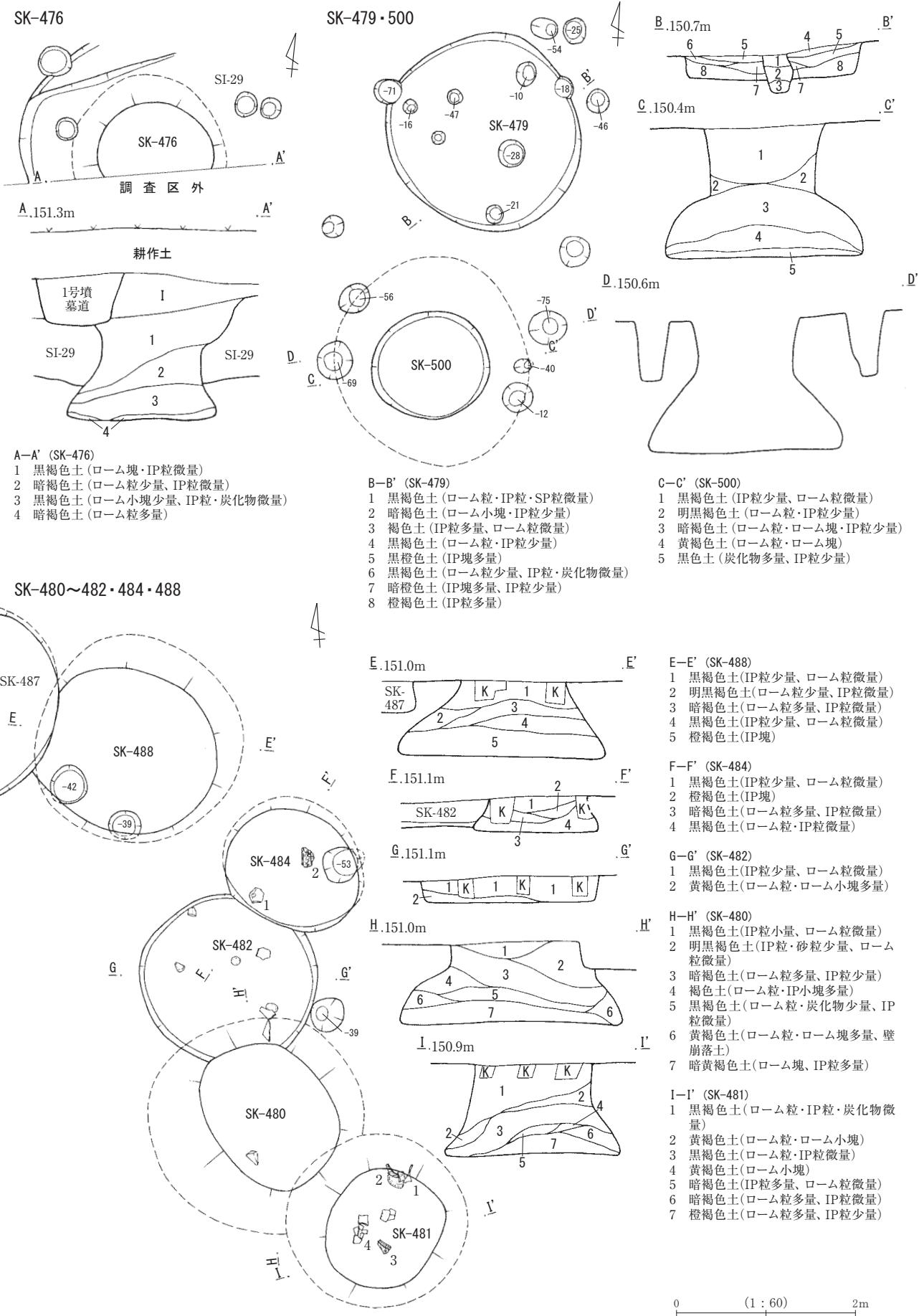
SK-462・463



SK-461

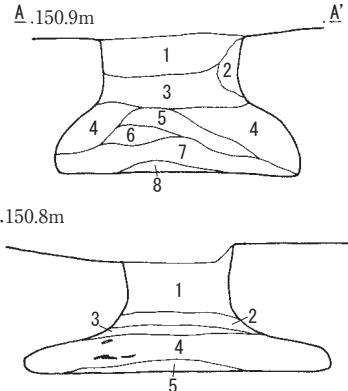
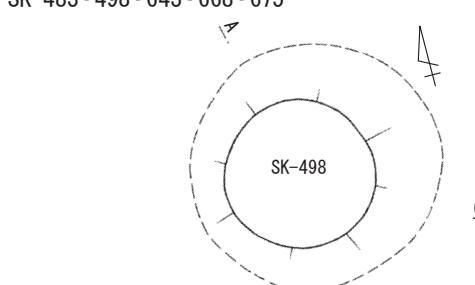


第65図 SK-458・461~463・474・475・477・478 実測図



第66図 SK-476・479～482・484・488・500 実測図

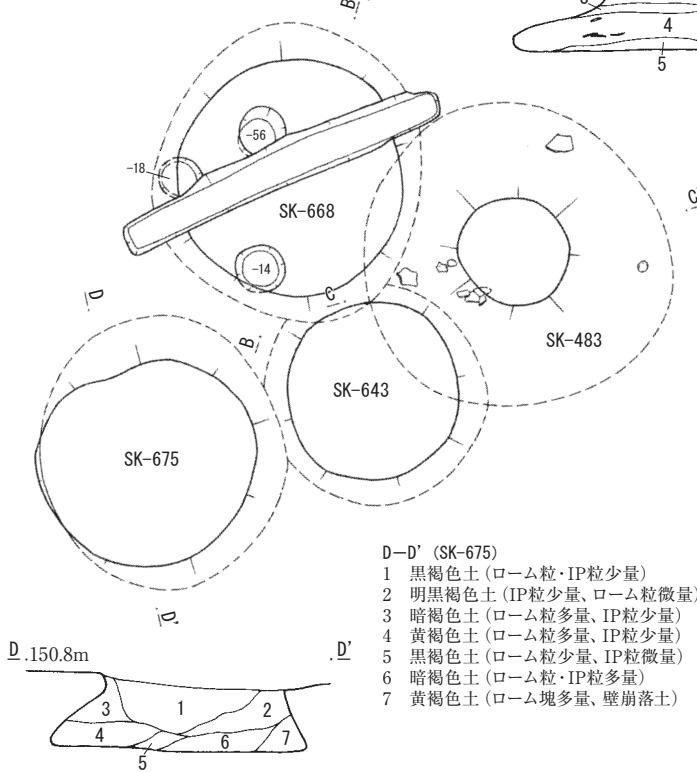
SK-483・498・643・668・675



- A-A' (SK-498)
- 1 黒褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 2 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量、壁崩落土)
 - 3 黒褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 4 暗褐色土(IP粒少量)
 - 5 黄褐色土(ローム粒・ローム塊多量、IP粒少量)
 - 6 暗褐色土(IP粒多量、ローム粒少量)
 - 7 黑褐色土(ローム粒・IP粒多量)
 - 8 黄褐色土(ローム粒多量)

- B-B' (SK-668)
- 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 2 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 3 褐色土(ローム塊・IP塊多量)

- C-C' (SK-483)
- 1 黑褐色土(ローム粒・IP粒微量)
 - 2 暗褐色土(ローム粒・砂粒多量、IP粒少量)
 - 3 黑褐色土(炭化物多量、ローム粒・IP粒少量)
 - 4 明褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 5 黄褐色土(ローム粒多量)



- D-D' (SK-675)
- 1 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 2 明黒褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 3 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 - 4 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 - 5 黑褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 - 6 暗褐色土(ローム粒・IP粒多量)
 - 7 黄褐色土(ローム塊多量、壁崩落土)

- E-E' (SK-667)
- 1 黑褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 - 2 暗黄褐色土(ローム粒・IP粒多量)

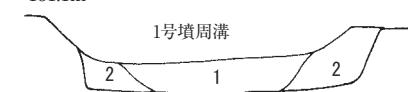
- F-F' (SK-649~651・660・661)
- 1 暗褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 2 明黒褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 - 3 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 4 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 - 5 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 6 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 - 7 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 - 8 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 - 9 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 - 10 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)

SK-487・649~651・660・661・667

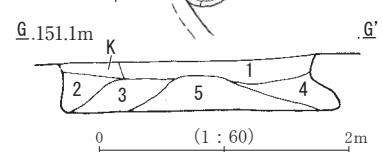
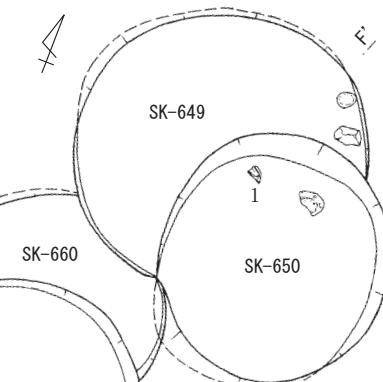
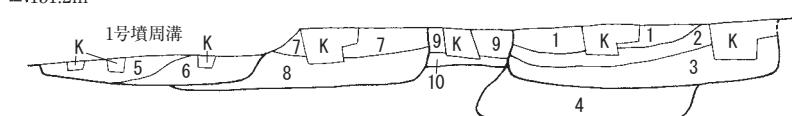
G-G' (SK-487)

- 1 黑褐色土(IP粒小量、ローム粒微量)
- 2 暗黄褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
- 3 明黒褐色土(ローム粒・IP粒少量)
- 4 黑褐色土(ローム粒・IP小塊多量)
- 5 黄褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)

E.151.1m

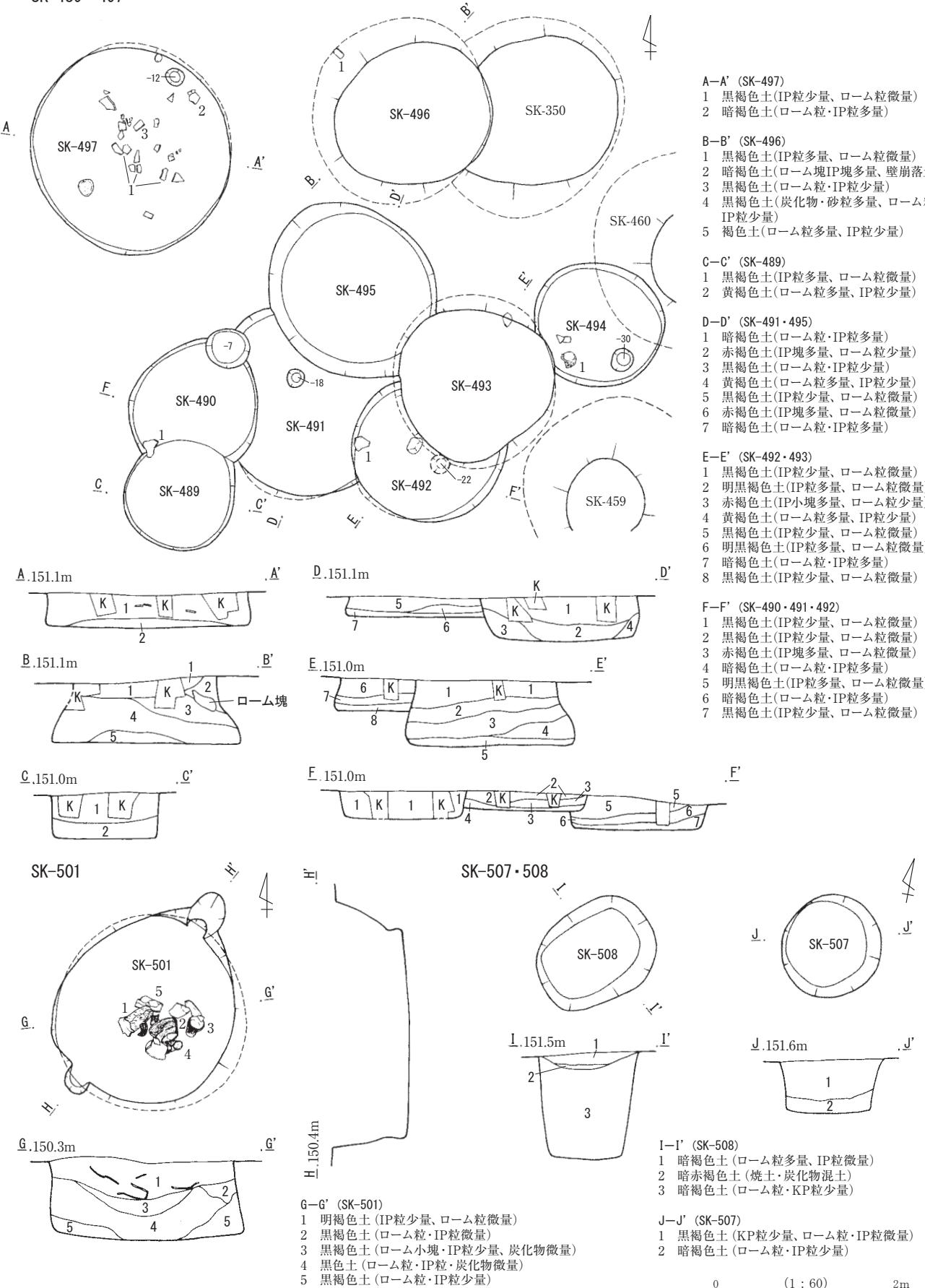


F.151.2m



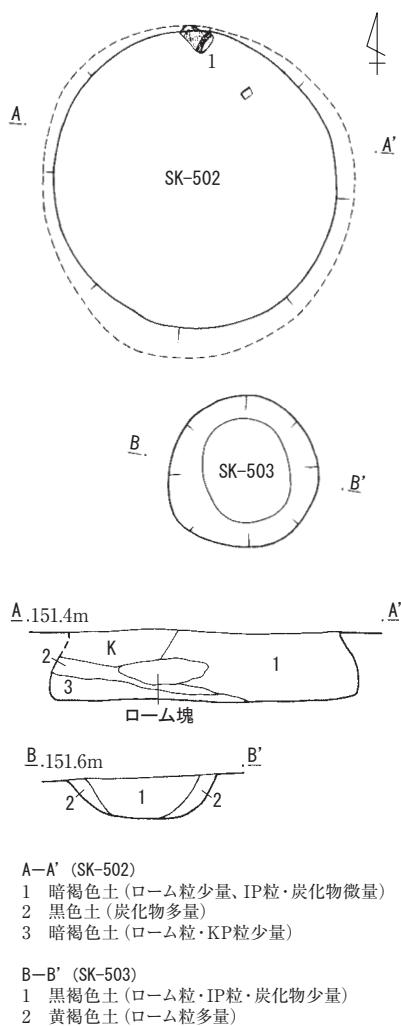
第67図 SK-483・487・498・643・649~651・660・661・667・668・675 実測図

SK-489~497

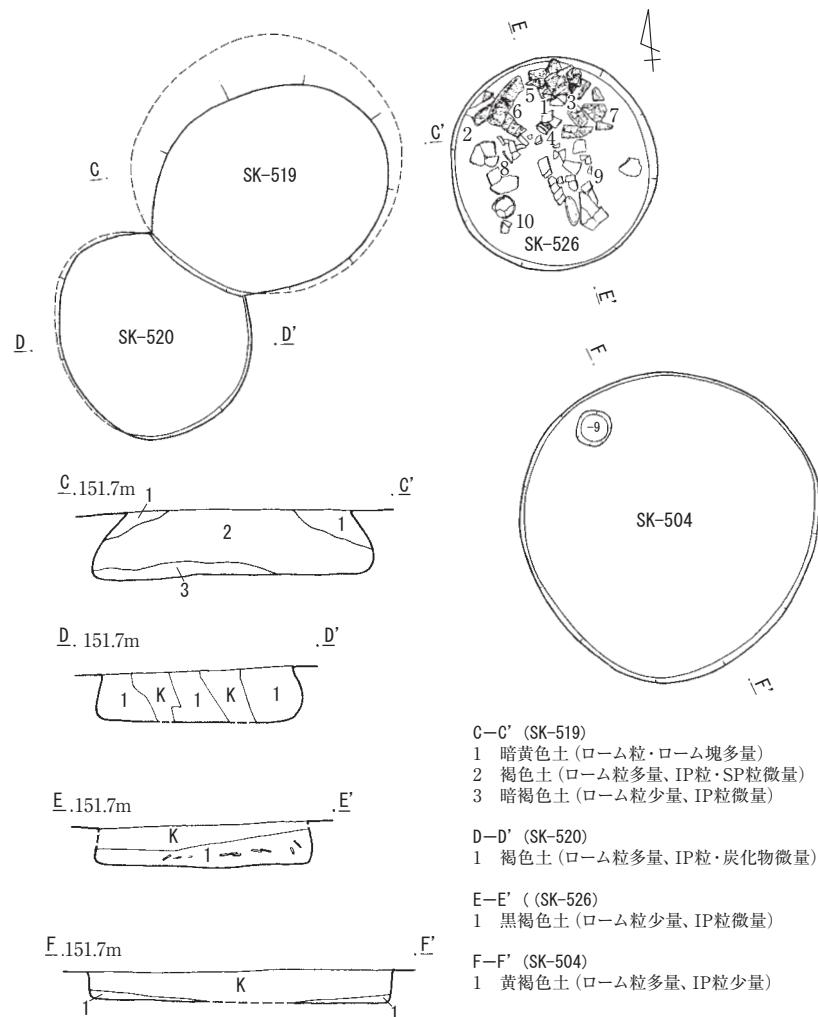


第68図 SK-489~497・501・507・508 実測図

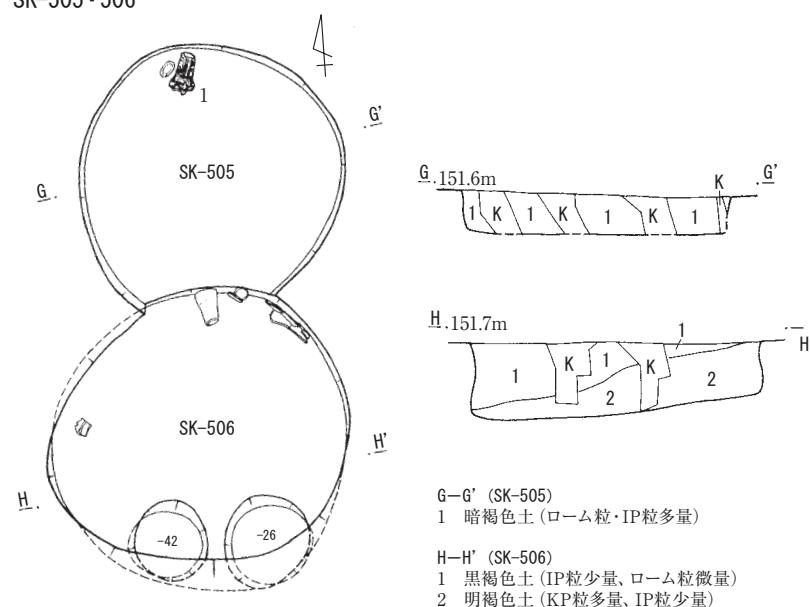
SK-502・503



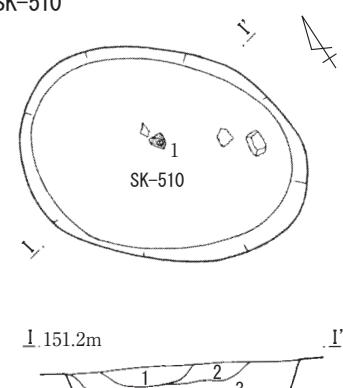
SK-504・519・520・526



SK-505・506



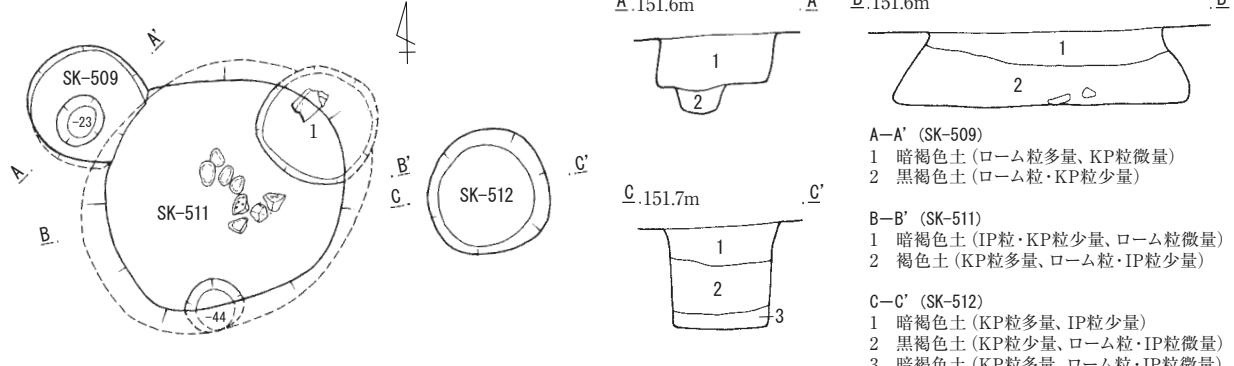
SK-510



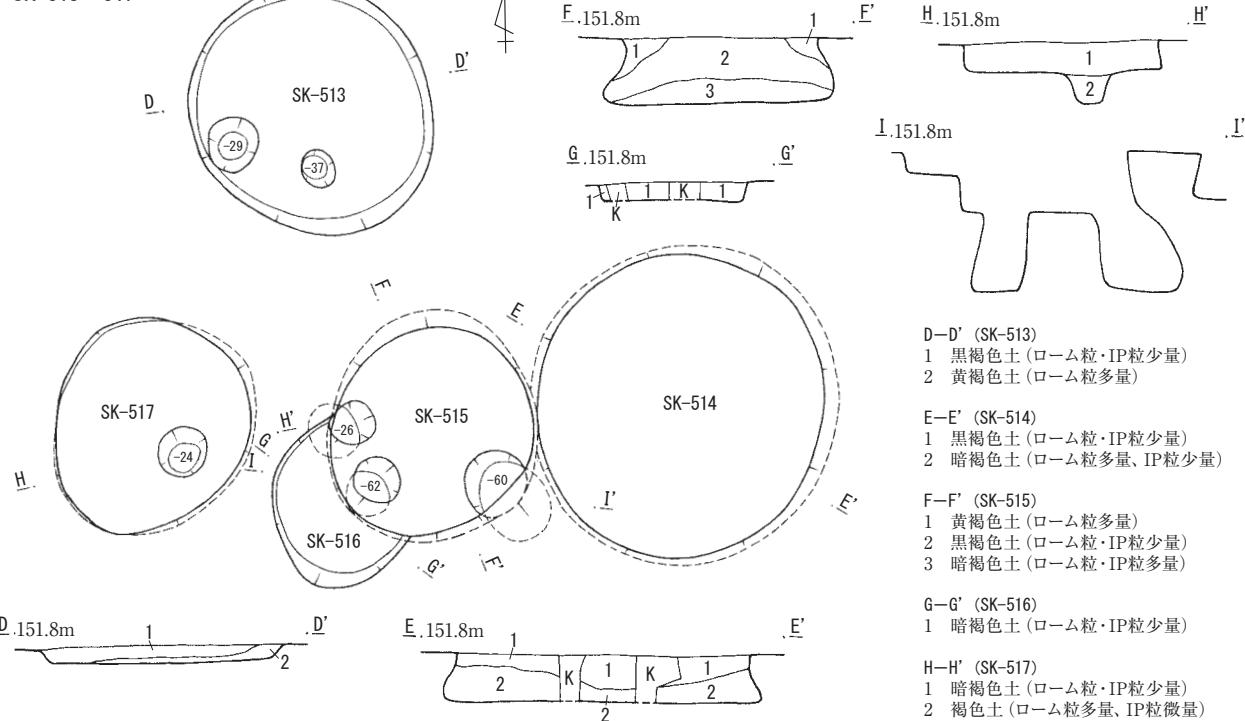
0 (1 : 60) 2m

第69図 SK-502~506・510・519・520・526 実測図

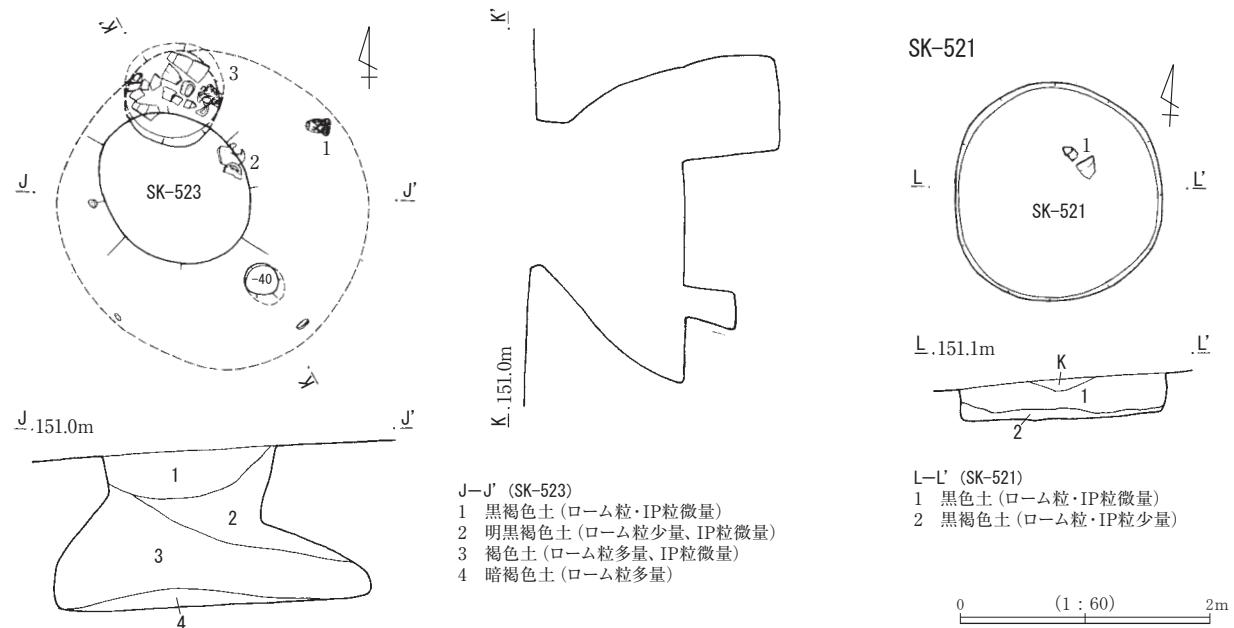
SK-509・511・512



SK-513~517

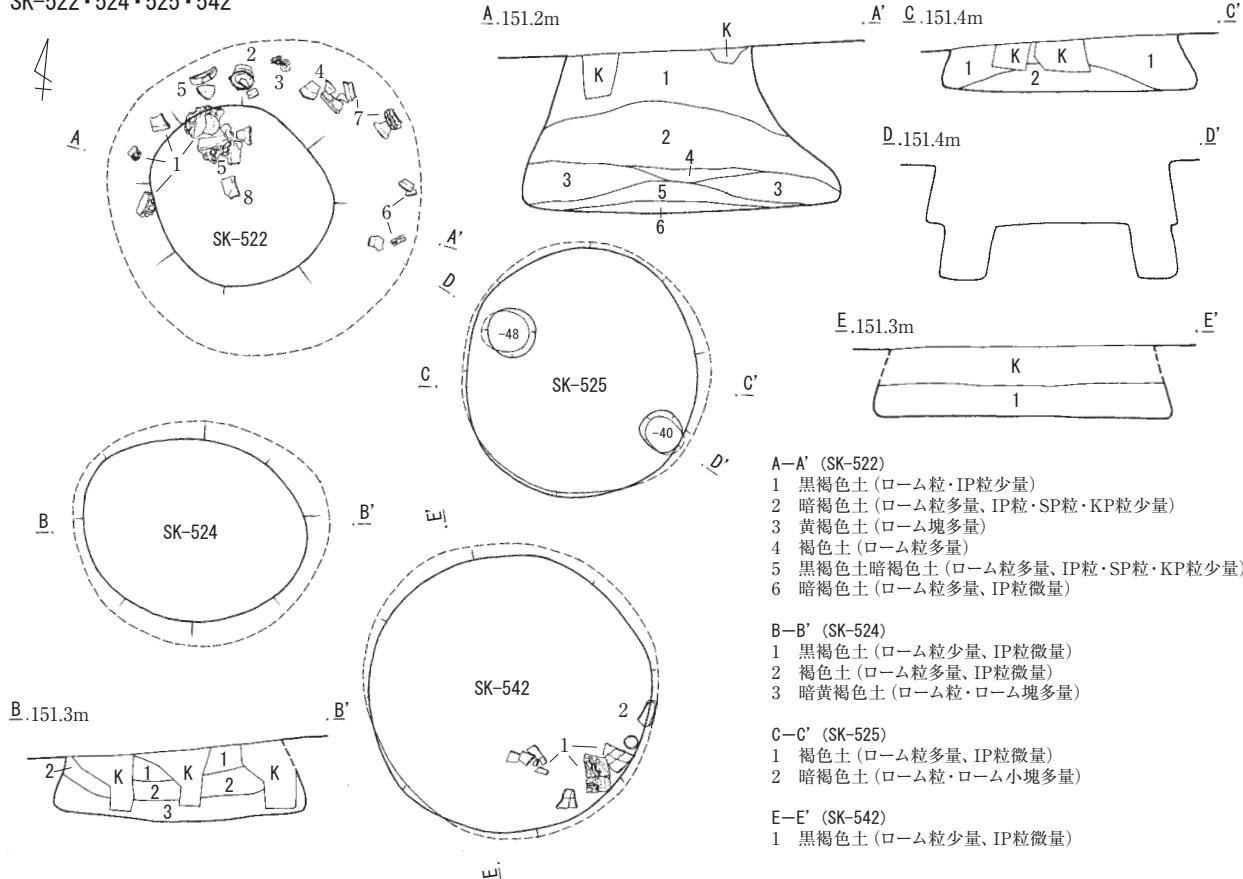


SK-523

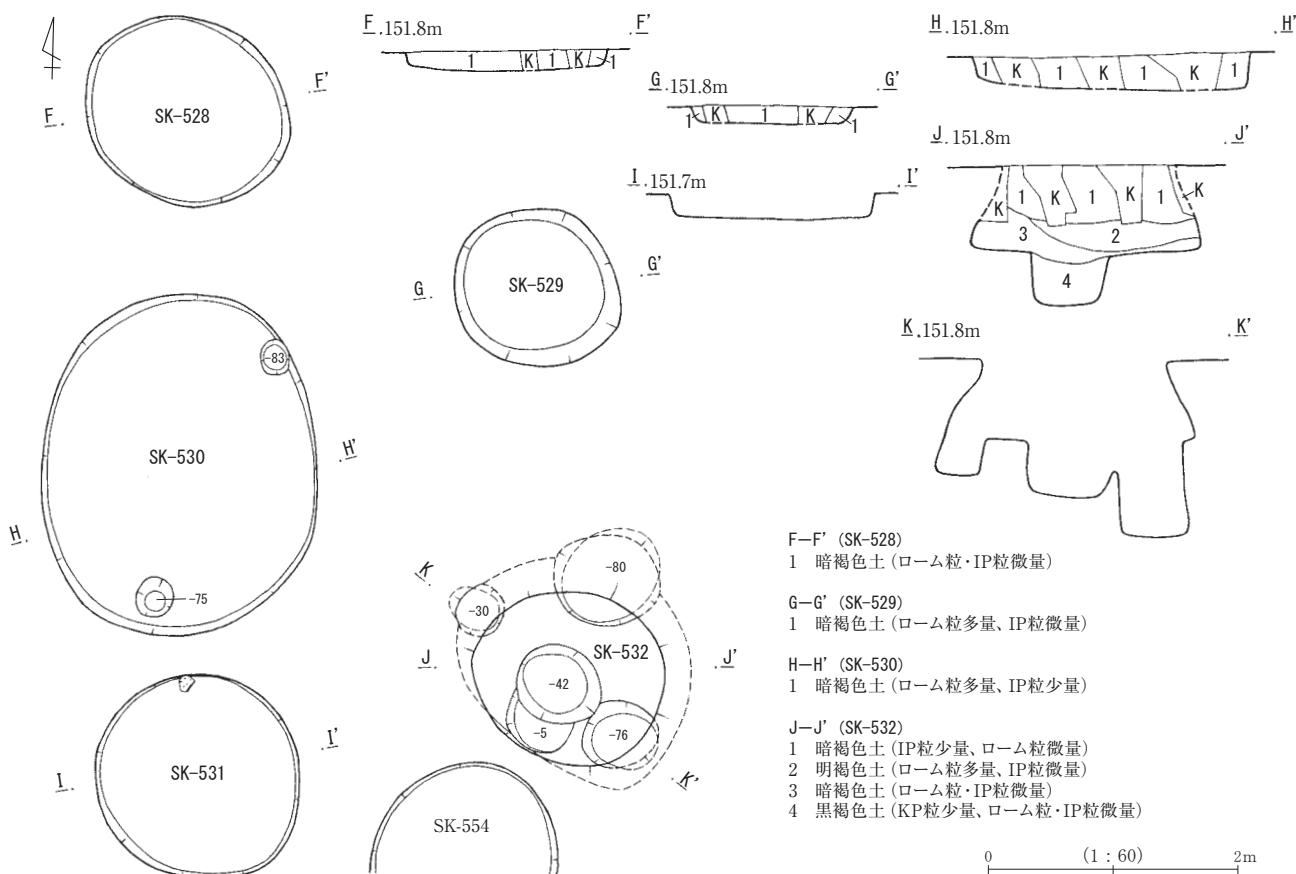


第70図 SK-509・511~517・521・523 実測図

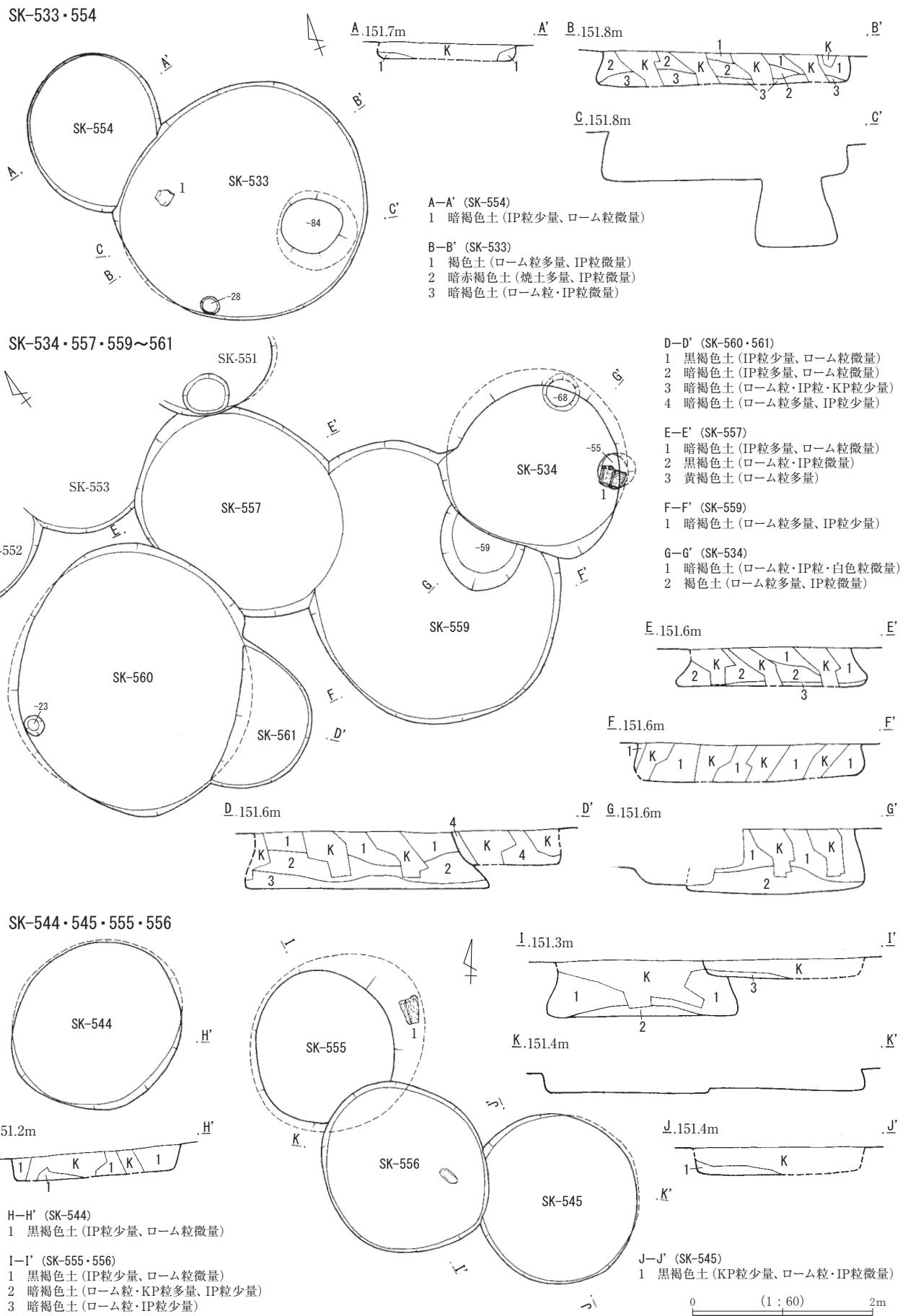
SK-522・524・525・542



SK-528~532

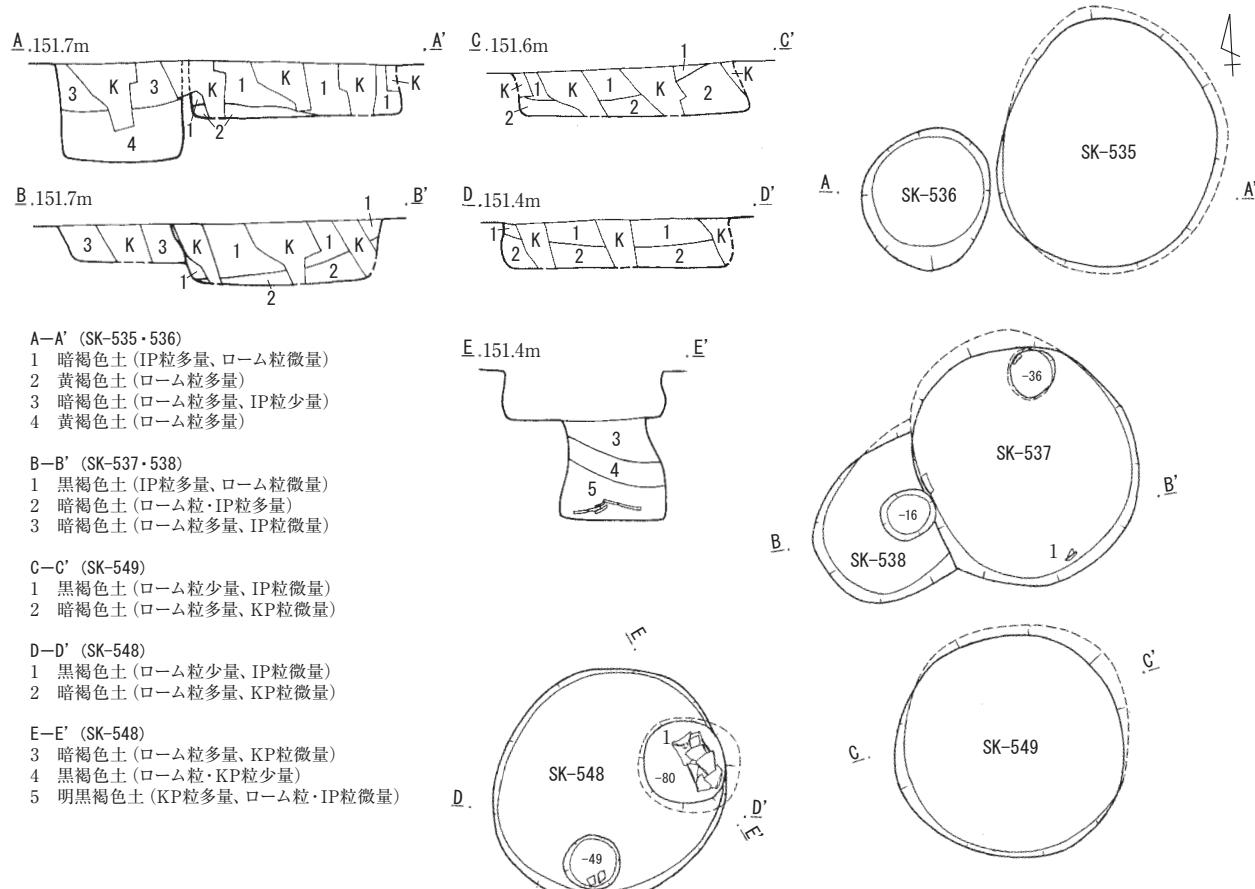


第71図 SK-522・524・525・528~532・542 實測図

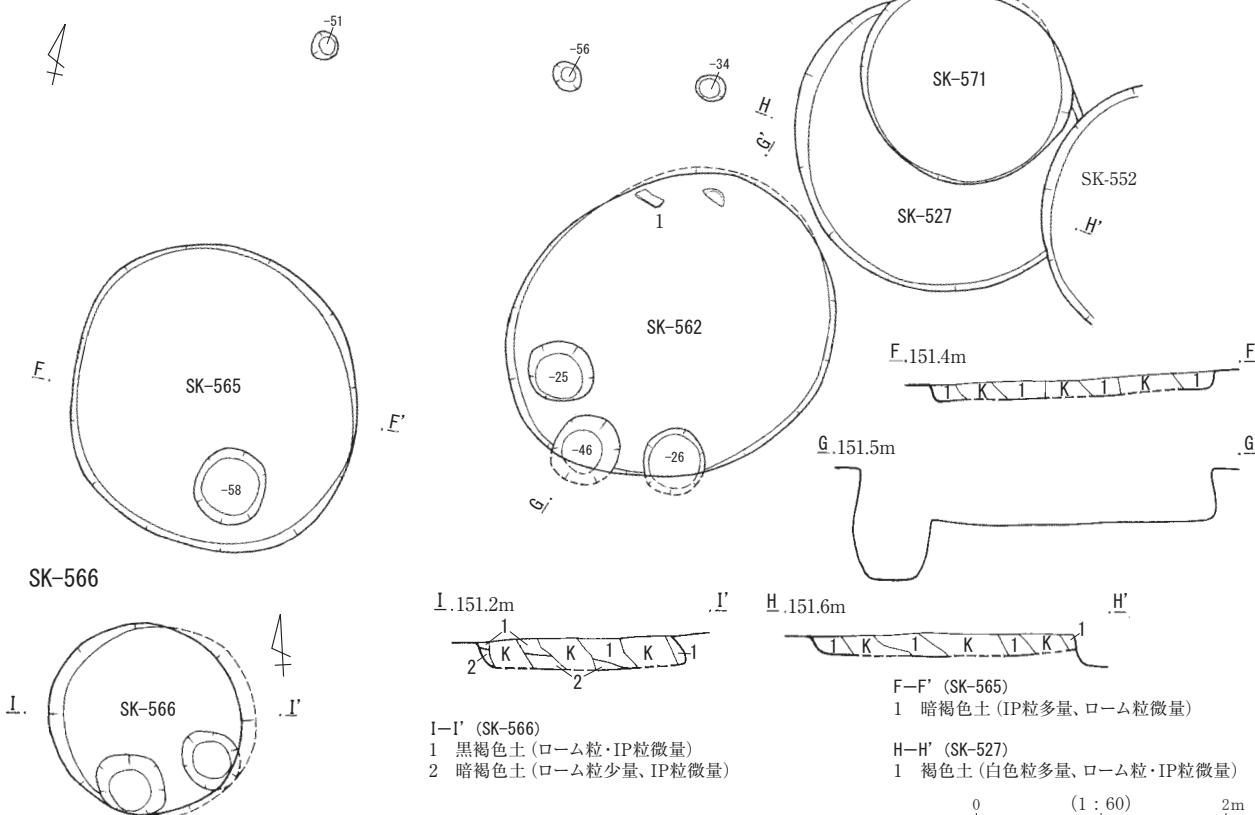


第72図 SK-533・534・544・545・554～557・559～561 実測図

SK-535~538・548・549

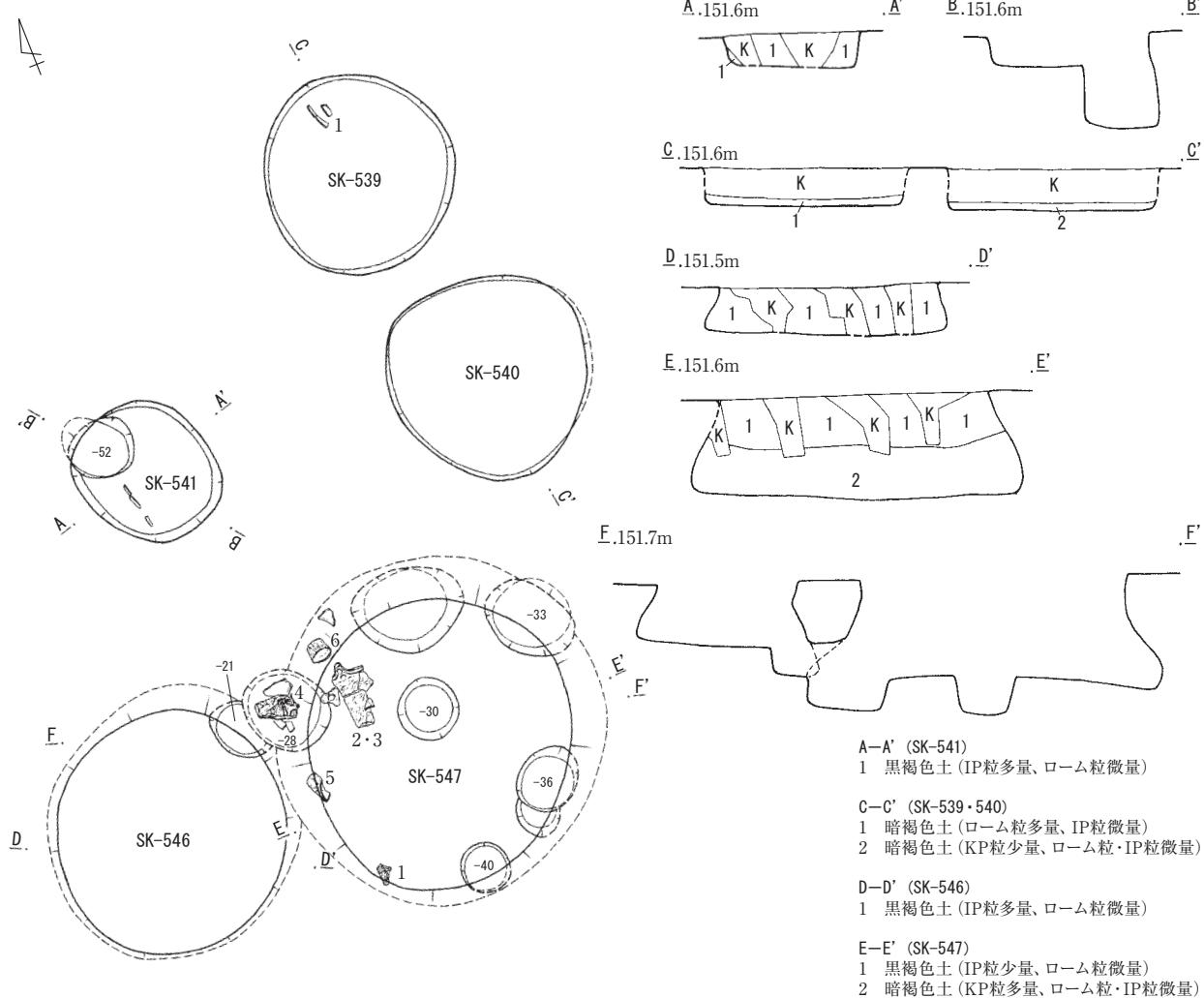


SK-527・562・565・566・571

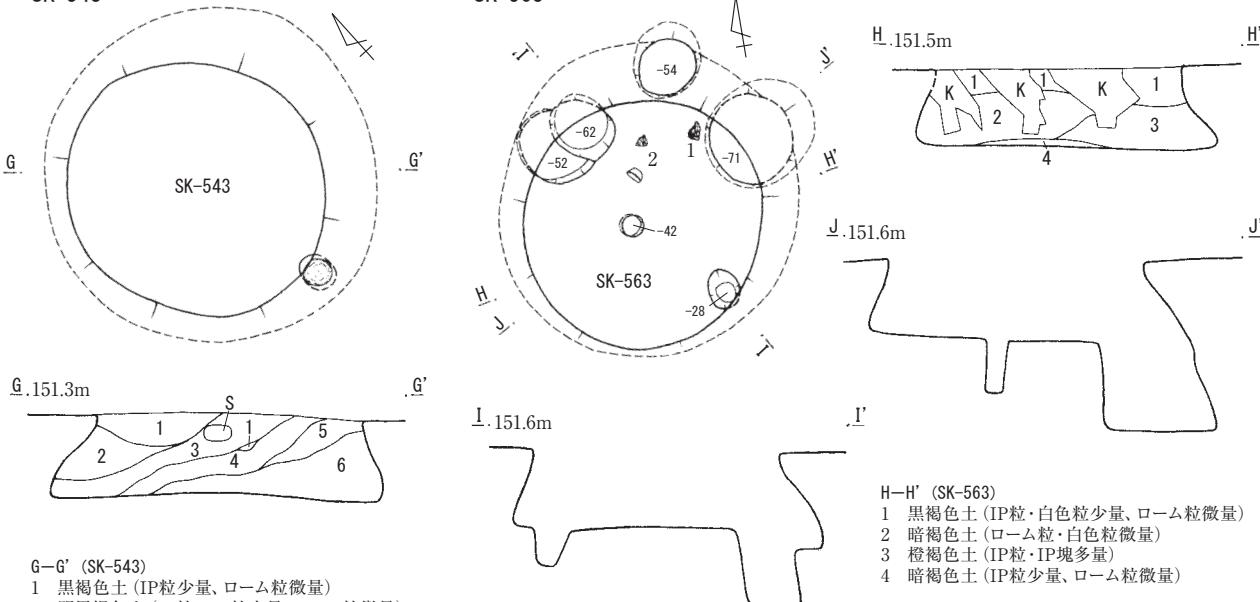


第73図 SK-527・535~538・548・549・562・565・566・571 実測図

SK-539~541・546・547

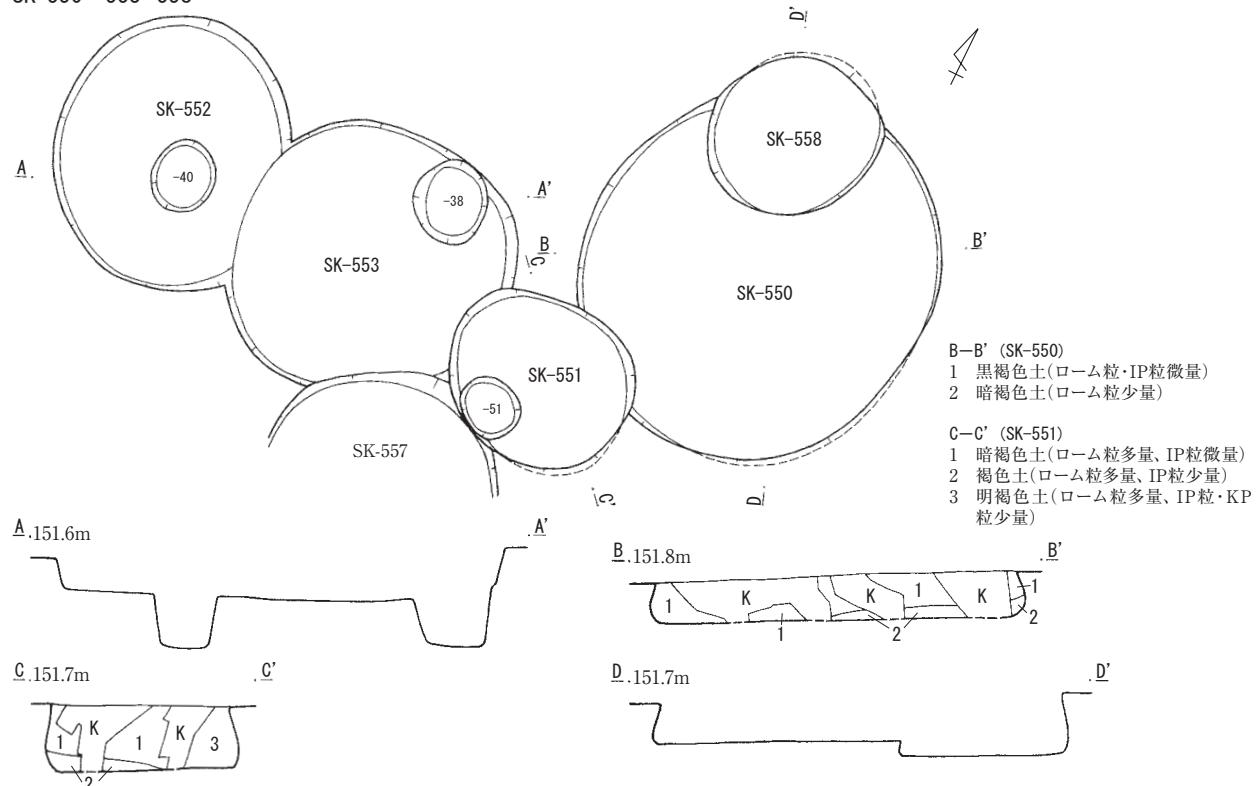


SK-543

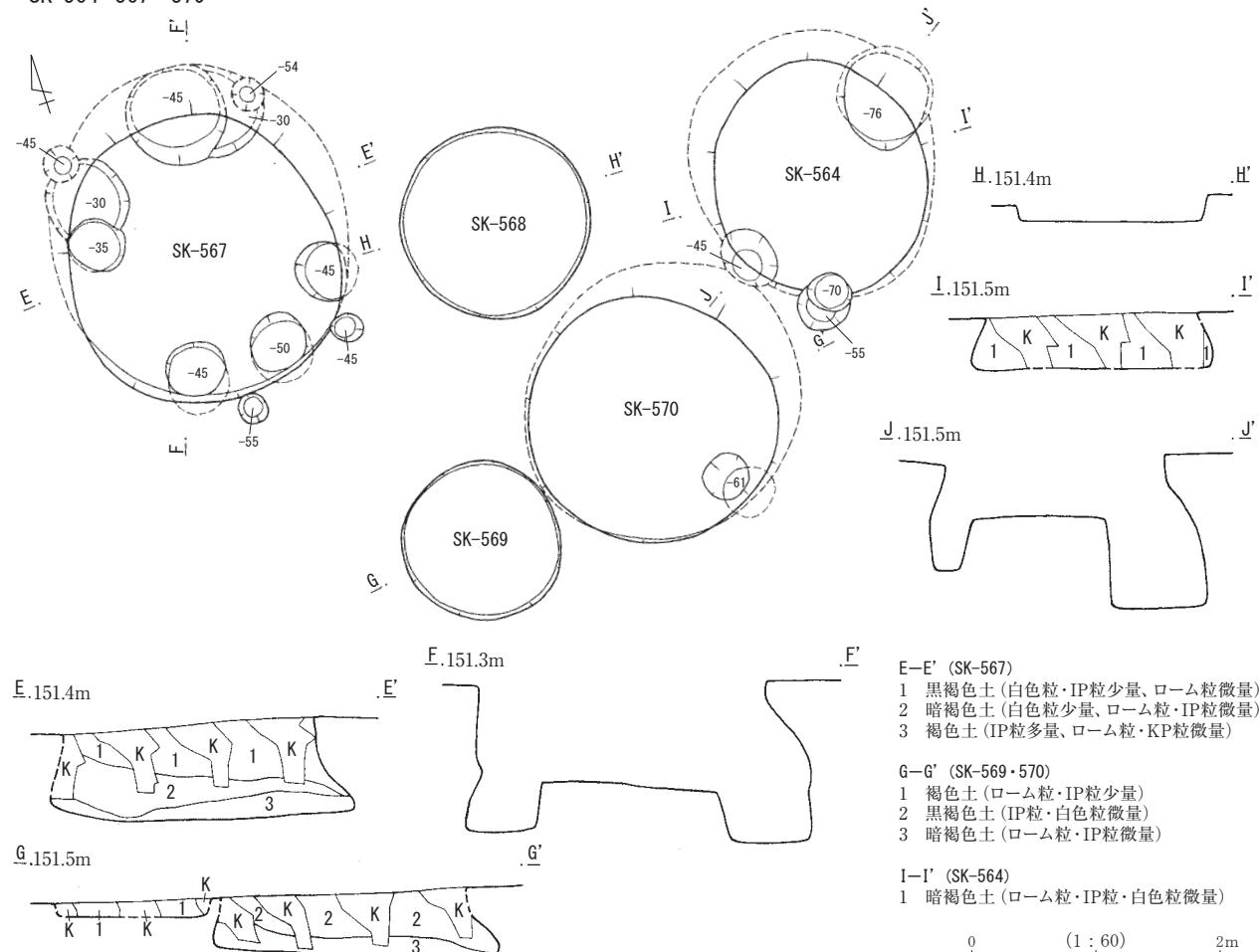


第74図 SK-539~541・543・546・547・563 實測図

SK-550~553・558

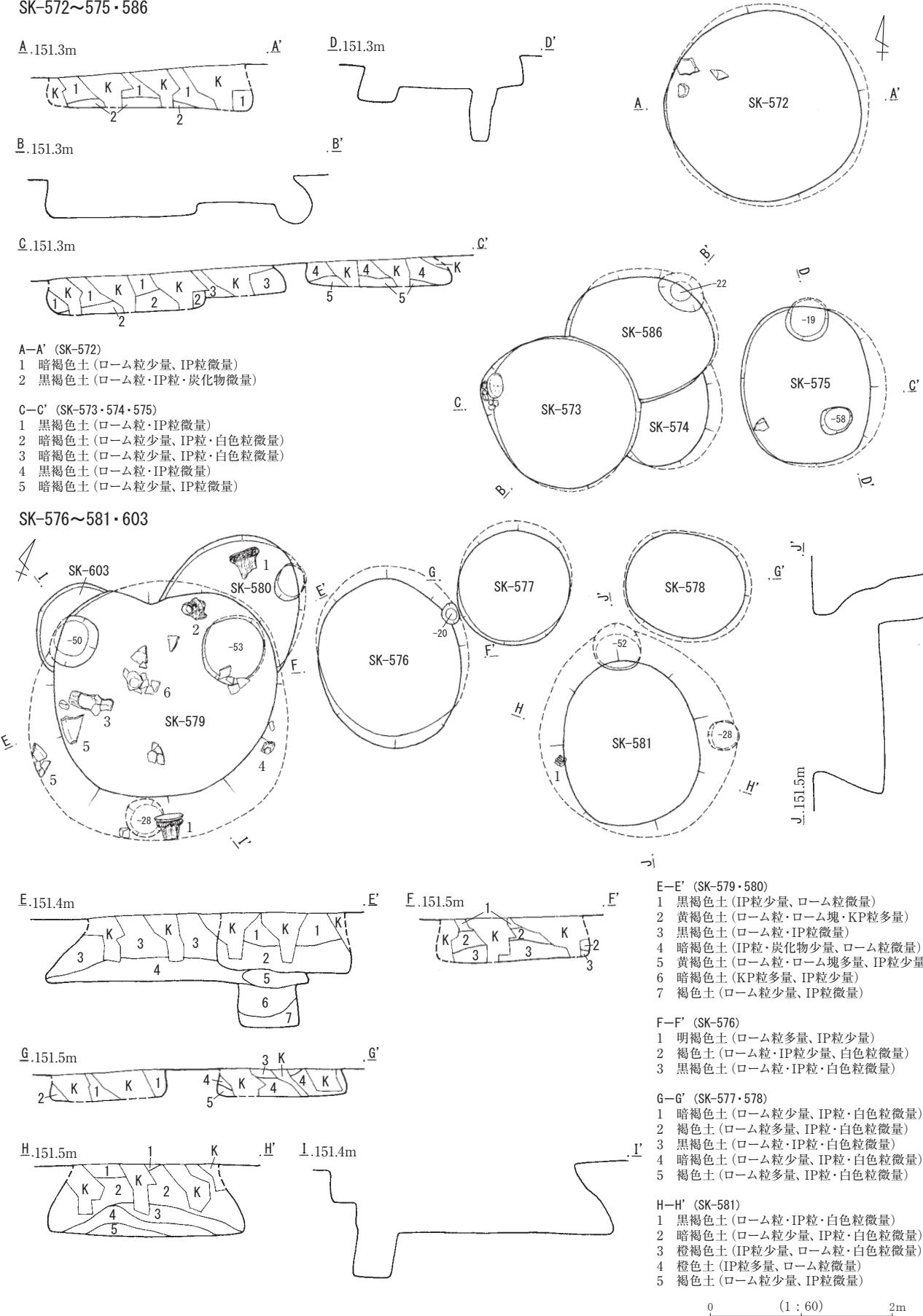


SK-564・567~570



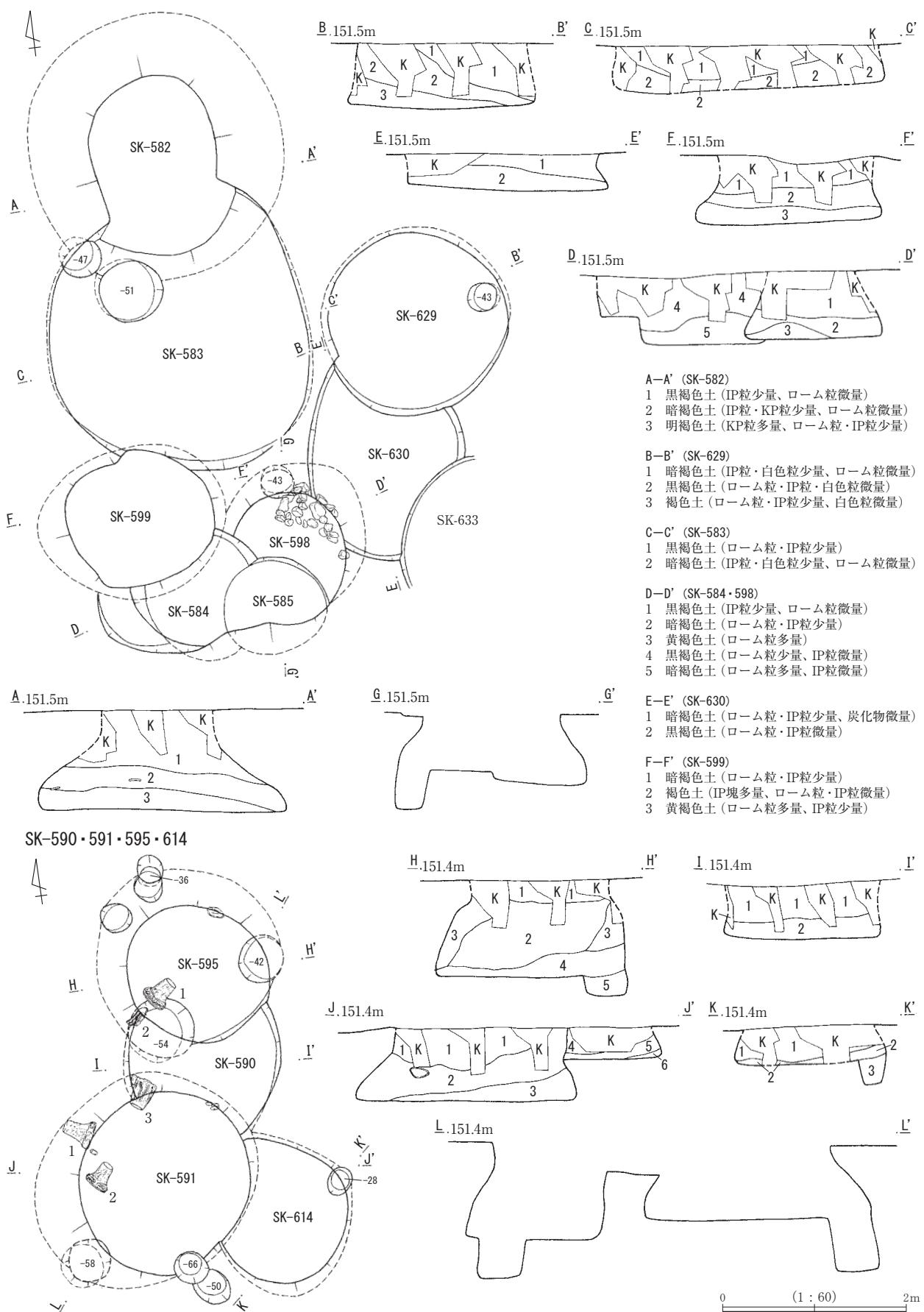
第75図 SK-550~553・558・564・567~570 実測図

SK-572~575 · 586



第76図 SK-572~581・586・603 実測図

SK-582~585・598・599・629・630



第77図 SK-582~585・590・591・595・598・599・614・629・630 実測図

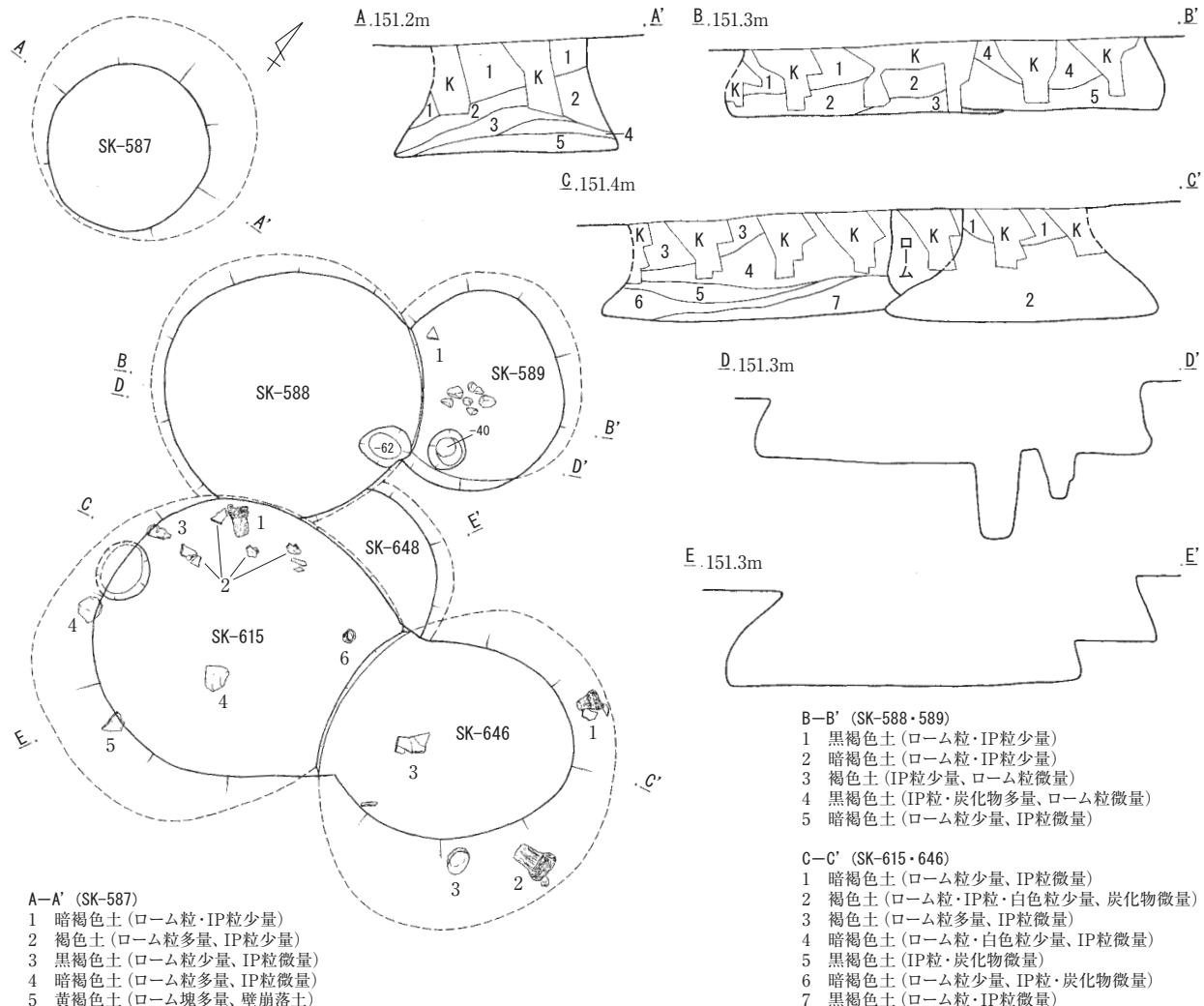
H-H' (SK-595)
 1 褐色土(ローム粒多量、IP粒少量)
 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒・白色粒少量)
 3 黄褐色土(ローム塊少量、壁崩落土)
 4 暗褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)
 5 明黄褐色土(KP粒多量)

I-I' (SK-590)
 1 黑褐色土(IP粒少量、ローム粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒・IP粒少量)

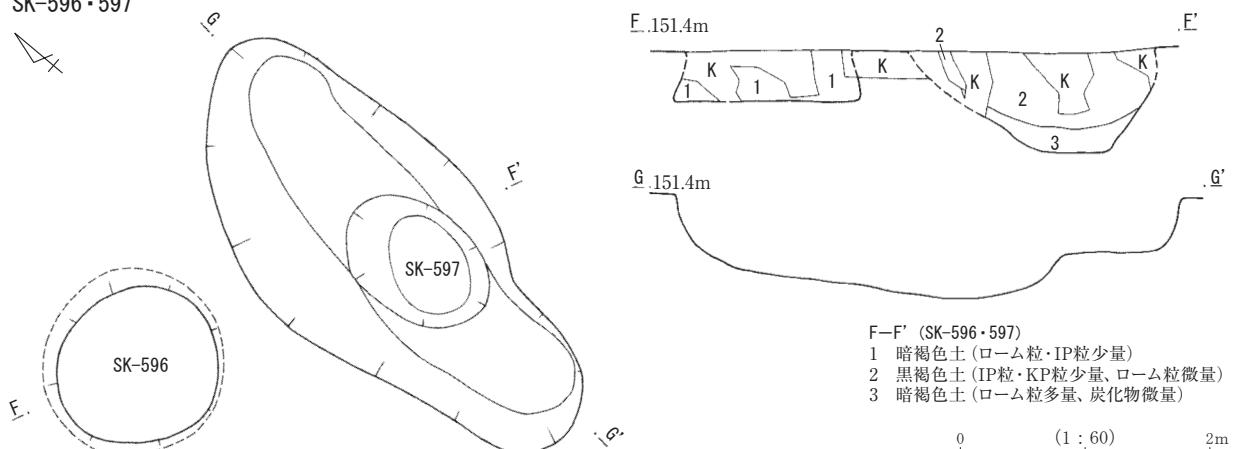
J-J' (SK-591・614)
 1 暗褐色土(ローム粒・IP粒多量)
 2 黑褐色土(ローム粒・IP粒少量)
 3 褐色土(ローム粒多量、IP粒・KP粒少量)
 4 黑褐色土(ローム粒・IP粒・白色粒微量)
 5 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 6 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)

K-K' (SK-614)
 1 黑褐色土(ローム・IP粒・白色粒微量)
 2 暗褐色土(ローム粒少量、IP粒微量)
 3 褐色土(ローム粒多量、IP粒微量)

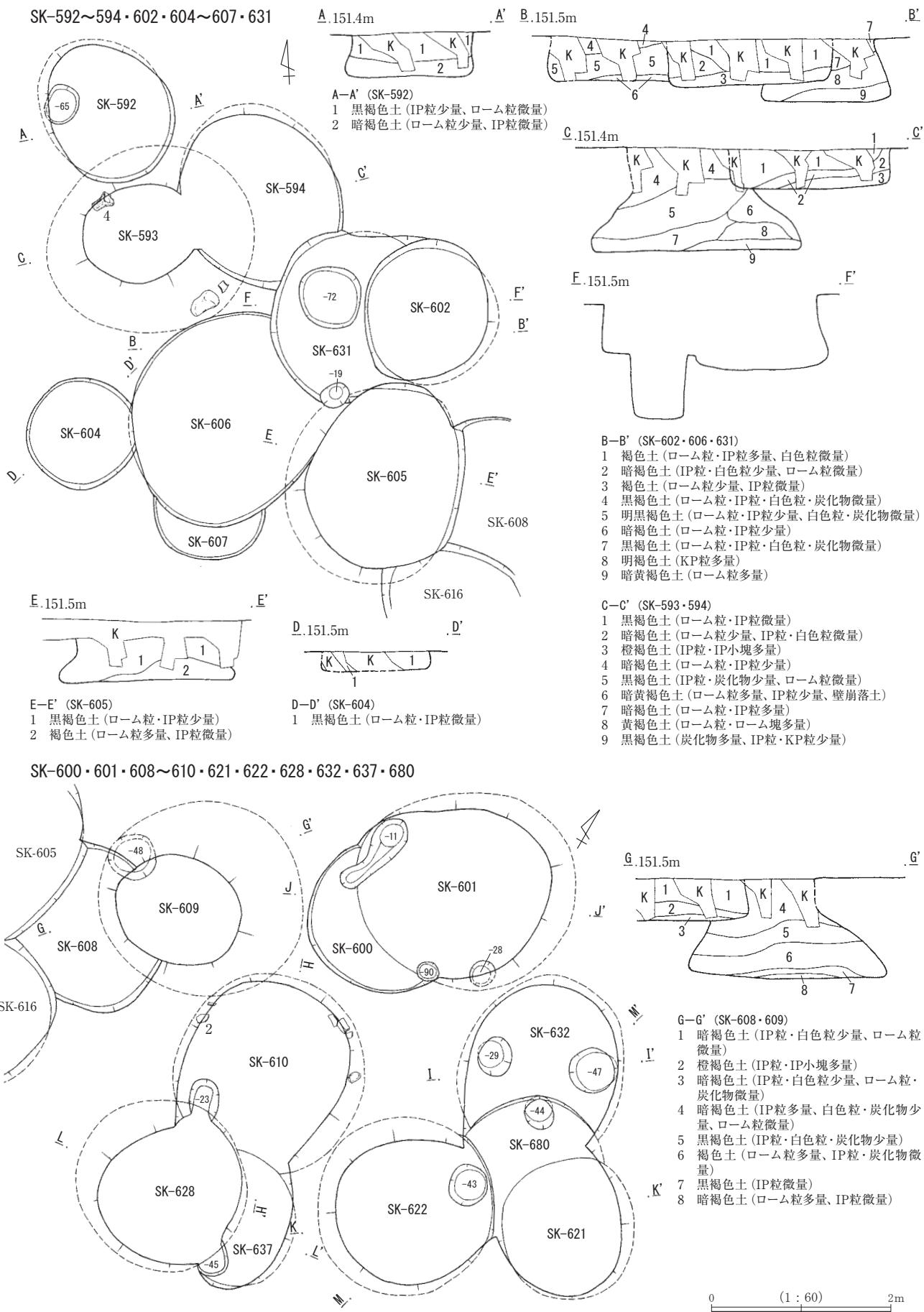
SK-587~589・615・646・648



SK-596・597

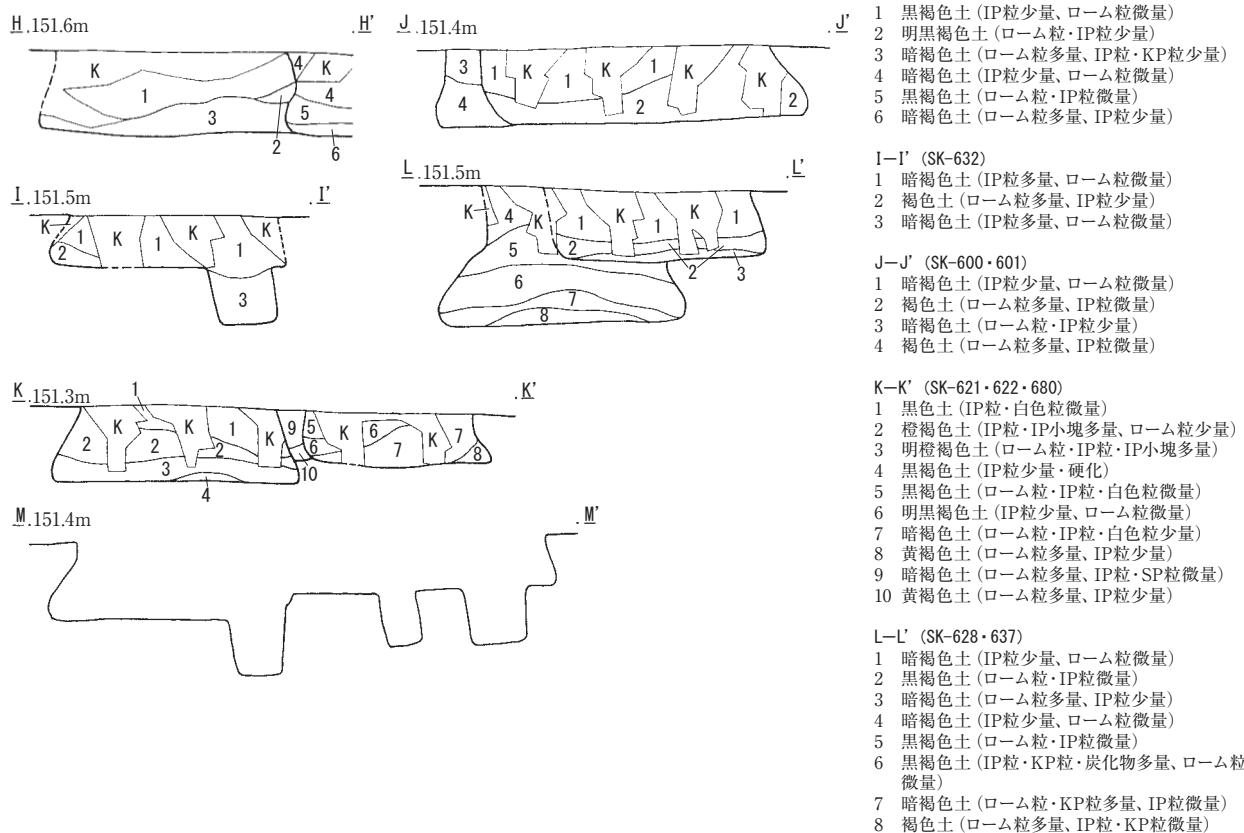


第78図 SK-587~589・596・597・615・646・648 実測図

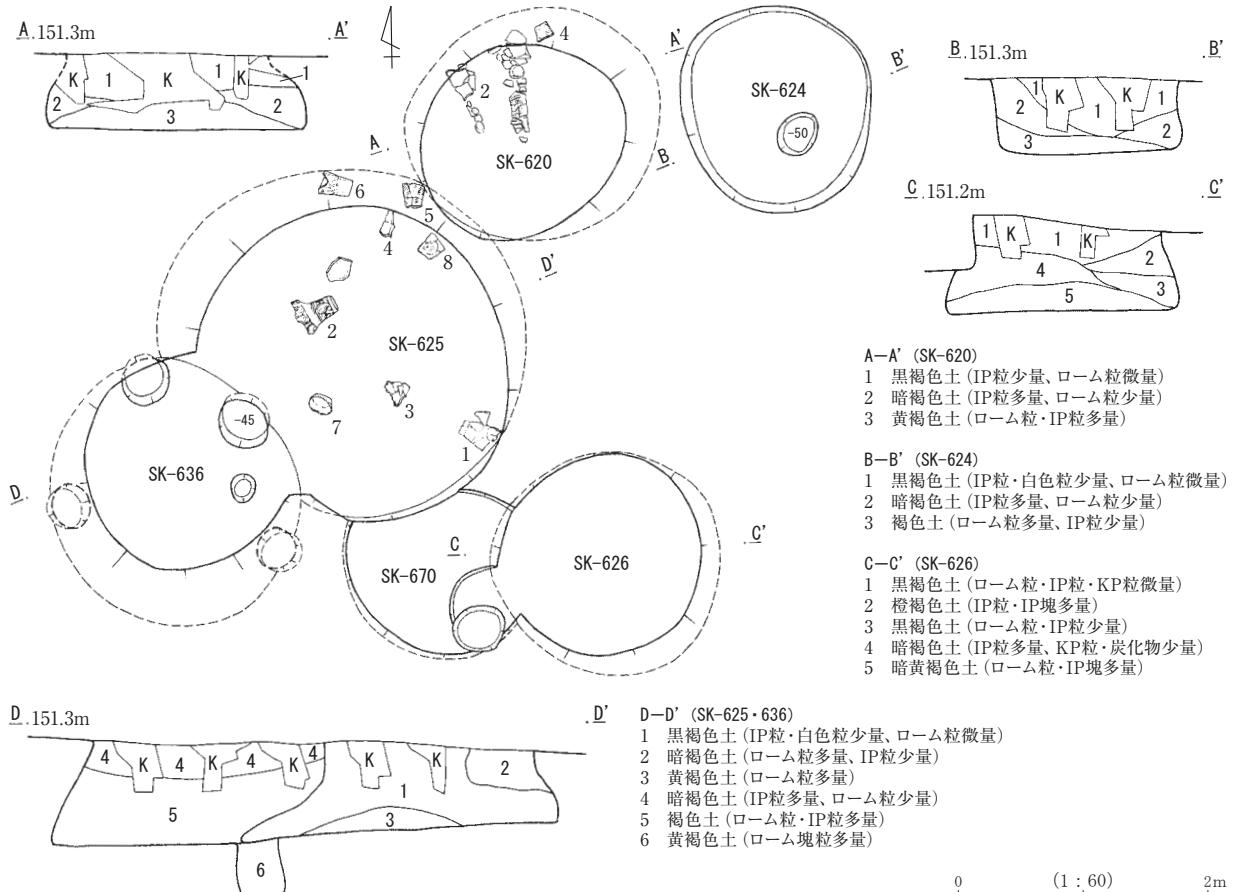


第79図 SK-592~594・600~602・604~610・621・622・628・631・632・637・680 実測図

SK-600・601・610・621・622・628・632・637・680

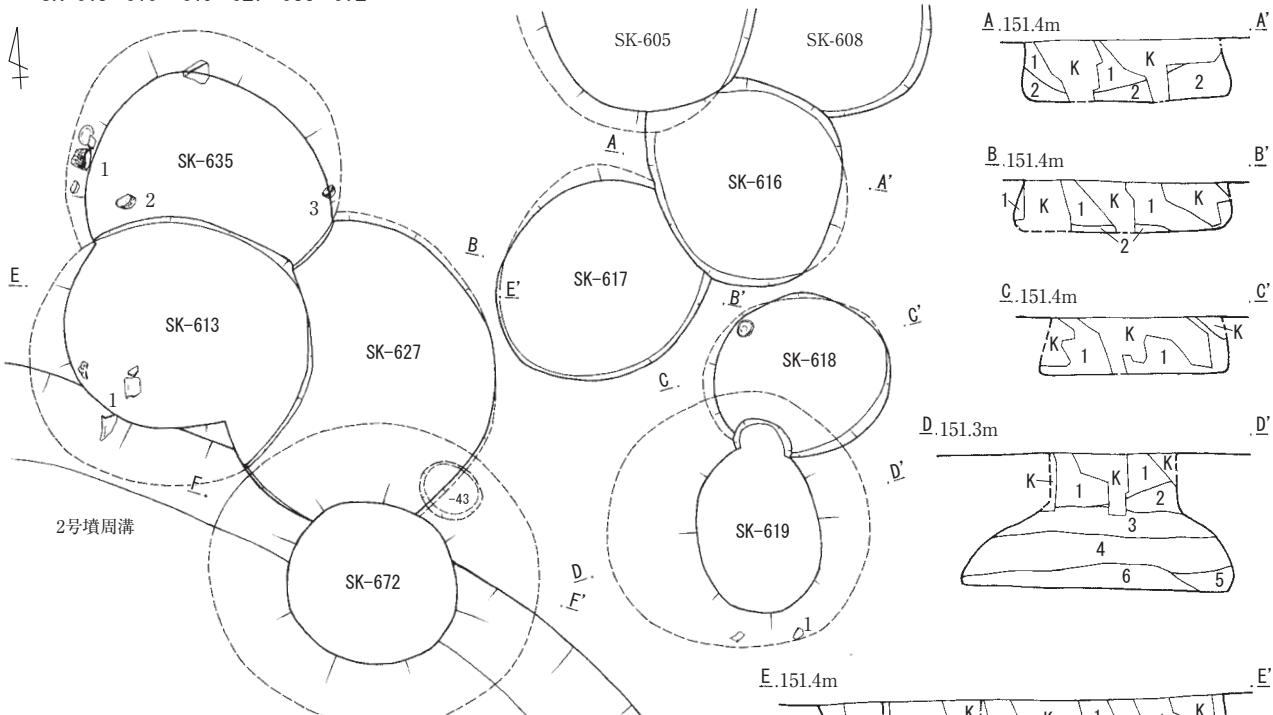


SK-620・624~626・636・670



第80図 SK-600・601・610・620~622・624~626・628・632・636・637・670・680 実測図

SK-613・616～619・627・635・672



A-A' (SK-616)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒・白色粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)

B-B' (SK-617)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量・白色粒・ローム粒微量)
2 黄褐色土 (ローム粒多量)

C-C' (SK-618)

- 1 暗褐色土 (IP粒多量・ローム粒微量)

D-D' (SK-619)

- 1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量・壁崩落土)
3 明黒褐色土 (IP粒少量・IP粒多量・ローム粒微量)
4 黑褐色土 (炭化物多量・IP粒・KP粒少量・硬化)
5 暗褐色土 (IP粒・KP粒多量)
6 黄褐色土 (ローム粒・KP粒多量・硬化)

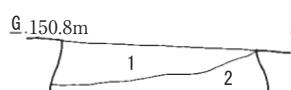
E-E' (SK-613・627・635)

- 1 黒褐色土 (IP粒・白色粒少量・ローム粒微量)
2 橙褐色土 (IP粒・IP塊多量)
3 暗黄褐色土 (ローム粒・IP塊多量)
4 黑褐色土 (IP粒多量・ローム粒微量)
5 明黒褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
6 暗褐色土 (IP粒多量・ローム少量)
7 褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
8 暗褐色土 (IP粒・KP粒少量・ローム粒微量)

F-F' (SK-672)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量・ローム粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
3 黄褐色土 (ローム塊多量・IP粒少量)
4 明褐色土 (ローム塊・IP粒多量)

SK-642・652・653・664



G-G' (SK-642)

- 1 黒褐色土 (IP粒・ローム粒少量)
2 黄褐色土 (ローム粒多量・IP粒微量)

H-H' (SK-652)

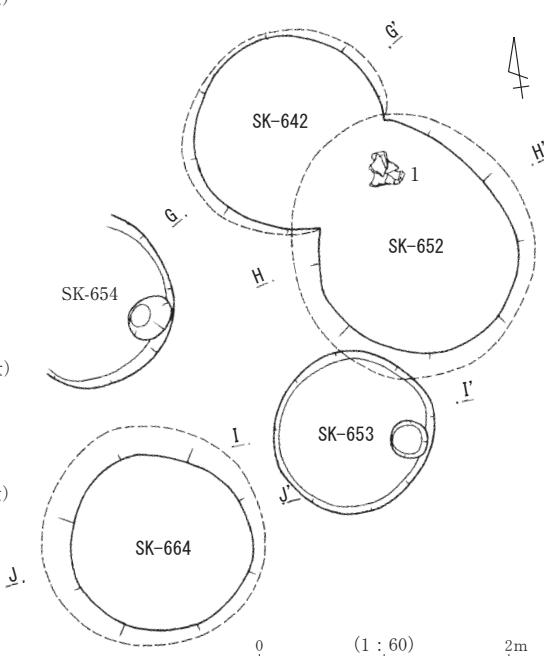
- 1 黒褐色土 (IP粒・SP粒少量・ローム粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒多量・IP粒・SP粒少量)
3 黑褐色土 (IP塊多量)
4 黑褐色土 (IP粒少量・ローム粒少量)
5 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
6 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量・壁崩落土)
7 黑褐色土 (ローム粒・炭化物多量・IP粒少量)

I-I' (SK-653)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量・ローム粒微量)
2 黄褐色土 (ローム塊多量)

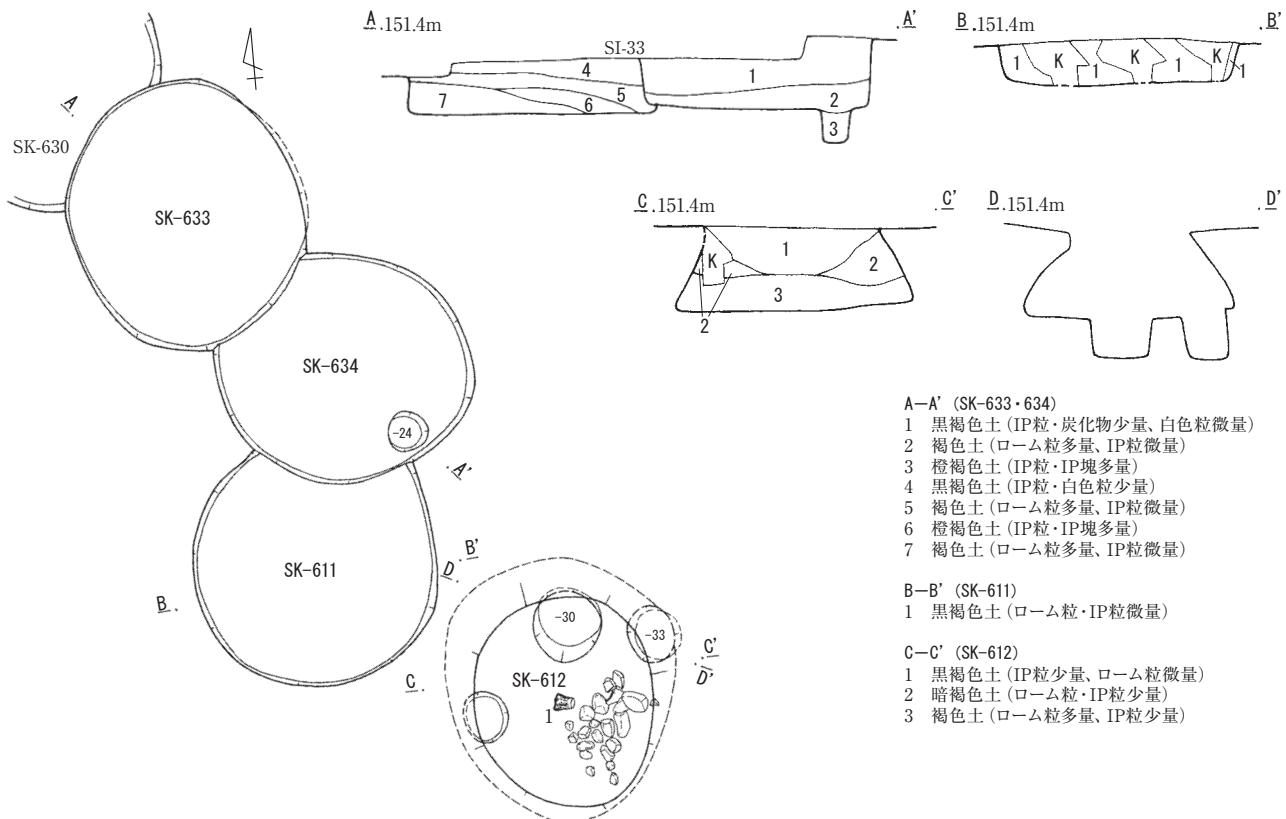
J-J' (SK-664)

- 1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 褐色土 (ローム粒・IP粒多量)
3 黄褐色土 (ローム塊多量・IP塊少量)



第81図 SK-613・616～619・627・635・642・652・653・664・672 実測図

SK-611・612・633・634



E-E' (SK-639)

- 1 黒色土 (ローム粒・IP粒・白色粒・炭化物微量)
- 2 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 3 明黒褐色土 (IP粒・炭化物少量、ローム粒微量)
- 4 明褐色土 (IP粒多量、ローム粒少量)
- 5 黒褐色土 (IP粒・炭化物少量)
- 6 暗黄褐色土 (ローム粒多量)
- 7 褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)

F-F' (SK-640)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
- 2 黄褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

G-G' (SK-641)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒微量)
- 2 黄褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

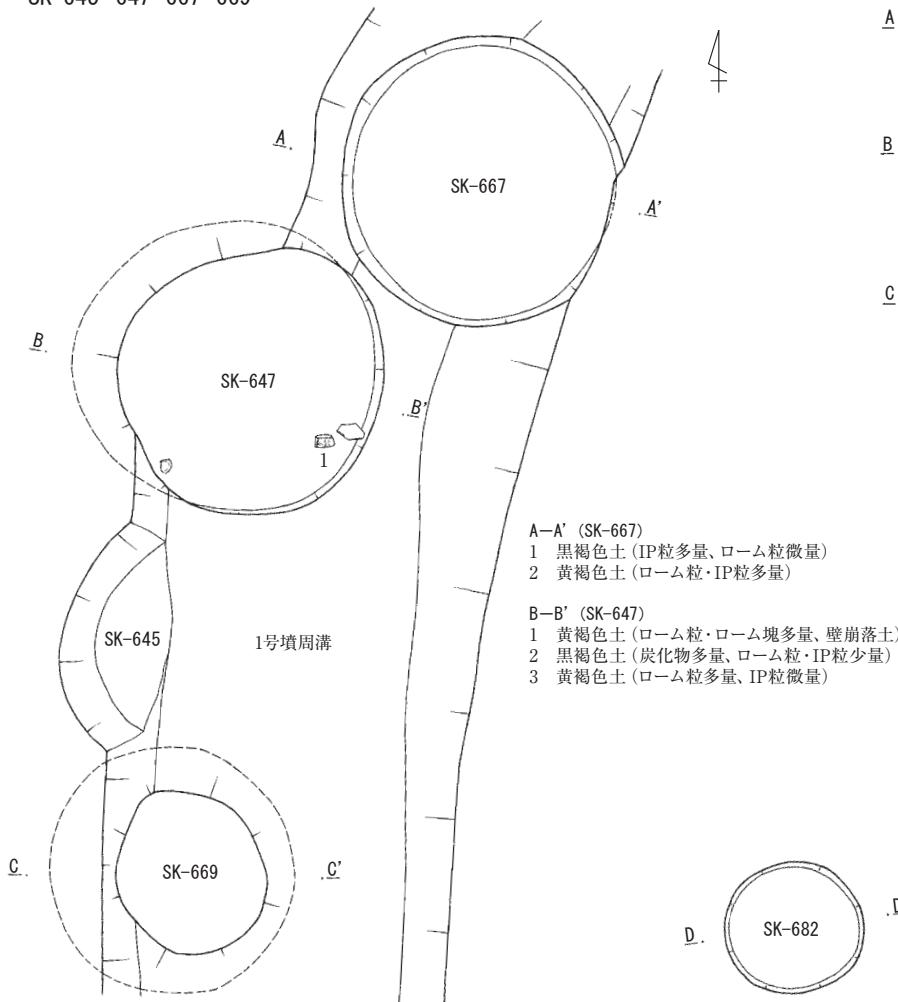
H-H' (SK-673)

- 1 黒褐色土 (IP粒・SP粒少量、ローム粒微量)
- 2 明黒褐色土 (IP粒多量、ローム粒微量)
- 3 黄褐色土 (ローム粒多量)
- 4 橙褐色土 (IP粒・IP塊多量)
- 5 黄褐色土 (ローム塊多量)
- 6 暗褐色土 (IP粒多量、ローム粒微量)
- 7 暗橙褐色土 (IP塊多量)
- 8 橙褐色土 (ローム塊・IP塊多量)
- 9 黄褐色土 (ローム塊多量)

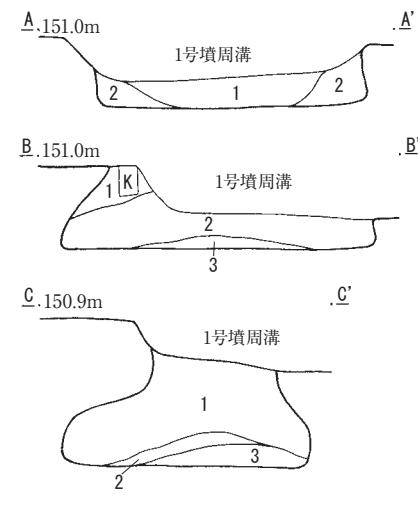
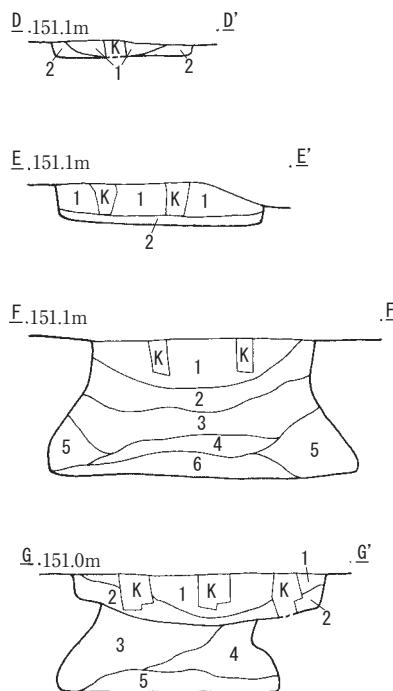
0 (1 : 60) 2m

第82図 SK-611・612・633・634・639~641・673 実測図

SK-645・647・667・669

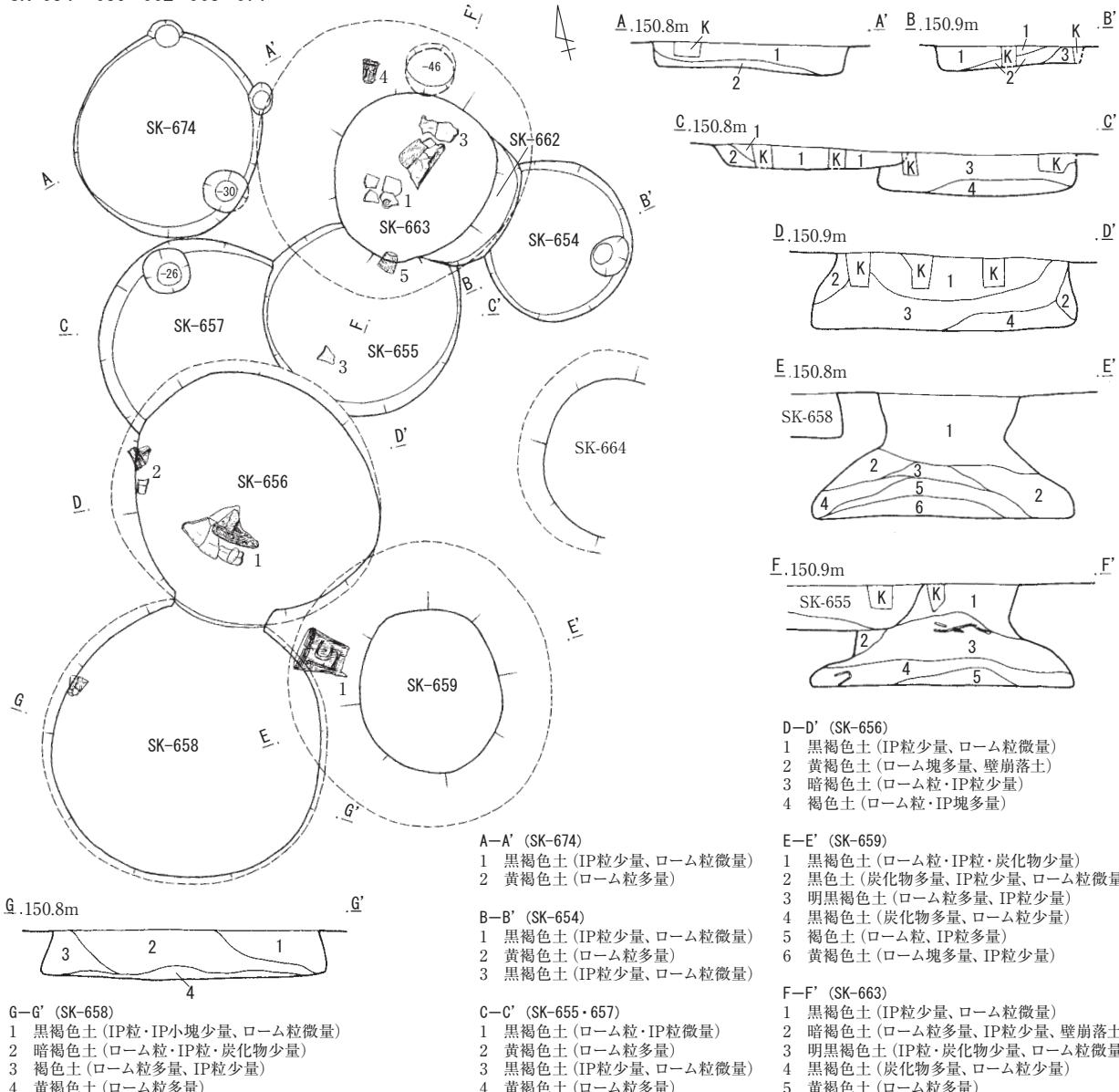


SK-671・676・677・681・682

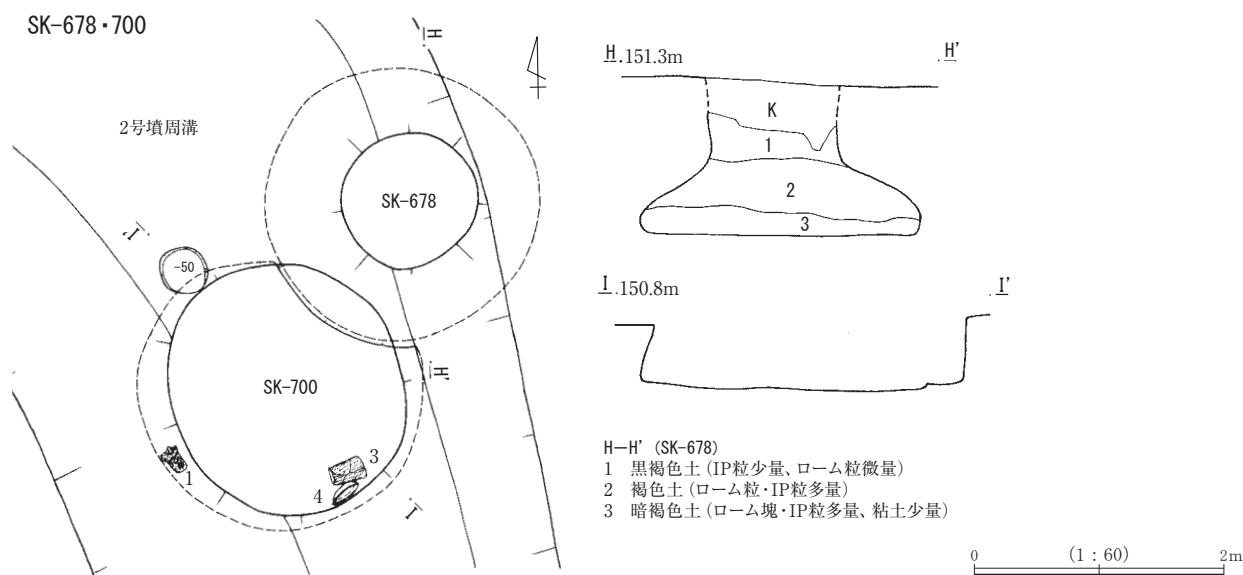


第83図 SK-645・647・667・669・671・676・677・681・682 実測図

SK-654~659・662・663・674

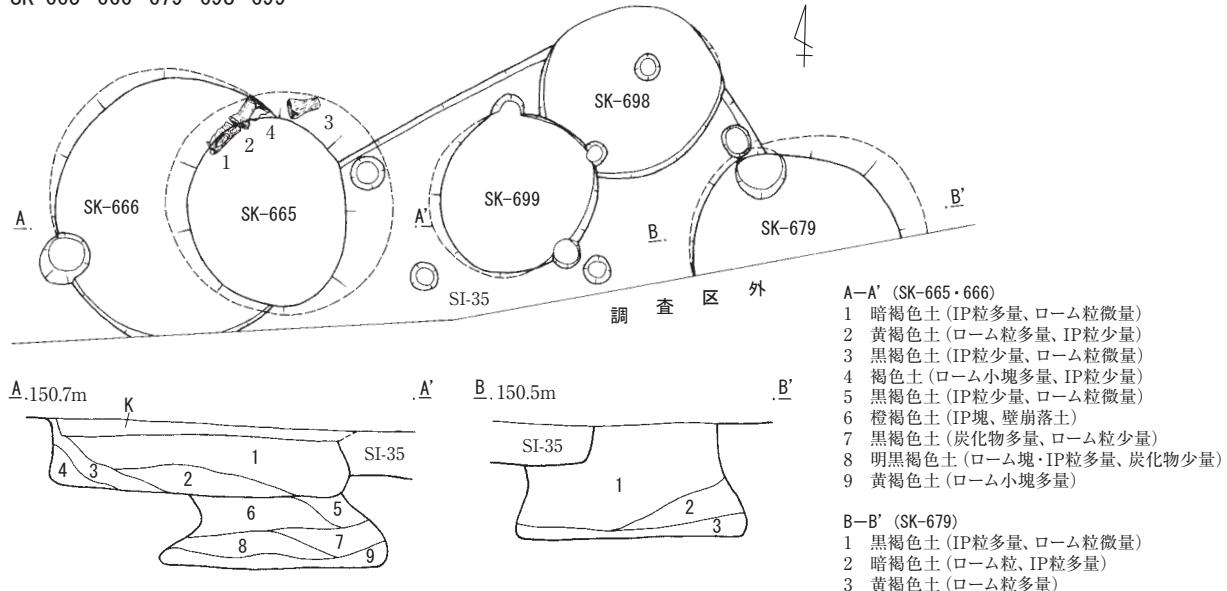


SK-678・700

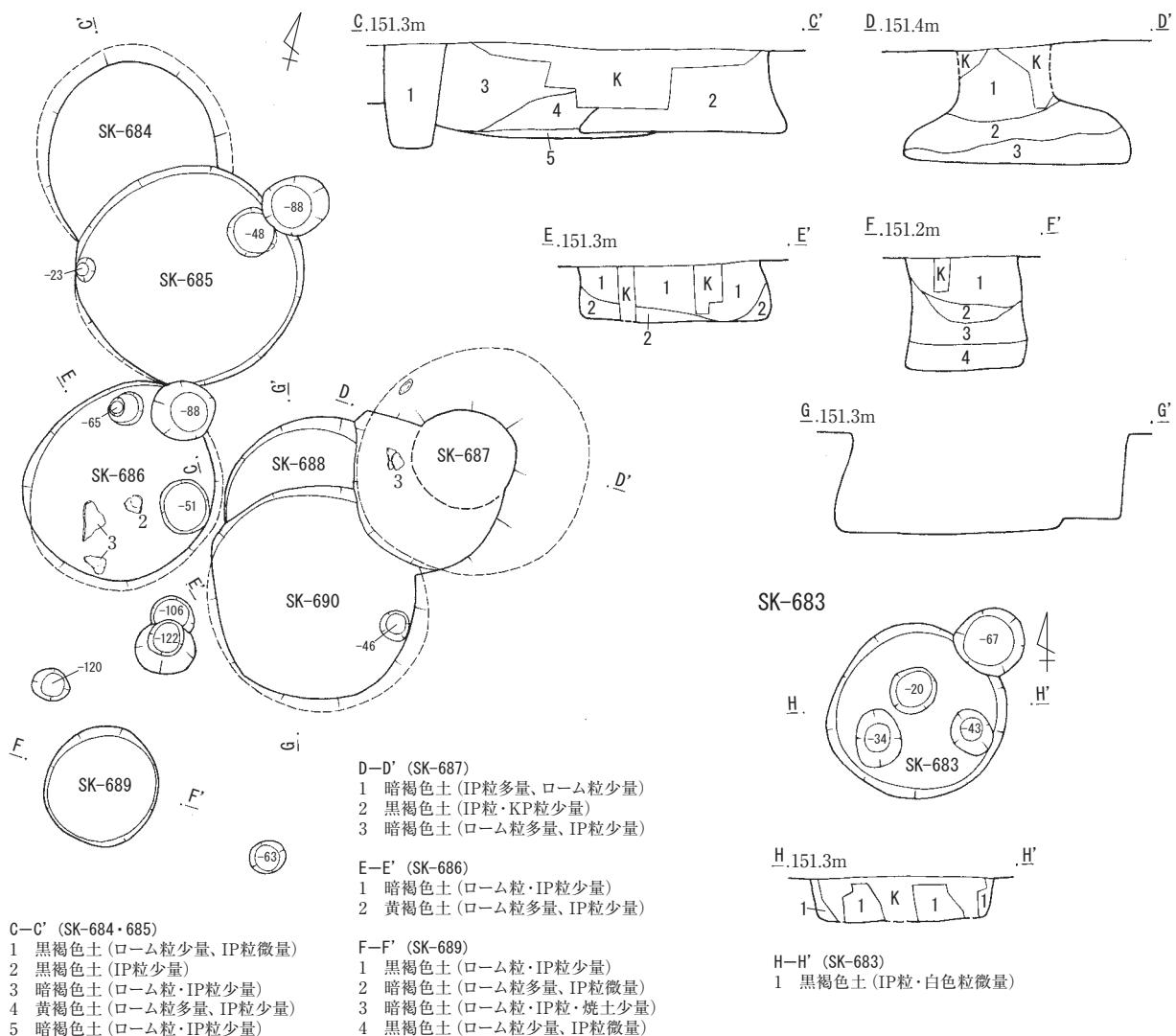


第84図 SK-654~659・662・663・674・678・700 実測図

SK-665・666・679・698・699

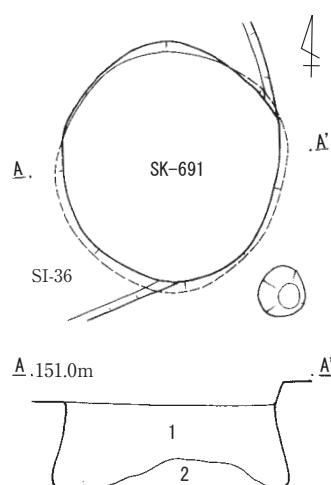


SK-684~690



第85図 SK-665・666・679・683~690・698・699 実測図

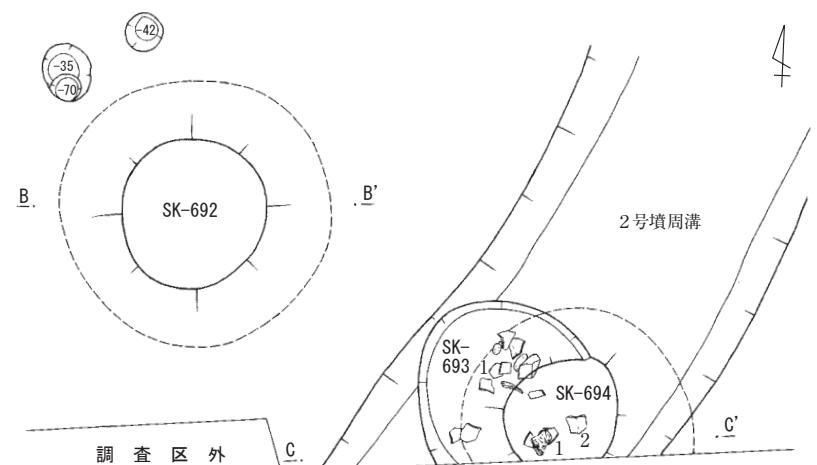
SK-691



A-A' (SK-691)

- 1 黒褐色土 (IP粒少量、ローム粒微量)
2 黄褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

SK-692~694



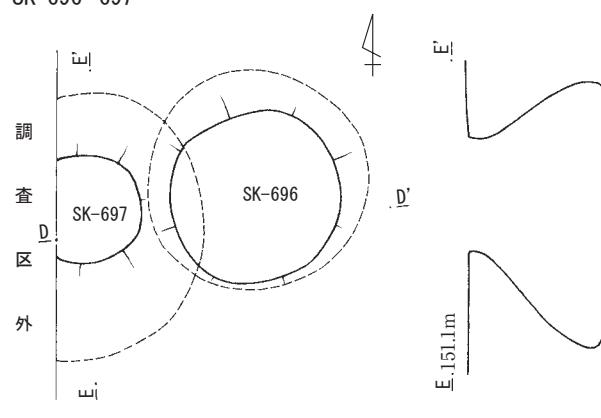
B-B' (SK-692)

- 1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 黄褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)
3 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)
4 黄褐色土 (ローム粒多量)

C-C' (SK-693・694)

- 1 黒褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)
3 黒褐色土 (炭化物多量、ローム粒・IP粒少量)

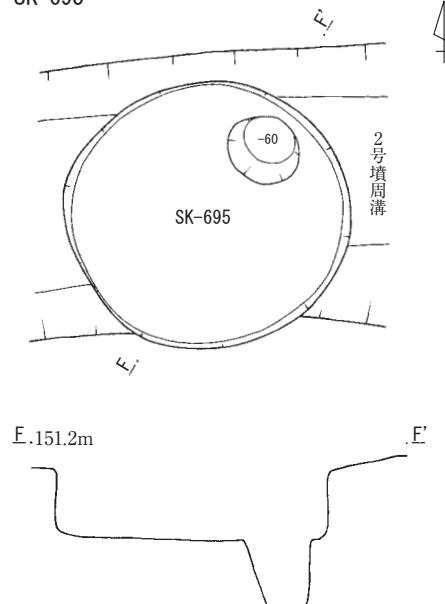
SK-696・697



D-D' (SK-696・697)

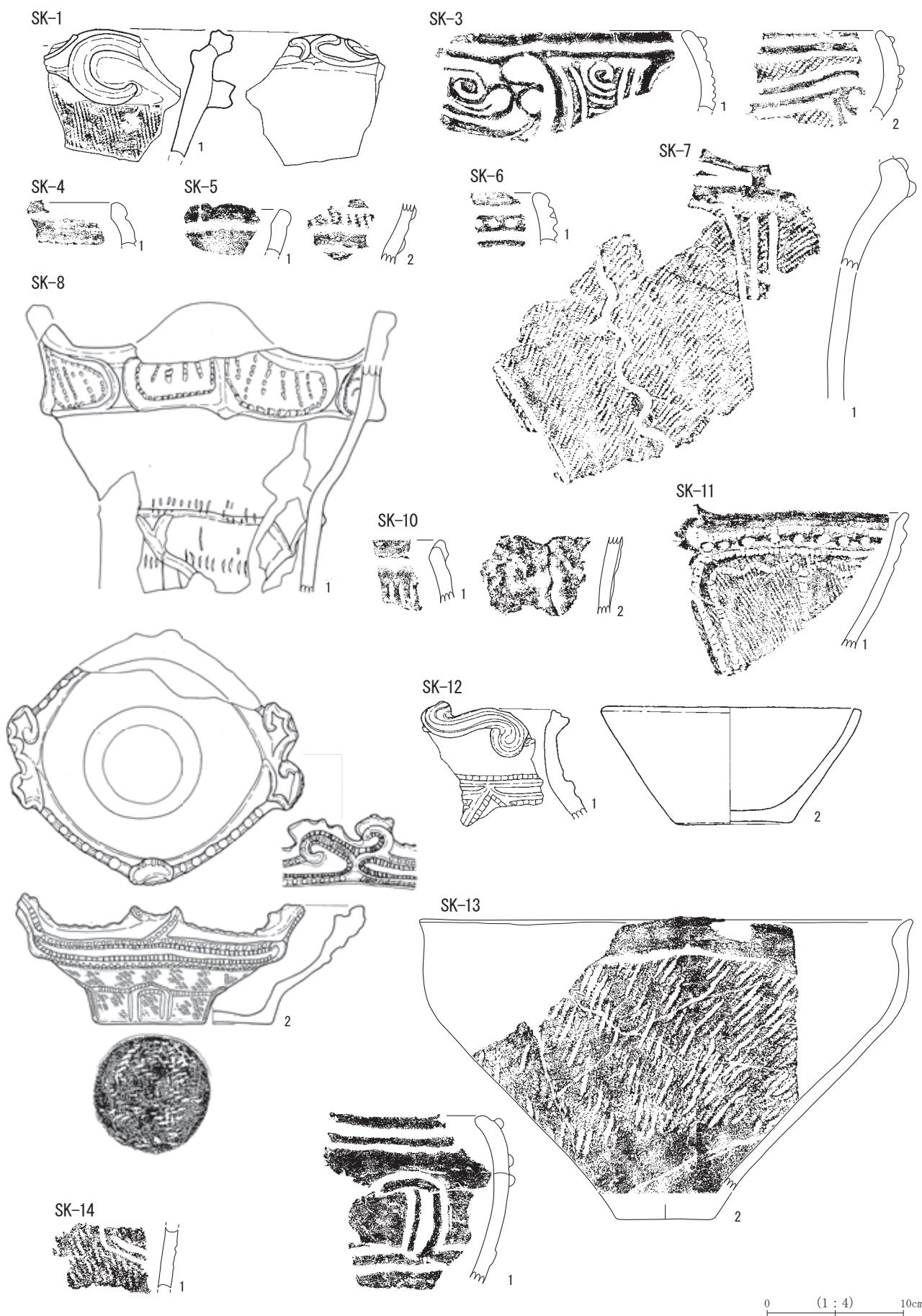
- 1 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
2 黄褐色土 (ローム粒・ローム塊多量)
3 暗褐色土 (ローム粒・IP粒少量)
4 黑褐色土 (ローム粒少量、IP粒微量)
5 黄褐色土 (ローム粒多量、IP粒微量)

SK-695

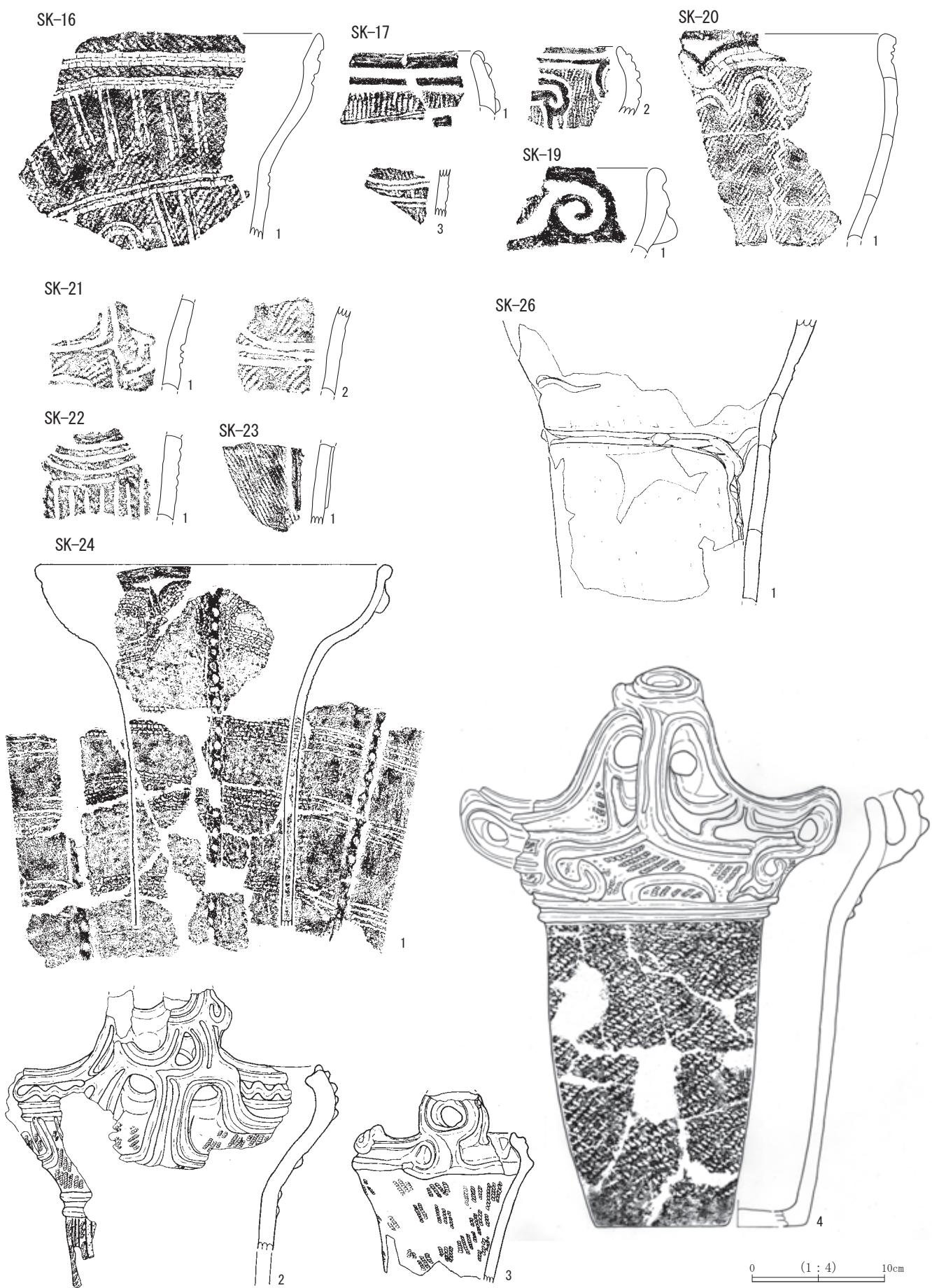


0 (1 : 60) 2m

第86図 SK-691~697 実測図

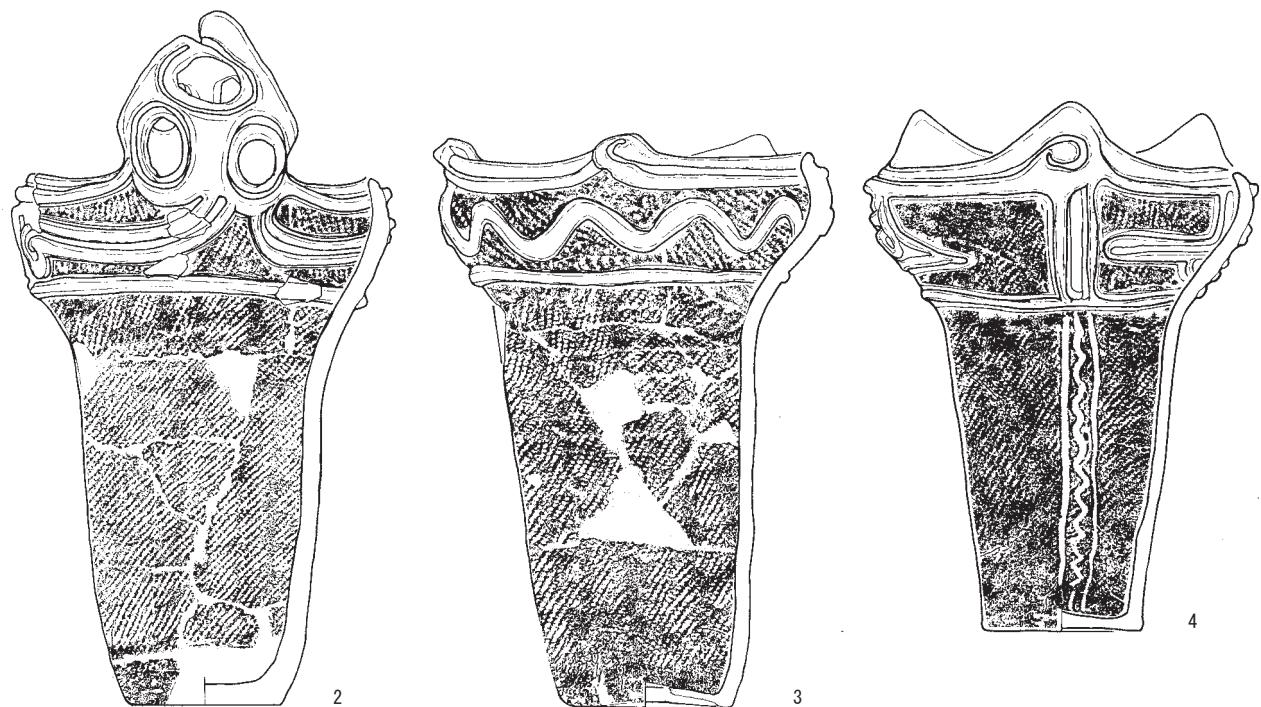
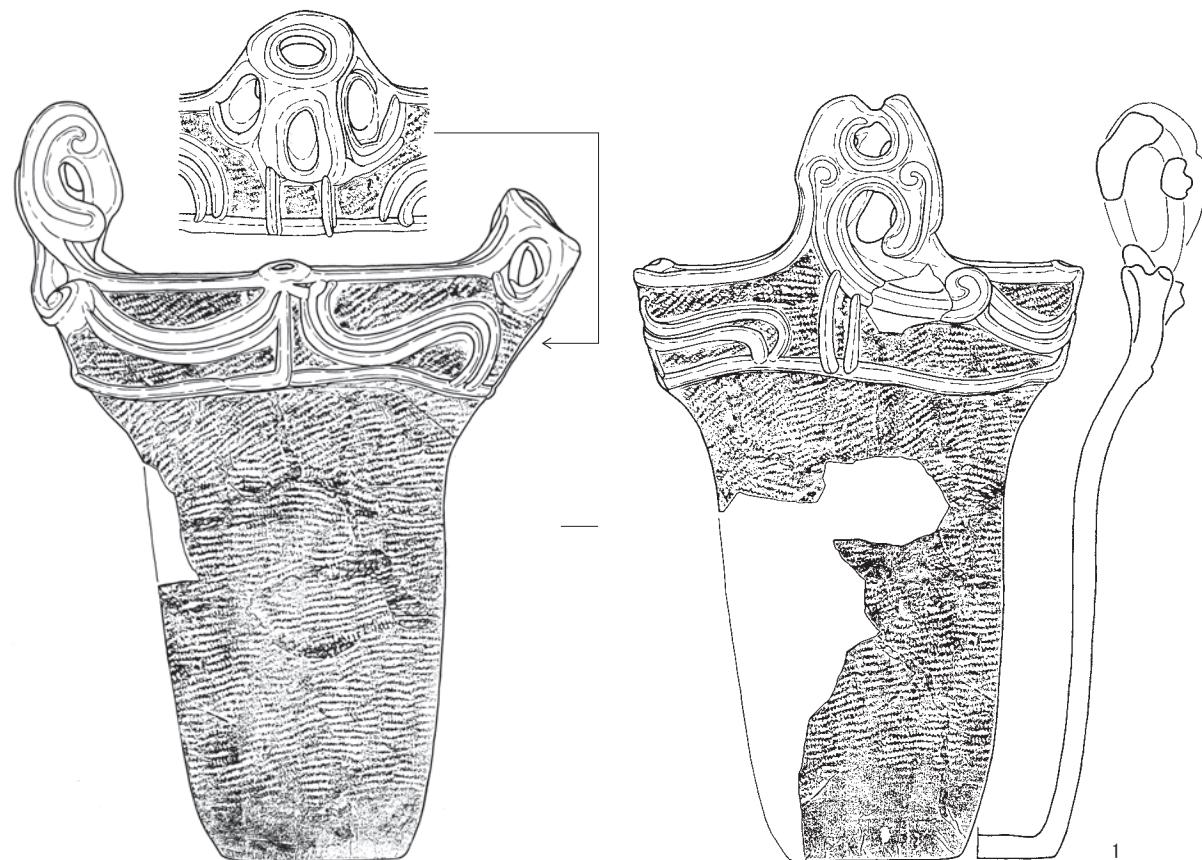


第87図 SK-1・3~8・10~14 出土土器実測図



第88図 SK-16・17・19~24・26 出土土器実測図

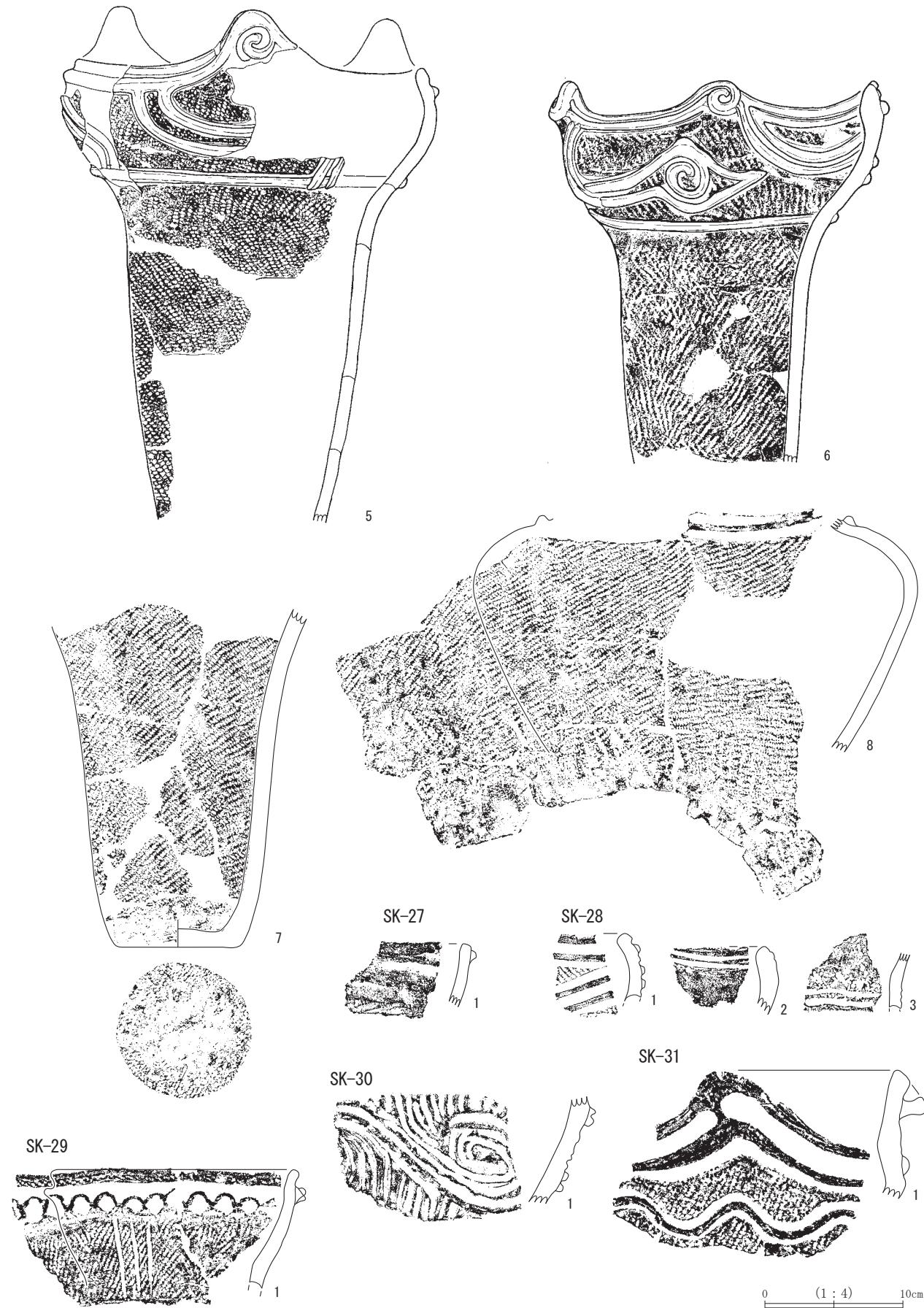
SK-25 (1)



0 (1 : 4) 10cm

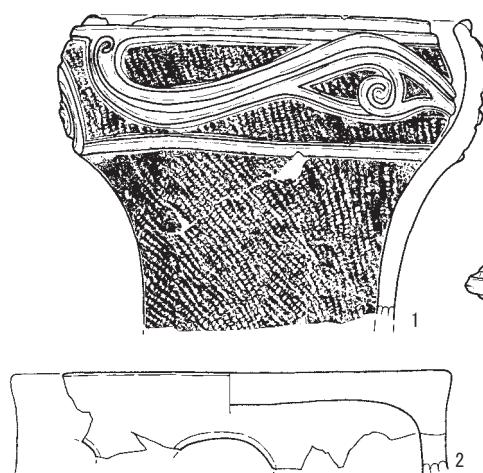
第89図 SK-25(1) 出土土器実測図

5K-25 (2)

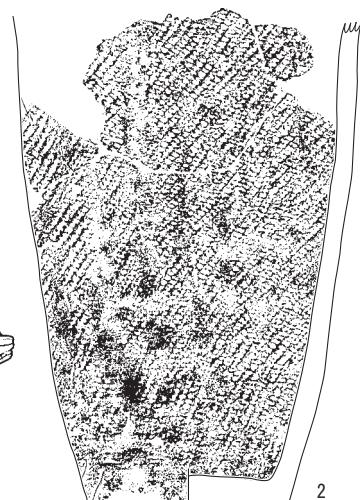
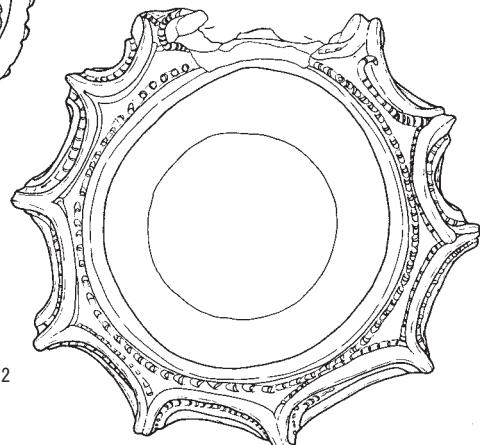


第90図 SK-25(2)・27~31 出土土器実測図

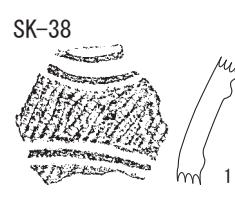
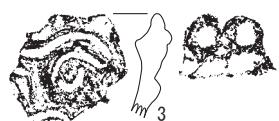
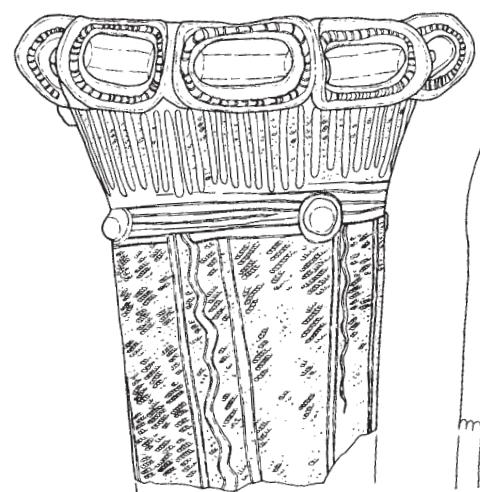
SK-35



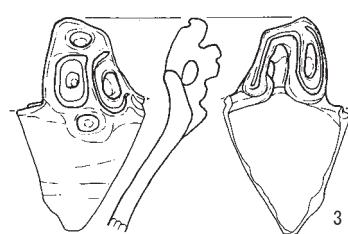
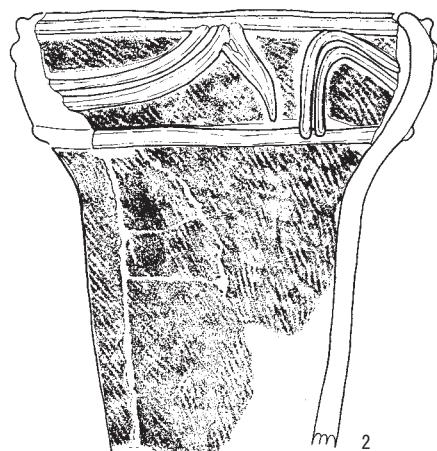
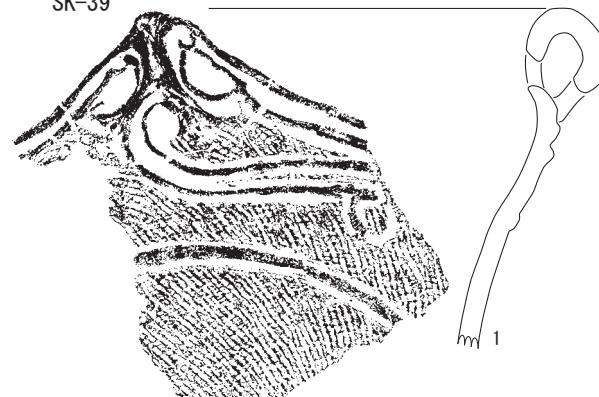
SK-36



SK-37



SK-39



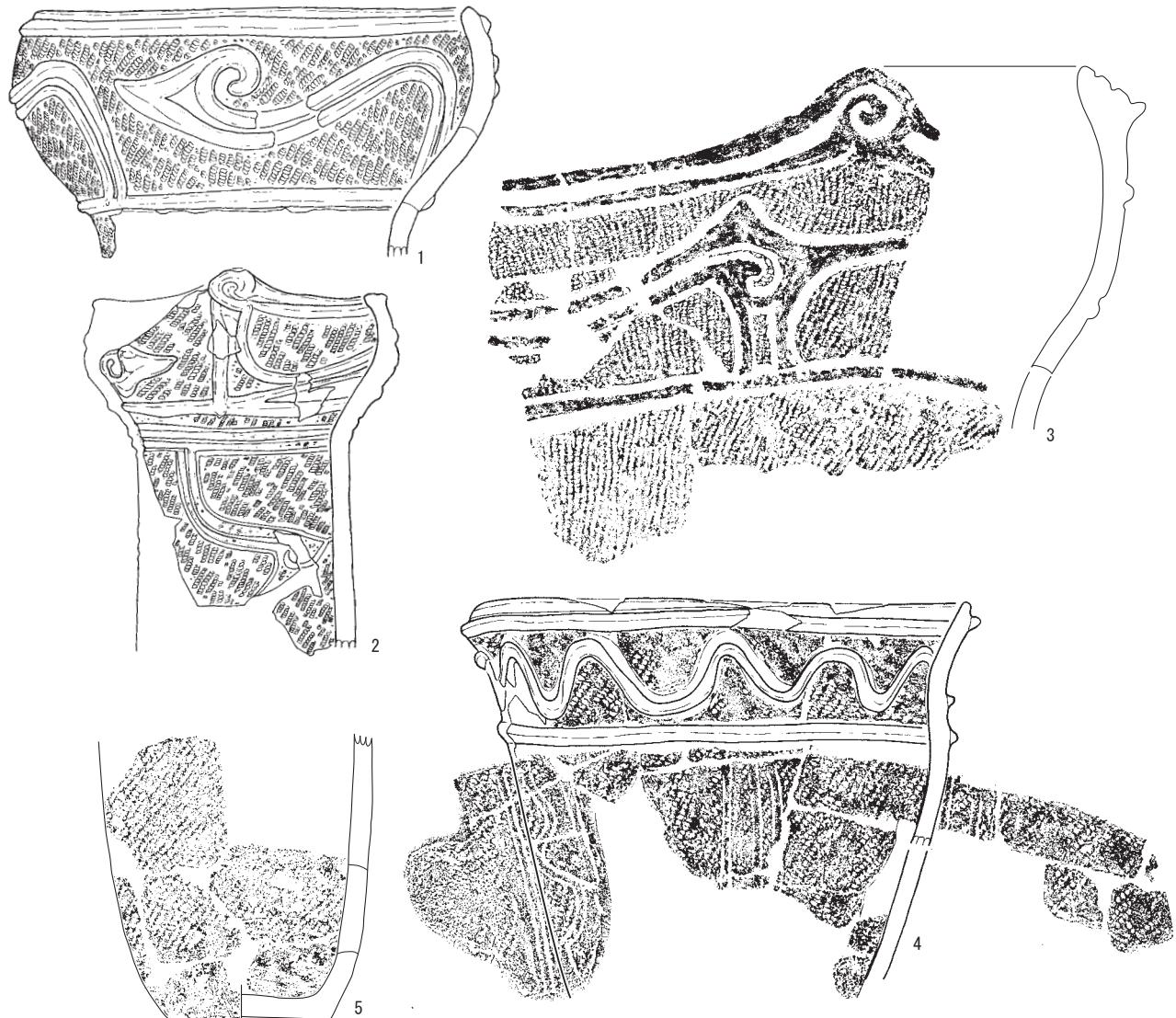
SK-40



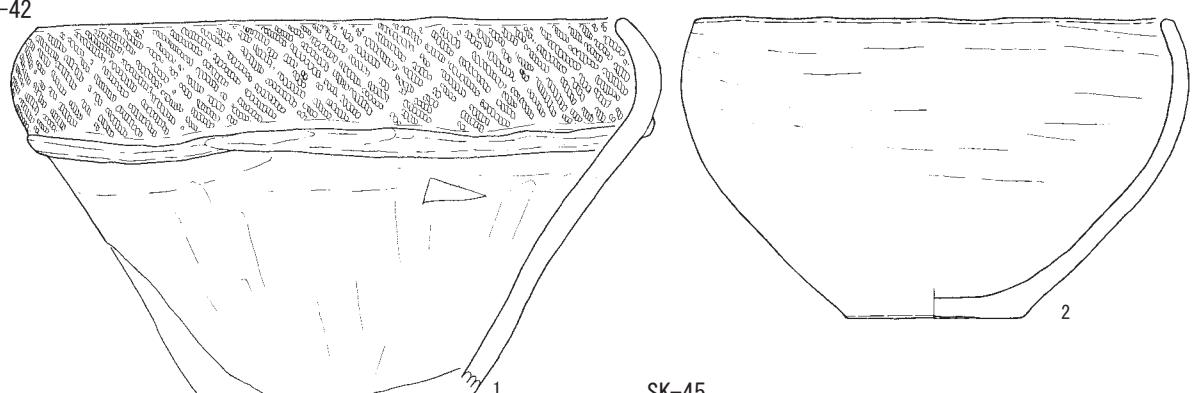
0 (1 : 4) 10cm

第91図 SK-35~40 出土土器実測図

SK-41



SK-42



SK-45



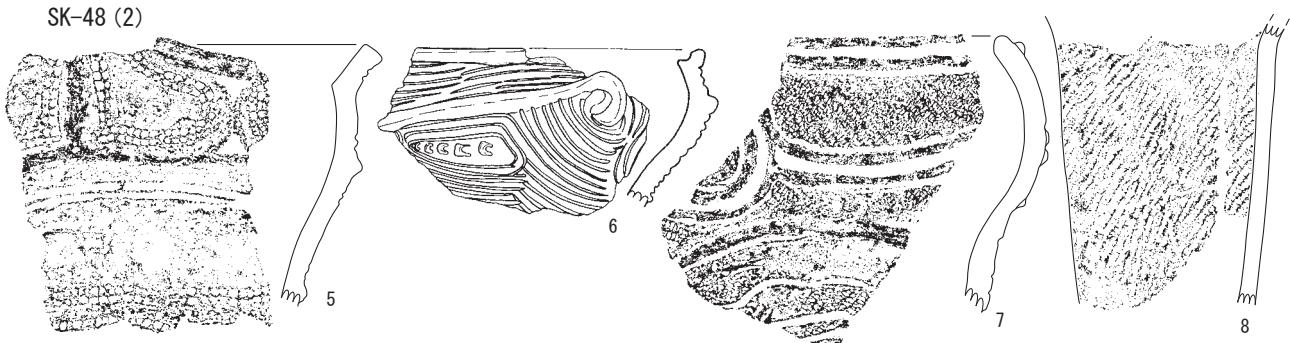
0 (1 : 4) 10cm

第92図 SK-41・42・45 出土土器実測図



第93図 SK-44・46~48(1) 出土土器実測図

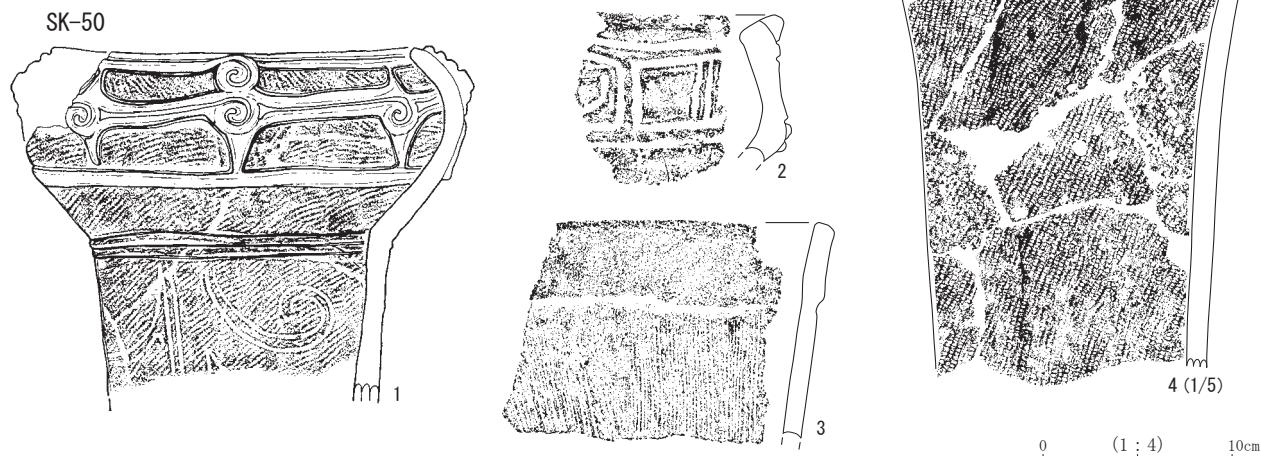
SK-48 (2)



SK-49

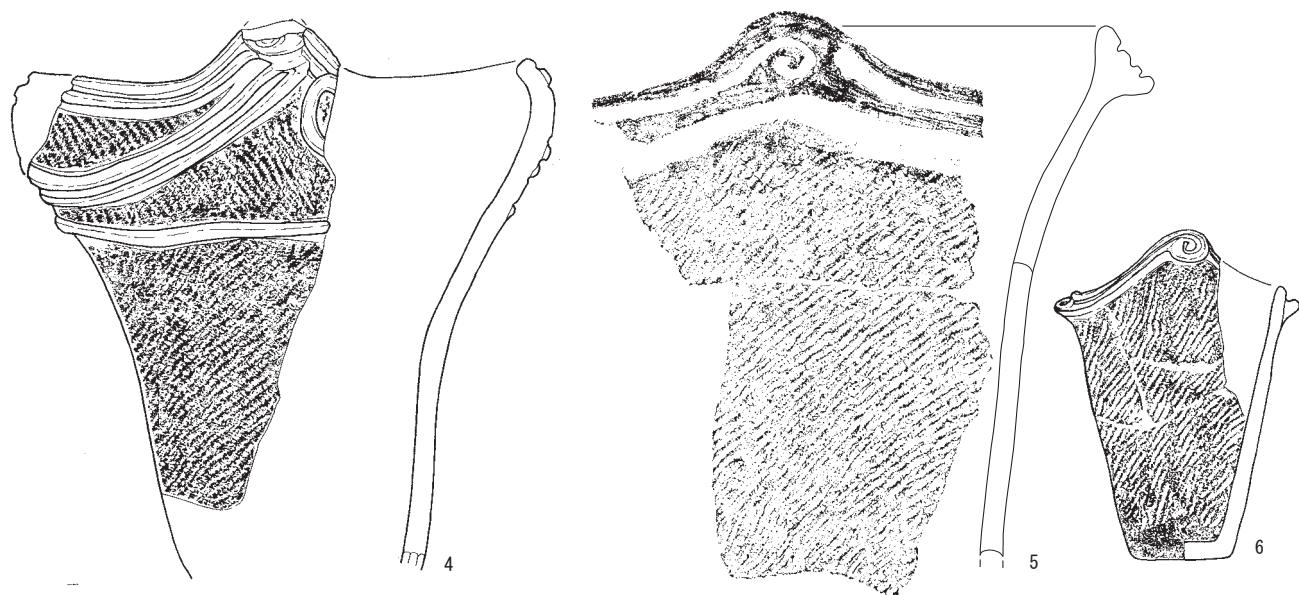
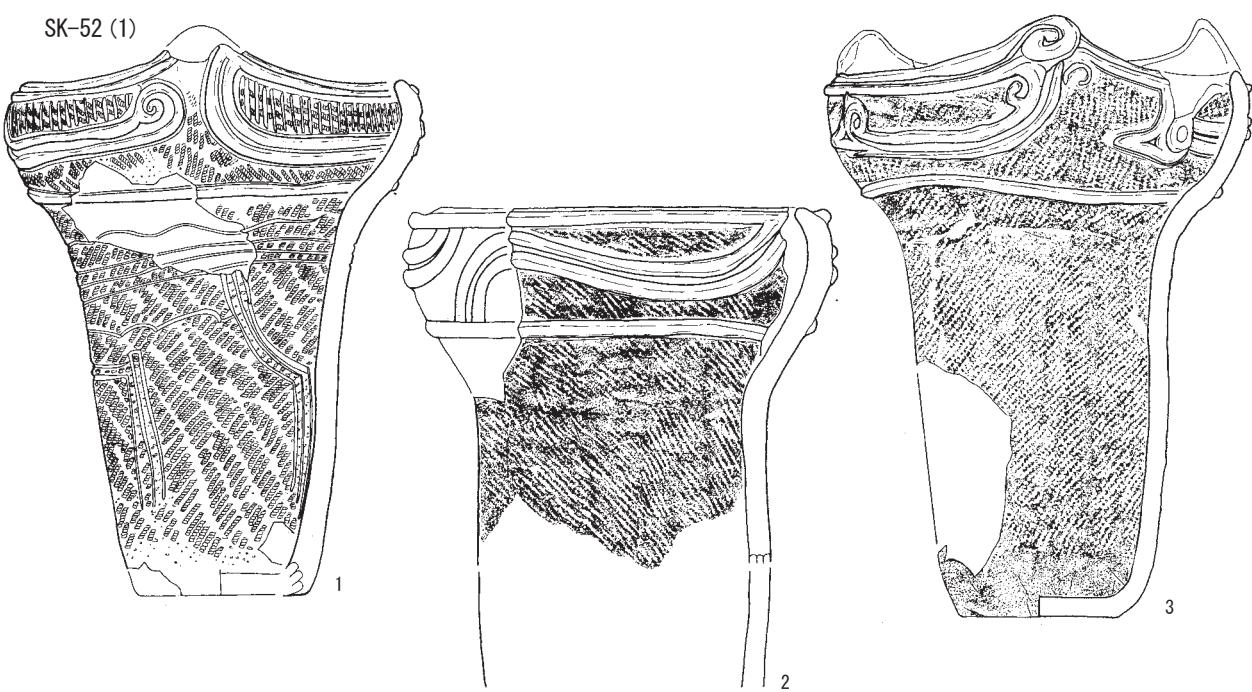
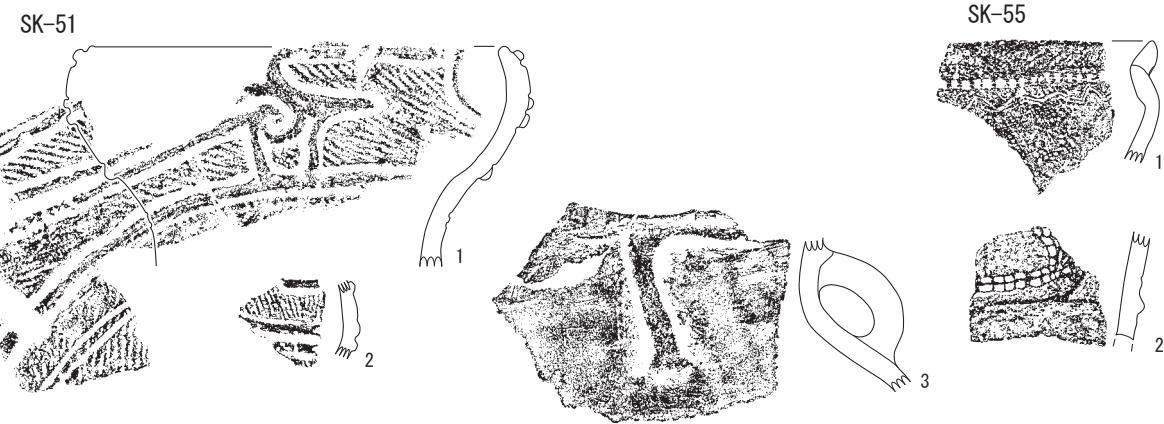


SK-50



0 (1 : 4) 10cm

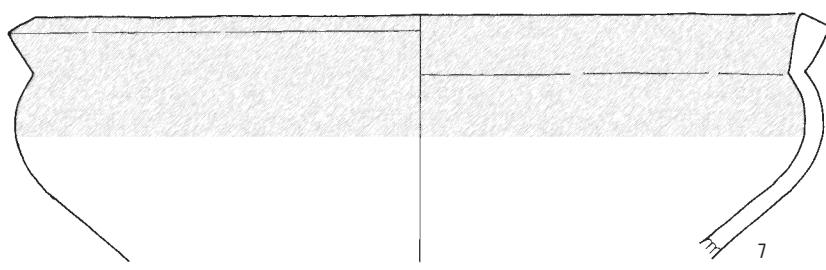
第94図 SK-48(2)～50 出土土器実測図



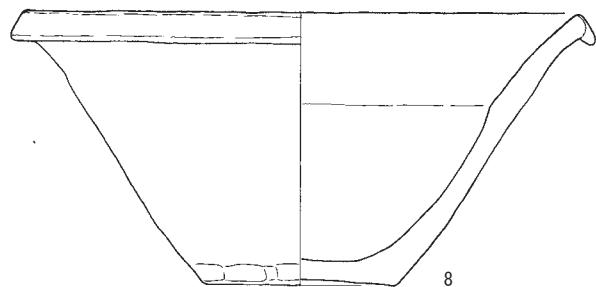
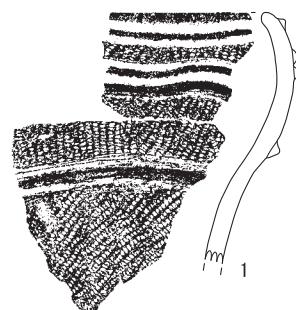
0 (1 : 4) 10cm

第95図 SK-51・52(1)・55 出土土器実測図

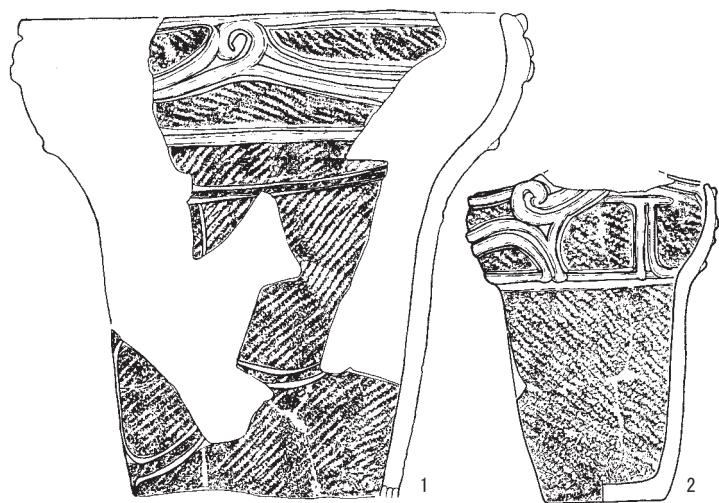
SK-52 (2)



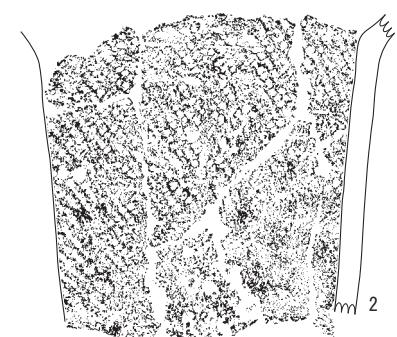
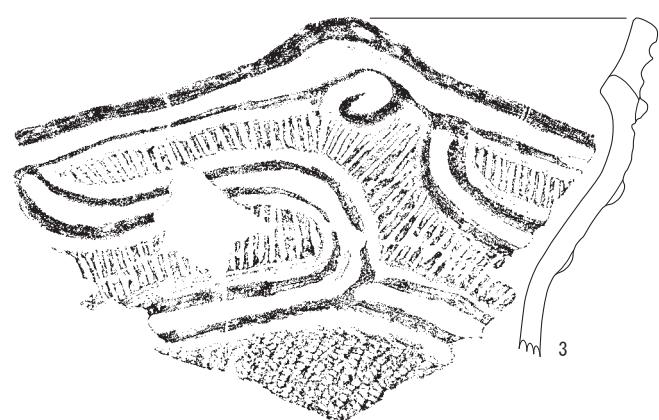
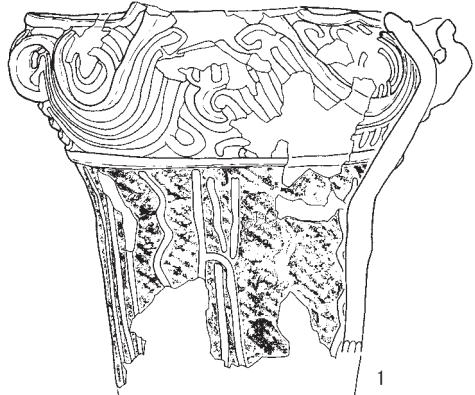
SK-59



SK-56



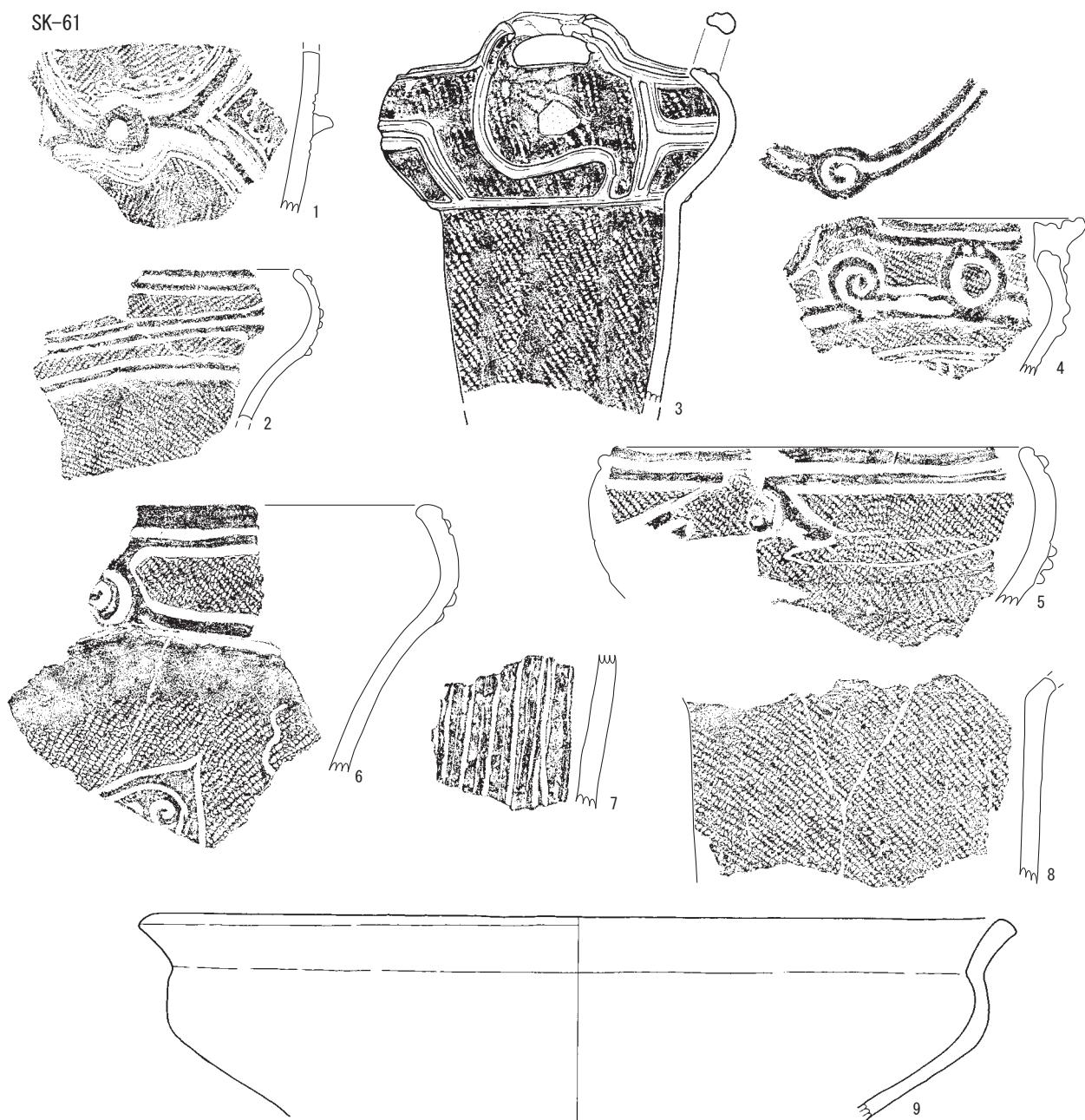
SK-60



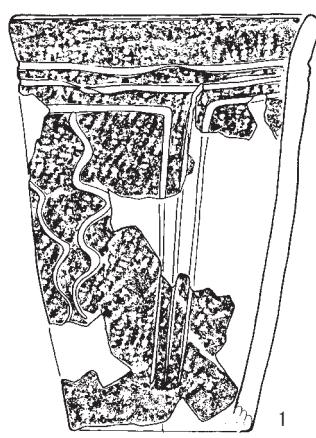
0 (1 : 4) 10cm

第96図 SK-52(2)・56・59・60 出土土器実測図

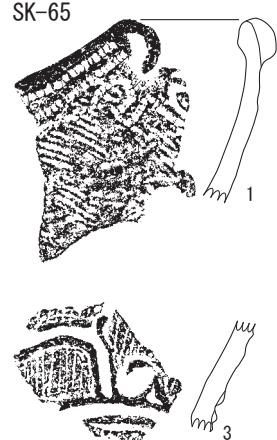
SK-61



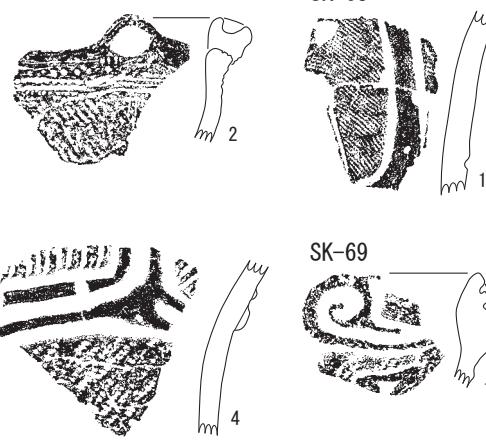
SK-62



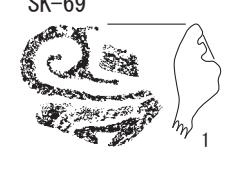
SK-65



SK-63



SK-69



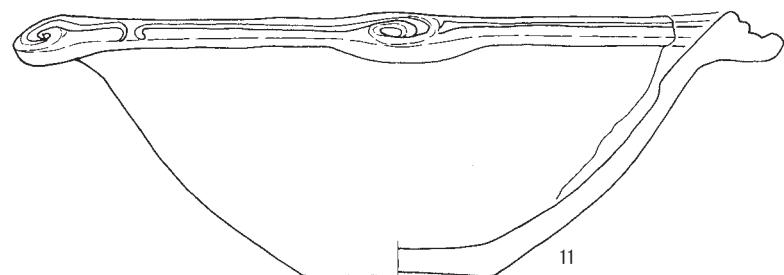
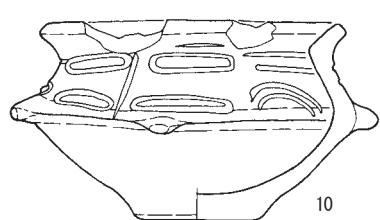
0 (1 : 4) 10cm

第97図 SK-61~63・65・69 出土土器実測図

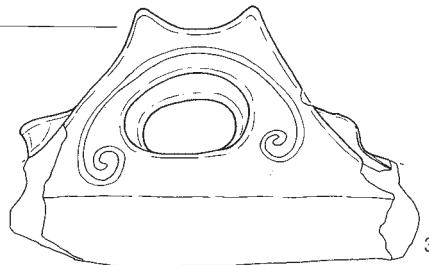
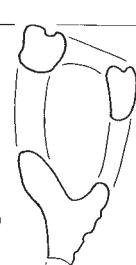
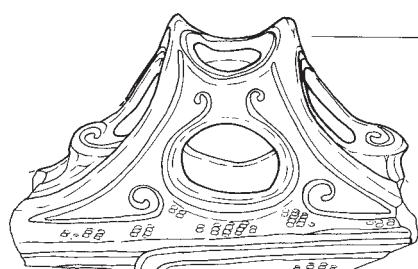
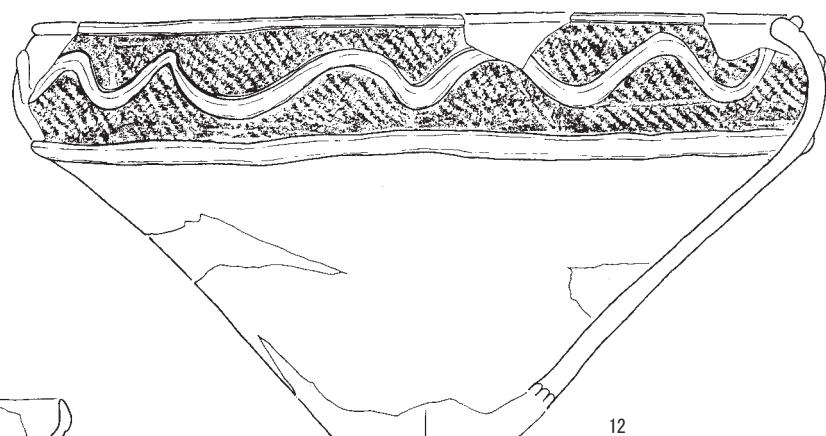
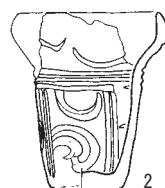
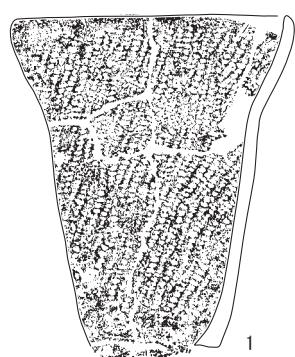


第98図 SK-66・67・70(1) 出土土器実測図

SK-70 (2)



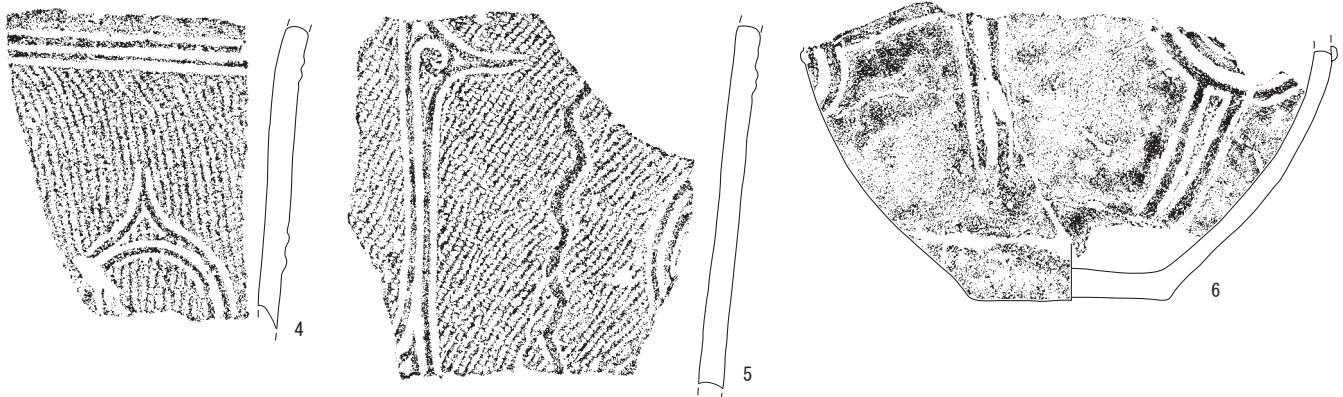
SK-71 (1)



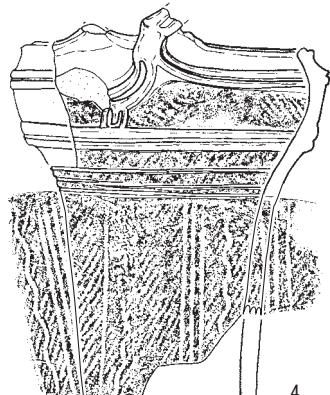
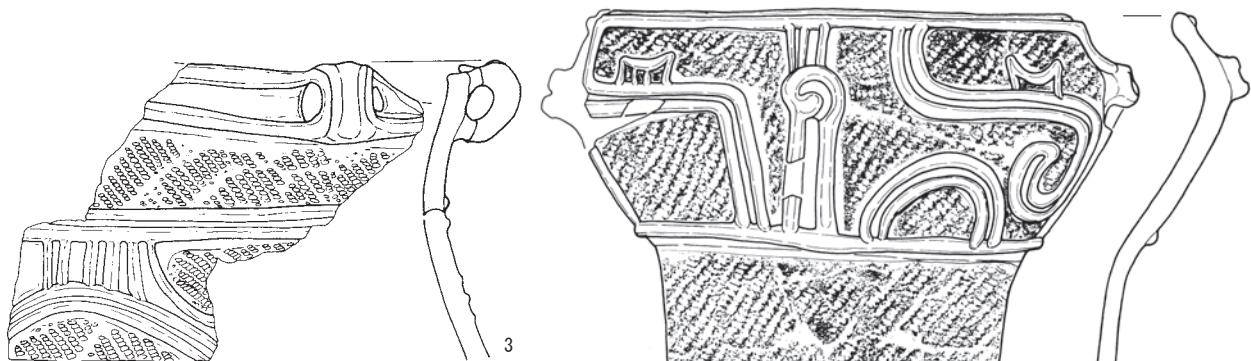
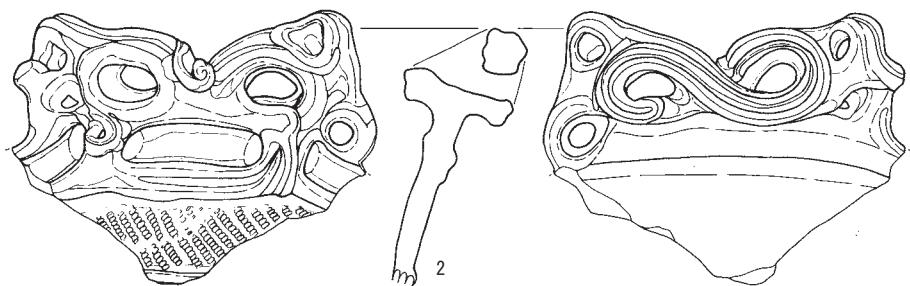
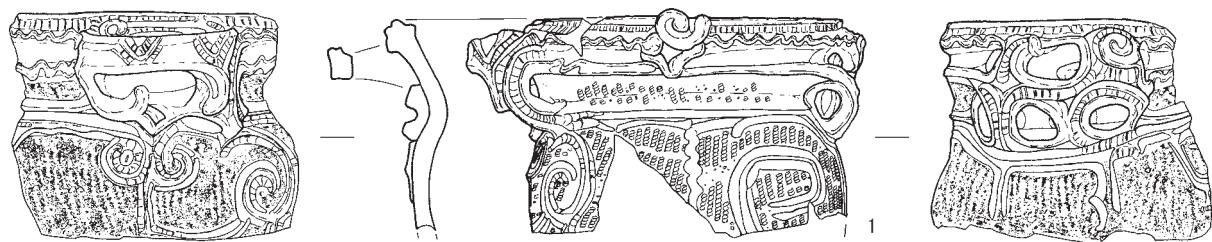
0 (1 : 4) 10cm

第99図 SK-70(2)・71(1) 出土土器実測図

SK-71 (2)



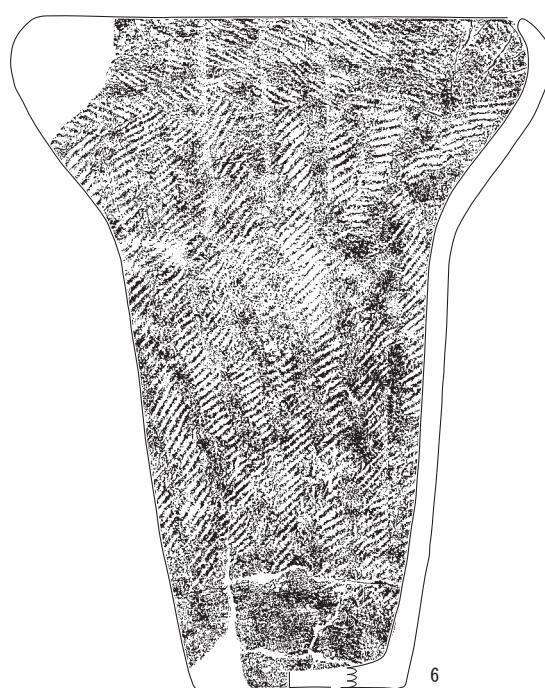
SK-72 (1)



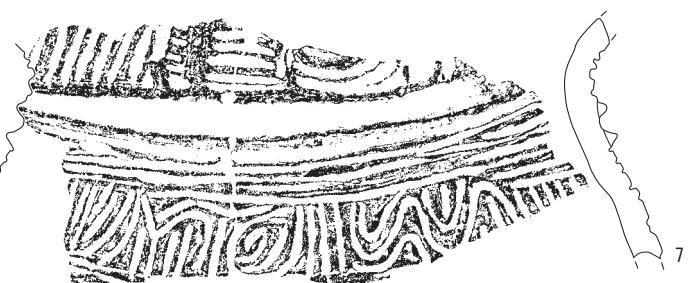
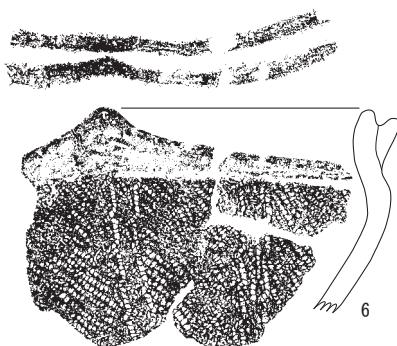
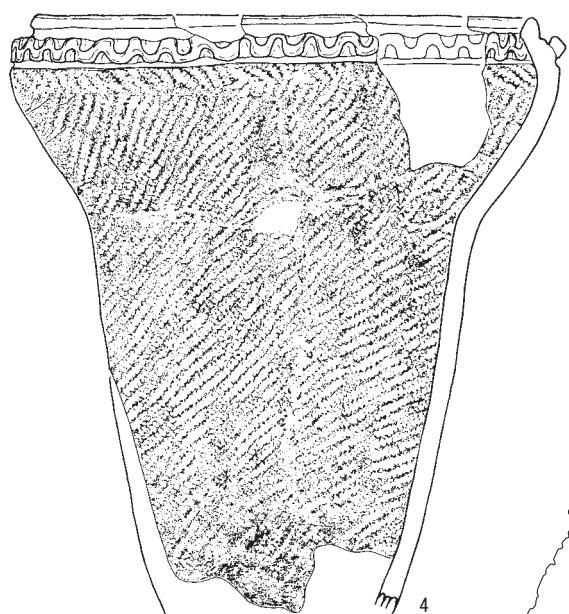
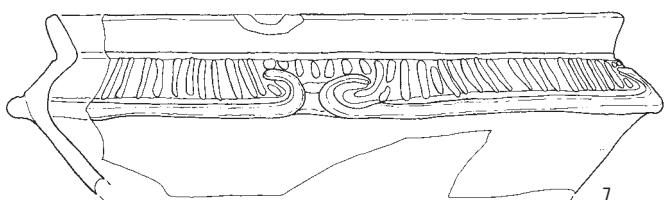
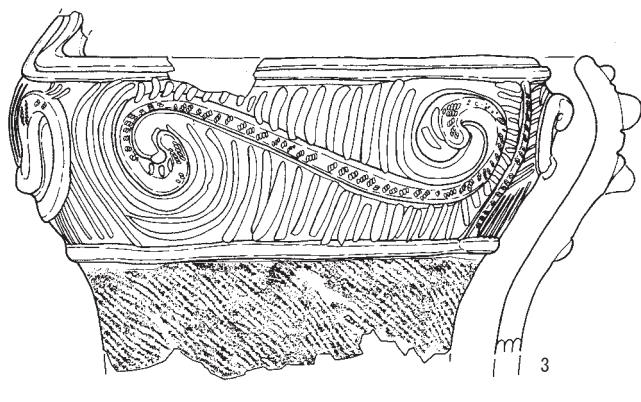
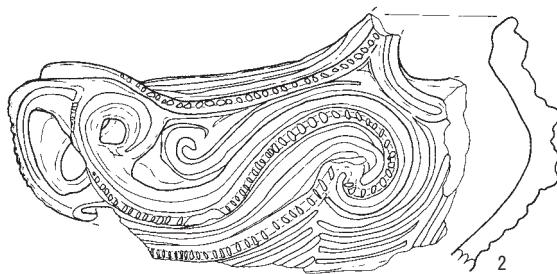
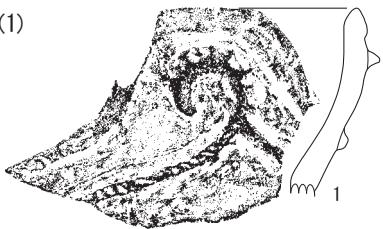
0 (1 : 4) 10cm

第100図 SK-71(2)・72(1) 出土土器実測図

SK-72 (2)



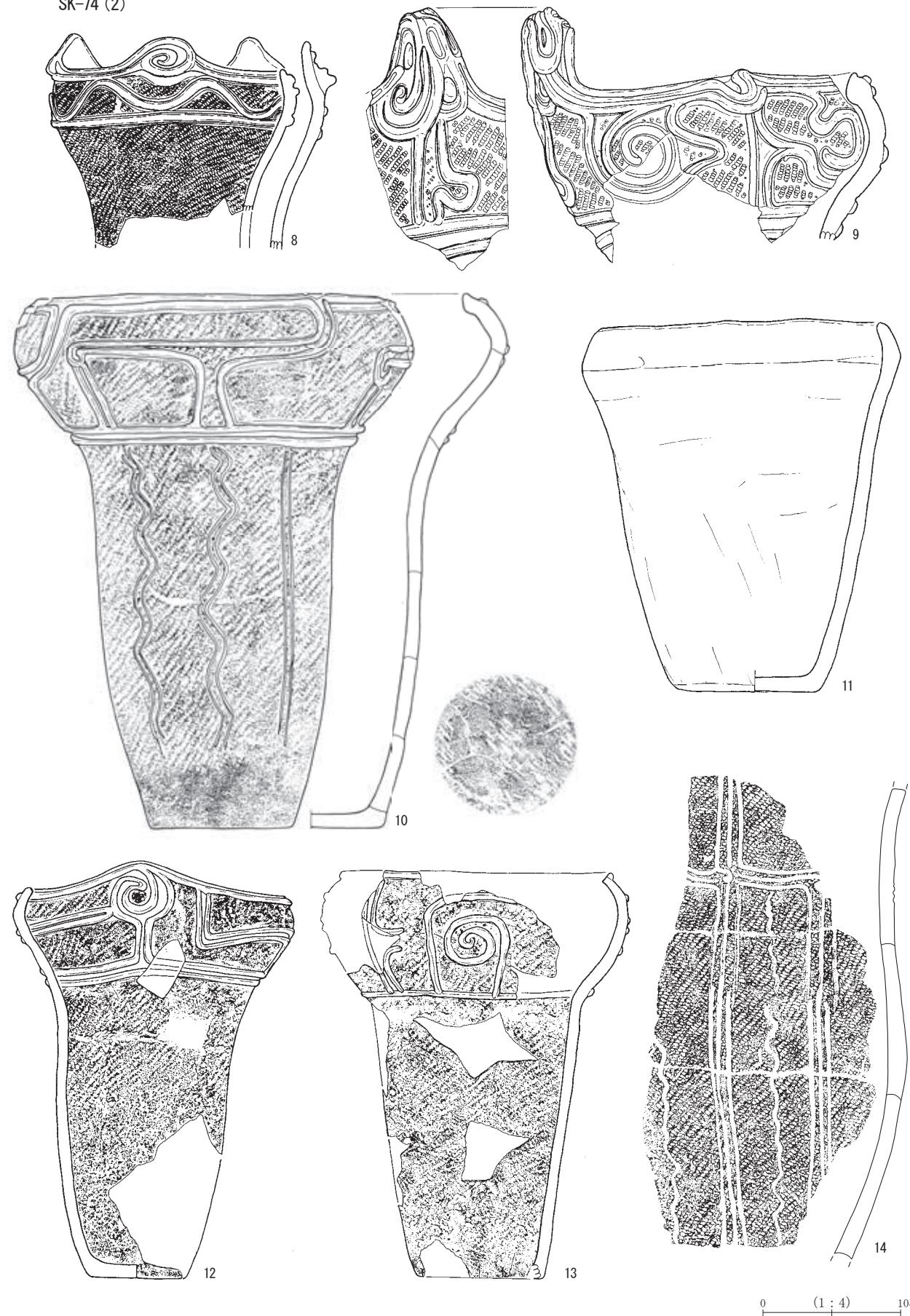
SK-74 (1)



0 (1 : 4) 10cm

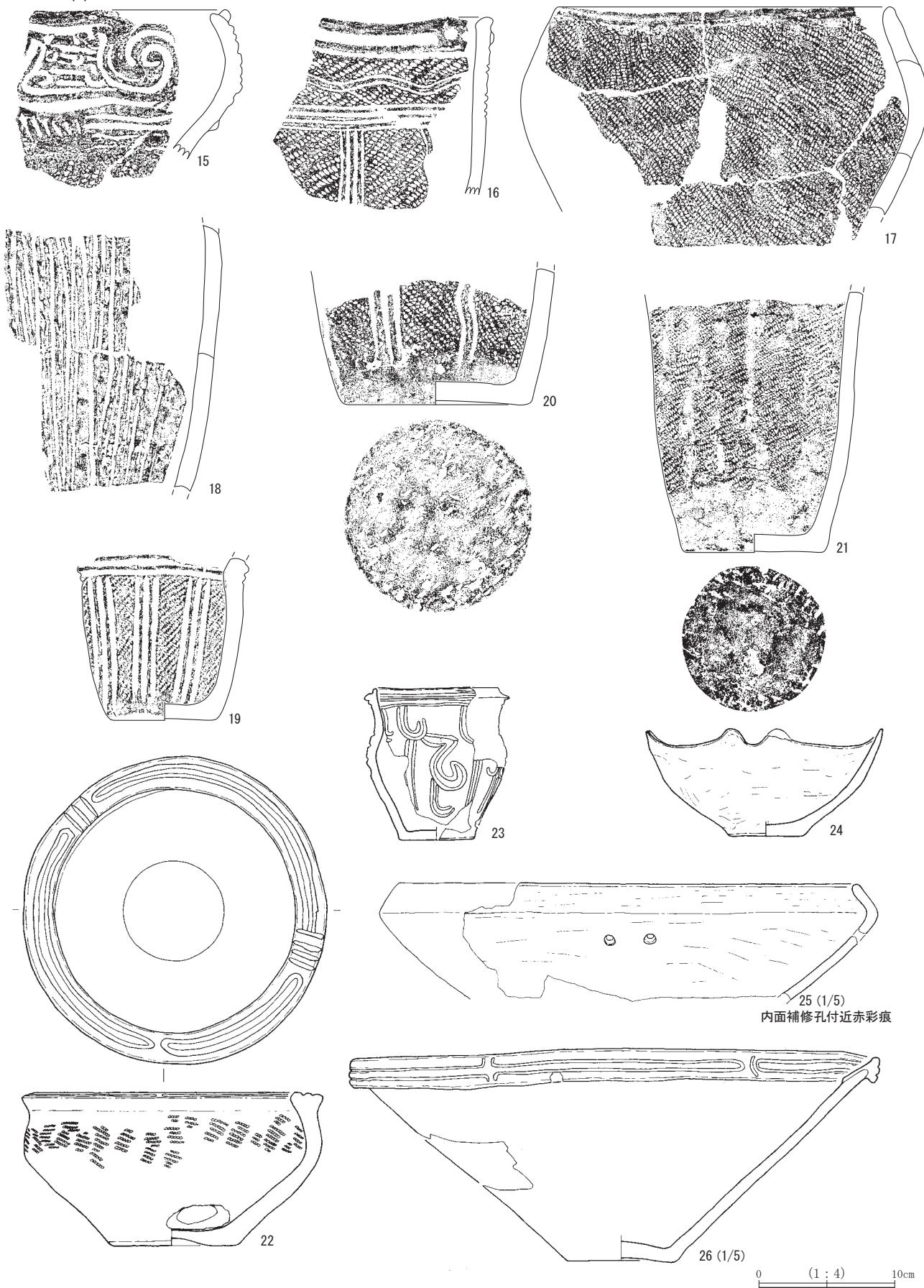
第101図 SK-72(2)・74(1) 出土土器実測図

SK-74 (2)

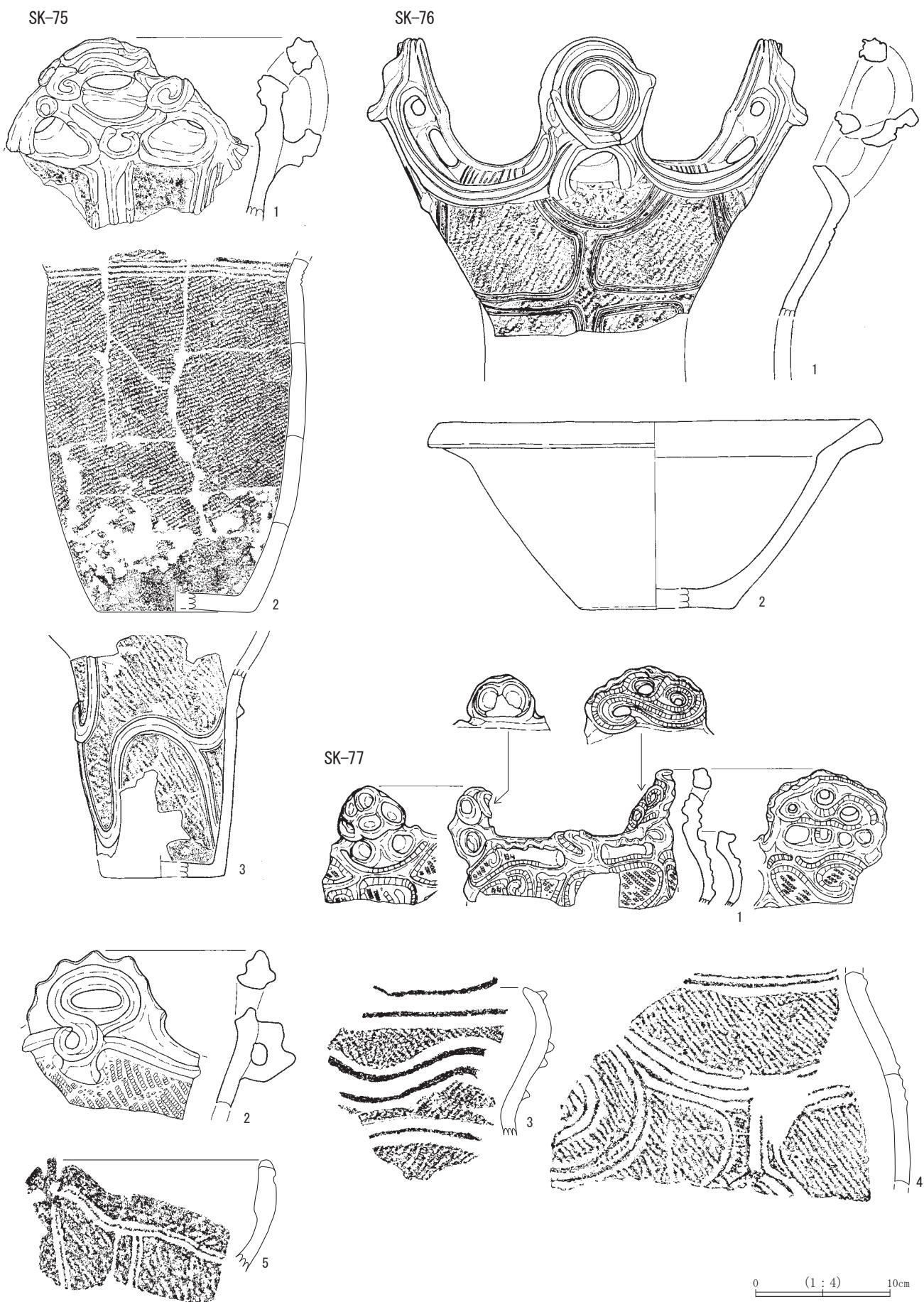


第102図 SK-74(2) 出土土器実測図

SK-74 (3)

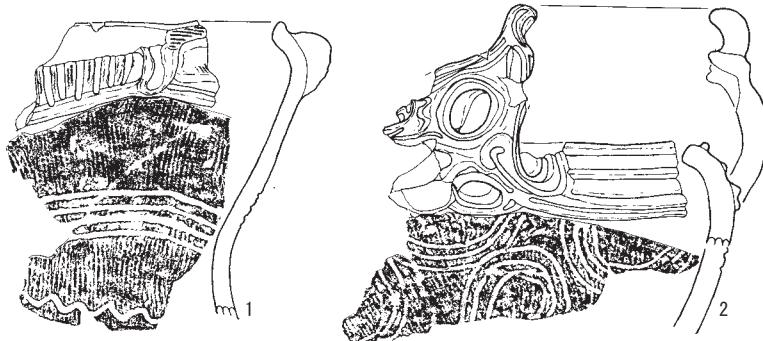


第103図 SK-74(3) 出土土器実測図

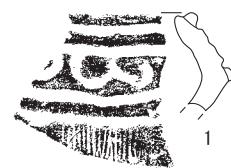


第104図 SK-75~77 出土土器実測図

SK-78



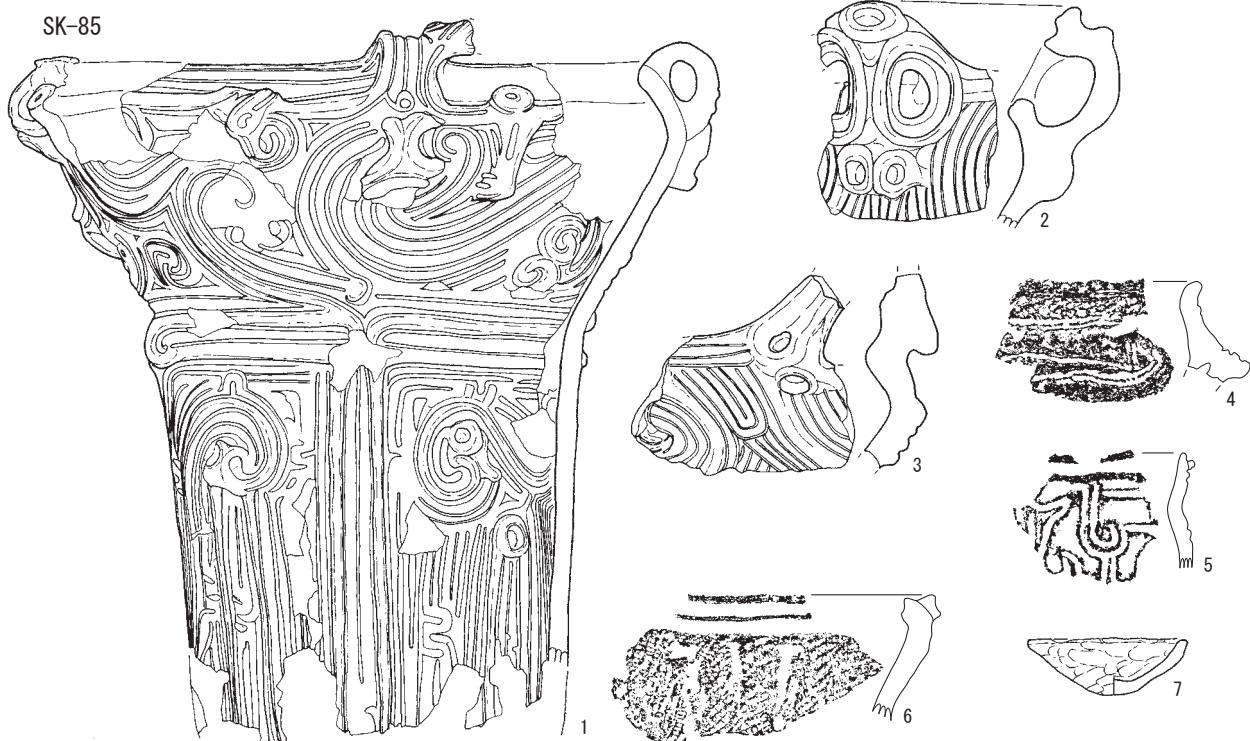
SK-79



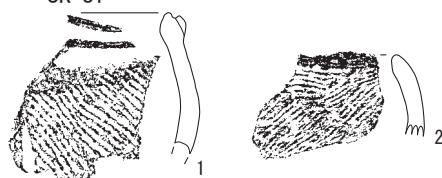
SK-80



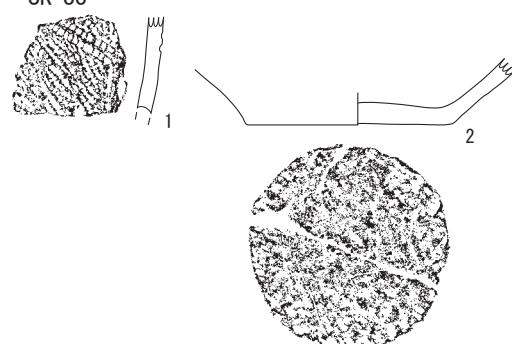
SK-85



SK-81



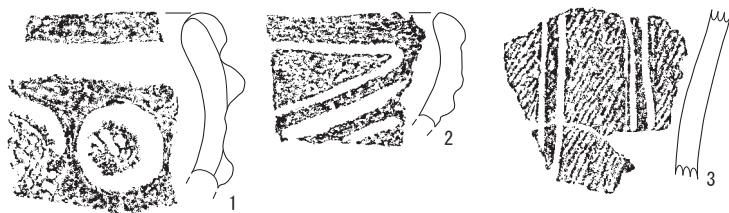
SK-88



SK-89



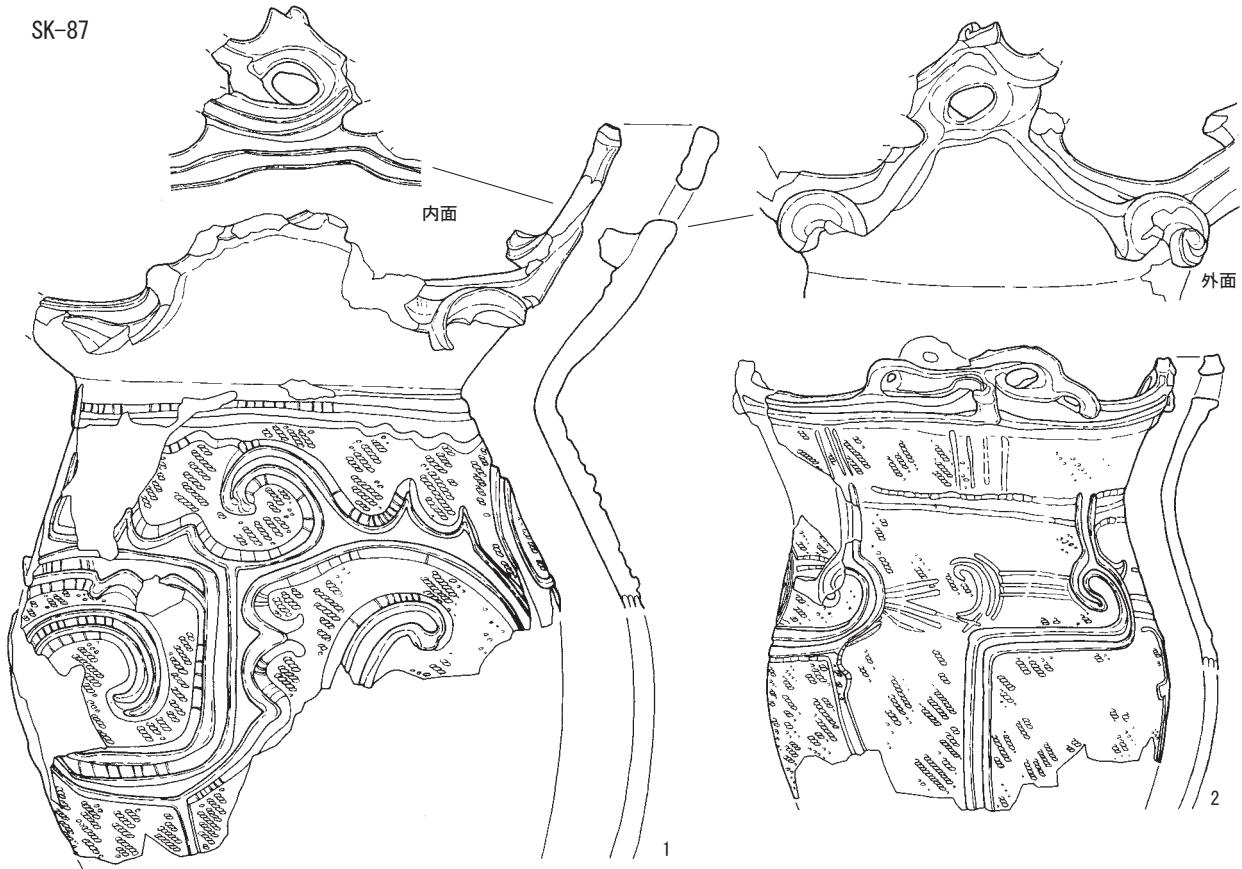
SK-90



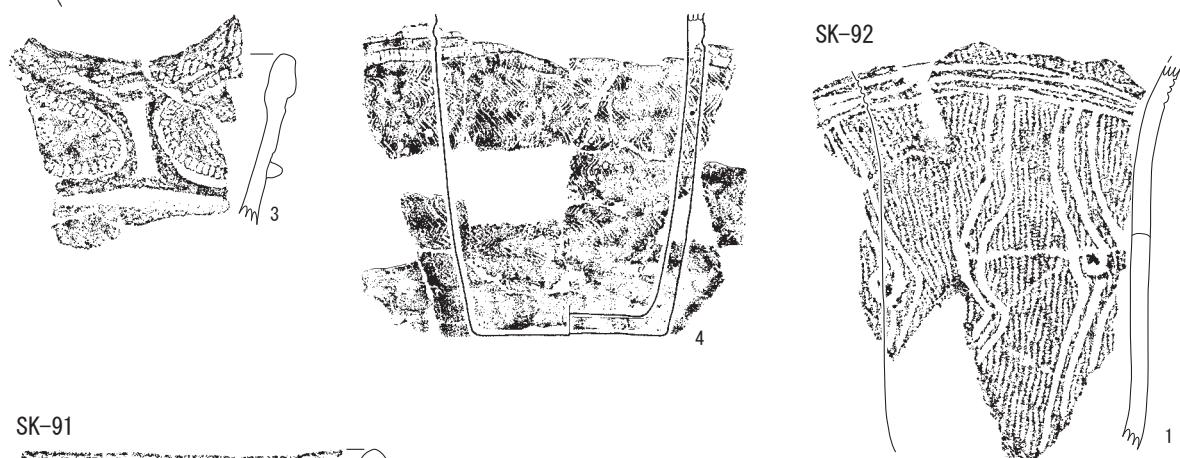
0 (1 : 4) 10cm

第105図 SK-78~81・85・88~90 出土土器実測図

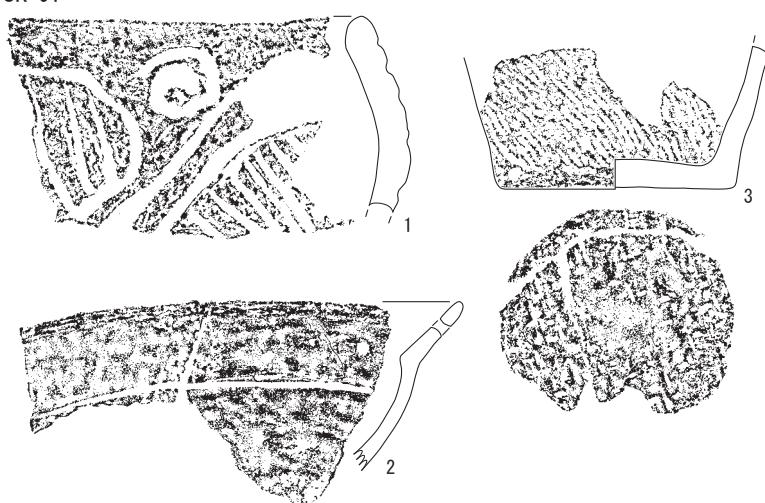
SK-87



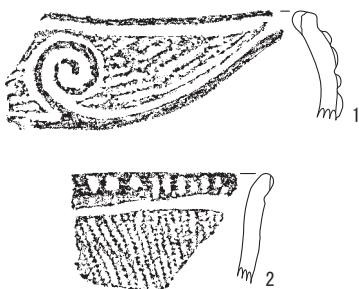
SK-92



SK-91

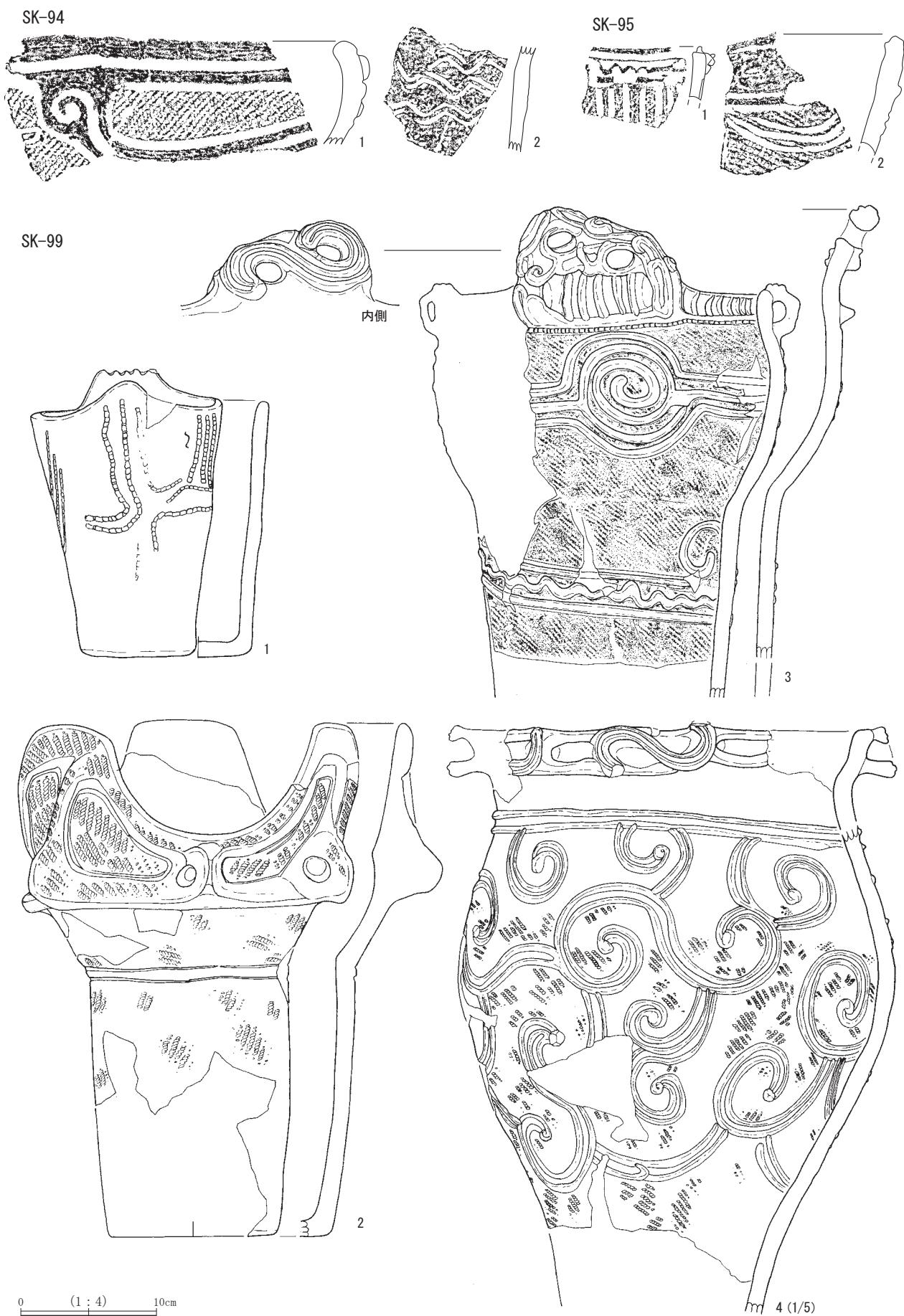


SK-93

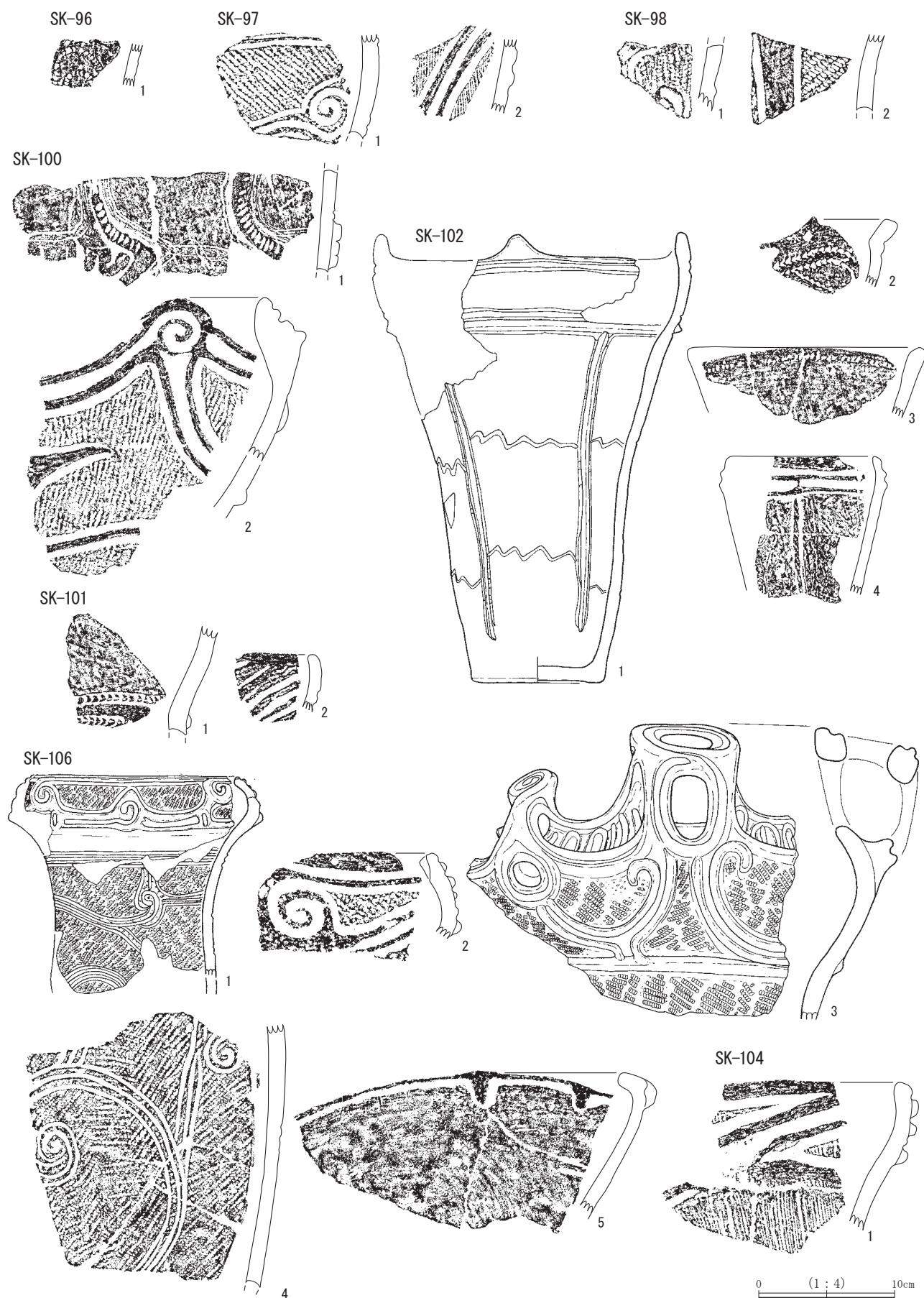


0 (1 : 4) 10cm

第106図 SK-87・91~93 出土土器実測図



第107図 SK-94・95・99 出土土器実測図

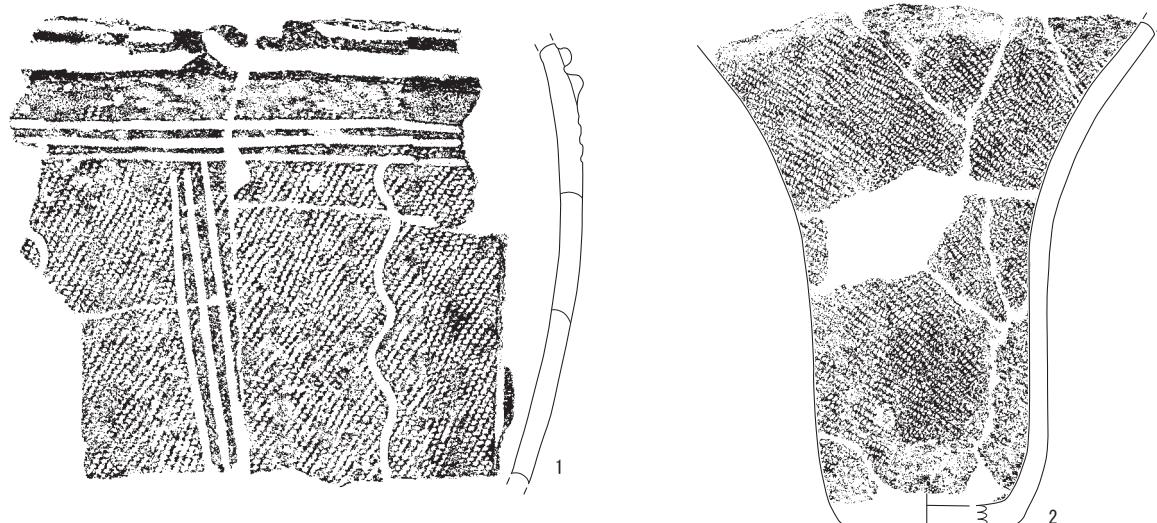


第108図 SK-96~98・100~102・104・106 出土土器実測図

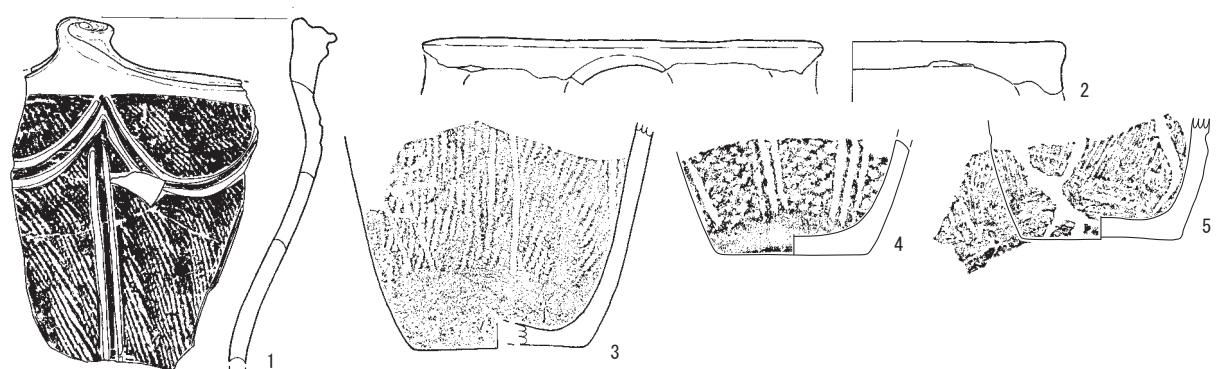


第109図 SK-107・109~113・115・118・126・128 出土土器実測図

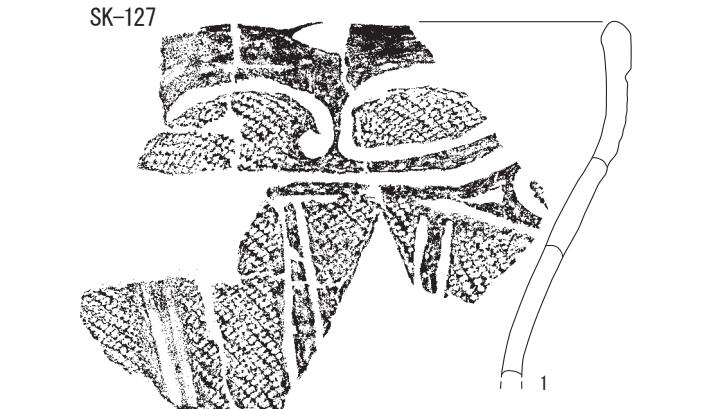
SK-117



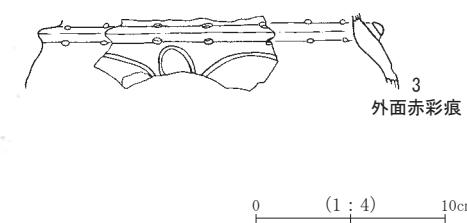
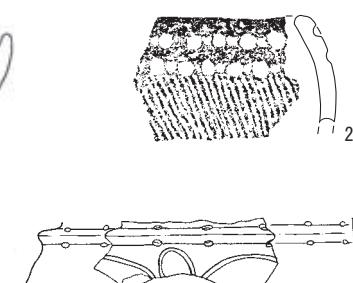
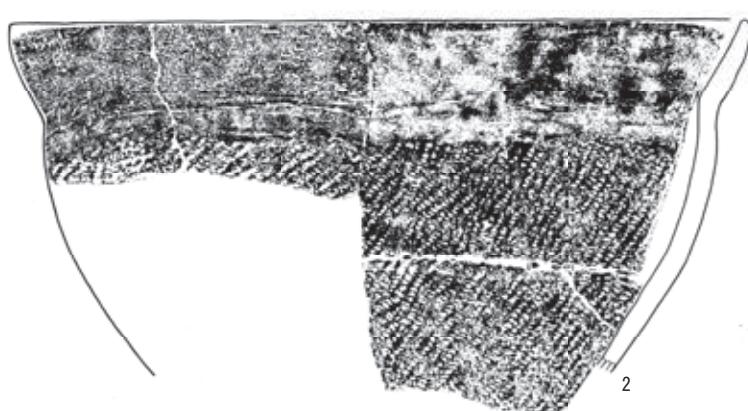
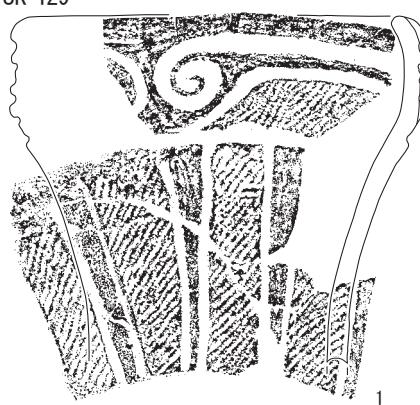
SK-125



SK-127



SK-129



外面赤彩痕

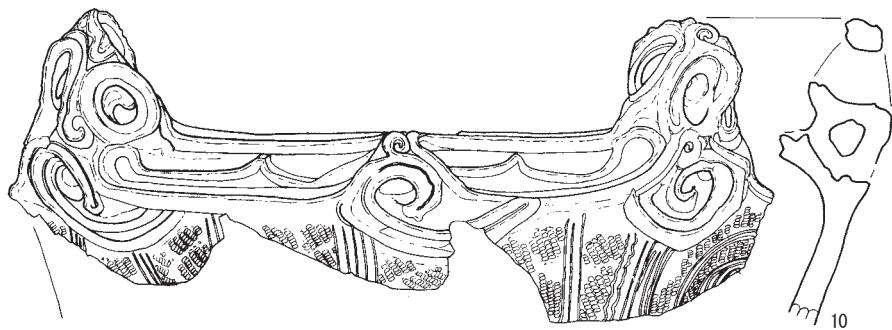
0 (1 : 4) 10cm

第110図 SK-117・125・127・129 出土土器実測図

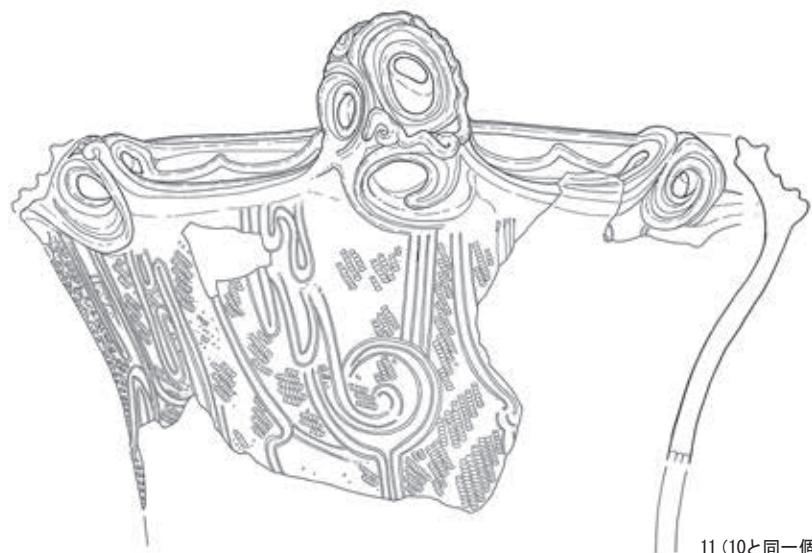


第111図 SK-130・131・133・134(1) 出土土器実測図

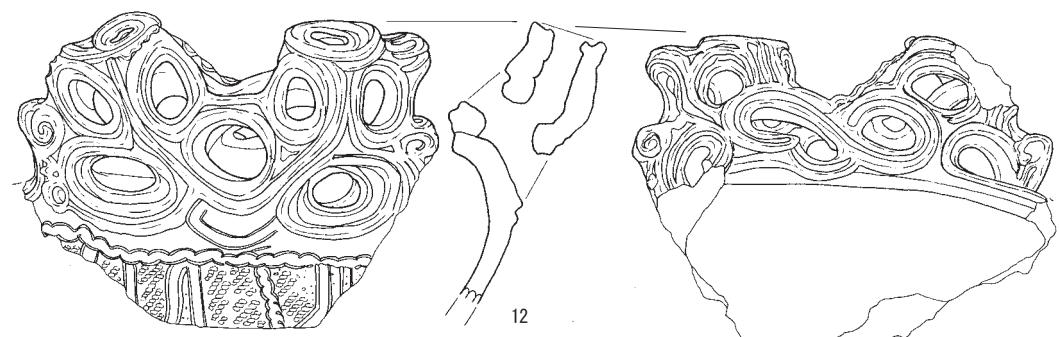
SK-134 (2)



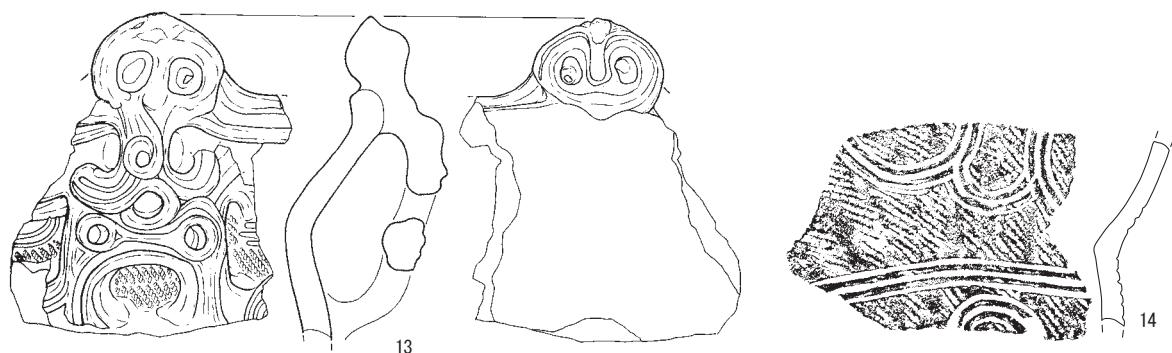
10



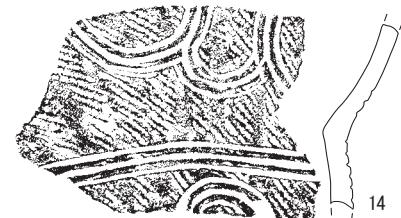
11 (10と同一個体)



12



13

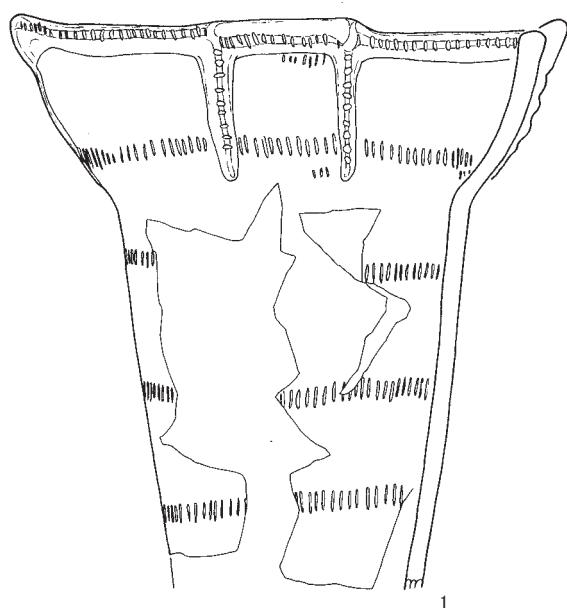


14

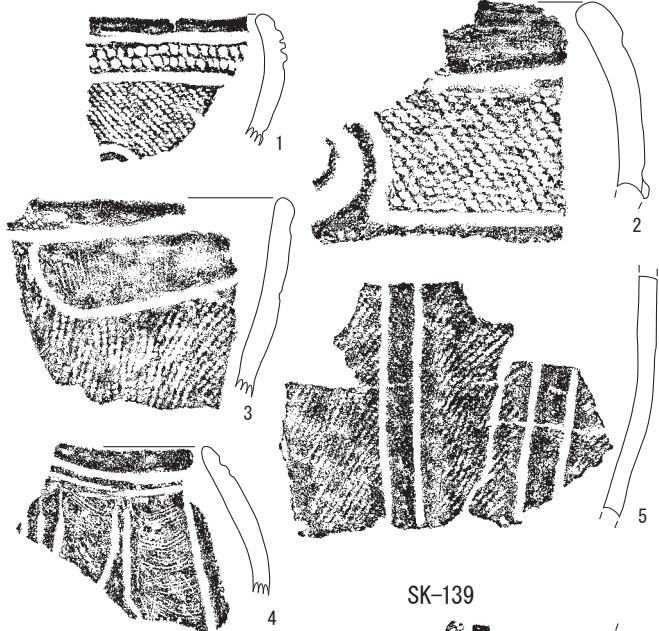
0 (1 : 4) 10cm

第112図 SK-134(2) 出土土器実測図

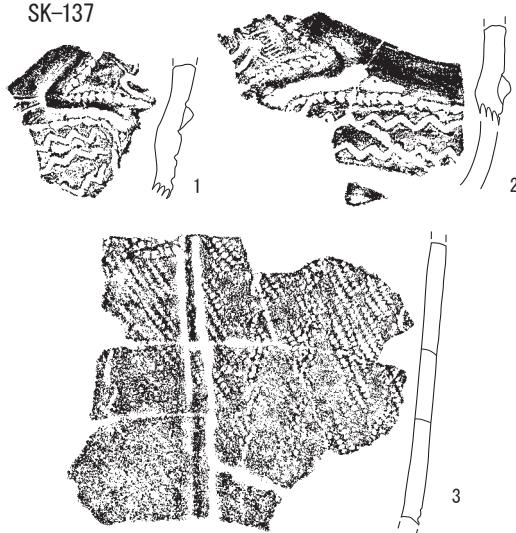
SK-135



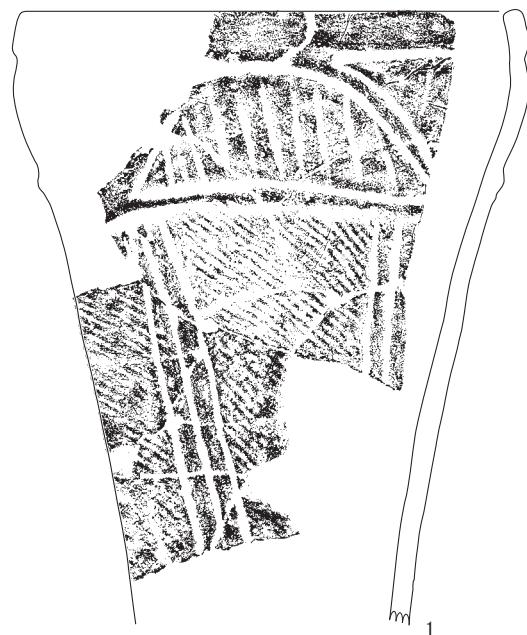
SK-136



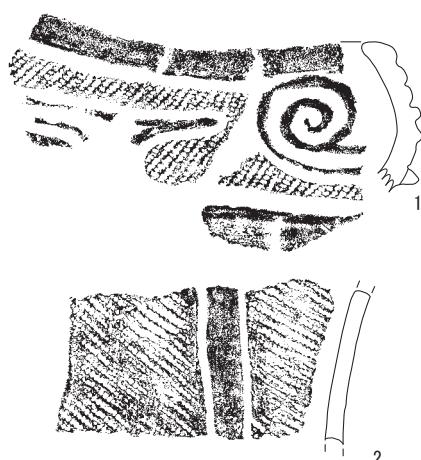
SK-137



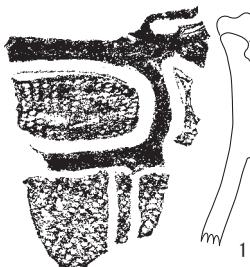
SK-140



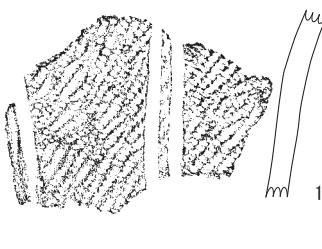
SK-138



SK-143



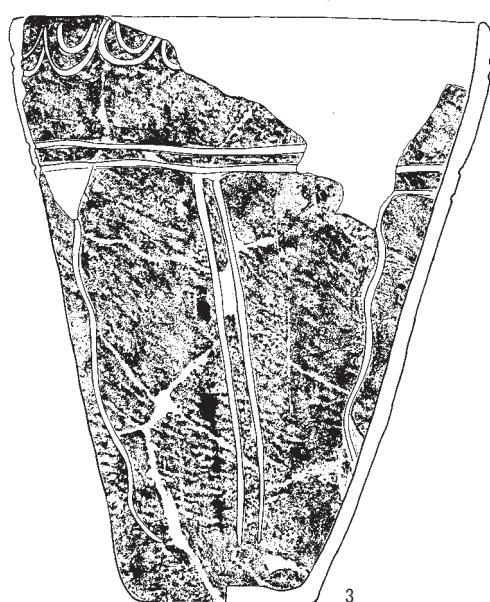
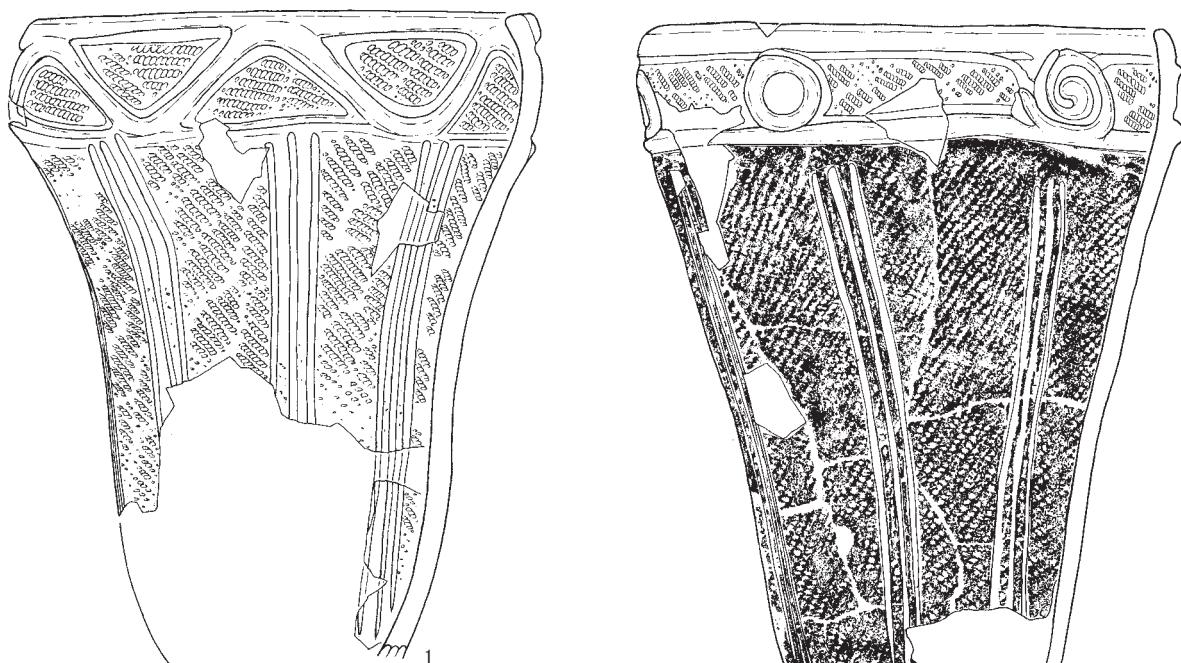
SK-144



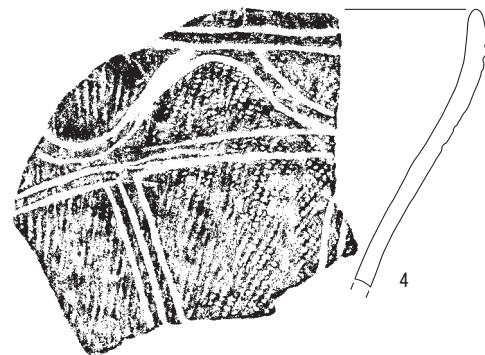
0 (1 : 4) 10cm

第113図 SK-135~140・143・144 出土土器実測図

SK-142

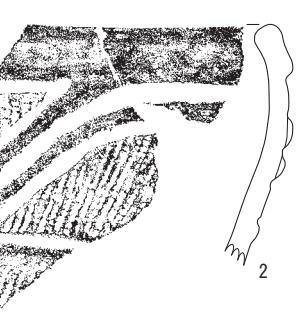
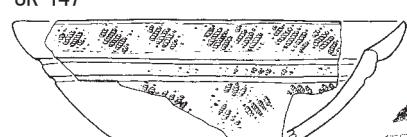


3



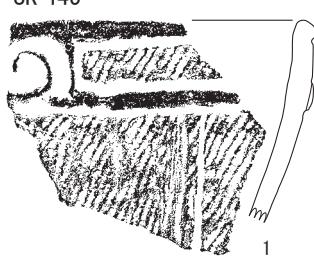
4

SK-147



0 (1 : 4) 10cm

SK-145



1

SK-146

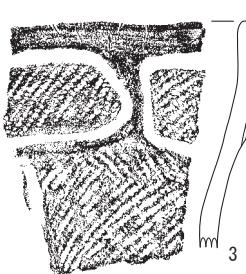


1

SK-148

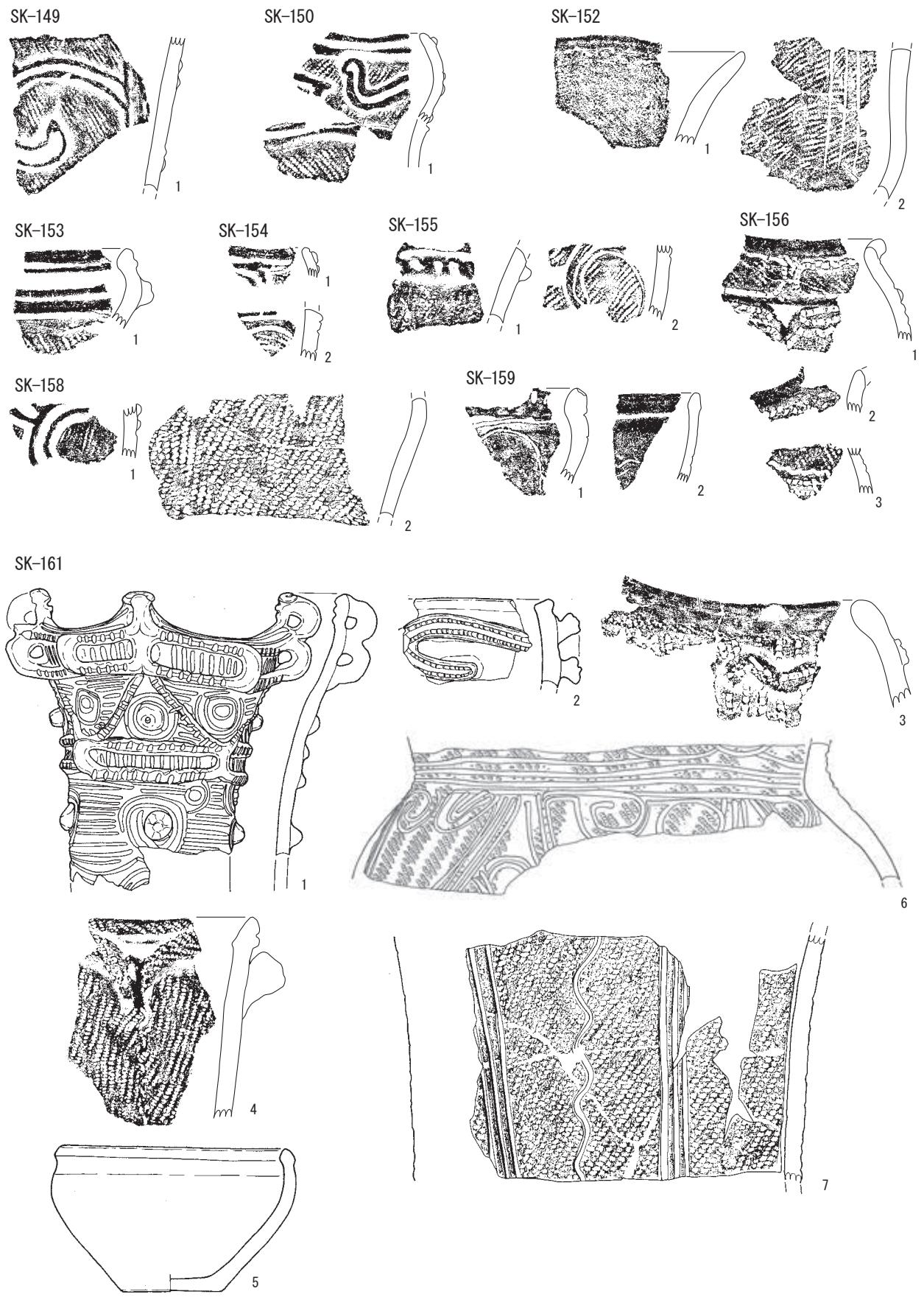


1

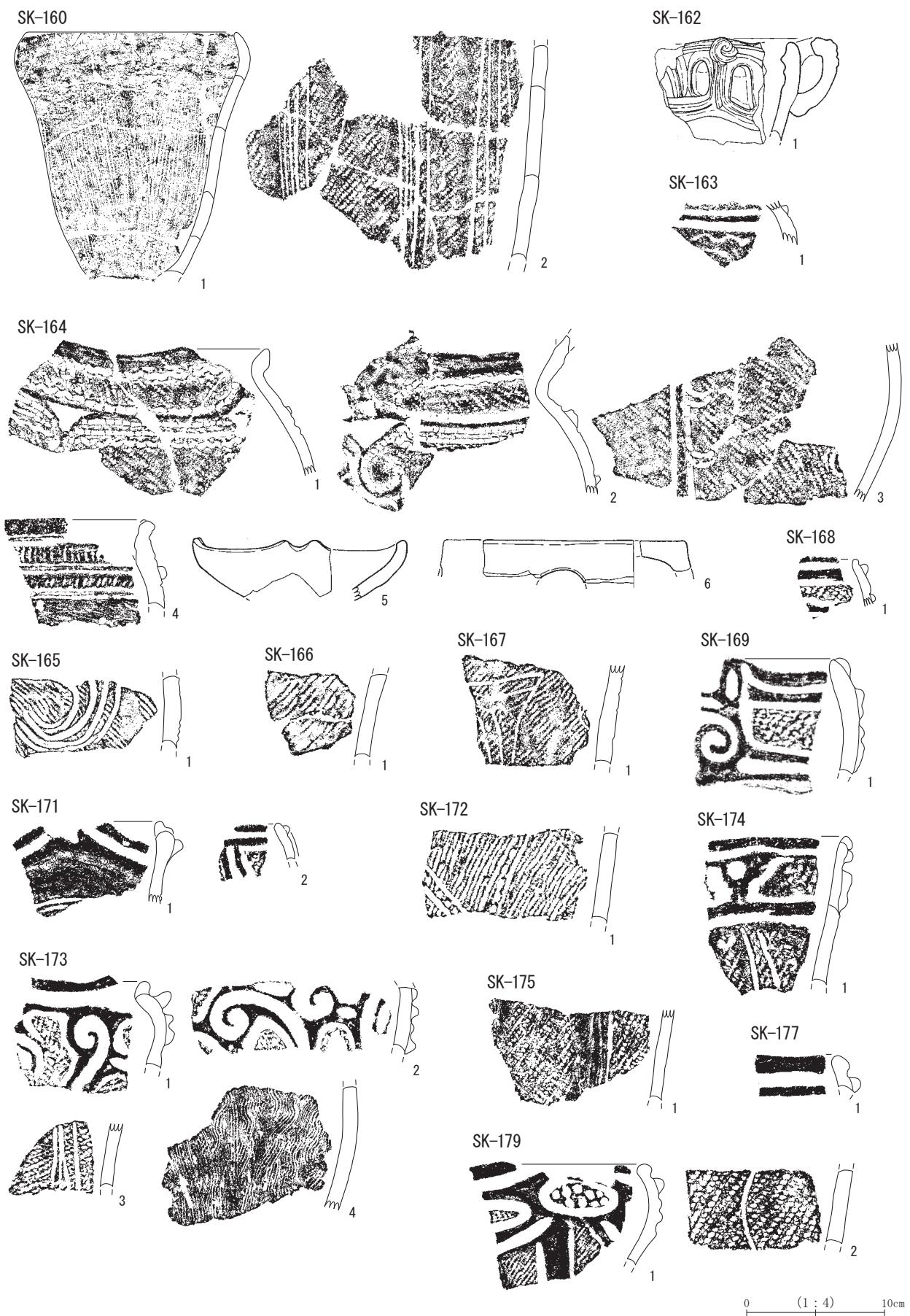


3

第114図 SK-142・145~148 出土土器実測図

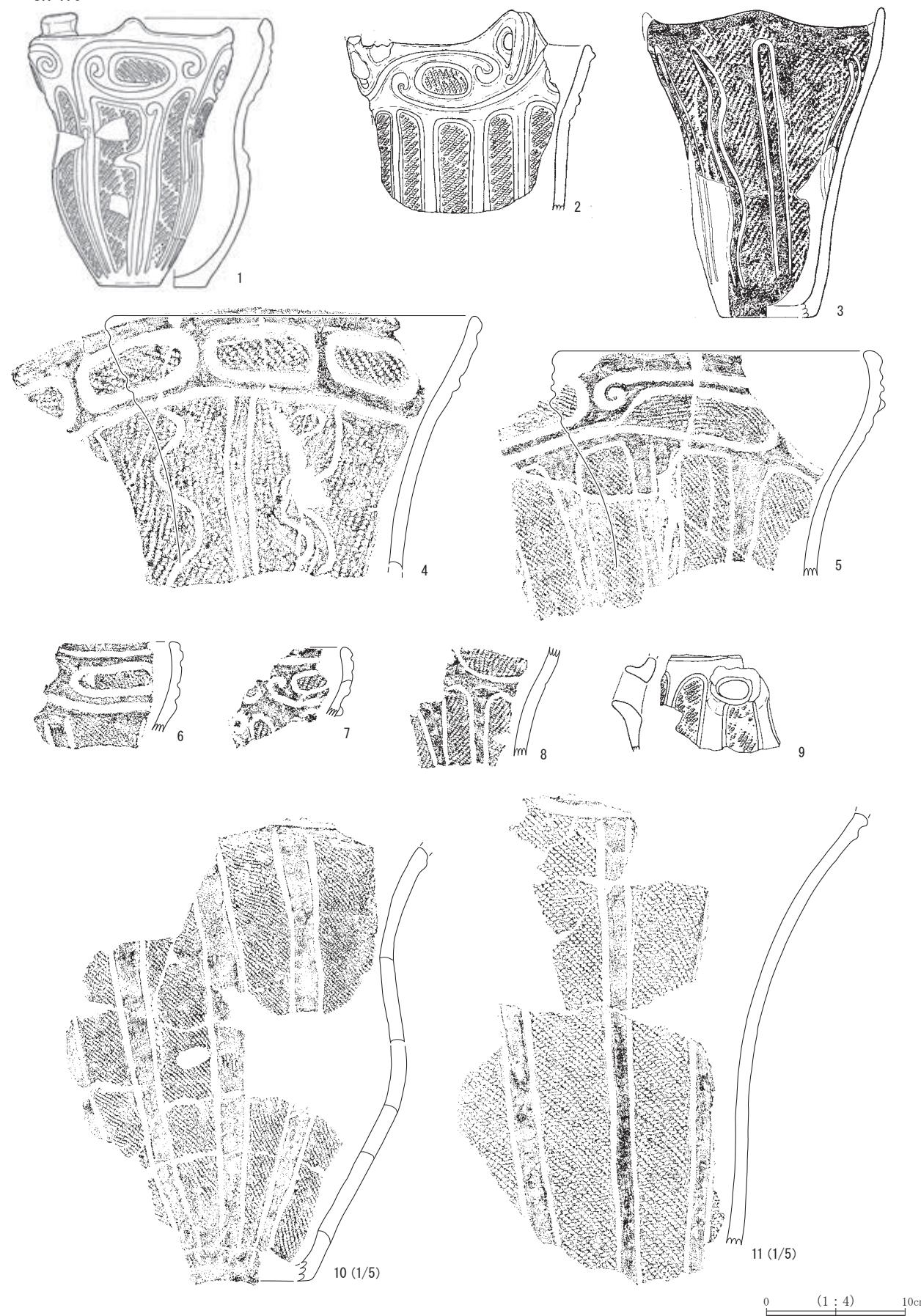


第115図 SK-149・150・152~156・158・159・161 出土土器実測図

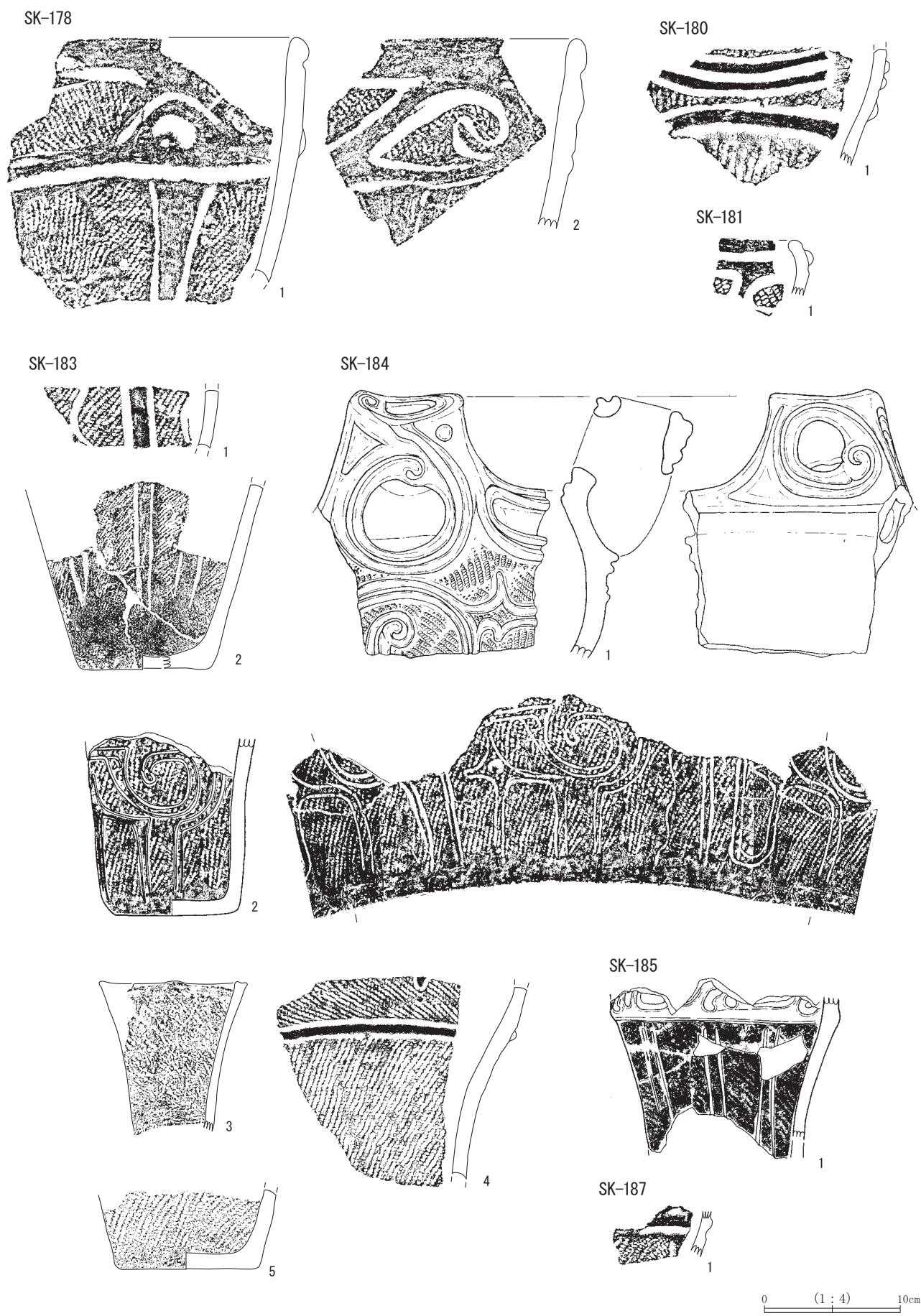


第116図 SK-160・162~169・171~175・177・179 出土土器実測図

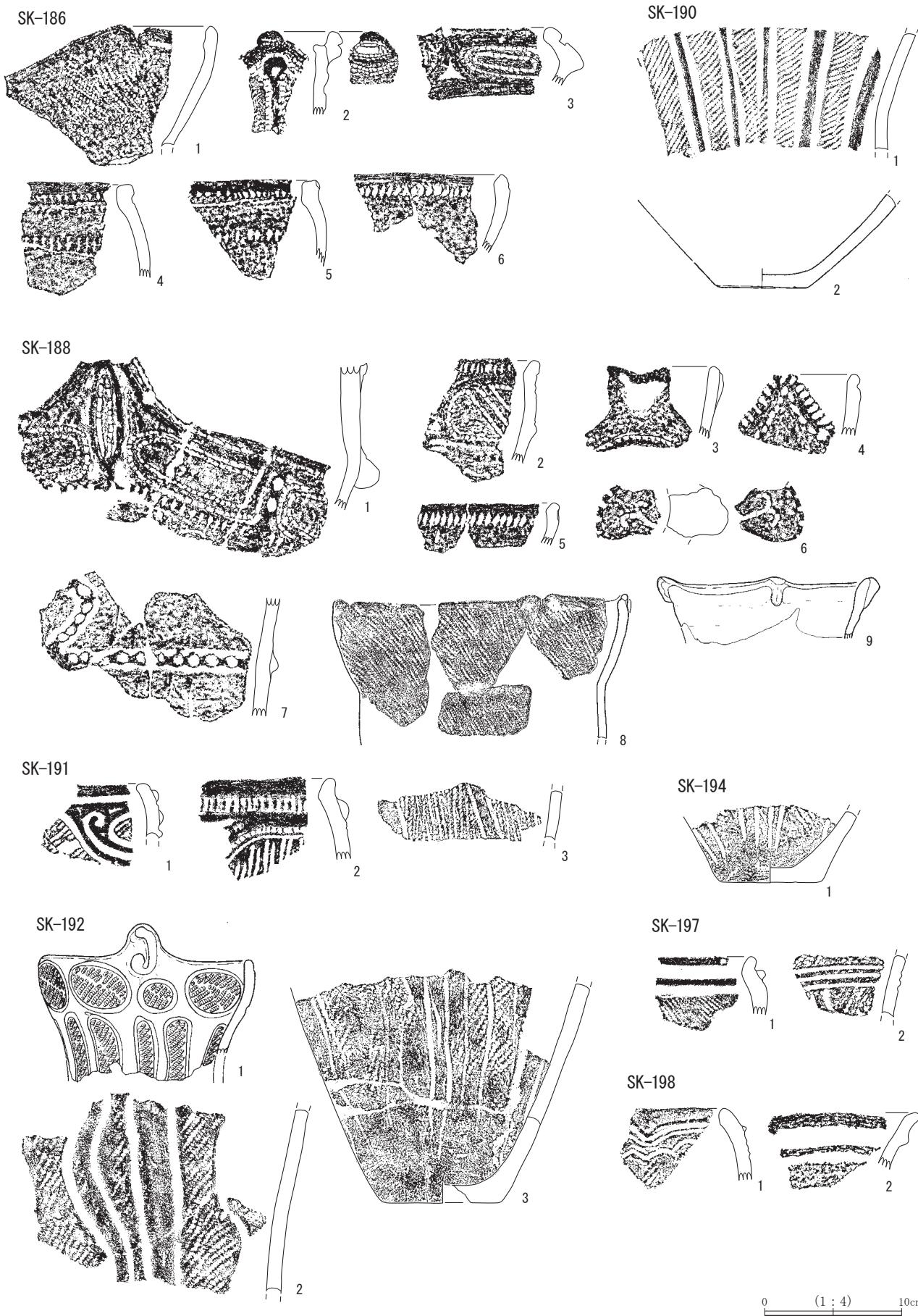
SK-176



第117図 SK-176 出土土器実測図

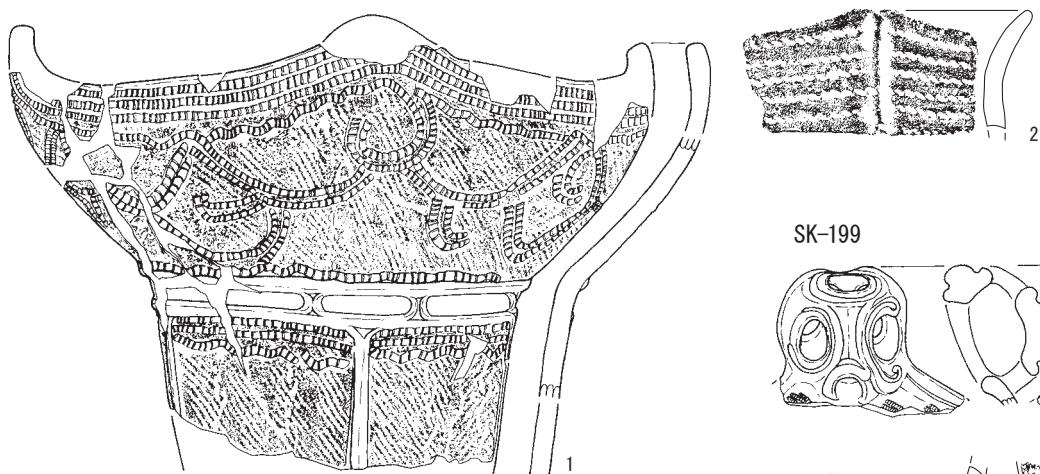


第118図 SK-178・180・181・183～185・187 出土土器実測図

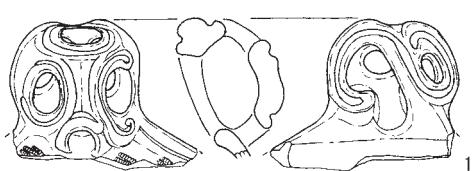


第119図 SK-186・188・190~192・194・197・198 出土土器実測図

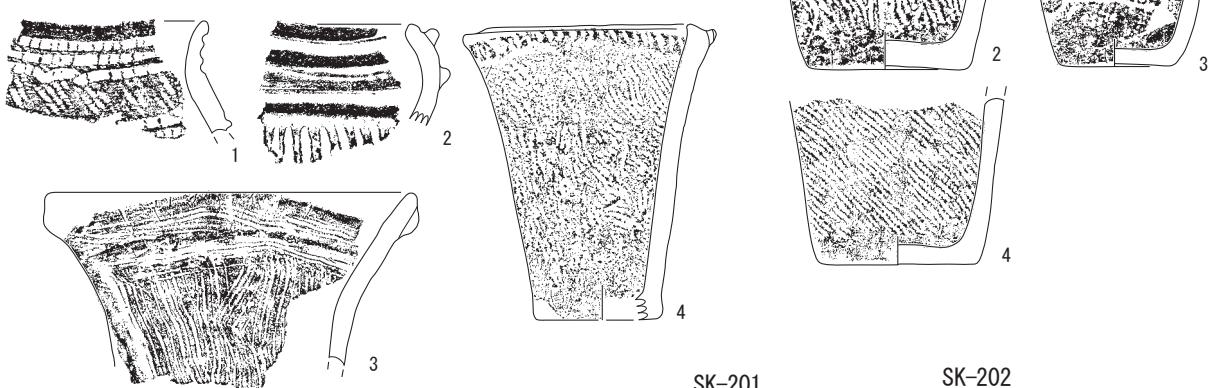
SK-193



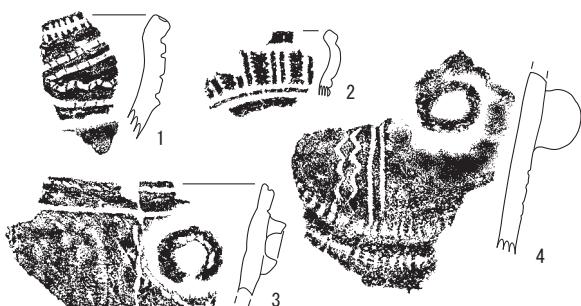
SK-199



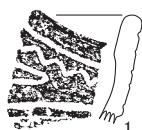
SK-195



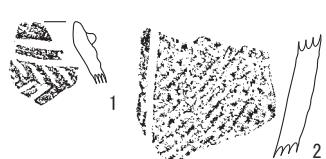
SK-200



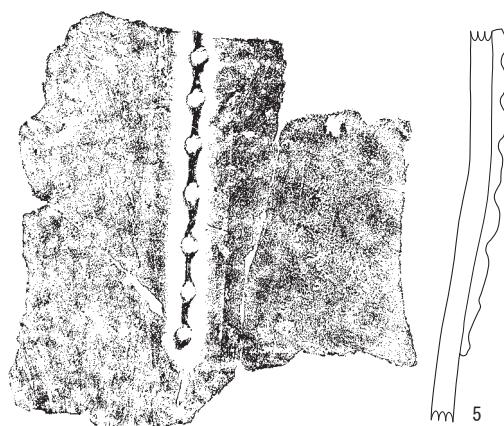
SK-201



SK-202



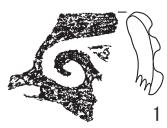
SK-205



SK-206



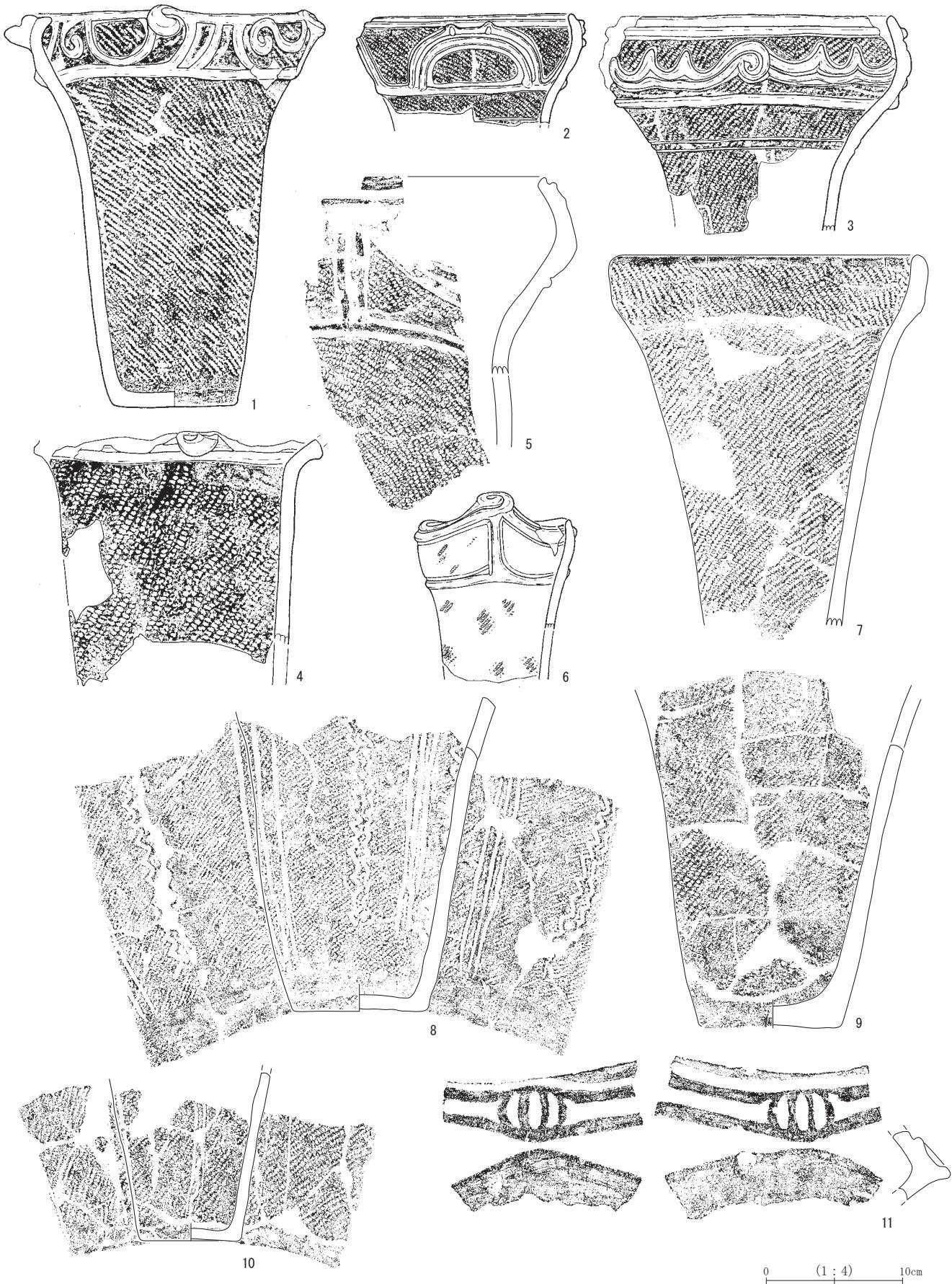
SK-207



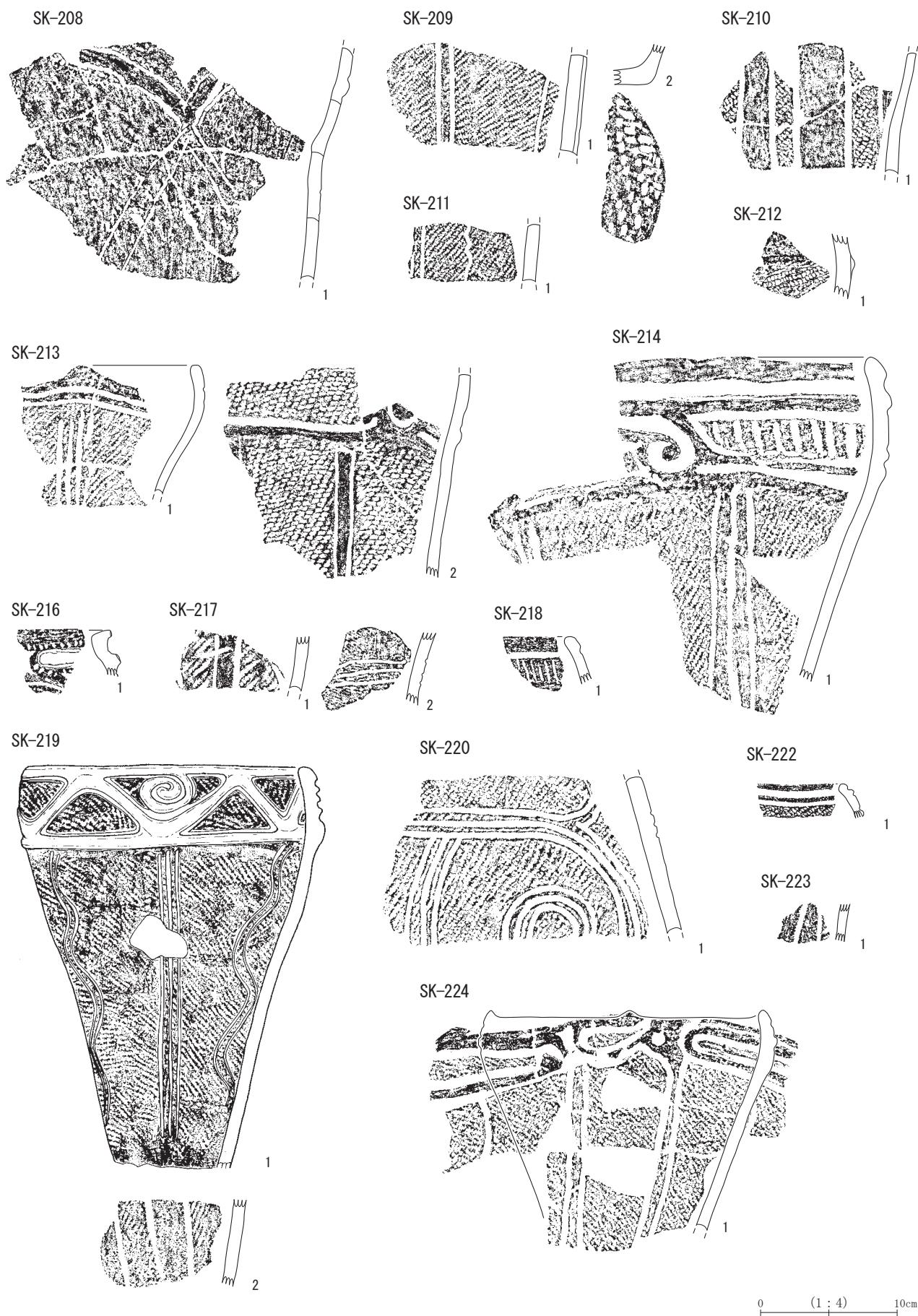
0 (1 : 4) 10cm

第120図 SK-193・195・199~202・205~207 出土土器実測図

SK-204

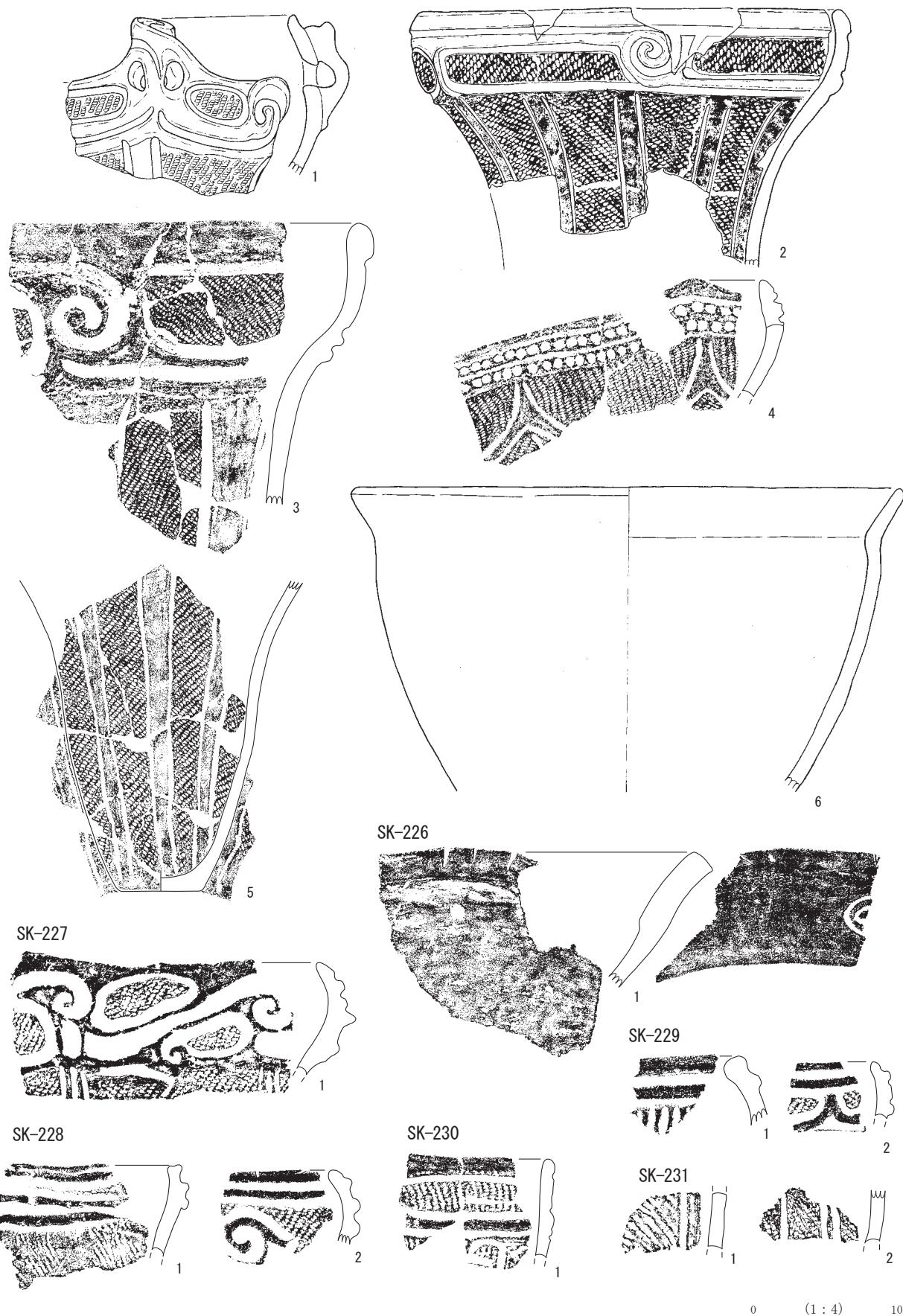


第121図 SK-204 出土土器実測図

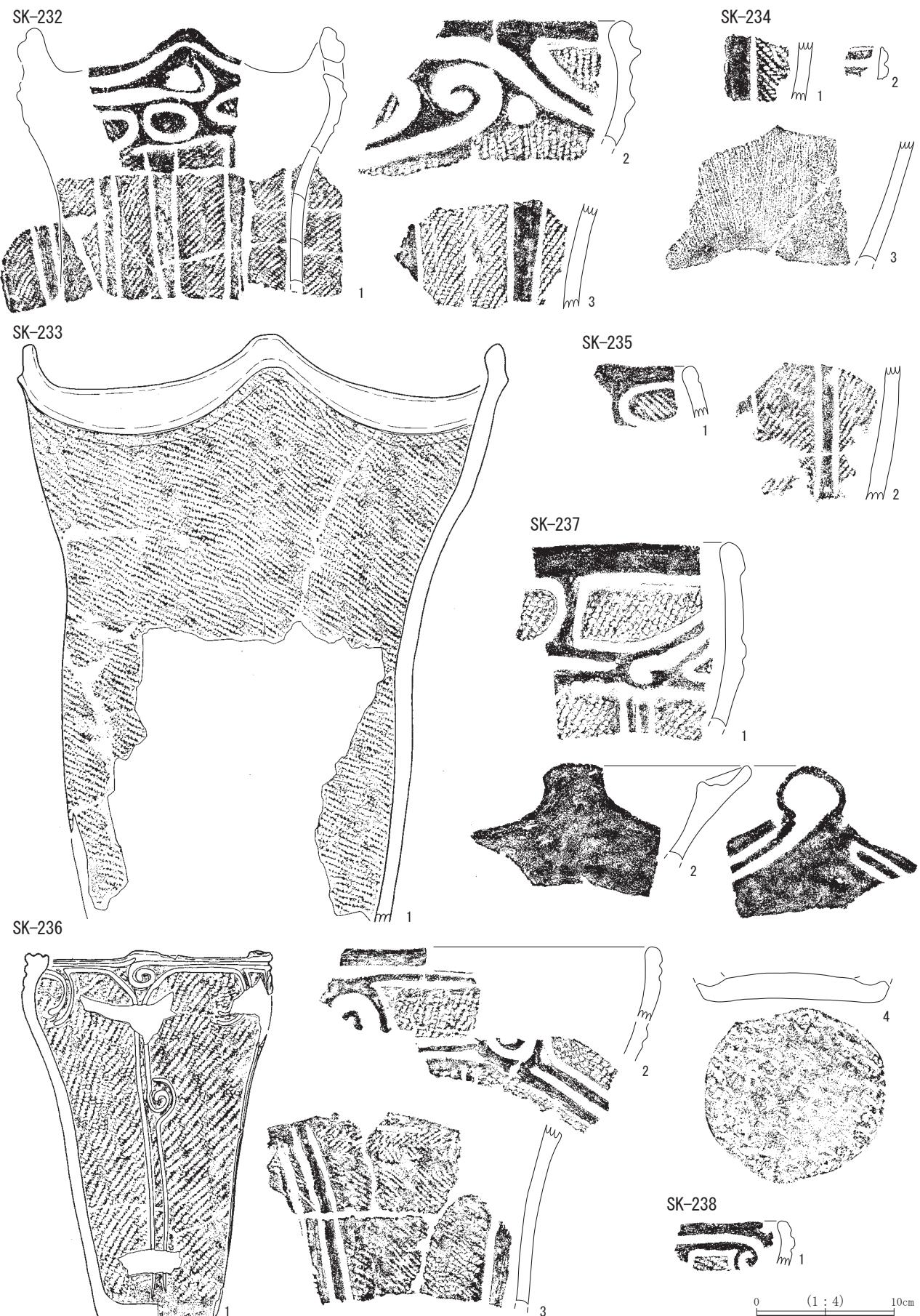


第122図 SK-208~214・216~220・222~224 出土土器実測図

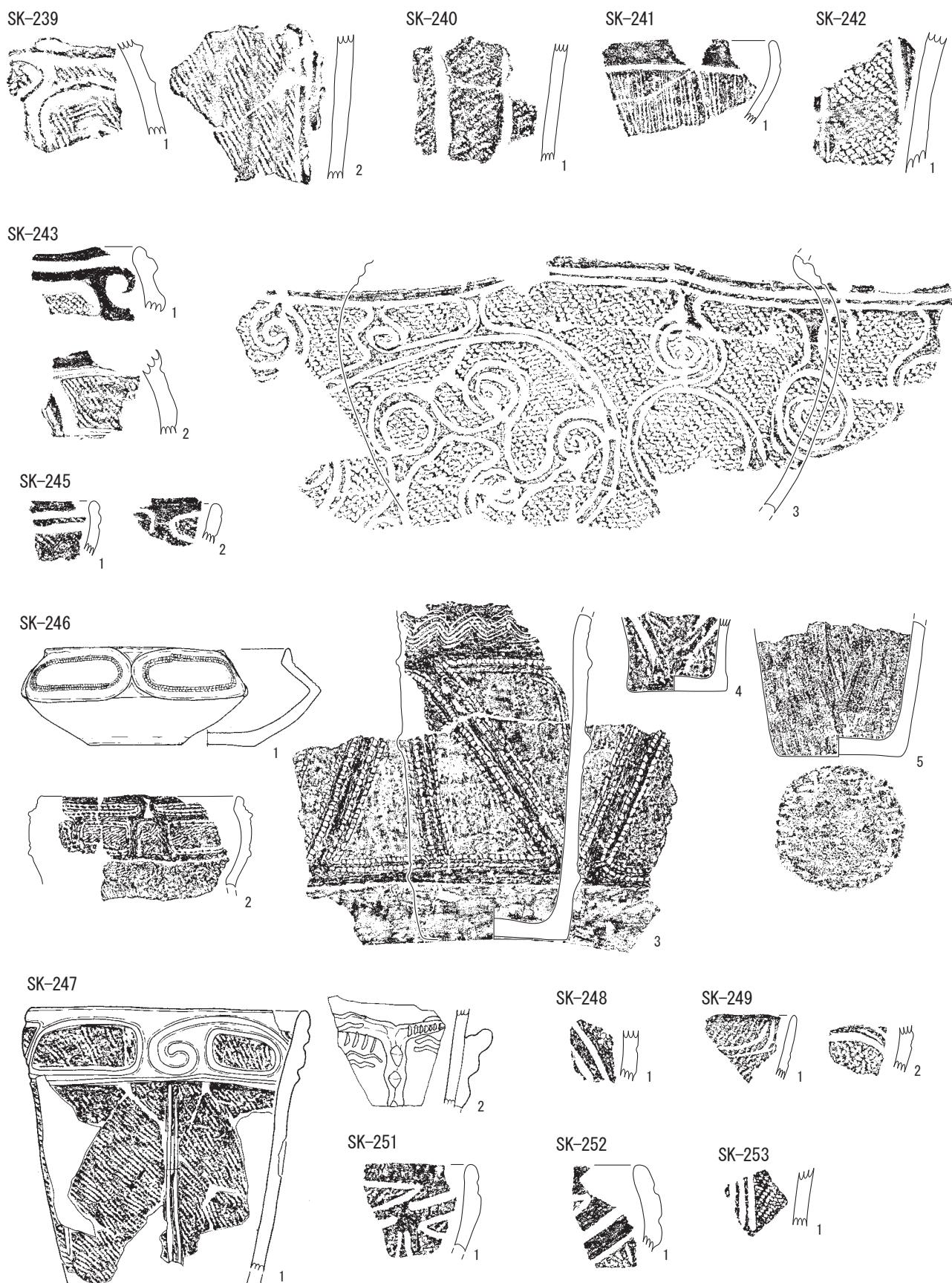
SK-225



第123図 SK-225~231 出土土器実測図



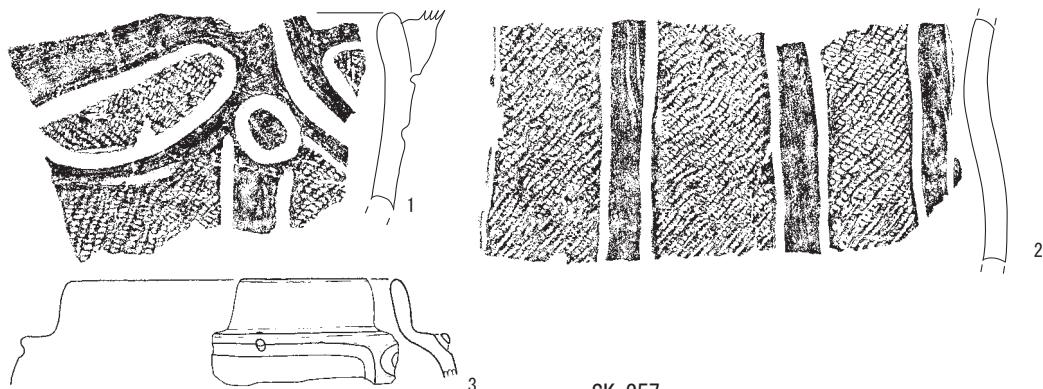
第124図 SK-232~238 出土土器実測図



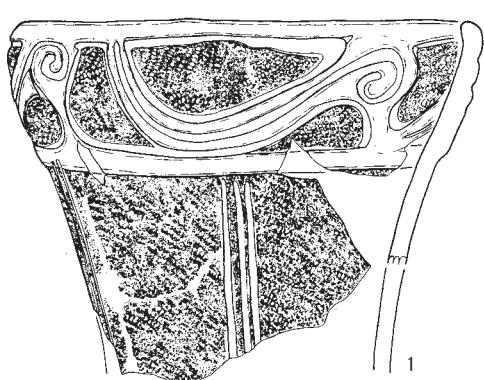
0 (1 : 4) 10cm

第125図 SK-239~243・245~249・251~253 出土土器実測図

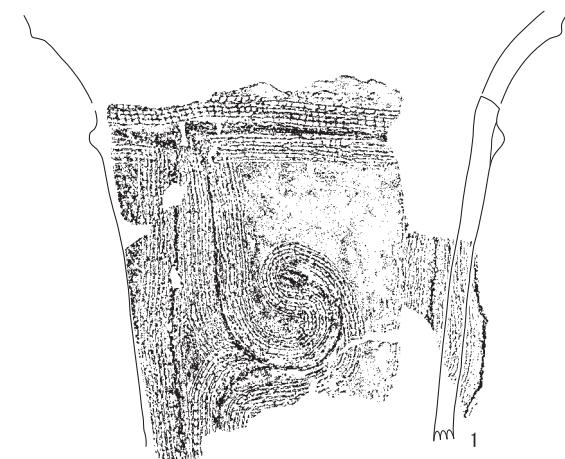
SK-250



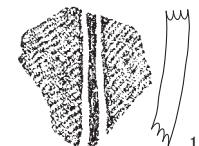
SK-254



SK-257



SK-255



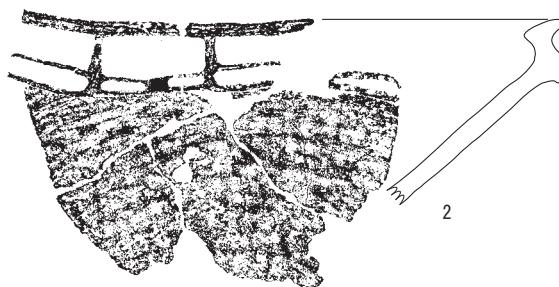
SK-256



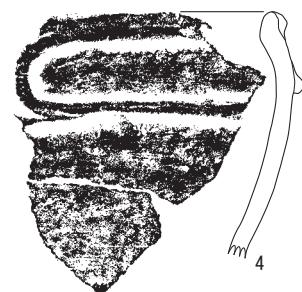
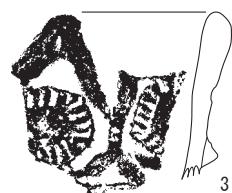
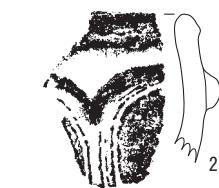
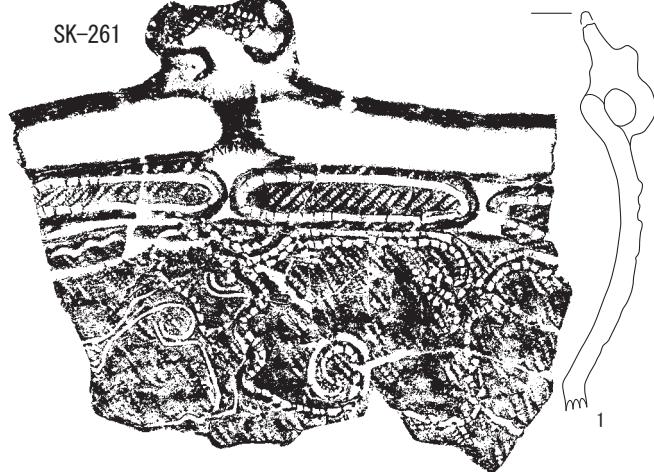
SK-258



SK-259

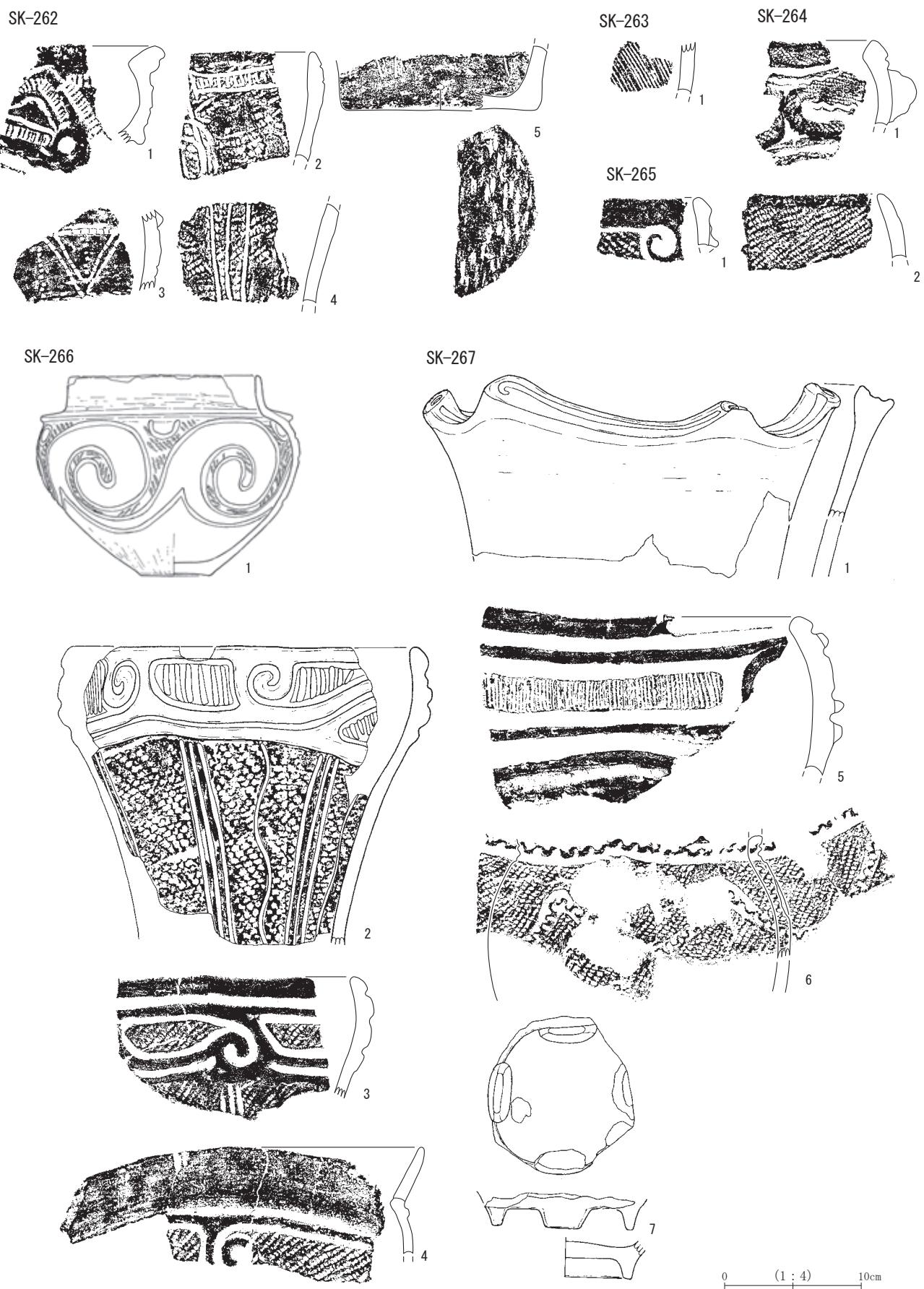


SK-261

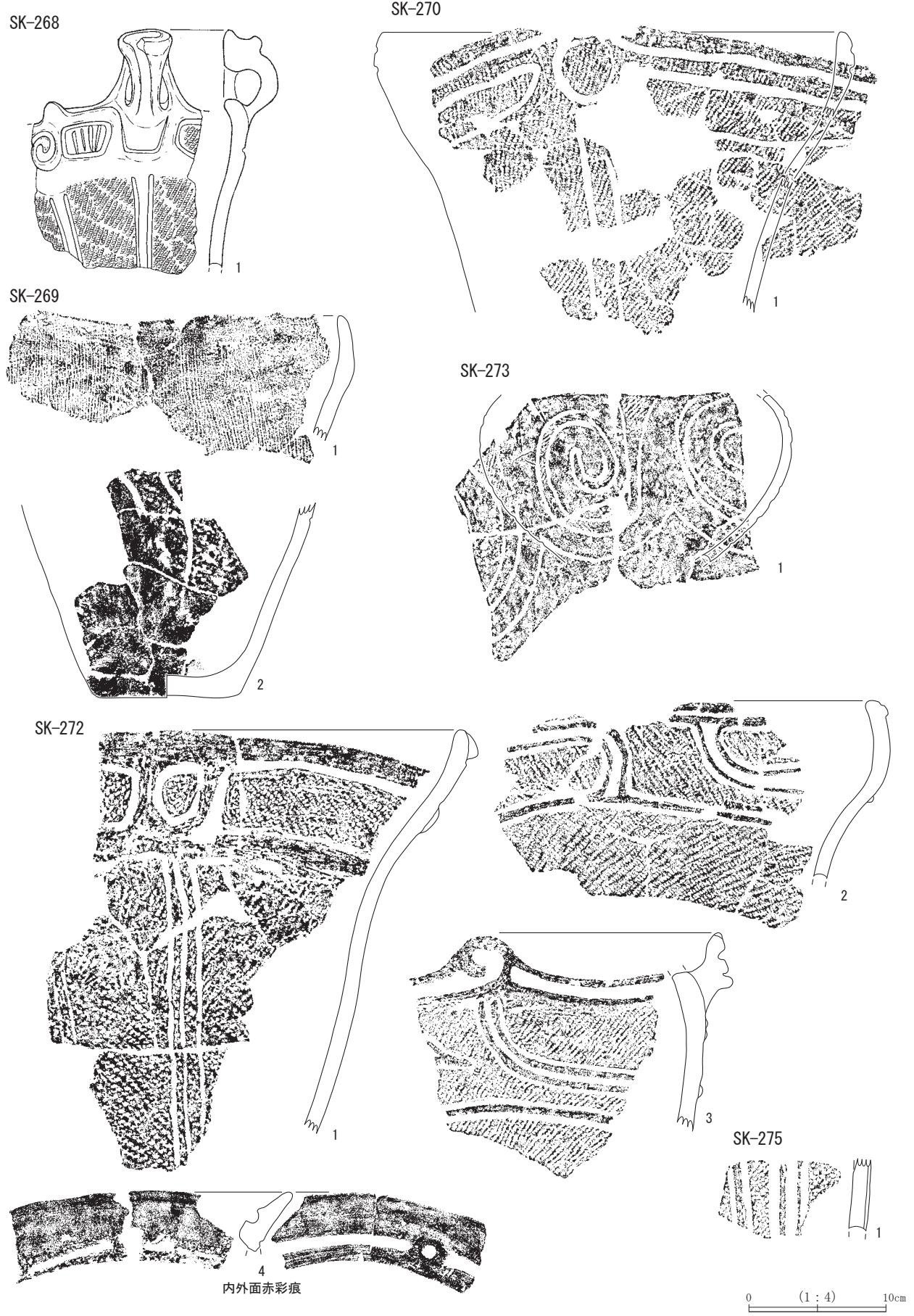


0 (1 : 4) 10cm

第126図 SK-250・254~259・261 出土土器実測図

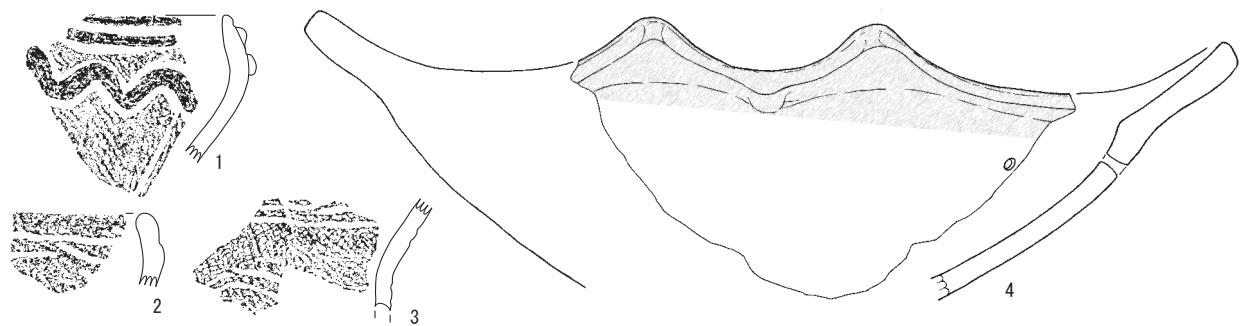


第127図 SK-262~267 出土土器実測図

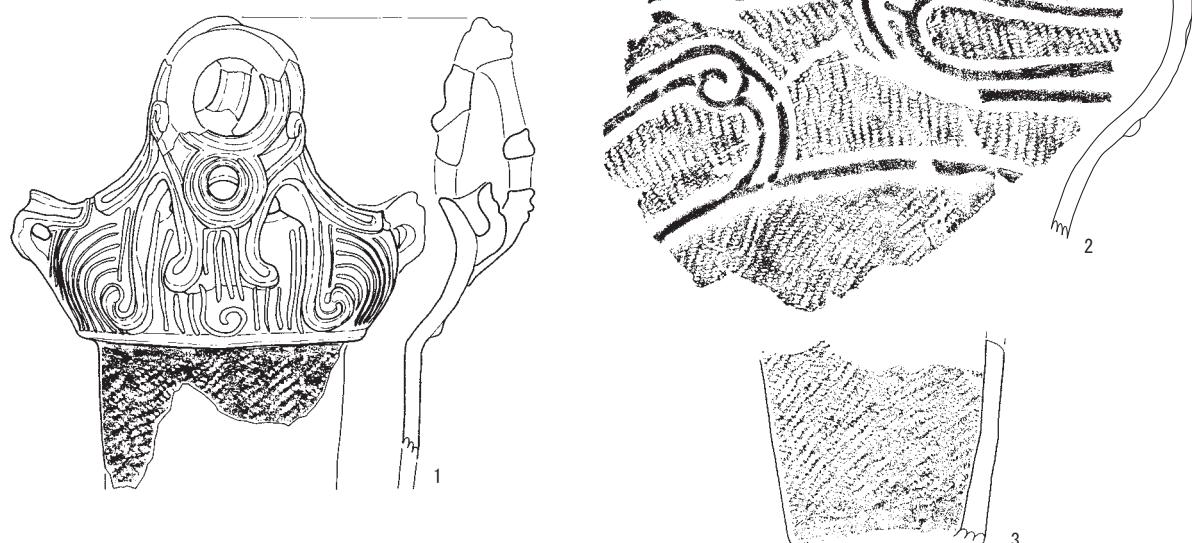


第128図 SK-268~270・272・273・275 出土土器実測図

SK-276



SK-277



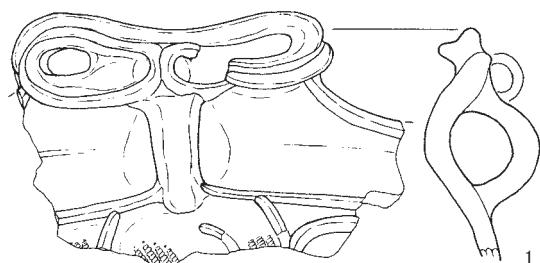
SK-278



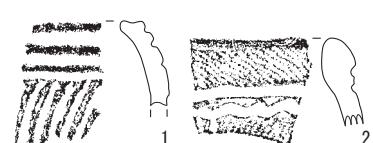
SK-280



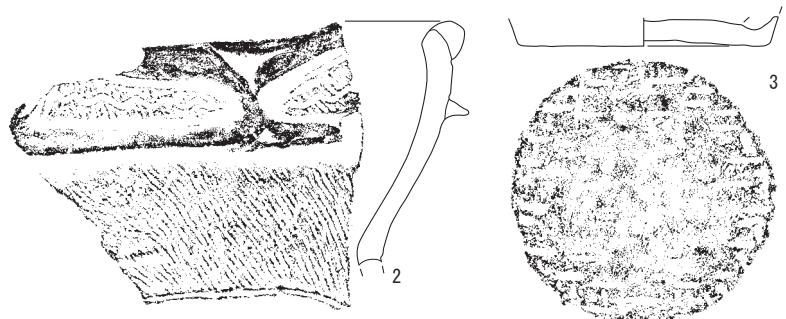
SK-279



SK-281



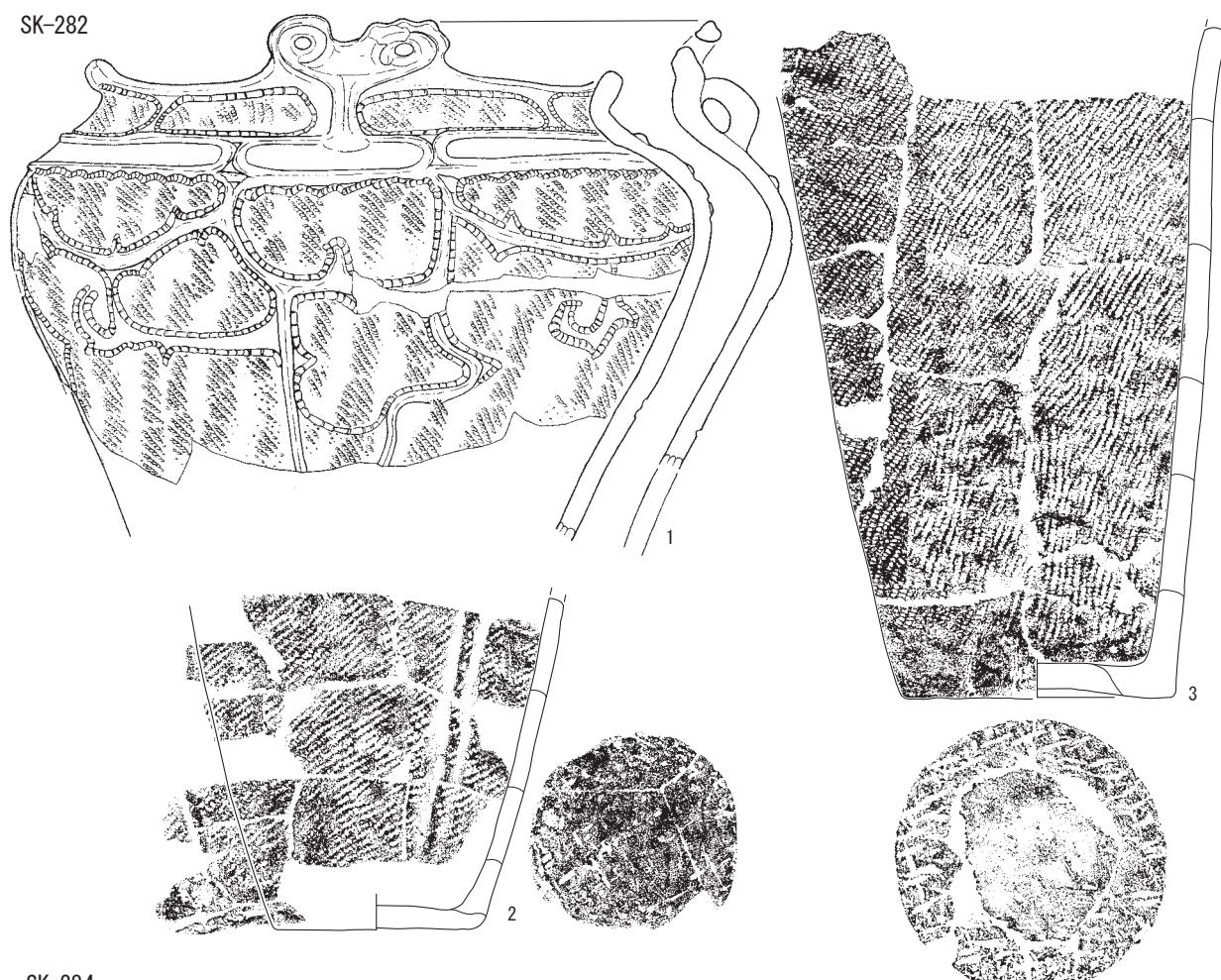
SK-285



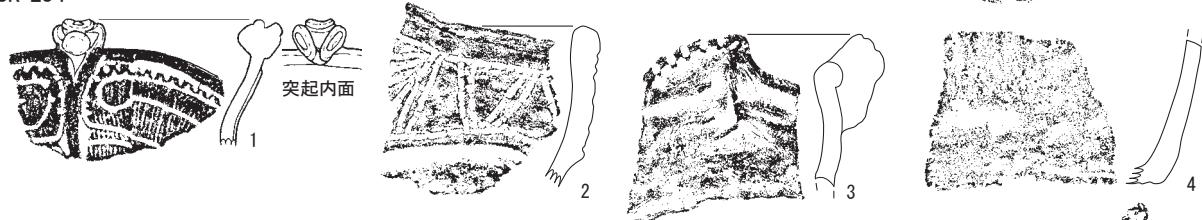
0 (1 : 4) 10cm

第129図 SK-276~281・285 出土土器実測図

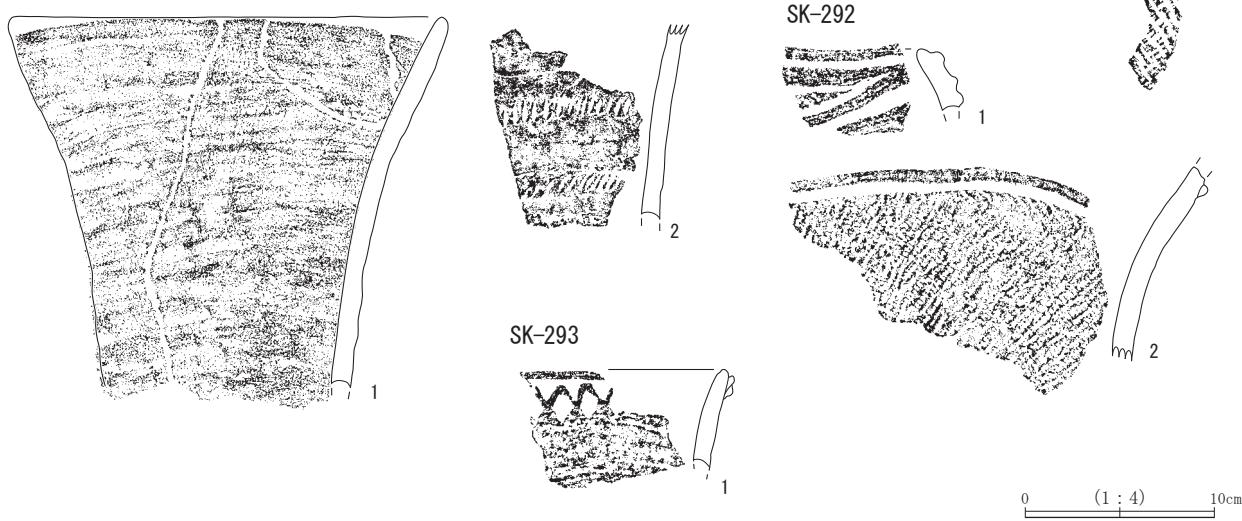
SK-282



SK-284

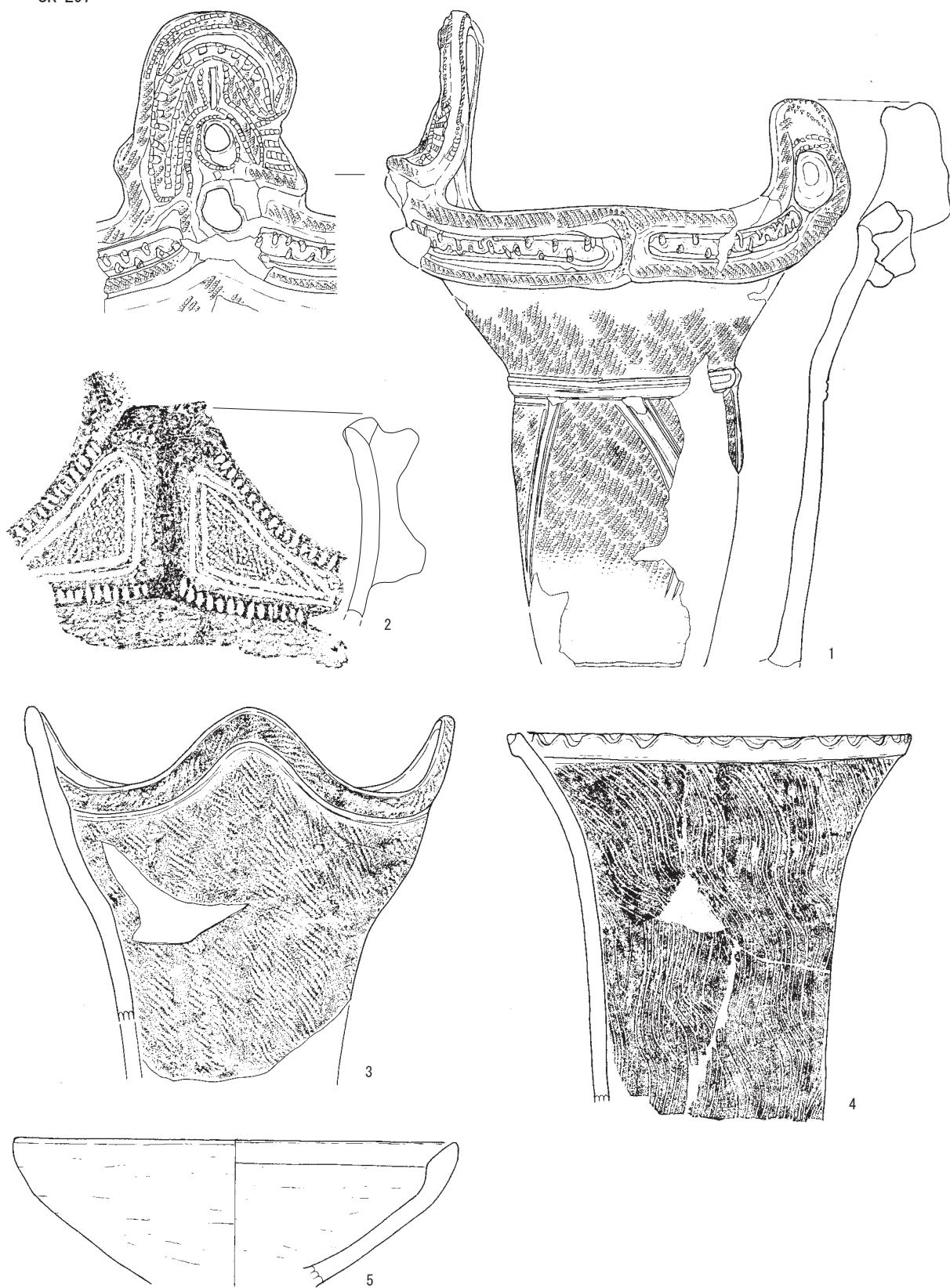


SK-287



第130図 SK-282・284・287・292・293 出土土器実測図

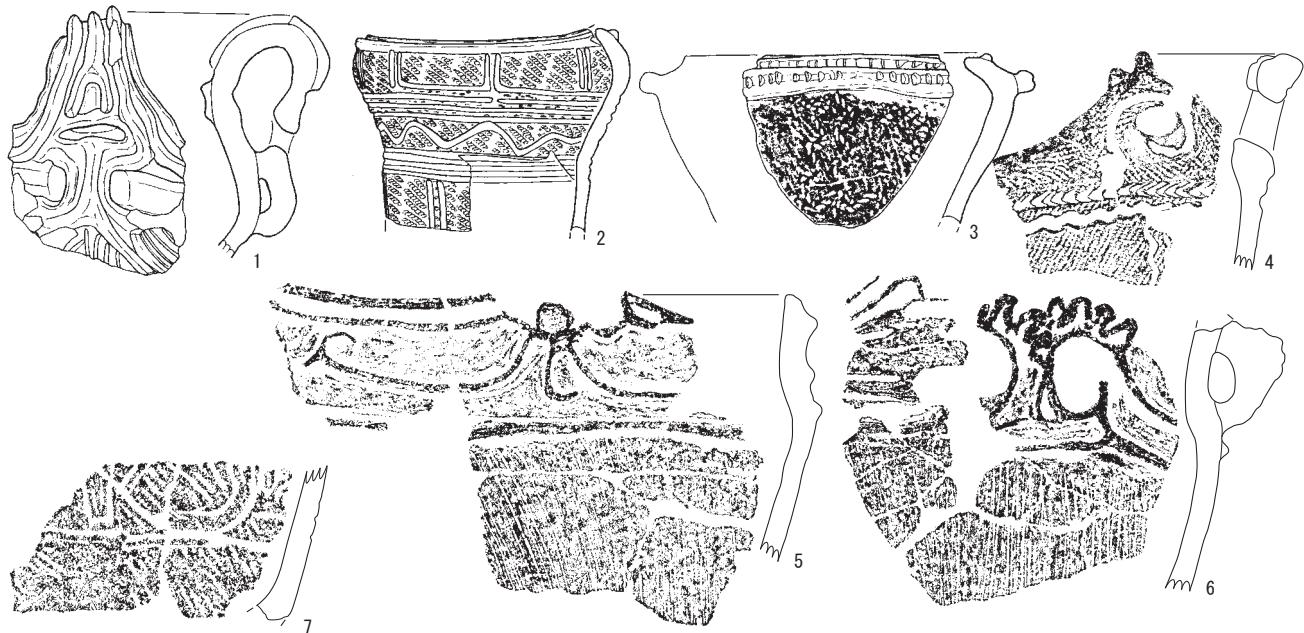
SK-297



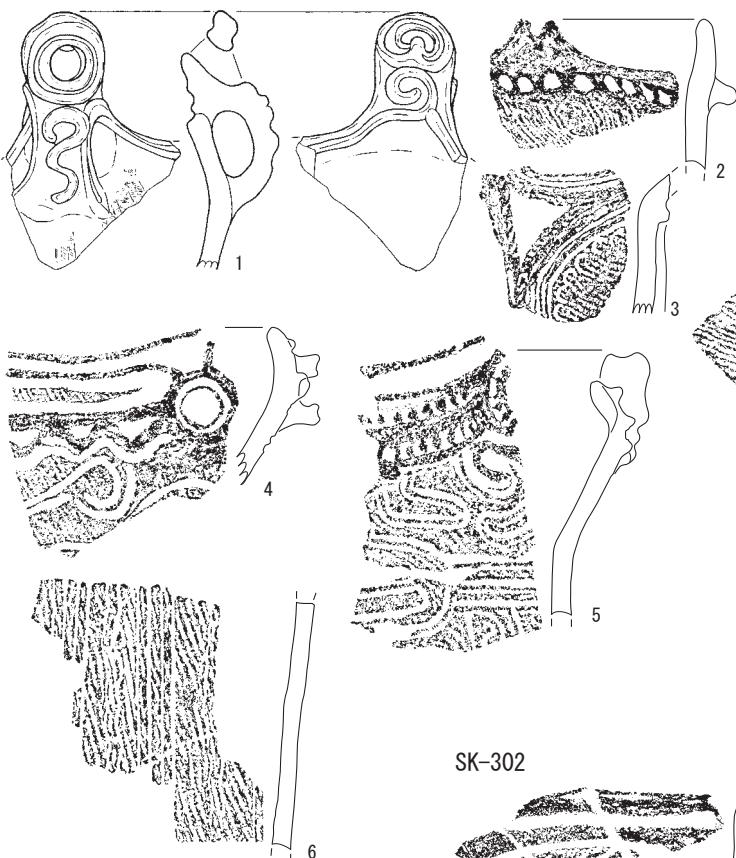
0 (1 : 4) 10cm

第131図 SK-297 出土土器実測図

SK-288



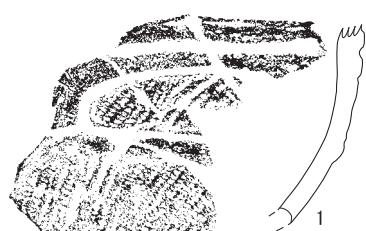
SK-298



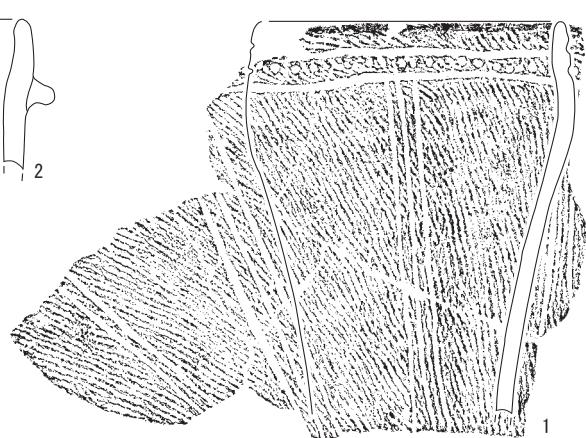
SK-300



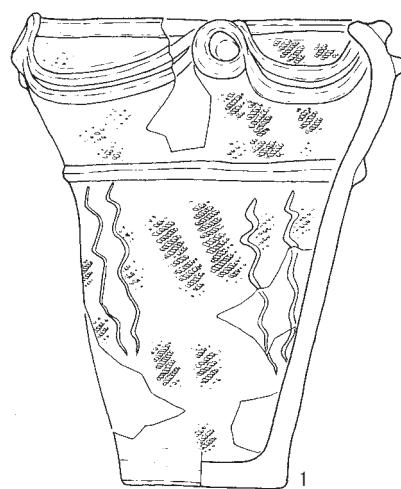
SK-302



SK-299



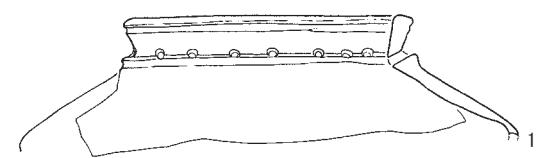
SK-301



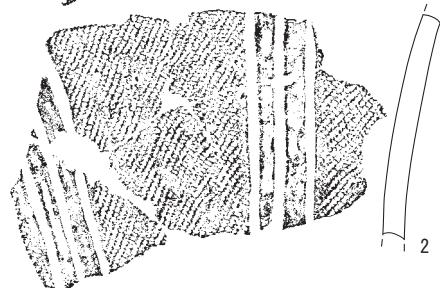
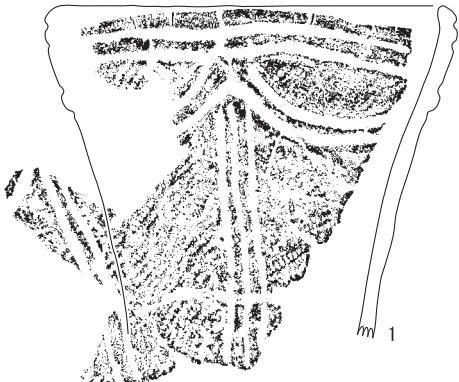
0 (1 : 4) 10cm

第132図 SK-288・298~302 出土土器実測図

SK-303



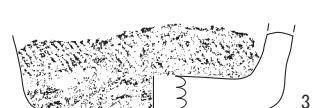
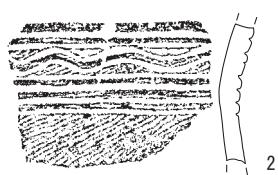
SK-304



SK-305

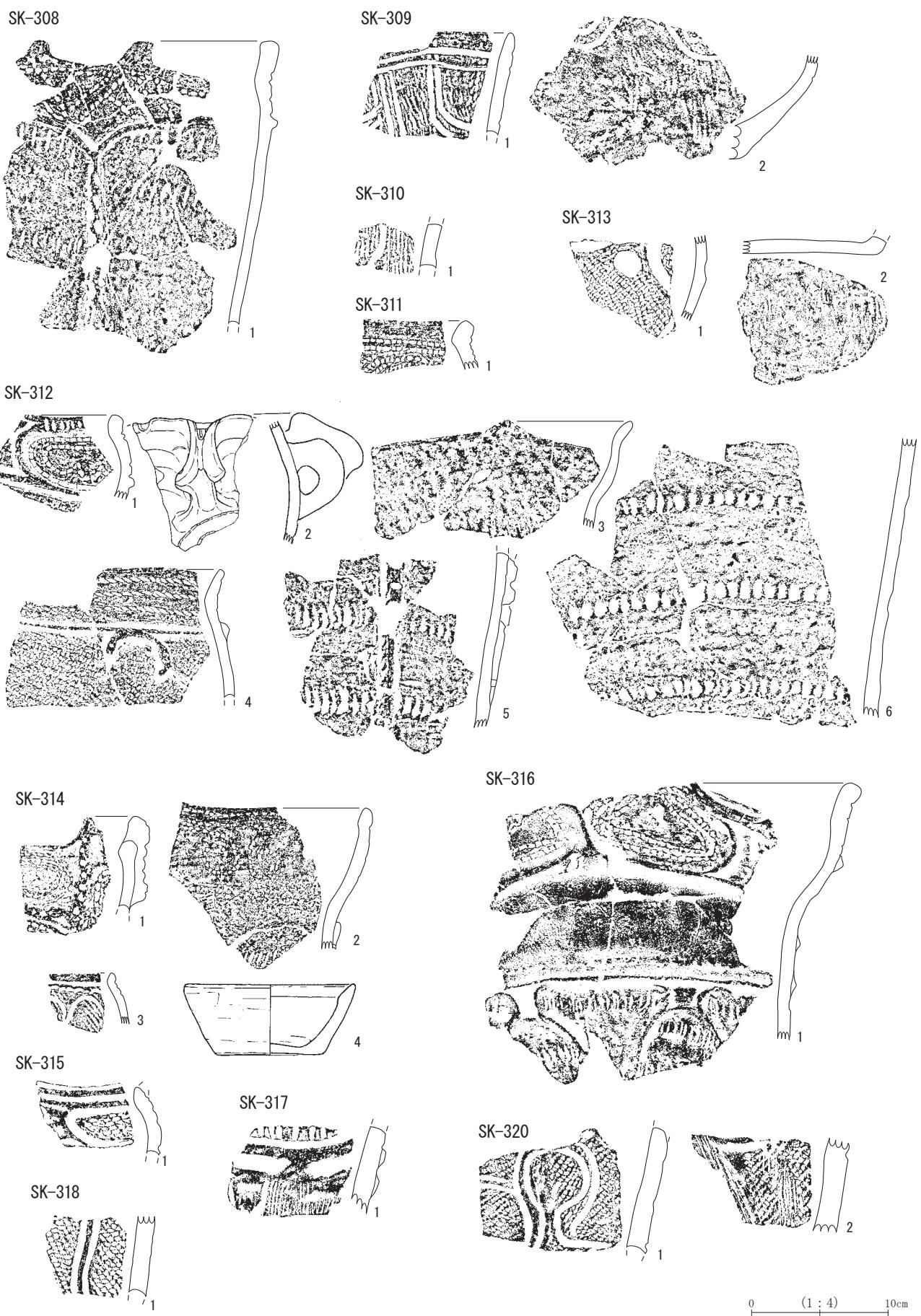


SK-307



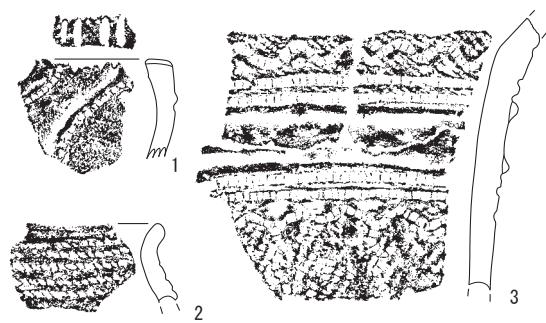
0 (1 : 4) 10cm

第133図 SK-303~305・307 出土土器実測図

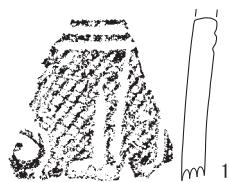


第134図 SK-308~318・320 出土土器実測図

SK-322



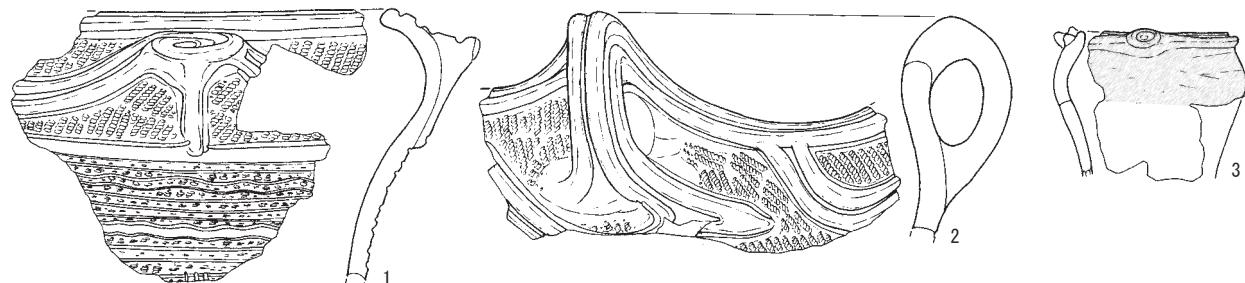
SK-323



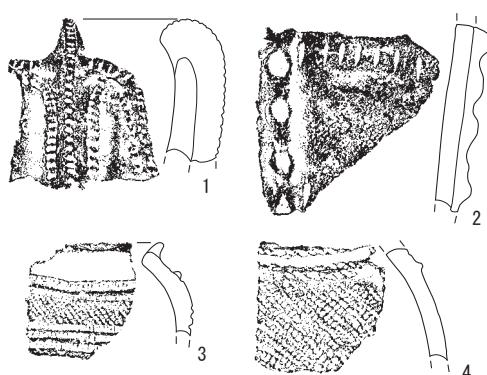
SK-325



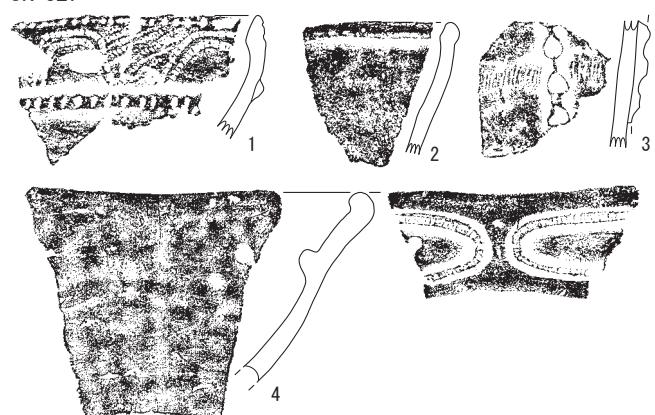
SK-324



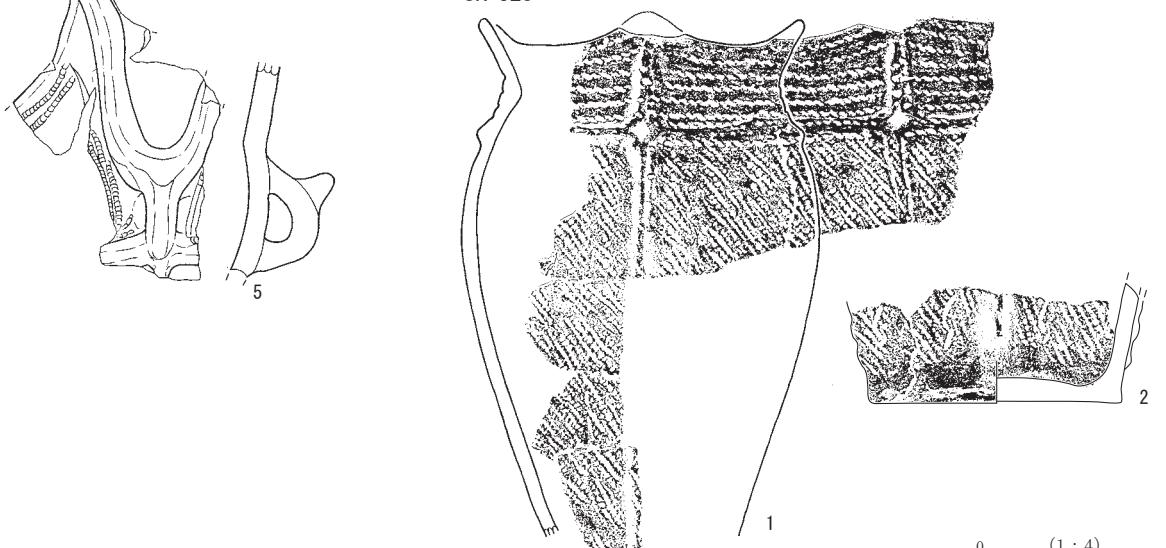
SK-326



SK-327

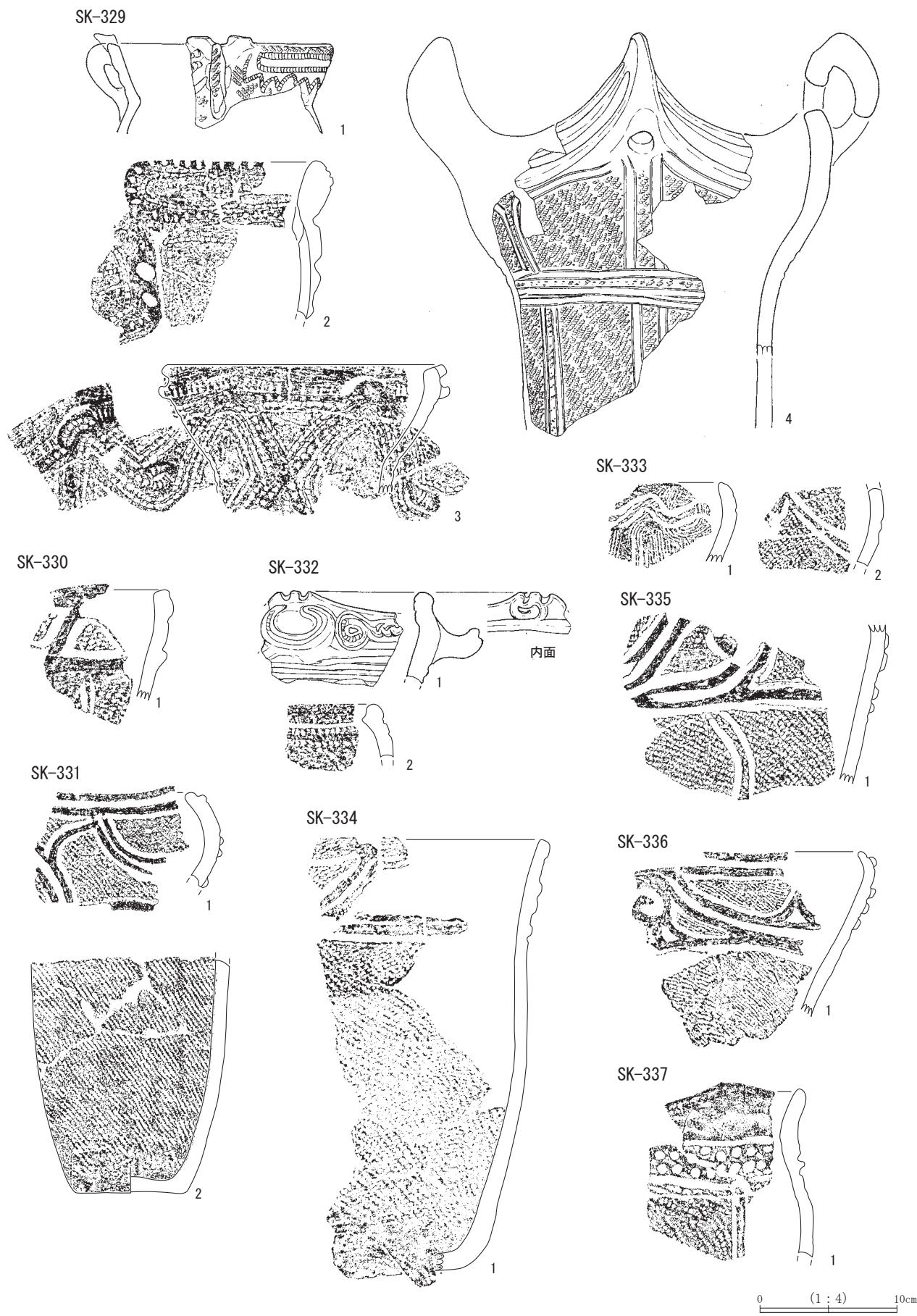


SK-328

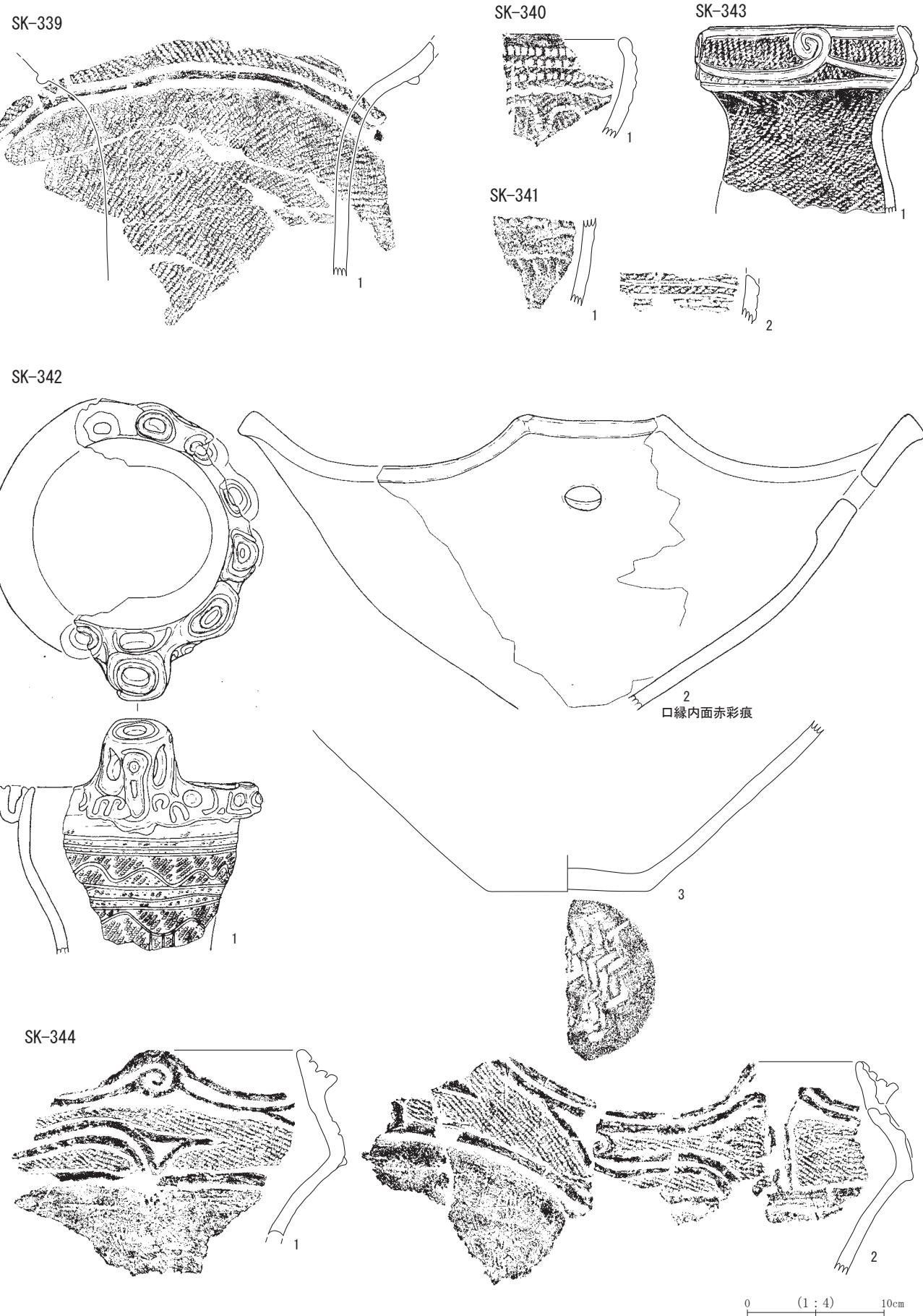


0 (1 : 4) 10cm

第135図 SK-322~328 出土土器実測図



第136図 SK-329~337 出土土器実測図

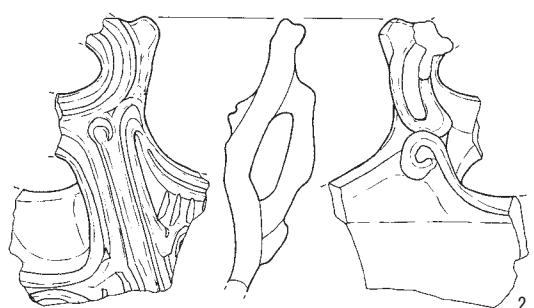


第137図 SK-339~344 出土土器実測図

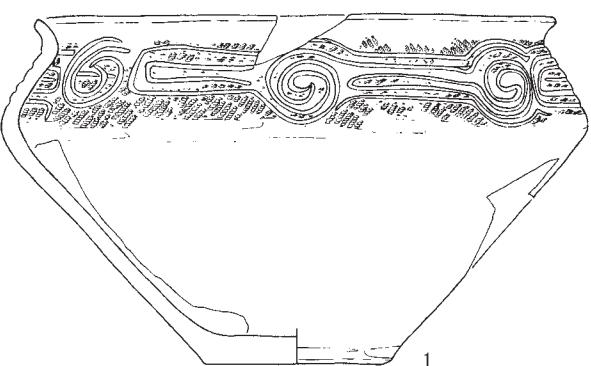
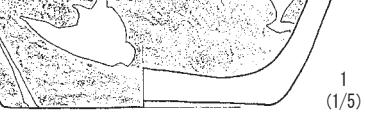
SK-345



SK-346



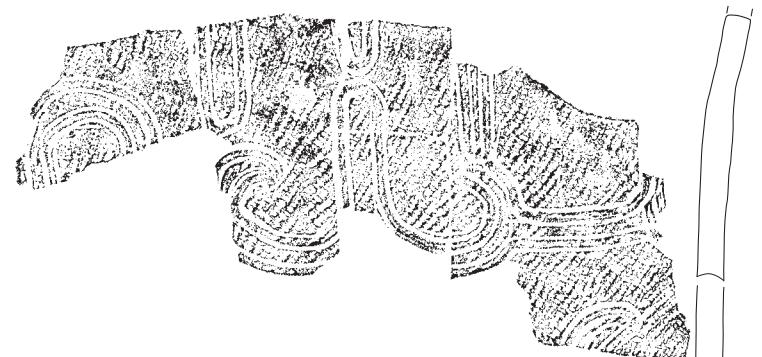
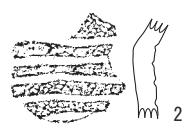
SK-347



SK-348

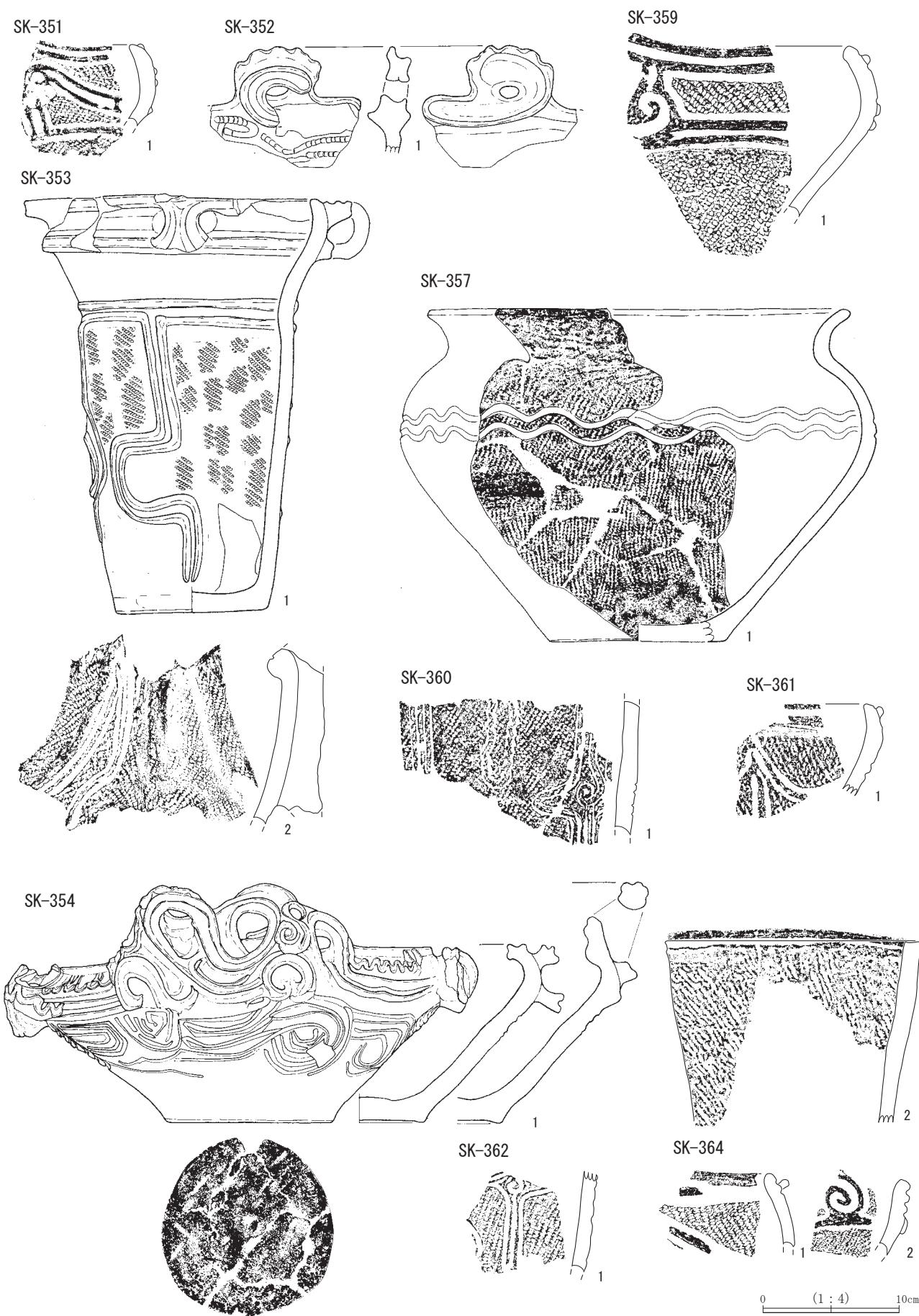


SK-350

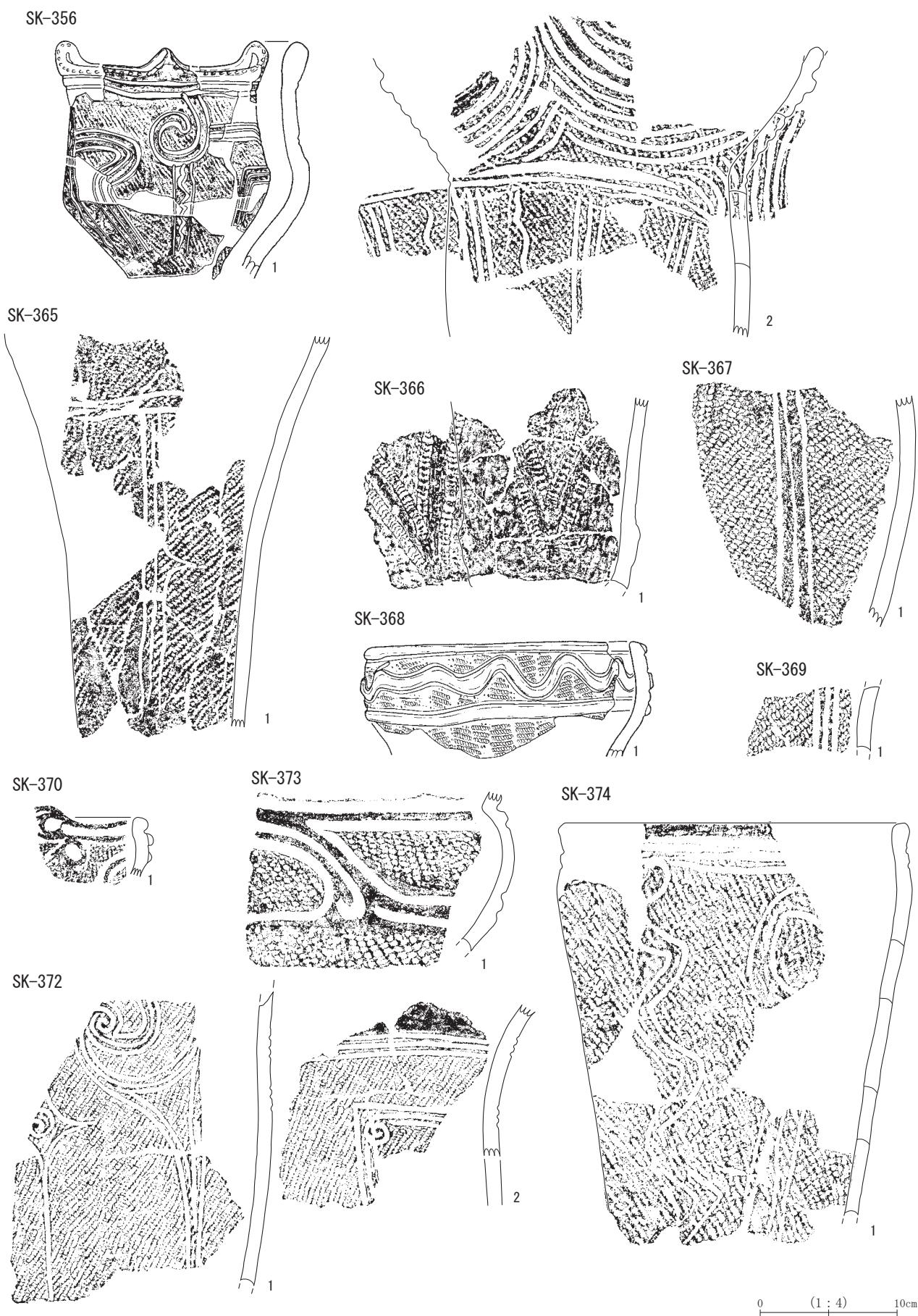


0 (1 : 4) 10cm

第138図 SK-345~348・350 出土土器実測図

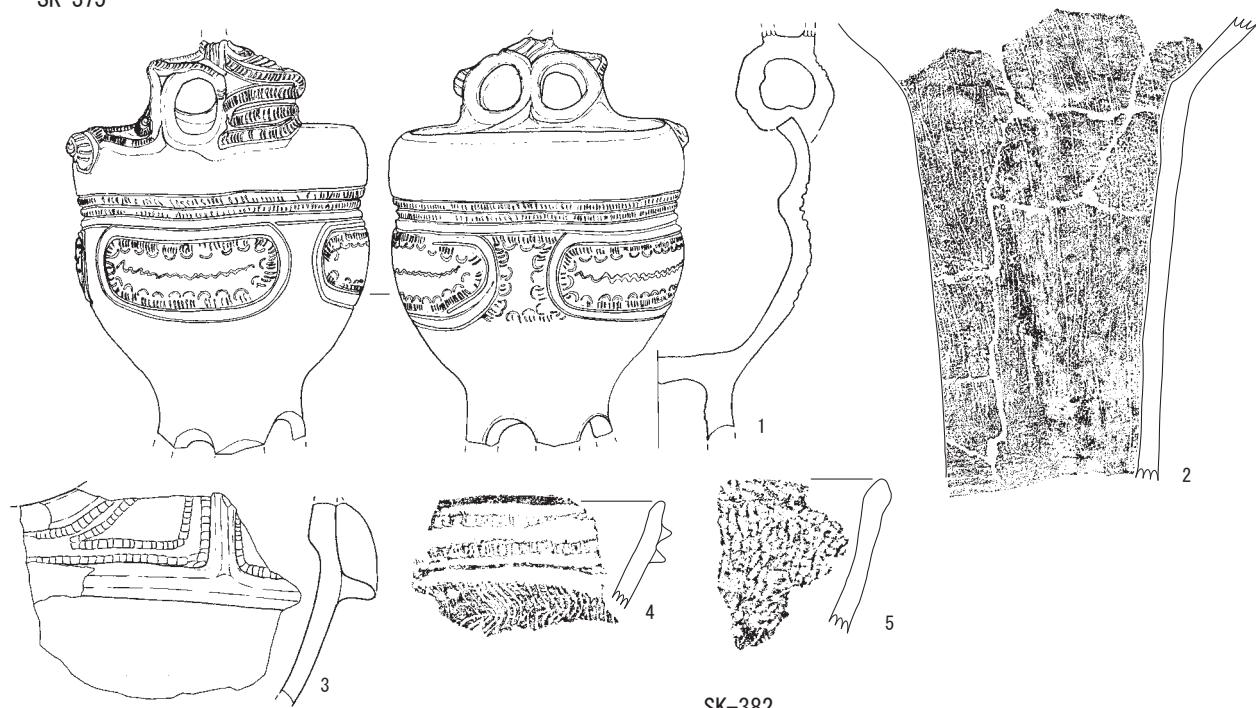


第139図 SK-351~354・357・359~362・364 出土土器実測図

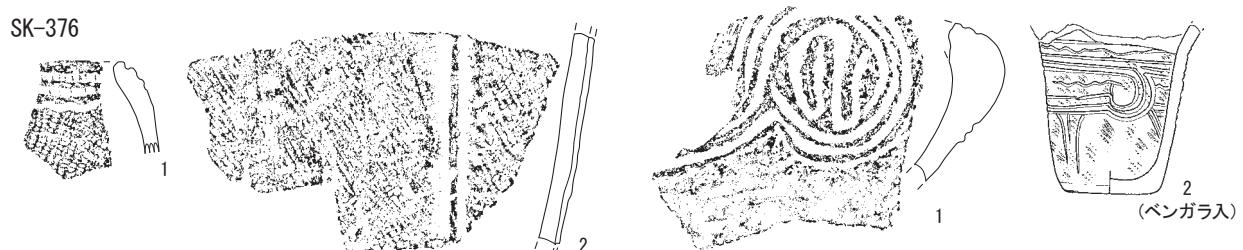


第140図 SK-356・365~370・372~374 出土土器実測図

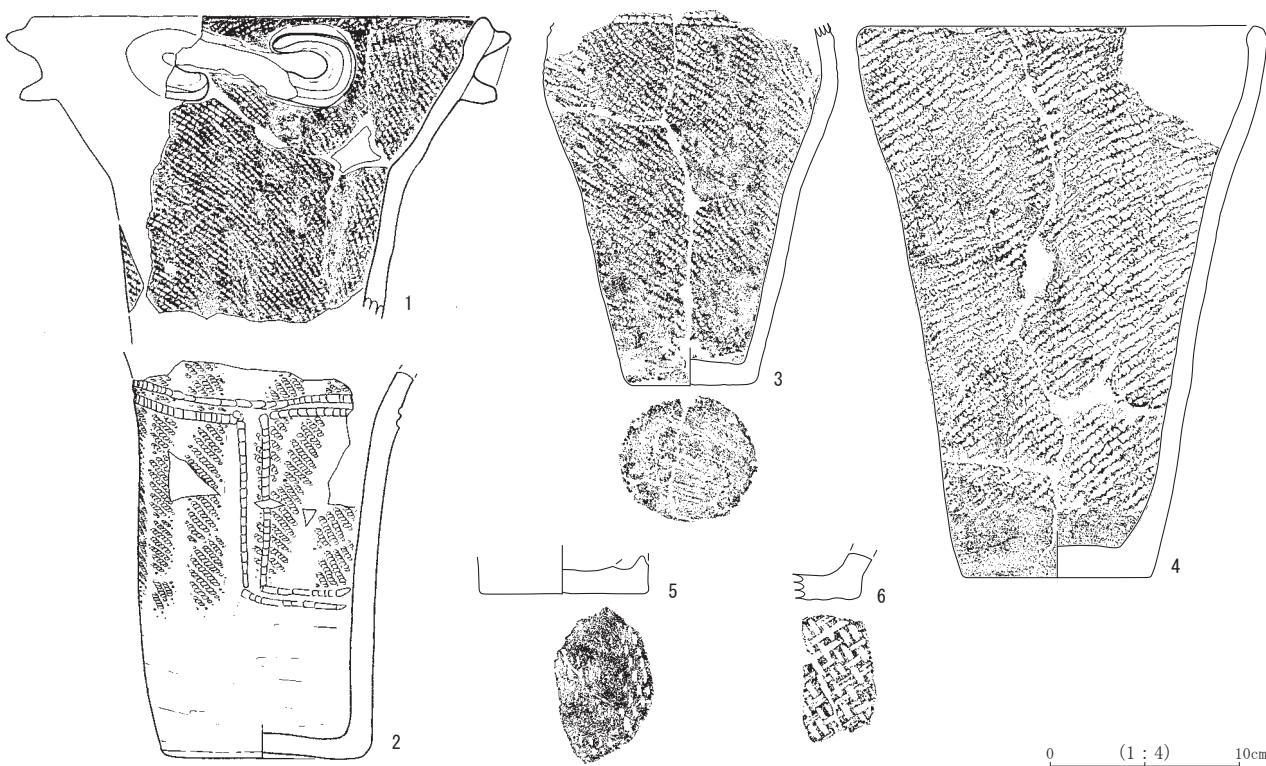
SK-375



SK-382



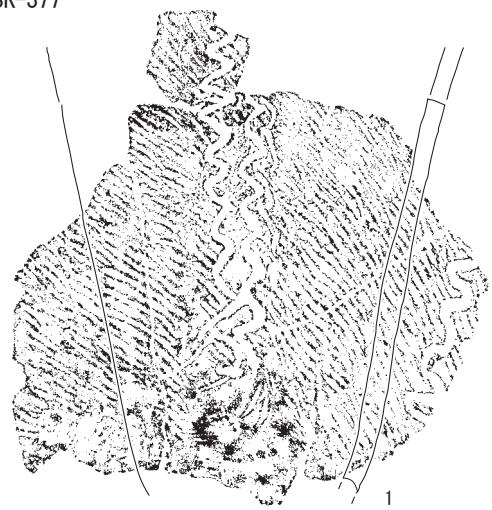
SK-376



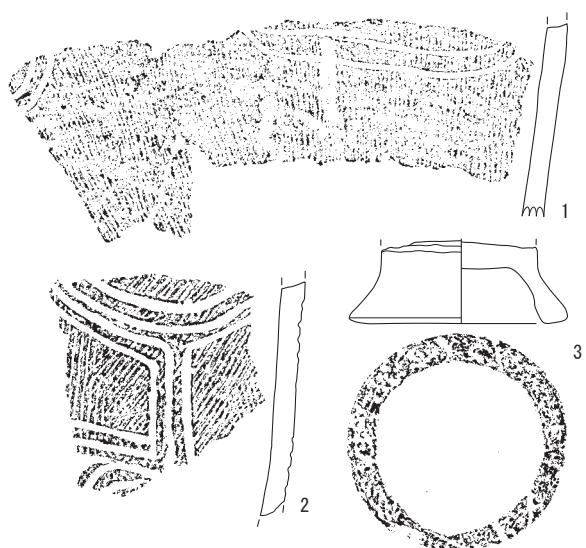
0 (1 : 4) 10cm

第141図 SK-375・376・378・382 出土土器実測図

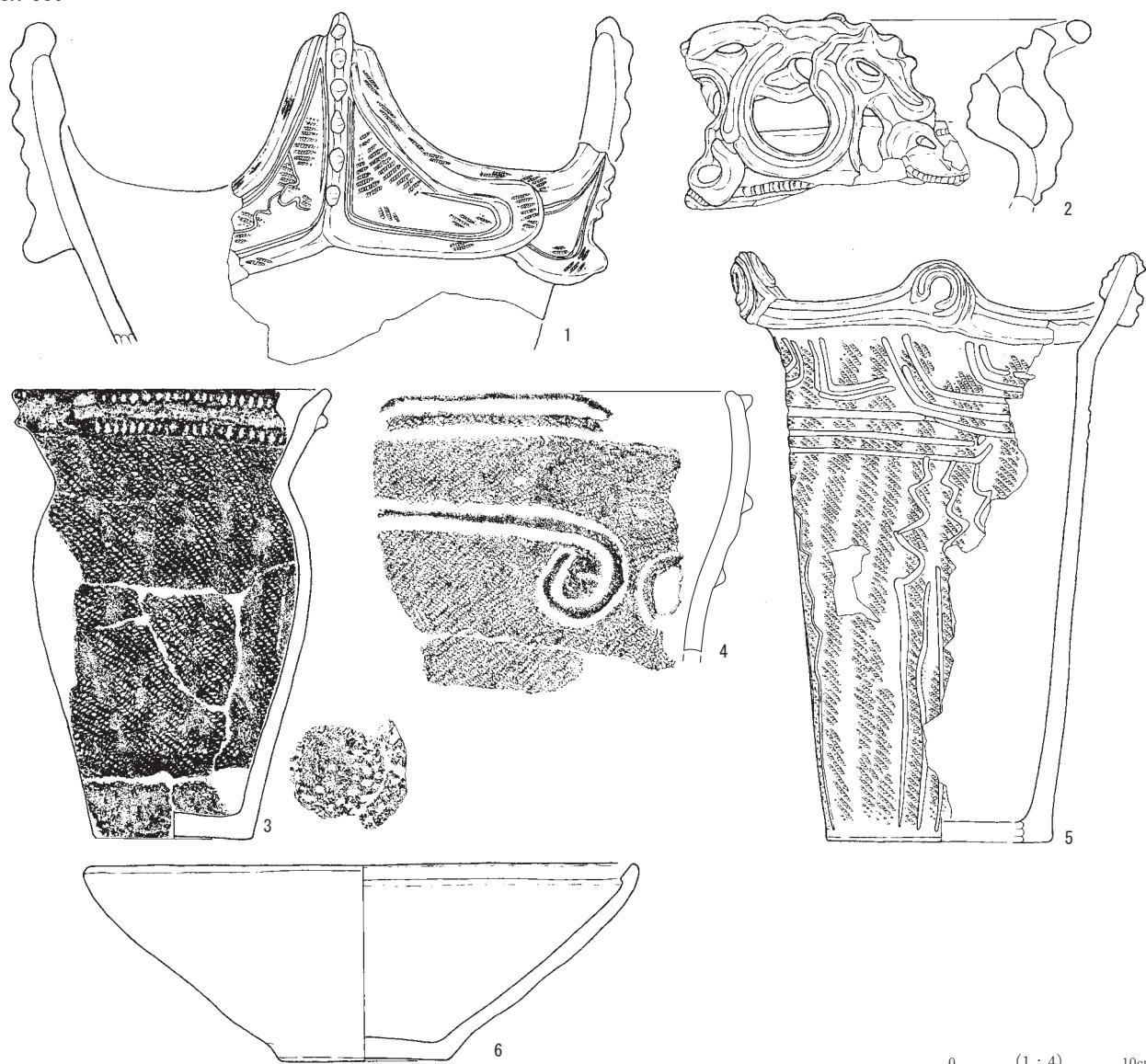
SK-377



SK-381

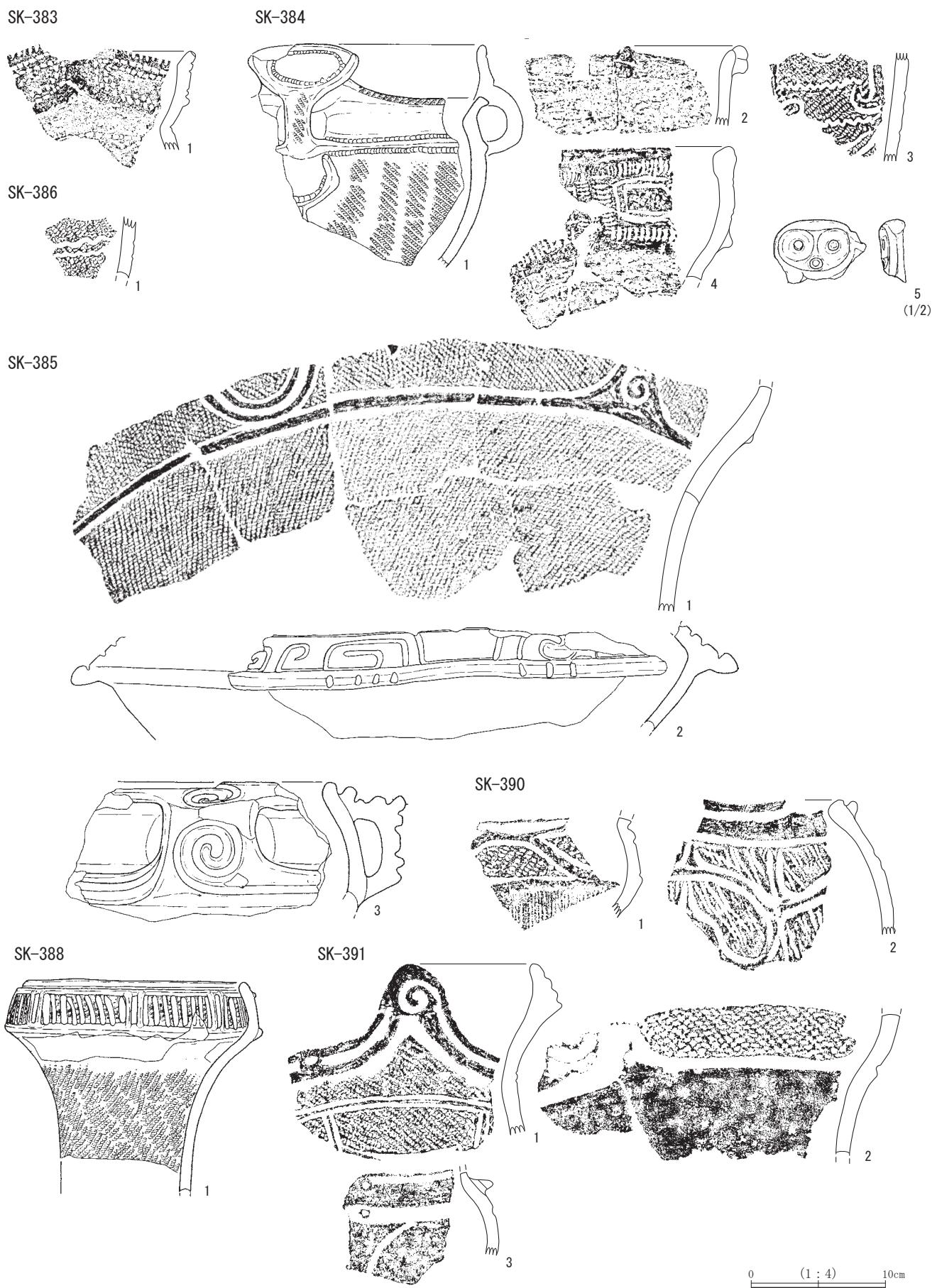


SK-380



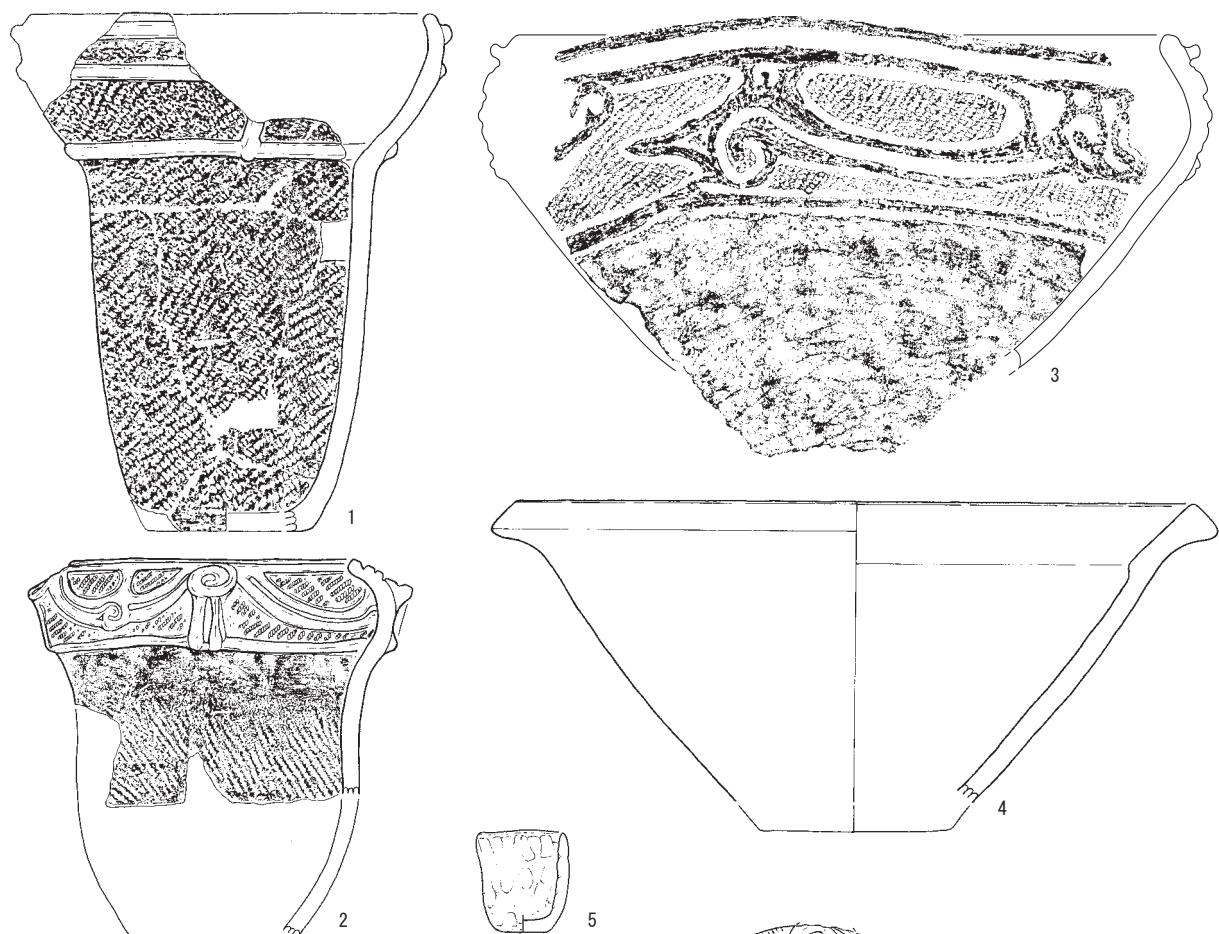
0 (1 : 4) 10cm

第142図 SK-377・380・381 出土土器実測図

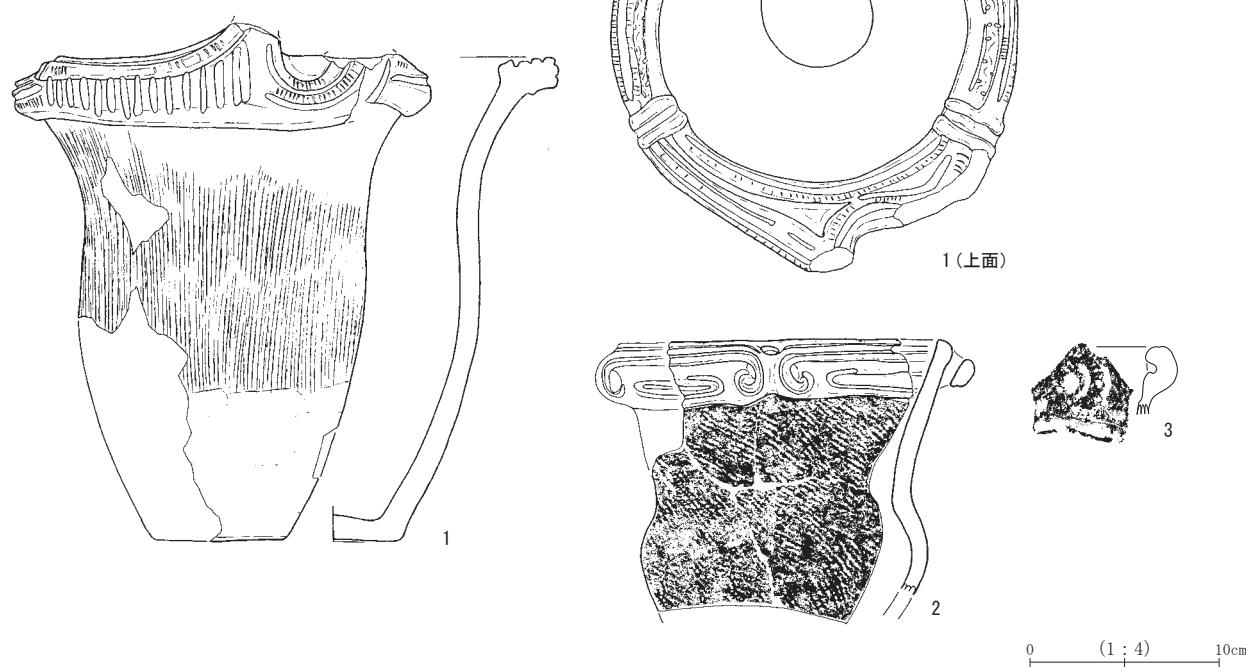


第143図 SK-383~386・388・390・391 出土土器実測図

SK-389



SK-392



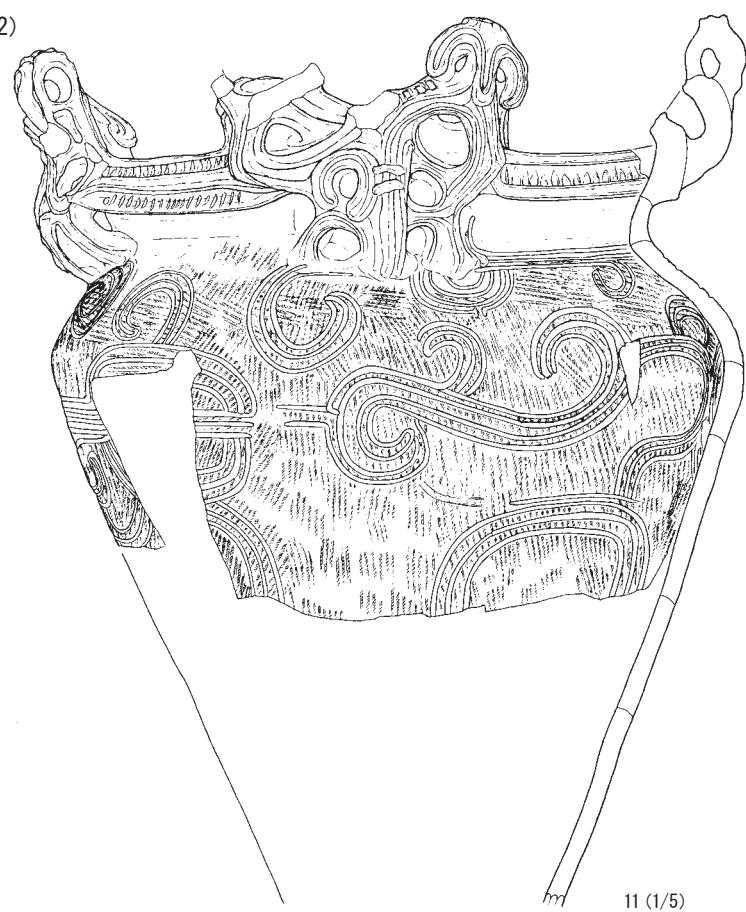
第144図 SK-389・392 出土土器実測図

SK-393 (1)

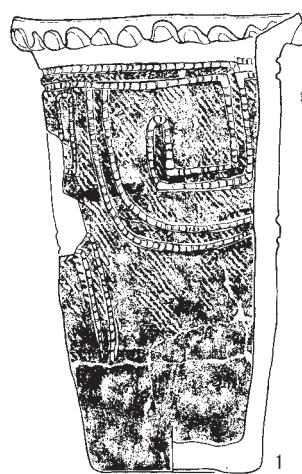


第145図 SK-393(1) 出土土器実測図

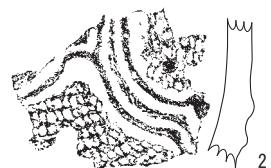
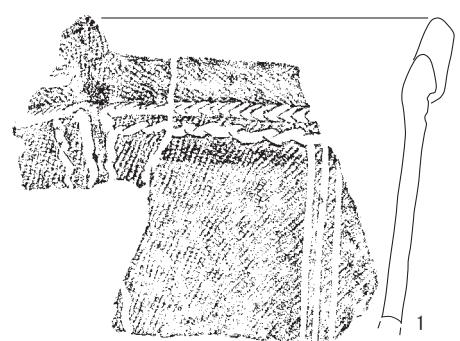
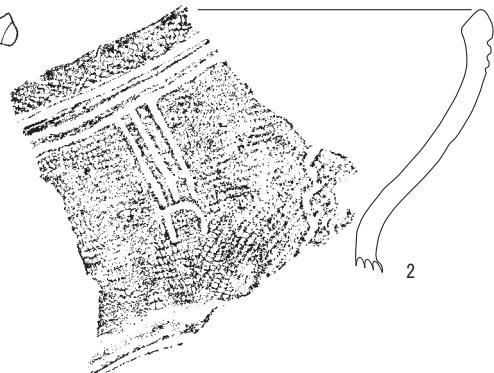
SK-393 (2)



SK-394



SK-395



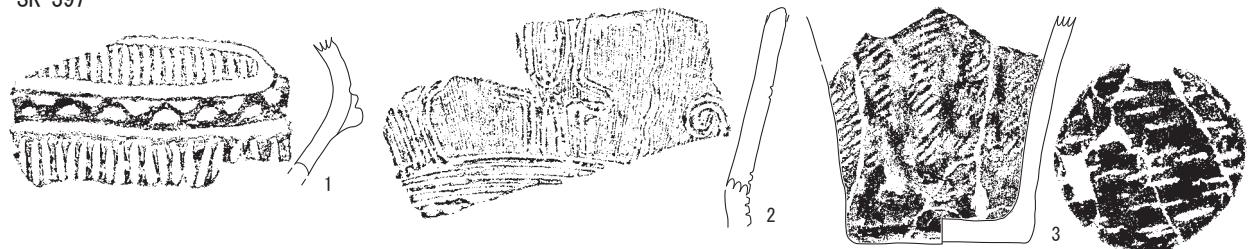
0 (1 : 4) 10cm

第146図 SK-393(2)～395 出土土器実測図

SK-396



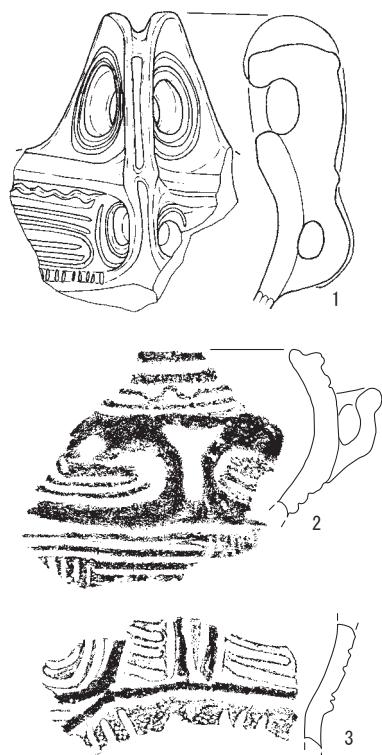
SK-397



0 (1 : 4) 10cm

第147図 SK-396・397 出土土器実測図

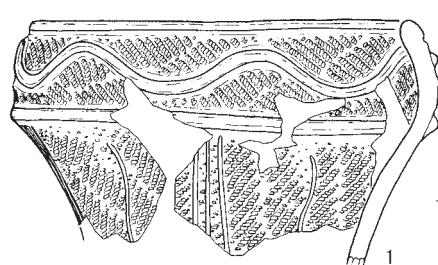
SK-398



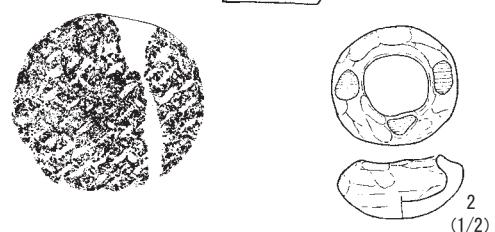
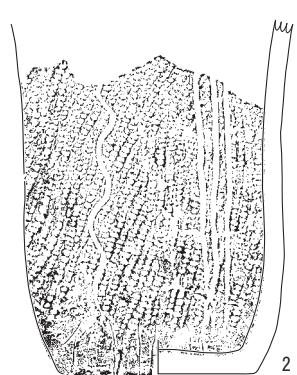
SK-399



SK-400

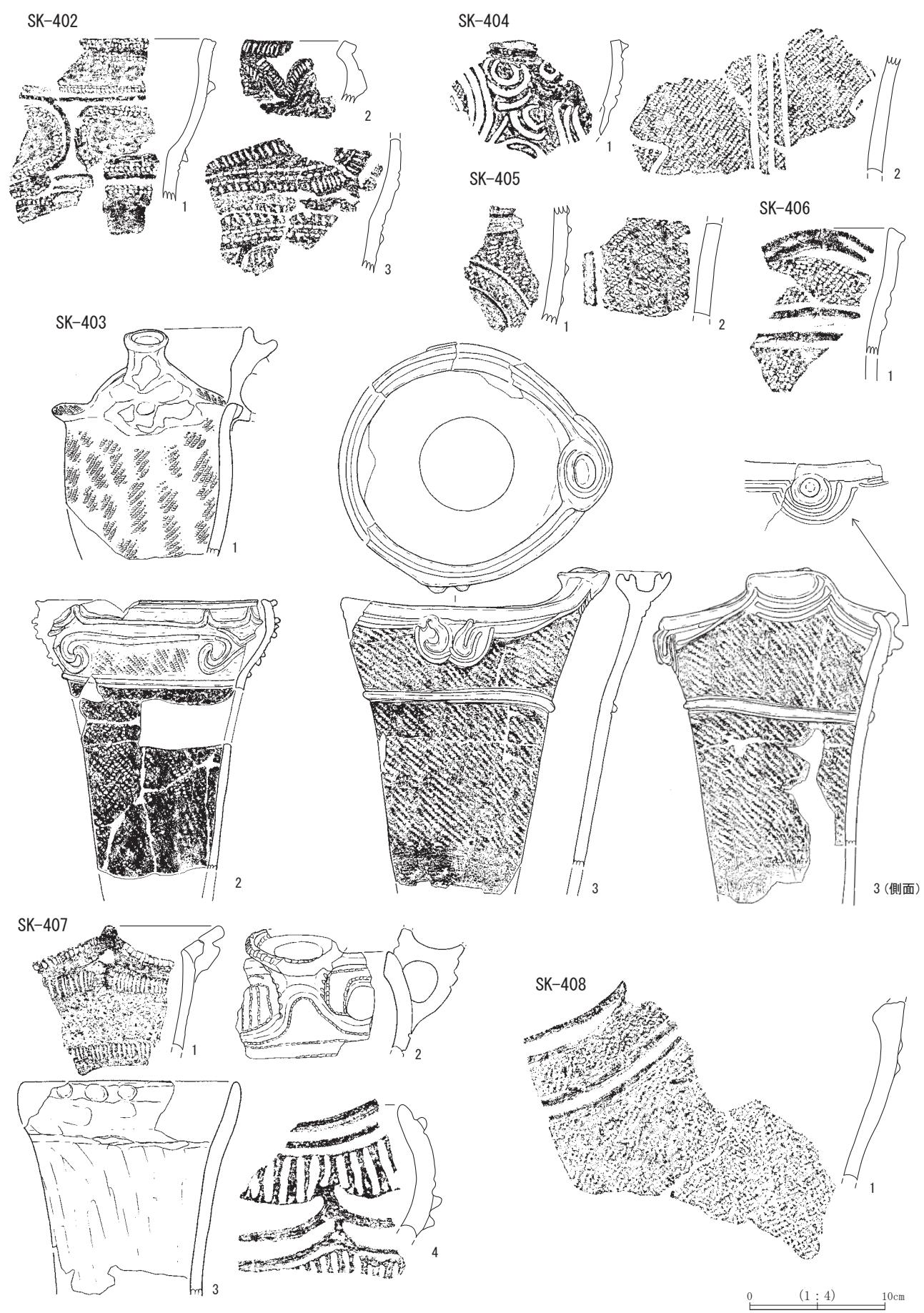


SK-401

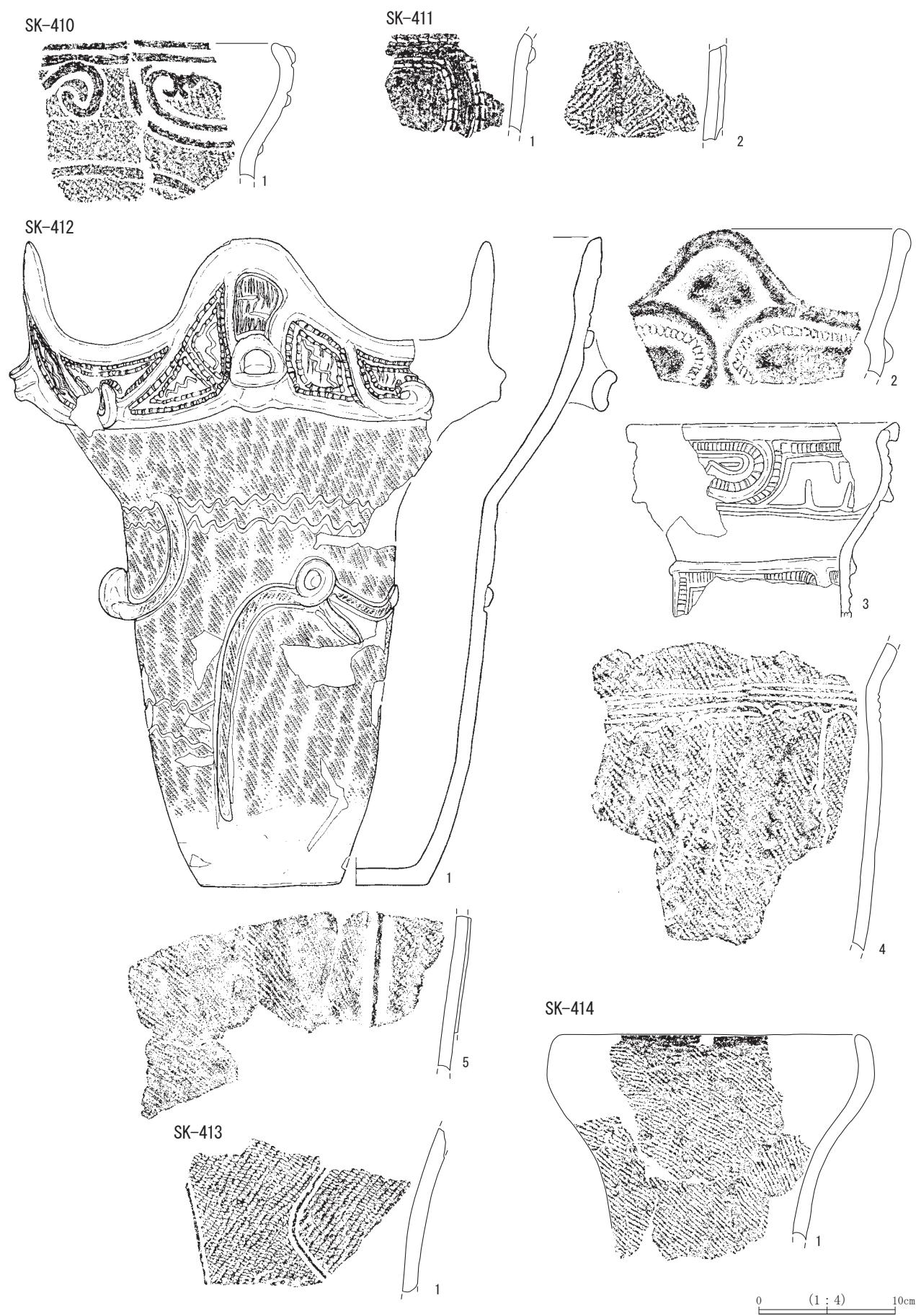


0 (1 : 4) 10cm

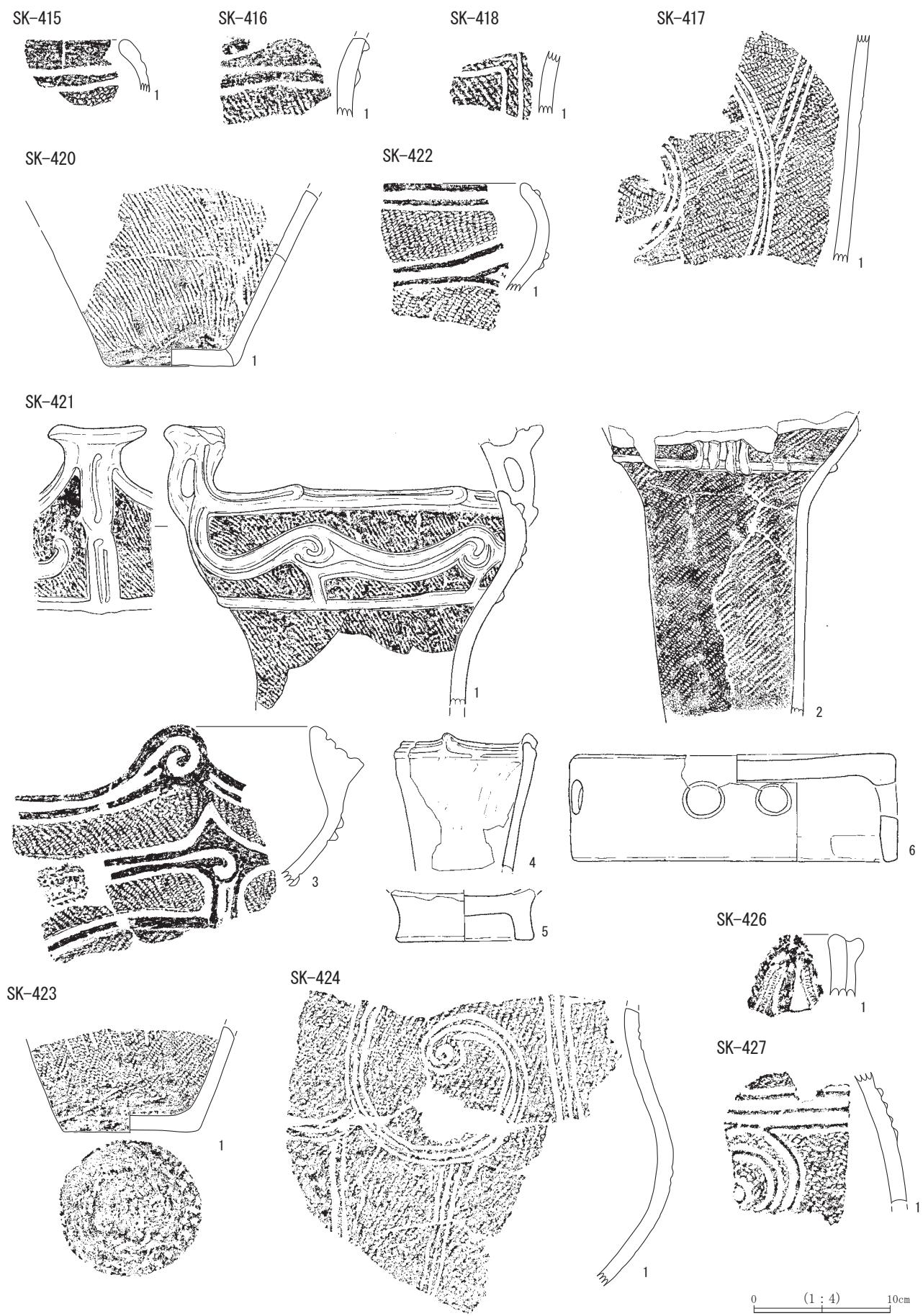
第148図 SK-398~401 出土土器実測図



第149図 SK-402~408 出土土器実測図



第150図 SK-410~414 出土土器実測図



第151図 SK-415~418・420~424・426・427 出土土器実測図

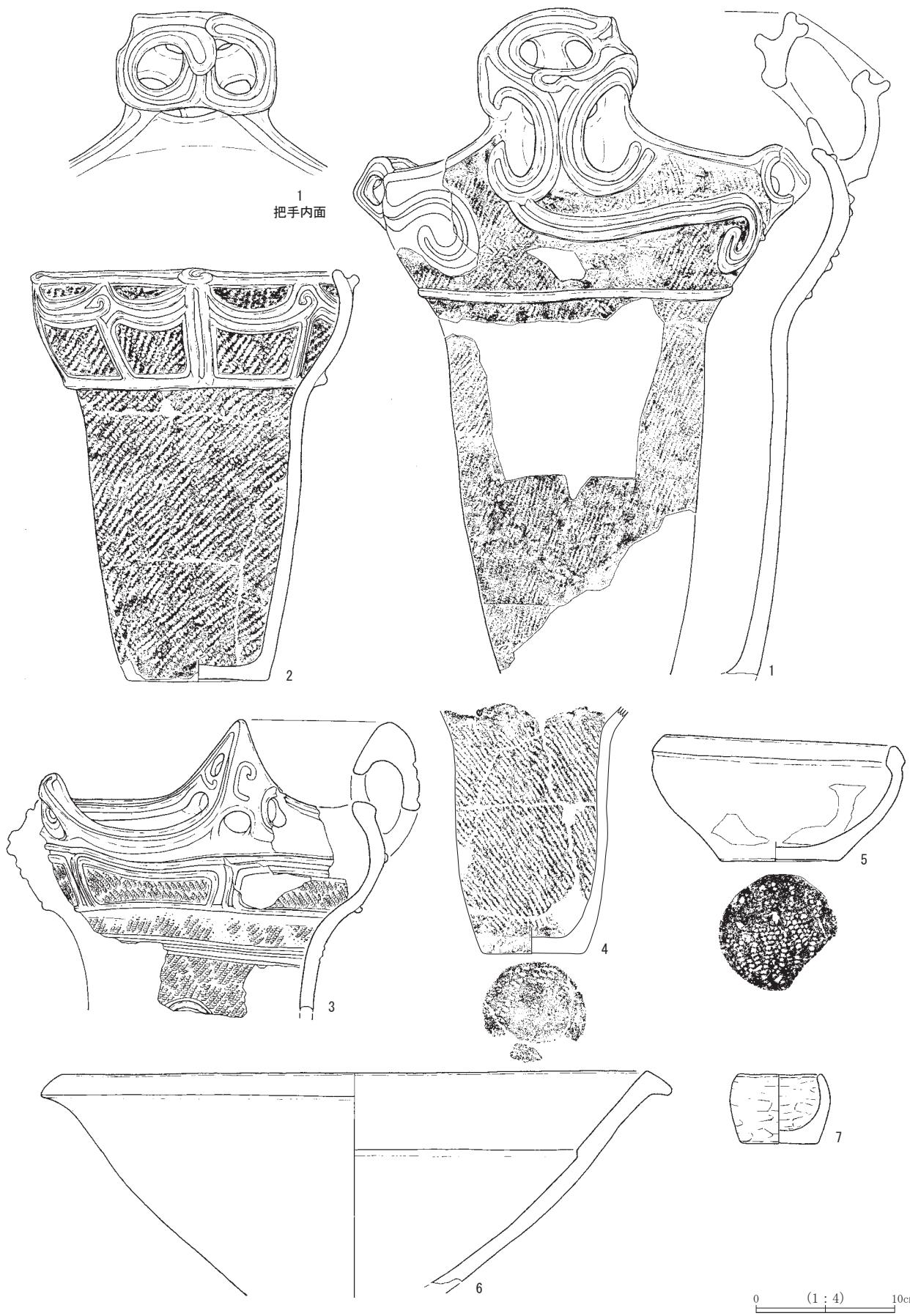


第152図 SK-425・429~431・436 出土土器実測図



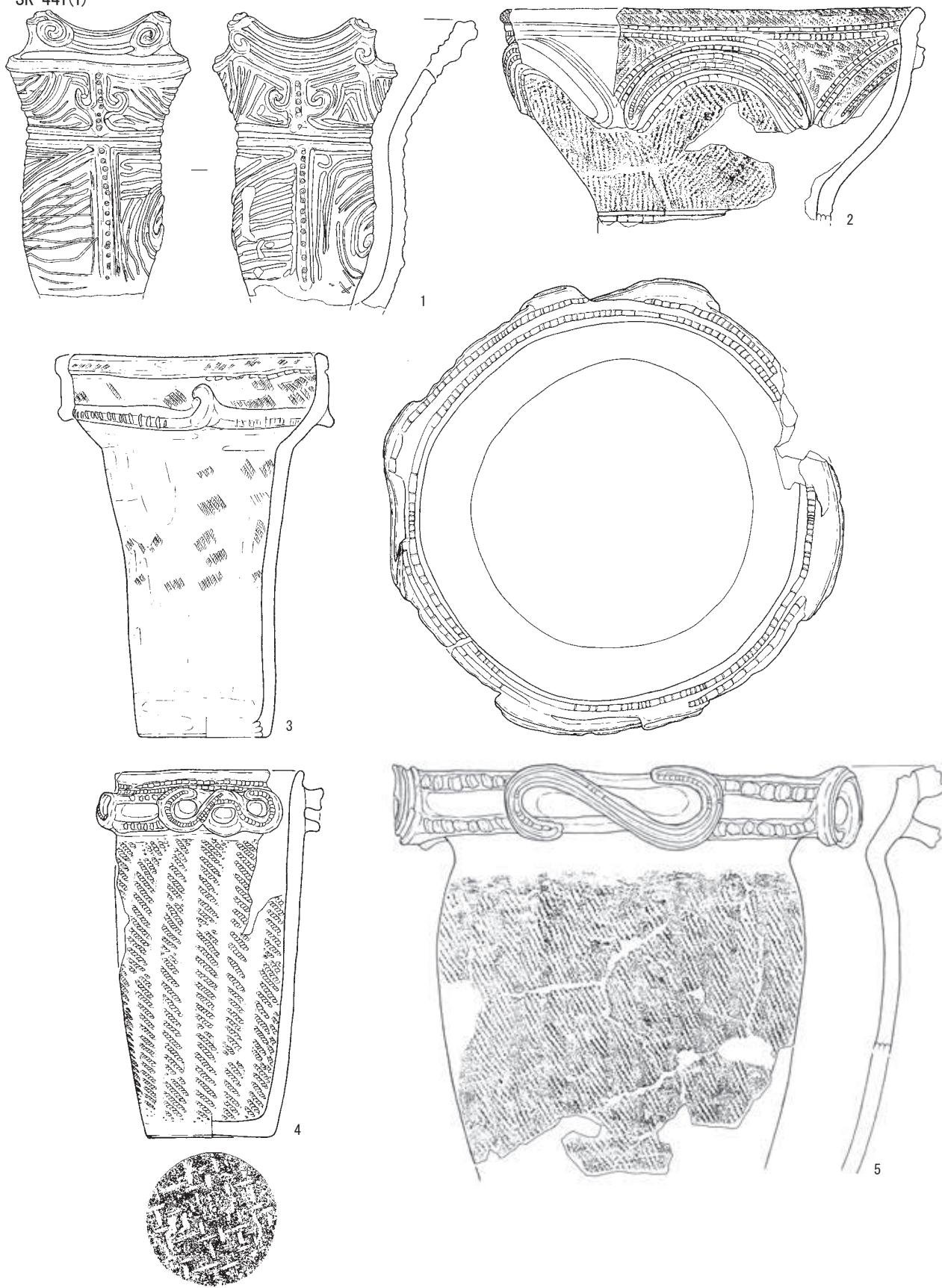
第153図 SK-433・434・437~439 出土遺物実測図

SK-440



第154図 SK-440 出土土器実測図

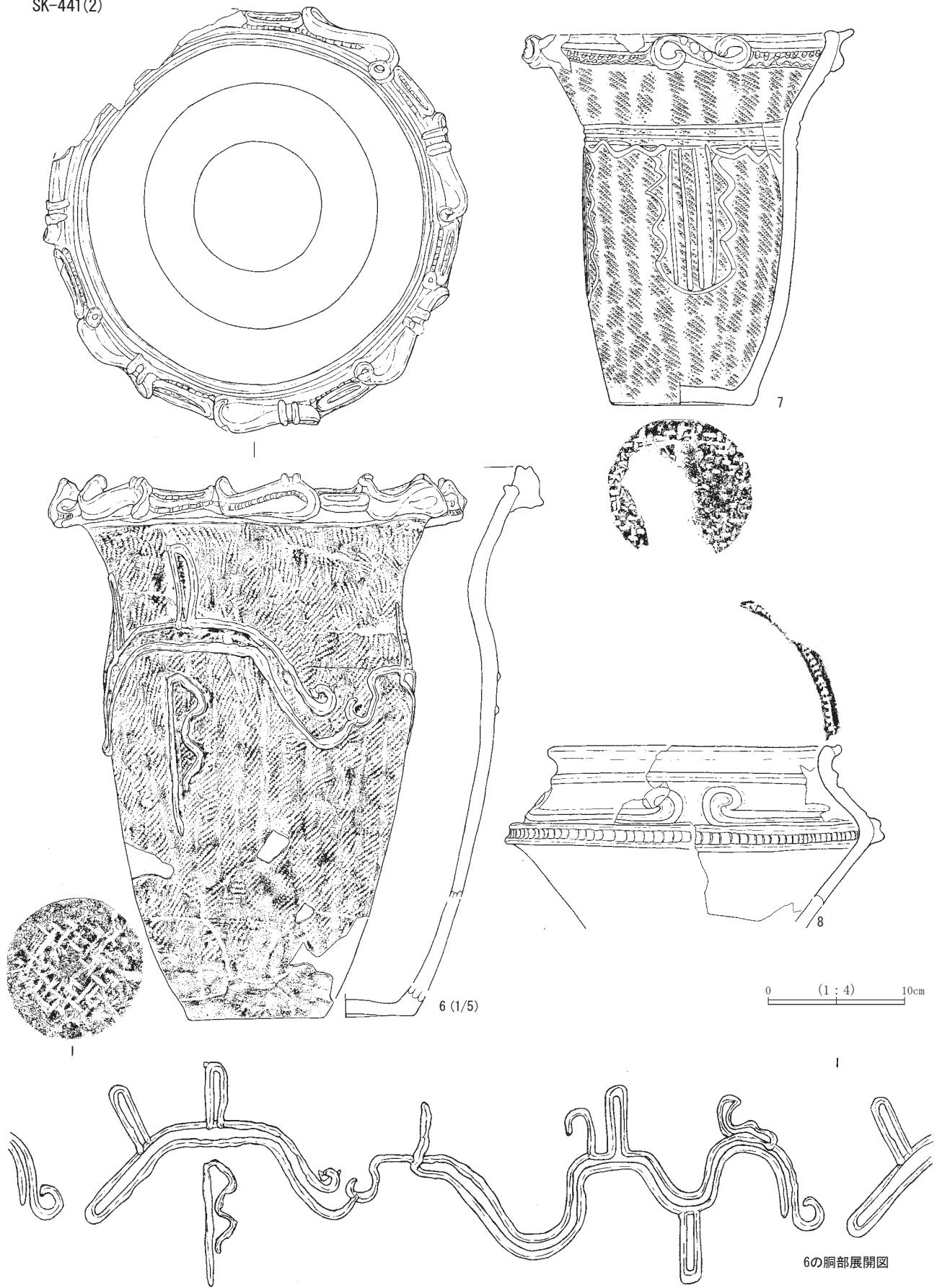
SK-441(1)



0 (1 : 4) 10cm

第155図 SK-441(1) 出土土器実測図

SK-441(2)

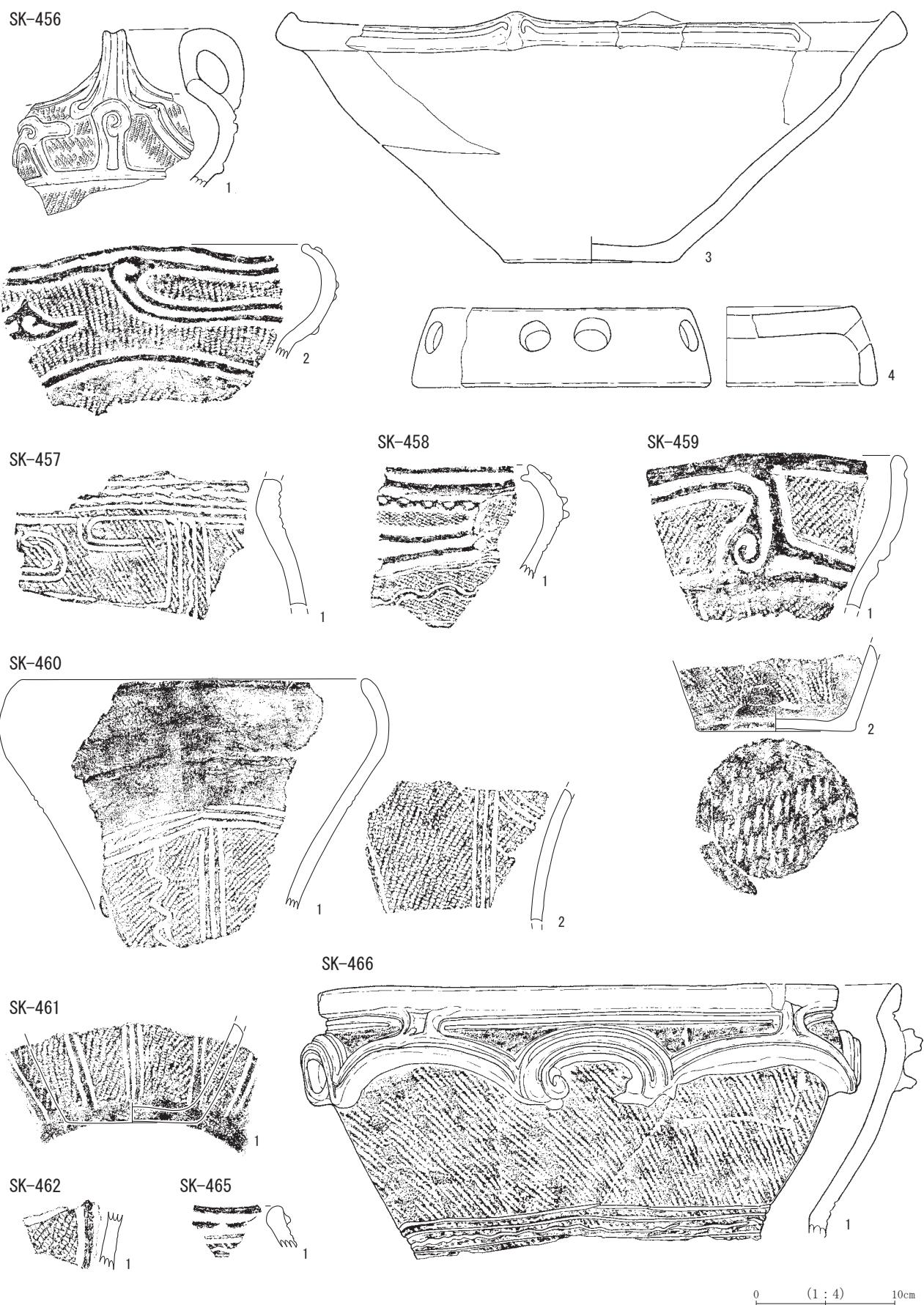


第156図 SK-441(2) 出土土器実測図

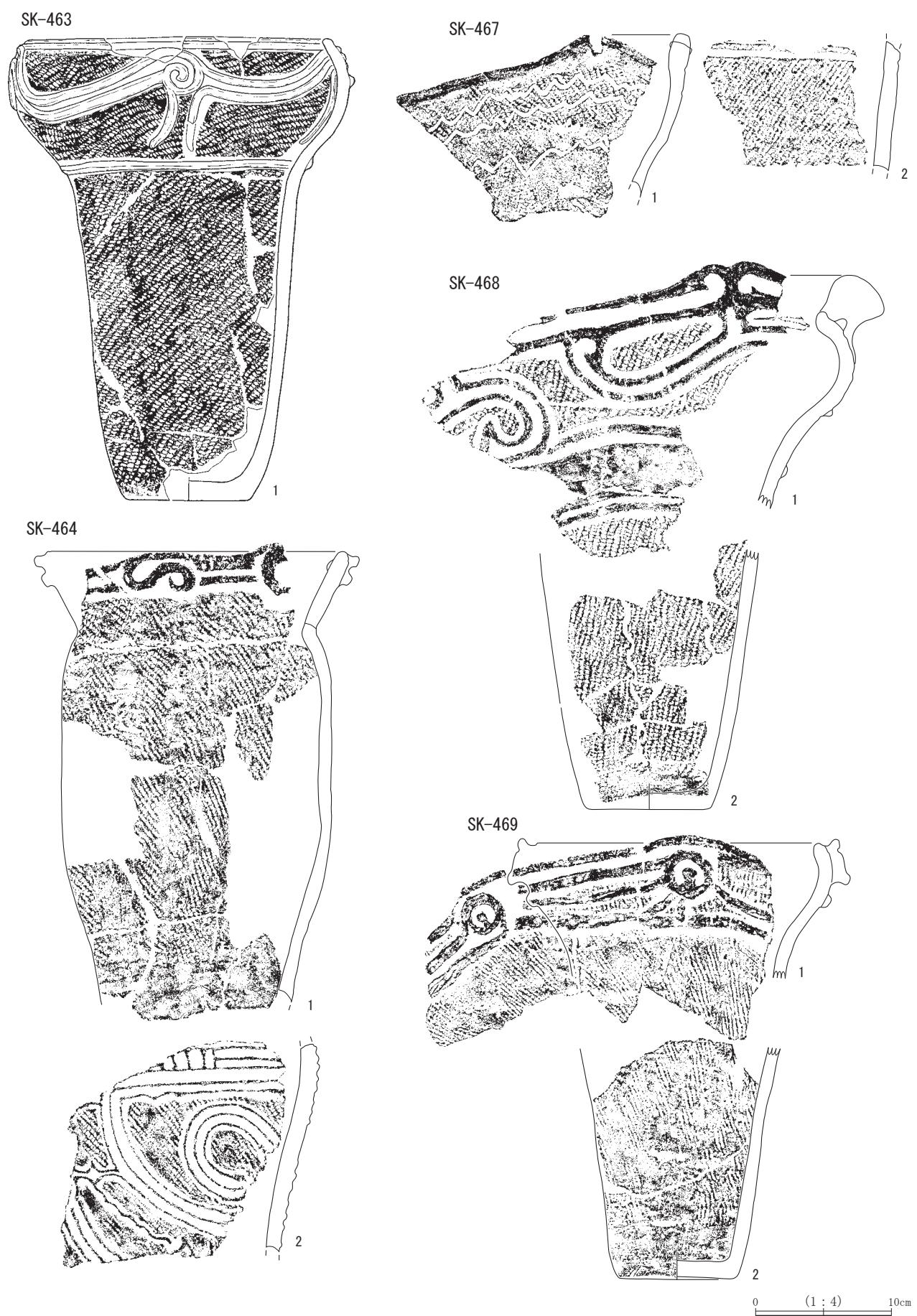


0 (1 : 4) 10cm

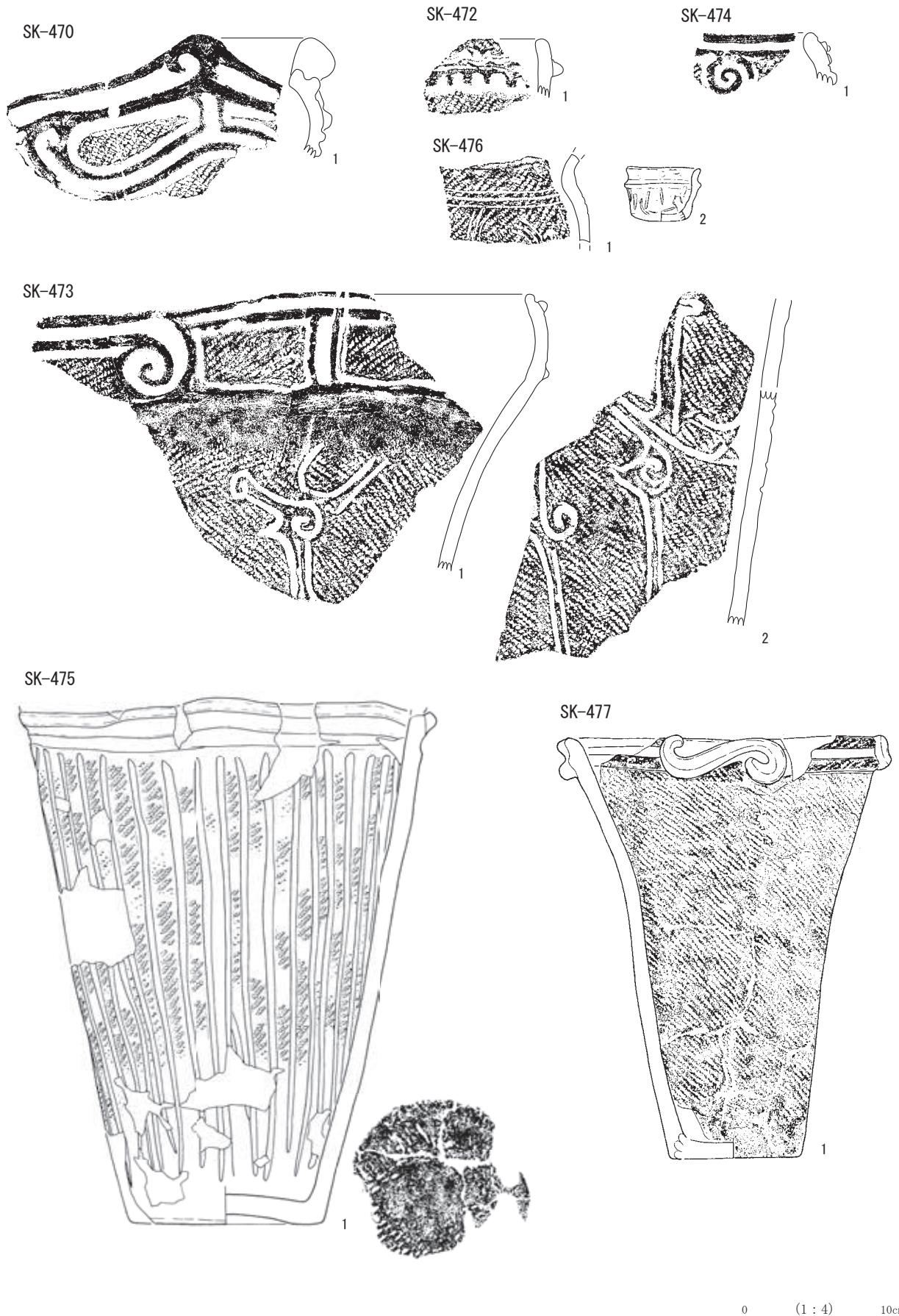
第157図 SK-442~452・454・455 出土土器実測図



第158図 SK-456~462・465・466 出土土器実測図

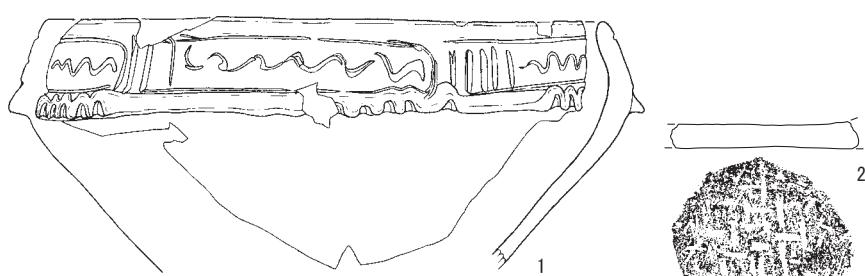


第159図 SK-463・464・467～469 出土土器実測図

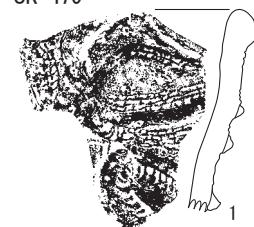


第160図 SK-470・472~477 出土土器実測図

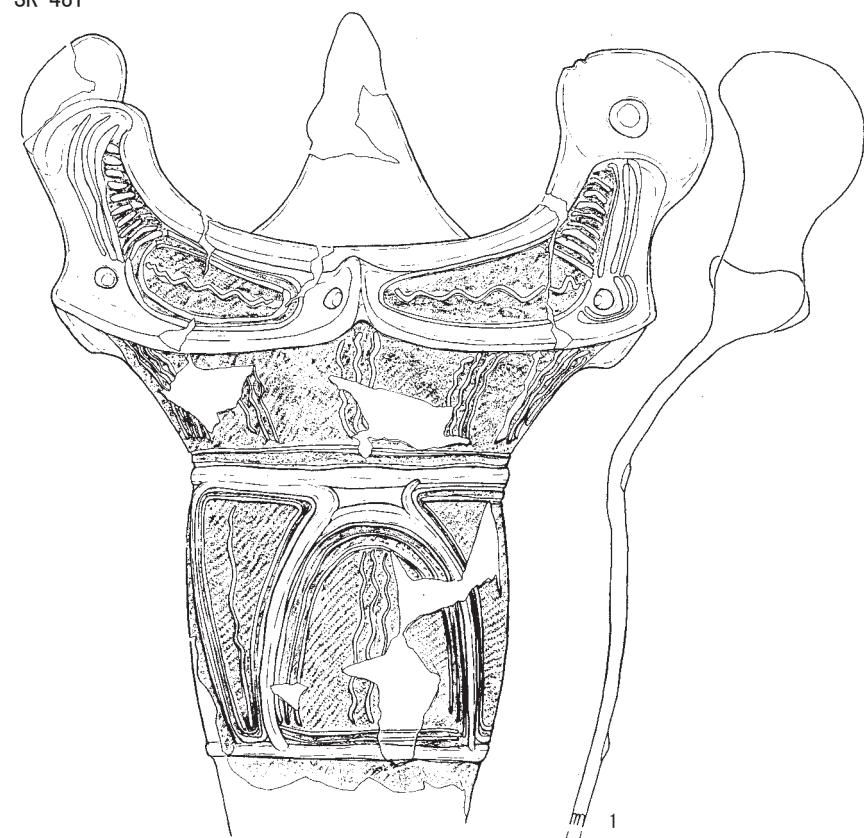
SK-478



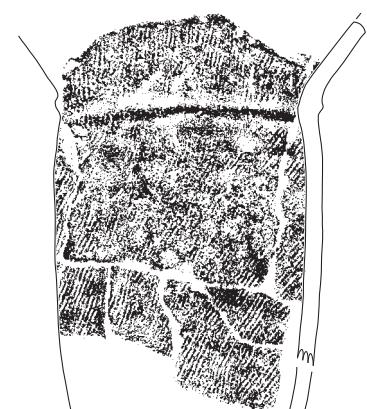
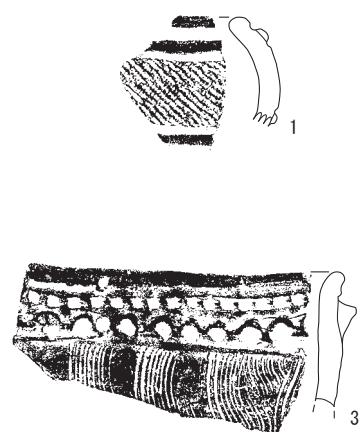
SK-479



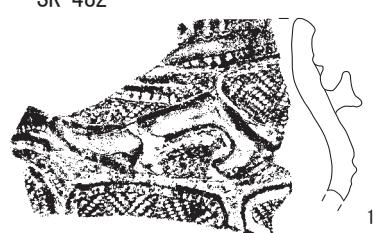
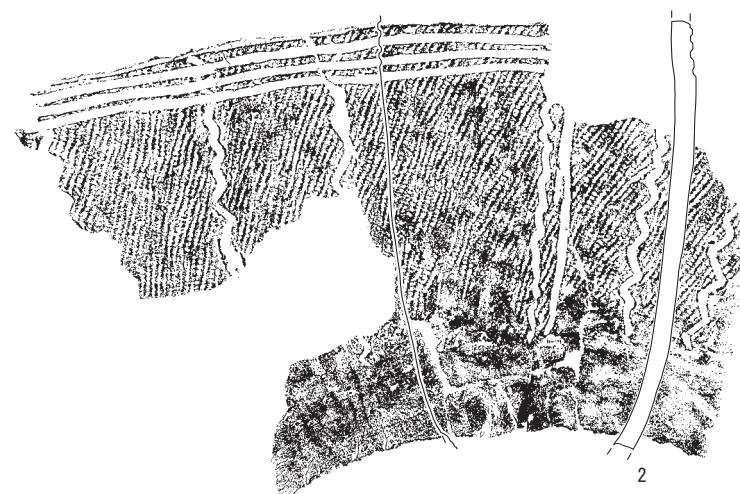
SK-481



SK-480



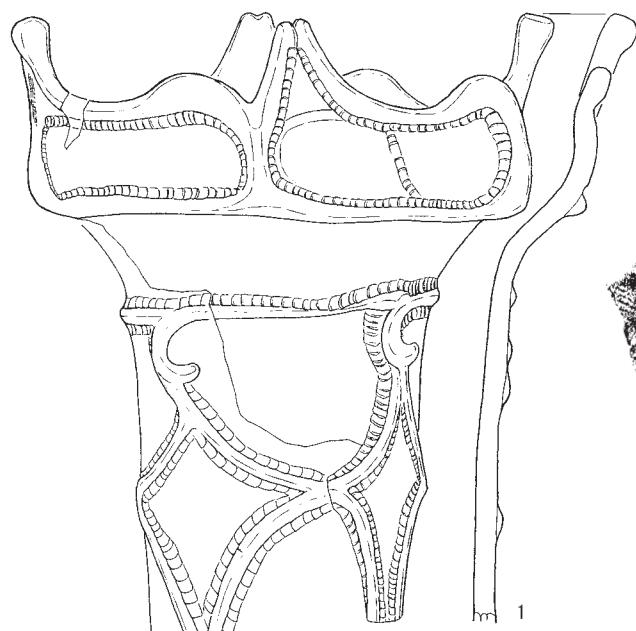
SK-482



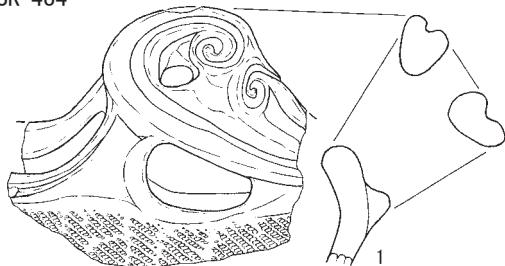
0 (1 : 4) 10cm

第161図 SK-478~482 出土土器実測図

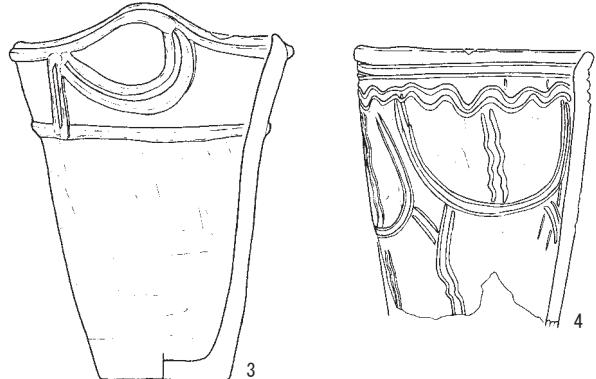
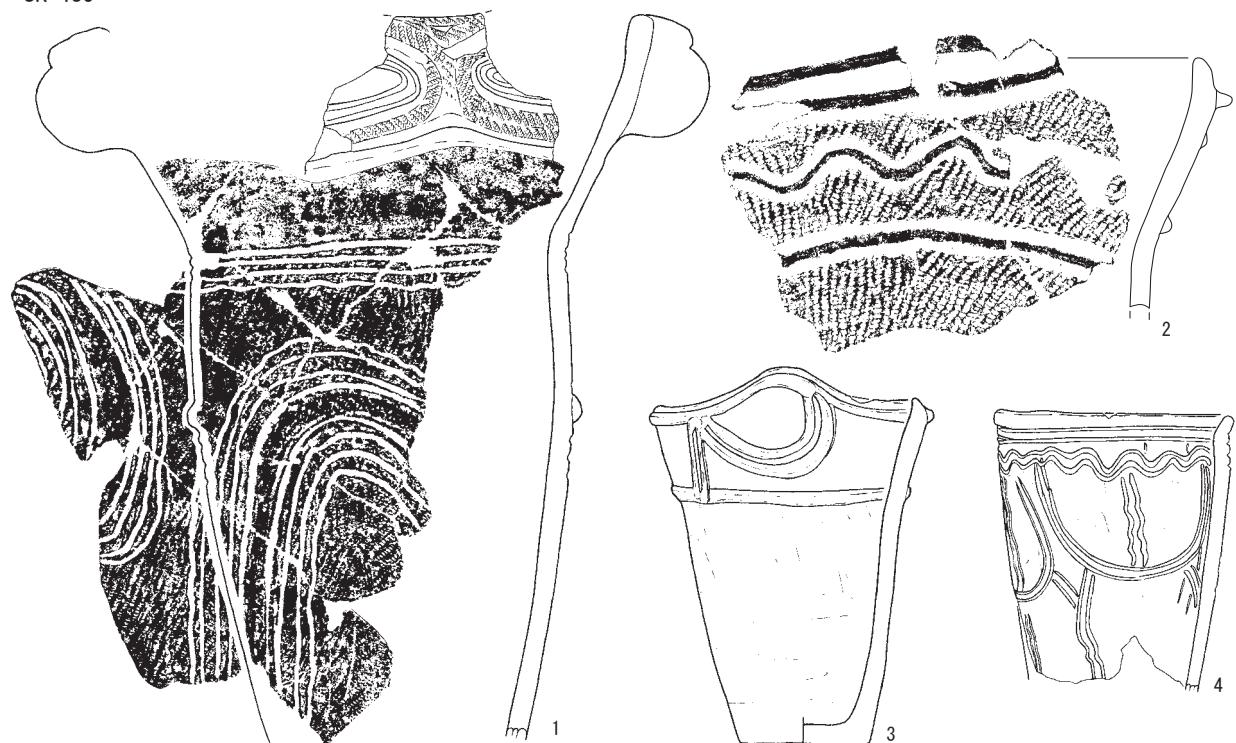
SK-483



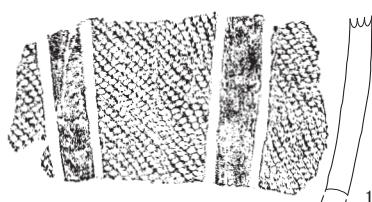
SK-484



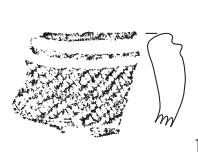
SK-485



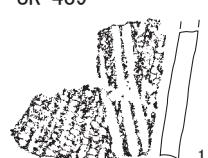
SK-487



SK-488

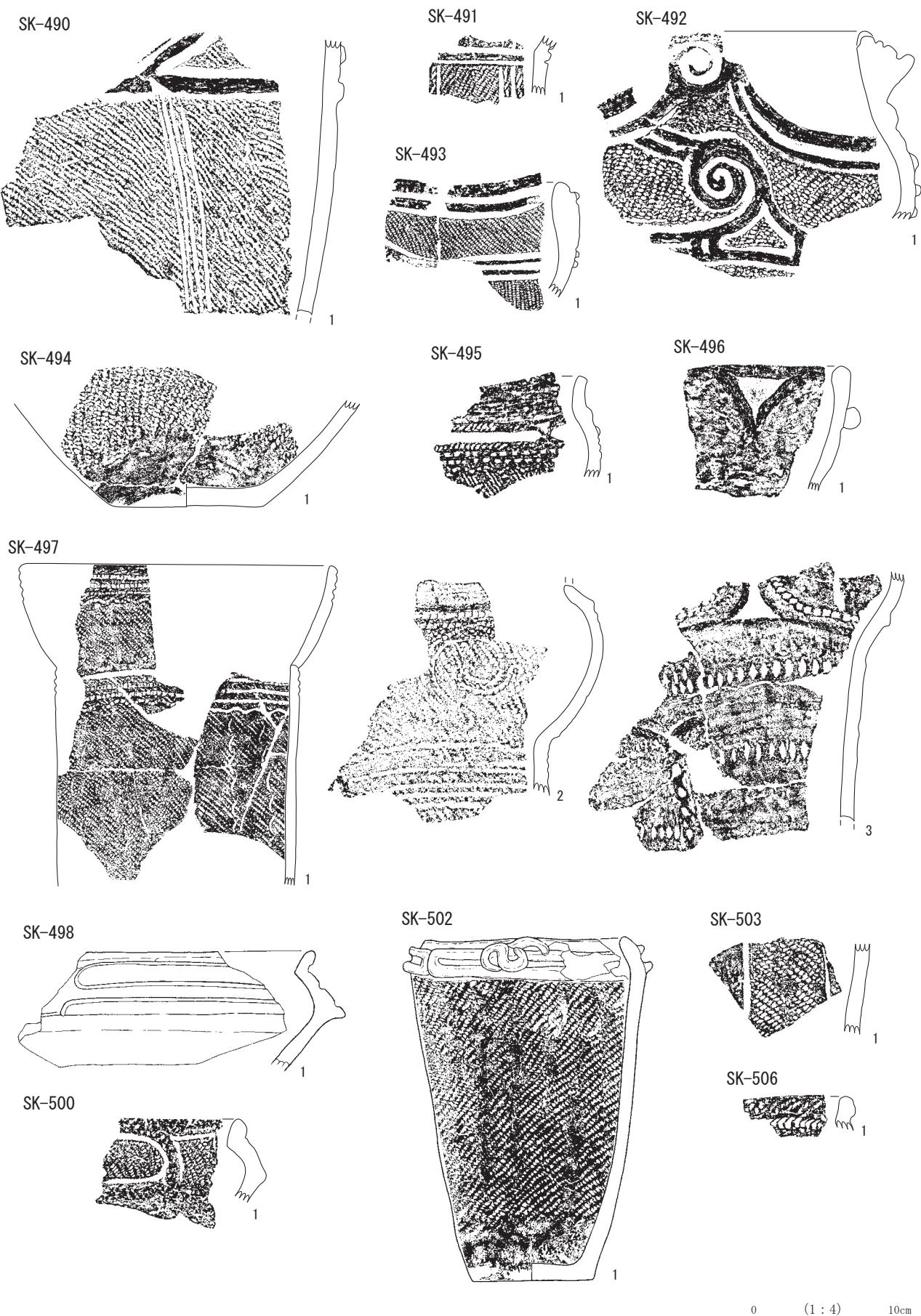


SK-489



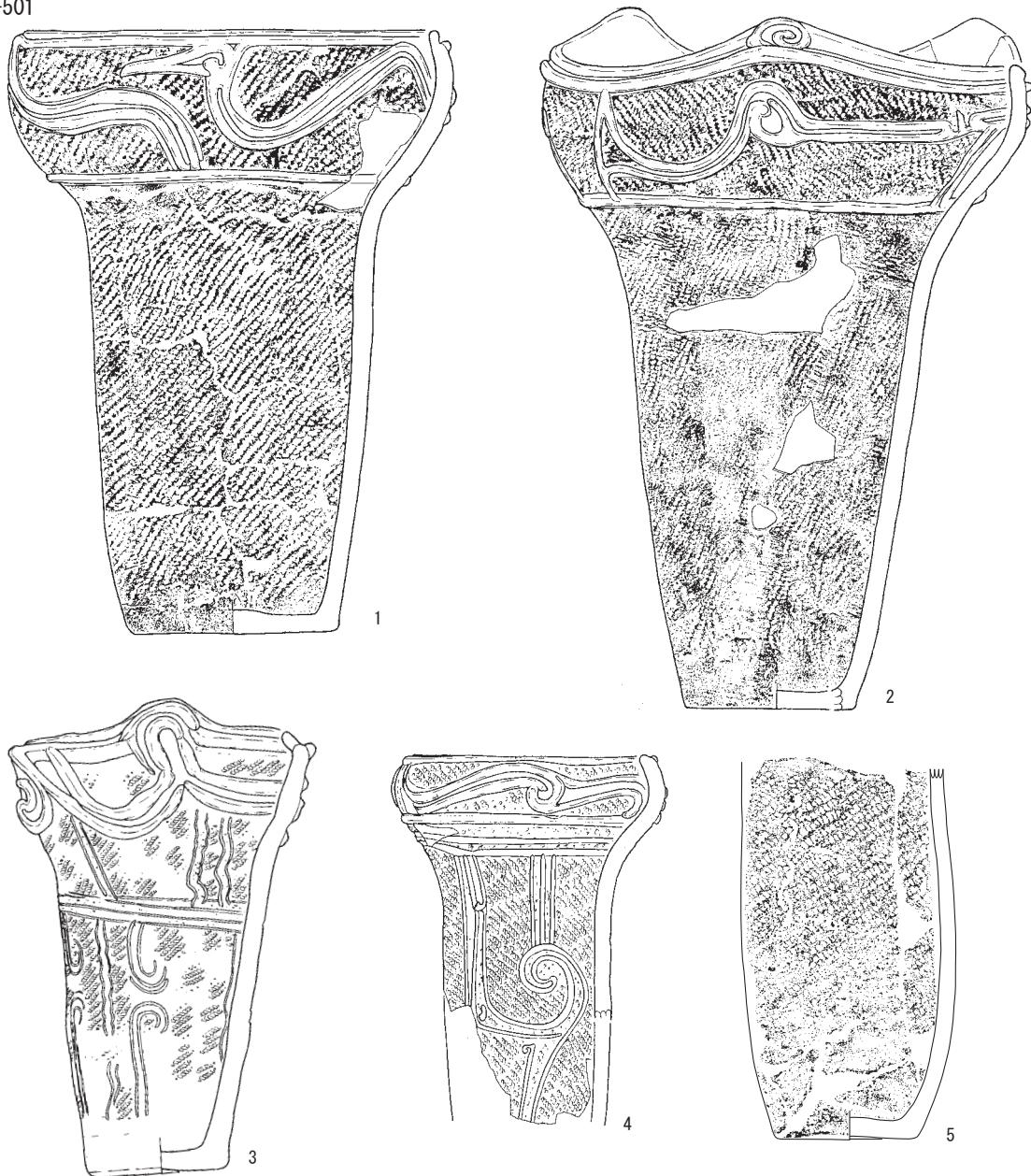
0 (1 : 4) 10cm

第162図 SK-483~485・487~489 出土土器実測図

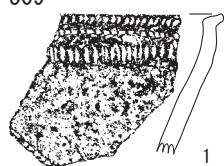


第163図 SK-490~498・500・502・503・506 出土土器実測図

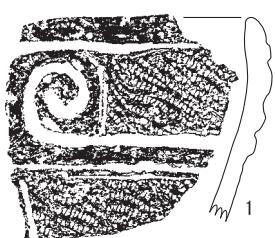
SK-501



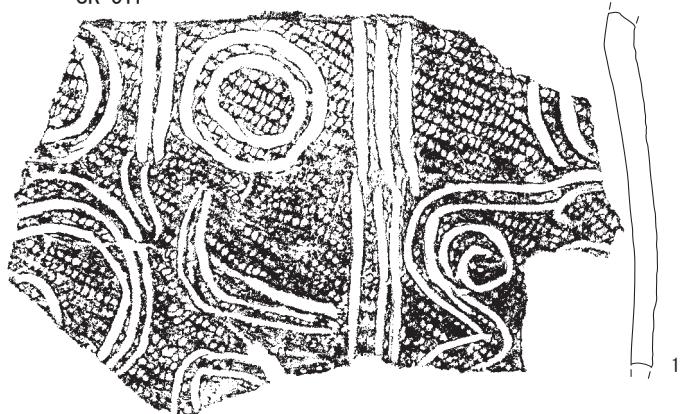
SK-509



SK-510



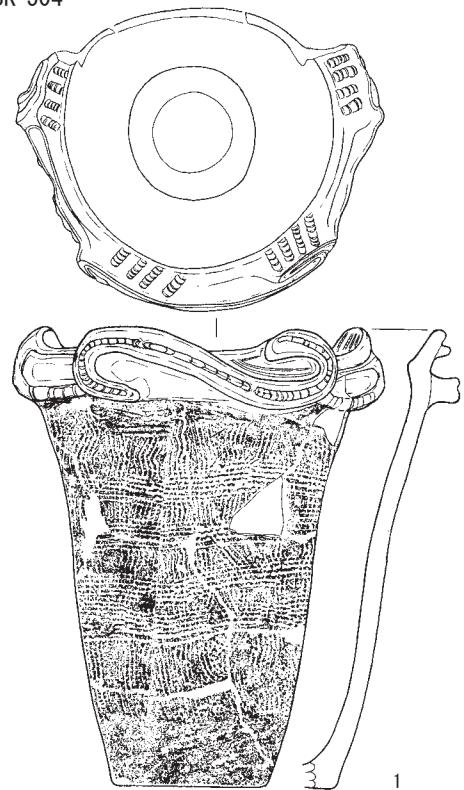
SK-511



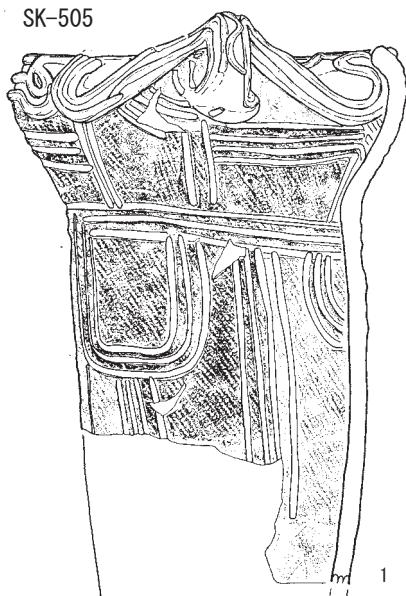
0 (1 : 4) 10cm

第164図 SK-501・509~511 出土土器実測図

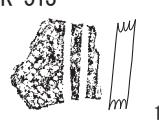
SK-504



SK-505



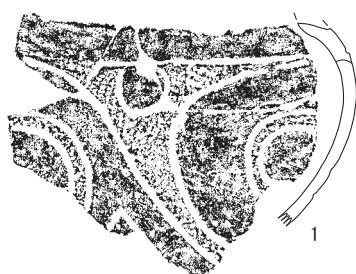
SK-513



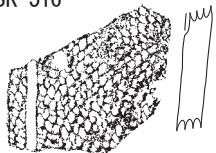
SK-515



SK-514



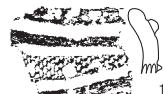
SK-516



SK-517



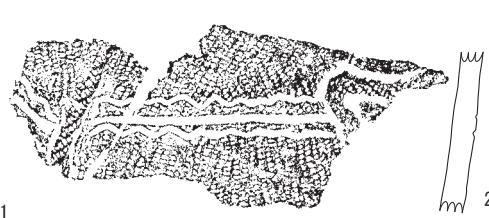
SK-518



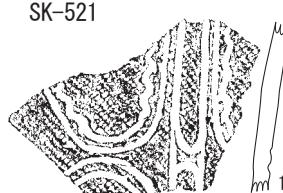
SK-519



SK-520



SK-521



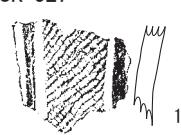
SK-524



SK-525



SK-527



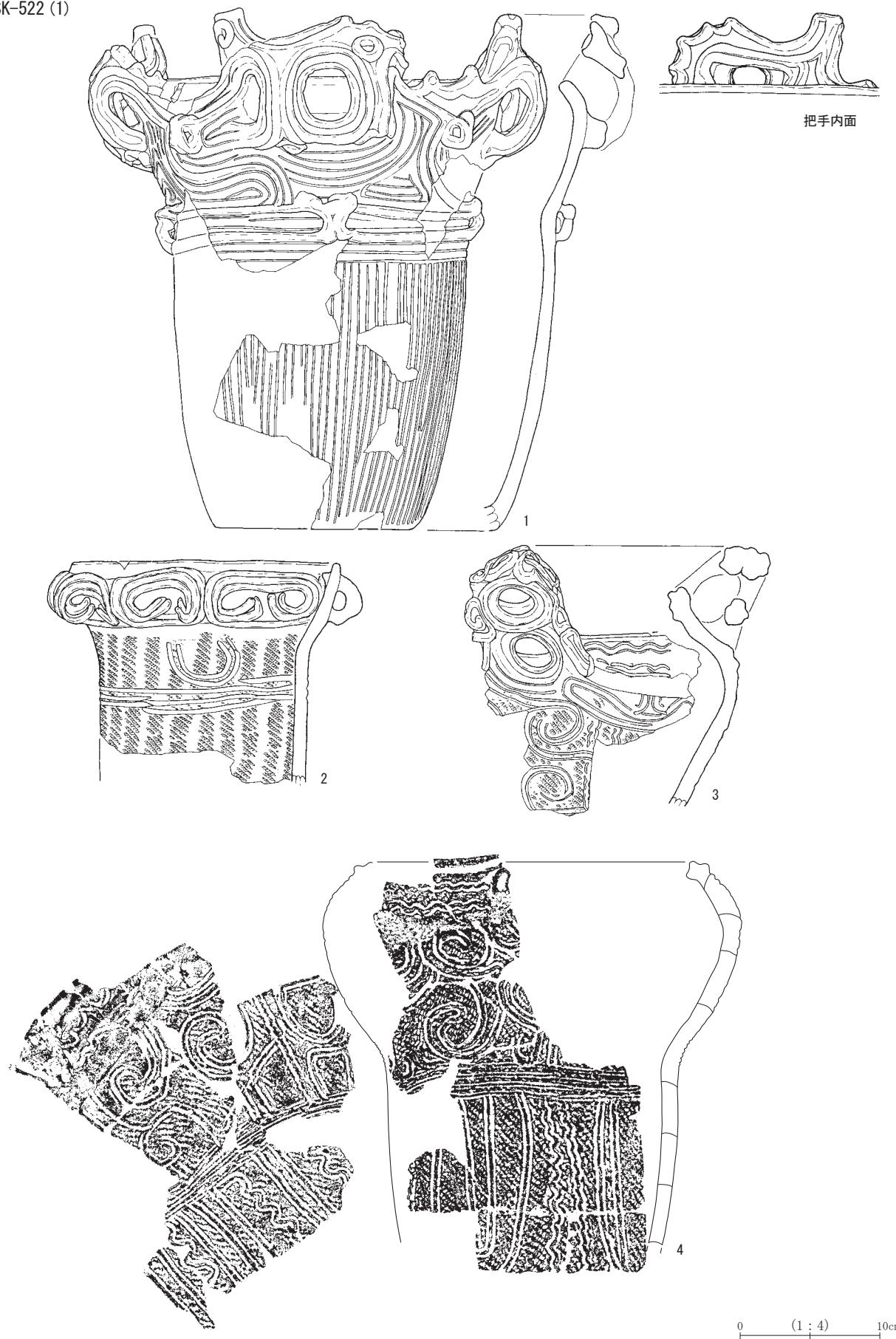
SK-528



0 (1 : 4) 10cm

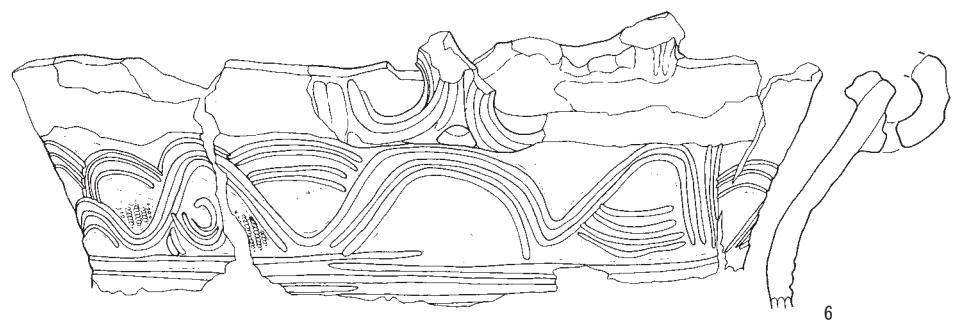
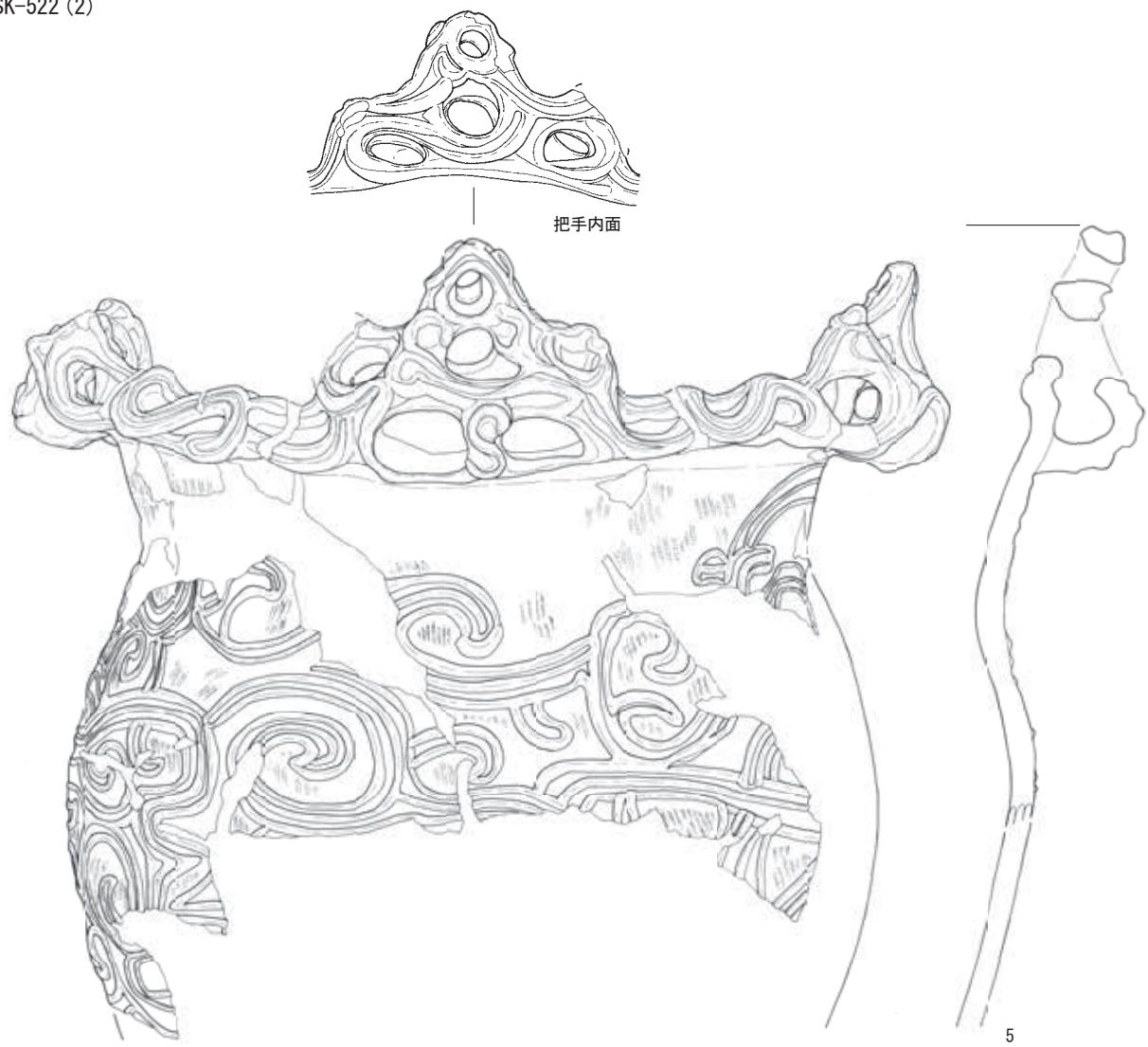
第165図 SK-504・505・513~521・524・525・527・528 出土土器実測図

SK-522 (1)



第166図 SK-522(1) 出土土器実測図

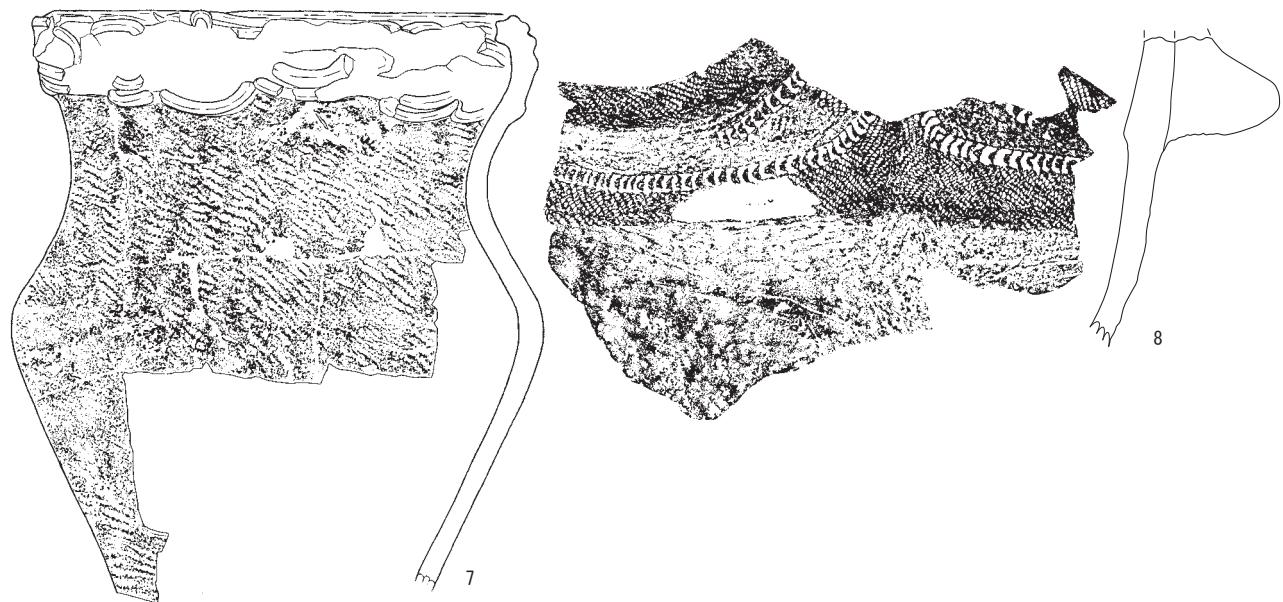
SK-522 (2)



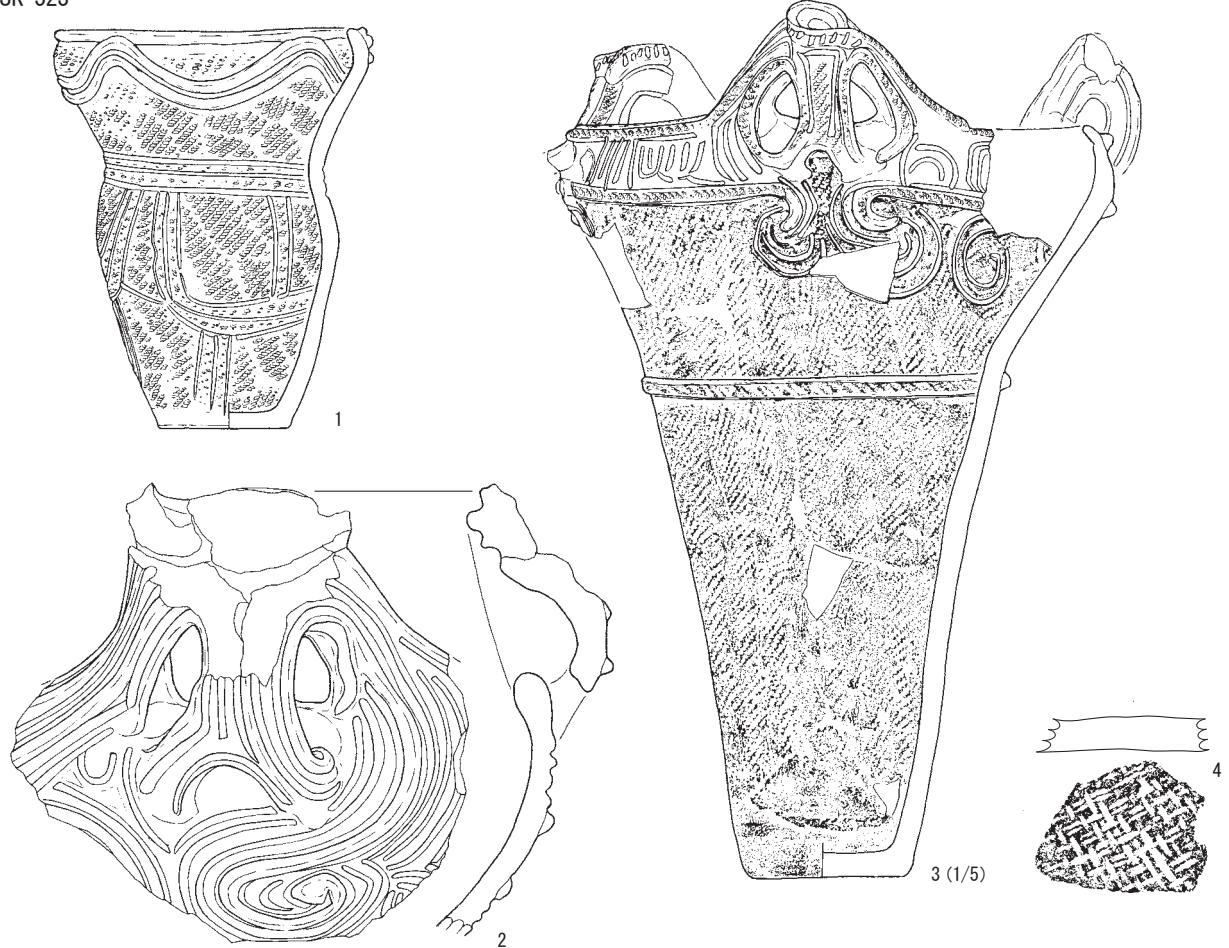
0 (1 : 5) 20cm

第167図 SK-522(2) 出土土器実測図

SK-522 (3)



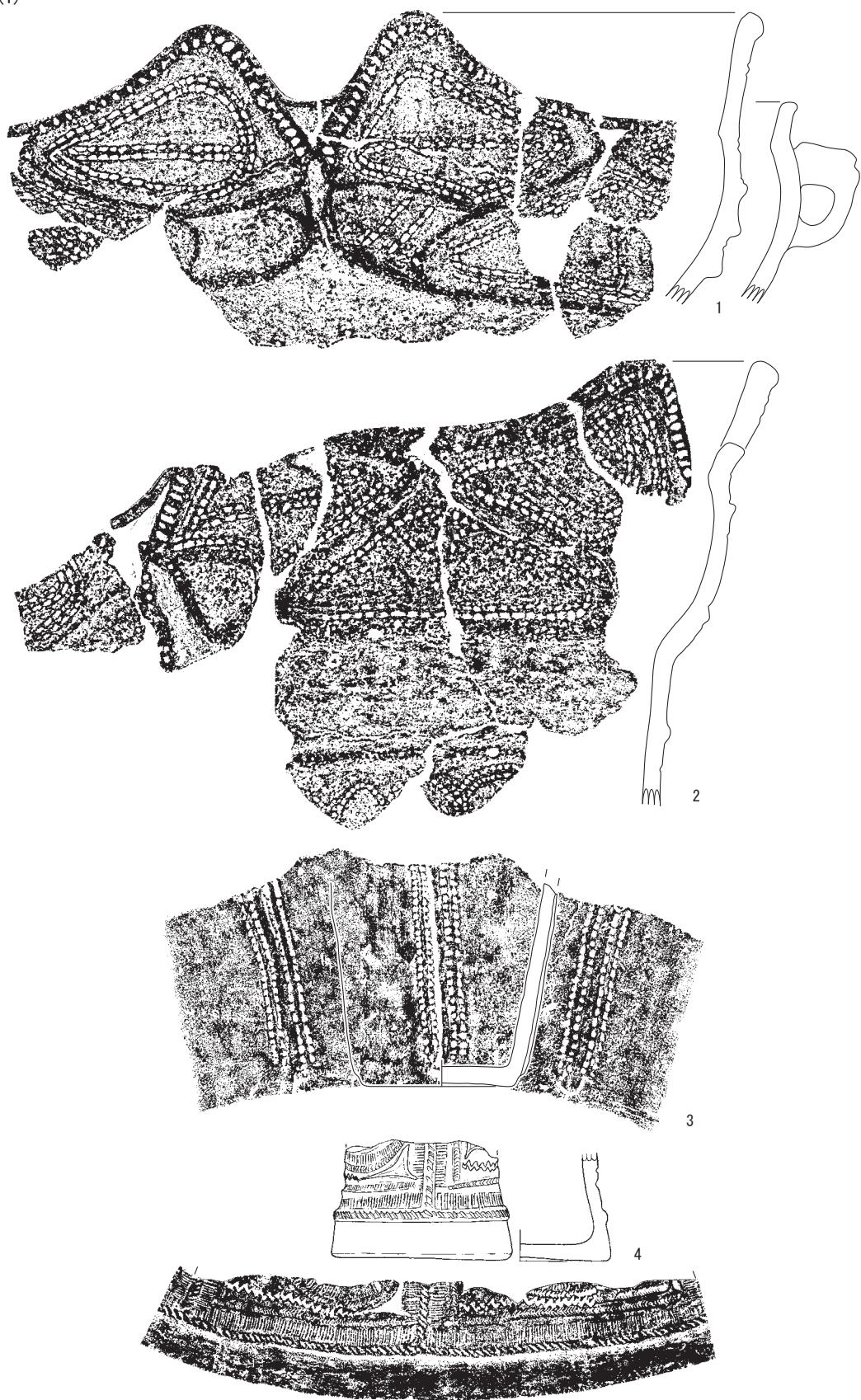
SK-523



0 (1 : 4) 10cm

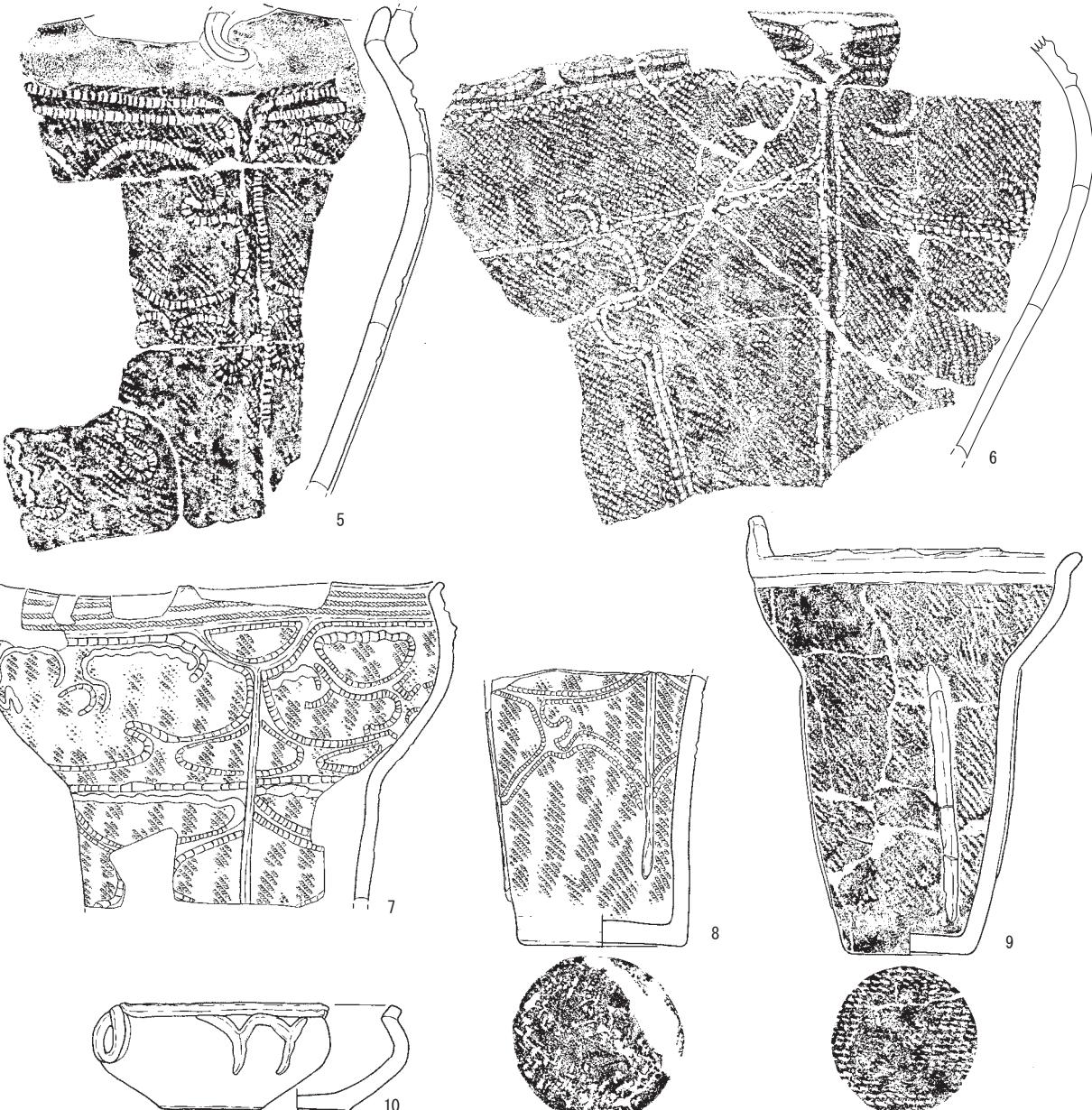
第168図 SK-522(3)・523 出土土器実測図

SK-526 (1)

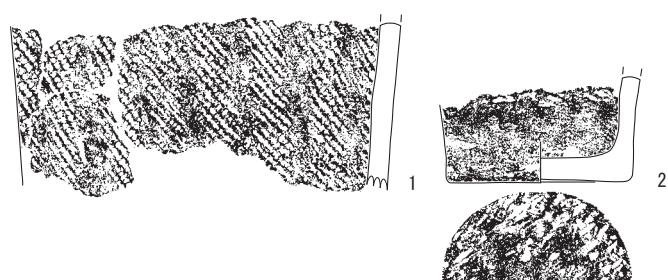


第169図 SK-526(1) 出土土器実測図

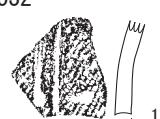
SK-526 (2)



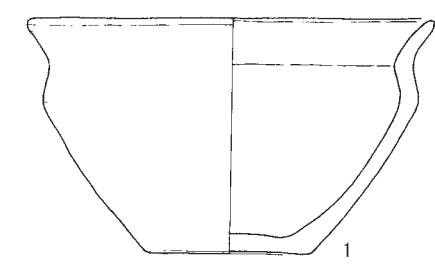
SK-530



SK-532

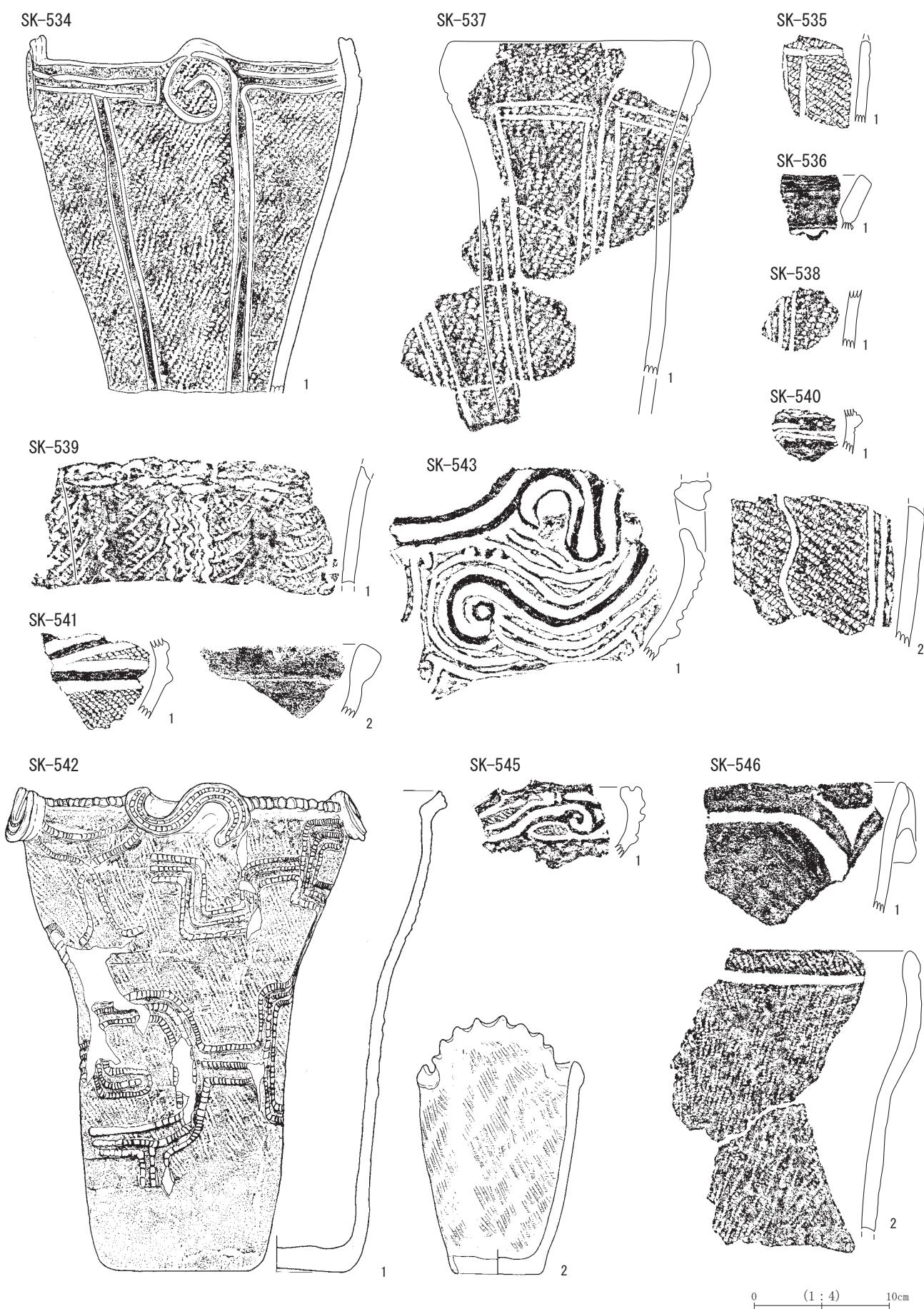


SK-533



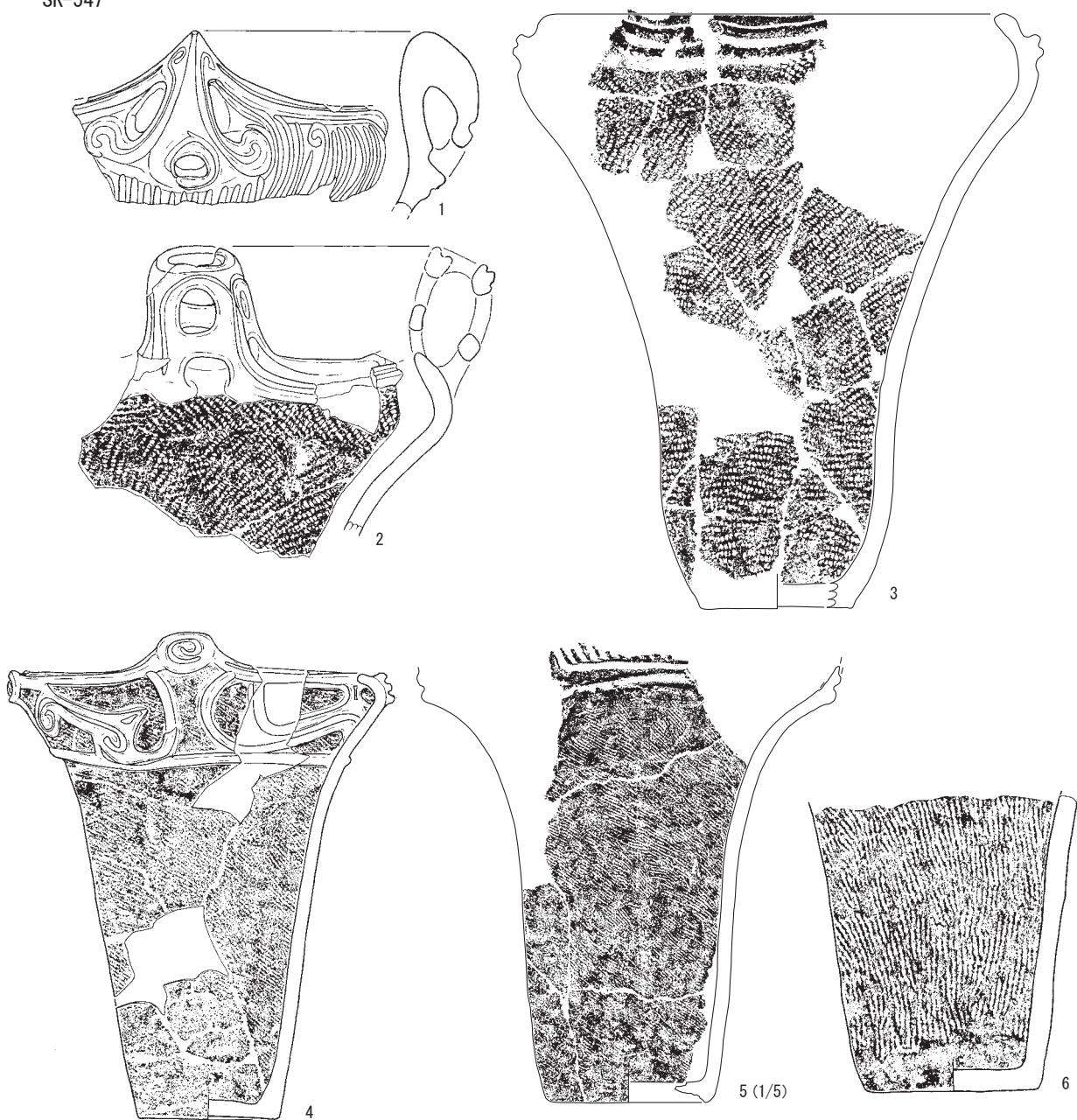
0 (1 : 4) 10cm

第170図 SK-526(2)・530・532・533 出土土器実測図

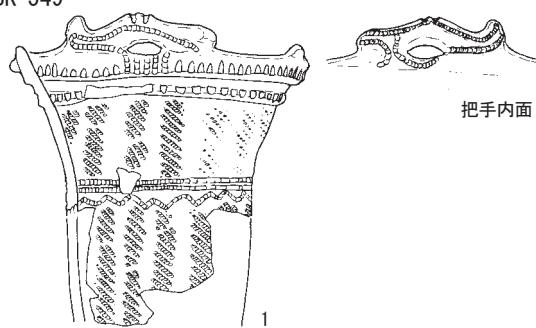


第171図 SK-534~543・545・546 出土土器実測図

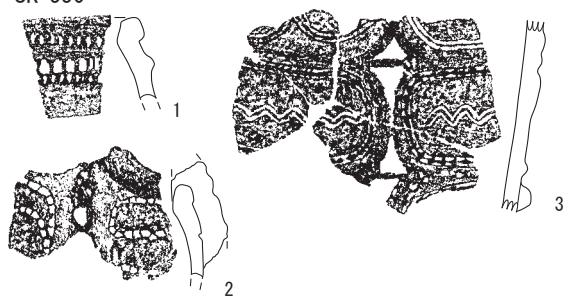
SK-547



SK-549



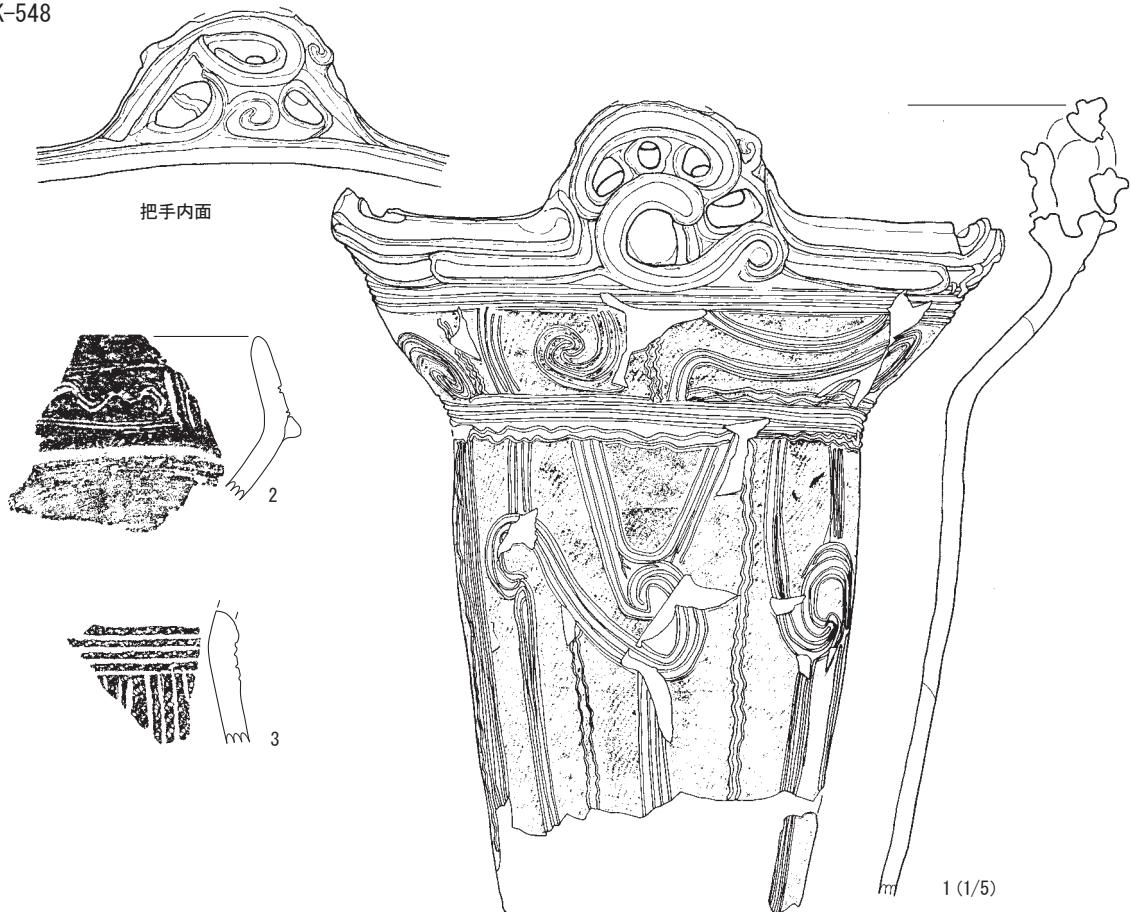
SK-550



0 (1 : 4) 10cm

第172図 SK-547・549・550 出土土器実測図

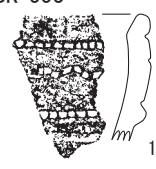
SK-548



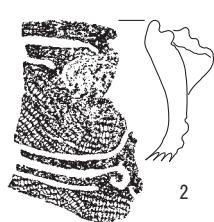
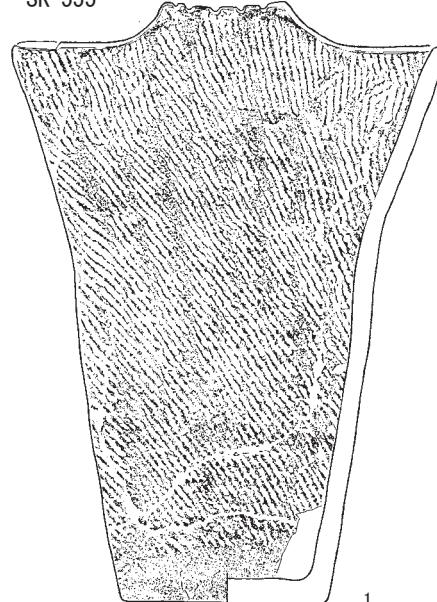
SK-551



SK-553



SK-555



2

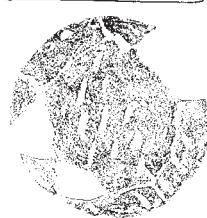
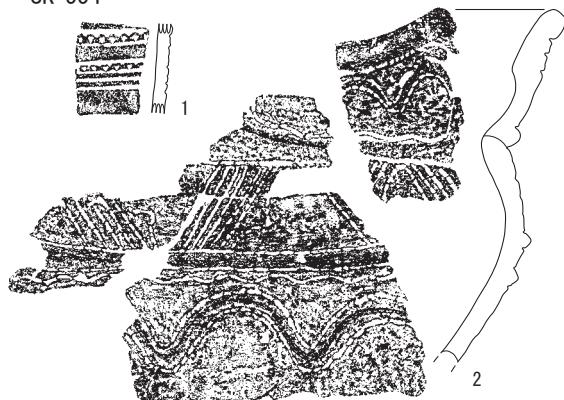
SK-552



SK-556

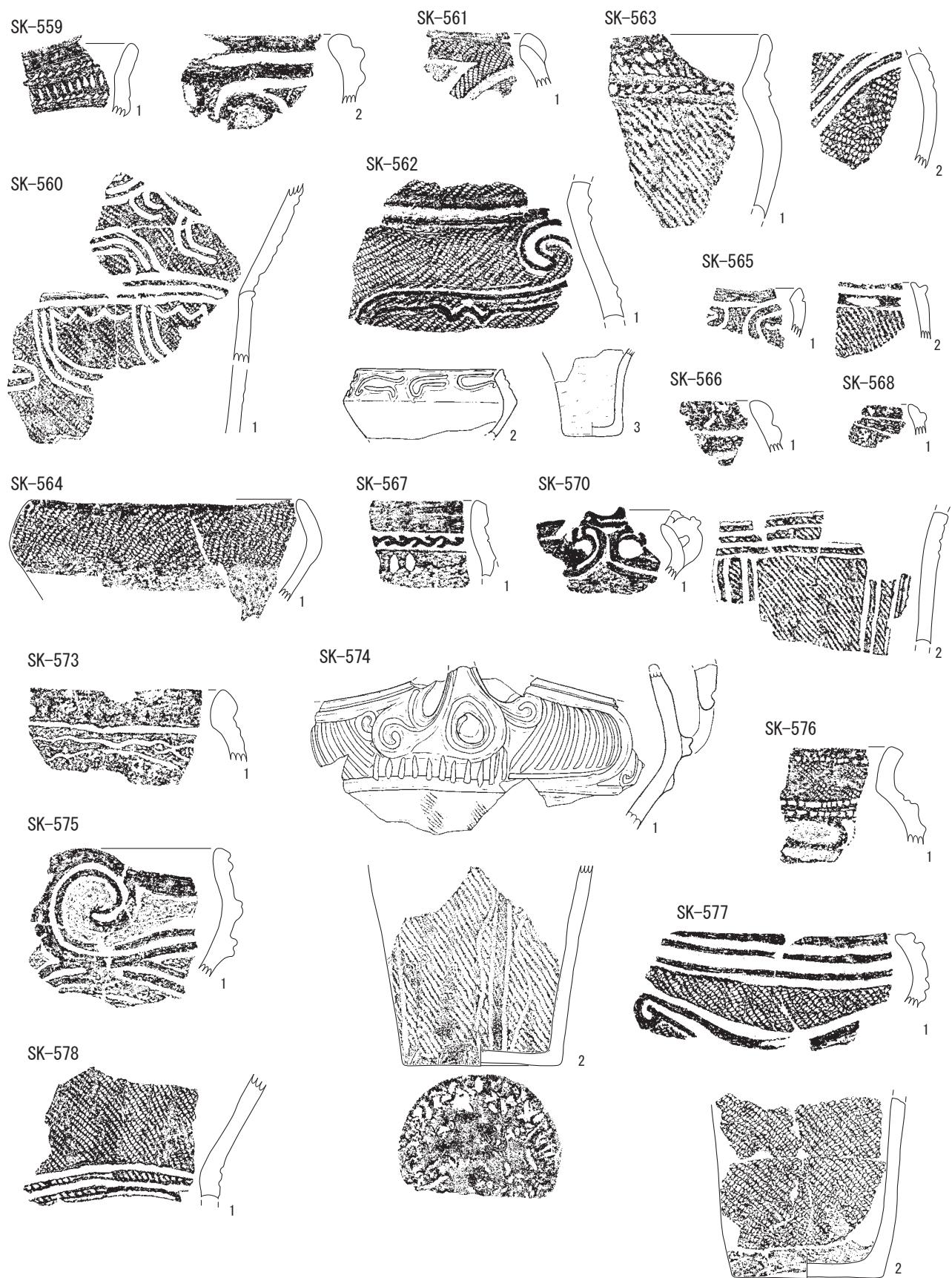


SK-554



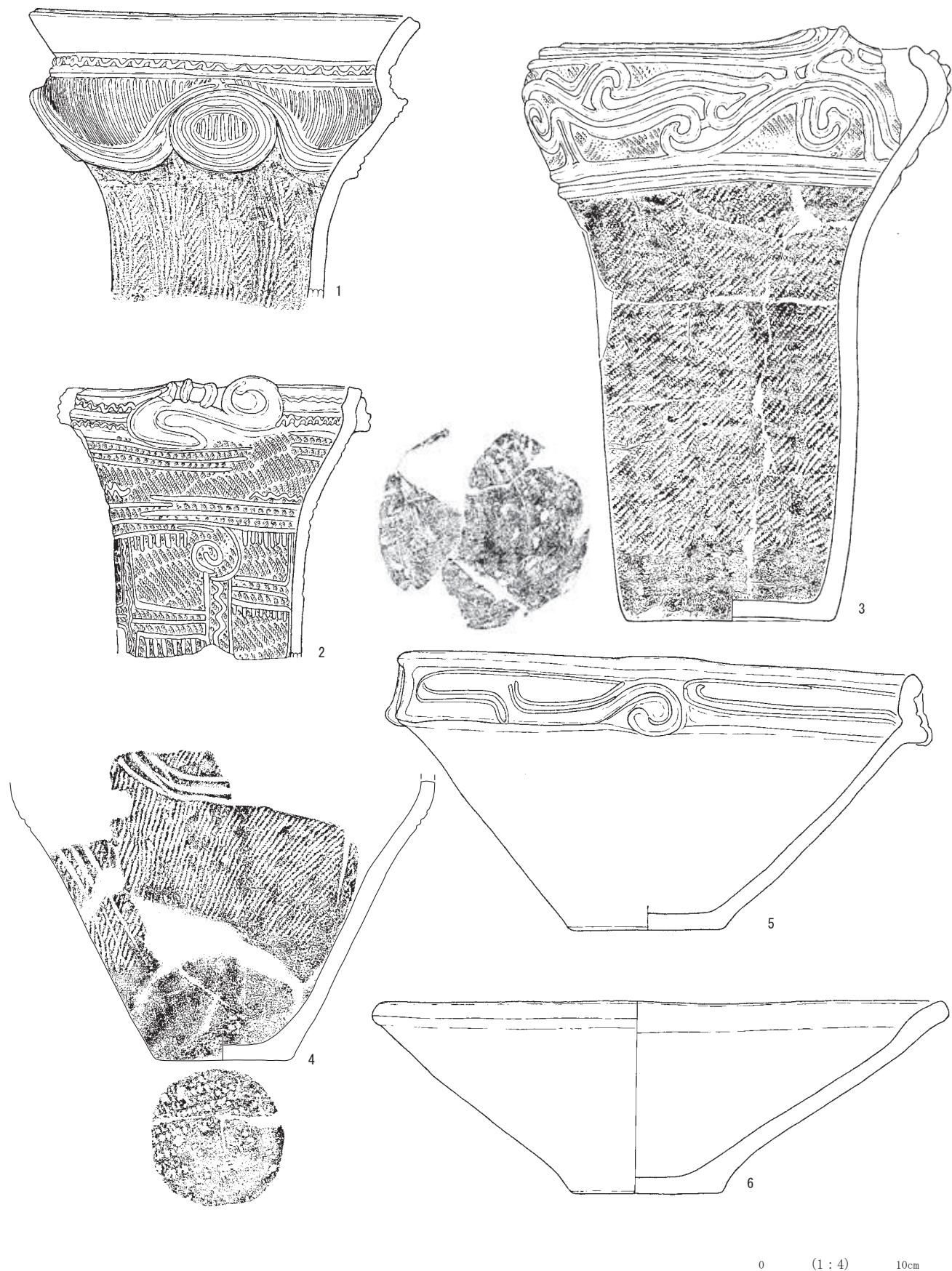
0 (1 : 4) 10cm

第173図 SK-548・551~556 出土土器実測図

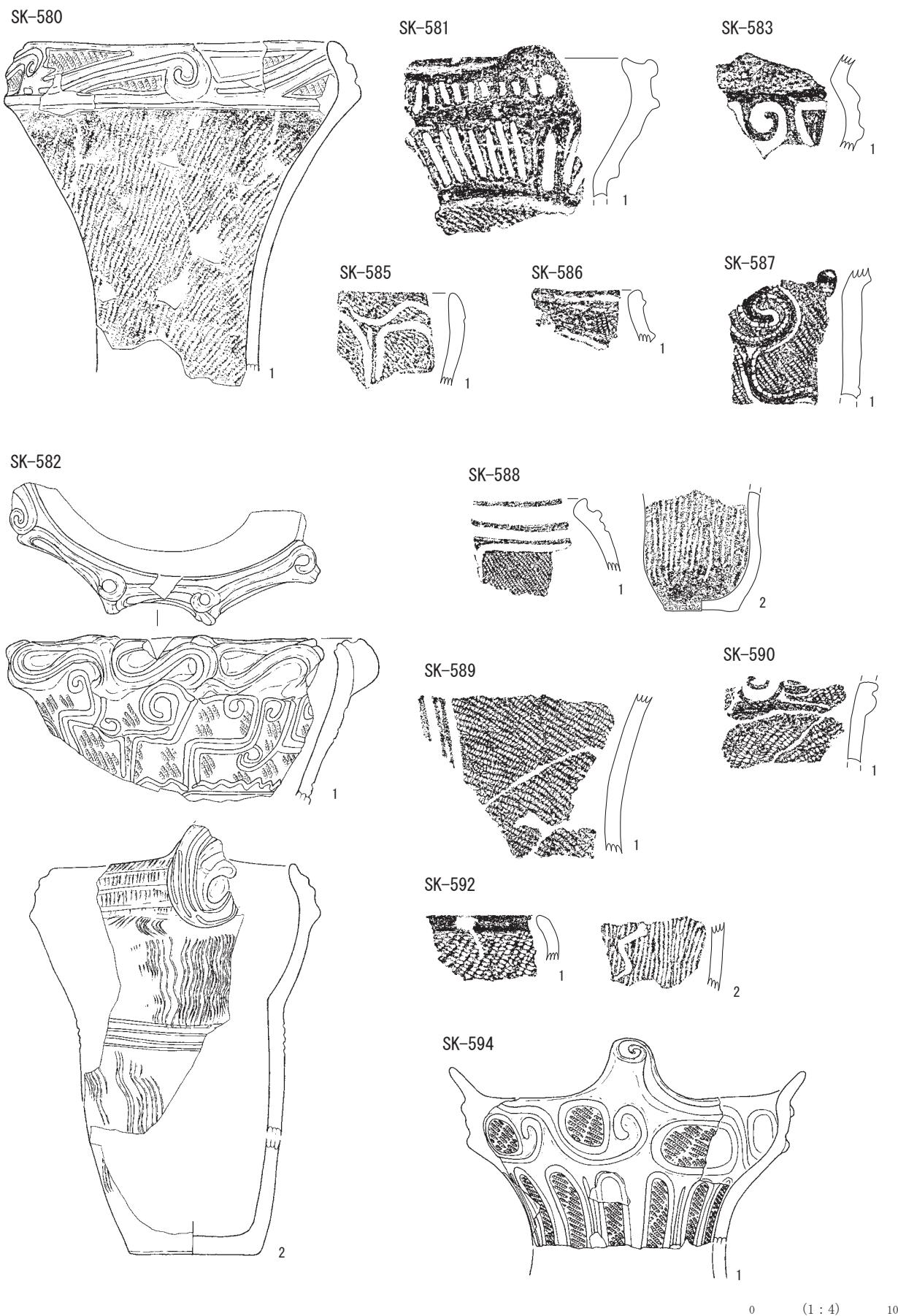


0 (1 : 4) 10cm

第174図 SK-559~568・570・573~578 出土土器実測図

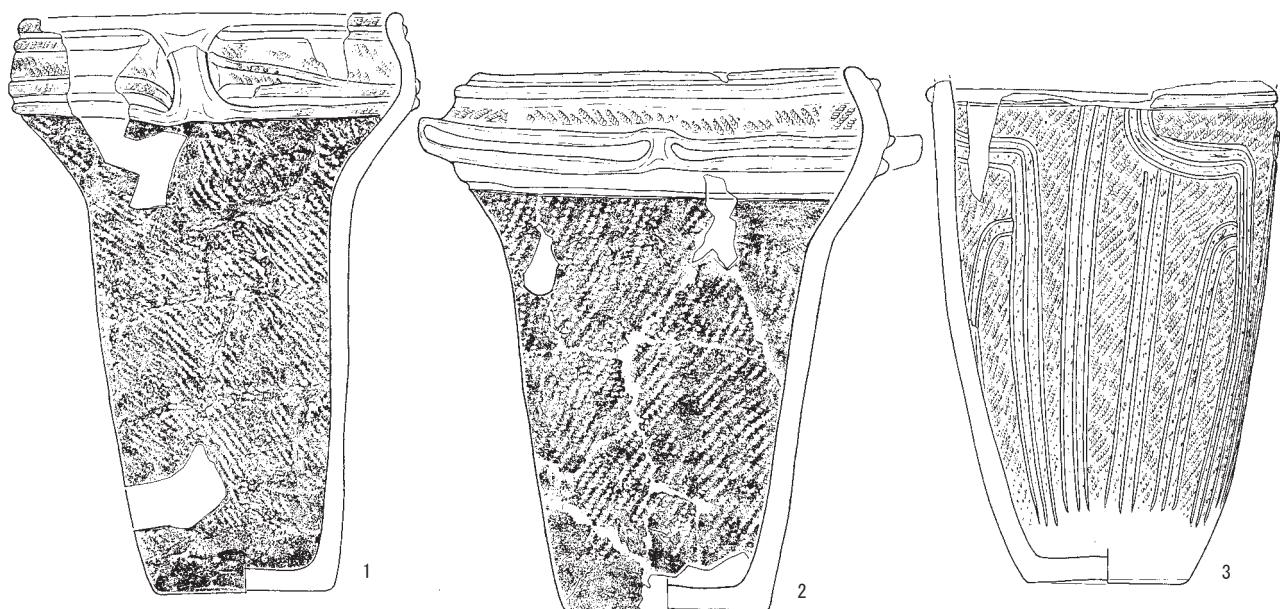


第175図 SK-579 出土土器実測図

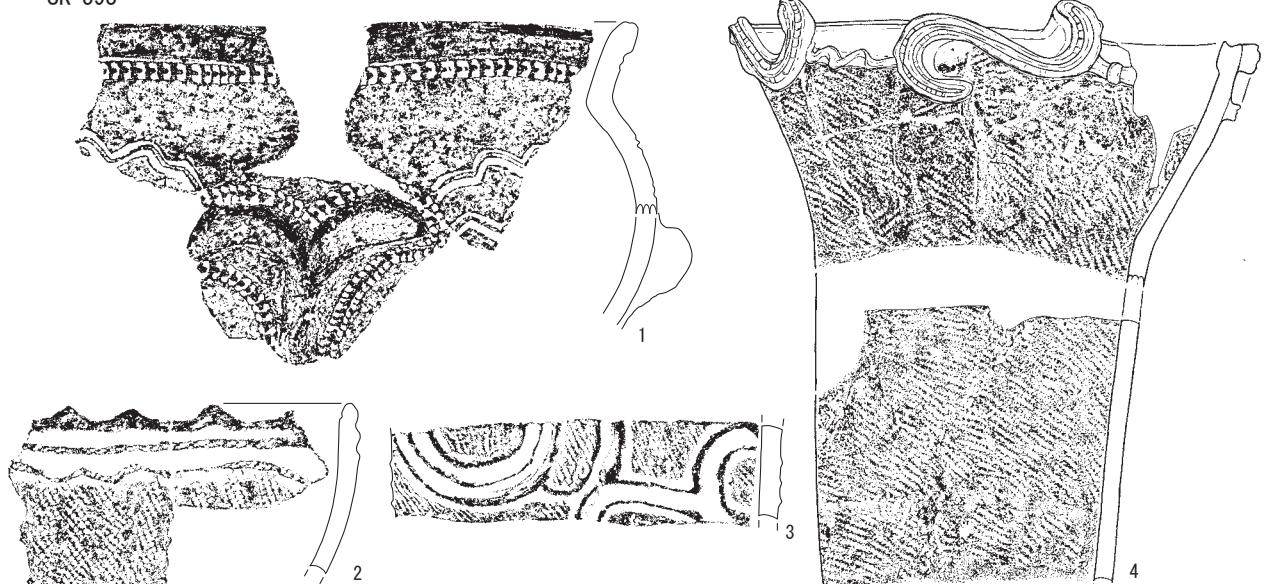


第176図 SK-580~583・585~590・592・594 出土土器実測図

SK-591



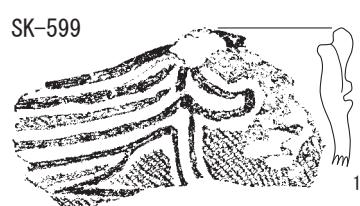
SK-593



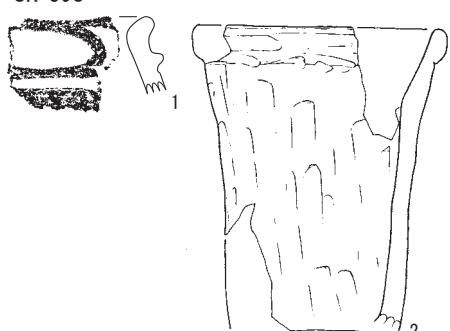
SK-596



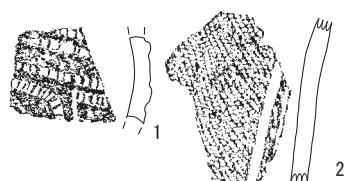
SK-599



SK-598



SK-597



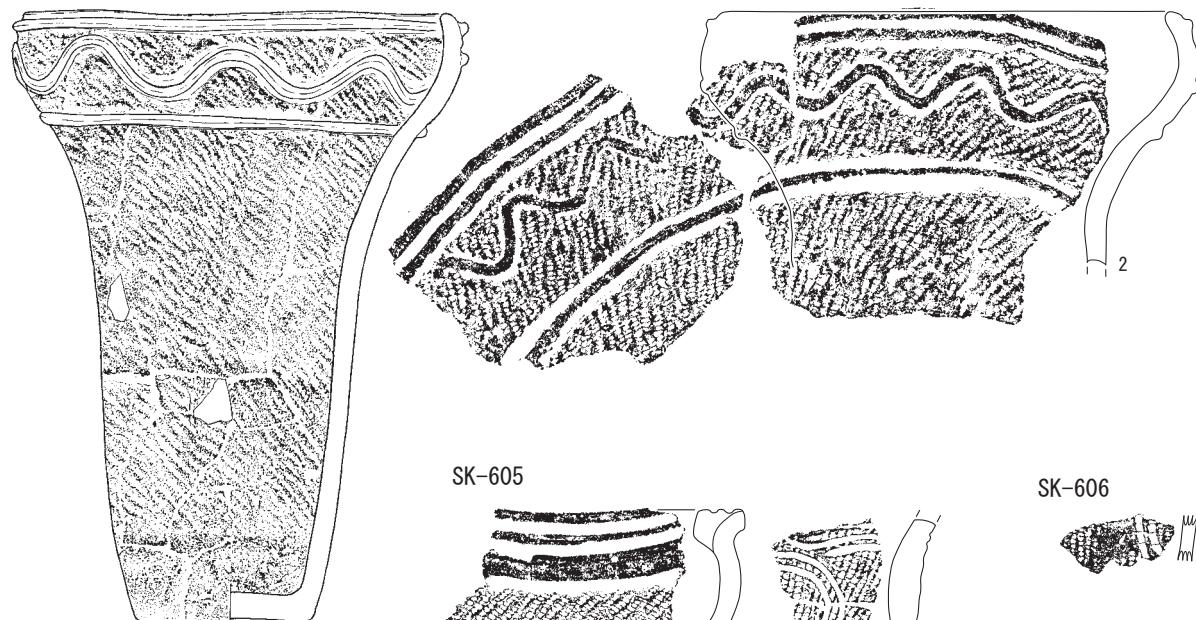
SK-600



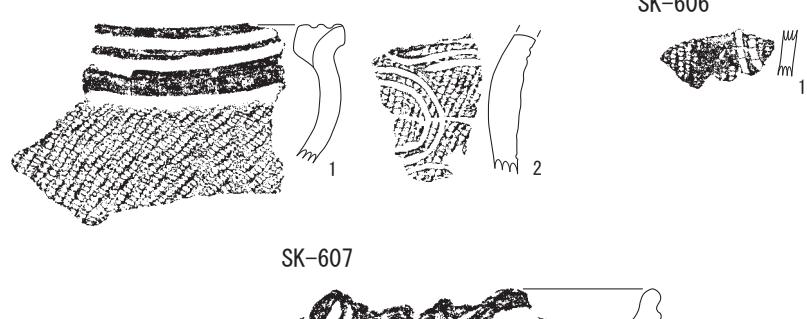
0 (1 : 4) 10cm

第177図 SK-591・593・596~600 出土土器実測図

SK-595



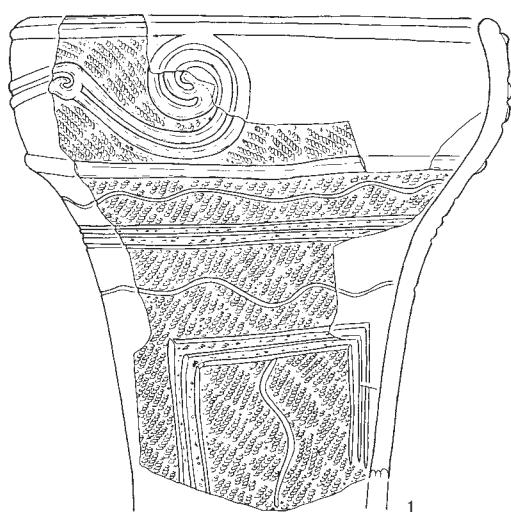
SK-605



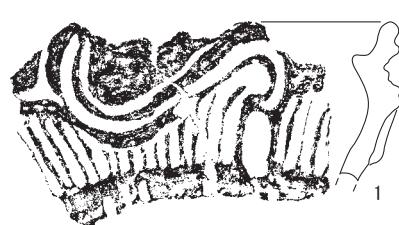
SK-606



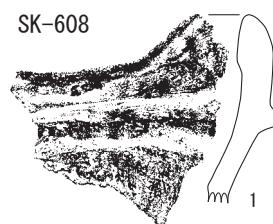
SK-602



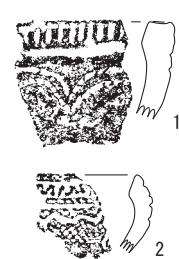
SK-607



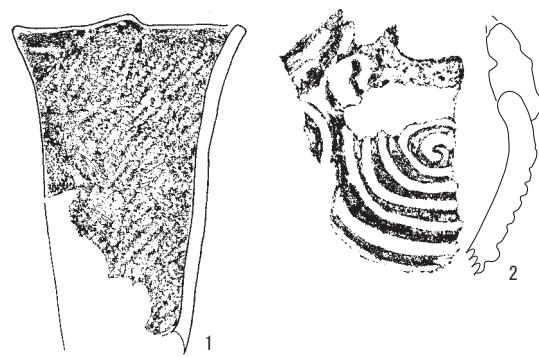
SK-608



SK-611



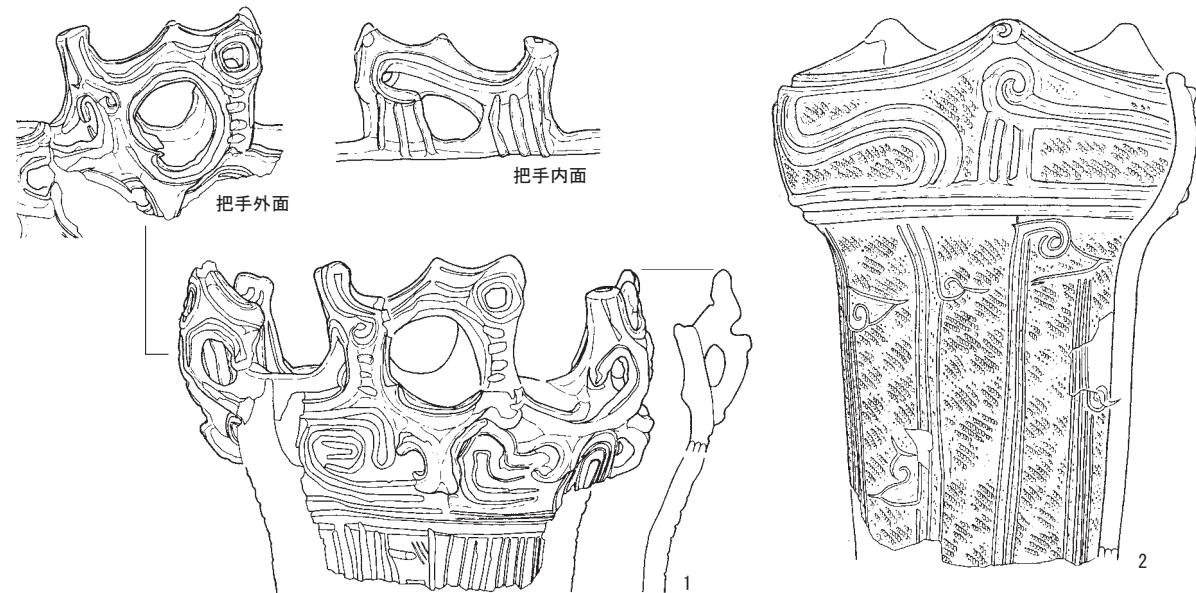
SK-610



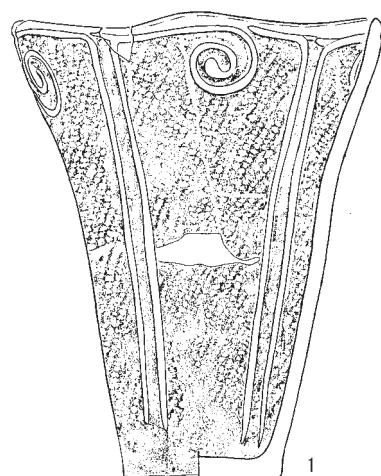
0 (1 : 4) 10cm

第178図 SK-595・602・605~608・610・611 出土土器実測図

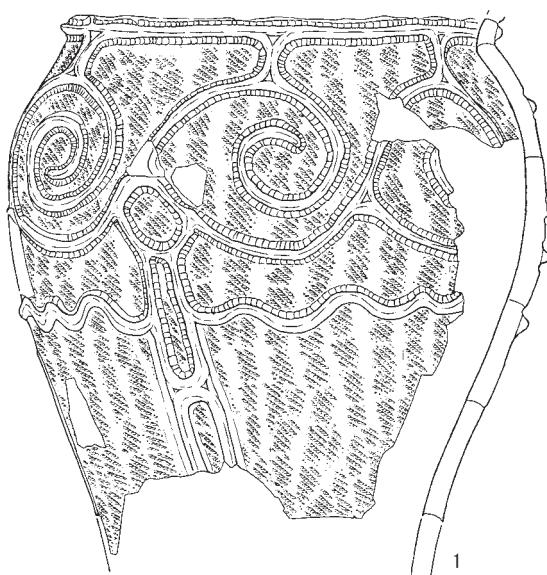
SK-609



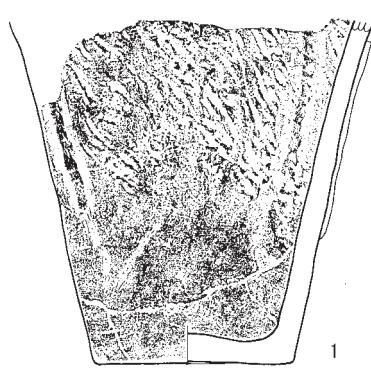
SK-612



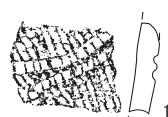
SK-613



SK-619



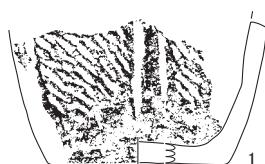
SK-616



SK-617



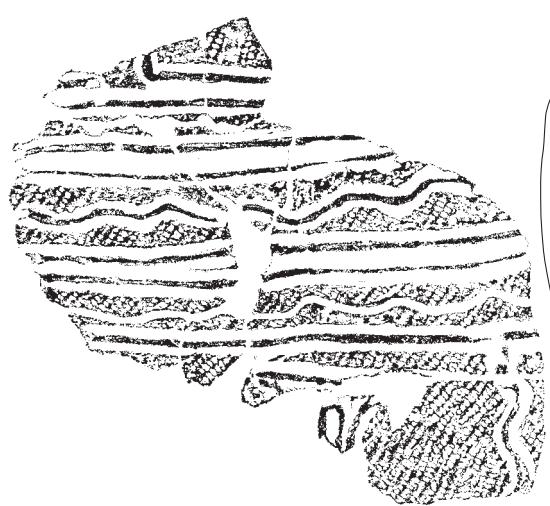
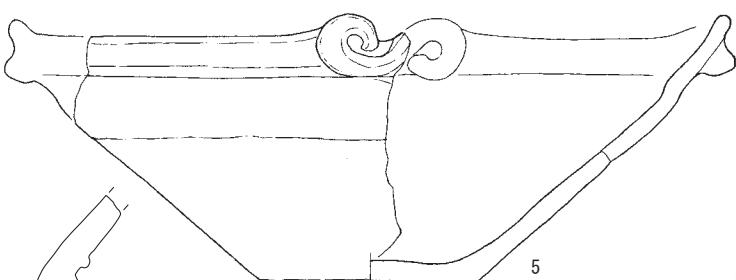
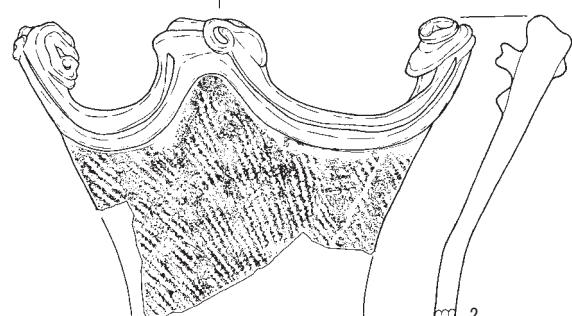
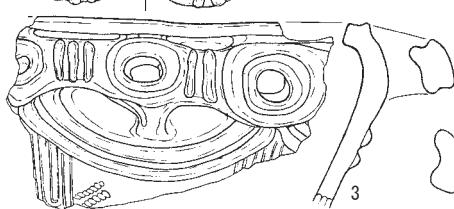
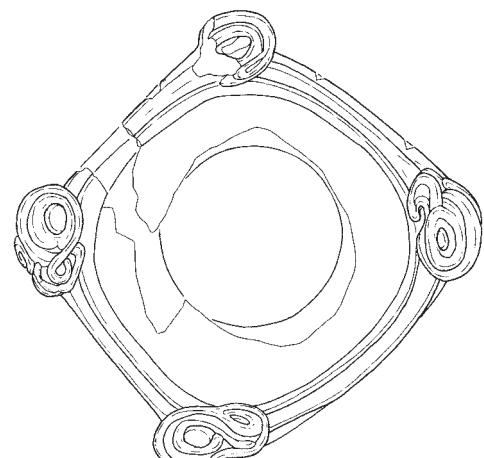
SK-618



0 (1 : 4) 10cm

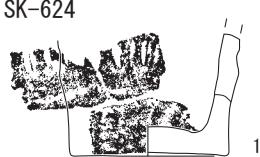
第179図 SK-609・612・613・616～619 出土土器実測図

SK-615



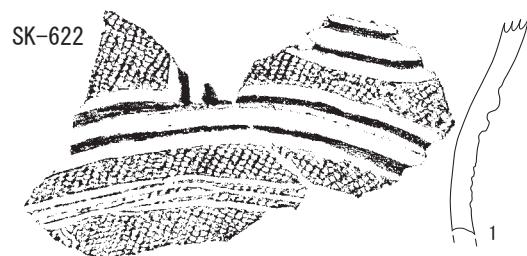
4 (1/5)

SK-624



1

SK-621

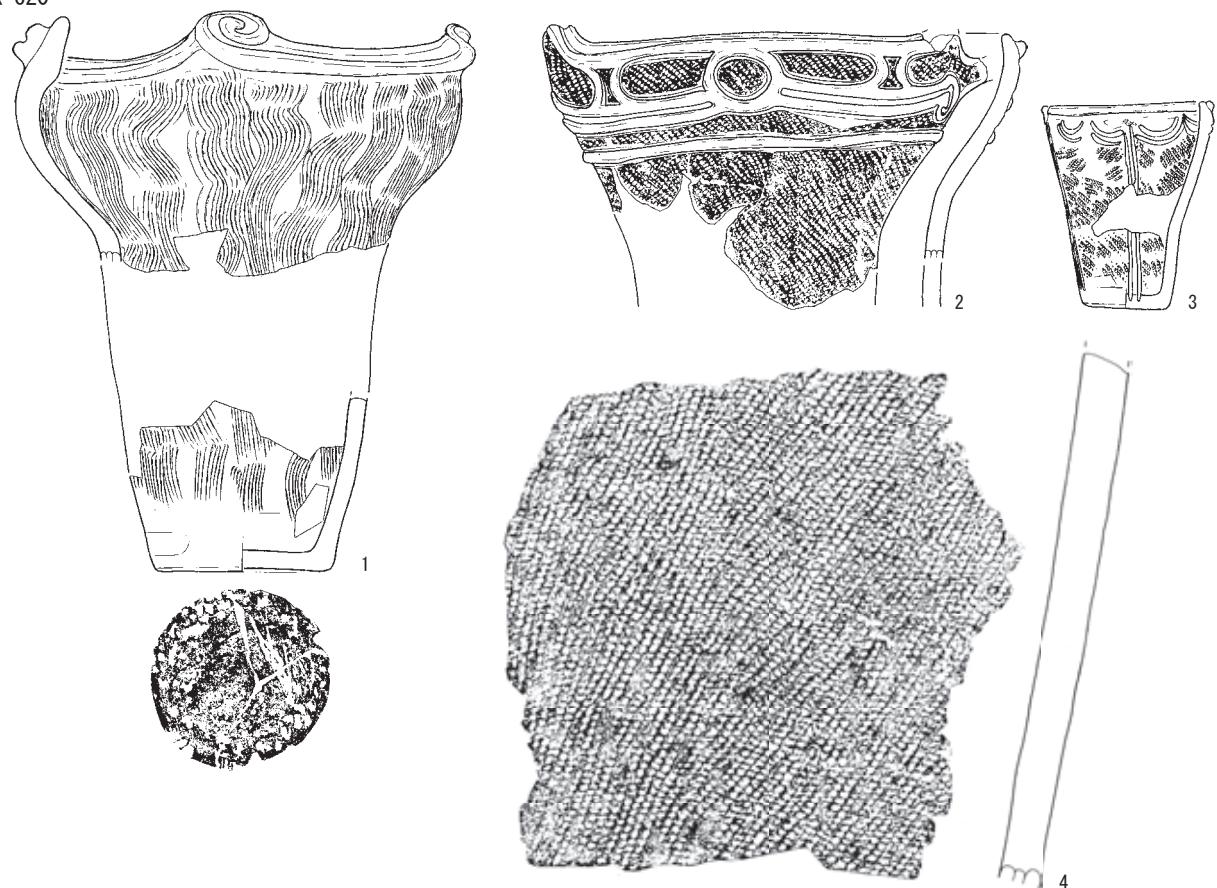


1

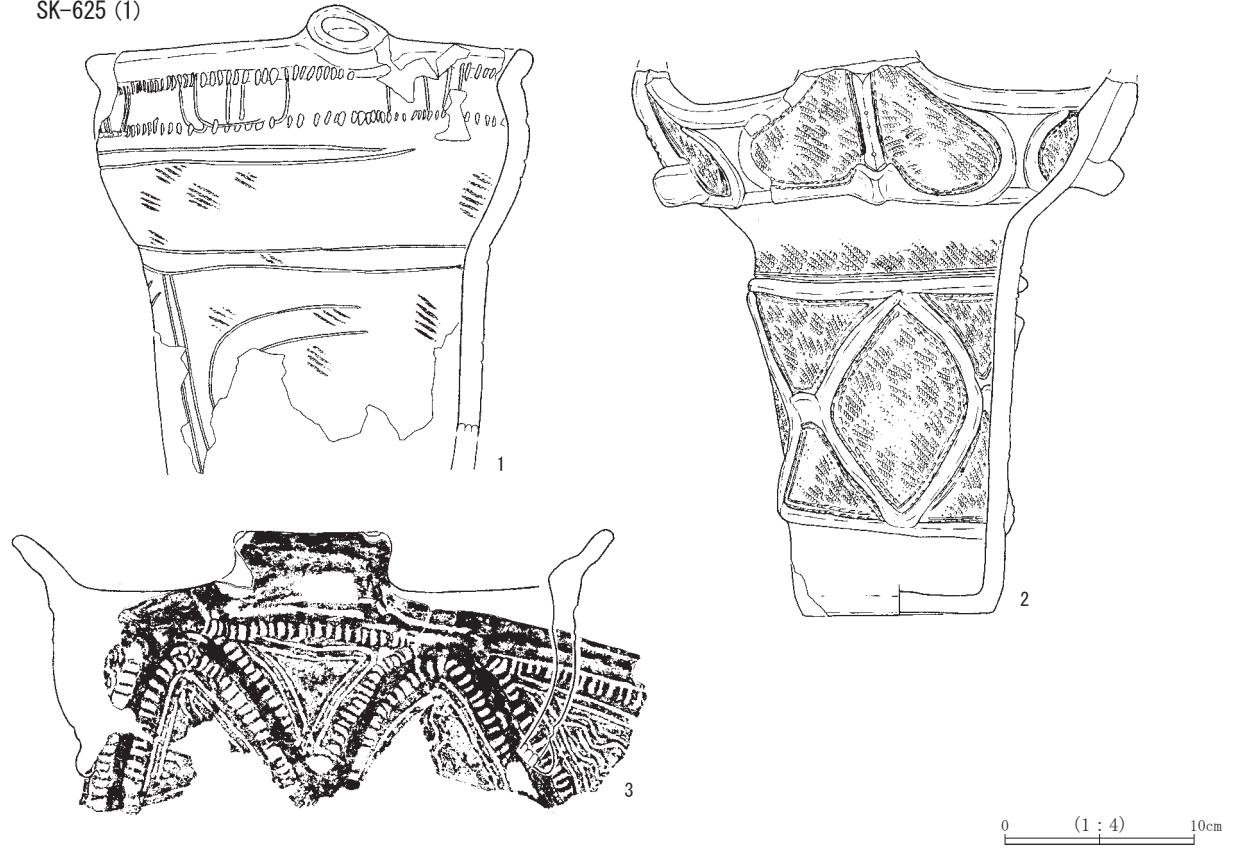
0 (1 : 4) 10cm

第180図 SK-615・621・622・624 出土土器実測図

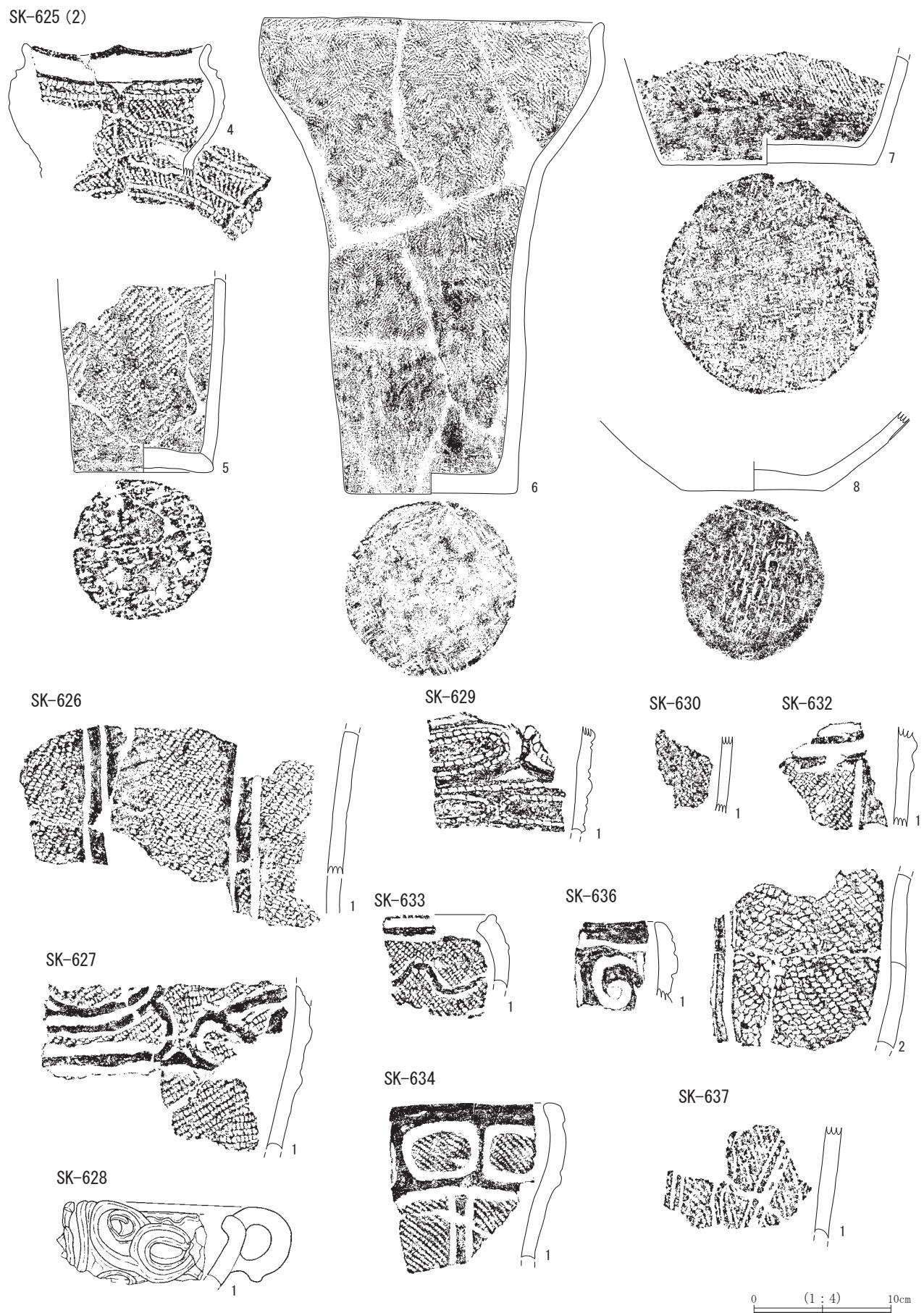
SK-620



SK-625 (1)

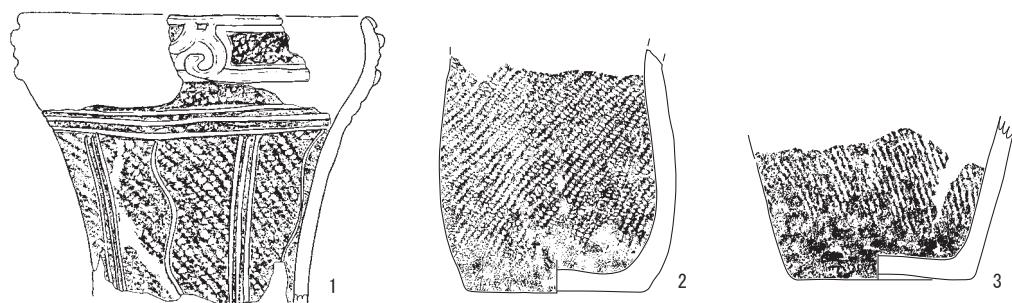


第181図 SK-620・625(1) 出土土器実測図

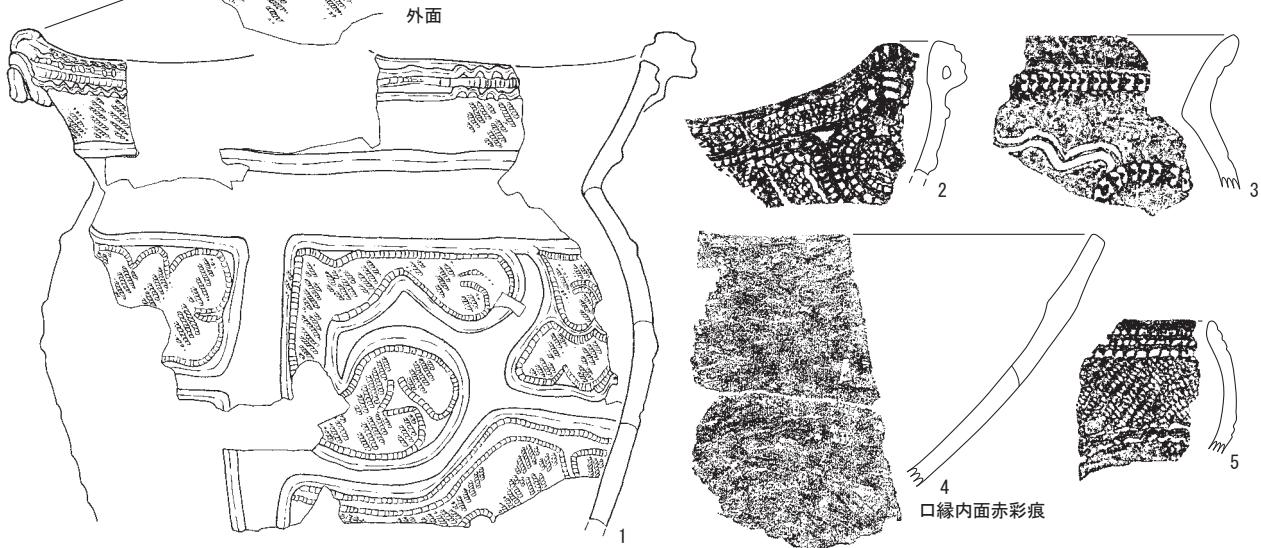


第182図 SK-625(2)～630・632～634・636・637 出土土器実測図

SK-635



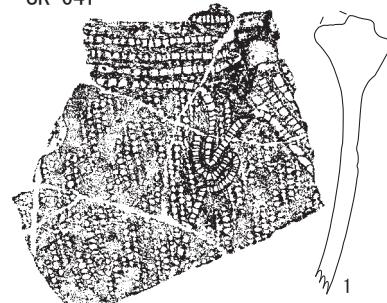
SK-639



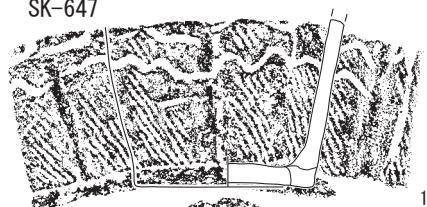
SK-640



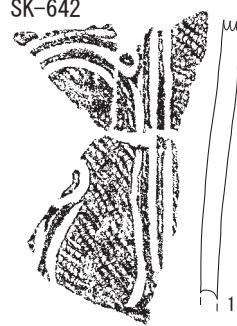
SK-641



SK-647



SK-642



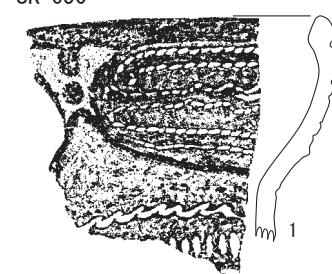
SK-648



SK-649



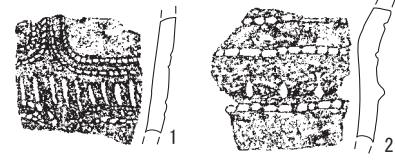
SK-650



SK-643



SK-651



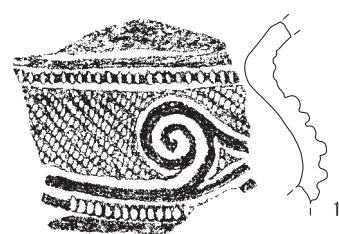
0 (1 : 4) 10cm

第183図 SK-635・639~643・647~651 出土土器実測図

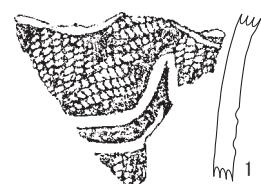
SK-646



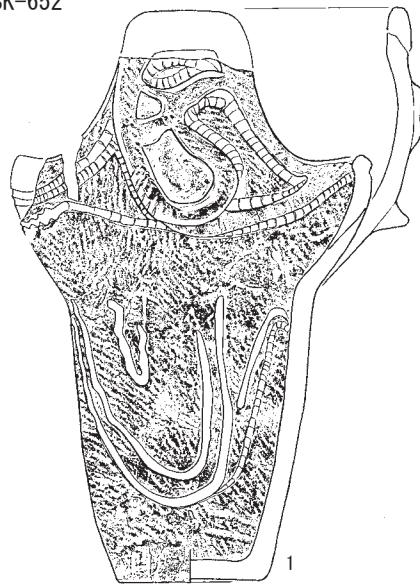
SK-653



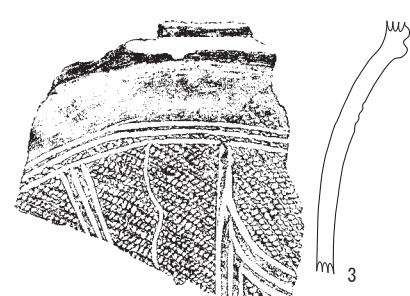
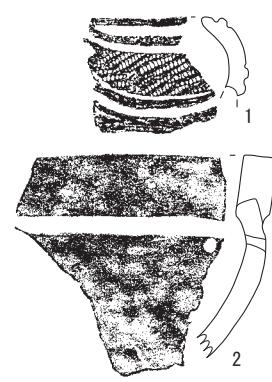
SK-654



SK-652



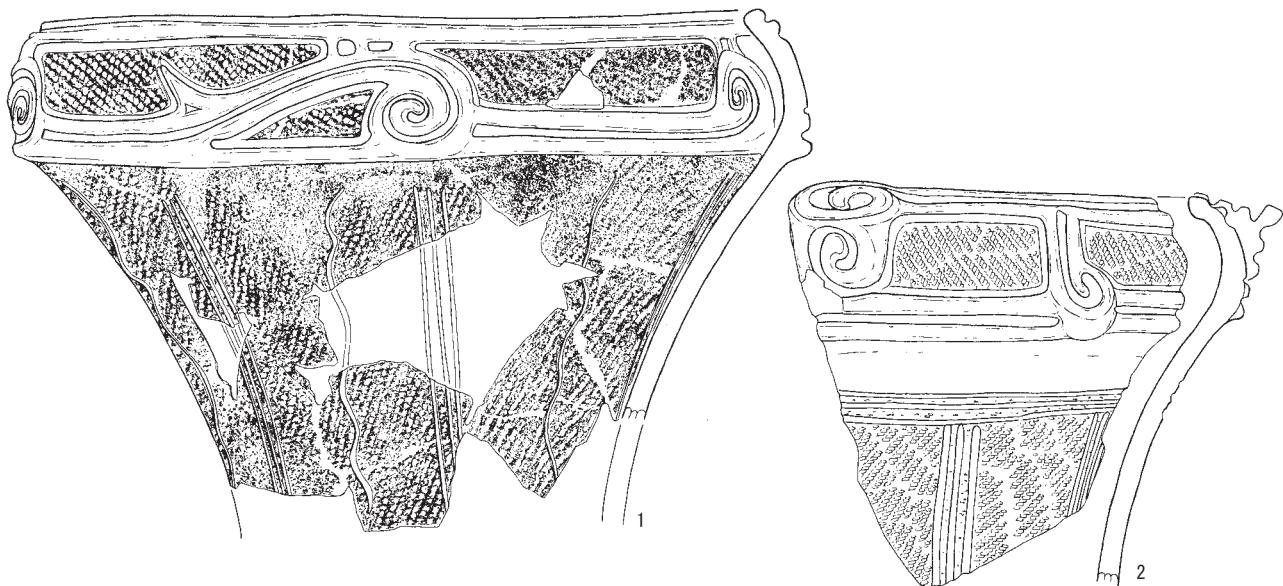
SK-655



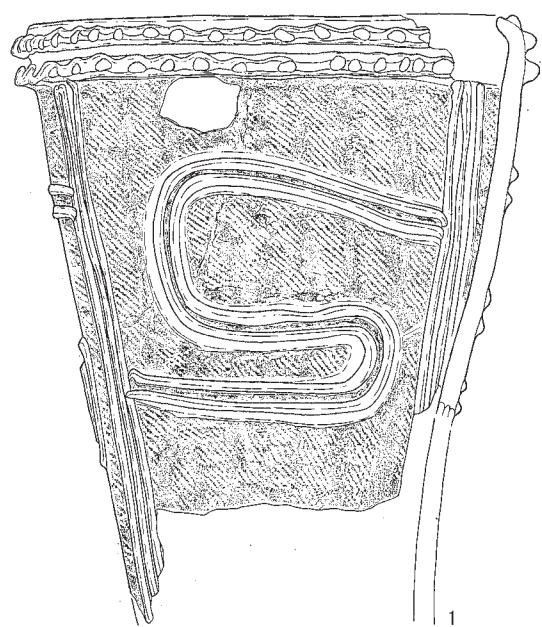
0 (1 : 4) 10cm

第184図 SK-646・652~655 出土土器実測図

SK-656



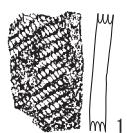
SK-659



SK-657



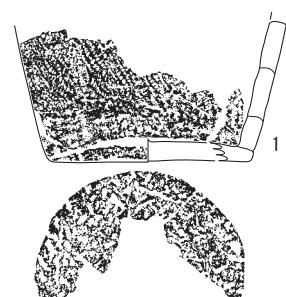
SK-661



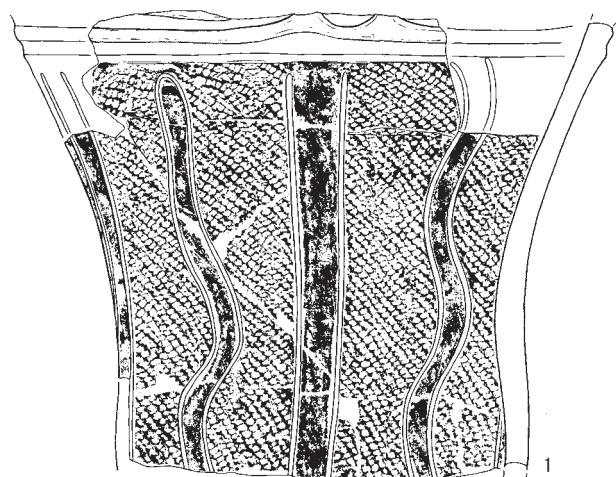
SK-664



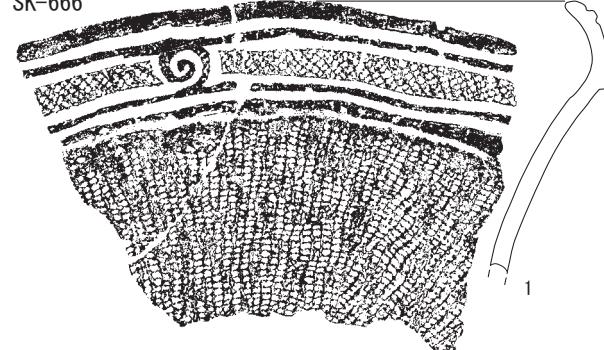
SK-658



SK-668



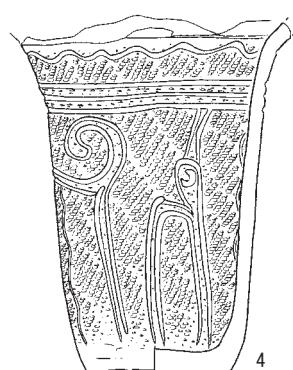
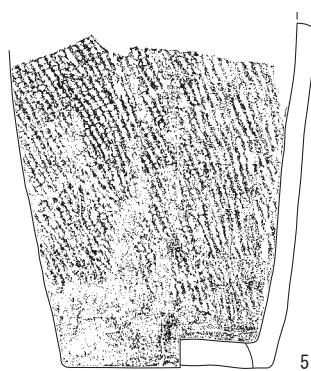
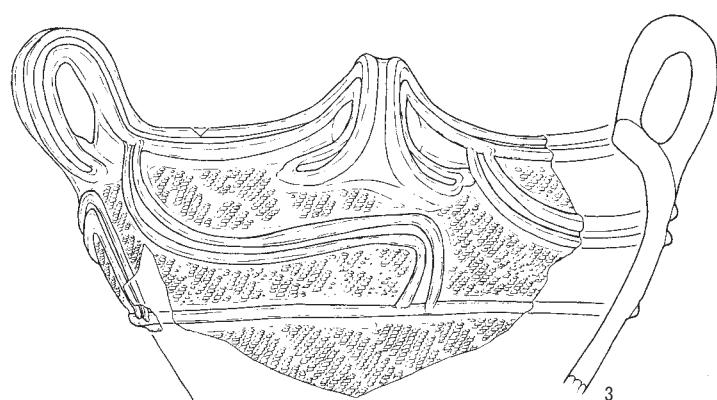
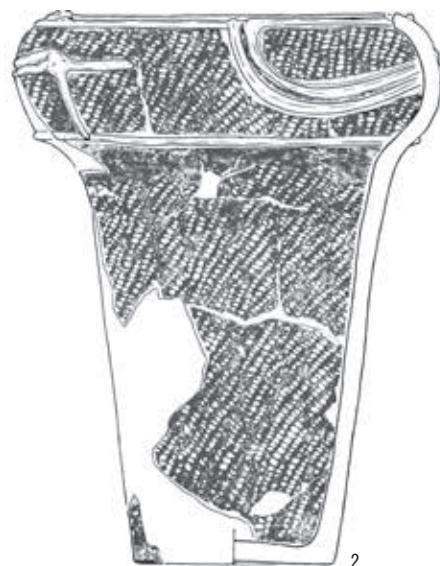
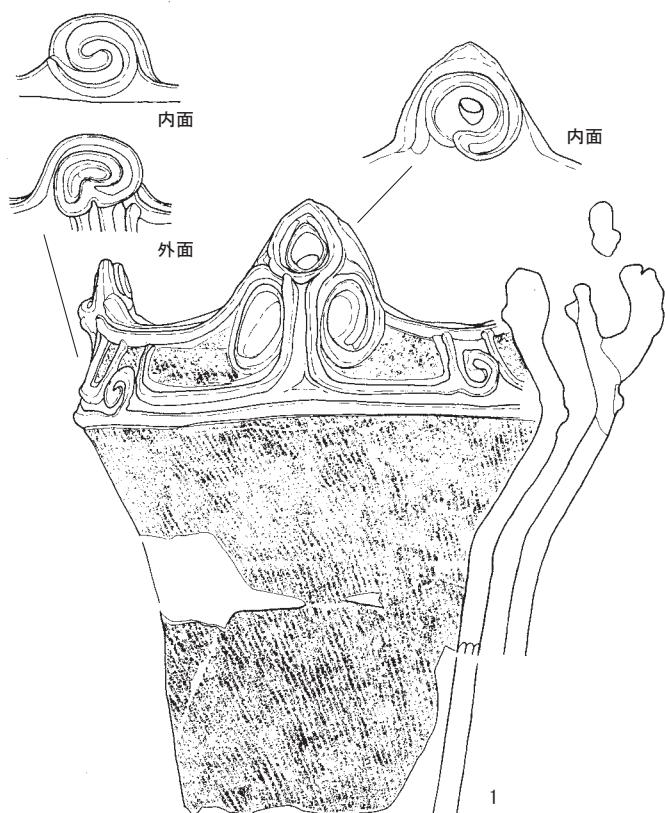
SK-666



0 (1 : 4) 10cm

第185図 SK-656~659・661・664・666・668 出土土器実測図

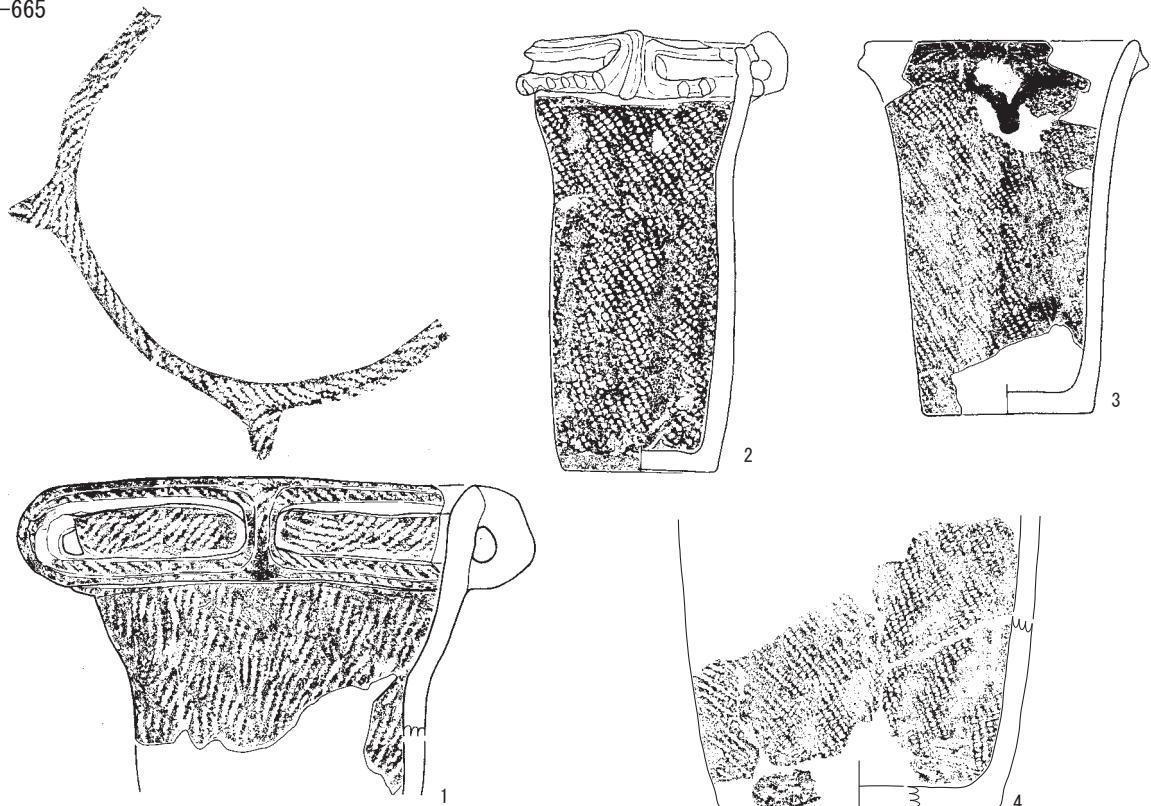
SK-663



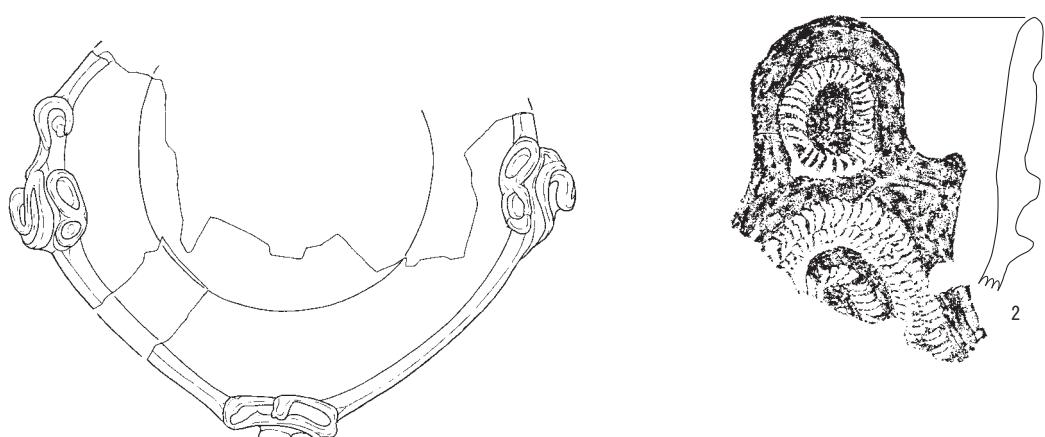
0 (1 : 4) 10cm

第186図 SK-663 出土土器実測図

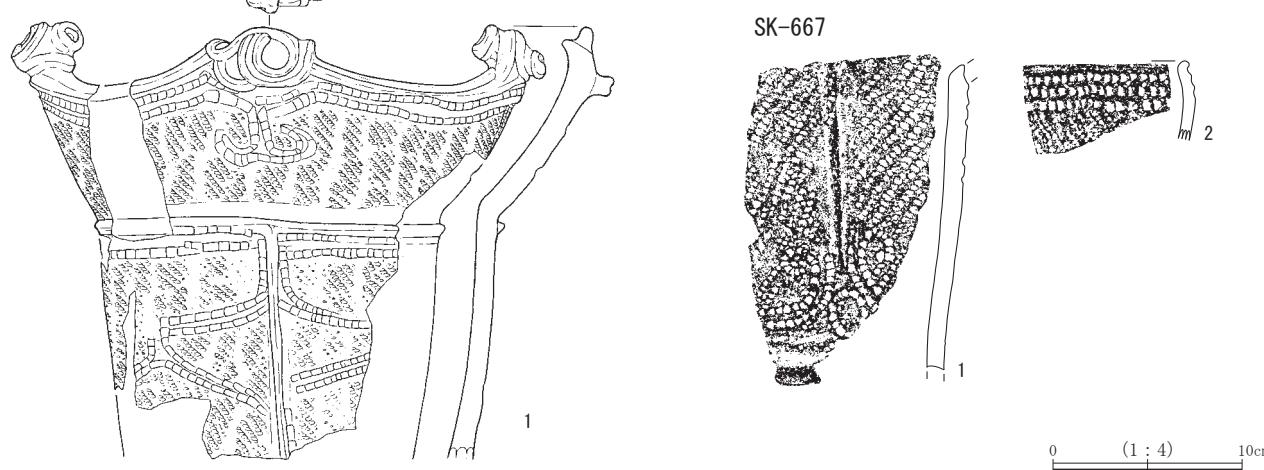
SK-665



SK-669

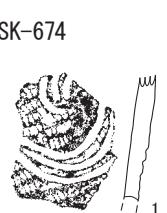
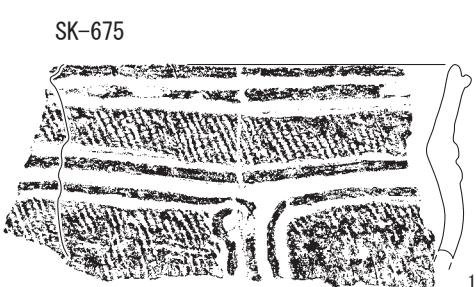
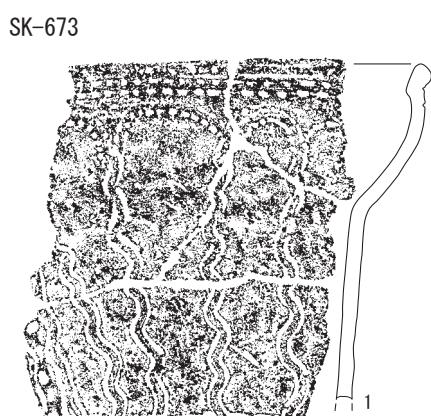
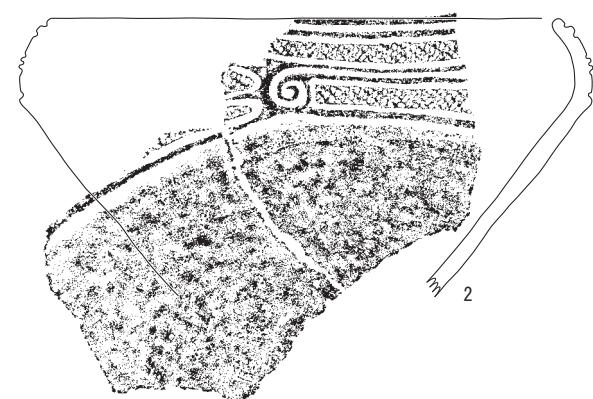
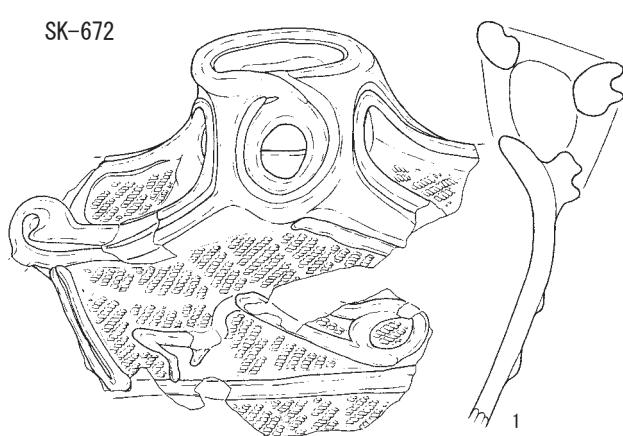
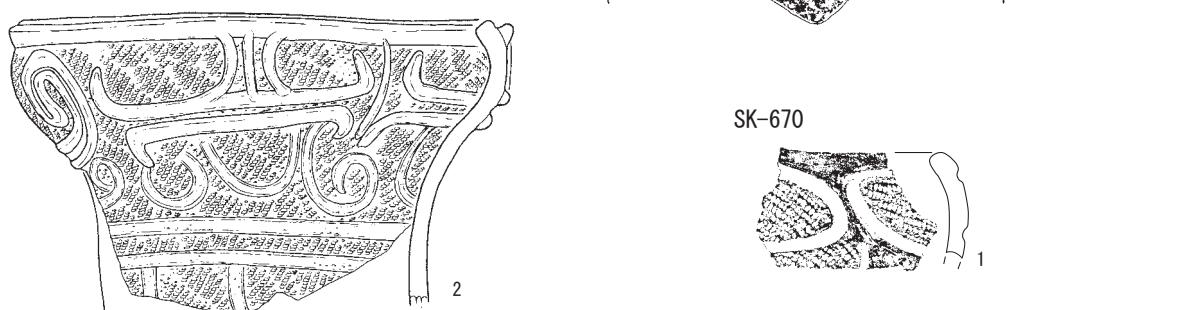
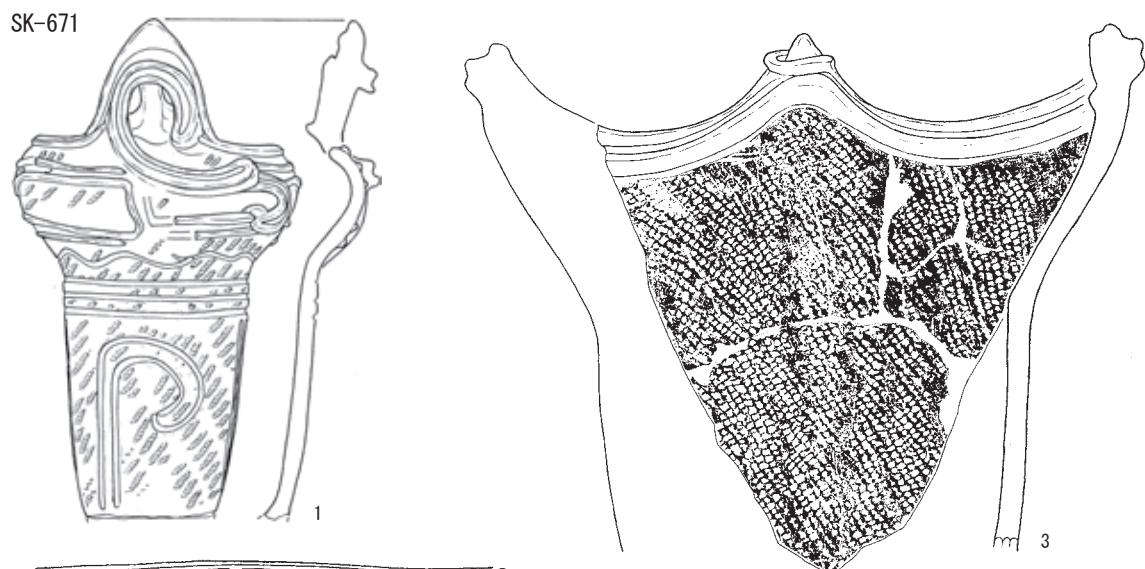


SK-667



0 (1 : 4) 10cm

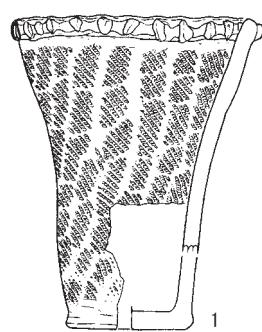
第187図 SK-665・667・669 出土土器実測図



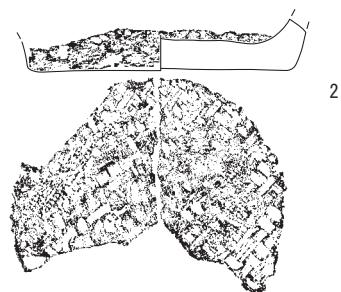
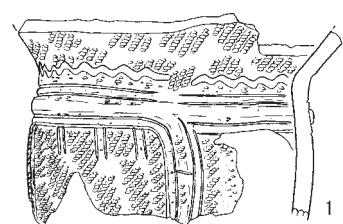
0 (1 : 4) 10cm

第188図 SK-670~675 出土土器実測図

SK-676

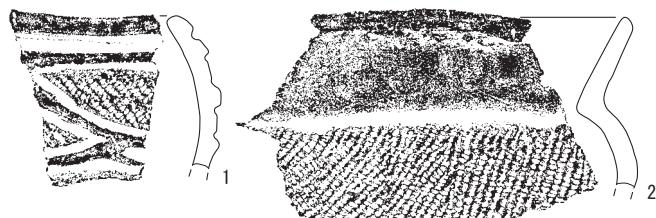


SK-678

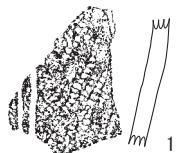


2

SK-679



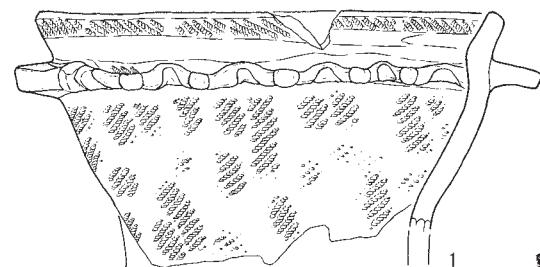
SK-682



SK-683



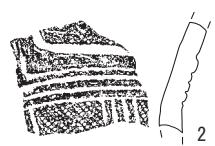
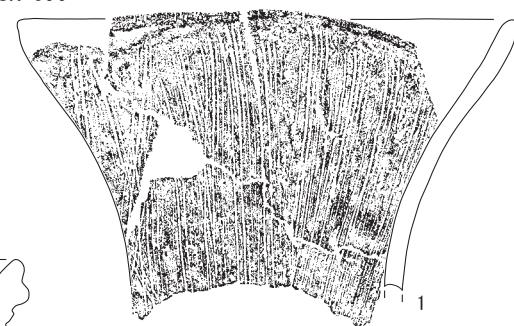
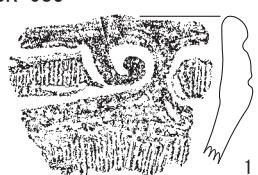
SK-681



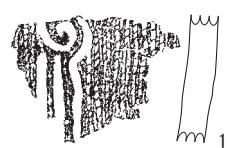
SK-684



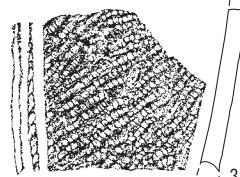
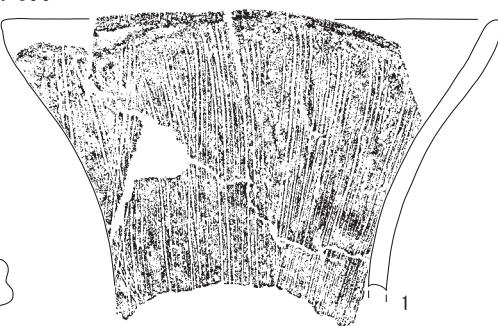
SK-685



SK-688



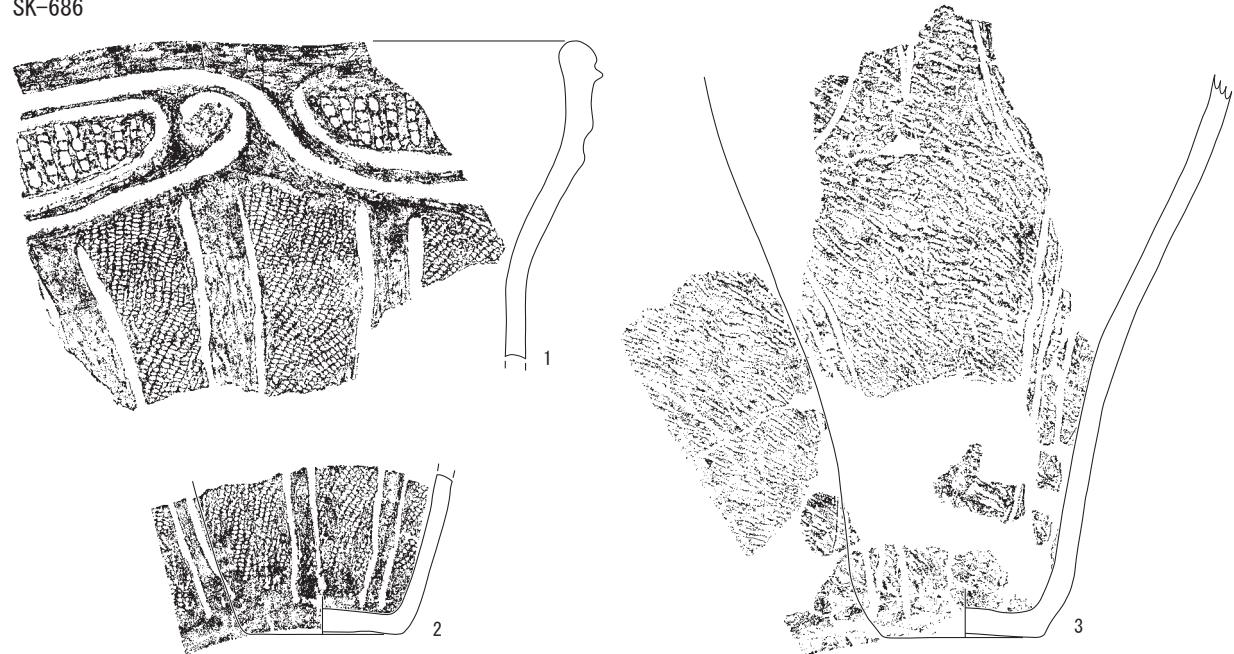
SK-689



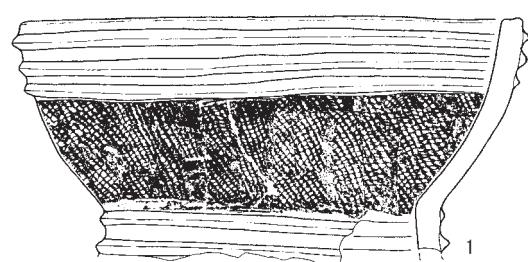
0 (1 : 4) 10cm

第189図 SK-676・678・679・681～685・688～690 出土土器実測図

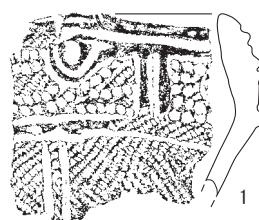
SK-686



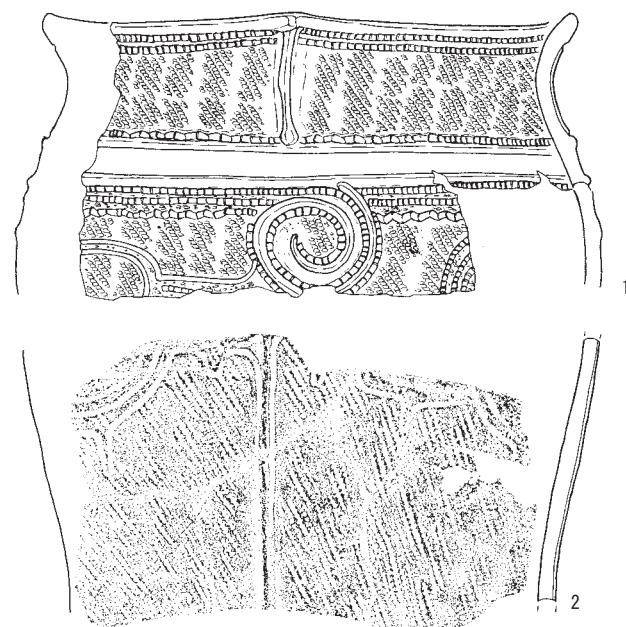
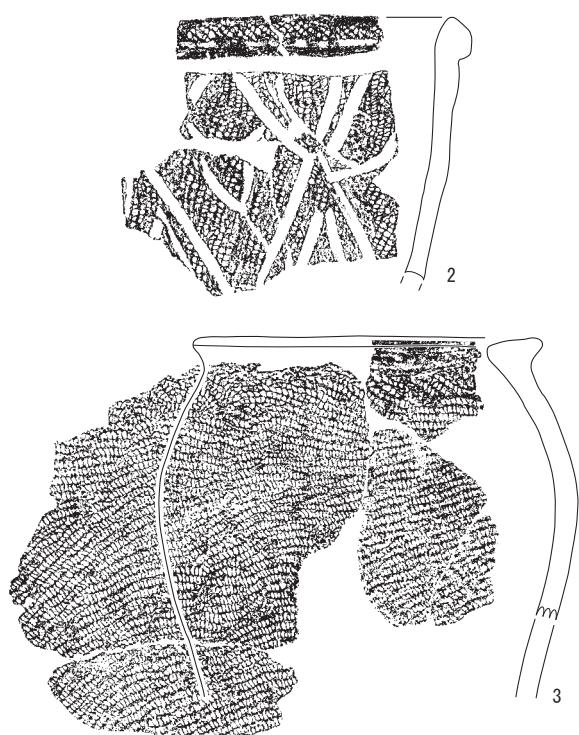
SK-687



SK-696



SK-697



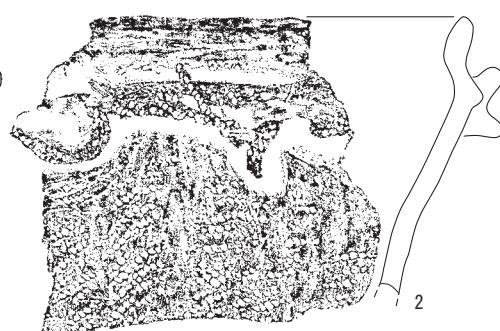
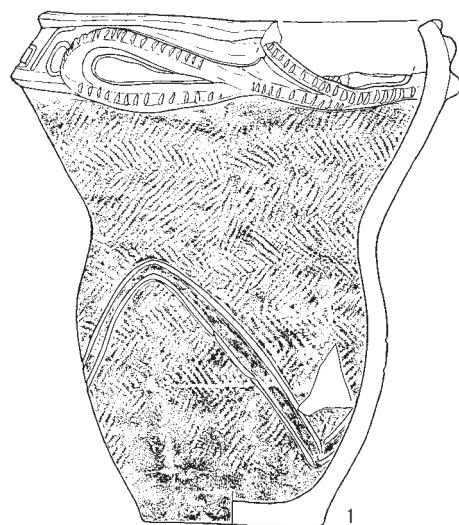
0 (1 : 4) 10cm

第190図 SK-686・687・696・697 出土土器実測図

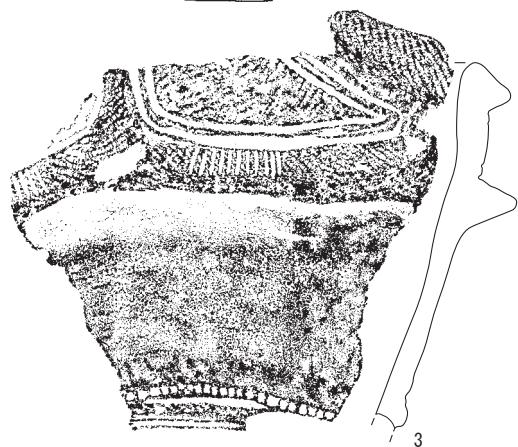
SK-692



SK-694



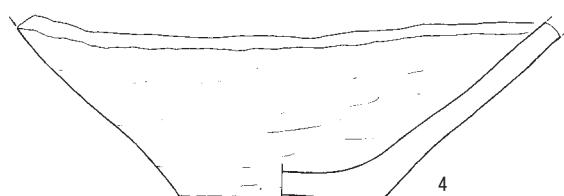
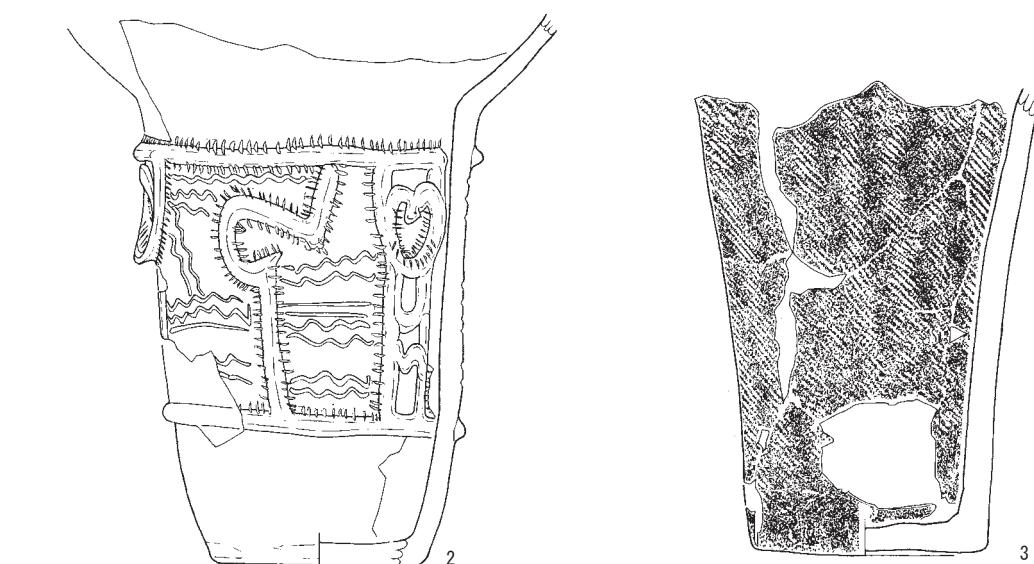
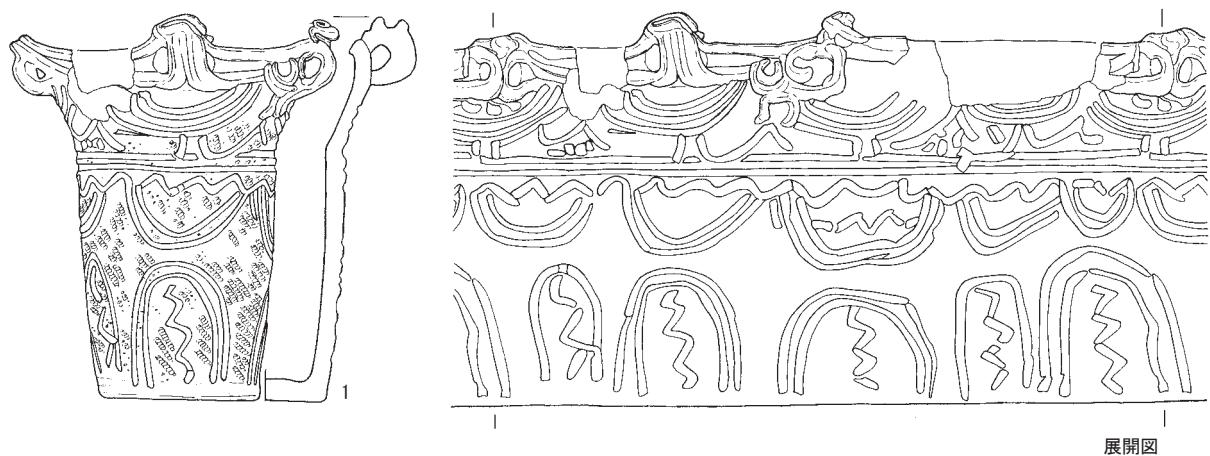
SK-693



0 (1 : 4) 10cm

第191図 SK-692~694 出土土器実測図

SK-700



0 (1 : 4) 10cm

第192図 SK-700 出土土器実測図

(4) 集石遺構・小穴群

SX- 1 (第193・213図)

F- 5 a グリッドに位置し、SK-89・90・96・121に囲まれる。大きな多孔石とその周辺から大小6個の礫が同じレベルから出土している。

SX- 2 (第193図)

G- 5 c グリッドに位置し、周囲にSK-187・192・199・272・301がある。石皿の破片を含む大小20数個の礫が集まって検出された。集石を中心に半径1mの範囲が10cmほどなだらかにくぼむ。礫は被熱赤変しているものがある。

SX- 3 (第193図)

H- 5 c・d グリッドに位置し、SK-346・347・398・400・437・438などと重複する。確認面は南東に向かって緩やかに傾斜している。直径6mほどの範囲に、12個のピットが確認された。直径40~50cmで、P- 1~9は環状に巡るようにも見える。深さは最深141cm (P- 6)、最浅35cm (P-8) で、70~100cmのものが多い。

(5) 捨て場 (第194~197・205・210・214・215図、図版66・67)

図面がなく明確ではないが、調査区 (A区) 南北2カ所で壊れた土器などの捨て場が検出されている。1カ所は調査区の北側、E- 4 グリッドに位置する谷状の斜面のB区で、コンテナ70箱の土器・石器が出土している。ほとんどが破片で、土器は台地上の遺構と同じ阿玉台I b式から加曽利E III式期までの土器片で加曽利E I式期のものが多い。また、石器は磨製石斧・磨石・石皿・多孔石などで、石皿・多孔石が多い。希少な資料として、破片ではあるが4脚の壺形土器 (第197図47) や、内面に凹線で曲線的文様が描かれた台形土器 (第197図48)、土製垂飾 (第216図35)。コハクの破片 (原色図版7) などがある。

もう一つは調査区南側、I- 5・I- 6 グリッド付近の緩斜面のC区で、遺物の出土は土器片と石器がコンテナ3箱のほどで少ない。

(6) 遺構外出土及び出土遺構不明土器 (第198・199図)

確認調査時に出土した器形のわかる土器5点 (第198図) と、調査から整理作業の段階で出土遺構が不明となってしまったほぼ完形の土器1点 (第199図) を図示した。

第198図1・2は深鉢形土器である。1は口頸部が隆帯で区画文が展開するVI期の土器、2は口縁部が渦巻き文と沈線による橢円区画文、胴部が蛇行沈線と2条の垂下沈線間を無文とするVIII期の土器である。3・4は浅鉢形土器で、3は区画内に複列の結節沈線が施されるもの、4は2個1対の波状口縁で刻みを施した縦長の貼付文を施すII期の土器である。5は器壁が厚い小型の壺形土器である。内外面横方向のミガキが施される。

199図1は把手上端と胴部下半から底部の一部を欠く。口縁部には環状の大形把手と若干ずれるが対向部に小型の把手が付き、口縁部には沈線の添う隆帯で渦巻文などが展開し、胴部には蛇行沈線と2~3条の垂下沈線などが展開する。VI期の土器である。

SX-1

SX-2

++



+



A

A'

A .151.3m

A'



0 (1 : 30) 1m

SX-3



A.



A.

B.

B.

C.

C.

D.

D.

E.

E.

F.

F.

G.

G.

H.

H.

I.

I.

J.

J.

K.

K.

L.

L.

M.

M.

N.

N.

O.

O.

P.

P.

Q.

Q.

R.

R.

S.

S.

T.

T.

U.

U.

V.

V.

W.

W.

X.

X.

Y.

Y.

Z.

Z.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

GG.

GG.

HH.

HH.

II.

II.

JJ.

JJ.

KK.

KK.

LL.

LL.

MM.

MM.

NN.

NN.

OO.

OO.

PP.

PP.

QQ.

QQ.

RR.

RR.

SS.

SS.

TT.

TT.

UU.

UU.

VV.

VV.

WW.

WW.

XX.

XX.

YY.

YY.

ZZ.

ZZ.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

GG.

GG.

HH.

HH.

II.

II.

JJ.

JJ.

KK.

KK.

LL.

LL.

MM.

MM.

NN.

NN.

OO.

OO.

PP.

PP.

QQ.

QQ.

RR.

RR.

SS.

SS.

TT.

TT.

UU.

UU.

VV.

VV.

WW.

WW.

XX.

XX.

YY.

YY.

ZZ.

ZZ.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

GG.

GG.

HH.

HH.

II.

II.

JJ.

JJ.

KK.

KK.

LL.

LL.

MM.

MM.

NN.

NN.

OO.

OO.

PP.

PP.

QQ.

QQ.

RR.

RR.

SS.

SS.

TT.

TT.

UU.

UU.

VV.

VV.

WW.

WW.

XX.

XX.

YY.

YY.

ZZ.

ZZ.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

GG.

GG.

HH.

HH.

II.

II.

JJ.

JJ.

KK.

KK.

LL.

LL.

MM.

MM.

NN.

NN.

OO.

OO.

PP.

PP.

QQ.

QQ.

RR.

RR.

SS.

SS.

TT.

TT.

UU.

UU.

VV.

VV.

WW.

WW.

XX.

XX.

YY.

YY.

ZZ.

ZZ.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

GG.

GG.

HH.

HH.

II.

II.

JJ.

JJ.

KK.

KK.

LL.

LL.

MM.

MM.

NN.

NN.

OO.

OO.

PP.

PP.

QQ.

QQ.

RR.

RR.

SS.

SS.

TT.

TT.

UU.

UU.

VV.

VV.

WW.

WW.

XX.

XX.

YY.

YY.

ZZ.

ZZ.

AA.

AA.

BB.

BB.

CC.

CC.

DD.

DD.

EE.

EE.

FF.

FF.

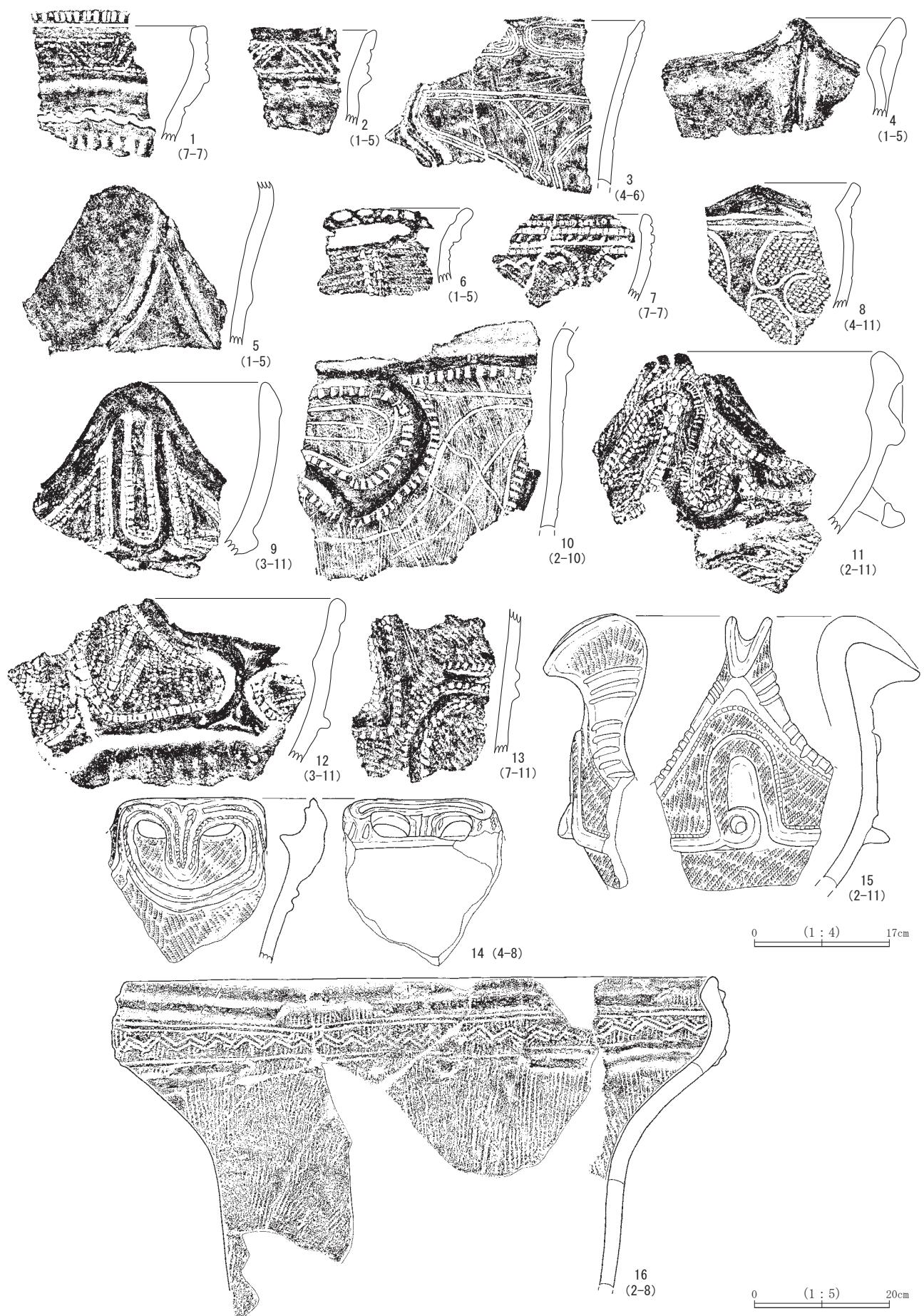
GG.

GG.

HH.

HH.

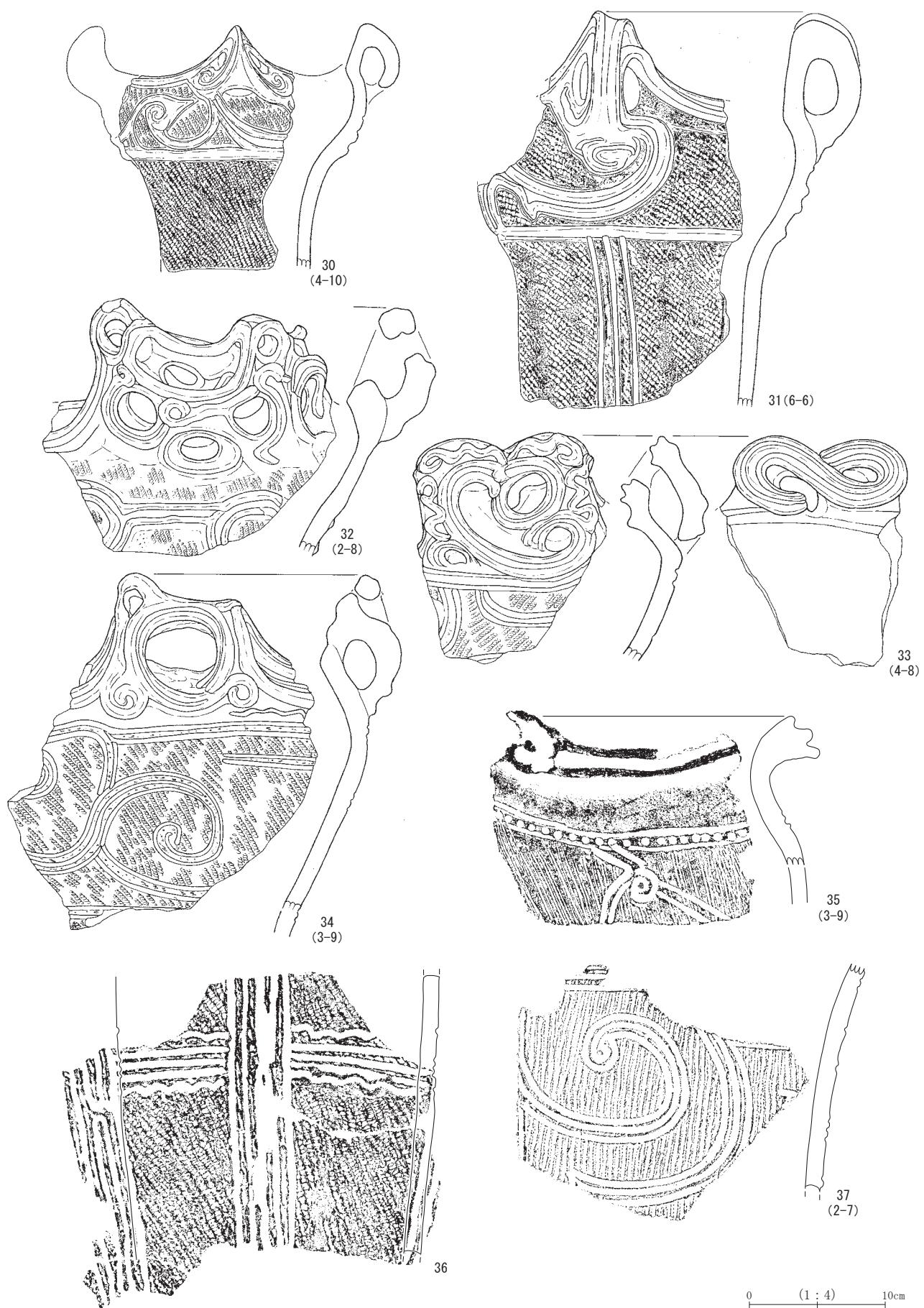
II



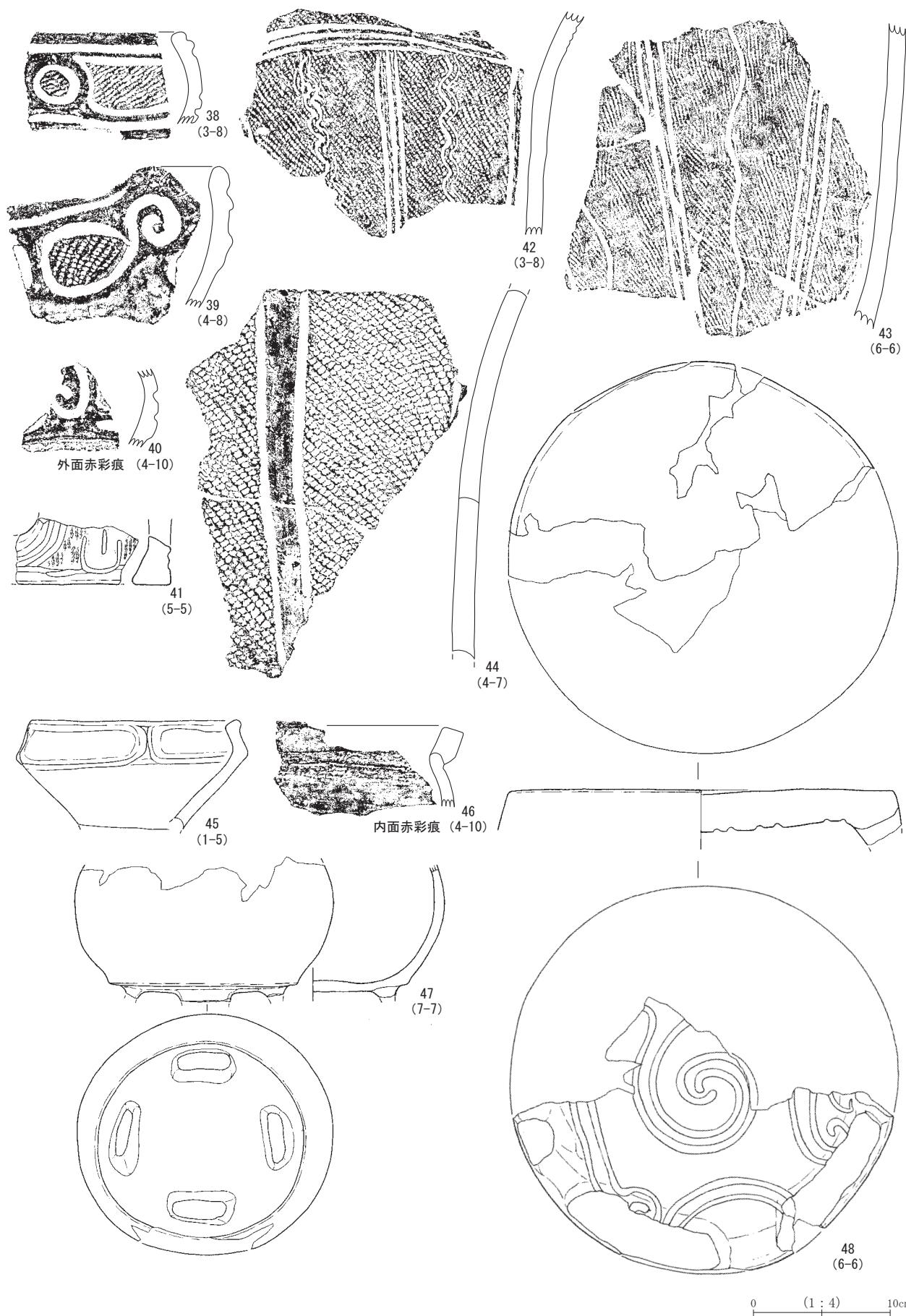
第194図 B区捨て場 出土土器実測図(1)



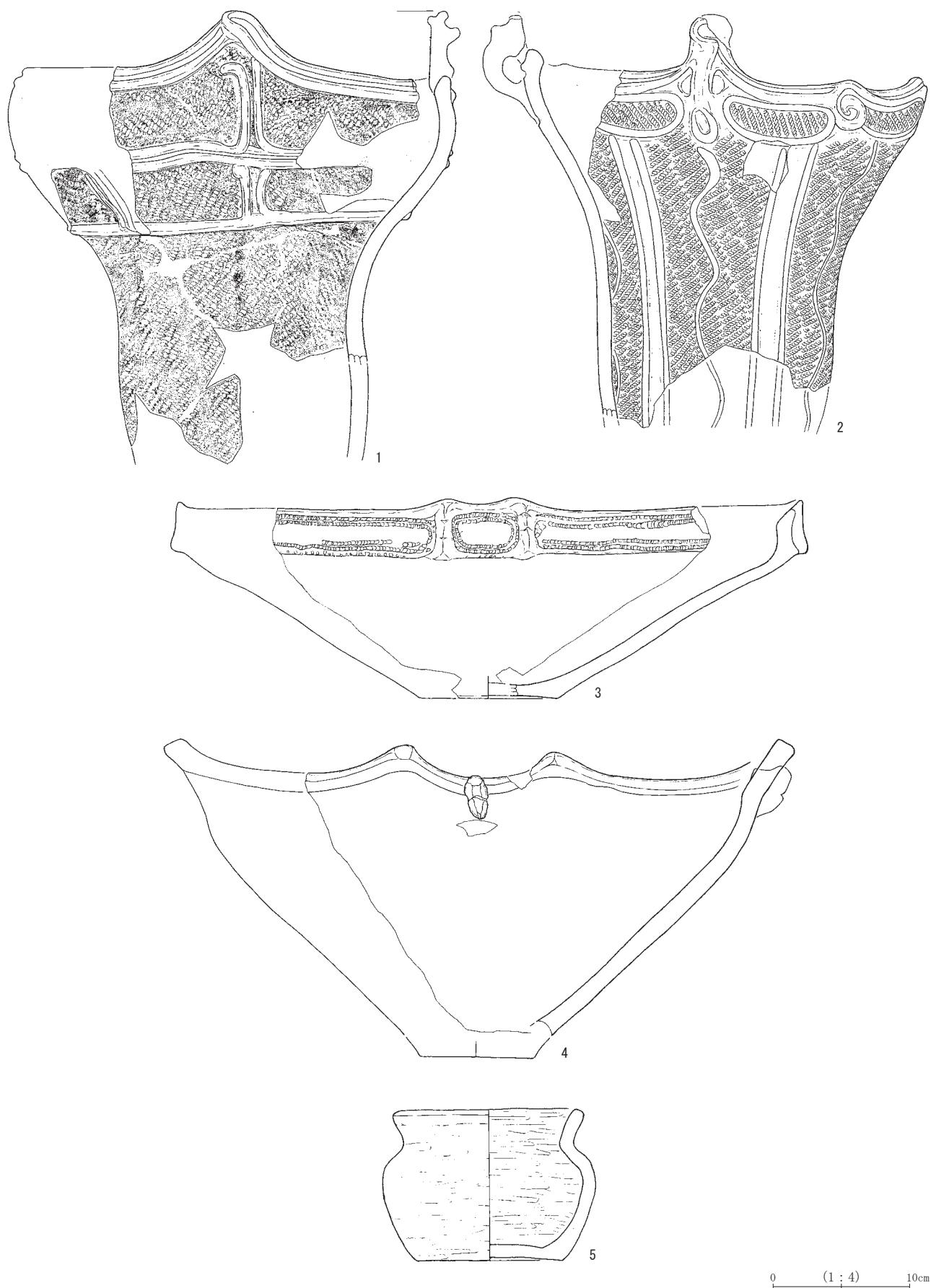
第195図 B区捨て場 出土土器実測図(2)



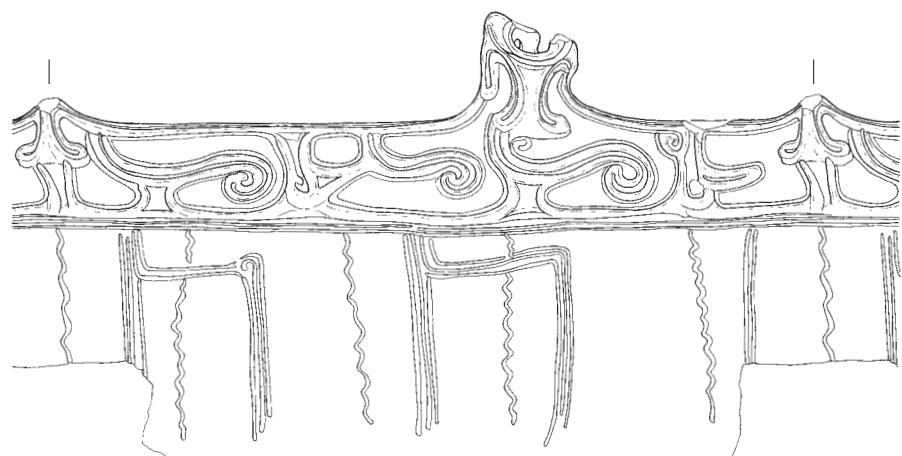
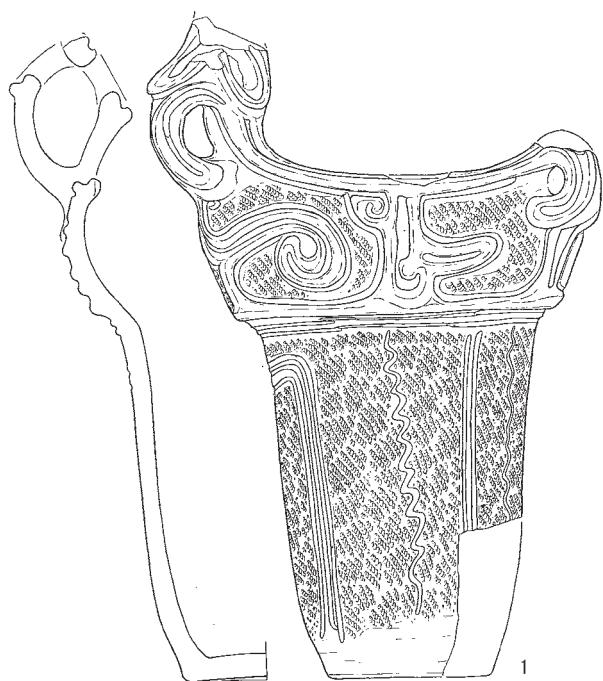
第196図 B区捨て場 出土土器実測図(3)



第197図 B区捨て場 出土土器実測図(4)



第198図 遺構外出土土器実測図



展開図

0 (1 : 4) 10cm

第199図 出土遺構不明土器実測図

(7) 石器

① 尖頭器・石槍・搔削器・三脚石器 (第200図)

いずれも土坑出土である。尖頭器・石槍は6点 (1~6) 出土しており、1・2は基部片でやや肉厚である。2・3は珪質頁岩製で、周縁の調整は丁寧である。チャート製のやや肉厚の三脚石器と思われるものが1点 (7)、剥片などの側縁に剥離調整を加えた搔削器が3点 (8~10) 出土している。

② 三角錐形石器・敲打器・礫器 (第200図)

三角錐形石器は大小2点 (11・12) 出土しており、いずれも凝灰岩製である。11は1面に自然面を大きく残す。基部は敲打整形で細く整形している。細長い礫を用いた敲打器が3点 (13~15)、礫器が5点 (16~20) 出土している。いずれも土坑からの出土である。

③ 石鏸 (第201図)

57点出土している。住居跡から4点、土坑から53点である。大きさは長さ3.9cm (35) が最大で、1.4cm (3) が最小である。形状は正三角形のものから、細長い二等辺三角形のものがあり、側縁については直線的なもの、やや曲線的なもののほか、屈曲するもの (37) もある。基部に注目すると、内湾する凹基、直接的な平基のもの、外湾する円基、突基有茎がある。凹基のものが40点と多く、平基・円基が14点で、突基有茎が1点である。凹基のものは薄く丁寧なつくりのものが少なくないが、円基で正三角形のものは厚さがありずんぐりしたものが多い。石材は約チャートが41点で7割を占め、黒曜石が6点でそれに次ぐ。

④ 石錐 (第202図)

9点出土しているがいずれも土坑出土である。剥離調整によって整形されたもの4点 (1~4) はいずれもチャート製で、1は摘み部を有し、2・3は摘みと錐部の境界が不明瞭で細長い三角形の形態である。4は基部と先端部を欠く。他に打割や研磨によって先端を尖らせた粘板岩や流紋岩製のものが5点 (5~9) ある。

⑤ 打製石斧 (第202・203図)

未製品を含め39点(竪穴住居跡2、土坑37)出土している。石材はホルンフェルスが最も多く、緑色片岩・安山岩・砂岩などがそれに次ぐ。

形態的には破損品も多く明確な分類は難しいが、A類：刃部と基部の幅がほぼ同じで、両側縁が直線的なもの(短冊形)、B類：刃部が基部に比べ幅広で両側縁が直線的なもの(撥形)で、基部が緩やかな面をもつもの(B-1)と、尖るもの(B-2)がある。C類：中位に括れをもち、刃部が丸みを持つもの(分銅形)、D類：側縁の括れが曲線的で、基部が小さいもの(籠形)、E類：その他、未製品を含む。に分類される。B類は長さ12~15cmのものが多いが、1・2のような長さ20cmの大形品もある。C類も14~15cmの大形のもの (20・21) から、5~6cmの小型のもの (26・27) まである。B類・C類が多く、割合はほぼ二分する。

⑥ 磨製石斧 (第203~205図)

小型から大型品、未製品を含め総数90点(竪穴住居跡6、土坑76、B区捨て場7、遺構外1)出土している。未製品・破損品が多く、完存品は一割にもみたない。

長さ5~8cmの小型品は蛇紋岩や角閃石名のものが多く、擦切り痕 (5・9・12) や分割するための擦切りの細い線が施されたもの (19) がある。2~4は棒状のもので整形前の素材と考えられる。刃部幅が基部幅を若干上回る細身の定角式のものが多い。

長さ10~15cmのものは、折損品も多いがほとんどが定角式の範疇で捉えられるものである。石材は砂岩が最も多く、安山岩がそれに次ぐ。72は基部を欠くが、刃部が広く撥形の形状となる。折損後に剥離整形が施されているもの(46・49)や敲石(61)や砥石(90)として転用されたものもある。また、素材と思われるもの(44・45)、敲打整形までのもの(74・85)、研磨整形が途中のもの(64・88)など、製作工程のわかるようなものも少なくない。

⑦ 磨石・凹石(第206~210図)

総数160点ほど出土している。石材は安山岩が最も多く8割を占め、砂岩・花崗岩・凝灰岩が少數ある。長さ15cm、幅10cm前後の楕円形のものと、長さ8~9cmほどの円形で扁平なものに大別される。いずれも片手で握れる大きさで、表裏両面に磨痕の認められるものが多い。側縁や先端に敲打痕の認められるもの、表裏中央に敲打痕(凹痕)を残すものが多く、楕円形のものは2個1対、円形のものは1個の凹痕を持つものが多い。被熱しているものも30点ほどあり、SK-246ではベンガラを潰したものと思われる磨石(63)が出土している。

⑧ 石皿・多孔石(第211~215図)

石皿・多孔石は37点(土坑27、B区捨て場7、集石遺構1、表採2)図示した。石材はほとんどが安山岩で、凝灰岩・砂岩が少數ある。石皿は、A類:凹面となる磨り部が中央にあり、周囲に陵をもつ縁部を有するもの(5・24・25)、B類:中央磨り部がわずかに凹程度で周囲の陵が不明瞭なもの(1・2・12・23)がある。A類には搔き出し口をもつもの(29・37)、縁部及び裏面に多数の凹痕をもつもの(3・5・6・24・30・33)が少くない。21は棒状の大形礫で、一面に平坦な磨り面がみられる。20は中央に敲打痕が残る未製品であろう。磨り面がない多数の凹痕だけのものは8・10・36などがある。35は全面磨整形され、各面1・2個の凹痕がある。

第6表 尖頭器・石槍・三脚石器・搔削器・三角錐形石器・敲打器・礫器観察表

| No. | 出土遺構 | 器種 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|--------|------|------|-----|-------|---------|-------|-------|----------------|
| 1 | SK-245 | 尖頭器 | 4.1 | 2.9 | 1.1 | 14.43 | 珪質安山岩 | 200上段 | 116上段 | 半壊品、写真図版SK-205 |
| 2 | SK-587 | 尖頭器 | 3.4 | 2.1 | 1.3 | 6.49 | 珪質頁岩 | 200上段 | 116上段 | 半壊品、写真図版SK-581 |
| 3 | SK-391 | 尖頭器 | 7 | 2 | 0.8 | 11.24 | 珪質頁岩 | 200上段 | 116上段 | 先端欠損 |
| 4 | SK-579 | 石槍 | 5.8 | 2.4 | 1.2 | 14.04 | チャート | 200上段 | 116上段 | |
| 5 | SK-687 | 石槍 | 4.2 | 2.3 | 0.8 | 6.63 | チャート | 200上段 | 116上段 | |
| 6 | SK-74 | 石槍 | 5.5 | 3.2 | 2.3 | 34.88 | チャート | 200上段 | 116上段 | |
| 7 | SK-106 | 三脚石器 | 3.3 | 2.6 | 1.5 | 8.87 | チャート | 200上段 | 116上段 | |
| 8 | SK-312 | 搔削器 | 5.6 | 4.5 | 1.1 | 24.92 | 玉髓 | 200上段 | 116上段 | |
| 9 | SK-666 | 搔削器 | 6 | 5 | 1.3 | 23 | 玄武岩 | 200上段 | 117上段 | |
| 10 | SK-487 | 搔削器 | 4.6 | 3.2 | 0.9 | 14.2 | チャート | 200上段 | 117上段 | |
| 11 | SK-74 | 三角錐状石器 | 18 | 10 | 6 | 780 | 凝灰岩 | 200下段 | 119下段 | |
| 12 | SK-690 | 三角錐状石器 | 13.5 | 8.4 | 5.6 | 570 | 凝灰岩 | 200下段 | 119下段 | 基部欠損 |
| 13 | SK-556 | 敲打器 | 21.3 | 10.2 | 6.4 | 2,200 | 砂岩 | 200下段 | 119下段 | |
| 14 | SK-600 | 敲打器 | 23.5 | 7.1 | 5.7 | 1,470 | 安山岩 | 200下段 | 119下段 | |
| 15 | SK-673 | 敲打器 | 10.5 | 7.7 | 3 | 490 | 石英閃綠岩 | 200下段 | 119下段 | |
| 16 | SK-262 | 礫器 | 7.3 | 9.1 | 3.1 | 200 | 礫岩 | 200下段 | 119上段 | |
| 17 | SK-200 | 礫器 | 9 | 9.8 | 2.2 | 180 | ホルンフェルス | 200下段 | 119上段 | |
| 18 | SK-305 | 礫器 | 10.6 | 14.5 | 5 | 1,100 | 安山岩 | 200下段 | 119上段 | |
| 19 | SK-312 | 礫器 | 8.6 | 12.1 | 3.5 | 500 | 安山岩 | 200下段 | 119上段 | |
| 20 | SK-29 | 礫器 | 10.2 | 11.5 | 5 | 600 | 泥岩 | 200下段 | 119上段 | |

第7表 石鎚観察表

| No. | 出土遺構 | 形状(基部) | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|--------|-----|-----|-----|------|---------|-------|-------|-------------|
| 1 | SK-7 | 凹基 | 1.4 | 1.8 | 0.3 | 0.52 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 2 | SK-158 | 凹基 | 1.5 | 1.5 | 0.4 | 0.6 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | |
| 3 | SK-648 | 凹基 | 1.4 | 1.3 | 0.5 | 0.51 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | |
| 4 | SK-112 | 凹基 | 1.9 | 1.7 | 0.6 | 1.01 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | 先端欠損 |
| 5 | SK-167 | 凹基 | 1.7 | 1.5 | 0.3 | 0.76 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | |
| 6 | SK-14 | 凹基 | 1.6 | 1.2 | 0.3 | 0.59 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 7 | SK-481 | 凹基 | 2 | 1.3 | 0.4 | 0.77 | 玉髓 | 201 | 115上段 | 先端欠損 |
| 8 | SK-1 | 凹基 | 1.7 | 1.3 | 0.4 | 0.66 | 流紋岩質凝灰岩 | 201 | 115上段 | 先端欠損 |
| 9 | SK-8 | 凹基 | 1.8 | 1.2 | 0.2 | 0.68 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 10 | SK-13 | 凹基 | 2 | 1.2 | 0.3 | 0.59 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 11 | SI-16 | 凹基 | 1.9 | 1.5 | 0.4 | 0.99 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 12 | SK-305 | 凹基 | 2 | 1.6 | 0.4 | 0.87 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 13 | SK-643 | 凹基 | 2 | 1.2 | 0.5 | 0.62 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 14 | SK-61 | 凹基 | 2 | 1.2 | 0.3 | 0.8 | 凝灰岩 | 201 | 115上段 | 先端欠損 |
| 15 | SK-123 | 凹基 | 1.7 | 1.5 | 0.3 | 0.9 | チャート | 201 | 113下段 | 先端欠損 |
| 16 | SK-620 | 凹基 | 1.7 | 2.2 | 0.2 | 0.4 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 17 | SK-94 | 凹基 | 2.4 | 1.4 | 0.4 | 1.57 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 18 | SK-481 | 凹基 | 1.5 | 1.3 | 0.3 | 0.45 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 19 | SK-130 | 凹基 | 2.1 | 1.2 | 0.4 | 0.99 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 20 | SK-191 | 凹基 | 2 | 1.5 | 0.5 | 0.83 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 21 | SK-445 | 凹基 | 2.5 | 1.6 | 0.5 | 1.24 | メノウ | 201 | 115上段 | |
| 22 | SK-67 | 凹基 | 2 | 1.6 | 0.3 | 0.67 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 23 | SI-29 | 凹基 | 2.4 | 1.6 | 0.4 | 0.93 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 24 | SK-613 | 凹基 | 2.2 | 1.5 | 0.5 | 1.22 | チャート | 201 | 114下段 | 先端欠損 |
| 25 | SK-610 | 凹基 | 2.2 | 1.9 | 0.3 | 0.87 | チャート | 201 | 115上段 | |
| 26 | SK-37 | 凹基 | 2.3 | 2 | 0.5 | 1.39 | 流紋岩 | 201 | 113下段 | |
| 27 | SK-95 | 凹基 | 2.8 | 1.8 | 0.5 | 1.29 | チャート | 201 | 113下段 | 基部一部欠損 |
| 28 | SK-103 | 凹基 | 2.6 | 1.8 | 0.4 | 0.89 | チャート | 201 | 113下段 | |
| 29 | SK-59 | 凹基 | 2.5 | 1.4 | 0.4 | 1.05 | チャート | 201 | 113下段 | 基部両端欠損 |
| 30 | SK-602 | 凹基 | 2.5 | 1.3 | 0.4 | 1.08 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 31 | SK-305 | 凹基 | 2.2 | 1.8 | 0.5 | 1.38 | チャート | 201 | 114上段 | 未製品、先端・側縁欠損 |
| 32 | SK-305 | 凹基 | 2.4 | 1.6 | 0.4 | 0.94 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 33 | SK-519 | 凹基 | 2.6 | 1.3 | 0.4 | 1.13 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 34 | SK-460 | 凹基 | 3.1 | 1.4 | 0.5 | 1.81 | 流紋岩 | 201 | 115上段 | |
| 35 | SK-625 | 凹基 | 3.9 | 1.5 | 0.7 | 3.36 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | |
| 36 | SK-374 | 凹基 | 3.3 | 1.3 | 0.4 | 1.82 | 珪質頁岩 | 201 | 114上段 | 基部一部欠損 |
| 37 | SK-268 | 凹基 | 2.6 | 1.5 | 0.4 | 0.89 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 38 | SK-327 | 凹基 | 1.9 | 2.3 | 0.5 | 1.18 | 黒曜石 | 201 | 115下段 | 先端欠損、石鎚? |
| 39 | SK-613 | 平基 | 2.6 | 1.7 | 0.6 | 2.29 | チャート | | 114下段 | |
| 40 | SK-158 | 平基 | 2.5 | 1.7 | 0.3 | 1.47 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 41 | SK-305 | 平基 | 2.6 | 2.1 | 0.5 | 3.21 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 42 | SK-139 | 凹基 | 2 | 2.6 | 0.4 | 2.3 | チャート | 201 | 114上段 | 先端欠損 |
| 43 | SI-25 | 円基 | 2.5 | 2.2 | 1 | 4.02 | 流紋岩 | 201 | 113上段 | |
| 44 | SK-605 | 円基 | 2.5 | 2.2 | 0.9 | 5.22 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 45 | SK-56 | 平基 | 3.2 | 2.4 | 1 | 7.3 | 流紋岩質凝灰岩 | 201 | 115上段 | |
| 46 | SK-573 | 円基 | 3.3 | 2.8 | 1 | 7.67 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 47 | SK-380 | 円基 | 3 | 2 | 0.8 | 3.9 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 48 | SK-447 | 円基 | 3 | 2.5 | 1 | 6.64 | チャート | 201 | 113上段 | |
| 49 | SK-102 | 円基 | 2.9 | 2.1 | 1 | 6.99 | チャート | 201 | — | |
| 50 | SK-256 | 円基 | 2.4 | 1.5 | 0.6 | 2.01 | チャート | 201 | 114上段 | |
| 51 | SI-11 | 円基 | 2.3 | 1.3 | 0.6 | 0.68 | 流紋岩質凝灰岩 | 201 | — | 基部一部欠品 |
| 52 | SK-490 | 平基 | 2.3 | 1.1 | 0.4 | 1.13 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 53 | SK-112 | — | 2.8 | 1.7 | 0.8 | 3.18 | チャート | 201 | 113下段 | 未製品 |
| 54 | SI-26 | — | 2.8 | 1.3 | 0.8 | 2.22 | チャート | 201 | 113上段 | 未製品 |
| 55 | SK-305 | — | 2.3 | 1.5 | 0.3 | 1.19 | チャート | 201 | 114上段 | 未製品 |
| 56 | SK-588 | 円基 | 2.4 | 1.3 | 0.4 | 1.3 | チャート | 201 | 114下段 | |
| 57 | SK-447 | 有茎 | 2.1 | 1 | 0.3 | 0.4 | チャート | 201 | 114下段 | |

第8表 石錐観察表

| No. | 出土遺構 | 器種 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|----|-----|-----|-----|------|------|-------|-------|------|
| 1 | SK-493 | 石錐 | 2.6 | 2.2 | 1 | 4.49 | チャート | 202上段 | 116下段 | 先端欠損 |
| 2 | SK-497 | 石錐 | 4.2 | 2 | 1.3 | 7.7 | チャート | 202上段 | 116下段 | 先端欠損 |
| 3 | SK-301 | 石錐 | 2.9 | 1.2 | 0.5 | 1.66 | チャート | 202上段 | 116下段 | |
| 4 | SK-311 | 石錐 | 2 | 0.7 | 0.5 | 1.28 | チャート | 202上段 | — | 両端欠損 |
| 5 | SK-252 | 石錐 | 3 | 1 | 0.7 | 2.38 | 流紋岩 | 202上段 | 116下段 | |
| 6 | SK-87 | 石錐 | 9.1 | 1.6 | 0.6 | 8.03 | 粘板岩 | 202上段 | 116下段 | |
| 7 | SK-275 | 石錐 | 7.5 | 1.4 | 1.1 | 8.15 | 粘板岩 | 202上段 | 116下段 | 基部欠損 |
| 8 | SK-644 | 石錐 | 6.9 | 2.3 | 0.5 | 9.4 | 粘板岩 | 202上段 | 116下段 | |
| 9 | SK-298 | 石錐 | 5 | 0.8 | 0.6 | 3.78 | 粘板岩 | 202上段 | — | 基部欠損 |

第9表 打製石斧観察表

| No. | 出土遺構 | 器種 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|-----|------|-----|-----|------|---------|-------|-------|--|
| 1 | SK-130 | B-1 | 20.7 | 8.1 | 1.2 | 300 | 緑色片岩 | 202図 | 117下段 | |
| 2 | SK-455 | B-1 | 20.9 | 6.1 | 1.1 | 200 | 粘板岩 | 202図 | 118下段 | |
| 3 | SK-184 | B-1 | 16.1 | 4.5 | 2.1 | 200 | ホルンフェルス | 202図 | 117下段 | 自然面を残す |
| 4 | SK-444 | B-1 | 15.3 | 6.4 | 2.1 | 230 | 緑色片岩 | 202図 | 118上段 | |
| 5 | SK-67 | B-1 | 13.9 | 5.1 | 1.3 | 120 | ホルンフェルス | 202図 | 117下段 | 自然面を残す |
| 6 | SK-324 | B-1 | 14.6 | 4.8 | 1.2 | 100 | 緑色片岩 | 202図 | 118下段 | |
| 7 | SK-444 | B-2 | 15.5 | 7.2 | 1.4 | 160 | 緑色片岩 | 202図 | 118上段 | |
| 8 | SK-404 | B-1 | 9.4 | 4.9 | 2.2 | 120 | ホルンフェルス | 202図 | 118上段 | 基部欠損 |
| 9 | SK-48 | B-1 | 13.7 | 5.3 | 2.6 | 220 | ホルンフェルス | 202図 | 117下段 | 側縁敲打整形、未製品 |
| 10 | SK-444 | B-2 | 14.6 | 5 | 2.2 | 130 | ホルンフェルス | 202図 | 118上段 | |
| 11 | SK-564 | B-2 | 12.5 | 5.2 | 1.8 | 130 | 緑色片岩 | 202図 | 118下段 | 被熱、磨滅顯著 |
| 12 | SK-456 | B-1 | 12.4 | 4.4 | 1.5 | 100 | ホルンフェルス | 202図 | 118下段 | 未製品 |
| 13 | SK-610 | B-1 | 10.1 | 4.4 | 1.4 | 85 | 凝灰岩 | 202図 | 119上段 | |
| 14 | SK-579 | A | 11.7 | 5.7 | 3 | 260 | チャート | 202図 | 118下段 | 刃部破損 |
| 15 | SK-644 | A | 13.7 | 6.6 | 2.1 | 200 | 粘板岩 | 202図 | 119上段 | |
| 16 | SK-620 | B | 10 | 5.9 | 1.6 | 100 | ホルンフェルス | 202図 | 119上段 | 基部欠損 |
| 17 | SK-257 | B | 8.3 | 5.9 | 1.9 | 120 | ホルンフェルス | 202図 | 118上段 | 基部欠損 |
| 18 | SK-540 | B | 7.1 | 3.5 | 1.6 | 43 | ホルンフェルス | 202図 | 118下段 | 写真図版 SK-564→SK-540、刃部及び基部欠損 |
| 19 | SK-140 | C | 12.2 | 10 | 2.5 | 440 | 安山岩 | 203図 | 117下段 | 自然面を残す |
| 20 | SK-174 | C | 15 | 9.8 | 1.9 | 340 | 安山岩 | 203図 | 117下段 | 自然面を大きく残す |
| 21 | SK-219 | C | 14.1 | 9.2 | 2.6 | 400 | 砂岩 | 203図 | 118上段 | 自然面を残す |
| 22 | SK-229 | C | 11.4 | 7.3 | 2.9 | 200 | ホルンフェルス | 203図 | 118上段 | |
| 23 | SK-655 | C | 11.1 | 8.4 | 2.2 | 250 | ホルンフェルス | 203図 | 119上段 | 自然面を大きく残す |
| 24 | SK-298 | C | 11.8 | 8.4 | 2.1 | 260 | 安山岩 | 203図 | 118上段 | 自然面を残す |
| 25 | SK-97 | C | 9.1 | 5.7 | 2 | 100 | ホルンフェルス | 203図 | 117下段 | 自然面を残す |
| 26 | SK-397 | C | 8.2 | 5.2 | 1 | 40.1 | 不明 | 203図 | 117上段 | |
| 27 | SK-529 | C | 7.5 | 5.7 | 1.3 | 35.8 | 花崗岩 | 203図 | 117上段 | 左右非対称 |
| 28 | SI-36 | C | 7.4 | 7.9 | 2.1 | 180 | ホルンフェルス | 203図 | 117下段 | 1/2欠損、自然面を残す |
| 29 | SK-236 | C | 7.4 | 6.3 | 2.2 | 110 | 砂岩 | 203図 | 118上段 | 自然面を残す |
| 30 | SK-235 | C | 6.6 | 8.6 | 2.7 | 180 | 安山岩 | 203図 | 118上段 | 1/2欠損、自然面を残す |
| 31 | SK-390 | C | 8 | 5.9 | 2.2 | 110 | ホルンフェルス | 203図 | — | 刃部大きく欠損、自然面を残す |
| 32 | SK-391 | C | 5.7 | 8.7 | 2.4 | 130 | 安山岩 | 203図 | 118上段 | 2/3欠損、自然面を残す |
| 33 | SK-533 | D | 6.5 | 5 | 1.5 | 40.2 | 粘板岩 | 203図 | 117上段 | 小型 |
| 34 | SI-34 | D | 11 | 8.4 | 1.7 | 160 | ホルンフェルス | 203図 | 117下段 | |
| 35 | SK-50 | E | 11.7 | 6.3 | 2.7 | 230 | 砂岩 | 203図 | 117下段 | 一側縁から刃部にかけのみ整形、B類未製品 |
| 36 | SK-564 | E | 10.5 | 4.5 | 1.7 | 84 | ホルンフェルス | 203図 | 118下段 | 側縁未整形、刃部欠損、B類未製品 |
| 37 | SK-316 | E | 10.7 | 5.8 | 2.7 | 180 | ホルンフェルス | 203図 | 118上段 | B類未製品 |
| 38 | SK-564 | E | 9.3 | 4.4 | 1.1 | 30 | 緑色片岩 | 203図 | 118下段 | 写真図版SK-540→SK-564 側縁のみ整形、自然面を大きく残す。B類未製品 |
| 39 | SK-582 | E | 7.8 | 6.7 | 2.9 | 200 | 凝灰岩 | 203図 | 118下段 | D類未成品 |

第10表 磨製石斧観察表

| No. | 出土遺構 | 器種 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|--------|------|------|-----|-----|------|---------|-------|-------|--------------------------------|
| 1 | SK-16 | 小型棒状 | 8.3 | 1.6 | 0.8 | 14.1 | 粘板岩 | 203図 | 120上段 | 断面方形で細長い紡錘状、全体的に研磨が施されている |
| 2 | SK-97 | 小型棒状 | 8 | 2 | 1.3 | 22.2 | 角閃岩? | 203図 | 120上段 | 全体的に研磨が施されている |
| 3 | SK-595 | 小型棒状 | 12.3 | 2 | 1.6 | 43.9 | 粘板岩 | 203図 | 120上段 | 先端は折損後磨滅、全体的に研磨が施されている |
| 4 | SK-672 | 小型棒状 | 9.9 | 1.3 | 1 | 14.4 | 角閃岩? | 203図 | 120上段 | 全体的に丁寧な研磨が施されている |
| 5 | SK-71 | 小型定角 | 8 | 1.9 | 1.5 | 39.7 | 緑色片岩 | 203図 | 120上段 | 基部側面に擦切り痕 |
| 6 | SK-579 | 小型定角 | 8.5 | 2.2 | 0.8 | 24.8 | 安山岩 | 203図 | 120下段 | SK-474の基部と接合 |
| 7 | SK-476 | 小型定角 | 7.4 | 2.9 | 1.6 | 53.2 | 砂岩 | 203図 | 120下段 | 基部及び刃部一部欠損 |
| 8 | SI-25 | 小型定角 | 6.7 | 3.5 | 1.7 | 51 | 緑色片岩 | 203図 | 120下段 | 基部側欠損、側面に擦切り痕、全体的に丁寧な研磨、光沢を帯びる |
| 9 | SK-477 | 小型定角 | 6 | 2 | 1.2 | 20.1 | 角閃岩? | 203図 | 120上段 | 側面に擦切り痕 |
| 10 | SK-477 | 小型定角 | 5.5 | 1.5 | 1.2 | 13.2 | 粘板岩? | 203図 | 120上段 | 全体的に丁寧な研磨が施され、光沢を帯びる |
| 11 | SK-536 | 小型定角 | 2.3 | 2 | 0.7 | 5.5 | 蛇紋岩 | 203図 | 120下段 | 基部破片、丁寧な研磨で光沢を帯びる |
| 12 | SK-640 | 小型定角 | 3.5 | 2 | 0.8 | 8.8 | 玄武岩 | 203図 | 120下段 | 基部側欠損、側面に擦切り痕、全体的に丁寧な研磨、光沢を帯びる |
| 13 | SK-312 | 小型定角 | 6.7 | 2 | 0.9 | 18.5 | 千枚岩 | 203図 | 120下段 | 両側縁に敲打整形痕 |
| 14 | SK-41 | 小型定角 | 3.4 | 2.8 | 1.6 | 15 | 流紋岩? | 203図 | 120下段 | 基部側欠損、側面に擦切り痕、全体的に丁寧な研磨、光沢を帯びる |
| 15 | SI-16 | 小型 | 5.1 | 2.2 | 0.8 | 14.2 | 安山岩 | 203図 | 120下段 | 刃部欠損、基部は丸い |
| 16 | SK-279 | 小型 | 3.5 | 2.7 | 1.4 | 20.9 | 蛇紋岩? | 203図 | 120下段 | 基部側欠損、丁寧な研磨、刃部は光沢を帯びる |
| 17 | SK-60 | 小型 | 4.7 | 1.2 | 1 | 8.1 | 蛇紋岩 | 203図 | 120下段 | 基部欠損 |
| 18 | SK-656 | 小型 | 4 | 2.6 | 1 | 13.8 | 粘板岩 | 203図 | 120下段 | 刃部破片 |
| 19 | SK-694 | 小型 | 4.5 | 2.8 | 1.1 | 23.8 | 蛇紋岩? | 203図 | 120下段 | 片面に擦切りのための溝あり |
| 20 | SK-225 | 小型 | 5.4 | 2.6 | 1.2 | 22.1 | 安山岩 | 204図 | 120下段 | 刃部側欠損 |
| 21 | SK-640 | 小型棒状 | 6.1 | 1.8 | 1 | 8.2 | 角閃片岩 | 204図 | 120下段 | 破片、全体的に丁寧な研磨 |
| 22 | SI-9 | 定角 | 12.7 | 4.8 | 2.2 | 260 | 安山岩 | 204図 | 121上段 | 刃部磨滅 |
| 23 | SI-14 | 定角 | 6.6 | 4.2 | 2 | 100 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 基部側欠損 |
| 24 | SI-28 | 定角 | 3.7 | 3.9 | 2.9 | 70 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 基部のみ遺存、SK-74No.33と同一個体の可能性 |
| 25 | SI-27 | 定角 | 12 | 4.4 | 3.1 | 300 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 刃部欠損、P1出土 |
| 26 | SK-61 | 定角 | 12 | 5.8 | 3.3 | 400 | 角閃岩 | 204図 | 121上段 | 基部側欠損 |
| 27 | SK-74 | 定角 | 12.5 | 4.3 | 2.9 | 300 | 緑色凝灰岩 | 204図 | 121上段 | 基部及び刃部敲打欠損 |
| 28 | SK-45 | | 12.4 | 3.8 | 2 | 120 | 蛇紋岩 | 204図 | 121上段 | 刃部は丸く鈍い。中央で二つに折れ、剥落顯著 |
| 29 | SK-24 | | 8.4 | 5 | 2.8 | 150 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 基部側欠損。刃部は丸い。火熱により赤化、剥離 |
| 30 | SK-6 | 定角 | 7.5 | 3.2 | 2.2 | 100 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 刃部側欠損 |
| 31 | SK-74 | 定角 | 7 | 4.6 | 3.4 | 210 | 安山岩 | 204図 | 121上段 | 基部側遺存、敲打整形痕 |
| 32 | SK-74 | 定角 | 6.7 | 4.8 | 1.5 | 70 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 刃部遺存、SK-28No.25と同一個体の可能性 |
| 33 | SK-85 | 定角 | 5.2 | 4.5 | 2.6 | 80 | 安山岩 | 204図 | 121上段 | 基部のみ遺存 |
| 34 | SK-107 | | 6 | 6 | 2.6 | 160 | 砂岩 | 204図 | 121上段 | 基部のみ遺存、側面敲打整形痕、裏面節理痕 |
| 35 | SK-297 | 定角 | 9.2 | 5 | 3.6 | 240 | 緑色凝灰岩 | 204図 | 121下段 | 基部側及び刃部欠損、敲打整形痕残 |
| 36 | SK-193 | 定角 | 6.9 | 4.7 | 3 | 140 | 閃綠岩 | 204図 | 121上段 | 基部側欠損、刃部使用痕 |
| 37 | SK-200 | 定角 | 9.3 | 5 | 3.5 | 300 | 砂岩 | 204図 | 121下段 | 刃部欠損 |
| 38 | SK-305 | 定角 | 8.8 | 4.7 | 2.8 | 180 | 安山岩 | 204図 | 121下段 | 基部欠損、欠損部整形 |
| 39 | SK-312 | 定角 | 9 | 4.9 | 3.6 | 210 | 緑泥片岩 | 204図 | 121下段 | 基部側欠損、刃部使用痕、刃こぼれ |
| 40 | SK-314 | 定角 | 8.7 | 4.6 | 3.3 | 280 | 輝綠凝灰岩 | 204図 | 121下段 | 刃部側欠損 |
| 41 | SK-298 | 未製品 | 13.6 | 6.4 | 4 | 540 | 砂岩 | 204図 | 121下段 | 敲打及び剥離整形痕、裏面自然面残、未製品 |
| 42 | SK-314 | 未製品 | 11.7 | 6.6 | 4.1 | 510 | 石英閃綠岩 | 204図 | 121下段 | 刃部及び基部欠損、被熱、側縁敲打痕残 |
| 43 | SK-341 | 未製品 | 11.6 | 5.7 | 2.7 | 340 | 蛇紋岩 | 204図 | 121下段 | 側縁打ち欠き後、敲打整形 |
| 44 | SK-347 | 素材 | 15.4 | 5 | 3.8 | 460 | ホルンフェルス | 204図 | 121下段 | 基部欠損 |
| 45 | SK-392 | 素材 | 15.8 | 6 | 3.6 | 440 | 砂岩 | 204図 | 122上段 | 全体的に敲打痕、一側縁のみ研磨 |
| 46 | SK-380 | 素材 | 12.5 | 7.1 | 4.1 | 610 | 石英閃綠岩 | 204図 | 121下段 | 側縁敲打整形、刃部欠損 |
| 47 | SK-380 | 未製品 | 12.2 | 5.5 | 3.6 | 440 | 安山岩 | 204図 | 121下段 | 刃部側欠損、側縁敲打整形 |
| 48 | SK-391 | 定角 | 13.2 | 4.8 | 3.2 | 390 | 砂岩 | 204図 | 122上段 | 刃部欠損、丁寧な研磨で光沢を帯びる |
| 49 | SK-389 | 定角 | 10.1 | 4.2 | 1.5 | 80 | 砂岩 | 204図 | 122上段 | 刃部は敲打痕剥離後磨滅、基部は丸く仕上げる |
| 50 | SK-444 | 定角 | 11.2 | 4.2 | 2.5 | 280 | 緑色片岩 | 204図 | 122上段 | 刃部欠損、基部剥落数か所 |
| 51 | SK-452 | 定角 | 9.5 | 4.8 | 3.6 | 270 | 安山岩 | 204図 | 122上段 | 刃部側欠損、側縁は敲打整形と研磨 |

| | | | | | | | | | | |
|----|--------|-----|------|-----|-----|-----|---------|------|-------|----------------------------|
| 52 | SK-325 | 定角 | 7.2 | 4.3 | 2.5 | 140 | 緑色片岩 | 204図 | 121下段 | 刃部側欠損。基部先端敲打痕 |
| 53 | SK-412 | 定角 | 7.4 | 3.8 | 1.8 | 70 | 花崗岩 | 204図 | 122上段 | 刃部側欠損。基部は丸く仕上げる |
| 54 | SK-408 | 定角 | 6.4 | 5.5 | 2.4 | 100 | 砂岩 | 204図 | 122上段 | 刃部のみ遺存、丁寧な研磨で光沢を帯びる |
| 55 | SK-420 | 定角 | 9.4 | 4.3 | 3 | 205 | 砂岩 | 204図 | 122上段 | 刃部側欠損、被熱 |
| 56 | SK-441 | 定角 | 7 | 6.4 | 2 | 180 | 安山岩 | 204図 | 122上段 | 刃部側遺存、側縁は片側のみ敲打整形、好打整形刃部鈍い |
| 57 | SK-434 | 定角 | 7.3 | 5.7 | 2.4 | 180 | 緑泥片岩 | 204図 | 122上段 | 基部側欠損、全体的に丁寧な研磨で光沢を帯びる |
| 58 | SK-427 | 未製品 | 11.2 | 6.2 | 3.4 | 440 | 安山岩 | 205図 | 122上段 | 側縁敲打整形、基部側折損後敲打整形 |
| 59 | SK-433 | 定角 | 13.7 | 4.9 | 1.6 | 160 | 緑色片岩 | 205図 | 118下段 | 基部及び側縁未整形 |
| 60 | SK-454 | 定格式 | 13 | 4.6 | 2.4 | 230 | 輝石安山岩 | 205図 | 122上段 | 刃部側で折損接合、先端部刃こぼれ |
| 61 | SK-454 | 定角 | 11.2 | 4.5 | 3 | 240 | 凝灰岩 | 205図 | 122下段 | 刃部破損、側縁敲打痕、表裏にも2個1対の敲打凹痕 |
| 62 | SK-456 | 定角 | 9.7 | 4.8 | 2.9 | 200 | 蛇紋岩 | 205図 | 122下段 | 基部側欠損 |
| 63 | SK-477 | 定角 | 10.3 | 4.3 | 3.2 | 220 | 安山岩 | 205図 | 122下段 | 刃部欠損後整形 |
| 64 | SK-440 | 未製品 | 13 | 7.8 | 5 | 820 | 緑色片岩 | 205図 | 122上段 | 基部側欠損、敲打整形、刃部片面のみ研磨 |
| 65 | SK-469 | 定角 | 11.5 | 7 | 4.2 | 540 | 閃緑岩 | 205図 | 122下段 | 基部側欠損、敲打整形、刃部は鈍い |
| 66 | SK-591 | 未製品 | 12.8 | 5.6 | 3.3 | 400 | ホルンフェルス | 205図 | 123上段 | 基部欠損、全体的に敲打整形、刃部は鈍い |
| 67 | SK-493 | 定角 | 14.7 | 5.1 | 3.1 | 380 | 緑色片岩 | 205図 | 122下段 | 完存、全体的に敲打整形残 |
| 68 | SK-668 | 定角 | 13.4 | 5.1 | 2.8 | 302 | 花崗岩 | 205図 | 123上段 | 刃部欠損、丁寧な研磨整形 |
| 69 | SK-460 | 定角 | 7.7 | 4.9 | 2.3 | 160 | 花崗岩 | 205図 | 122下段 | 基部側欠損 |
| 70 | SK-460 | 定角 | 8 | 4.8 | 2.3 | 150 | 安山岩 | 205図 | 122下段 | 刃部側欠損後、一部研磨整形 |
| 71 | SK-477 | 定角 | 10 | 3.1 | 1.3 | 64 | 安山岩 | 205図 | 122下段 | 完存 |
| 72 | SK-481 | 定角 | 8.5 | 7.3 | 2.2 | 170 | ホルンフェルス | 205図 | 122下段 | 基部側欠損、前面丁寧な研磨整形 |
| 73 | SK-477 | 定角 | 8.8 | 4.3 | 1.8 | 50 | 安山岩 | 205図 | 122下段 | 完存 |
| 74 | SK-591 | 未製品 | 8.8 | 5.9 | 4.4 | 390 | 緑色片岩 | 205図 | 123上段 | 刃部側欠損 |
| 75 | SK-481 | 定角 | 10.5 | 4.5 | 2.9 | 220 | 緑色凝灰岩 | 205図 | 122下段 | 完存、側縁敲打整形残 |
| 76 | SK-514 | 定角 | 9.8 | 3.6 | 2.9 | 200 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 刃部側欠損 |
| 77 | SK-667 | 定角 | 12.1 | 4.3 | 3.2 | 280 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 完存、刃部磨滅 |
| 78 | B区1-4 | 定角 | 12.2 | 4.6 | 2.9 | 300 | 砂岩 | 205図 | — | 刃部欠損。丁寧な研磨整形 |
| 79 | B区3-8 | 定角 | 13.2 | 4.1 | 2.4 | 210 | 安山岩 | 205図 | — | 完存、側縁敲打整形痕。 |
| 80 | B区7-6 | 定角 | 11.3 | 4.2 | 1.6 | 110 | 凝灰岩 | 205図 | — | 裏節理面残、側縁敲打整形 |
| 81 | SK-477 | 素材 | 6.5 | 3.2 | 1.2 | 42 | 安山岩 | 205図 | 122下段 | 刃部破損、被熱ひび割れ |
| 82 | SK-667 | 素材 | 7.3 | 3.5 | 1.5 | 70 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 全体的に丁寧な研磨 |
| 83 | SK-606 | 定角 | 8 | 6.4 | 3 | 280 | 安山岩 | 205図 | 123上段 | 基部側欠損。刃部刃こぼれ |
| 84 | SK-673 | 定角 | 8.8 | 5.4 | 2.9 | 210 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 刃部側欠損 |
| 85 | B区1-7 | 未製品 | 7.7 | 5.1 | 3.6 | 260 | 砂岩 | 205図 | — | 刃部側欠損、表面中央以外敲打整形 |
| 86 | 表採 | 定角 | 9.7 | 4.7 | 2.7 | 240 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 刃部側欠損、丁寧な研磨整形 |
| 87 | B区3-12 | 定角 | 9.6 | 5.2 | 3 | 230 | 砂岩 | 205図 | — | 基部側欠損、全体的に敲打整形 |
| 88 | B区2-8 | 未製品 | 8.5 | 6.4 | 3.1 | 300 | 石英閃緑岩 | 205図 | — | 基部側欠損、側縁剥離後敲打整形 |
| 89 | B区3-11 | 定角 | 7.1 | 5.3 | 2.8 | 180 | 砂岩 | 205図 | — | 基部側欠損、僅かに刃こぼれあり |
| 90 | SK-591 | 定角 | 7.7 | 4.5 | 2 | 140 | 砂岩 | 205図 | 123上段 | 刃部刃こぼれ、基部折損後整形、砥石転用 |

第11表 磨石・凹石観察表

| No. | 出土遺構 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|-------|-------------------------|
| 1 | SI-8 | 13.2 | 8.1 | 3 | 610 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表面中央敲打痕、表裏面磨痕 |
| 2 | SI-11 | 15.7 | 7.6 | 4.1 | 920 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面敲打痕、表裏側縁磨痕 |
| 3 | SI-16 | 13 | 8.6 | 3.8 | 680 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面2個の凹、表裏面磨痕、両端敲打痕 |
| 4 | SI-26 | 10.7 | 9.3 | 3.7 | 540 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 半壊品、表裏面敲打痕、表裏面磨痕 |
| 5 | SI-27 | 13.7 | 9.8 | 3.5 | 760 | 凝灰岩 | 206図 | 123下段 | 表面中央2個凹、裏面敲打痕、側縁敲打痕 |
| 6 | SI-27 | 15.4 | 8.5 | 3.6 | 970 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面磨痕、打ち欠き後先端敲打痕 |
| 7 | SK-6 | 11.7 | 5 | 3.4 | 320 | 砂岩 | 206図 | 123下段 | 全体的に磨痕、裏面中央軽い敲打痕 |
| 8 | SK-7 | 9.3 | 8.9 | 5 | 590 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面磨痕 |
| 9 | SK-8 | 11.8 | 6.8 | 3.6 | 480 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面2個浅い凹、全体的に磨痕 |
| 10 | SK-7 | 17 | 9.4 | 4.7 | 950 | 安山岩 | 206図 | 123下段 | 表裏面磨痕、周縁敲打痕、打ち欠き後先端敲打痕 |
| 11 | SK-8 | 11.2 | 8 | 4.4 | 460 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 半壊品、全体的に磨痕、表裏面中央に軽い敲打痕 |
| 12 | SK-25 | 12.1 | 9.3 | 4.6 | 700 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 全体的に磨痕、被熱 |
| 13 | SK-33 | 11.6 | 8.5 | 4.1 | 600 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 全体的に磨痕、表裏面中央に軽い敲打痕、被熱 |
| 14 | SK-35 | 14.9 | 8.9 | 4.2 | 860 | 花崗岩 | 206図 | 124上段 | 表裏面磨痕、中央に2・3の凹、側縁敲打痕 |
| 15 | SK-59 | 15.4 | 6.4 | 4.2 | 580 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 半壊品、全体的に磨痕、表裏面に軽い敲打痕 |
| 16 | SK-61 | 13.7 | 9.1 | 4.9 | 900 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、端部敲打痕、被熱 |
| 17 | SK-61 | 14.9 | 9.5 | 4 | 840 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 全体的に磨痕、側縁敲打痕 |
| 18 | SK-71 | 13.4 | 9.1 | 4.6 | 800 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 表裏面磨痕、中央に2個の軽い凹、被熱 |
| 19 | SK-72 | 14.2 | 11.3 | 5.8 | 1240 | 凝灰岩 | 206図 | 124下段 | 表裏面磨痕、中央に2個の軽い凹、端部敲打痕 |

| | | | | | | | | | |
|----|--------|------|------|-----|------|-------|------|-------|------------------------------|
| 20 | SK-74 | 14.2 | 8.2 | 4 | 760 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、端部欠損後敲打 |
| 21 | SK-75 | 18.6 | 10.6 | 4.5 | 1300 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 表裏面磨痕、被熱 |
| 22 | SK-77 | 12.5 | 5.6 | 3.7 | 420 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 全体的に磨痕 |
| 23 | SK-79 | 13.7 | 9.9 | 6.1 | 1000 | 砂岩 | 206図 | 124下段 | 約1/4欠損。表裏中央敲打痕 |
| 24 | SK-93 | 12.7 | 8.9 | 4.6 | 810 | 安山岩 | 206図 | 125上段 | 表裏面磨痕、表面2個浅い凹、裏面中央及び側縁軽い敲打痕 |
| 25 | SK-99 | 13.4 | 9.9 | 4.6 | 950 | 安山岩 | 206図 | 125上段 | 表裏側面磨痕、中央軽い敲打痕、端部敲打痕、被熱 |
| 26 | SK-91 | 12.4 | 5 | 3 | 340 | 砂岩 | 206図 | 125上段 | 半壊品、端部欠損、表裏面磨痕 |
| 27 | SK-36 | 10.5 | 6.7 | 3.8 | 400 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、被熱 |
| 28 | SK-48 | 8.2 | 7 | 2.5 | 240 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 表裏側面磨痕、表裏中央に凹 |
| 29 | SK-55 | 10 | 8.3 | 5.4 | 350 | 砂岩 | 206図 | 124上段 | 表裏面中央に凹 |
| 30 | SK-61 | 6.4 | 8.2 | 4.1 | 270 | 安山岩 | 206図 | 124上段 | 半壊品、全体的に磨痕、表裏面中央に軽い敲打痕、被熱 |
| 31 | SK-70 | 9.9 | 6.7 | 3 | 350 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 半壊品、表裏面磨痕、2個浅い凹、端部端部敲打痕 |
| 32 | SK-70 | 10.6 | 7.8 | 4.5 | 580 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 表裏面磨痕、中央に2個の凹、周縁敲打痕 |
| 33 | SK-85 | 15 | 5.4 | 2.7 | 390 | 安山岩 | 206図 | 124下段 | 全体的に磨痕 |
| 34 | SK-93 | 15.9 | 10.1 | 4.7 | 1140 | 砂岩 | 207図 | 125上段 | 表裏面磨痕、表面2個凹、裏面中央敲打痕 |
| 35 | SK-102 | 11.1 | 7.8 | 4 | 490 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 約1/3欠損、表裏面磨痕、表面中央敲打痕 |
| 36 | SK-102 | 10 | 7.6 | 4.7 | 550 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 表裏面磨痕、中央敲打痕、両端部敲打痕 |
| 37 | SK-110 | 10.9 | 5.8 | 4.2 | 380 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 全体的に磨痕、表裏中央に敲打痕 |
| 38 | SK-110 | 11.6 | 7.6 | 4.1 | 520 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 全体的に磨痕、表裏中央に2個の浅い凹 |
| 39 | SK-111 | 14.5 | 7.5 | 4.8 | 820 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 全体的に磨痕、表裏中央に2個の浅い凹、側縁敲打痕、被熱 |
| 40 | SK-117 | 11.8 | 9.3 | 6.1 | 990 | 安山岩 | 207図 | 125上段 | 全体的に磨痕、表裏中央に軽い敲打痕 |
| 41 | SK-132 | 8.2 | 9.6 | 3.7 | 480 | 安山岩 | 207図 | 125下段 | 半壊品、表裏面磨痕及び敲打痕、先端敲打痕、被熱 |
| 42 | SK-131 | 11.4 | 8 | 3.5 | 400 | 砂岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕 |
| 43 | SK-132 | 9.5 | 7.4 | 3.5 | 400 | 安山岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、中央に1個凹、側縁及び両端敲打痕 |
| 44 | SK-133 | 10.5 | 7 | 4.4 | 450 | 砂岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、中央に表浅い2個凹と裏軽い敲打痕 |
| 45 | SK-133 | 13.4 | 9 | 4.2 | 720 | 安山岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、周縁軽い敲打痕、被熱 |
| 46 | SK-135 | 11.1 | 8.6 | 3.5 | 520 | 安山岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、表面中央に軽い2個凹、端部敲打痕 |
| 47 | SK-147 | 9.7 | 6.5 | 2.5 | 230 | 安山岩 | 207図 | 125下段 | 全体的に磨痕 |
| 48 | SK-160 | 13.6 | 8.5 | 3.9 | 660 | 砂岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、端部敲打痕、被熱 |
| 49 | SK-161 | 13.1 | 9.1 | 4.6 | 610 | 砂岩 | 207図 | 125下段 | 欠損品、表裏面磨痕、中央に1個凹、側縁敲打痕、被熱 |
| 50 | SK-166 | 13.7 | 9 | 3.8 | 750 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、中央に凹、側縁及び両端敲打痕 |
| 51 | SK-231 | 14 | 10.5 | 3.8 | 812 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、中央に軽い凹、側縁敲打痕 |
| 52 | SK-188 | 12.5 | 9.2 | 5.2 | 790 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 一部欠損、表裏面磨痕、中央に2個凹、周縁敲打痕 |
| 53 | SK-188 | 15.5 | 9.4 | 3.5 | 850 | 凝灰岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、端部敲打痕 |
| 54 | SK-204 | 13.3 | 7.6 | 3.6 | 480 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、中央に2~3個凹、側縁敲打痕 |
| 55 | SK-231 | 13.1 | 8.3 | 4.3 | 750 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕 |
| 56 | SK-238 | 15.2 | 9.7 | 5.3 | 1190 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 57 | SK-237 | 17 | 9.5 | 3.7 | 980 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕 |
| 58 | SK-237 | 12.9 | 8.5 | 4.6 | 660 | 安山岩 | 207図 | 126上段 | 全体的に磨痕、表面中央軽い敲打痕、裏面2力所剥落 |
| 59 | SK-261 | 17.5 | 12.9 | 4.8 | 1460 | 安山岩 | 207図 | 126下段 | 表裏面磨痕、先端敲打痕 |
| 60 | SK-160 | 7.9 | 7.3 | 4 | 300 | 砂岩 | 207図 | 125下段 | 表裏面磨痕、中央に敲打痕 |
| 61 | SK-193 | 8.5 | 8.7 | 3 | 360 | 砂岩 | 207図 | 126上段 | 表裏面磨痕、被熱 |
| 62 | SK-246 | 9.8 | 4.8 | 4.3 | 240 | 砂岩 | 207図 | 126下段 | 全体的に磨痕 |
| 63 | SK-246 | 8.9 | 8.6 | 4 | 400 | 安山岩 | 207図 | 126下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、被熱、赤色顔料付着 |
| 64 | SK-261 | 11.7 | 8.5 | 3.2 | 450 | 安山岩 | 207図 | 126下段 | 表裏中央2個軽い凹、表裏面磨痕 |
| 65 | SK-261 | 11.1 | 8.5 | 4.2 | 590 | 安山岩 | 207図 | 126下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側体部敲打痕 |
| 66 | SK-279 | 10.5 | 7.7 | 4.7 | 540 | 石英閃綠岩 | 207図 | 126下段 | 表裏面磨痕、中央軽い敲打痕、被熱 |
| 67 | SK-262 | 15 | 10.5 | 4 | 880 | 安山岩 | 208図 | 126下段 | 表中央2個凹、裏中央軽い敲打痕、表裏面磨痕、被熱 |
| 68 | SK-272 | 11.9 | 8.5 | 4.7 | 680 | 安山岩 | 208図 | 126下段 | 表裏側面磨痕、中央に2個凹 |
| 69 | SK-272 | 10 | 8.3 | 4.3 | 680 | 安山岩 | 208図 | 126下段 | 半壊品、表平坦面敲打・研磨・赤色顔料痕 |
| 70 | SK-279 | 12 | 8.6 | 3.5 | 590 | 安山岩 | 208図 | 126下段 | 表裏面2個凹、表裏側面磨痕、両端敲打痕、被熱 |
| 71 | SK-282 | 11.5 | 10.2 | 3.7 | 700 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、表面中央軽い敲打痕 |
| 72 | SK-282 | 11 | 9.5 | 4 | 580 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、表面中央軽い敲打痕 |
| 73 | SK-282 | 12.9 | 8.6 | 3.5 | 590 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕 |
| 74 | SK-282 | 7.3 | 8.8 | 3.5 | 360 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 半壊品、表裏面磨痕、表面中央に2個凹、裏面中央軽い敲打痕 |
| 75 | SK-284 | 8.2 | 9.5 | 3.3 | 480 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 半壊品、表裏面磨痕 |
| 76 | SK-312 | 11.7 | 9.4 | 4.7 | 670 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、裏面中央軽い敲打痕 |
| 77 | SK-312 | 15.8 | 11 | 4.9 | 1160 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕 |
| 78 | SK-312 | 12 | 9.1 | 4 | 650 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 79 | SK-312 | 13.9 | 8.2 | 4.5 | 680 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕及び磨痕 |
| 80 | SK-312 | 10.5 | 7.1 | 4 | 380 | 安山岩 | 208図 | 127上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 81 | SK-314 | 9.5 | 9.3 | 4.3 | 540 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に凹、側縁に敲打痕 |
| 82 | SK-329 | 11.3 | 8.9 | 4.2 | 560 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、側縁に敲打痕 |
| 83 | SK-351 | 10.5 | 8.6 | 4.4 | 600 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁に敲打痕、被熱 |

| | | | | | | | | | |
|-----|--------|------|------|-----|------|-----|------|-------|-----------------------------|
| 84 | SK-342 | 10 | 8.6 | 4.6 | 540 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 85 | SK-331 | 15.6 | 8.4 | 4.7 | 1600 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、端部敲打痕、被熱 |
| 86 | SK-345 | 9.7 | 9.2 | 3.8 | 480 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に凹。側縁に敲打痕 |
| 87 | SK-345 | 16.5 | 8.8 | 5.2 | 1300 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、表面中央に凹、端部敲打後研磨 |
| 88 | SK-351 | 15.2 | 10.9 | 4.1 | 1060 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、表面中央に軽い敲打痕、側縁敲打痕 |
| 89 | SK-329 | 14.3 | 7.6 | 4.2 | 660 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕。裏面端部剥落あり、被熱 |
| 90 | SK-364 | 13 | 10.3 | 4.5 | 740 | 安山岩 | 208図 | 127下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁に敲打痕 |
| 91 | SK-427 | 11.7 | 7.8 | 3.7 | 440 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に3個凹、側面敲打後研磨 |
| 92 | SK-348 | 15 | 11.3 | 5.8 | 1500 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 93 | SK-378 | 15.4 | 11 | 2.8 | 720 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に敲打痕 |
| 94 | SK-380 | 12.2 | 7.9 | 3.7 | 500 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に2・3個凹、側縁軽い敲打痕 |
| 95 | SK-392 | 9 | 6.9 | 3.8 | 390 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に2個の浅い凹 |
| 96 | SK-392 | 9.6 | 8.1 | 4.1 | 480 | 安山岩 | 208図 | 128上段 | 表裏面磨痕、中央に2個の浅い凹 |
| 97 | SK-414 | 9.9 | 9 | 4.4 | 550 | 安山岩 | 209図 | 128上段 | 表裏面磨痕、被熱、裏面数か所剥落 |
| 98 | SK-378 | 9.8 | 8.2 | 4.4 | 590 | 安山岩 | 209図 | 128上段 | 表裏側面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 99 | SK-427 | 10.6 | 9.1 | 4.1 | 530 | 安山岩 | 209図 | 128上段 | 1/3破損、表裏面磨痕及び軽い敲打痕、側面磨痕 |
| 100 | SK-420 | 9.1 | 9.1 | 4.3 | 480 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏側面磨痕、中央に凹、側縁敲打痕、被熱 |
| 101 | SK-420 | 17.3 | 9.8 | 3.9 | 750 | 安山岩 | 209図 | 128上段 | 表裏側面磨痕、裏面中央軽い敲打痕 |
| 102 | SK-441 | 11.9 | 10.5 | 4.3 | 740 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏側面磨痕、中央に2個凹 |
| 103 | SK-440 | 17.8 | 9.9 | 3.5 | 1100 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 一部欠損、表裏面磨痕、表面中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 104 | SK-440 | 11.5 | 7.5 | 5.2 | 730 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏側面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 105 | SK-446 | 12.5 | 8.5 | 3.8 | 740 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、両端敲打痕、被熱 |
| 106 | SK-450 | 10.4 | 8 | 4.7 | 580 | 砂岩 | 209図 | 128下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、周縁敲打痕 |
| 107 | SK-466 | 10.6 | 9.6 | 3 | 340 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏面磨痕、表面中央に2個凹、裏面中央軽い敲打痕 |
| 108 | SK-470 | 10.2 | 8.9 | 4 | 520 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏面磨痕、表面中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 109 | SK-481 | 9 | 8.8 | 3.8 | 440 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 半壊品、表裏面磨痕、表面中央に軽い敲打痕、被熱 |
| 110 | SK-480 | 11.9 | 9.6 | 3.9 | 700 | 安山岩 | 209図 | 128下段 | 表裏側面磨痕、中央に2個凹、端部敲打痕 |
| 111 | SK-481 | 13.7 | 9.1 | 4.8 | 810 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に凹、被熱 |
| 112 | SK-551 | 10.7 | 9.9 | 5.8 | 730 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 113 | SK-553 | 10.3 | 9.8 | 3.4 | 520 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 114 | SK-581 | 12.2 | 6.5 | 2.8 | 360 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕、被熱 |
| 115 | SK-570 | 15.8 | 6.8 | 5.2 | 840 | 砂岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、両端敲打痕 |
| 116 | SK-578 | 13.5 | 9.9 | 4.7 | 860 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、両端敲打痕。被熱 |
| 117 | SK-570 | 10.7 | 9.7 | 4.9 | 600 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、表面中央に2個凹、裏面中央軽い敲打痕、被熱 |
| 118 | SK-559 | 13.8 | 8.8 | 3.3 | 660 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁敲打痕 |
| 119 | SK-596 | 14.1 | 9.5 | 5.3 | 840 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 120 | SK-615 | 16.1 | 10.6 | 4 | 1180 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、表面はわずかに凹面 |
| 121 | SK-581 | 13.9 | 5 | 3.4 | 360 | 砂岩 | 209図 | 129上段 | 全体的に磨痕、裏面中央軽い敲打痕 |
| 122 | SK-591 | 11.9 | 9.9 | 3 | 520 | 安山岩 | 209図 | 129上段 | 表裏面磨痕、中央に2凹、側縁・端部敲打痕 |
| 123 | SK-605 | 11.3 | 7.7 | 3.2 | 430 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、両端敲打痕、被熱 |
| 124 | SK-621 | 11.4 | 8.1 | 3.9 | 540 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、中央に2・3個凹、側縁・端部敲打痕 |
| 125 | SK-625 | 9.4 | 8.4 | 4 | 400 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、表面中央に軽い敲打痕 |
| 126 | SK-621 | 10.2 | 8.6 | 5.3 | 680 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 127 | SK-621 | 12.5 | 7.8 | 4.2 | 630 | 安山岩 | 209図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 128 | SK-610 | 10.9 | 8.8 | 5 | 700 | 安山岩 | 210図 | 129下段 | 表裏側面磨痕、中央に浅い凹、被熱 |
| 129 | SK-615 | 8.8 | 7.3 | 3.6 | 300 | 凝灰岩 | 210図 | 129下段 | 表裏面磨痕、中央に凹、側縁敲打痕 |
| 130 | SK-635 | 14.2 | 8.2 | 4 | 530 | 安山岩 | 210図 | 129下段 | 表裏面磨痕、中央に2凹、両端部敲打痕 |
| 131 | SK-476 | 8.6 | 6.9 | 1.8 | 190 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕 |
| 132 | SK-635 | 7.7 | 7 | 2.3 | 180 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕 |
| 133 | SK-667 | 8 | 6.8 | 2.7 | 180 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 134 | SK-678 | 11.8 | 7.2 | 2 | 190 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕、被熱 |
| 135 | SK-686 | 12.8 | 5.5 | 2.3 | 260 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨。 |
| 136 | SK-673 | 11 | 5.7 | 3.5 | 300 | 安山岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 137 | SK-378 | 9.8 | 9.3 | 3.4 | 480 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 一部破損、表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、被熱 |
| 138 | SK-670 | 12 | 6.4 | 4.1 | 508 | 花崗岩 | 210図 | 130上段 | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 139 | SK-480 | 11.7 | 7.8 | 4 | 480 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏側面磨痕、中央に1・2個の凹 |
| 140 | SK-316 | 14.9 | 8 | 4.4 | 810 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕、裏面はわずかに凹面 |
| 141 | SK-309 | 14 | 8.8 | 3.5 | 580 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹、側縁及び端部に敲打痕 |
| 142 | SK-131 | 11.9 | 8 | 3.2 | 580 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕、中央に2個の浅い凹、被熱 |
| 143 | SK-651 | 14.3 | 9.3 | 5.1 | 1050 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 144 | SK-678 | 17.8 | 9.6 | 4.4 | 1140 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕。 |
| 145 | SK-684 | 13.8 | 11 | 5.4 | 950 | 砂岩 | 210図 | 130下段 | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 146 | SK-688 | 13 | 10.8 | 2.3 | 480 | 安山岩 | 210図 | 130下段 | 表裏側面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 147 | SK-160 | 11.1 | 8.6 | 4.9 | 630 | 安山岩 | 210図 | 一 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 148 | SK-482 | 8.7 | 7.4 | 3.5 | 310 | 安山岩 | 210図 | 一 | 表裏面磨痕 |

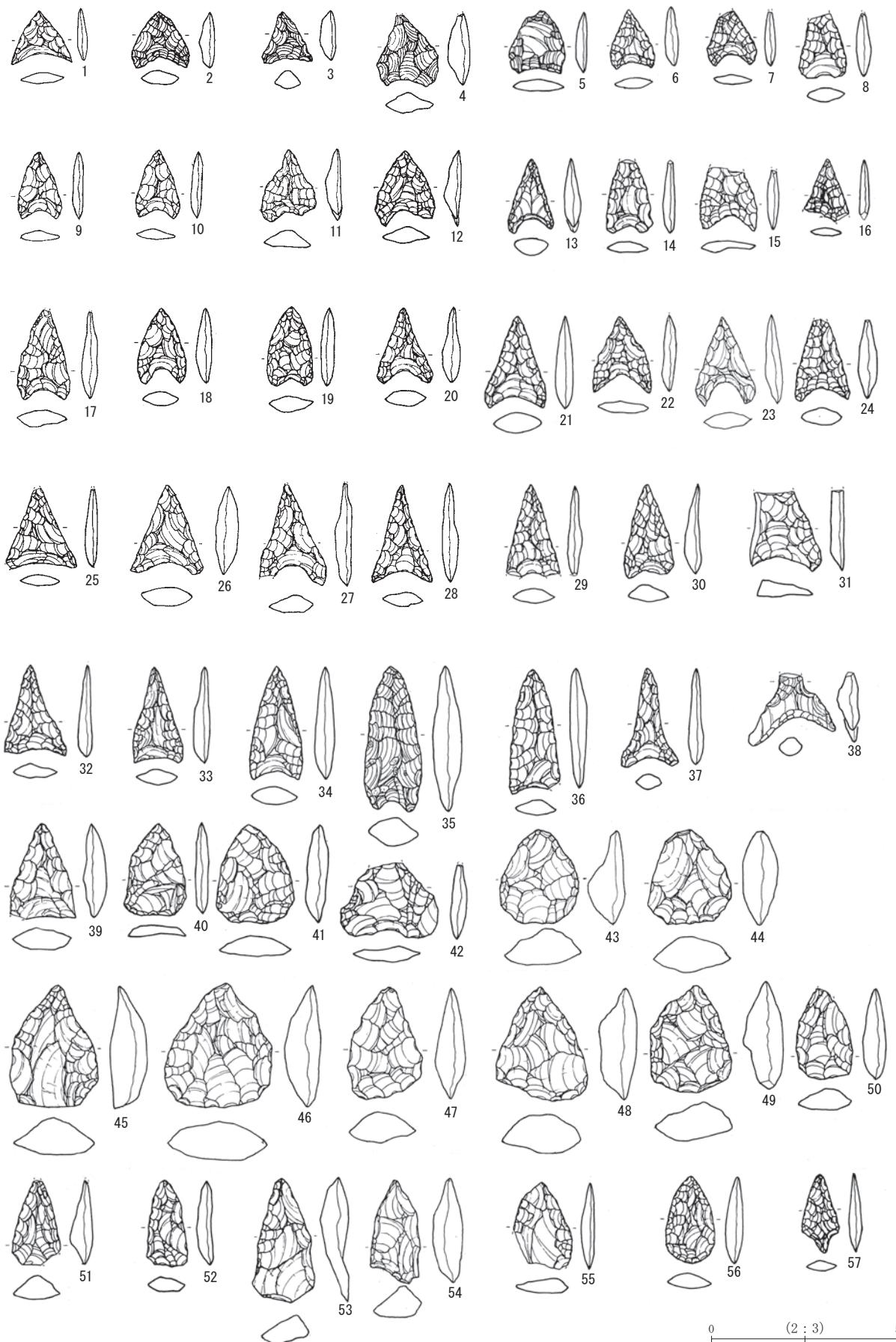
| | | | | | | | | | |
|-----|--------|------|-----|-----|-----|-----|------|-------|--------------------------|
| 149 | B区3-8 | 9.4 | 7.1 | 2.6 | 290 | 凝灰岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、側縁敲打痕 |
| 150 | B区3-10 | 10.9 | 8.8 | 4.3 | 500 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 151 | B区3-11 | 11.3 | 9.3 | 4.1 | 600 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に2個凹、両端敲打痕 |
| 152 | B区4-7 | 11.1 | 8.3 | 4.4 | 560 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に凹 |
| 153 | B区4-10 | 9 | 7.4 | 4.1 | 400 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕 |
| 154 | B区7-6 | 11 | 8.5 | 4.3 | 520 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 155 | B区8-6 | 10.1 | 8.6 | 5.3 | 570 | 安山岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕、中央に2個凹 |
| 156 | B区9-6 | 10.6 | 7.5 | 3.8 | 400 | 安山岩 | 210図 | — | 半壊品、表裏面磨痕、表面1個、裏面2個の凹、被熱 |
| 157 | SK-466 | 8.9 | 9.5 | 4.7 | 546 | 流紋岩 | 210図 | 133下段 | 表裏面磨痕、中央に軽い敲打痕、側縁一部敲打痕 |
| 158 | B区4-10 | 6.9 | 6.1 | 3.5 | 200 | 凝灰岩 | 210図 | — | 表裏面磨痕 |
| 159 | SK-459 | 7.9 | 4 | 3 | 140 | 安山岩 | 210図 | — | 端部敲打痕 |
| 160 | SK-582 | 6.7 | 2.9 | 2 | 72 | 安山岩 | 210図 | — | 端部敲打痕 |

第12表 石皿・多孔石観察表

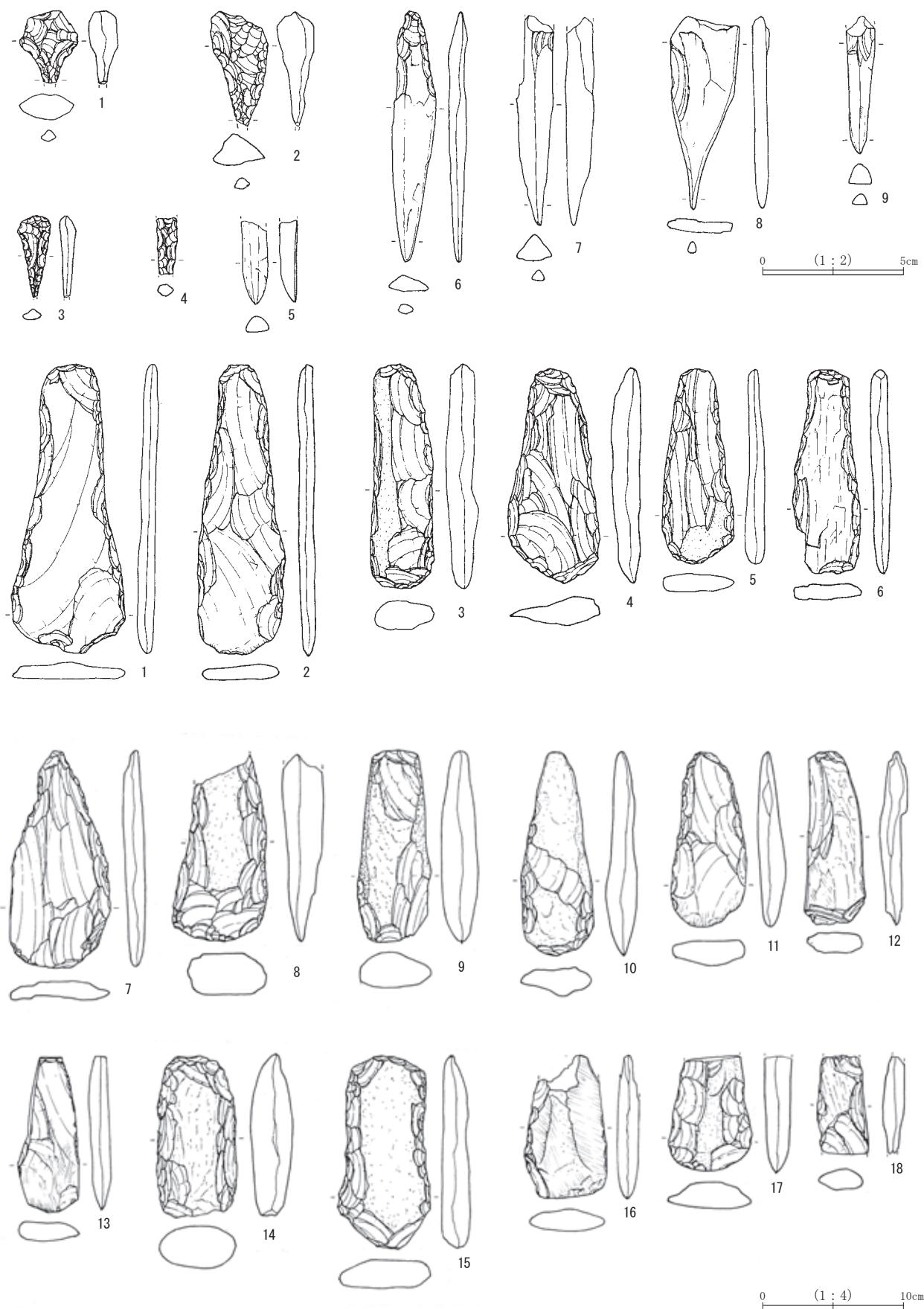
| No. | 出土遺構 | 最大長 | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|-----|------------|------|------|------|--------|-----|-------|-------|----------------------------------|
| 1 | SI-37・38 | 17.1 | 23 | 4.8 | 2,660 | 凝灰岩 | 211図 | 131上段 | 破片、磨り面平坦、裏面凹痕 |
| 2 | SK-85 | 16.3 | 20.8 | 5.9 | 3,360 | 凝灰岩 | 211図 | 131上段 | 破片、磨り面凹面、裏面多数凹痕 |
| 3 | SK-72 | 30.3 | 35.4 | 9.5 | 1,190 | 凝灰岩 | 211図 | 131上段 | 半欠品、磨り面中央凹面、表面周縁及び裏面多数凹痕、被熱により赤変 |
| 4 | SK-288 | 20.1 | 16.8 | 11.4 | 5,800 | 安山岩 | 211図 | — | 破片、表面凹痕 |
| 5 | SK-61 | 21.7 | 14.2 | 7.1 | 1,480 | 凝灰岩 | 211図 | 131上段 | 破片、磨り面凹面、表面周縁及び裏面多数凹痕 |
| 6 | SI-184 | 27 | 14.8 | 7.5 | 2,220 | 凝灰岩 | 211図 | 131上段 | 半欠品、有縁、磨り面中央凹面、表裏多数凹痕 |
| 7 | SK-248 | 10.6 | 13.3 | 5.7 | 1,100 | 砂岩 | 211図 | — | 破片、表面多数凹痕、裏面凹痕 |
| 8 | SK-143 | 25.8 | 18.1 | 7.2 | 4,390 | 凝灰岩 | 211図 | 132上段 | 半欠品、表裏両面多数凹痕 |
| 9 | SK-232 | 12.2 | 16.1 | 5.4 | 1,550 | 安山岩 | 211図 | — | 破片、磨り面わずかに凹面 |
| 10 | SK-188 | 18.5 | 15.3 | 14.3 | 5,020 | 安山岩 | 212図 | 132上段 | 完存、球形、凹痕多数 |
| 11 | SK-208 | 25.3 | 13.9 | 7.1 | 2,230 | 安山岩 | 212図 | — | 破片接合、磨り面凹面、表裏面多数凹痕 |
| 12 | SK-354 | 17.1 | 23.5 | 6 | 2,810 | 安山岩 | 212図 | 132上段 | 破片、表面剥落、表面数個、裏面多数凹痕、裏面耕作機削り痕 |
| 13 | SK-331 | 22.2 | 17.4 | 6.5 | 2,830 | 砂岩 | 212図 | 132上段 | 半欠品、表面中央磨痕平坦 |
| 14 | SK-359 | 15.1 | 19.4 | 6.4 | 2,260 | 安山岩 | 212図 | 131上段 | 破片、磨り面凹面 |
| 15 | SK-389 | 18.3 | 14 | 10.3 | 2,340 | 安山岩 | 212図 | — | 破片、有縁、表裏面凹痕 |
| 16 | SK-380 | 18.3 | 11.5 | 5.1 | 1,800 | 安山岩 | 212図 | — | 破片、表面凹痕 |
| 17 | SK-395 | 18.5 | 20.6 | 6 | 2,860 | 礫岩? | 212図 | — | 破片、磨り面凹面、裏面多数凹痕、全体的に被熱 |
| 18 | SK-531 | 16.2 | 15.5 | 6.2 | 1,500 | 安山岩 | 212図 | 132下段 | 破片、有縁、表裏面多数凹痕 |
| 19 | SK-567 | 21.7 | 22.3 | 6.6 | 3,780 | 凝灰岩 | 212図 | 131下段 | 破片、磨り面平坦、表面数個、裏面多数の凹痕、破断面貝の化石 |
| 20 | SK-519 | 19.8 | 22.3 | 8 | 4,320 | 安山岩 | 212図 | 132上段 | 半欠品、表面敲打凹面、裏面多数凹痕 |
| 21 | SK-464 | 36.4 | 9.8 | 7.8 | 4,230 | 安山岩 | 213図 | — | 完存、棒状礫、表面磨痕平滑 |
| 22 | SK-573 | 27.8 | 23.2 | 11 | 8,350 | 安山岩 | 213図 | 132上段 | ほぼ完存、表裏面多数凹痕 |
| 23 | SK-625 | 16.4 | 22.9 | 4.5 | 3,000 | 凝灰岩 | 213図 | — | 破片、磨り面平滑 |
| 24 | SK-615 | 21.9 | 20.9 | 10.2 | 3,610 | 安山岩 | 213図 | 131下段 | 破片、有縁、磨り面中央凹面、表裏多数凹痕、写真図版SK-568 |
| 25 | SK-650 | 27.5 | 18.8 | 9 | 3,220 | 安山岩 | 213図 | 131下段 | 半欠品、有縁、磨り面中央凹面、表裏多数凹痕 |
| 26 | SK-625 | 28.5 | 24.6 | 8.6 | 830 | 安山岩 | 213図 | 131下段 | 破片接合、表裏中央凹面、周縁多数凹痕、裏面敲打剥落 |
| 27 | SX-1 | 21.1 | 16.4 | 9.5 | 3380 | 凝灰岩 | 213図 | 132下段 | 破片、表裏面多数凹痕 |
| 28 | SK-700 | 17 | 14 | 8 | 1,670 | 安山岩 | 213図 | — | 破片、磨り面凹面、裏面多数凹痕 |
| 29 | B区捨て場6-7 | 40.6 | 35.1 | 8.5 | 13,940 | 安山岩 | 214図 | 131下段 | ほぼ完存、有縁、表面中央凹面、裏面多数凹痕、 |
| 30 | B区捨て場2-8-9 | 41.2 | 24 | 13.9 | 13,000 | 安山岩 | 214図 | — | 完存、磨り面凹面、表面周縁及び裏面多数凹痕 |
| 31 | B区捨て場4-12 | 13.8 | 16 | 4.2 | 1,080 | 安山岩 | 214図 | — | 半欠品、小形、磨り面凹面 |
| 32 | B区捨て場2-8 | 17.7 | 19.1 | 7 | 2,700 | 安山岩 | 214図 | — | 小破片、有縁、裏面凹痕 |
| 33 | B区捨て場4-11 | 20.7 | 24.3 | 12.6 | 3,880 | 安山岩 | 214図 | — | 半欠品、表面周縁及び裏面多数凹痕 |
| 34 | B区捨て場4-8 | 22.3 | 17.5 | 6.6 | 3,100 | 安山岩 | 214図 | — | 半欠品、磨り面凹面、裏面多数凹痕 |
| 35 | B区捨て場1-4 | 12.8 | 13.1 | 13.2 | 2,380 | 安山岩 | 214図 | — | 円柱状、上下磨痕、各面浅い凹痕 |
| 36 | C区採集 | 24.7 | 16.5 | 8.2 | 5,600 | 安山岩 | 214図 | — | 全面に多数凹痕 |
| 37 | 表採 | 38.4 | 28.5 | 12.7 | 1,750 | 安山岩 | 214図 | 131下段 | ほぼ完存、有縁、裏面多数凹痕 |



第200図 石器(尖頭器・石槍・搔削器・三角錐形石器・敲打器・礫器等)実測図



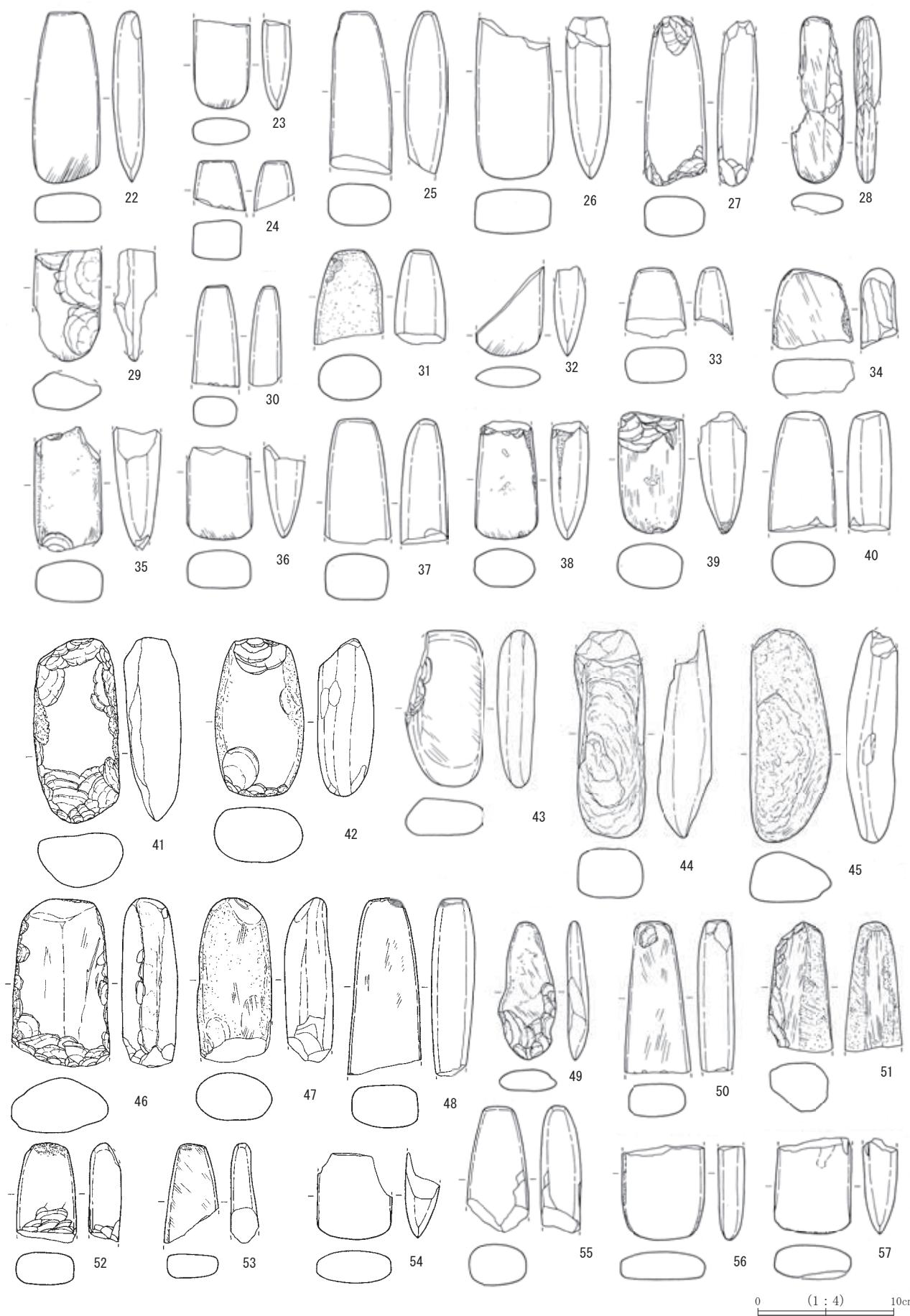
第201図 石器(石鏃)実測図



第202図 石器(石錐・打製石斧)実測図



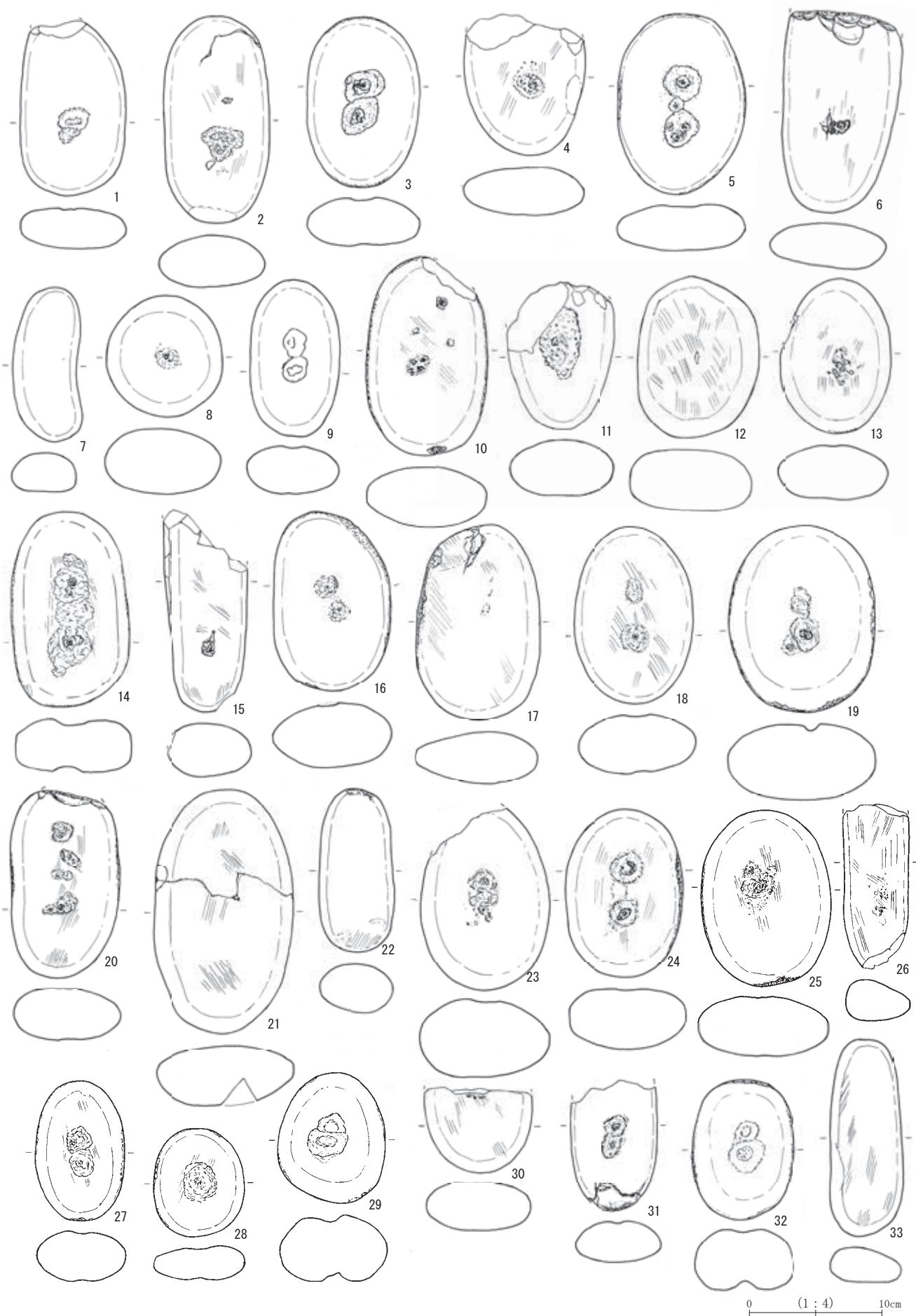
第203図 石器(打製石斧・磨製石斧)実測図



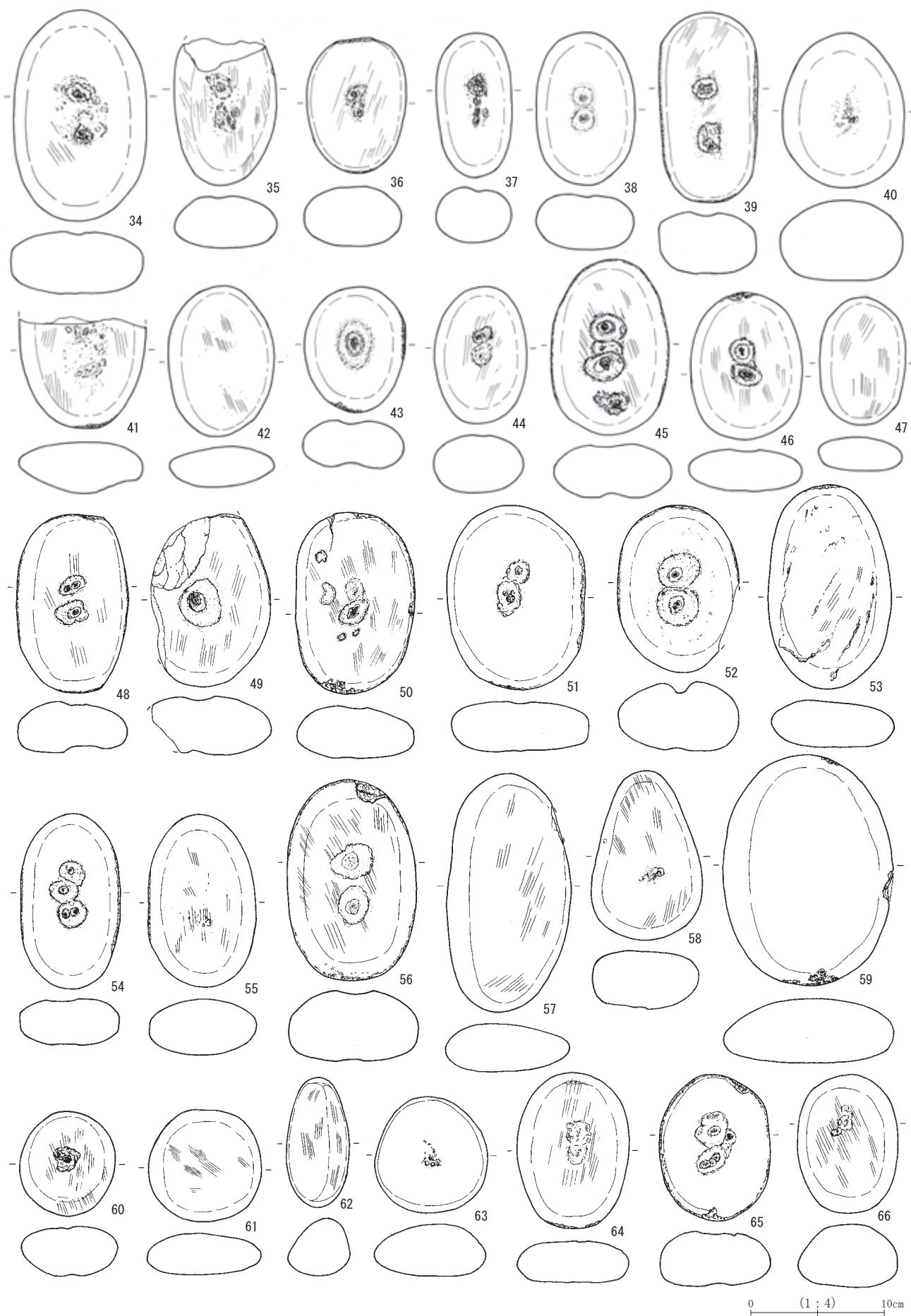
第204図 石器(磨製石斧)実測図



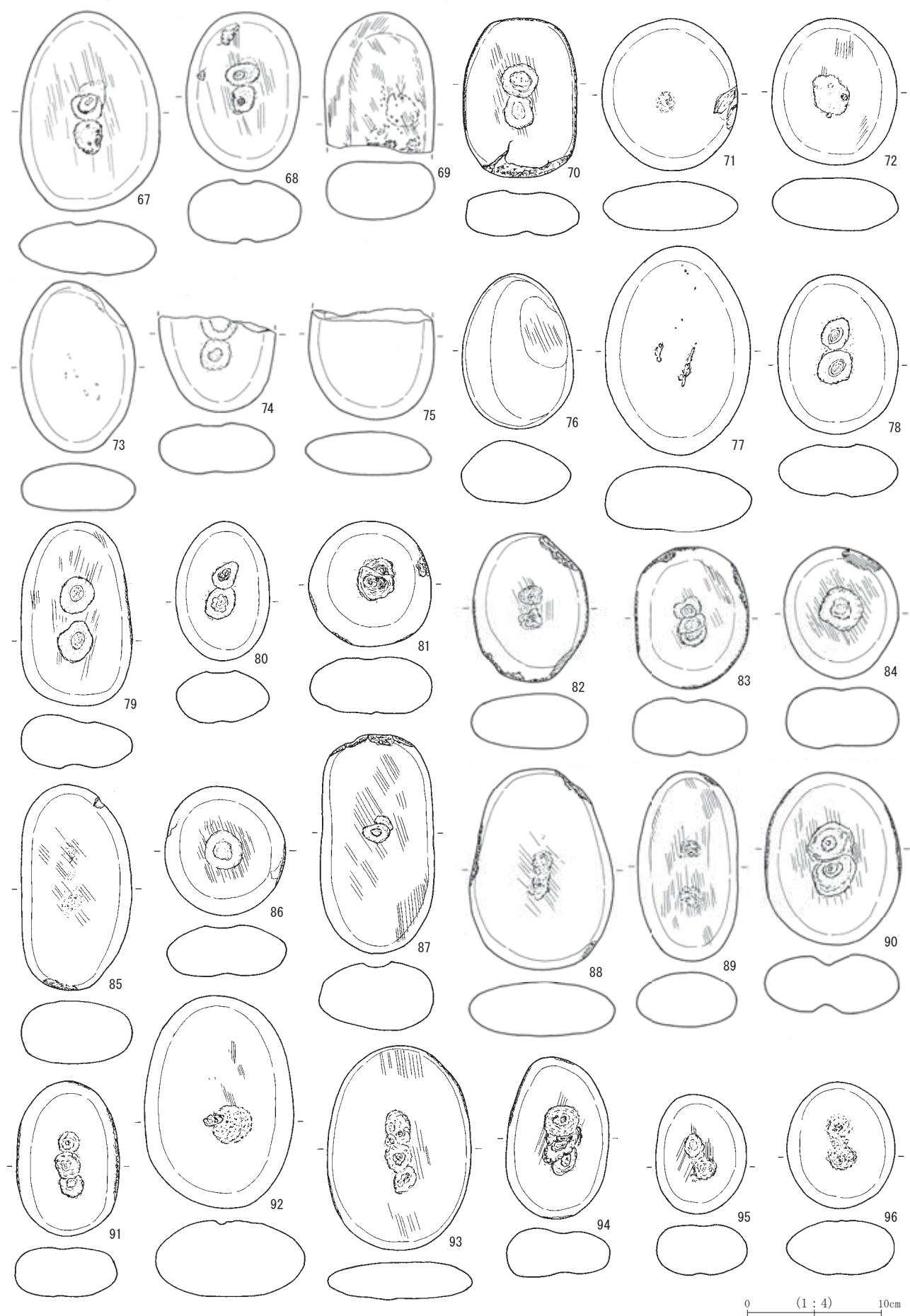
第205図 石器(磨製石斧)実測図



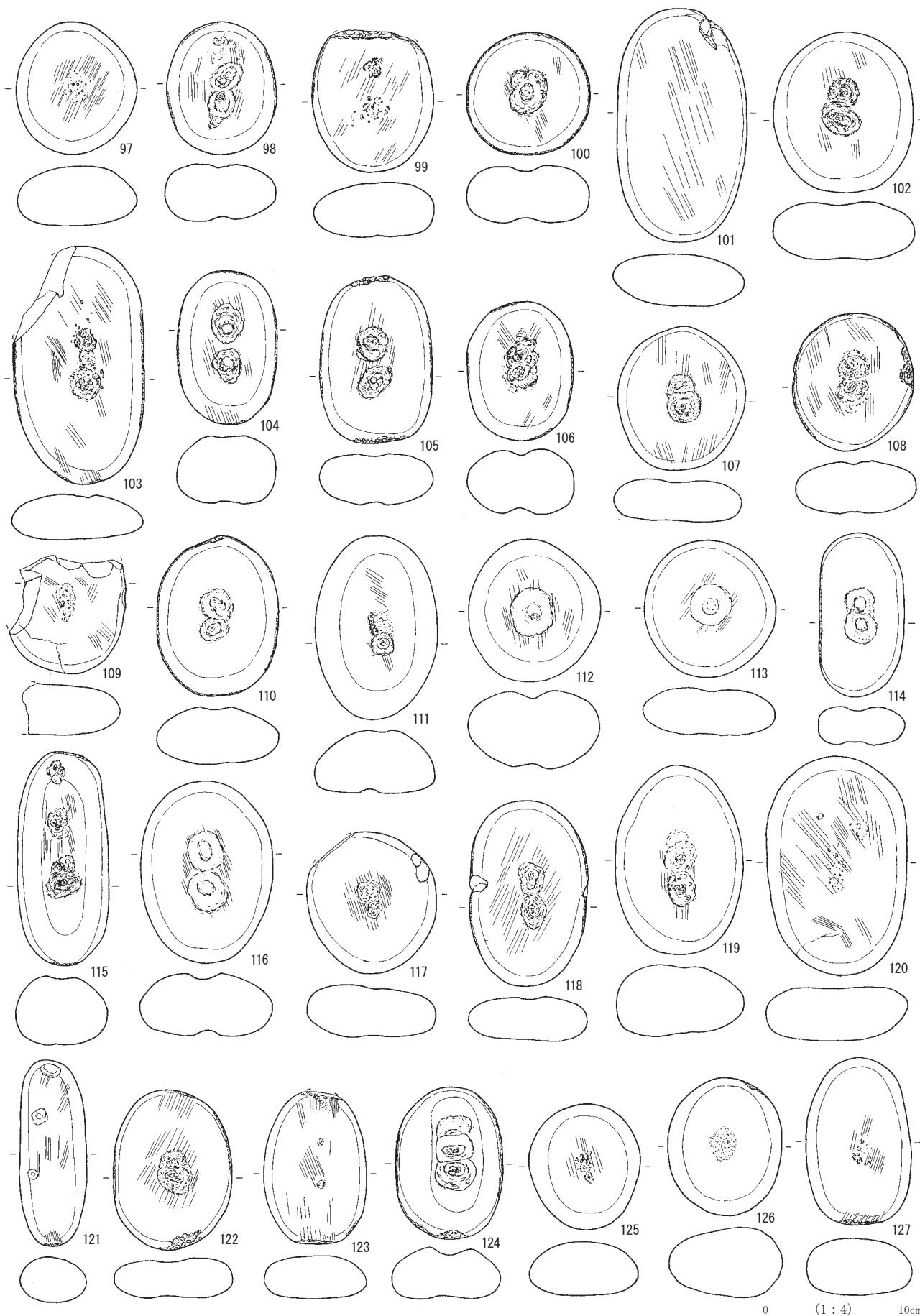
第206図 石器(磨石・凹石)実測図



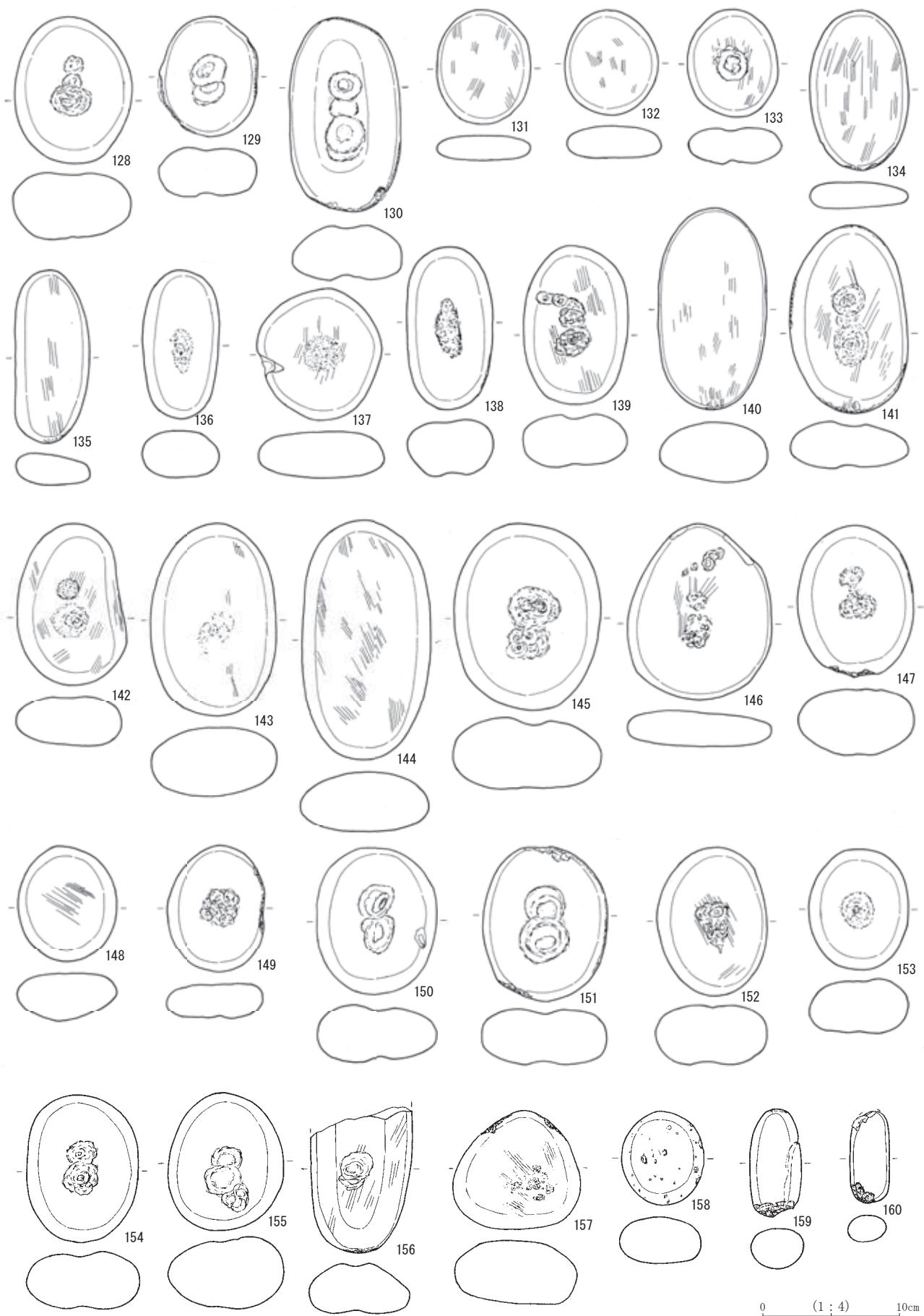
第207図 石器(磨石・凹石)実測図



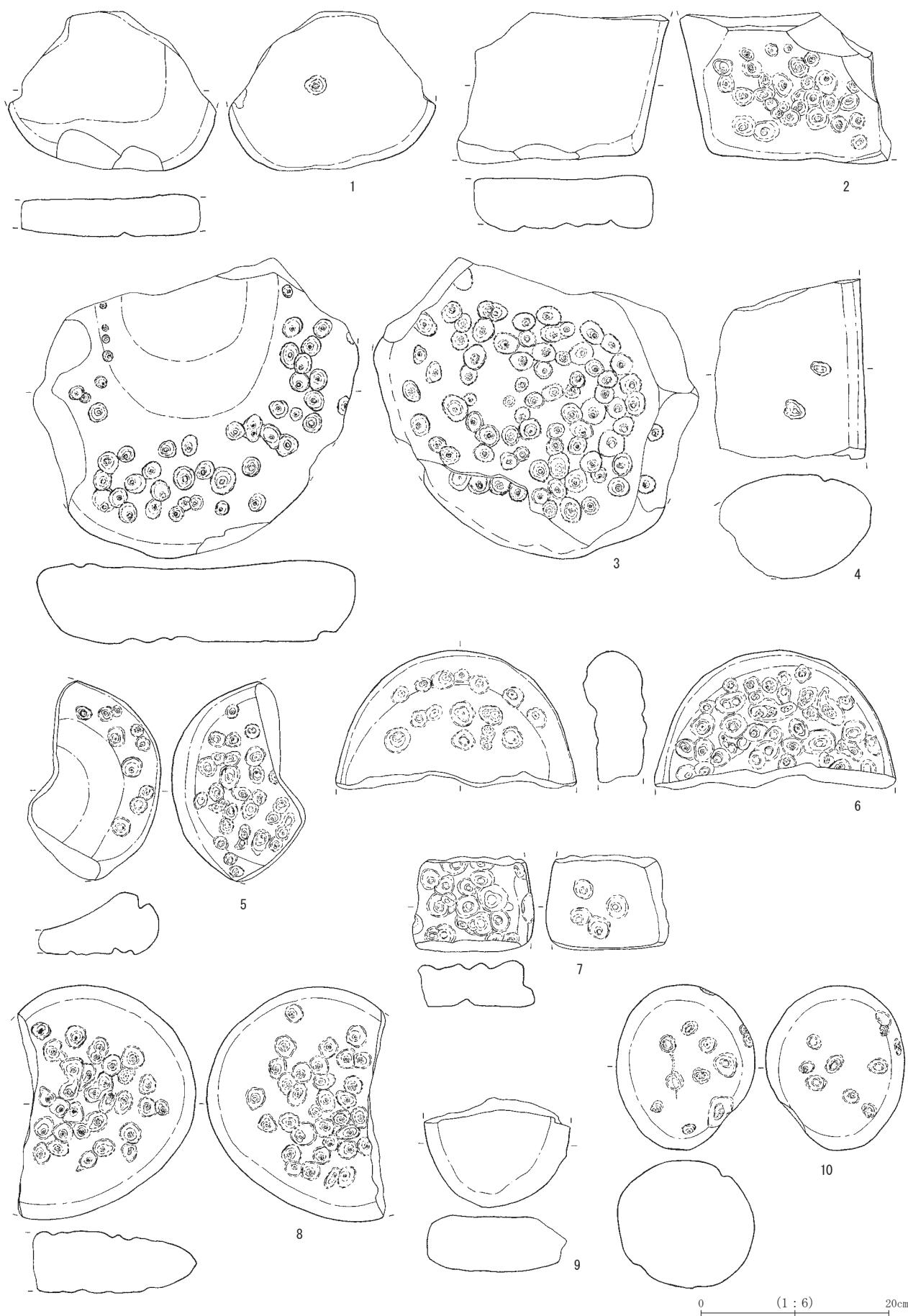
第208図 石器(磨石・凹石)実測図



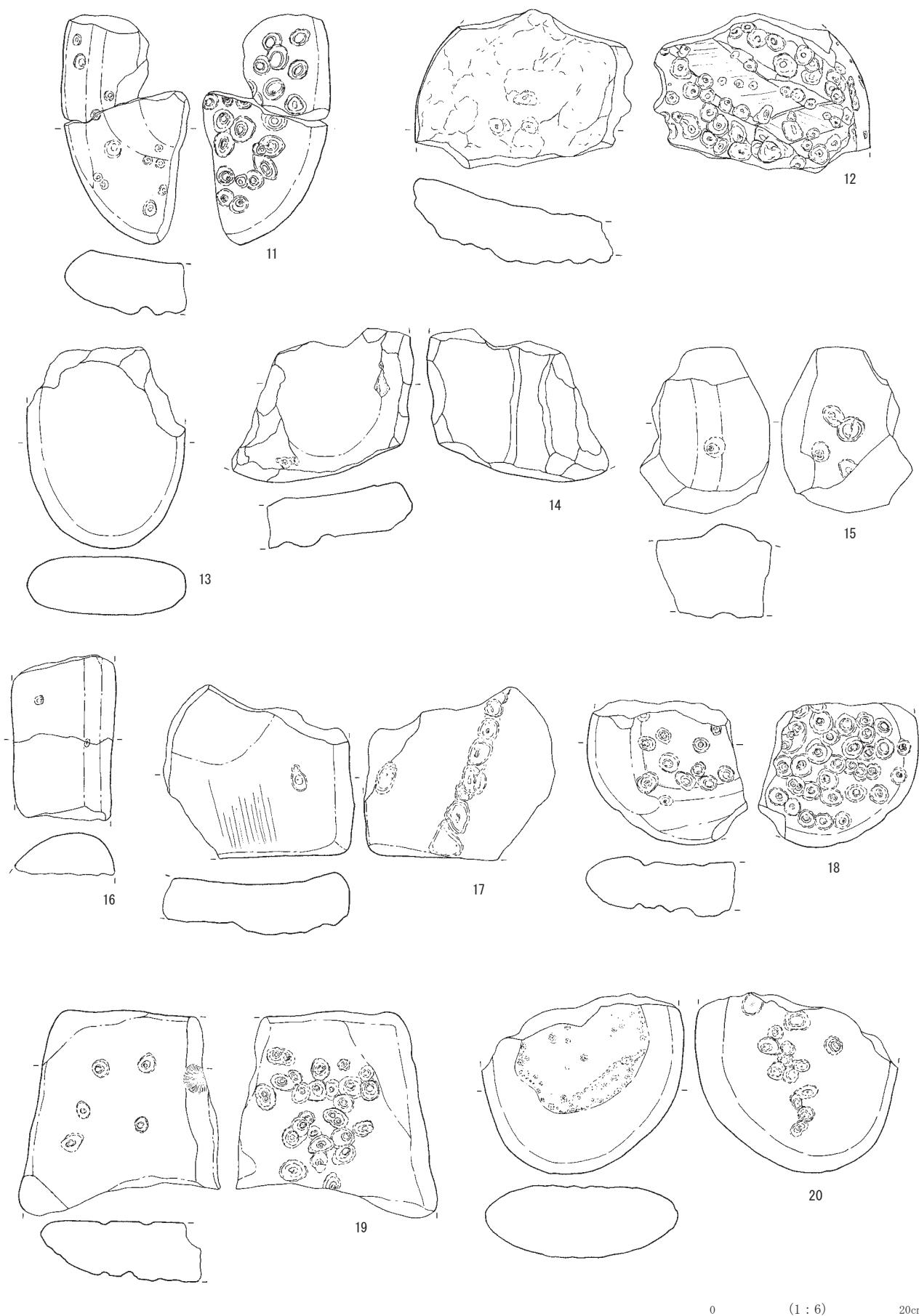
第209図 石器(磨石・凹石)実測図



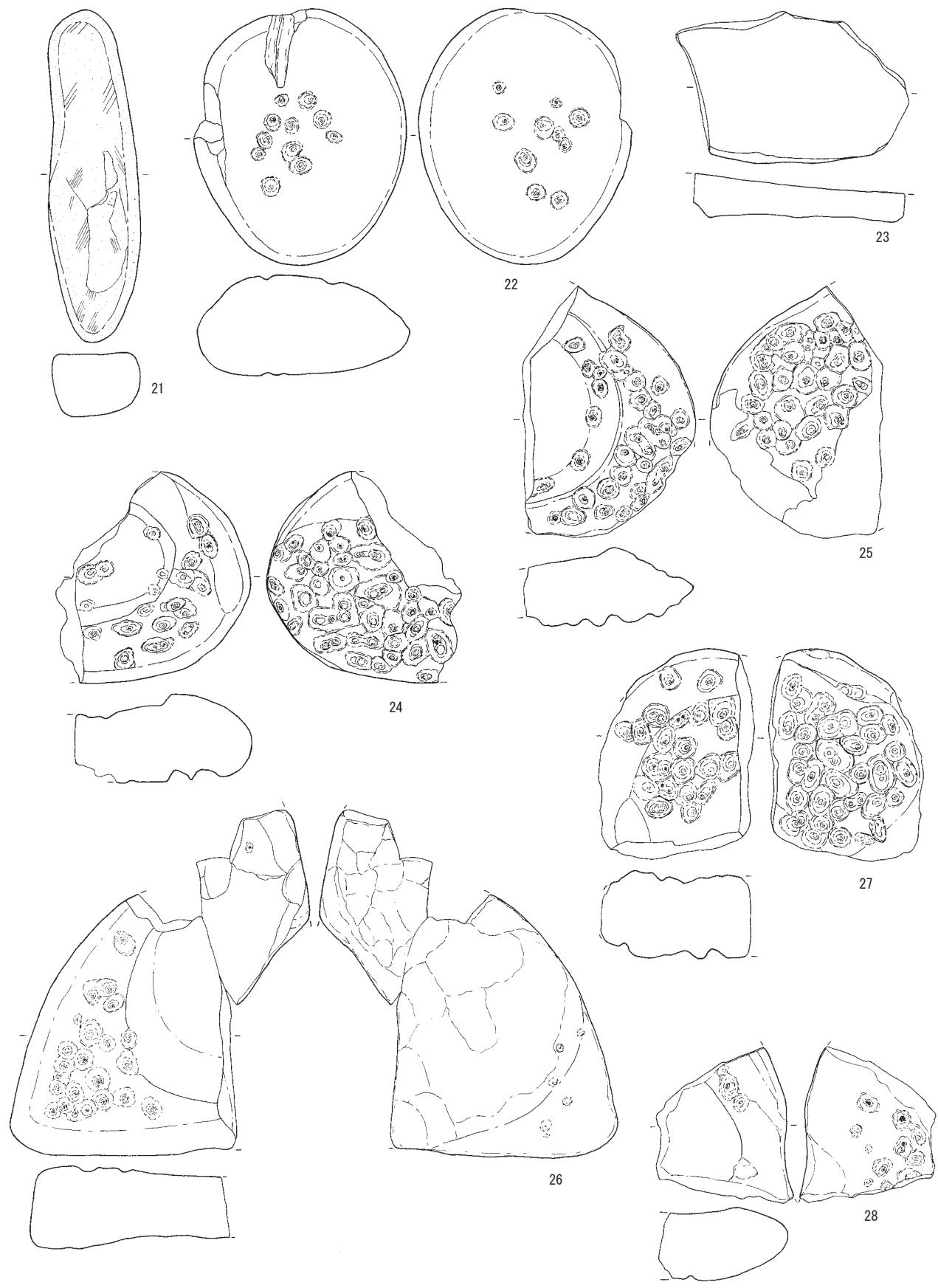
第210図 石器(磨石・凹石等)実測図



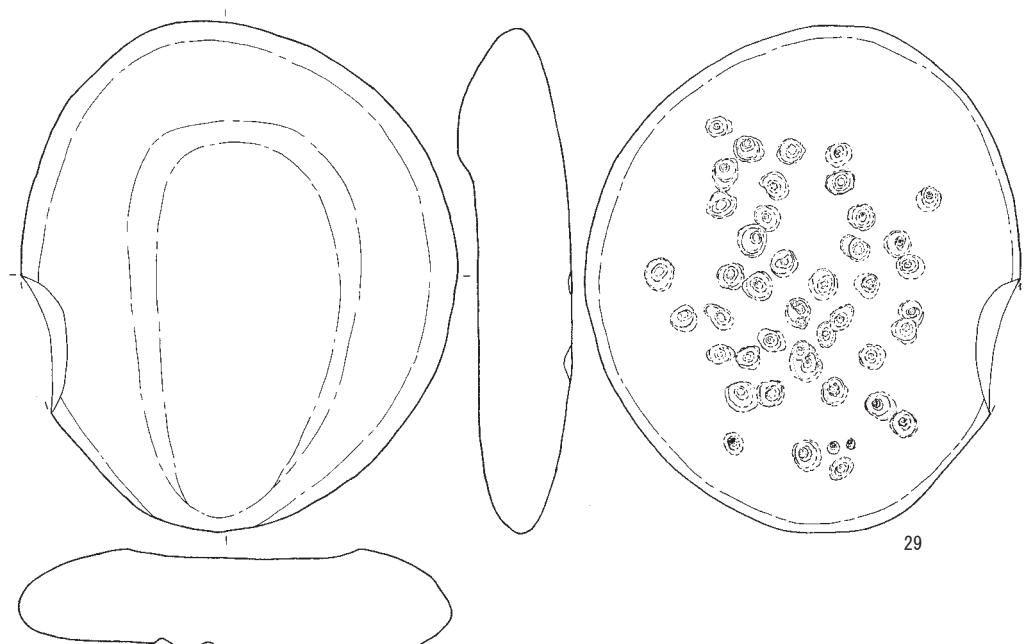
第211図 石器(石皿・多孔石等)実測図



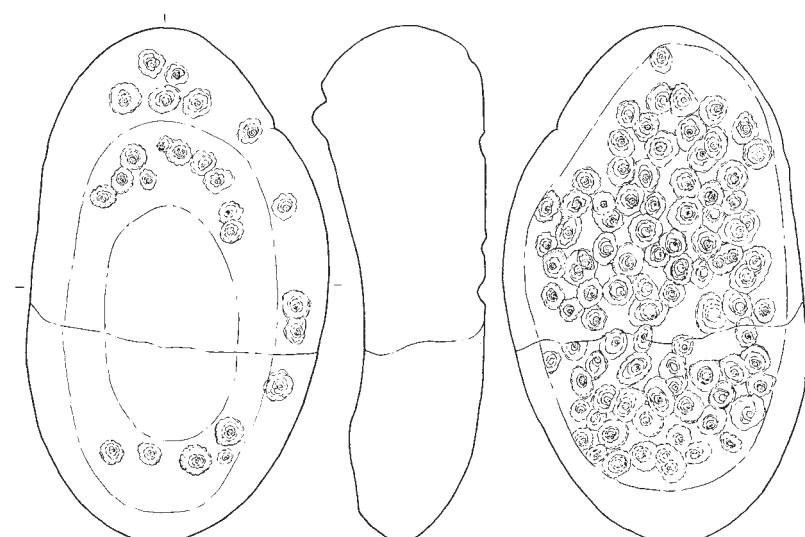
第212図 石器(石皿・多孔石等)実測図



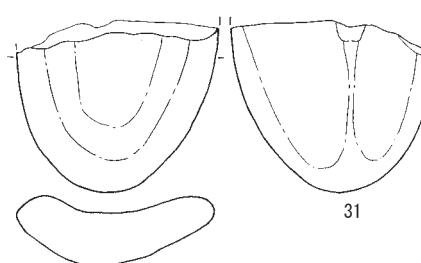
第213図 石器(石皿・多孔石等)実測図



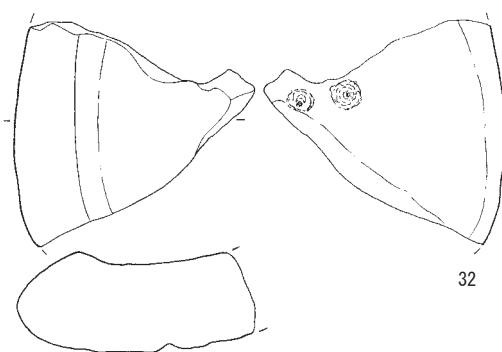
29



30



31



32

0 (1 : 6) 20cm

第214図 石器(石皿・多孔石等)実測図



第215図 石器(石皿・多孔石等)実測図

(8) 土製品

① 土製円盤（第216図）

総数20点（竪穴住居跡2、土坑15、その他2）出土している。直径1.3～6cmまであり、3cm以下の小型のものが多い。周縁の磨滅は小型のものほど顕著である。有文のものは爪形文（2・5・16）、有節沈線（12）、網代痕（14・20）などがあるが、無文のものが多い。土器の胴部を使用したものが多いと思われるが、底部を使用したもの（10・13・14・20）、土器把手の先端装飾と思われるもの（12）等がある。無文のものについても胎土に雲母を含むものが少なくなく、阿玉台II式期及びその前後のものが多い。

② ミニチュア土器（第216図）

小型のナデ整形の土器で5点図示した。皿状のもの（21）、筒状のもの（22・25）、扁球状のもの（23）がある。21・22はユビの整形痕が顕著で、23は肩部3カ所に剥離痕が認められる。24は微隆帯により口縁部と胴部を区分し、胴部には浅い沈線が縦方向にランダムに施される。

③ 耳飾り・垂飾等（第216図）

耳飾りは6点出土している。26は径6cmある鼓形で、全面に赤色の塗彩痕が認められる。27・28は滑車形で、大きさ・胎土・色調なども酷似する。出土した土坑は60m以上離れている。29～31は糸巻形で、30の片面には粗雑な3条の重弧文が3単位施されている。

32は崩れた円柱状で、両面から穿孔が施されている。

33は小さなタカラガイ形の土製品で、外面中央に凹点、周囲に刻線で文様が施される。34は中央に孔が施された円形の土製品の破片、35は棒状の垂飾である。上方に横方向の穿孔、刻線で上端に渦巻状、側面に2条の平行沈線と菱形状の文様が施される。

④ 土器装飾（第217図）

36・37は土器の装飾と考えられる。36は三方から粘土を合わせ、三角状に整形した装飾である。中央が三叉状の空白となり、周囲を形状に沿って沈線が巡る。37は土器の突起に付く顔面装飾と考えられる。顔の輪郭は楕円状で、竹管による円形の刺突で目と口が表現されている。裏面は剥離痕が認められる。

⑤ 粘土塊（第217図）

4点図示した。38～40は手のひらサイズの粘土紐を握り潰したようなものである。41は中空のもので、外面には幅1cmほどの横方向のナデ、内側には接合痕が横方向に巡る。土偶の肩部ないし腰部の可能性もあるが明確ではない。全体的に磨滅が著しい。

(9) 石製品

① 玉類（第217図）

3点図示した。1・2は垂飾で、1は長さ7.7cmの完存品。2は硬玉製太珠の半壊品である。被熱しており、G-4グリッド杭（グリッド南西端）付近から出土している。3は管状の玉で、丁寧な研磨が施され光沢をおびる。

② 大形石棒（第217図）

頭部2点、体部3点を図示した。いずれも土坑から出土している。4・5は被熱により剥落・ひび割れが顕著である。4は体部のみであるが、II期の土坑（SK-135）から出土している。5は半球状の頭部、6は円柱状の頭部の頂部を丸く仕上げており、頭部及び体部に凹痕がみられる。

③ 小形石棒（第218図）

3点図示した。いずれも緑色片岩製で、9は6mほど離れたSK-174とSK-179の破片が接合した。断面は楕円状の不整形のものが多く、9・10には抉りにより体部と頭部を区分している。11は破損部を敲打整形し、細い柄部を作り出している。刃の作り出しへはないが全体の形状は石刀に近い。先端が尖る。いずれも加曾利E I新～E II式期の土坑からの出土である。

④ 線刻石 (第218図)

4点図示した。12・14は断面三角の細い刻線で、12は側縁に、14は3面にわたり文様が施されている。13・15は凹線が施されるもので、15は楕円状の礫の先端に1条巡らしたもので、ベンガラの入った土器が出土した土坑(SK-382)から出土している。

第13表 土製円盤観察表

| No. | 出土遺構 | 長径 | 短径 | 厚さ | 重量 | 挿図No. | 遺存状況 | 周縁調整 | 特徴 |
|-----|--------|-----|-----|-----|------|-------|------|-------|-------------------------------|
| 1 | SI-27 | 1.3 | 1.3 | 0.7 | 1.78 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 2 | SK-14 | 2.1 | 2.1 | 0.7 | 4.28 | 216図 | 完存 | 研磨 | 爪形文、阿玉台II式深鉢胴部使用 |
| 3 | SK-125 | 2 | 1.9 | 0.8 | 3.24 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 4 | SK-209 | 1.6 | 1.2 | 0.7 | 1.96 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 5 | SK-276 | 1.4 | 1.4 | 0.7 | 1.87 | 216図 | 完存 | 研磨 | 爪形文、阿玉台II式深鉢胴部使用 |
| 6 | SK-308 | 2.4 | 2.1 | 0.9 | 4.7 | 216図 | 完存 | 粗い研磨 | 無文、胎土に雲母混入、阿玉台式 |
| 7 | SK-314 | 1.7 | 1.5 | 0.8 | 2.8 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 8 | SK-550 | 2.1 | 2 | 0.7 | 4.1 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 9 | C区採集 | 1.9 | 1.7 | 0.6 | 2.3 | 216図 | 完存 | 打欠・研磨 | 胎土に雲母混入、内面ミガキ、外面剥落 |
| 10 | SI-26 | 2.7 | 2.6 | 1.1 | 8.2 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文、底部使用 |
| 11 | SK-481 | 2.7 | 2.3 | 0.9 | 7 | 216図 | 完存 | 打欠・研磨 | 無文、胎土に雲母混入、阿玉台式 |
| 12 | SK-407 | 3.5 | 3.1 | 1 | 11.2 | 216図 | 完存 | — | 有節沈線による渦巻文。渦巻状粘土紐整形。土器突起部の装飾か |
| 13 | SK-541 | 4.5 | 4.4 | 0.9 | 24.7 | 216図 | 完存 | 打欠・研磨 | 無文、土器底部使用、内面半分剥離、胎土に雲母混入、阿玉台式 |
| 14 | SK-572 | 6 | 3.9 | 1.2 | 31 | 216図 | 半欠 | 打欠・研磨 | 網代痕、土器底部使用 |
| 15 | SK-646 | 3.8 | 3.6 | 1.1 | 19.5 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文 |
| 16 | SK-470 | 5.4 | 5 | 1 | 37.9 | 216図 | 完存 | 打ち欠き | 爪形文、押圧隆帯、阿玉台II式深鉢胴部使用 |
| 17 | SK-475 | 4.8 | 4.5 | 0.9 | 18.2 | 216図 | 完存 | 打ち欠き | 無文、小形土器底部使用 |
| 18 | SK-625 | 4.8 | 4.7 | 1.2 | 34.4 | 216図 | 完存 | ナデ | 内面周縁は隆起、 |
| 19 | 2号墳覆土 | 5.2 | 4.6 | 1.3 | 36.7 | 216図 | 完存 | 研磨 | 無文、胎土に雲母混入、内外面ミガキ |
| 20 | C区採集 | 5 | 4.9 | 1 | 26.8 | 216図 | 完存 | 打欠・研磨 | 網代痕、土器底部使用 |

第14表 ミニチュア土器観察表

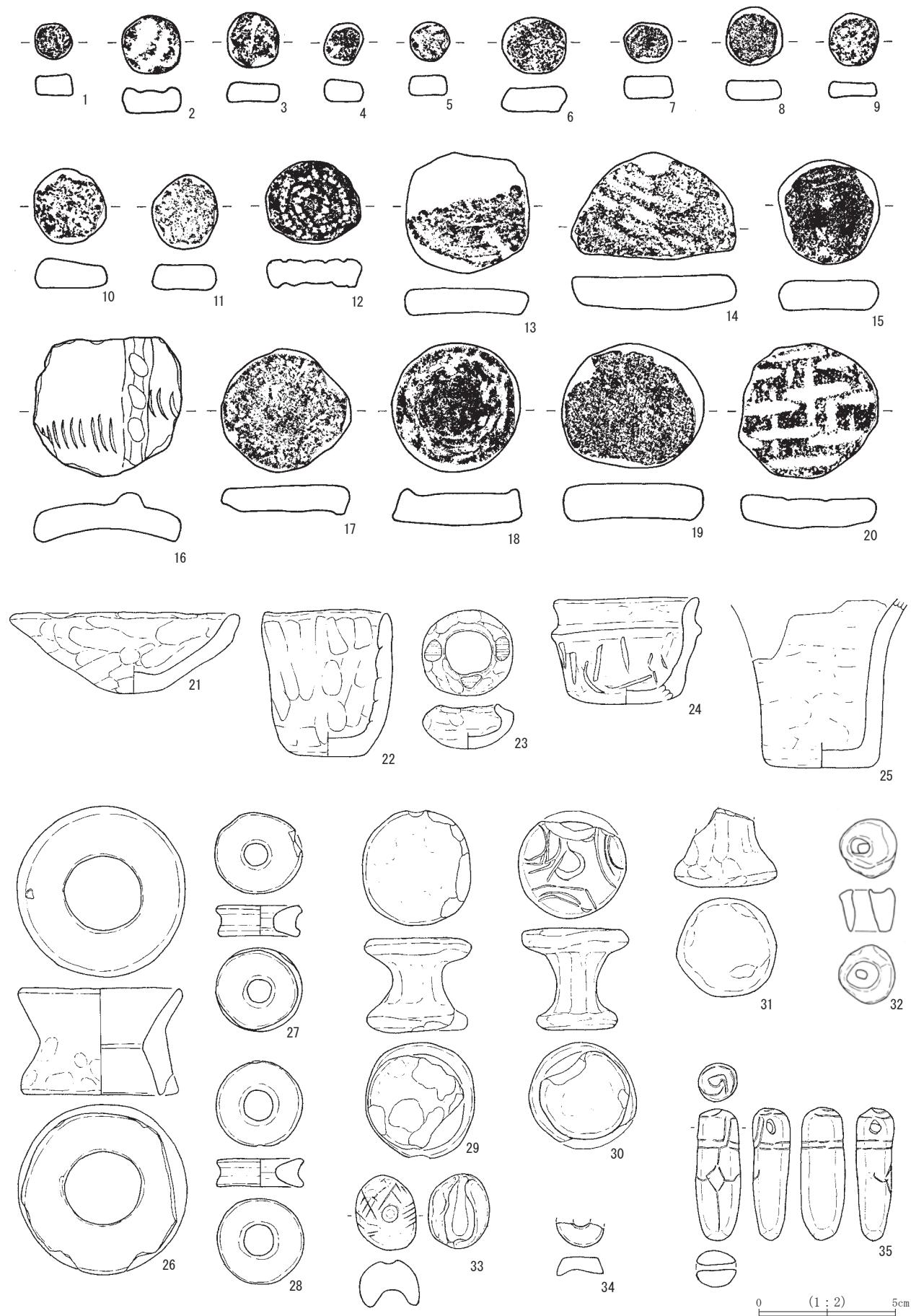
| No. | 出土遺構 | 口径 | 底径 | 器高 | 遺存状況 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|-----|-----|------|--------|-------|------|---------------------------------|
| 21 | SK-385 | 8 | — | 3 | ほぼ完存 | 216図 | 110 | 潰れた円錐形。外面粗いナデ整形 |
| 22 | SK-389 | 4.8 | 2.8 | 5.3 | 完存 | 216図 | 110 | コップ状、外面ナデ整形、内側は粘土紐痕がみられる |
| 23 | SK-399 | 2.1 | — | 1.5 | ほぼ完存 | 216図 | 110 | 潰れた扁球状。口縁に3カ所の剥落痕、ナデ整形 |
| 24 | SK-476 | 5.4 | 4 | 3.9 | 1/2遺存 | 216図 | 110 | 口縁下に断面三角形の突帯が巡る、胴部にはランダムな縦方向の沈線 |
| 25 | SK-562 | — | 3.8 | -6.1 | 胴部上半欠損 | 216図 | 110 | 円筒状の胴部から上方に開く、ナデ整形 |

第15表 耳飾り・垂飾等観察表

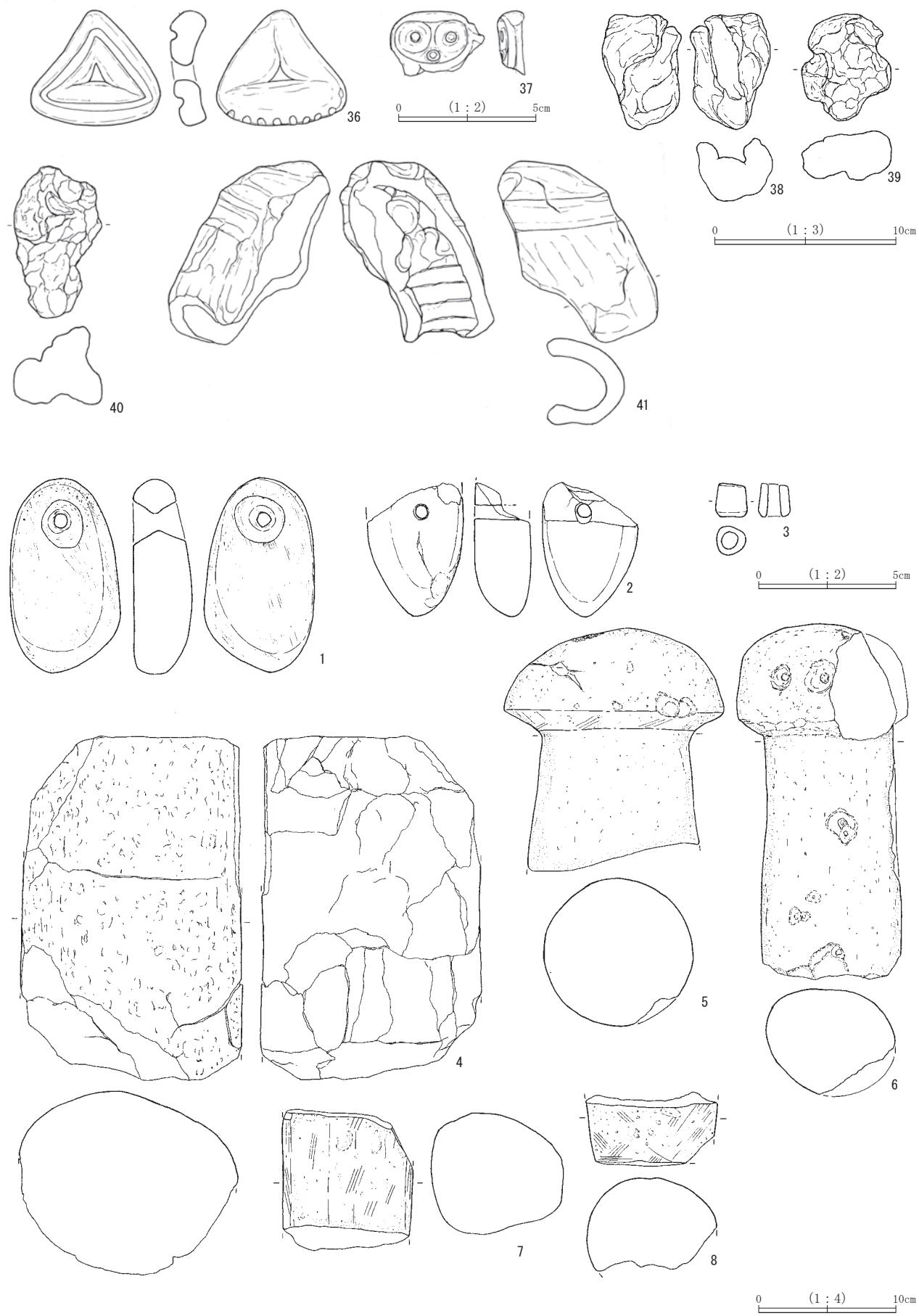
| No. | 出土遺構 | 径 | 孔径 | 器高 | 重量 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|---------|-----|-----|------|-------|------|-------------------------------------|
| 26 | SK-301 | 6.1 | 2.3 | 4 | 60.7 | 216図 | 110 | 鼓形、全面に塗彩 |
| 27 | SK-307 | 3.1 | 0.9 | 1.2 | 10.1 | 216図 | 111 | 扁平な滑車形、28と酷似。 |
| 28 | SK-525 | 3.3 | 1.1 | 1.1 | 9.6 | 216図 | 111 | 扁平な滑車形、27と酷似 |
| 29 | SK-391 | 3.9 | — | 3.5 | 37.3 | 216図 | 110 | 糸巻形、ナデ整形、周縁は若干剥落 |
| 30 | SK-613 | 3.6 | — | 3.8 | 39.2 | 216図 | 110 | 糸巻形、雑な沈線で中央に円文、周縁に3条の3単位弧文、周縁は若干剥落 |
| 31 | B区採集 | 3.6 | — | 2.9 | 27 | 216図 | 111 | 糸巻形耳飾り半壊品か、ナデ整形 |
| 32 | SK-230 | 2.1 | 0.7 | 1.6 | 8.2 | 216図 | 111 | 円柱状、両面から穿孔、写真図版編SK-525 |
| 33 | SK-693 | 2.8×2.3 | — | 1 | 9 | 216図 | 111 | 表面中央に円凹、細沈線文、タカラガイ形 |
| 34 | SK-629 | 1.7 | 0.6 | 0.7 | 1.8 | 216図 | 111 | 半壊品 |
| 35 | B区捨て場 | 1.6 | 0.4 | 4.9 | — | 216図 | 111 | 上端に渦巻状、側面に2条の沈線巡らし、菱形状の文様、上方に横方向の穿孔 |

第16表 土器装飾・粘土塊等観察表

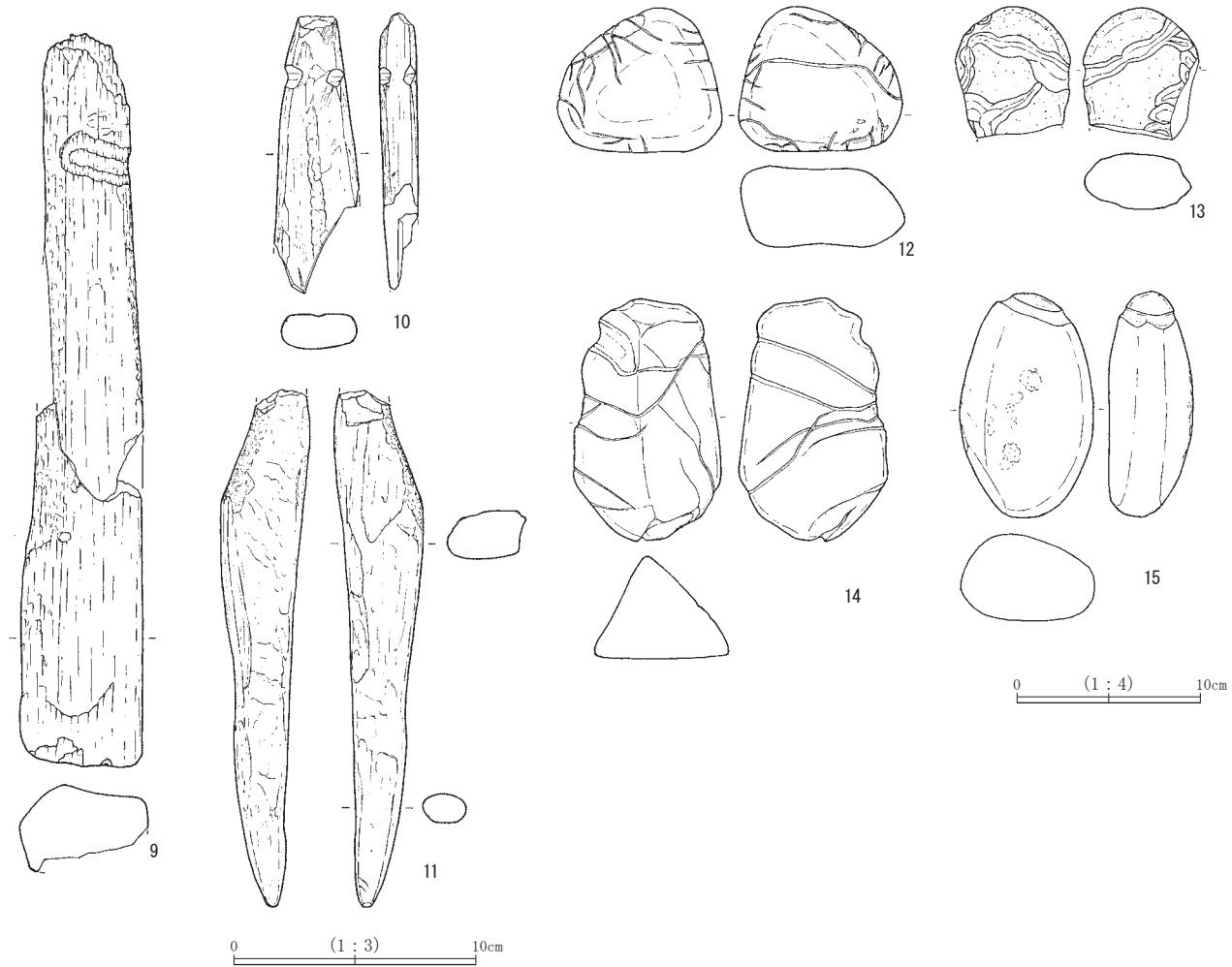
| No. | 出土遺構 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|------|-----|-----|-----|-------|------|-------------------------------------|
| 37 | SK-74 | 4.2 | 4.8 | 1 | — | 217図 | 111 | 三角形の貼付文、中央に三叉状の孔とそれを囲む沈線、裏面の一辺に連続刻み |
| 36 | SK-384 | 2.4 | 3.4 | 0.9 | — | 217図 | 110 | 顔面モチーフの貼付文、顔の輪郭楕円形、目・口竹管刺突、裏面剥落痕 |
| 38 | SK-395 | 6.3 | 4.2 | 3.5 | 56 | 217図 | 111 | 粘土塊 |
| 39 | SK-12 | 5.9 | 5 | 2.8 | 68 | 217図 | — | 粘土塊 |
| 40 | SK-12 | 8.3 | 4.9 | 4.3 | 112 | 217図 | — | 粘土塊 |
| 41 | SK-426 | 10.1 | 6.9 | 4.8 | 223 | 217図 | 111 | 表面ナデ・摩耗顕著、上方に凹線状の窪みが巡る、中空で内側に粘土紐痕 |



第216図 土製品(円盤・ミニチュア土器・耳飾り・玉等)実測図



第217図 土製品(土器装飾・粘土塊)・石製品(玉・大形石棒)実測図



第218図 石製品(小形石棒)・線刻石実測図

第17表 玉類観察表

| No. | 出土遺構 | 長さ | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|--|
| 1 | SK-452 | 7.2 | 4 | 2.3 | 68 | 砂岩 | 217図 | 134上段 | 全面丁寧な研磨、両面から穿孔、孔径(表裏面1.1cm、中央0.6cm)、被熱 |
| 2 | C区表採 | [4.6] | [3.5] | 2.1 | 52 | 翡翠 | 217図 | 134上段 | 大珠、半壊品、両面から穿孔、孔径0.6cm、被熱、G-4グリッド杭付近出土 |
| 3 | C区表採 | 1.3 | 1.2 | 1.1 | 1.3 | 蛇紋岩 | 217図 | — | 管状、全面丁寧な研磨、上下から穿孔 |

第18表 大形石棒観察表

| No. | 出土遺構 | 長さ | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|------|------|------|-------|-----|-------|-------|-----------------------------------|
| 4 | SK-135 | 25.2 | 15.8 | 12.8 | 6,200 | 安山岩 | 217図 | 132下段 | 体部のみ、表面研磨整形、被熱剥落編著 |
| 5 | SK-403 | 16.8 | 12.4 | 12.4 | 4450 | 凝灰岩 | 217図 | 132下段 | 有頭(笠形)石棒、頭部先端敲打痕、被熱によりひび割れ、頭部一部欠損 |
| 6 | SK-329 | 26.5 | 10.2 | 10.7 | 3,140 | 凝灰岩 | 217図 | 132下段 | 有頭石棒。頭部損壊後敲打整形、頭部及び体部に凹痕 |
| 7 | SK-26 | 10.4 | 9.6 | 9.2 | 1,460 | 凝灰岩 | 217図 | — | 体部のみ、表面研磨整形 |
| 8 | SK-406 | 5.5 | 9.4 | 6.8 | 520 | 凝灰岩 | 217図 | — | 体部破片、表面研磨整形 |

第19表 小形石棒観察表

| No. | 出土遺構 | 長さ | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|------------|------|-----|-----|-----|------|-------|-------|--|
| 9 | SK-174・209 | 30.4 | 5.3 | 3.2 | 518 | 緑色片岩 | 218図 | 133上段 | SK-174(上)とSK-209(下)接合、抉りにより柄部形成、縦方向研磨、断面陵形成、摺理面で縦方向に破損 |
| 10 | SK-183 | 11.4 | 3.1 | 1.6 | 68 | 緑色片岩 | 218図 | 133上段 | 抉りにより頭部作出、縦方向研磨整形、断面長楕円形 |
| 11 | SK-459 | 21.3 | 3.5 | 2.1 | 172 | 緑色片岩 | 218図 | 133上段 | 研磨整形をしているが素材の凹凸が残る、断面楕円形。先端が尖る、破損部整形 |

第20表 線刻石観察表

| No. | 出土遺構 | 長さ | 最大幅 | 厚さ | 重量 | 石質 | 挿図No. | 写真図版 | 特徴 |
|-----|--------|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|------------------------|
| 12 | SK-244 | 18 | 9.1 | 4.3 | 510 | 安山岩 | 218図 | 133下段 | 周縁に多数の細い線刻、表裏は軽い凹面、被熱 |
| 13 | SK-343 | 7 | 6.4 | 2.6 | 180 | 凝灰岩 | 218図 | 133上段 | 表裏にやや太い凹線刻 |
| 14 | SK-303 | 12.8 | 7.2 | 5.7 | 620 | 凝灰岩 | 218図 | 133下段 | 三角錐状、各面に細い線刻、表面ベンガラ付着? |
| 15 | SK-382 | 12.5 | 7.3 | 4.8 | 610 | 花崗岩 | 218図 | 133下段 | 先端に凹線刻が巡る |

第3節 古墳時代

(1) 壁穴住居跡

壁穴建物跡は調査区南側から3軒検出されている。調査区南端の古墳の北～東側に位置し、それぞれの住居跡は20m以上離れている。

SI-17 (第219・221図、図版149)

位置：調査区のほぼ中央、G-5 aグリッド、古墳時代の遺構では最も北に位置する。縄文時代のSK-334・391と重複する。規模と形状：平面形は東西が北壁で5.6m、南壁で5.0m、南北が5.0mでやや歪んだ方形。確認面から床面までの深さは30～35cmである。主軸方向はN-40°-Eである。覆土：トレンチャーレの攪乱が著しい。自然堆積で、IP粒を少量含む暗褐色土とローム粒を少量含む褐色土の2層に分層した。柱穴：ピットは5本確認された。大きさと床面から深さは、P1が径53cm、深さ32cm、P2が径38cm、深さ32cm、P3が43×32cm、深さ32cm、P4が24×26cm、深さ36cm、P5が44×40cm、深さ36cmである。4本主柱であるが、平面形とカマドの位置からきれいな対角線上の配置とはならない。北東主柱穴のP2は壁際に寄り、南東主柱穴については、西側のP1-P5と柱間が同間隔のP4の可能性もあるが、規模的にはP3である。東側主柱穴のP2・P3は西側に比べ壁際に寄る。西側の柱間（P1-P5）は2.5m、東側の柱間（P2-P3）は4m、東西の柱間は3.5mで台形状の配置となる。カマド：北壁ほぼ中央に構築されている。煙道は壁外へ30cmほど掘り込まれている。袖は長さ85cm、幅140cmである。出土遺物：壺3点、甌1点、甕2点、土製勾玉3点を図示した。復元可能な個体(4～6)はカマド及びその周辺から出土している。土製勾玉はカマド前面から2点、住居中央南東寄りから1点出土している。

SI-25 (第220～222図、図版136・149・150)

位置：調査区の南東端、G-6 a・dグリッドに位置する。SK-401・403・424～427など、多くの縄文時代の土坑と重複する。北西20mにSI-17、南西25mに1号墳が位置する。規模と形状：平面形は東西6.1m、南北5.85mのほぼ方形。確認面から床面までの深さは概ね30cm、西壁際で36cm、東壁際で26cmである。主軸方向はN-85°-Eである。覆土：自然堆積で黒色土と黒褐色土の2層に分層した。柱穴：ピットは対角線上に4本確認された。大きさと床面から深さは、P1が径28cm、深さ108cm、P2が径25cm、深さ105cm、P3が径25cm、深さ95cm、P4が径24cm、深さ90cmである。柱穴間は3.6～3.7mである。カマド：東壁の中央から若干南側に位置し、ロームと砂利の混土で構築されている。煙道は壁外へ15cmほど突出する。袖は長さ120cm、幅120cmで、やや丸く作られている。焚口の袖の内壁は川原石を立てて補強している。甕は正位で掛けられた状態のものと、壊されて散乱したものが2個体出土している。火床には支脚と考えられる逆位に立てた高壺(19)が出土している。出土遺物：壺16点、甌1点、高壺3点、甕5点を図示した。主柱穴の外側、壁際からの出土が多く、壺・高壺はカマドのある東側に特に多い。甕はカマド内と北西及び北東コーナー付近の床面から正立状態で出土している。

SI-33 (第219・222図、図版137・150)

位置：調査区の南東端、H-3 b・cグリッドに位置する。西側は縄文時代のSK-629・630・633・634と重複する。南側10mほどに1・2号墳が位置する。規模と形状：東西4.6m、南北が西壁で5.2m、東壁が4.5mで、平面形はやや南北が長い歪んだ方形である。確認面から床面までの深さはほぼ20cm、北壁際で23cm、西壁際で16cmである。主軸方向はN-10°-Wである。覆土：トレンチャーレによる攪乱が多いが、IP粒を少量含む黒褐色土1層である。柱穴：ピットは6本確認された。大きさと床面から、深さはP1が46×50cm、深さ45cm、P2が30×28cm、深さ38cm、P3が25×25cm、深さ46cm、P4が33×30cm、深さ50cm、P5が35×36cm、深さ12cm、P6が23×24cm、深さ76cmである。P2がカマドの前面

を避けたため対角線上から外れるが、P1～P4の4本主柱と考えられる。P5・P6は壁に接し、P6は斜方向に掘り込まれている。カマド：北壁の北東コーナー寄りに構築されている。煙道は壁外へ85cmほどU字状に掘り込まれている。袖はロームと砂利の混土で構築されており、幅130cm、長さ70cmである。焚口および火床面の掘り込みは認められない。出土遺物：高壺と甌各1点、甕2点、臼玉1点を図示した。カマド内から高壺(1)と甌の下半部(4)、カマド西側から甌(2)と甌の上半(3)が出土している。臼玉(5)はP3北の覆土中から出土した。

第21表 SI-17出土土器観察表

| No. | 器種 | 計測値 | 出土状況 | 成形・調整の特徴 | 胎土・焼成 | 色調 | 遺存状況 | 写真図版 | 備考 |
|-----|----|---|-------------------------------------|---|----------------------------|----------------------------|--|------|-----------------------|
| 1 | 壺 | 口径:[12.4] 器高:(3.8) | 西側主柱穴間、 床面より20cm上、 破片 No.5 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ 内:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ、体部ヘラケズリ | 灰色微砂粒少量、 良好 | 外5YR7/6橙 内5YR8/4淡橙 | 1/5遺存 | — | 摩耗顯著 |
| 2 | 壺 | 口径:[12.4] 器高: 5.4 | カマド | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ 内:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ、体部ヘラケズリ | 黒色微砂粒多量、 白色微砂粒少量、 良好 | 外5YR5/6明赤褐 内2.5YR5/6明赤褐 | 口縁部1/8及び体 部遺存 | 149 | 口縁部及び内面赤彩痕、 内面摩耗顯著 |
| 3 | 壺 | 口径:13.4 器高: 6.0 | カマド | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ 内:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ、体部ヘラケズリ | 黒色微砂粒多量、 白色細砂粒少量、 良好 | 外5YR5/6明赤褐 内10R5/8赤 | 口縁部1/2、体部 2/5欠損 | 149 | 口縁部及び内面赤彩痕、 外面摩耗顯著 |
| 4 | 甌 | 口径:18.2 器高:15.7 孔径:2.5 | カマド右袖脇から 横転、No.2 | 外:ヘラナデ、ナデ 内:口縁ヨコナデ・体部ヘラケズリ、ヘラミガキ | 灰色微砂粒多量、 白色細砂粒少量、 良好 | 外2.5YR7/6橙 内2.5YR6/8橙 | 口縁部～体部上 方3/4欠損 | 149 | 内面下方整形凹凸残 |
| 5 | 甌 | 口径:18.0 胴径:25.6 器高:(22.1) | 北東主柱穴西床面 より10cm上倒立、 No.3・4 | 外:口縁ヨコナデ、頸部ヘラナデ・ヘラミガキ、胴部ヘラナデ・ヘラミガキ 内:口縁ヨコナデ・胴部ヘラナデ | 灰色細砂粒多量、 白色細砂粒少量、 良好 | 外5YR5/8明赤褐 内5YR6/6橙 | 口縁～胴部上半及 び胴部下半1/4遺 存 | 149 | 頸部及び胴部中央に黒 斑 |
| 6 | 甌 | 口径:[17.8] 胴径:[27.0] 器高:32.0 底径:8.0 | カマド内、 破片接合。No.1 | 外:口縁ヨコナデ、頸部ヘラミガキ、胴 部ヘラナデ、ナデ 内:口縁ヨコナデ・胴部ヘラケズリ、ヘ ラナデ | 灰色微砂粒多量、 白色細砂粒少量、 良好 | 外2.5YR5/8明赤褐 内5YR5/8明赤褐 | 口縁～胴部上半 1/2及び底部遺 存、胴部下半7/8 欠損 | — | |

第22表 SI-25出土土器観察表

| No. | 器種 | 計測値 | 出土状況 | 成形・調整の特徴 | 胎土・焼成 | 色調 | 遺存状況 | 写真図版 | 備考 |
|-----|----|---------------------|--------------------------------|--|---------------------------------|-----------------------------|------------------|------|-------------------------|
| 1 | 壺 | 口径:12.8 器高:5.2 | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ、ヘラミガキ 体部ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、白色細砂粒微量、良好 | 外5YR8/3淡橙 内2.5YR7/6橙 | 口縁部及び底部 1/6欠損 | — | 口縁部及び内面赤彩痕、摩耗顯著 |
| 2 | 壺 | 口径:14.1 器高:6.1 | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色、黒色細砂粒少量、 良好 | 外5YR7/3にぶい橙 内2.5YR7/6橙 | 口縁部5/6欠損 | — | 口縁部及び内面赤彩痕、摩耗顯著 |
| 3 | 壺 | 口径:13.8 器高:5.1 | 南壁際中央、床面 から20cm上正位、 No.5 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、やや不良 | 外5YR7/6橙 内2.5YR7/8橙 | 口縁部1/4欠損 | 150 | 底部黒斑 |
| 4 | 壺 | 口径:16.4 器高:(5.0) | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ、 | 灰色、黒色細砂粒少量、 白色細砂粒微量、やや不良 | 外2.5YR6/6橙 内2.5YR6/8橙 | 口縁～体部1/3遺 存 | — | 内外面摩耗顯著 |
| 5 | 壺 | 口径:12.6 器高:6.0 | P3西、床面から 20cm上、No.4 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色、黒色細砂粒少量、 白色細砂粒微量、良好 | 外2.5YR6/6橙 内2.5YR6/8橙 | 口縁部1/4欠損 | 150 | 底部ヘラケズリ 整形痕顯著 |
| 6 | 壺 | 口径:13.0 器高:4.4 | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色、黒色細砂粒少量、 白色細砂粒微量、良好 | 外2.5YR6/6橙 内2.5YR5/6明赤褐 | 1/4遺存。 | — | 口縁部及び内面赤彩痕、内面摩耗顯著 |
| 7 | 壺 | 口径:13.8 器高:5.8 | 覆土中 | 外:口縁ヘラミガキ、体部ヘラナデ? 内:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、赤色 細砂粒微量、やや不良 | 外5YR7/4にぶい橙 内7.5YR8/3浅黄橙 | 3/4遺存。 | — | 内外面摩耗顯著 |
| 8 | 壺 | 口径:14.4 器高:(5.0) | 北西隅、床面から 20cm上破片、No.10 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色、黒色細砂粒少量、 白色細砂粒微量、良好 | 外7.5YR5/2灰褐 内7.5YR4/2灰褐 | 口縁～体部1/3遺 存 | — | 内外面赤彩痕、 摩耗顯著 |
| 9 | 壺 | 口径:12.4 器高:5.3 | 南東隅、床面斜正 立、No.23 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、白色、 黒色細砂粒微量、良好 | 外5YR5/6明赤褐 内5YR7/4にぶい橙 | 口縁～体部上半 1/3欠損 | 150 | 口縁部及び内面赤彩痕、内面摩耗顯著 |
| 10 | 壺 | 口径:14.1 器高:5.4 | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、良好 | 外5YR5/6明赤褐 内10R5/8赤 | 口縁部3/4欠損 | — | 内面赤彩 |
| 11 | 壺 | 口径:14.2 器高:(5.9) | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ・ヘラミガキ 体部ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ、 | 灰色細砂粒少量、良好 | 外2.5YR6/4にぶい橙 内5YR7/6橙 | 口縁部1/4及び底 部欠損 | — | 内外面摩耗顯著 |
| 12 | 壺 | 口径:15.2 器高:(7.3) | 覆土中 | 外:ヘラミガキ? 内:ヘラミガキ? | 灰色細砂粒少量、やや不良 | 外2.5YR6/8橙 内5YR6/6橙 | 口縁～体部上半 1/4欠損 | — | 内外面摩耗顯著 |
| 13 | 壺 | 口径:12.4 器高:5.1 | 北東隅、床面破片 散乱、No.24 | 外:口縁ヨコナデ 体部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラミガキ | 灰色細砂粒・白色砂粒少 量、黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR6/6橙 内2.5YR6/8橙 | 1/3遺存 | — | 内外面摩耗顯著 |
| 14 | 壺 | 口径:14.0 器高:4.9 | P2脇、床面から7 cm上、No.16 | 外:口縁ヘラミガキ、体部ヘラケズリ・ ヘラナデ 内:口縁ヨコナデ 体部ヘラナデ・ヘラ ミガキ、 | 灰色細砂粒少量、良好 | 外7.5YR6/2灰褐 内7.5YR6/1褐灰 | 口縁部1/2欠損 | 150 | 内外面摩耗顯 著、口縁部塗仕 上げ |
| 15 | 壺 | 口径:13.0 器高:4.8 | 中央西寄り、床面 から7cm上、No.8 | 外:口縁ヘラミガキ、体部ヘラナデ・ヘ ラミガキ 内:口縁ヘラミガキ、体部ヘラナデ・ヘ ラミガキ | 灰色細砂粒少量、良好 | 外7.5YR5/2灰褐 内7.5YR6/2灰褐 | 3/4遺存。 | 150 | 漆仕上げ? |

| | | | | | | | | | |
|----|-----|---|---------------------------------|--|---------------------------------|--------------------------------|----------------------|-----|--------------------|
| 16 | 坏 | 口径:19.4 器高:(6.0) | 北壁際西寄り北、 床面から25cm上、 No.13 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ・ヘ ラナデ 内:口縁ヨコナデ、体部ヘラナデ・ヘラ ミガキ | 灰色細砂粒少量、白色・ 黒色細砂粒微量、良好 | 外2.5YR5/8明赤褐 内2.5YR6/6橙 | 口縁~体部1/5遺 存。 | — | 内面赤彩、摩耗 顯著 |
| 17 | 鉢 | 口径:12.5 器高:(10.0) | 覆土中 | 外:口縁ヨコナデ 内:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ | 灰色細砂粒少量、白色細 砂粒微量、良好 | 外2.5YR5/6赤 内2.5YR6/6橙 | 口縁~体部上半の み遺存 | 150 | 二次焼成。外面 は荒れている。 |
| 18 | 高坏 | 口径:12.6 器高:(11.2) | P3南西、床面から 15cm上横転、No.3 | 外:口縁ヘラミガキ・ヨコナデ、体部ヘ ラミガキ・脚部ヘラナデ・ナデ 内:坏部ヘラミガキ、裾部ヘラナデ・ナデ | 灰色細砂粒・白色砂粒少 量、黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR5/8明赤褐 内2.5YR4/6赤褐 | 坏部2/3、裾部大 半欠損 | 150 | 坏部内面光沢 をおびる |
| 19 | 高坏 | 口径:17.4 器高:11.0 器高:13.2 | カマド内倒立(支 脚)、No.3・4 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ・脚 部ヘラナデ・ナデ、裾部ヘラミガキ・ 端部ヨコナデ 内:坏部ヘラミガキ、裾部ヘラナデ・ナデ | 白色細砂粒少量、灰色・ 黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR5/6明赤褐 内2.5YR5/8明赤褐 | ほぼ完存 | 150 | 坏部内面光沢 をおびる |
| 20 | 高坏 | 口径:12.6 器高:(9.1) | カマド北側、床面 直上横転、No.19 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラミガキ・脚 部ヘラナデ・ナデ 内:坏部ヘラミガキ | 灰色細砂粒少量、良 好 | 外2.5YR8/4淡橙 内2.5YR8/3淡橙 | 口辺1/2及び裾部 欠損 | 150 | |
| 21 | 手捏ね | 口径:9.0 器高:6.0 底径:6.0 | 覆土中 | 内外面ヘラナデ・ナデ | 灰色・黒色細砂粒少 量、城色砂粒微量、良 好 | 外2.5YR6/4にぶい橙 内2.5YR6/4にぶい橙 | 口縁~体部1/2欠 損 | 150 | 頸部粘土紐接 合痕顯著 |
| 22 | 手捏ね | 口径:6.4 器高:1.9 | P3南西、床面から 20cm上、No.2 | 内外面ナデ | 灰色・白色細砂粒少 量、黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR5/6明赤褐 内2.5YR5/6明赤褐 | 完存 | 150 | 口縁部はやや凹 凸あり |
| 23 | 甕 | 口径:14.4 胴径:19.3 器高:21.3 底径:7.2 | 南壁際東寄り、床 面正位。 | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ナデ 内:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ | 灰色・白色細砂粒少 量、黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR6/4にぶい橙 内2.5YR6/4にぶい橙 | 口縁部1/5欠損 | 149 | 胴部中央につい の黒斑 |
| 24 | 甕 | 口径:14.8 胴径:18.0 器高:20.0 底径:6.5 | カマド南、東壁際 床面正位、No.22 | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ナデ 内:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ | 灰色細砂粒多量、白色・ 黒色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR7/6橙 内2.5YR7/6橙 | 口縁部1/2、胴部 1/5欠損 | 149 | 二次焼成。外面 は荒れている。 |
| 25 | 甕 | 胴径:18.3 器高:(17.8) 底径:7.8 | カマド内正位 | 外:頸部ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ナデ 内:胴部ヘラナデ | 灰色・白色砂粒多量、黒 色細砂粒微量、良 好 | 外2.5YR5/6明赤褐 内2.5YR6/4にぶい橙 | 底部~胴部2/3遺 存 | — | 二次焼成。外面 は荒れている。 |
| 26 | 甕 | 口径:15.0 胴径:27.0 器高:29.2 底径:7.0 | カマド内破片散 乱、No.18 | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・上半 一部ヘラミガキ 内:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ | 灰色細砂粒多量、白色砂 粒少量、良 好 | 外2.5YR7/6橙 内2.5YR7/6橙 | 口縁部及び胴部上 半1/2欠損 | 149 | 口縁部摩耗顯 著 |
| 27 | 甕 | 口径:18.6 胴径:25.6 器高:26.2 底径:6.8 | 北東隅、床面正 位、No.3(20) | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ナデ 内:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ | 灰色細砂粒・白色砂粒少 量、良 好 | 外2.5YR5/4にぶい赤褐 内2.5YR6/8橙 | 口辺部1/2、胴部 上半1/5欠損 | 149 | 内外面荒れてい る |

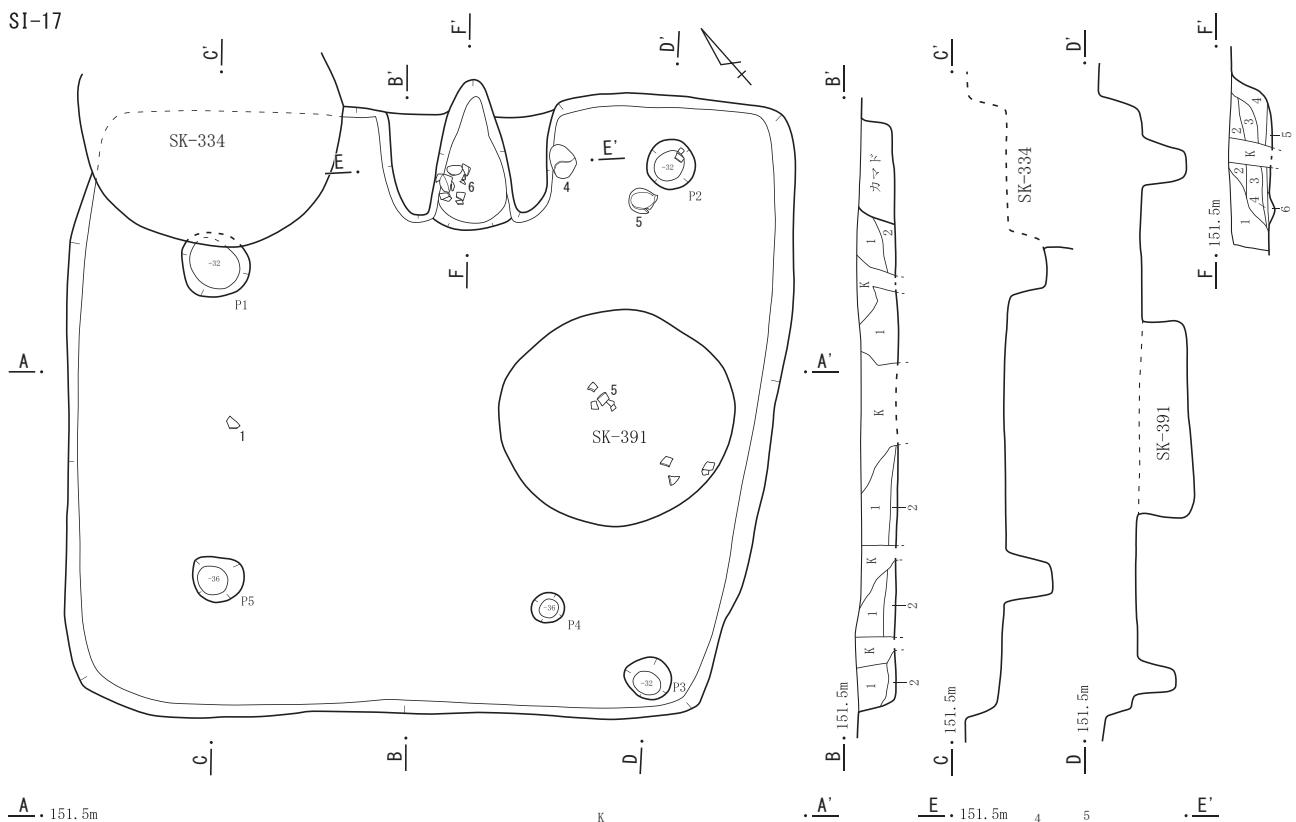
第23表 SI-33出土土器観察表

| No. | 器種 | 計測値 | 出土状況 | 成形・調整の特徴 | 胎土・焼成 | 色調 | 遺存状況 | 写真図版 | 備考 |
|-----|----|-----------------------------------|---------------------|---|----------------------------|-----------------------------|--------------------|------|-------------------|
| 1 | 高坏 | 口径:11.6 器高:(8.6) | カマド内 | 外:口縁ヨコナデ、坏下~脚部ヘラナデ・ナデ 内:坏部ヘラナデ、裾ユビ押え・ヘラナデ | 白色及び灰色細砂粒多量、良 好 | 外2.5YR6/8橙 内2.5YR7/4にぶい橙 | 裾部欠損 | 150 | 外面は被熱によ り荒れている |
| 2 | 甕 | 口径:26.4 器高:25.6、 孔径:9.4 | カマド西側北陰際 床面、No.1 | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ナデ 内:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ・ヘラ ミガキ | 白色及び灰色細砂粒多量、良 好 | 外2.5YR6/8橙 内2.5YR6/8橙 | 1/4欠損 | 150 | 外面下方は荒れ ている |
| 3 | 甕 | 口径:[20.0] 胴径:29.0 器高:(16.5) | カマド西側北陰際 床面、No.1 | 外:口縁ヨコナデ、胴部ヘラナデ、上半 一部ヘラミガキ 内:胴部ヘラナデ | 白色及び灰色細砂粒少 量、良 好 | 外2.5YR7/6橙 内2.5YR5/6明赤褐 | 口縁部1/8、胴部 1/2遺存 | — | 口縁部内面荒れ ている |
| 4 | 甕 | 口径:29.4 器高:(15.5) 底径:7.2 | カマド内 | 外:ヘラナデ・ナデ 内:ヘラナデか | 白色細砂粒多量、灰色 細砂粒少量、良 好 | 外2.5YR6/8橙 内2.5YR5/1赤灰 | 胴部下半~底部 2/3遺存 | — | 内面は荒れてい る |

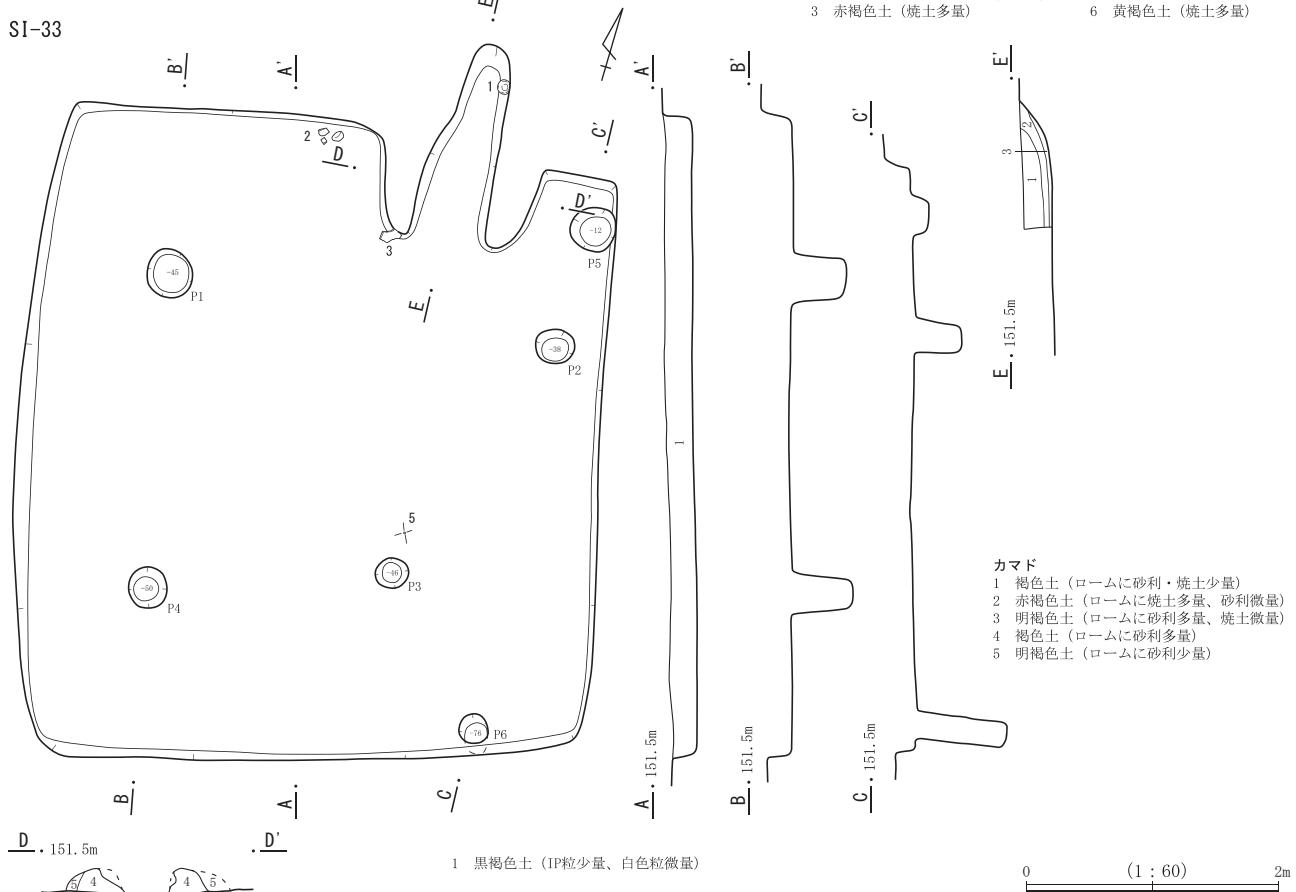
第24表 壁穴住居跡出土玉類観察表

| 出土遺構-No. | 種別 | 出土状況 | 計測値(長さcm、重さg) | 材質 | 挿図No. | 写真図版 | 備考 |
|----------|----|----------|-------------------------------------|----|-------|------|------|
| SI-17-7 | 勾玉 | カマド右袖前床面 | 縦:2.2 横:1.0 厚さ:0.7 孔径:0.1~0.2 重さ2.3 | 土製 | 221 | 151下 | |
| SI-17-8 | 勾玉 | カマド左袖前床面 | 縦:3.0 横:1.0 厚さ:0.9 孔径:0.1 重さ3.1 | 土製 | 221 | 151下 | |
| SI-17-9 | 勾玉 | 住居中央南床面 | 縦:(2.3) 横:0.9 厚さ:0.8 孔径:— 重さ(2.0) | 土製 | 221 | 151下 | 両端欠損 |
| SI-33-5 | 臼玉 | 中央南東寄り覆土 | 縦:0.9 横:0.9 厚さ:0.4 孔径:0.1 重さ0.4 | 滑石 | 222 | — | |

SI-17

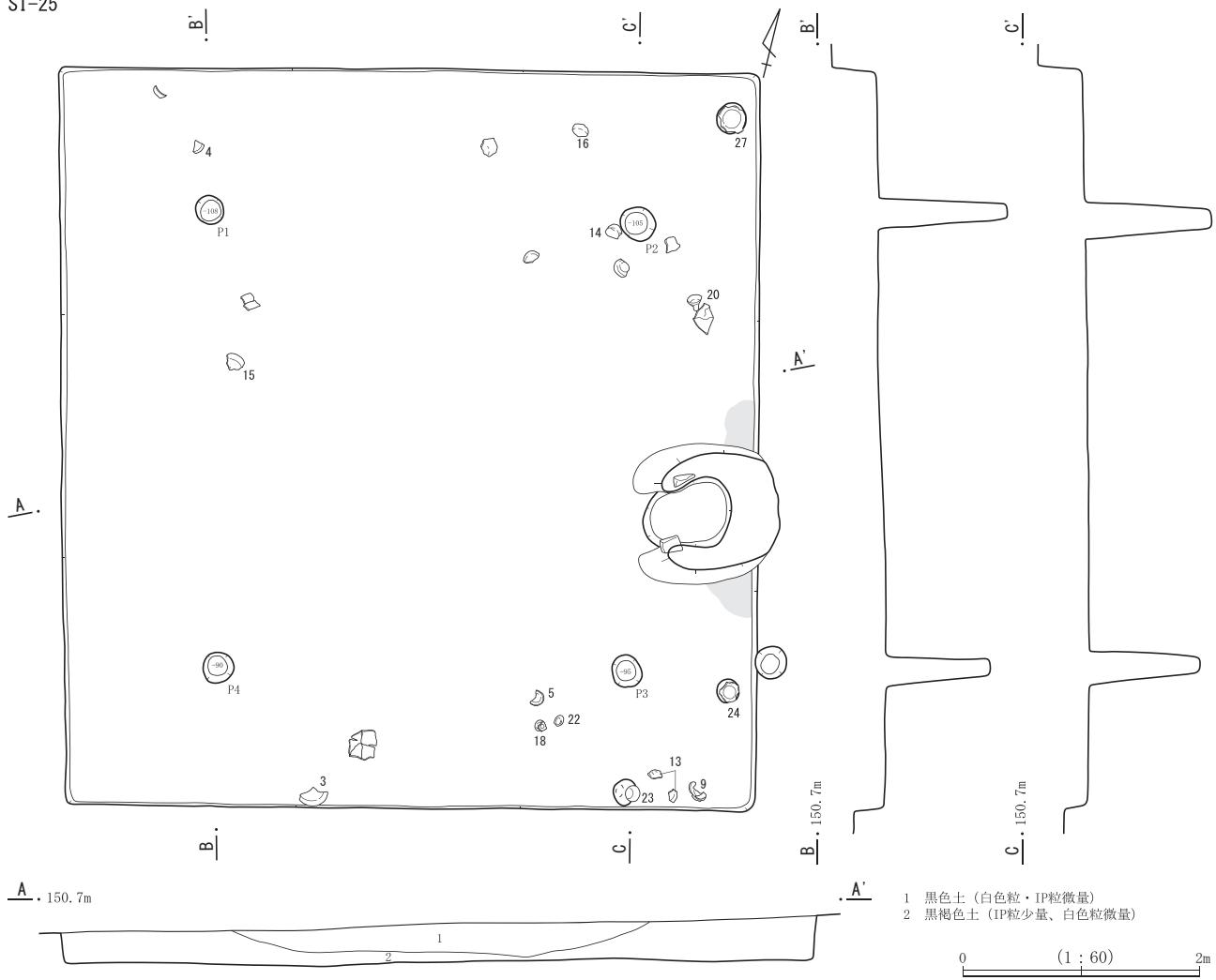


SI-33

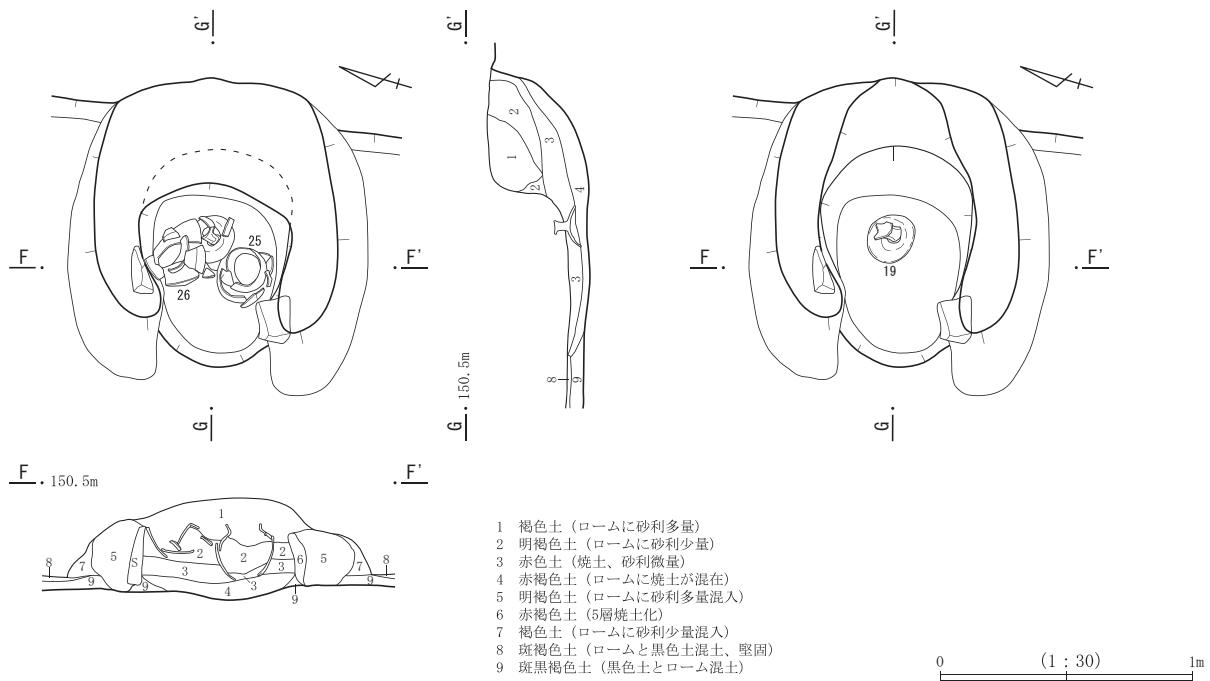


第219図 SI-17・33実測図

SI-25

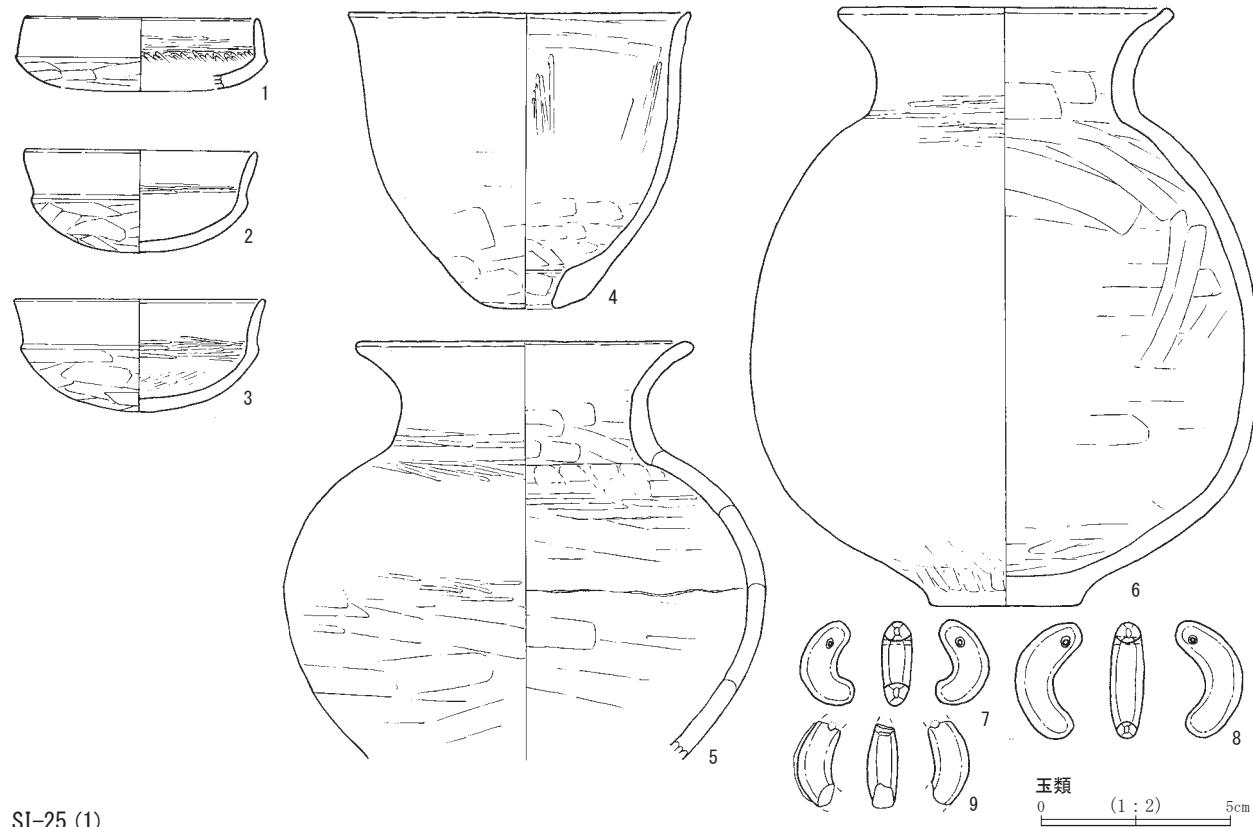


SI-25カマド

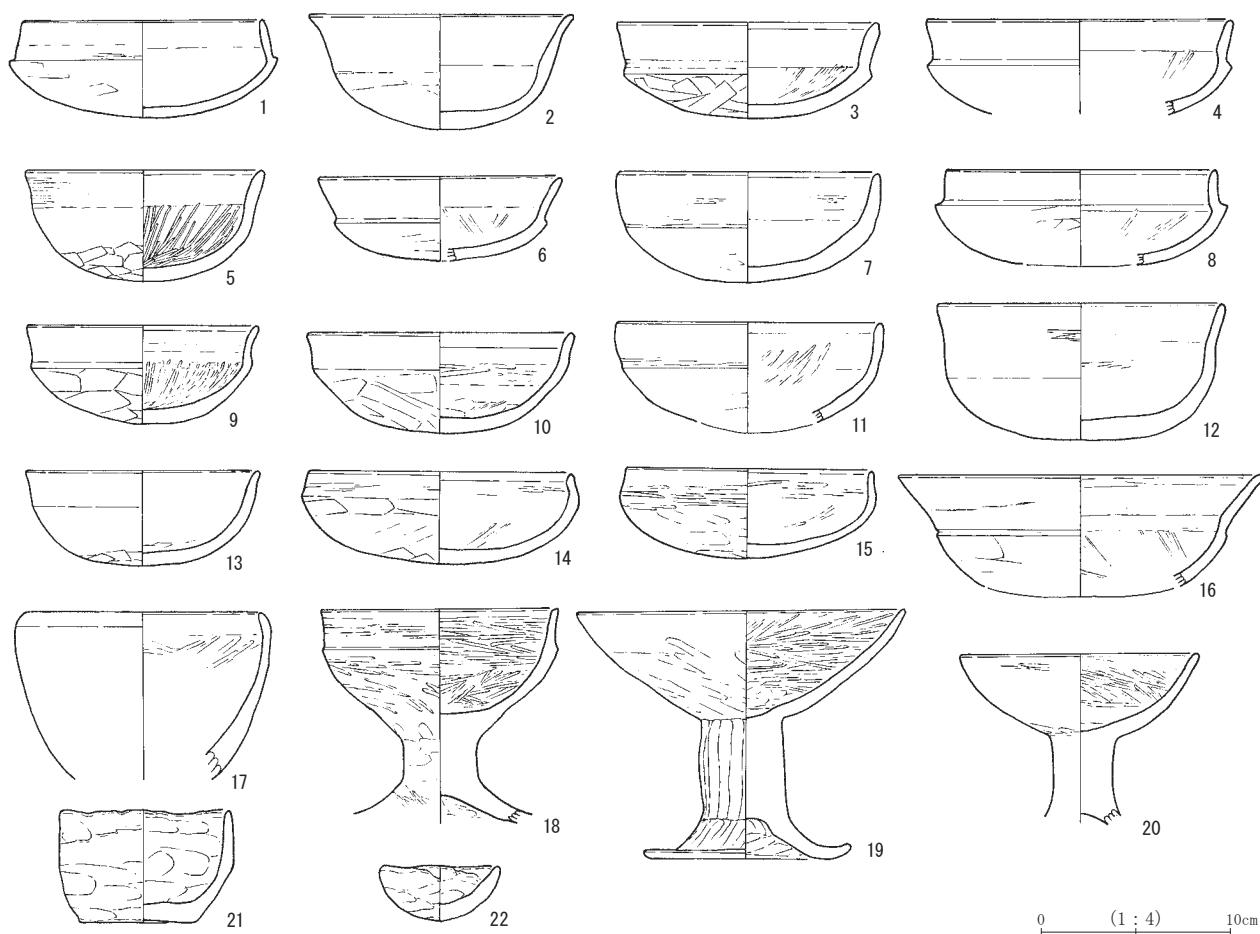


第220図 SI-25実測図

SI-17

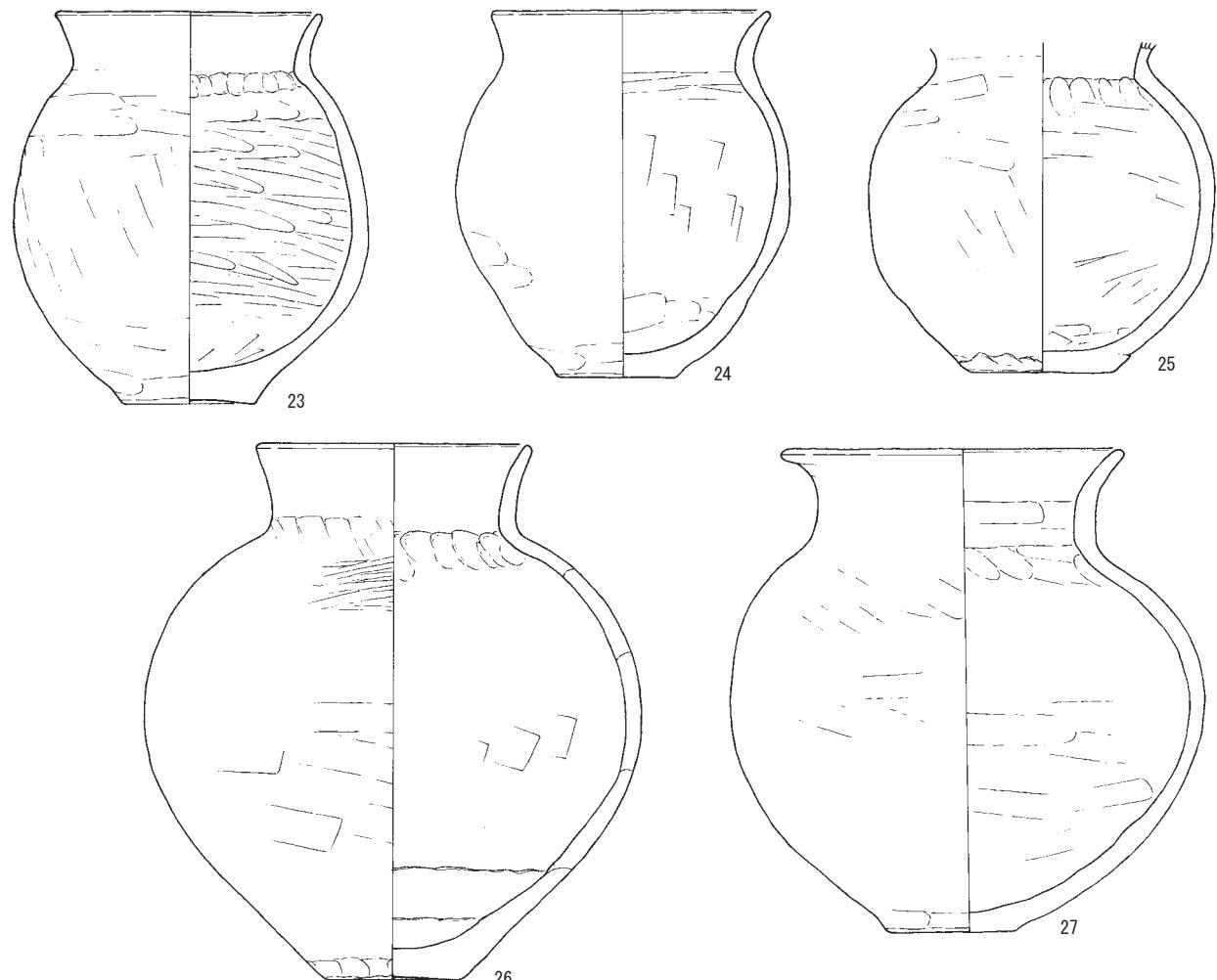


SI-25 (1)

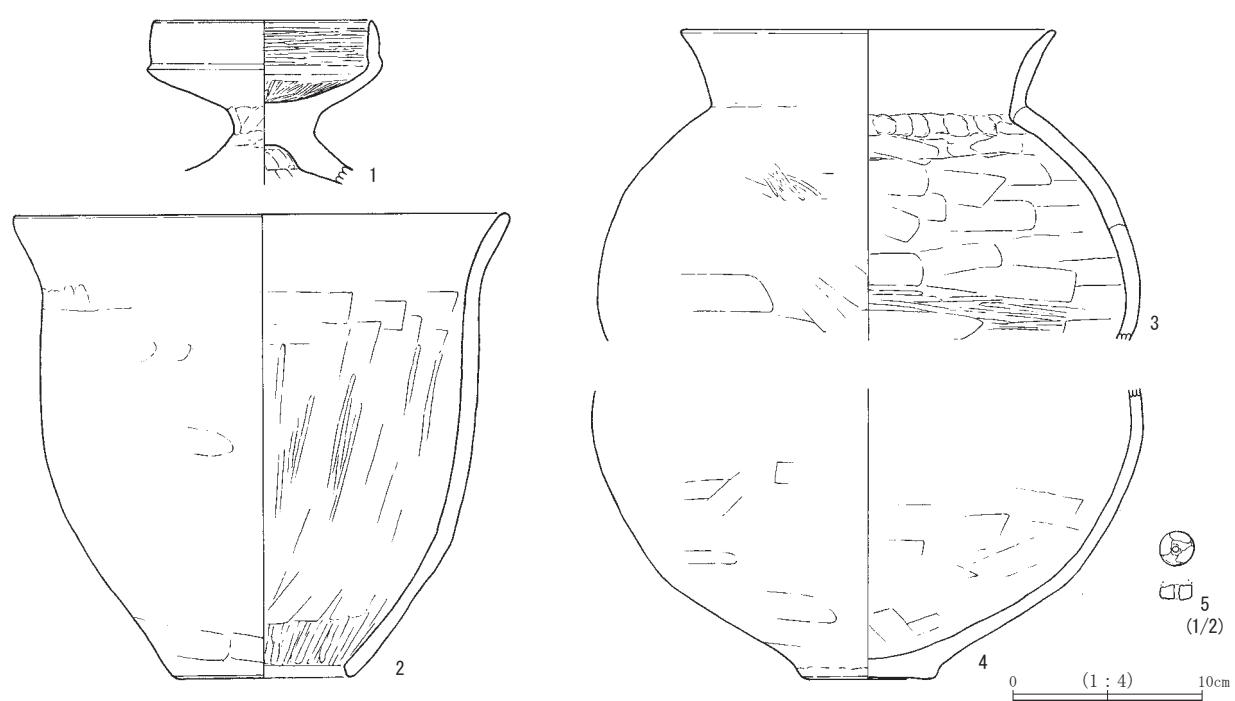


第221図 SI-17・25(1) 出土遺物実測図

SI-25 (2)



SI-33



第222図 SI-25(2)・33 出土遺物実測図

(2) 古墳

古墳は、縄文中期の竪穴住居跡や土坑が濃密に分布している調査区南側の中央から南西端にかけて2基確認した。横穴式石室と周溝の一部を検出したが、いずれも削平が著しく遺存状況は良くない。両古墳の間隔は現況の周溝外縁で6mほどであるが、削平以前はもっと狭かったと考えられる。

1号墳（第223・224・225・227図、図版137～144・151・152）

位置：調査区南端中央、I-4 グリッドに位置する。墳丘盛土は削平されており、西側周溝と横穴式石室の下方が残るのみである。南側は調査区外となる。50基以上の土坑、3軒の竪穴住居跡が重複する。

規模・墳形：石室を中心として残っている周溝から推定すると墳径23mほどの円墳と考えられる。

周溝：西側が長さ15mほど残るのみである。最も残りの良い部分で上場幅2.8m、下場幅2.3mで、確認面からの深さは30cmである。底面は平坦で、立ち上がりは墳丘側が約50°であるが、外側は約80°で傾斜がきつい。覆土は自然堆積で、ローム粒を多く含む暗褐色土が壁際に堆積した後、黒色土で埋まっている。

主体部：古墳中央から凝灰岩切石で構築された横穴式石室が検出されている。主軸方向はN-8°-Wである。石室部分はSK-474・475・477・488と重複する。石室底面から40～50cm上は削平されている。玄室は底面で長さ318cm、幅は奥壁側で150cm、中央で170cm、羨門付近で150cmを測り、わずかに胴張の長方形の形態となる。奥壁は凝灰岩の幅の広い大きな切り石の一枚岩、幅165cm、厚さ30cm、高さ60cmほど残る。側壁は幅100～30cm、厚さ40～20cmの凝灰岩の切り石を切組積みしている。奥壁及び側壁の根石を据えるため浅い窪みが認められる。断面図からもわかるように上方がやや内傾させて設置している。底面は凝灰岩の割石を敷き、隙間には凝灰岩の小破片を詰めている。羨道側の框石は西側のみ残る。その南側は幅135cm、長さ60cmほどの狭い前室で、西側のみ玄室から延びる切石の側石が残る。大きな閉塞石と思われる凝灰岩が散乱している。掘り方は長さ430cm、幅315cmの長方形である。裏込めはロームと今市軽石、今市軽石主体、今市軽石と粘土の層が層状に堆積している。

墓道：SI-29・SK-476と重複する。玄室から長さ2.3mほど確認した。幅70～75cm（調査区境のSI-29の断面では表土下で幅100cm、深さ55cm）で、断面は逆台形状である。石室に向かい緩やかに傾斜して深くなる。最下層の今市軽石を多量含む黒色土は硬く締まっている。その上は白色粘土や凝灰岩破片、それらを含む黒色土が層状に堆積している。

遺物：石室内からは、直刀、刀子、鉄鏃各1点、塗錫された環状鉄製品2点、勾玉4点、臼玉1点が出土した。直刀と勾玉・臼玉は奥壁西側、鉄鏃は西壁際中央、環状鉄製品は東壁際中央から出土している。ほかは土師器の壺と甕の小破片各1点が周溝中から出土したのみである。

2号墳（第223・226・227図、図版145～148・151）

位置：南側は調査区外となる。50基以上の土坑、3軒の竪穴住居跡が重複する調査区南西端、I-2b・c、I-3a・d グリッドに位置する。1号墳同様、墳丘盛土は削平されている。北東周溝と横穴式石室が残るのみである。縄文時代中期の3軒の竪穴住居跡、20基以上の土坑と重複している。

規模・墳形：石室を中心として残っている周溝から推定すると墳径20mほどの円墳と考えられる。調査範囲は古墳の北東部、全体の1/3ほどである。

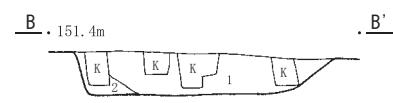
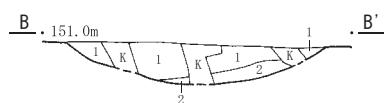
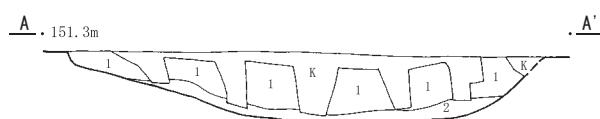
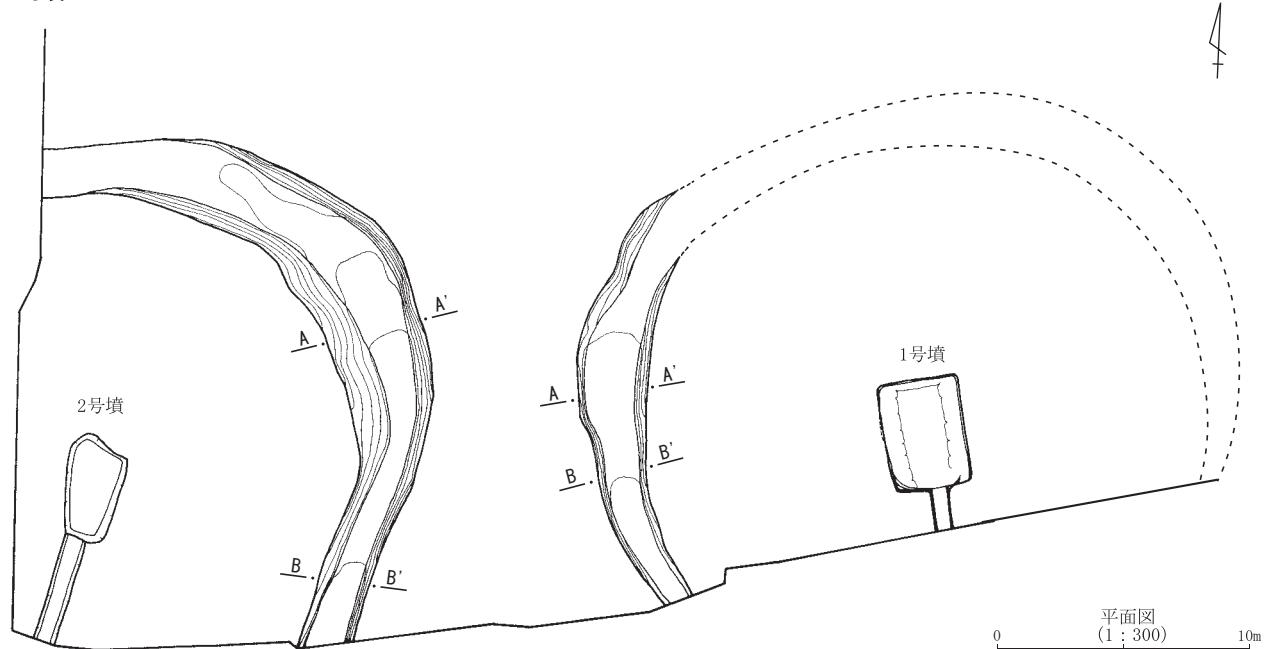
周溝：北側がほぼ削平されているが、東側は残っている。北西で3.7m、深さ55cm、東側で幅2m、深さ30cmである。底面は緩やかに湾曲しており、なだらかに立ち上がる。最も幅の広い北東部で、立ち上がりは内側の墳丘側が約15°、外側は約40°で1号墳同様、墳丘側より外側が傾斜はきつい。覆土は自然堆積で、1号墳同様ローム粒を多く含む暗褐色土が壁際に堆積した後、黒色土で埋まっている。

主体部：大半が縄文時代の竪穴住居跡SI-36と重複する。たくさんの凝灰岩の切り石や破片が出土しており、1号墳同様横穴式石室と考えられるが、原位置をとどめているものがなく不明である。主軸方向はN-16°-Eである。掘り方は長さ490cm（下場365cm）、幅は奥壁側で240cm（下場180cm）、入口側で130cm（下場90cm）、奥壁側が広い縦長の隅丸台形である。確認面からの深さは60cm、底面は平坦で、立ち上がりは奥壁側の側面がややなだらかである。墓道との比高は25cmである。

墓道：幅80～85cmで玄室から4.3mほど確認した。確認面からの深さ26cm、底面はほぼ平坦で壁はほぼ垂直に立ち上がる。玄室から2.1m南側は20cmほど深く掘られている。石室に近い方の覆土には凝灰岩破片や白色粘土が多く含まれる

遺物：墓道の底面から20cmほど浮いて完形の土師器甕が横転状態で出土している。ほかに周溝覆土中から壺の破片3点、甕の口縁部破片1点、垂飾1点が出土している。垂飾はコハク製で、両端を欠くため全形は不明であるが幅1cm、厚さ0.4cmで、断面レンズ状で穿孔が施されている。周溝は多くの縄文時代の土坑と重複しており、古墳に伴うものか検討を要する。

1・2号墳



2号墳周溝

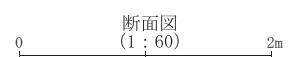
A-A'
1 黒色土 (IP粒・白色粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

B-B'
1 黒褐色土 (IP粒・白色粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒少量、白色粒微量)

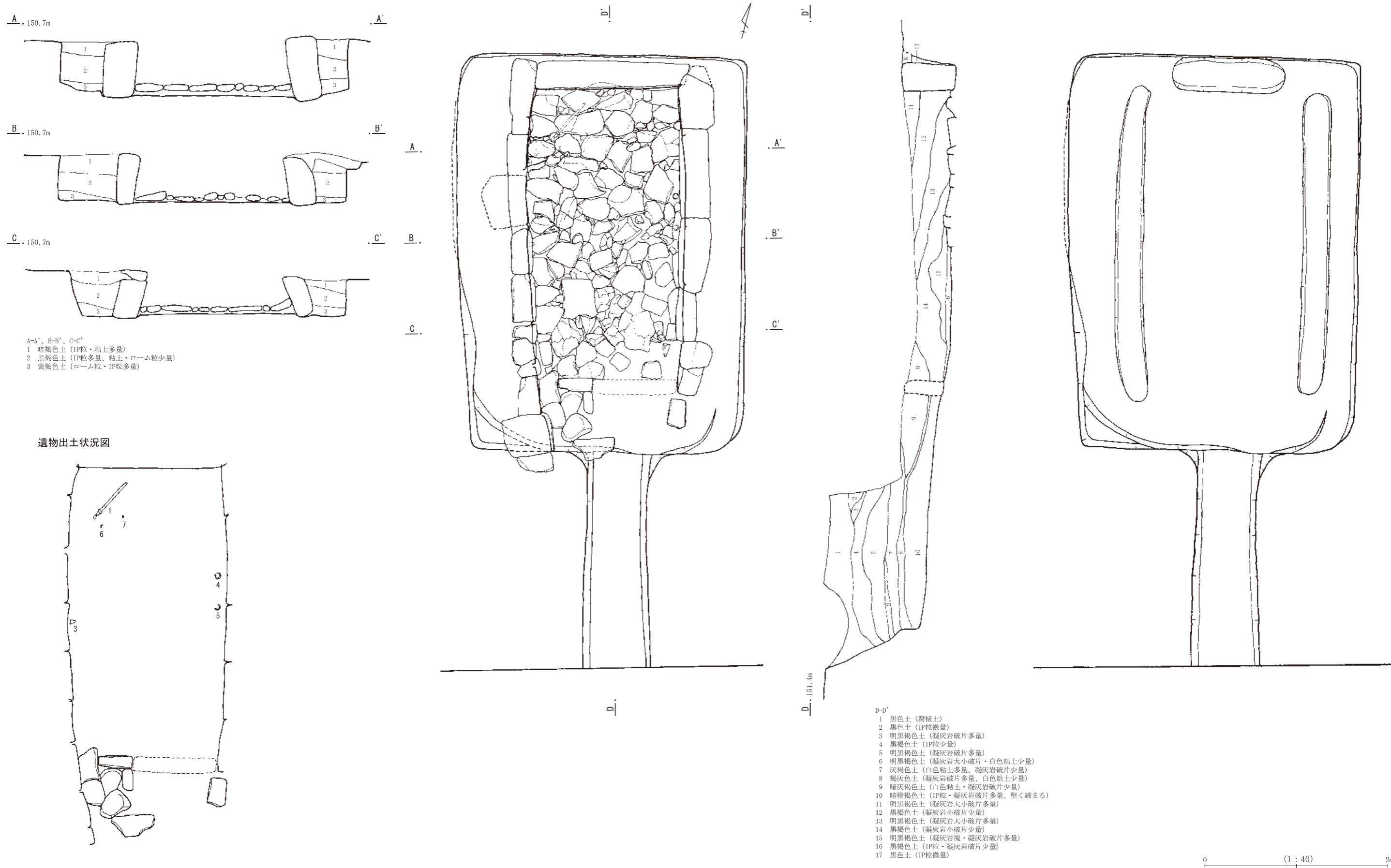
1号墳周溝

A-A'
1 黒褐色土 (IP粒微量)
2 暗褐色土 (ローム粒多量、IP粒少量)

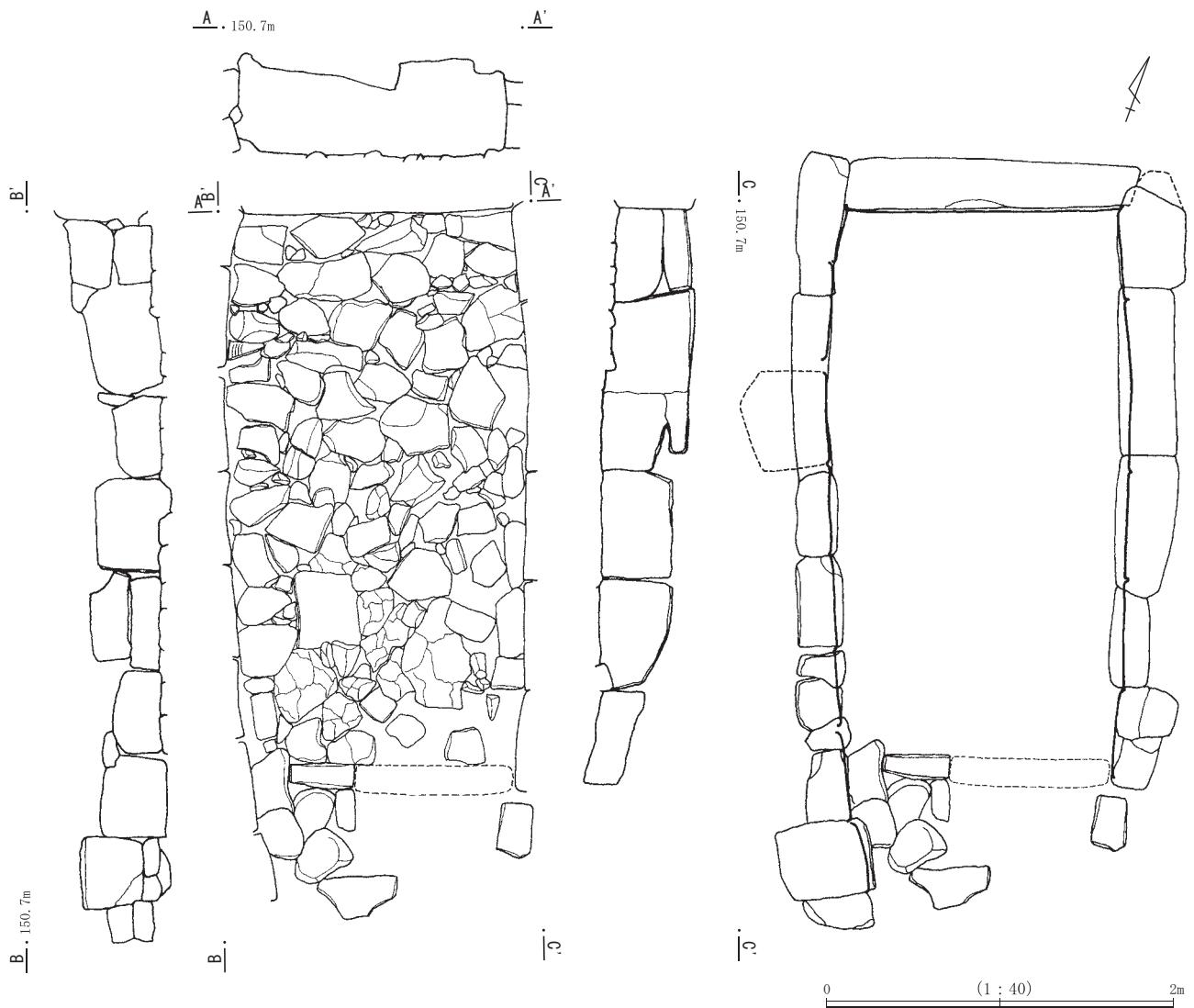
B-B'
1 黒色土 (IP粒微量)
2 黒褐色土 (ローム粒・ローム塊多量、IP粒少量)



第223図 1・2号墳全体図及び周溝断面図

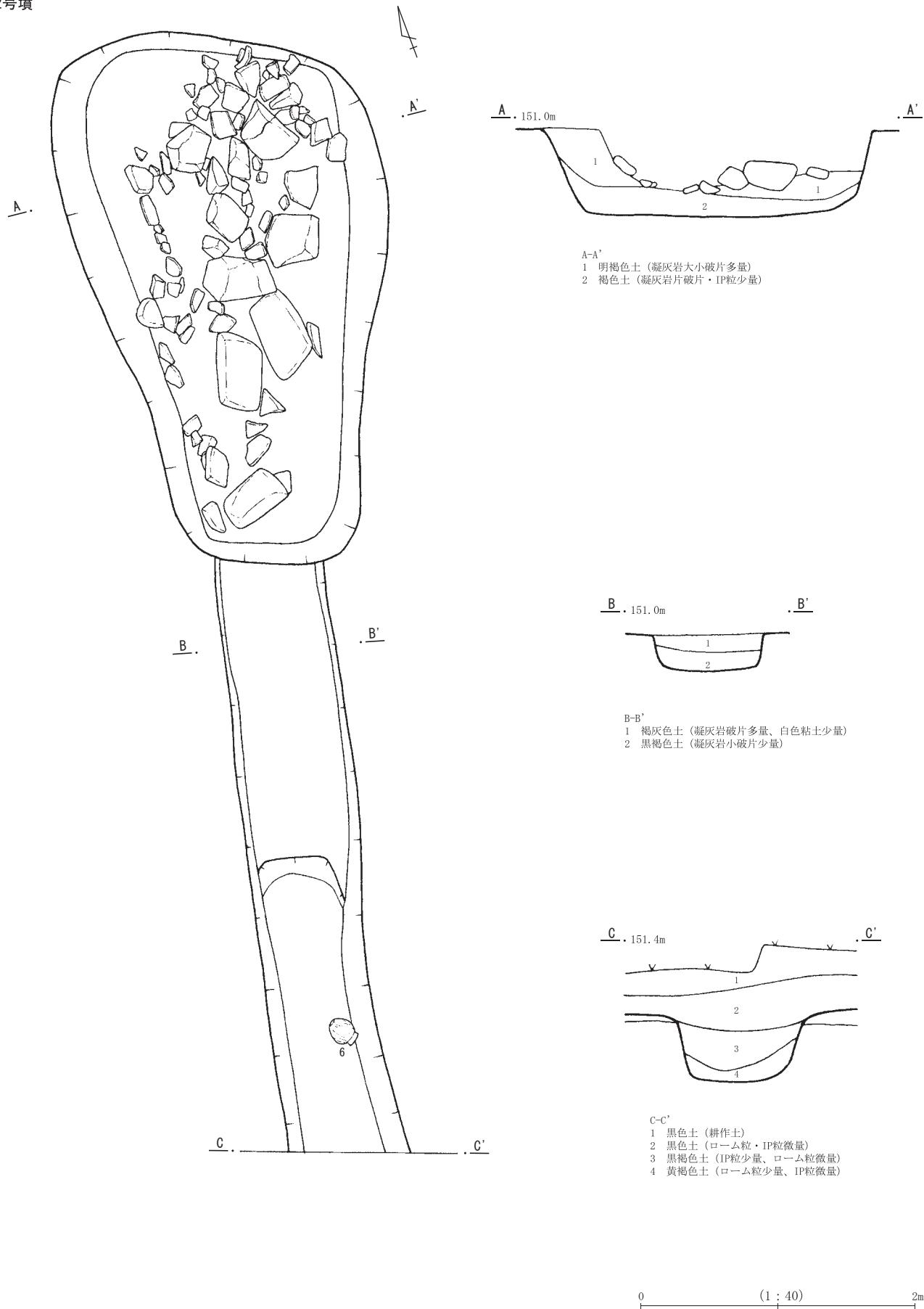


第224図 1号墳石室及び墓道実測図



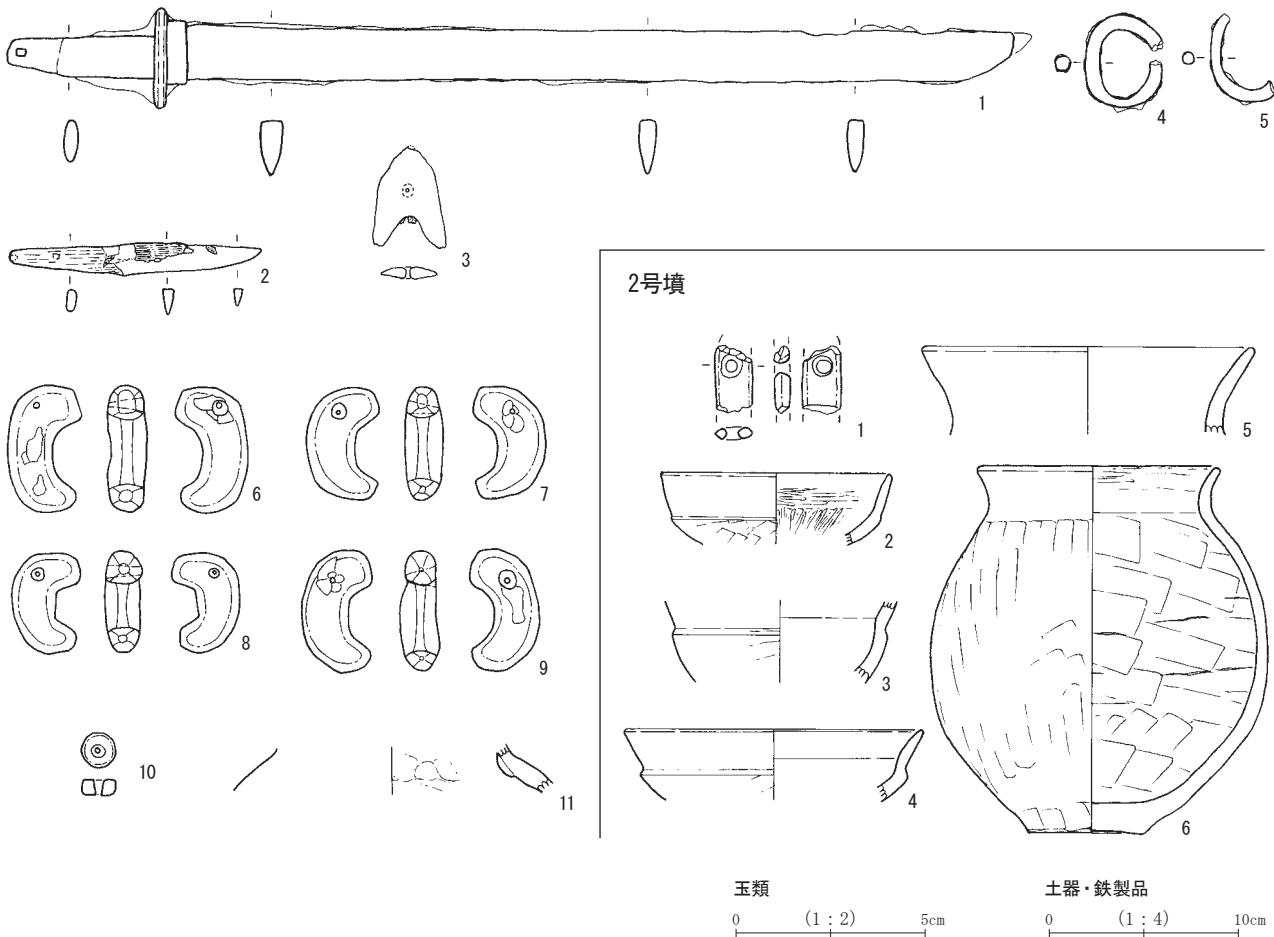
第225図 1号墳石室展開図及び根石実測図

2号墳



第226図 2号墳主体部及び墓道実測図

1号墳



第227図 1・2号墳出土遺物実測図

第25表 古墳出土土器観察表

| 出土遺構-No. | 器種 | 法量 | 出土状況 | 成形・調整の特徴 | 胎土・焼成 | 色調 | 遺存状況 | 写真図版 | 備考 |
|----------|----|---|-----------------------------|--|--------------------|-------------------------|----------------|------|-------------|
| 1号墳-11 | 壺 | 頸径:[12.4] | 覆土破片出土 | 外:ヘラナデ、内:粘土紐接合部ユビ押え | 黒色微砂粒少量、白色微砂粒微量、良好 | 外5YR6/6橙 内2.5YR6/6橙 | 頸部小破片 | — | |
| 2号墳-2 | 壺 | 口径:[12.4] 器高:(3.8) | 覆土破片出土 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内:ヘラミガキ | 白色微砂粒少量、黒色砂粒微量、良好 | 外10R4/8赤 内10R4/8赤 | 1/5遺存 | — | 外面赤彩 |
| 2号墳-3 | 壺 | 肩径:[12.4] 器高:(4.5) | 覆土破片出土 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内:— | 黒色微砂粒少量、赤色砂粒微量、良好 | 外10R6/8赤橙 内2.5YR7/8橙 | 小破片 | — | 内面剥落顯著 |
| 2号墳-4 | 壺 | 口径:[16.0] 器高:(3.7) | 覆土破片出土 | 外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内:ヘラナデ | 白色微砂粒少量、灰色砂粒微量、良好 | 外10R5/8赤 内10R5/8赤 | 小破片 | — | 内面及び口縁部外面赤彩 |
| 2号墳-5 | 甕 | 口径:[17.6] 器高:(4.8) | 覆土破片出土 | 外:ヨコナデ、内:ヘラナデ・ヨコナデ | 黒色微砂粒少量、白色微砂粒微量、良好 | 外2.5YR6/8橙 内5YR7/6橙 | 口縁部小破片 | — | |
| 2号墳-6 | 甕 | 口径:13.0 胸径:18.0 器高:19.5 底径:(6.2) | 羨道部底面10cm 上から横転 状態で出土 | 外:口縁ヨコナデ、胸部ヘラケズリ・ヘラナデ 内:口縁ヘラナデ、胸部ヘラナデ | 黒色彩砂粒多量、白色細砂粒少量、良好 | 外2.5YR6/8橙 内5YR2/1黒褐 | 口縁部1/2、胸部1/4欠損 | 151 | |

第26表 古墳出土鉄製品・玉類観察表

| 出土遺構-No. | 種別 | 出土状況 | 素材 | 計測値(長さcm、重さg) | 写真図版 | 備考 |
|----------|-------|---------------|-----|--|------|--------------------|
| 1号墳-1 | 直刀 | 石室内 | 鉄 | 全長(53.4) 刀部長さ(43.8) 幅2.8~2.9 厚さ0.9~1.2 鍔5.3×4.5 柄長さ7.8 目釘孔0.6×0.4 重さ472 | 152 | 切先1cmほど欠く |
| 1号墳-2 | 刀子 | 石室内 | 鉄 | 長さ13.5 幅1.6 厚さ0.7 重さ18 | 152 | 木質一部残存 |
| 1号墳-3 | 鎌 | 石室内 | 鉄 | 長さ(5.4) 幅3.8 厚さ0.6 重さ13 | 151上 | 先端を欠く |
| 1号墳-4 | 環状鉄製品 | 石室内 | 鉄 | 長さ5.0 幅0.8 厚さ0.8 重さ38 | 151上 | 塗錫 |
| 1号墳-5 | 環状鉄製品 | 石室内 | 鉄 | 長さ(4.7) 幅0.6 厚さ0.6 重さ24 | 151上 | 1/3欠損、破片1(接合不可)、塗錫 |
| 1号墳-6 | 勾玉 | 石室内6~9まとまって出土 | メノウ | 縦:3.4 横:1.2 厚さ:0.9 孔径:0.1~0.4 重さ7.2 | 151下 | |
| 1号墳-7 | 勾玉 | | メノウ | 縦:3.0 横:1.3 厚さ:1.0 孔径:0.1~0.6 重さ6.6 | 151下 | |
| 1号墳-8 | 勾玉 | | メノウ | 縦:2.7 横:1.2 厚さ:0.9 孔径:0.1~0.3 重さ5.6 | 151下 | |
| 1号墳-9 | 勾玉 | | メノウ | 縦:3.2 横:1.7 厚さ:(0.9) 孔径:0.1~0.7 重さ6.8 | 151下 | |
| 1号墳-10 | 臼玉 | 石室内 | 碧玉 | 縦:0.9 横:0.9 厚さ:0.4 孔径:0.1~0.4 重さ0.5 | — | |
| 2号墳-1 | 垂飾 | 周溝覆土上面 | コハク | 縦:(1.7) 横:1.0 厚さ:0.4 孔径:0.3~0.6 重さ(3.0) | 151上 | 両端欠損、縄文時代か |

第4章 まとめ

1. 旧石器時代

遺構確認中に出土した有舌尖頭器・エンドスクレーパーからなる石器群と、基本土層VII層（暗色帶）中位から出土した安山岩を主体とする台形様石器・剥片・石核からなる石器群のふたつの時期の存在が確認された。前者は旧石器時代終末～縄文時代草創期、後者は後期旧石器時代の前半段階と考えられ、森嶋秀一の栃木県の後期旧石器の編年（I～VI期区分）のII期（暗色帶からハードローム下面のATにかけて）の前半に位置付けられる⁽¹⁾。近隣では茂木町並松遺跡や中根遺跡でI期の石器が出土している⁽²⁾が、那須烏山市では最古段階の資料である。

2. 縄文時代

検出された遺構は、中期の竪穴住居跡24軒と土坑669基、集石2基、捨て場2か所である。調査区のほぼ中央F-4a・b、G-4c・dに無遺構地帯（広場）をもち、周囲に竪穴住居と土坑が重複しながら密に分布する環状配置の集落跡と考えられる。各時期の竪穴住居跡の数は土坑に比べかなり少ない。調査区の南及び東側に遺構が広がることは明らかで、南側調査区際には完掘できない竪穴住居跡が7軒あることからも、土坑群の外側に住居跡があることが予想される。

竪穴住居跡 加曽利E1式期（VI期）の土器がややまとまって出土しているSI-26・30を除き、ほとんどが数点の破片資料である。さらに土坑との重複も多く時期の決定を難しくしている。平面形は小型の円形（SI-10・11）、楕円形（SI-14・16・22・23・34）、隅丸方形（SI-12・24・28・35・37・38）、長軸5～6mほどの大型の楕円形（SI-8・9・15・21・30・36）、円形（SI-26）のプランがある。小型円形の住居は炉を有しないものがほとんどである。4本主柱の13・24・28などはIV～V期のものが多いと考えられる。大型の楕円形住居は6～8本主柱で地床炉をもつものが多い。淨法寺類型の土器（VI期）が出土したSI-15は炉を有さないものの、ほぼ同じ加曽利E I式中段階（VI期）のSI-30で地床炉が検出されていることから、このころから屋内に炉が付設されるものと考えられる。SI-27・29は有段住居である。SI-27は南側が調査区外となり明確ではないが、張出部をもつ珍しい例である。出土した土器は小破片が多いがII期ごろのものである。

土坑 破片資料が多く時期比定は難しいが、時期ごとに分布を概観する。I期の遺構は少なく明確でなく、II～III期の土坑は北側を除き疎らに分布する。IV・V期は南東・南西にやや多く確認され、北側は疎らである。VI～VII期は土坑の数が最も多くなる時期で、VII期に東側を中心にピークを迎える。竪穴住居跡もこの時期のものが多い。VII期になると前時期に比べ分布エリアが狭くなる。土坑の数も少なくなり、中央広場に近い東側にややまとまって検出されている。IX期は広場北東に数基の土坑が検出されている程度で終焉を迎える。その後、間をおいて後期初頭の土器が中央北側の土坑から1個出土している。

断面形態では、頸部円筒状のフラスコ状のE類がII～III期に多く、袋状のD類はV期までみられる。円筒状の頸部を有しないものはVII期頃まであり、開口部が広くなる傾向がみられる。小ピットは県央から県東部の袋状土坑に顕著にみられるが、本遺跡でも293の土坑で確認されている。III期には確認され、IV・V期に徐々に多くなり、VI～IX期はかなりの割合で小ピットをもつようになる。個数は1～2個のものが少なくない。5個以上の子ピットをもつ土坑はVI～VII期に多く、SK-138の10個を最多に12基確認されている。一括投棄の多数の土器が出土している土坑は、SK-70の11個を最多にSK-25・70・74・441・522などがある。SK-382では壁際の床面直上からベンガラ入の小型土器が出土しており、注目される。

縄文土器 縄文中期前葉から後葉まで9期に区分し、各時期の土器変遷については詳述を避け、第228図に概要を示した。各時期東関東系と北関東～南東北系の土器を中心に、Ⅲ期に西関東～甲信地方の勝坂式、Ⅲ～V期に新潟県中越地方の火炎系土器が数点確認されている。VI期を中心にみられる口縁部文様帶に波状隆帶を一周させる深鉢は、本遺跡で多く出土しており、深鉢以外にも浅鉢もあり注目される。SK-70・74は口縁上部に一段階古い要素である交互刺突が巡り、那須烏山市小鍋前遺跡や茂木町桧の木遺跡同様、V期にはすでに存在していたと考えられる。中村信博も注目しているが⁽³⁾、V～VI期の栃木県南東部から茨城県南西部の特徴的な文様といえよう。

つぎに、希少な器種について述べる。破片ではあるが、V期のSK-44から出土した注口土器は、県内の縄文中期のものでは最も古く、IX期のSK-176-9は東北系の瓜実形の注口土器で南縁の資料として注目される。短頸壺形土器はSK-129・250・266・267・303・396、B区捨て場で出土している。SK-267、B区捨て場で出土している脚付きのものの類例はⅡ～Ⅲ期に多い。SK-396はV期、鍔付（有孔）のSK-129・250・266・303・444はVII期を中心とした時期のものであろう。台形土器はSI-14、SK-35・117・164・421・456、B区捨て場で出土している。楕円単孔（SI-14）、円孔2個1対（SK-421・456）があるが、いずれもVI期頃のものである。B区捨て場の内面に文様の施したものは、県内では茂木町桧の木遺跡に類例がある。

石器・石製品 磨製石斧は未製品が多く検出されている。また、小型品の擦切り痕（第203図5・9・12）、分割するための細い線が施されているもの（第203図19）などは希少な例である。

遺構には伴わないが、抛点集落から出土する例が多い硬玉製大珠やコハクなども注目される。コハクは捨て場から剥片が出土している。2号墳周溝から出土したコハク製垂飾についても、孔の穿孔方向や多くの縄文時代の遺構を古墳が壊していることを考慮すると、縄文時代のものの可能性が高い。市内では上川井地区の新道平遺跡でも剥片が出土している。分析では曲畠遺跡がいわき産、新道平遺跡が銚子産という結果が報告されている。

このほか、II期のSK-135から出土した大形石棒は県内最古の出土例であり、VII～VIII期のSK-174・183・209・459出土の小形石棒も中期の希少な例で注目される。高根沢町上の原遺跡や茂木町桧の木遺跡でもVIII期の遺構からの出土例があり、福島県から北関東の東部で中期後半の資料が増加しつつある。

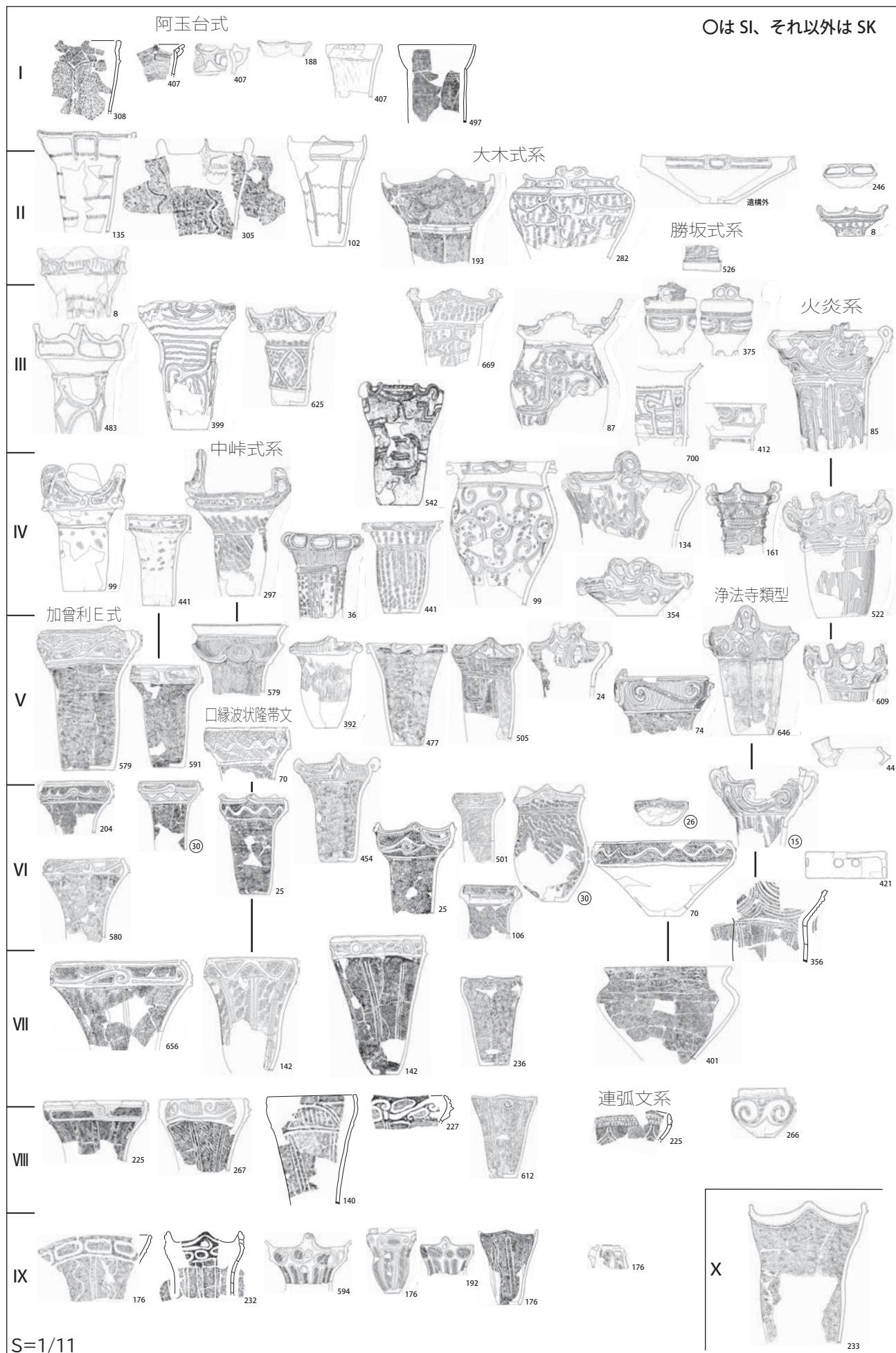
3. 古墳時代

竪穴住居跡3軒と古墳2基が検出された。古墳は調査区南端西側に位置し、調査区外まで延びる。墳丘は削平され、周溝も深いところで30cmほど部分的に残るのみであるが、墳径20～23mの円墳と推定される。埋葬施設はいずれも横穴式石室で、底面から高さ50cmほどが残る。1号墳は凝灰岩切石積みの横穴式石室で、直刀・刀子・鉄鎌・メノウ製勾玉などが出土している。時期は7世紀代と考えられる。凝灰岩切石の石室は喜連川丘陵西側に多く、北はさくら市早乙女台古墳から南は市貝町石下古墳群・益子町山守塚古墳まで確認されている。2号墳は埋葬施設の攪乱が著しいが、墓道出土の土器から6世紀末葉と考えられる。

竪穴住居跡は古墳の北及び北東に25～30mの間隔を置いて3軒確認されている。いずれも方形プラン・4本主柱でカマドが壁に付設されている。時期はSI-25が6世紀前葉～中葉、SI-17・33が6世紀後葉で、古墳より若干古い時期のものである。

（注）

- 1 森嶋秀一2002「周辺地域の様相—栃木県—」『茨城県のおける旧石器時代研究の到達点—その現状と課題—』茨城県考古学協会
- 2 中村紀男1997「1 並松遺跡」『茂木町史』第二巻 資料編1 原始古代・中世 茂木町史編さん委員会
- 3 中村信博2006『桧の木遺跡』II 本田技研工業株式会社・桧の木遺跡調査団



第228図 曲畠遺跡縄文時代中期土器変遷図

報告書抄録

| | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------------------|-----------|--|-------------------|---|--|-------------------------|
| ふりがな A2:I40 | そりはたいせき | | | | | | |
| 書名 | 曲畠遺跡 | | | | | | |
| 副書名 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | |
| シリーズ名 | 那須烏山市埋蔵文化財調査報告 | | | | | | |
| シリーズ番号 | 第 10 集 | | | | | | |
| 編著者名 | 後藤信祐・鈴木芳英 | | | | | | |
| 編集機関 | 那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課 | | | | | | |
| 所在地 | 〒 321-0595 栃木県那須烏山市大金 240 | | | | | | |
| 発行機関 | 栃木県那須烏山市教育委員会 | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦 2025 年 3 月 21 日 (令和 7 年 3 月 21 日) | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | 。' " | | m ² | |
| そりはたいせき 曲畠遺跡 | なすからすやまし 那須烏山市 そりはたらない 曲畠地内 | 9215 | 2830 | 36° 36' 26" | 140° 5' 12" | 19901004 - 19910912 (第 1 次) 19911209 - 19920326 (第 2 次) | 企業研究 所造成 約 10,000 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | | 主な遺物 | 特記事項 | |
| 曲畠遺跡 | 集落跡 | 旧石器 時代 | ブロック 1 | | 石器 (台形様石器・ 剥片・石核・有舌尖 頭器・エンドスクリ イバー) | 後期旧石器時代前半 (暗色帶 中位) 出土石器群と旧石器時 代終末の石器群。 | |
| | | 縄文時代 | 堅穴住居跡 24 軒 土坑 669 基 集積遺構 2 基 捨て場 2 か所 | | 縄文土器 (深鉢・浅 鉢・鉢・壺・台形土 器・注口土器等)・ 石器 (石鏃・石錐・ 打製石斧・磨製石斧・ 磨石・石皿等)・土 製品 (円盤・耳飾・ 垂飾等)・石製品 (硬 玉製大珠・石棒・線 刻石等) | 縄文時代中期の拠点集落跡。 土坑の多くは貯蔵穴で、フ ラスコ状、袋状のものが少く ない。中期後半の土坑底面に は、小ピットを複数もつもの ものが多い。 | |
| | | 古墳時代 | 堅穴住居跡 3 軒 古墳 2 基 | | 土師器 (壺・高壺・甕・ 甌)・土製品 (勾玉)・ 石製品 (勾玉・白玉)・ 鉄製品 (刀・刀子・鎌) | 6 世紀中葉～後葉の堅穴住居 跡と 6 世紀末～7 世紀初頭頃 の円墳。1 号墳は凝灰岩の切 石切組の横穴式石室。 | |

| | |
|-----|---|
| 要 約 | 曲畠遺跡は、1991～1992年に発掘調査が実施され。1999年に写真図版編のみ刊行されている。2022年から再整理を行い本報告をもって完了となる。旧石器時代は、暗色帶中位から台形様石器などが出土しており注目される。縄文時代については、中期のこの地域の拠点集落と考えられる。土器は在地系のほか、東北南部や新潟県、西関東・甲信系など各地の土器も出土している。また硬玉製大珠やコハクなども出土しており、広域ネットワークがうかがえる遺跡である。古墳では、県東部喜連川丘陵の西側に特徴的な凝灰岩の切石切組の横穴式石室が発見されている。 |
|-----|---|

那須烏山市埋蔵文化財調査報告 第10集

曲 烟 遺 跡

発 行 栃木県那須烏山市教育委員会

栃木県那須烏山市大金 240

TEL 0287-88-6223

令和7年3月21日発行

編 集 那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課

印 刷 有限会社 吉成印刷
